

CICS Transaction Server for z/
OSバージョン 5 リリース 6

CICSplex SM 操作ビュー・リファレンス



注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[製品の特記事項](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM® CICS® Transaction Server for z/OS®, バージョン 5 リリース 6 (製品番号 5655-Y305655-BTA)、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典：

CICS Transaction Server for z/OS
Version 5 Release 5
CICSplex SM Operations Views Reference

発行：

日本アイ・ビー・エム株式会社

担当：

トランスレーション・サービス・センター

© Copyright International Business Machines Corporation 1974, 2020.

目次

この PDF について	vii
-------------------	-----

第 1 章 CICSplex SM 操作の管理.....	1
-------------------------------------	----------

CICS リソースの制御.....	1
操作タスクの例.....	1
トランザクションと関連付けられているタスクの数の検出.....	2
トランザクションと関連付けられているタスクの識別.....	2
一連のタスクのユーザー ID への関連付け.....	2
端末の状況の確認.....	3
通信リンクの状況の確認.....	3
ファイルが使用可能な CICS システムの検出.....	3
ローカルとリモートのファイル名の相関.....	3
指定された CICS システムで、プログラムの発生元のデータ・セットを検出.....	4
CICSplex SM イベントの発生原因の検出.....	4
単一の CICS システムでトランザクションを使用不可にする.....	5
トランザクションのグローバルな使用不可化.....	5
CICS システム内のモニター対象リソースの検出.....	6
ワークロード定義の非活動化.....	6
アクティブなトランザクションのワークロードからの破棄.....	7

第 2 章 CICS 操作ビュー.....	9
------------------------------	----------

アプリケーション操作ビュー	9
バンドル - BUNDLE.....	9
イベント・バインディング - EVNTBIND.....	12
イベント・キャプチャー仕様 - EVCSPEC.....	14
イベント・キャプチャー仕様データ述部 - EVCSDATA.....	19
イベント・キャプチャー仕様情報源 - EVCSINFO.....	21
イベント・キャプチャー仕様オプション述部 - EVCSOPT.....	22
イベント処理 - EVNTGBL.....	24
イベント処理アダプター - EPADAPT.....	27
XML 変換 - XMLTRANS.....	31
CICS ビジネス・トランザクション・サービス (BTS) 操作ビュー.....	33
プロセス・タイプ - PROCTYP.....	33
CICS 領域操作ビュー.....	35
CICS 領域 - CICSrgn.....	35
システム・パラメーター - SYSPARM.....	48
動的ストレージ域 - CICSDSA.....	50
動的ストレージ域グローバル - CICSSTOR.....	53
MVS ストレージ域 - MVSESTG.....	72
ドメイン・サブプール - DOMSPOOL.....	73
タスク・サブプール - TSKSPOOL.....	74
ローダー情報 - LOADER.....	75
動的ストレージ域ごとのローダー - LOADACT.....	79
トランザクション・クラス - TRANCLAS.....	80
システム・ダンプ・コード - SYSDUMP.....	83
トランザクション・ダンプ・コード - TRANDUMP.....	85
グローバル・ディスパッチャー情報 - DSPGBL.....	88
ディスパッチャー TCB モード - DSPMODE.....	90
ディスパッチャー TCB プール - DSPPOOL.....	91
エンキュー・プール - ENQUEUE.....	93

グローバル・ユーザー出口 - EXTGLORD.....	94
タスク関連ユーザー出口プログラム - EXITTRUE.....	96
グローバル MVS TCB 情報 - MVSTCBGL.....	98
MVS TCBs - MVSTCB.....	99
MVS ワークロード管理 - MVSWLM.....	100
接続操作ビュー.....	104
ISC/MRO 接続 - CONNECT.....	104
IPIC 接続 - IPCONN.....	114
LU 6.2 モード名 - MODENAME.....	124
パートナー - PARTNER.....	125
プロファイル - PROFILE.....	126
TCP/IP サービス - TCPIPS.....	127
IP 機能 - IPFACIL.....	133
DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー.....	134
接続 - DB2CONN.....	134
エントリー - DB2ENTRY.....	141
CICS 領域内のサブシステム - DB2SS.....	145
CICS 領域内のスレッド - DB2THRD.....	147
スレッド関連トランザクション - DB2TRAN.....	149
エントリー関連トランザクション - DB2TRN.....	149
DBCTL サブシステム - DBCTLSS.....	151
WebSphere MQ 接続統計 - MQCONN.....	152
WebSphere MQ 接続 - MQCON.....	154
WebSphere MQ 開始キュー - MQINI.....	158
WebSphere MQ モニター - MQMON.....	159
文書テンプレート操作ビュー.....	162
文書テンプレート - DOCTEMP.....	162
エンキュー・モデル操作ビュー.....	164
エンキュー・モデル - ENQMODEL.....	164
Enterprise Java コンポーネント操作ビュー.....	167
CorbaServers 内のエンタープライズ Bean - EJCOBEAN.....	167
CorbaServers - EJCOSE.....	167
CICS 配置 JAR ファイル - EJDJAR.....	172
CICS 配置 JAR ファイル内のエンタープライズ Bean - EJDJBAN.....	174
JVM プール - JVMPOOL.....	175
JVM プロファイル - JVMPROF.....	177
JVM サーバー - JVMSESV.....	179
JVM クラス・キャッシュ - CLCACHE.....	183
JVM 状況 - JVM.....	187
出口操作ビュー.....	188
グローバル・ユーザー出口 - EXITGLUE.....	188
FEPI 操作ビュー.....	189
接続 - FEPICNN.....	189
ノード - FEPINODE.....	191
プール - FEPIPOOL.....	193
プロパティ・セット - FEPIPROP.....	195
ターゲット - FEPITRGT.....	196
ファイル操作ビュー.....	197
カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール - CFDTPOOL.....	197
管理下データ・テーブル - CMDT.....	198
ファイルの物理データ・セット - DSNAME.....	205
ローカル・ファイル - LOCFILE.....	208
VSAM LSR プール・バッファ - LSRPBUF.....	214
VSAM LSR プール - LSRPOOL.....	215
リモート・ファイル - REMFILE.....	217
ファイル用トポロジー・データ - CRESFILE.....	219
ジャーナル操作ビュー.....	220
モデル - JRNLMDL.....	220

名前 - JRNLNAME.....	221
MVS ログ・ストリーム名 - STREAMNM.....	223
プログラム操作ビュー.....	224
プログラム - PROGRAM.....	224
DFHRPL を含む LIBRARY - LIBRARY.....	231
LIBRARY データ・セット名 - LIBDSN.....	235
静的 DFHRPL データ・セット名 - RPLLIST.....	236
タスク操作ビュー.....	237
アクティブ・タスク - TASK.....	237
完了したタスク - HTASK.....	263
EXCI 要求 - EXCI.....	287
間隔制御要求数 - REQID.....	288
3270 ブリッジ機能 - BRFACIL.....	289
処理要求 - WORKREQ.....	291
タスクごとのストレージ・エレメント - TASKESTG.....	293
タスクごとのファイル使用 - TASKFILE.....	294
タスクごとの TS キュー使用 - TASKTSQ.....	296
タスクごとの RMI 使用状況 - TASKRMI.....	297
IP 機能 - IPFACIL.....	299
タスク関連情報 - TASKASSC.....	300
TCP/IP サービス操作ビュー.....	304
TCP/IP サービス - TCPIPS.....	304
TCP/IP グローバル統計 - TCPIPGBL.....	310
IPIC 接続 - IPCONN.....	312
IP 機能 - IPFACIL.....	323
URI マップ - URIMAP.....	324
グローバル URI マップ統計 - URIMPGBL.....	329
URI ホスト - HOST.....	330
Web サービス - WEBSERV.....	331
パイプライン - PIPELINE.....	335
Atomservices - ATOMSERV.....	338
一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー.....	341
モデル - TSMODEL.....	341
プール - TSPOOL.....	343
グローバル一時ストレージ統計 - TSQGBL.....	344
一時記憶域キュー - TSQNAME.....	346
共用キュー - TSQSHR.....	348
すべてのタスク・サブプール - TSKSPOLS.....	350
端末操作ビュー.....	352
3270 ブリッジ機能 - BRFACIL.....	352
自動インストール・モデル - AIMODEL.....	354
端末 - TERMNL.....	354
一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー.....	362
区画外 - EXTRATDQ.....	362
間接 - INDTDQ.....	366
区画内 - INTRATDQ.....	367
リモート - REMTDQ.....	370
グローバル一時データ・キュー属性 - TDQGBL.....	372
一時データ・キューのトポロジー・データ - CRESTDQ.....	373
トランザクション操作ビュー.....	374
ローカルまたは動的 - LOCTRAN.....	374
リモート - REMTRAN.....	380
要求モデル - RQMODEL.....	383
トポロジー・データ - CRESTRAN.....	385
作業単位 (UOW) 操作ビュー.....	386
作業単位 - UOW.....	386
中断され、データ・セットをロックしたままになっている作業単位 - UOWDSNF.....	388
作業単位エンキュー - UOWENQ.....	390

作業単位リンク - UOWLINK.....	391
特記事項.....	395
索引.....	401

この PDF について

この PDF は、複数の CICS システムをモニターおよび制御するために使用できる CICSplex SM WUI ビューのリファレンスです。

WUI ビューは、CICS リソースを制御するための一連の操作ビュー と、これらの操作ビュー とほぼ一致するリソースのモニター用のモニター・ビュー、そして CICSplex でアクティブになっている CICSplex® SM 定義を管理するために使用する定義ビュー からなります。モニター・ビューのコマンドについては、この PDF で説明しています。操作ビューのコマンドについては、*CICSplex SM Operations Views Reference* で説明しています。CICSplex SM の定義については、以下の資料で説明しています。

- *CICSplex SM Managing Workloads*
- *CICSplex SM Managing Resource Use*
- *CICSplex SM Managing Business Applications*

WUI のビューには、EYUSTARTobject という名前が付いています。ここで、*object* は管理対象リソースの名前です。CICSplex SM WUI の使用に関するガイドラインは、*CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース・ガイド*に記載されています。CICSplex SM 環境の CMAS 構成およびトポロジーを定義するために使用するビューについては、*CICSplex SM Administration* で説明されています。

本書で使用している用語および表記の詳細については、IBM Knowledge Center で [CICS 資料で使用されている表記規則および用語](#)を参照してください。

この PDF の作成日

この PDF は、2020 年 5 月 28 日に作成されました。

第 1 章 CICSplex SM 操作の管理

CICSplex SM 操作ビューでは、企業での CICS リソースの日常的な操作と管理をサポートする Web ユーザー・インターフェース (WUI) ビューが記述されています。

対象とする読者は、CICS リソースを管理するための CICS 提供のトランザクション (CICS Master Terminal Transaction (CEMT) など) を実行する CICS オペレーターです。

CICSplex SM ビューには、現在で CICS システムに提供されている機能が反映されます。言い換えれば、オペレーターは日常のシステム・アクティビティーに対する基本アプローチを変更しなくても、基本的には現在と同じ方法で作業することができます。その一方、CICSplex SM ビューの最大の利点は、これらのビューを使用して、複数の CICS システムとそれぞれのリソースの運用をそれが 1 つの CICS システムであるかのように単一セッションから制御できることです。

CICS リソースの制御

CICSplex SM 操作ビューは、CICSplex 内のすべての CICS リソースの単一システム・イメージを提供します。

操作ビューを使用して、以下のタスクを実行できます。

- リソースの有効化と無効化
- リソースのオープンとクローズ
- リソースの獲得と解放
- リソースのサービス開始またはサービス休止
- リソースに関連するタスクのページ
- CICS システムにインストールされているリソース 定義の廃棄
- さまざまなリソース属性の変更
- CICS システムのシャットダウン

CICS リリースでの可用性

一部のビュー、アクション・コマンド、またはフィールドは、サポートされているすべての CICS リリースで使用可能なわけではありません。サポートされる CICS リリースの一部でビューが使用できない場合、そのビュー・セットの説明の「**可用性**」セクションに、そのビュー・セットが一般に使用可能な CICS リリースが示されています。可用性の情報は、ビュー、アクション、およびフィールドに関するオンライン・ヘルプでも提供しています。ビューを表示するときに、そのビューを使用できない CICS リリースを実行中のシステムが CICSplex に組み込まれている場合、そのビューに、これらのシステムは表示されません。

操作タスクの例

WUI 操作ビューをより効率的に使用するために役立つ、典型的な操作タスクのステップバイステップの例をいくつか紹介します。

どの操作タスクでも、作業している CICS システムのスコープを認識しておく必要があります。スコープが単一の CICS システムである場合、CICSplex SM から取得するデータはすべてその単一システムに関連します。スコープが CICS システムのグループである場合、そのデータはグループ内のすべてのシステムに関連します。スコープが CICSplex である場合、データは、その CICSplex 内のすべてのシステムに関連します。これらのすべての例で、初期スコープは CICSplex PLXPROD1 となります。

トランザクションと関連付けられているタスクの数の検出

この例では、CICSplex PLXPROD1 の Sale サンプル・アプリケーションを使用して、トランザクションと関連付けられているタスクの数を検出する方法を示します。

前提条件: 例に従うには、Sale サンプル・アプリケーションが CICS システムにインストールされている必要があります。詳細については、[Sale 実例アプリケーション](#)を参照してください。使用される CICS システムの 1 つ以上の端末で、トランザクション PAY1 を入力してください。

この例は、CICSplex PLXPROD1 全体でトランザクション PAY1 と関連付けられているタスクの数を検出することを想定しています。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドを PLXPROD1 に設定します。
2. メインメニューで「**アクティブ・タスク**」をクリックして、「**アクティブ・タスク**」表形式ビュー (TASK オブジェクト) を表示します。ここには、CICSplex PLXPROD1 のすべてのアクティブ・タスクが表示されます。
3. 「**トランザクション**」フィールドに PAY1 と入力し、「**最新表示**」をクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが再表示され、トランザクション ID PAY1 に関連付けられているタスクのみが表示されます。表示の上部と下部にあるメッセージによって、アクティブなタスクの数とページ数が示されます。
4. 「**タスク ID**」列上部の「**集計**」アイコンをクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが再表示され、集計されたタスクのデータが表示されます。「**レコード・カウント**」フィールドに、CICSplex 全体での PAY1 と関連付けられているタスクの数が示されます。

トランザクションと関連付けられているタスクの識別

この例では、CICSplex PLXPROD1 の Sale サンプル・アプリケーションを使用して、トランザクションのインスタンスと関連付けられているタスクを識別する方法を示します。

前提条件: 例に従うには、Sale サンプル・アプリケーションが CICS システムにインストールされている必要があります。詳細については、[Sale 実例アプリケーション](#)を参照してください。使用される CICS システムの 1 つ以上の端末で、トランザクション PAY1 を入力してください。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「**最新表示**」をクリックします。
2. メインメニューで、「**アクティブ・タスク**」をクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが表示されて、そこに現行スコープのすべてのタスクの状況が表示されます。
3. CICS システム CICSPA01 のトランザクション PAY1 に関心があると想定します。これらの値を「**トランザクション**」フィールドおよび「**スコープ**」フィールドに入力して、「**最新表示**」をクリックします。
4. 「**タスク ID**」をクリックして、「**アクティブ・タスク**」詳細ビューを表示します。
5. 画面をスクロールダウンして「**ローカル作業単位 (UOW) ID**」フィールドを表示し、その値をメモまたはコピーします。例の値は、8286F48104090001 のようになっています。
6. メインメニューから、「**CICS 操作**」 > 「**作業単位 (UOW) 操作ビュー**」 > 「**作業単位**」をクリックします。「**作業単位**」表形式ビューが表示されます。
7. 「**ローカル作業単位 (UOW) ID**」フィールドに UOW ID を入力するか貼り付けて、「**最新表示**」をクリックします。「**ローカル作業単位 (UOW) ID**」列上部の「**集計**」アイコンをクリックすることによって「**作業単位**」表形式ビューを集計できますが、このビューでは、通常、非常に多数のページをカバーしているため、「**ローカル作業単位 (UOW) ID**」フィールドを使用する方がより迅速です。

CICS システムでモニタリングが非アクティブの場合、ネットワーク作業単位 ID は使用できません。

一連のタスクのユーザー ID への関連付け

この例では、特定のユーザー ID と関連付けられているタスクを識別する方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「**最新表示**」をクリックします。

2. メインメニューで、「**アクティブ・タスク**」をクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが表示されて、そこに現行スコープのすべてのタスクの状況が表示されます。
3. ユーザー ID 別にタスクのリストを集計するには、「**ユーザー ID**」列上部の「集計」アイコンをクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが表示されて、そこにユーザー ID 別に集計された TASK データが表示されます。「**レコード・カウント**」列に、各ユーザー ID に関連付けられているタスクの数が示されます。
4. 単一のユーザー ID に関連付けられているタスクのリストを表示するには、そのユーザーのレコード・カウントをクリックします。「**アクティブ・タスク**」表形式ビューが再表示され、そのユーザーに関連付けられているタスクのみが表示されます。

端末の状況の確認

この例では、端末の状況を確認できるいくつかの方法を示します。

現行コンテキストのすべての端末に関する情報を表示するには、以下のようにします。

- 必要に応じて、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドを PLZPROD1 に設定し、「**最新表示**」をクリックします。
- 「**端末**」をクリックして、「**端末**」表形式ビュー (TERMNL オブジェクト) を表示します。
- 「**端末 ID**」フィールドに端末 ID を入力し、「**最新表示**」をクリックします。「**端末**」表形式ビューが再表示され、ログオンしている各 CICS システムの各端末の状況が示されます。1 台の端末が 3 つの CICS システムにログオンしている場合、「**端末**」表形式ビューには 3 つのエントリーが表示されます。
- 端末 ID がわからないときに、特定のユーザー ID に関連した端末を対象にする場合は、「**ユーザー ID**」列上部の「集計」アイコンをクリックします。「**レコード・カウント**」フィールドをクリックすると、「**端末**」表形式ビューが再表示され、特定ユーザーに関連付けられている端末が表示されます。

通信リンクの状況の確認

この例では、通信リンクの状況を確認できる方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「**最新表示**」をクリックします。
2. メインメニューで、「**ISC/MRO 接続**」をクリックします。このビューには、現行スコープのすべての接続が表示されます。
3. 「**接続 ID**」フィールドと「**ネット名**」フィールドを使用して、表示を詳細化します。
4. 単一の接続の詳細を表示するには、「**接続 ID**」フィールドをクリックして、詳細ビューを表示します。

ファイルが使用可能な CICS システムの検出

この例は、特定のファイルを使用できる CICS システムを識別する方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「**最新表示**」をクリックします。
2. ローカル・ファイルのリストを表示するには、メインメニューで、「**ローカル・ファイル**」をクリックします。「**ローカル・ファイル**」表形式ビュー (LOCFILE オブジェクト) が表示されます。
3. 「**ファイル ID**」、「**使用可能化状況**」および「**オープン状況**」の各フィールドを使用して、表示を詳細化します。特定のファイル名を使用する必要はありません。ワイルドカード文字を使用した総称名を使用でき、例えば、PAY* を使用して、名前の最初の 3 文字が PAY であるすべてのファイルを表示できます。

ローカルとリモートのファイル名の相関

この例では、特定のファイルがローカル CICS システムで認識されている名前と、リモート CICS システムで認識されている名前とを関連付ける方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「**最新表示**」をクリックします。

2. リモート・ファイル定義のリストを表示するには、メインメニューで、「リモート・ファイル」をクリックします。「リモート・ファイル」表形式ビュー (REMFIL オブジェクト) が表示されます。

この「リモート・ファイル」ビューから以下のことがわかります。

- CICSplex PLXPROD1 にインストールされているリモート・ファイル定義の数、これらのファイルが認識される名前 (例えば PAYFILER)、およびリモート・ファイル定義がインストールされているシステム (例えば CICSSPA01 および CICSPAY02) がわかります。
 - 「リモート・ファイル名」フィールドには、これらがローカル・ファイルである CICS システムでそれらのファイルが認識される名前が含まれます (例えば、両方のファイルは PAYFILE1 と認識されている)。
 - これらのファイルがローカル・ファイルと認識されている CICS システム間の接続の名前 (AF01 など)。(この 2 つめの値は「リモート・システム名」と呼ばれますが、実際には接続 ID です)。
3. 接続名 AF01 を使用して、リモート CICS システムの名前を検出します。
 - メインメニューで、「ISC と MRO の接続」をクリックして、「接続」表形式ビューを表示します。
 - 必要に応じて、「接続 ID」フィールドに AF01 を入力して、「最新表示」をクリックすると、表示されるデータを詳細化できます。
 - 接続のリモート・システム名 (例えば CICSFA01) をメモしてください。これは、「ネット名」フィールドで指定されます。
 4. 次のステップでは、リモート CICS システムの PAYFILE1 というローカル・ファイルをすべて調べます。
 - スコープを変更して、CICSplex SM から戻るすべてのデータが CICSFA01 にのみ関連するようにします。このことを行うには、メインメニューで、「スコープ」フィールドに CICSFA01 を入力して「最新表示」をクリックします。
 - メインメニューで、「ローカル・ファイル」をクリックします。
 - 「ローカル・ファイル」表形式ビューで、「ファイル ID」フィールドに PAYFILE1 を入力して、「最新表示」をクリックします。
 - 「ローカル・ファイル」表形式ビューが再表示され、CICS システム CICSFA01 内の PAYFILE1 が表示されます。

指定された CICS システムで、プログラムの発生元のデータ・セットを検出

この例では、プログラムの特定インスタンスの発生元であるデータ・セットを識別する方法を示します。

この例では、プログラムの特定インスタンスの発生元であるデータ・セットを識別する方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「コンテキスト」フィールドに PLXPROD1 を入力して、「最新表示」をクリックします。
2. 指定された CICS システムのプログラムに関する詳細情報を表示するには、メインメニューから「CICS 操作」>「プログラム操作ビュー」とクリックします。
3. 「プログラム」表形式ビューから、「プログラム名」フィールドにプログラム名 PRGPAYR1 を、さらに「スコープ」フィールドに CICS システム名 CICSSPA01 を入力します。「最新表示」をクリックします。
4. PRGPAYR1 の「プログラム」詳細ビューを表示するには、「プログラム名」フィールドをクリックします。「プログラム」詳細ビューが表示され、CICSSPA01 の LIBRARY 名およびロード・データ・セット名が表示されます。

CICSplex SM イベントの発生原因の検出

この例では、リアルタイム分析のイベント通知 RTDPAY01 が発行された原因を調査する方法を示します。

1. 現行のコンテキストが PLXPROD1 ではない場合は、メインメニューの「コンテキスト」フィールドを PLXPROD1 に変更して「設定」をクリックします。
2. メインメニューで、「リアルタイム分析 (RTA) 未解決のイベント」をクリックして、「RTA 未解決のイベント」表形式ビューを表示します。
3. このビューには、接続の CONNSTATUS 値がイベントを起動させたこと、およびその現行値が RELEASED であることが示されます。知りたい情報はこれで足りる場合があります。そうでない場合は、この例の残りのステップに説明されているとおりに調査を進めます。

4. 関連付けられた評価定義を確認します。これにアクセスするには、以下のようにします。

- ・メインメニューで、「管理」>「RTA 分析点モニター」>「評価」をクリックして、「評価定義」表形式ビューを表示します。
- ・目的のエントリーの「名前」フィールドをクリックして、「評価定義」の詳細ビューを表示します。

このビューから、CONNECT リソース・テーブルの **CONNSTATUS** フィールドの値が **ACQUIRED** でない場合にイベント **RTDPAY01** が起動されるのが分かります。(「評価されるフィールド」フィールドが **CONNSTATUS**、「評価の論理演算子」フィールドが **NE** (「等しくない」という意味)、および「評価データ値」フィールドが **ACQUIRED**)。

5. 次に、「**ISC/MRO 接続**」ビュー (CONNECT オブジェクト) を確認します。

- ・メインメニューで、「**ISC/MRO 接続**」をクリックして、「**ISC/MRO 接続**」表形式ビューを表示します。
- ・必要な場合は、「**スコープ**」フィールドを **CICSPT01** に変更して、「**最新表示**」をクリックします。
- ・「**ISC/MRO 接続**」表形式ビューに、CICS システム **CICSPT01** の接続のリストが表示されます。

単一の CICS システムでトランザクションを使用不可にする

この例は、CICS システム **CICSPA01** でトランザクション **PAY1** を使用不可にする方法を示しています。(CICSPA01 は CICSplex **PLXPROD1** 内にあり、これが現行スコープです。) この変更を行う方法は、次の 2 つです。

例えば、以下のことを行うことができます。

1. すべてのローカル・トランザクションをリストします。メインメニューで、「**ローカルまたは動的トランザクション**」をクリックします。「**ローカルまたは動的トランザクション**」表形式ビュー (LOCTRAN オブジェクト) が表示されて、そこに現行スコープ (**PLXPROD1**) 内のすべてのローカル・トランザクションが表示されます。
2. 表示を詳細化するには、「**スコープ**」フィールドに **CICSPA01**、「**トランザクション ID**」フィールドに **PAY1**、および「**使用可能状況**」フィールドに **ENABLED** を入力します。「**最新表示**」をクリックします。
3. トランザクションの横にある「**レコード**」チェック・ボックスをクリックし、「**使用不可...**」ボタンをクリックします。
4. 「**使用不可**」ビューが表示されます。「**はい**」をクリックします。「**ローカルまたは動的トランザクション**」表形式ビューが再表示され、トランザクション・インスタンスの状況が **DISABLED** と表示されます。

または次の方法が可能です。

1. すべてのローカル・トランザクションをリストします。メインメニューで、「**ローカルまたは動的トランザクション**」をクリックします。「**ローカルまたは動的トランザクション**」表形式ビュー (LOCTRAN オブジェクト) が表示されて、そこに現行スコープ (**PLXPROD1**) 内のすべてのローカル・トランザクションが表示されます。
2. 表示を詳細化するには、「**スコープ**」フィールドに **CICSPA01**、「**トランザクション ID**」フィールドに **PAY1**、および「**使用可能状況**」フィールドに **ENABLED** を入力します。「**最新表示**」をクリックします。
3. **PAY1** の「**トランザクション ID**」フィールドをクリックして、「**ローカルまたは動的トランザクション**」詳細ビューを表示します。
4. ドロップダウン・メニューを使用して、「**使用可能状況**」フィールドの値を **DISABLED** に変更します。「**変更の適用**」ボタンをクリックします。「**ローカルまたは動的トランザクション**」表形式ビューが再表示され、トランザクション **PAY1** の **DISABLED** 状況が表示されます。

トランザクションのグローバルな使用不可化

この例では、単一トランザクションをスコープ全体で使用不可にする方法を示します。

1. 現行コンテキストが **PLXPROD1** でない場合は、メインメニューで、「**コンテキスト**」フィールドに **PLXPROD1** を入力して、「**最新表示**」をクリックします。

2. メインメニューで、「ローカルおよび動的トランザクション (Local and dynamic transactions)」をクリックします。「ローカルおよび動的トランザクション (Local and dynamic transactions)」表形式ビューが表示されます。
3. 「トランザクション ID」フィールドに PAY1 を入力し、「最新表示」をクリックします。「ローカルおよび動的トランザクション (Local and dynamic transactions)」表形式ビューが再表示され、トランザクション PAY1 のインスタンスが表示されます。
4. トランザクション・インスタンスのリストを集計します。「トランザクション ID」列上部の「集計」アイコンをクリックします。「ローカルおよび動的トランザクション (Local and dynamic transactions)」表形式ビューが再表示され、現行スコープ内のトランザクション PAY1 のインスタンスの数を示す「レコード・カウント」フィールドと共にトランザクション PAY1 の 1 行が表示されます。
5. この集計行に示されたトランザクション PAY1 のすべてのオカレンスを使用不可にするには、「レコード」チェック・ボックスをクリックし、「使用不可...」ボタンをクリックします。「使用不可」ビューが表示されます。
6. 「はい (残りの n 個もすべて含む)」ボタンをクリックします。ここで、 n はトランザクションのインスタンスの数です。「ローカルおよび動的トランザクション (Local and dynamic transactions)」表形式ビューが再表示され、「使用可能状況」フィールドが DISABLED に設定されて集計行が表示されます。

注: 「はい」ボタンをクリックして、個別に各トランザクションを使用不可にすることができますが、特に理由がない限り、このことは効率的ではありません。

CICS システム内のモニター対象リソースの検出

この例は、CICS システム CICSPA01 内でモニターされているリソース・タイプを検出する方法を示しています。

1. メインメニューで、「モニター」 > 「アクティブ・モニターの仕様」をクリックします。
2. 現行のコンテキストが PLXPROD1 ではない場合は、「コンテキスト」フィールドに PLXPROD1 を指定します。
3. 「スコープ」フィールドに CICSPA01 を入力して、「最新表示」をクリックします。
「アクティブ・モニターの仕様」表形式ビューに、CICS システム CICSPA01 内のアクティブなモニター定義が表示されます。

「アクティブ・モニターの仕様」ビューの詳細については、[Default monitor definitions](#) を参照してください。

ワークロード定義の非活動化

この例では、Web ユーザー・インターフェース (WUI) を使用してワークロード定義 WLDAPAY02 を非活動化する方法について説明します。

1. アクティブ・ワークロード定義を表示します。
 - ・ メインメニューで、「アクティブ・ワークロード (WLM)」 > 「定義」をクリックします。これにより、「アクティブ・ワークロード定義」ビューが開きます。
現行のコンテキストが PLXPROD1 ではない場合は、「コンテキスト」フィールドに PLXPROD1 を指定して「最新表示」をクリックします。
 - ・ 「アクティブ・ワークロード定義」ビューで WLDAPAY01 を入力して、「最新表示」をクリックします。
ワークロード仕様 WLDAPAY01 に関連付けられているアクティブ・ワークロード定義がリストされます。
2. ワークロード定義 WLDAPAY02 を破棄します。
 - a. WLDAPAY02 のエントリーを選択して、「破棄...」ボタンをクリックします。これにより、「破棄」確認ビューが開きます。
 - b. 「はい」をクリックしてアクションを確認します。

アクティブなワークロード定義を非活動化すると、その定義と関連付けられているトランザクション・グループも、同じワークロード内の別のワークロード定義によって参照されていない場合は、非活動化されることに注意してください。

アクティブなトランザクションのワークロードからの破棄

この例では、アクティブなトランザクション PAY2 をワークロード EYUWLS02 から破棄する方法を示します。

1. 現行コンテキストが PLXPROD1 でない場合は、メインメニューで、「コンテキスト」フィールドに PLXPROD1 を入力します。
2. メインメニューから、「アクティブ・ワークロード (WLM)」>「動的トランザクション」をクリックします。「アクティブ・ワークロードの動的トランザクション」表形式ビュー (WLMATRAN オブジェクト) が表示されます。
3. 必要に応じて、「ワークロード名」、「ワークロード所有者のシステム ID」、および「トランザクション」の各フィールドを使用して、表示を詳細化できます。
4. トランザクション PAY2 を破棄するには、エントリーの横にある「レコード」チェック・ボックスをクリックし、「強制...」ボタンをクリックします。「強制」確認ビューが表示されます。
5. 「はい」ボタンをクリックしてアクションを確認します。「アクティブ・ワークロード動的トランザクション」表形式ビューは、PAY2 エントリーを除いて再表示されます。

第 2 章 CICS 操作ビュー

提供される操作ビューでは、指定のリソースについてのすべての情報を示すために多重ビューが採用され、階層化アプローチで情報が示されます。ビューに割り当てられる名前は、この階層化アプローチを反映しています。

提供される Web ユーザー・インターフェース (WUI) ビューには、**EYUSTARTObject.viewtype** という名前が付いています。ここで、*object* は管理対象リソースの名前となり、*viewtype* は表形式、詳細、設定などのビュー・タイプを示しています。

ビューは、ビュー・セットにグループ化されます。ビュー・セットには、1つのオブジェクトに関連付けられているビューすべてが含まれます。

通常、ビュー・セットは、1つの表形式ビュー、1つ以上の詳細ビュー、およびオブジェクトで実行可能なアクションに応じた多数の確認と入力ビューから構成されます。

ビュー・セットの最上位ビューは、複数の CICS リソースや CICSplex SM 定義についての一般情報を表示する表形式ビューです。

表形式ビューに、1つ以上の詳細ビューがリンクされていることがあります。これらのビューは、CICSplex 内の単一リソースについての詳細情報を示します。

ビューで実行可能な各アクションには、関連する確認画面があります。確認画面には、**EYUSTARTObject.action** という名前が付いています。基本的な確認画面は、アクションの続行か取り消しのみを許可するもので、ビューの説明にはリストされていません。

アプリケーション操作ビュー

「アプリケーション操作」ビューには CICSplex SM により管理される CICS アプリケーションに関する情報が表示されます。

バンドル - BUNDLE

「バンドル」(BUNDLE) ビューには、CICS バンドルに関する情報が表示されます。バンドルとは、アプリケーションに対応するディレクトリー階層であり、この階層には、CICS 領域にデプロイできる CICS リソース、成果物、リファレンス、マニフェストのコレクションが含まれています。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「アプリケーション操作ビュー」 > 「バンドル」

表 1. 提供された「バンドル」(BUNDLE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
バンドル EYUSTARTBUNDLE.DETAILED	選択したバンドルに関する詳細情報。
バンドル EYUSTARTBUNDLE.DETAILED1	バンドル・リソース・シグニチャーに関する詳細情報
バンドル EYUSTARTBUNDLE.DISABLE	BUNDLE を無効にします。無効にすると、BUNDLE とそれに関連するリソースが CICS で使用不可になります。
バンドル EYUSTARTBUNDLE.DISCARD	この BUNDLE 定義を除去します。Bundle は、破棄する前に無効にしておく必要があります。

表 1. 提供された「バンドル」(BUNDLE) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
バンドル EYUSTARTBUNDLE.ENABLE	BUNDLE を有効にします。有効にすると、BUNDLE とそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。
バンドル EYUSTARTBUNDLE.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
バンドル EYUSTARTBUNDLE.TABULAR	バンドルに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 2. BUNDLE ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
AVAILABLE	BUNDLE を使用可能にします。使用可能な場合、BUNDLE およびそのエントリー・ポイント・リソースが CICS で使用可能になります。
DISABLE	BUNDLE を無効にします。無効にすると、BUNDLE とそれに関連するリソースが CICS で使用不可能になります。
DISCARD	この BUNDLE 定義を除去します。Bundle は、破棄する前に無効にしておく必要があります。
ENABLE	BUNDLE を有効にします。有効にすると、BUNDLE とそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。
PHASEIN	すべての新規 CICS トランザクション要求において、既存のバージョンの BUNDLE リソースを新しいバージョンのリソースに置き換えます。現在実行中のすべてのトランザクションに対しては、それらが終了するまで、CICS は引き続き以前のバージョンのリソースを使用します。 注: 現行では、PHASEIN は OSGI バンドル・プロジェクト・リソースにのみ適用されます。PHASEIN を実行すると、CICS は、CICS BUNDLE リソースによって参照されるすべての OSGi バンドルの中でセマンティック上において最も高いバージョンを、BUNDLE のルート・ディレクトリーから検索します。最も高いバージョンが JVMSERVER で現在インストールされているバージョンと異なる場合には、新しいバージョンがインストールされ、以前のバージョンは除去されます。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
UNAVAILABLE	BUNDLE を使用不可能にします。使用不可の場合、BUNDLE およびそのエントリー・ポイント・リソースが CICS で使用不可能になります。

フィールド

表 3. BUNDLE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
可用性状況	AVAILSTATUS	BUNDLE の可用性状況を戻します。 <ul style="list-style-type: none"> AVAILABLE - BUNDLE リソースのすべての入り口点を使用できます。 UNAVAILABLE - BUNDLE リソースで使用できる入り口点はありません。 SOMEAVAIL - BUNDLE リソースのいくつかの入り口点を使用できます。 NONE - BUNDLE に入り口点が含まれていません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
BASESCOPE	BASESCOPE	バンドルの内容が作成されるルート名前空間を定義する、1 文字から 255 文字までの汎用リソース ID (URI) を指定します。異なる複数のバンドルをまとめて論理的にグループ化する場合は、有効範囲の値を使用します。
zFS 上の BUNDLE ディレクトリー名	BUNDLEDIR	zFS 上の BUNDLE ディレクトリーの完全修飾名 (1 文字から 255 文字まで) を指定します。

表 3. BUNDLE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
バンドル ID	BUNDLEID	バンドルの ID。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
有効カウント	ENABLEDCOUNT	バンドル内で動的に作成されたリソースおよびリソース修飾子のうち、CICS 領域内で使用可能な現在の数。
状況	ENABLESTATUS	<p>BUNDLE の状況を戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - BUNDLE は使用可能です。 • DISABLED - BUNDLE は使用不可です。 • ENABLING - BUNDLE を初期化しています。バンドルのマニフェスト・ファイルで定義されているリソースを作成し、使用可能にしています。 • DISABLING - BUNDLE は DISABLED 状態になる前の静止の過程にあります。使用可能にしていたすべてのリソースを使用不可にします。 • DISCARDING - DISCARD コマンドが BUNDLE に対して発行されました。BUNDLE は破棄される前の静止の過程にあります。Bundle は使用不可にしたすべてのリソースを廃棄します。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • CLOUD - リソースは管理パートによりインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
メジャー・バージョン	MAJORVERSION	バンドルのメジャー・バージョン。
管理パーツ ID	MGMTPART	このバンドルを作成した管理パートの ID (該当する場合)。
マイクロ・バージョン	MICROVERSION	バンドルのマイクロ・バージョン。

表 3. BUNDLE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
マイナー・バージョン	MINORVERSION	バンドルのマイナー・バージョン。
名前	NAME	この BUNDLE の名前を指定します。この名前の長さは最大 8 文字です。
パーツ・カウント	PARTCOUNT	バンドル・マニフェストで定義されているインポート、エクスポート、定義、入り口点、およびポリシー・スコープ・ステートメントの総数。
ターゲット・カウント	TARGETCOUNT	バンドル内で動的に作成されるリソースおよびリソース修飾子のターゲット数。動的に作成されたリソースおよび修飾子のすべてが使用可能状態になると、CICS は自動的に BUNDLE リソースを使用可能にします。

イベント・バインディング - EVNTBIND

「イベント・バインディング」(EVNTBIND) ビューには、指定したイベント・バインディングに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「アプリケーション操作ビュー (Application operations views)」 > 「イベント・バインディング (Event binding)」

表 4. 提供された「イベント・バインディング」(EVNTBIND) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.DETAILED	選択されたイベント・バインディングの詳細情報。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.DETAILED1	イベント・バインディング・リソース・シグニチャーの詳細情報。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.DISABLE	イベント・バインディングを無効にします。無効にすると、イベント・バインディングとそれに関連するリソースが CICS で使用不可になります。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.DISCARD	このイベント・バインディング定義を削除します。イベント・バインディングを破棄する場合は、破棄の前にこれを使用不可に設定する必要があります。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.ENABLE	イベント・バインディングを有効にします。有効にすると、イベント・バインディングとそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
イベント・バインディング EYUSTARTEVNTBIND.TABULAR	イベント・バインディングに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 5. EVNTBIND ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	イベント・バインディングを無効にします。無効にすると、イベント・バインディングとそれに関連するリソースが CICS で使用不可になります。
DISCARD	このイベント・バインディング定義を削除します。イベント・バインディングを破棄する場合は、破棄の前にこれを使用不可に設定する必要があります。
ENABLE	イベント・バインディングを有効にします。有効にすると、イベント・バインディングとそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。

表 5. EVNTBIND ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 6. EVNTBIND ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
バンドル名	BUNDLE	イベント・バインディングのインストール元バンドルの名前。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドによりインストールされました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	イベント・バインディングが使用可能かどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – イベント・バインディングは無効です。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – イベント・バインディングは有効です。
イベント処理アダプター	EPADAPTER	このイベント・バインディングのイベント処理アダプター。 イベント・バインディングが EPADAPTERSET を使用している場合、このフィールドはブランクです。
イベント処理アダプターのリソース・タイプ	EPADAPTERRES	このイベント・バインディングのイベント処理アダプターのリソース・タイプ。
イベント処理アダプター・セット	EPADAPTERSET	このイベント・バインディングのイベント処理アダプター・セット。 イベント・バインディングが EPADAPTER を使用している場合、このフィールドはブランクです。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。

表 6. EVNTBIND ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
名前	NAME	このイベント・バインディングの名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
ユーザー・タグ	USERTAG	イベント・バインディングの 8 文字のユーザー・タグを戻します。

イベント・キャプチャー仕様 - EVCSPEC

「イベント・キャプチャー仕様」(EVCSPEC) には、インストールされた EVENTBINDING 内のキャプチャー仕様に関する情報および統計が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「アプリケーション操作ビュー」 > 「イベント・キャプチャー仕様」

表 7. 提供された「イベント・キャプチャー仕様」(EVCSPEC) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント・キャプチャー仕様 EYUSTARTEVCSPEC.DETAILED	選択されたイベント・キャプチャー仕様の詳細情報。
イベント・キャプチャー仕様 EYUSTARTEVCSPEC.TABULAR	イベント・キャプチャー仕様に関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キャプチャー・ポイント	CAPTUREPOINT	キャプチャー仕様に関連付けられたキャプチャー・ポイントを受信するための 25 文字のデータ域を指定します。その内容は、イベント・バインディング・ツールのキャプチャー・ポイント・エントリーのいずれかと一致します。2 つ以上の単語で構成されるキャプチャー・ポイント項目は、下線で区切られます (例えば、LINK_PROGRAM または PROGRAM_INITIATION)。
キャプチャー仕様名	CAPTURESPEC	EVENTBINDING 内のこのキャプチャー仕様の名前。名前の長さは、最大 32 文字です。
キャプチャー・ポイント・タイプ	CAPTURETYPE	<p>キャプチャー・ポイントのタイプを示す CVDA 値を受信するための、フルワード・バイナリーデータ域を指定します。有効な値は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> PRECOMMAND <ul style="list-style-type: none"> キャプチャー・ポイントは、CICS API コマンドの開始時点にあります。 POSTCOMMAND <ul style="list-style-type: none"> キャプチャー・ポイントは、CICS API コマンドの終点にあります。 PROGRAMINIT <ul style="list-style-type: none"> キャプチャー・ポイントはプログラムの開始点にあります。 SYSTEM <ul style="list-style-type: none"> キャプチャー・ポイントはシステム・イベントです。

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現行プログラム・フィルターの値	CURRPGM	現在のプログラム名のアプリケーション・コンテキスト述部により指定される値を受け取るデータ域です。
現行プログラム・フィルターの演算子	CURRPGMOP	<p>現在のプログラム名のアプリケーション・コンテキスト述部が評価されるときに、CURRENT の値と一緒に使用される演算子。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLVALUES <ul style="list-style-type: none"> – 述部は常に真と評価されます。つまり、現在のプログラム名に基づくフィルター操作は行われません。 • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名の先頭が CURRPGM の値ではない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値と等しい場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名が CURRPGM の値より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在のプログラム名の先頭が CURRPGM の値である場合に真と評価されます。
現行トランザクション ID フィルターの値	CURRTRANID	現在のトランザクション名のアプリケーション・コンテキスト述部により指定される値を受け取るデータ域です。

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
現行トランザクション ID フィルターの演算子	CURRTRANIDOP	<p>現在のトランザクション名のアプリケーション・コンテキスト述部が評価されるときに、CURRTRANID の値と一緒に使用される演算子。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLVALUES <ul style="list-style-type: none"> – 述部は常に真と評価されます。つまり、現在のトランザクション名に基づくフィルター操作は行われません。 • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前の先頭が CURRTRANID の値ではない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値と等しい場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前が CURRTRANID の値より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、現在実行中のトランザクションの名前の先頭が CURRTRANID の値である場合に真と評価されます。
現行ユーザー ID フィルターの値	CURRUSERID	現在のトランザクションに関連するユーザー ID のデータ域です。

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
現行ユーザー ID フィルターの演算子	CURRUSERIDOP	<p>ユーザー ID のアプリケーション・コンテキスト述部が評価されるときに、CURRUSERID の値と一緒に使用される演算子。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLVALUES <ul style="list-style-type: none"> - 述部は常に真と評価されます。つまり、現在のユーザー ID 名に基づくフィルター操作は行われません。 • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID の先頭が CURRUSERID の値ではない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値と等しい場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID が CURRUSERID の値より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> - 述部は、現行ユーザーのユーザー ID の先頭が CURRUSERID の値である場合に真と評価されます。
イベント・バインディング名	EVENTBINDING	関連するイベント・バインディングの名前 (1 から 32 文字) を指定します。
イベント名	EVENTNAME	関連するビジネス・イベント名を受信する 32 文字のデータ域を指定します。
キャプチャー失敗	EVNTCAPFAIL	キャプチャー仕様によって記録されたキャプチャー失敗の数。
キャプチャーされたイベント	EVNTCAPTURED	キャプチャーされたイベントの数
データ述部数	NUMDATAPRED	このキャプチャー仕様に関連するデータ述部の数です。
情報源数	NUMINFOSRCE	このキャプチャー仕様に関連する情報源の数です。
オプション述部数	NUMOPTPRED	このキャプチャー仕様に関連するオプション述部の数です。
1 次述部フィルターの値	PRIMPRED	キャプチャー仕様の主述部用データ域です。

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
1 次述部フィルターの演算子	PRIMPREDOP	<p>1 次述部が評価されるときに、PRIMPRED の値と一緒に使用される演算子。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLVALUES <ul style="list-style-type: none"> – 述部は常に真と評価されます。つまり、コマンド・リソース名に基づくフィルター操作は行われません。 • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースの先頭が PRIMPRED の値ではない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値と等しい場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースが PRIMPRED の値より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、EXEC CICS コマンドにより指定されるリソースの先頭が PRIMPRED の値である場合に真と評価されます。

表 8. EVCSPEC ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
1 次述部のタイプ	PRIMPREDTYPE	<p>このキャプチャー仕様の 1 次述部のタイプ。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> CONTAINER <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS コンテナです。 CURRENTPGM <ul style="list-style-type: none"> 主述部は現在のプログラム名です。 EVENT <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS イベントです。 FILE <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS FILE です。 MAP <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS BMS マップです。 MESSAGEID <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS または CPSM のメッセージ ID です。 なし <ul style="list-style-type: none"> キャプチャー仕様に主述部がありません。 PROGRAM <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS プログラム名です。 SERVICE <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS サービスまたは WEBSERVICE リソースです。 TDQUEUE <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS 一時データ・キューです。 TRANCLASS <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS トランザクション・クラス名です。 TRANSACTION <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS トランザクション ID です。 TSQUEUE <ul style="list-style-type: none"> 主述部は CICS 一時ストレージ・キューです。

イベント・キャプチャー仕様データ述部 - EVCSDATA

「イベント・キャプチャー仕様データ述部」(EVCSDATA) には、インストール済みの EVENTBINDING のキャプチャー仕様に関連したデータ述部に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「アプリケーション操作ビュー」 > 「イベント・キャプチャー仕様データ述部」

表 9. 提供された「イベント・キャプチャー仕様データ述部」(EVCSDATA) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント・キャプチャー仕様データ述部 EYUSTARTEVCSDATA.TABULAR	イベント・キャプチャー仕様データ述部に関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 10. EVCSDATA ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キャプチャー仕様名	CAPTURESPEC	関連するキャプチャー仕様の名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
コンテナ名	CONTAINER	LOCATION が CHANNEL または FROMCHANNEL である場合に、データを含むコンテナの名前を受け取るデータ域を指定します。
イベント・バインディング名	EVENTBINDING	関連するイベント・バインディングの名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
フィールド長	FIELDLENGTH	この述部に対してテストされるデータの長さを指定します。
データ・ソース内のデータ・オフセット	FIELDOFFSET	この述部が検出されたデータ・ソース内のデータ・オフセットを指定します。
言語構造ファイル名	FILENAME	この述部を定義するために使用されるインポートされた言語構造を含むファイル名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。
アプリケーション・データ述部値	FILTERVALUE	アプリケーション・データ述部の値を受け取るための 255 文字のデータ域を指定します。文字以外の述部は、対応する文字表現に変換されます。
データの場所	LOCATION	テスト対象のデータの場所を受け取るデータ域を指定します。

表 10. EVCSDATA ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
この述部の比較演算子	OPERATOR	<p>述部を評価するときに、FILTERVALUE オプション内の値とともに使用される演算子を定義する CVDA を返します。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> – この述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTEXIST <ul style="list-style-type: none"> – このデータ述部は、LOCATION により特定されるデータ・ソースが存在しない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値の先頭が FILTERVALUE でない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE と等しい場合に真と評価されます。 • EXISTS <ul style="list-style-type: none"> – このデータ述部は、LOCATION により特定されるデータ・ソースが存在する場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE 以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE 以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値が FILTERVALUE より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、LOCATION、FIELDOFFSET、および FIELDLENGTH により定義されるデータ項目の値の先頭が FILTERVALUE である場合に真と評価されます。
ブラウズ順序番号	SEQNUMBER	この数値は、EXEC CICS INQUIRE NEXT インターフェース 使用時に述部リソースが返された順序を示します。
言語構造名	STRUCTNAME	この述部を定義するために使用されるインポートされた言語構造名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。
言語構造変数名	VARIABLENAME	インポートされた言語構造に含まれる変数名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。

イベント・キャプチャー仕様情報源 - EVCSINFO

「イベント・キャプチャー仕様情報源」(EVCSINFO) には、インストール済みの EVENTBINDING のキャプチャー仕様に関連した情報源に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**アプリケーション操作ビュー (Application operations views)**」 > 「**イベント・キャプチャー仕様の情報源 (Event capture specification information sources)**」

表 11. 提供された「イベント・キャプチャー仕様情報源」(EVCSINFO) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント・キャプチャー仕様情報源 EYUSTARTEVCSINFO.DETAILED	イベント・キャプチャー仕様データ述部の詳細情報。
イベント・キャプチャー仕様情報源 EYUSTARTEVCSINFO.TABULAR	イベント・キャプチャー仕様情報源に関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 12. EVCSINFO ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キャプチャー仕様名	CAPTURESPEC	関連するキャプチャー仕様の名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
コンテナ名	CONTAINER	LOCATION が CHANNEL または FROMCHANNEL である場合に、データを含むコンテナの名前を受け取るデータ域を指定します。
イベント・バインディング名	EVENTBINDING	関連するイベント・バインディングの名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
フィールド長	FIELDLENGTH	この述部によりテストされるデータの長さを指定します。
データ・ソース内のデータ・オフセット	FIELDOFFSET	キャプチャーされるデータ・ソース内のデータ・オフセットを指定します。
言語構造ファイル名	FILENAME	この情報源を定義するために使用されるインポートされた言語構造を含むファイル名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。システム・イベントの場合、またはインポートされた言語構造がアプリケーション・イベントの定義に使用されなかった場合はすべてブランクになります。
発行済みビジネス情報名	ITEMNAME	発行されたビジネス情報名の値を受け取るデータ域を指定します。
データの場所	LOCATION	テスト対象のデータの場所を受け取るデータ域を指定します。
ブラウズ順序番号	SEQNUMBER	この数値は、EXEC CICS INQUIRE NEXT インターフェース 使用時に述部リソースが返された順序を示します。
言語構造名	STRUCTNAME	インポートされた言語構造名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。
言語構造変数名	VARIABLENAME	言語構造名に含まれる変数名の最初の 32 文字を受け取るデータ域を指定します。

イベント・キャプチャー仕様オプション述部 - EVCSOPT

「イベント・キャプチャー仕様オプション述部」(EVCSOPT) ビューには、インストール済みの EVENTBINDING のキャプチャー仕様に関連したオプション述部に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「アプリケーション操作ビュー (Application operations views)」 > 「イベント・キャプチャー仕様のオプション述部 (Event capture specification option predicates)」

表 13. 提供された「イベント・キャプチャー仕様オプション述部」(EVCSOPT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント・キャプチャー仕様オプション述部 EYUSTARTEVCSOPT.TABULAR	イベント・キャプチャー仕様オプション述部に関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 14. EVCSOPT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キャプチャー仕様名	CAPTURESPEC	関連するキャプチャー仕様の名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
イベント・バインディング名	EVENTBINDING	このイベント・バインディングの名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
フィルター値	FILTERVALUE	アプリケーション・コマンド・オプションまたはシステム・イベント・オプションの値を受け取るための 255 文字のデータ域を指定します。255 文字より短い値には、ブランクが埋め込まれます。

表 14. EVCSOPT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
この述部の比較演算子	OPERATOR	<p>述部を評価するときに、FILTERVALUE オプション内の値とともに使用される演算子を定義する CVDA を返します。使用可能な CVDA の値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DOESNOTEQUAL <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE と等しくない場合に真と評価されます。 • DOESNOTEXIST <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME が EXEC CICS コマンドで指定されていない場合に真と評価されます。 • DOESNOTSTART <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値の先頭が FILTERVALUE でない場合に真と評価されます。 • EQUALS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE と等しい場合に真と評価されます。 • EXISTS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME が EXEC CICS コマンドで指定されている場合に真と評価されます。 • GOHIGHERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、しきい値オプションの値が FILTERVALUE で返されるしきい値パーセントを超えた場合に真と評価されます。 • GOLOWERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、しきい値オプションの値が FILTERVALUE で返されるしきい値パーセントを下回った場合に真と評価されます。 • GREATERTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE より大きい場合に真と評価されます。 • ISNOTGREATER <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE 以下である場合に真と評価されます。 • ISNOTLESS <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE 以上である場合に真と評価されます。 • LESSTHAN <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値が FILTERVALUE より小さい場合に真と評価されます。 • STARTSWITH <ul style="list-style-type: none"> – 述部は、オプション OPTIONNAME の値の先頭が FILTERVALUE である場合に真と評価されます。
オプション名	OPTIONNAME	<p>イベント仕様で指定されるアプリケーション・コマンド・オプションまたはシステム・イベント・オプションの名前を受け取る 32 文字のデータ域を指定します。CICS イベント・バインディング・エディターを使用する場合、この値は、アプリケーション・イベントのキャプチャー・ポイントのいずれかのアプリケーション・オプション、またはシステム・イベントのキャプチャー・ポイントのいずれかのイベント・オプションに一致します。</p>
ブラウズ順序番号	SEQNUMBER	<p>この数値は、EXEC CICS INQUIRE NEXT インターフェース 使用時に述部リソースが返された順序を示します。</p>

イベント処理 - EVNTGBL

「イベント処理」(EVNTGBL) ビューには、イベント処理に関する統計情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**アプリケーション操作ビュー (Application operations views)**」 > 「**イベント処理 (Event processing)**」

表 15. 提供された「イベント処理」(EVNTGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント処理 EYUSTARTEVNTGBL.DETAILED	イベント処理の詳細情報
イベント処理 EYUSTARTEVNTGBL.DRAIN	イベント処理のドレーンを行います。
イベント処理 EYUSTARTEVNTGBL.START	イベント処理を開始します。
イベント処理 EYUSTARTEVNTGBL.STOP	イベント処理を停止します。
イベント処理 EYUSTARTEVNTGBL.TABULAR	イベント処理に関するテーブル形式の情報。

アクション

表 16. EVNTGBL ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DRAIN	イベント処理のドレーンを行います。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
START	イベント処理を開始します。
STOP	イベント処理を停止します。

フィールド

表 17. EVNTGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
イベント処理状況	EPSTATUS	イベント処理の現在の状況を示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• DRAIN<ul style="list-style-type: none">－ イベント処理はドレーンされています• STARTED<ul style="list-style-type: none">－ イベント処理は開始されています• STOPPED<ul style="list-style-type: none">－ イベント処理は停止されています
コミット・バックワード・イベント数	EVNTBACKOUT	EP ディスパッチャー・キュー上の commit_event バックワード要求の数。
失敗したキャプチャー操作	EVNTCAPOPSF	イベントが要求されてもそのキャプチャーに失敗したと CICS が判別したため、完了しなかったキャプチャー操作の数。
コミット・フォワード・イベント数	EVNTCOMMIT	EP ディスパッチャー・キュー上の commit_event フォワード要求の数。
現在のディスパッチャー・タスク	EVNTCURRDSP	ディスパッチャー・タスクの現在の数。
現行イベント・キャプチャー・キュー	EVNTCURREVQ	イベント・キャプチャー・キュー上のイベントの現在の数。

表 17. EVNTGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現行トランザクション・キュー	EVNTCURRTRQ	トランザクション・キュー上のイベントの現在の数。
カスタム EP アダプターへのイベント	EVNTCUSTAD	カスタム EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
使用不可になった EVENTBINDING のあるイベント	EVNTDISABLE	イベント・バインディングが使用不可のためキャプチャーされなかったイベントの数。
EP ドメイン統計 ID	EVNTDOMSTID	EP ドメイン統計 ID。
失われたイベント (ディスパッチャー) - 構成	EVNTDSPFAILC	イベント・バインディングの eventDispatcherPolicy セクションに指定されているリソースに関連した問題がディスパッチャーに発生したため、キャプチャーされても EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。
失われたイベント (ディスパッチャー) - その他	EVNTDSPFAILO	ストレージ不足など CICS 環境の問題がディスパッチャーに発生したため、キャプチャーされても EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。
キャプチャーされたイベント	EVNTFILTCAP	キャプチャーされたイベントの数。
イベント・フィルター 操作	EVNTFILTOPS	イベント・フィルター 操作の数。
失敗したフィルター 操作	EVNTFILTOPSF	イベントがキャプチャーされることが必要だったかどうか CICS が判別できなかったため、完了しなかったフィルター 操作の数。
HTTP EP アダプターへのイベント	EVNTHHTPCNT	HTTP EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
失われたイベント - 使用できないアダプター	EVNTLOSTAU	EP アダプターが使用できなかったために、キャプチャーされても発行されなかったイベントの数。
失われたイベント (アダプター) - 構成	EVNTLOSTCO	イベント・バインディングの eventDispatcherAdapter 構成セクションに指定されているリソースに関連した問題が EP アダプターに発生したため、キャプチャーされても発行されなかったイベントの数。
失われたイベント (アダプター) - その他	EVNTLOSTOT	ストレージ不足など CICS 環境の問題が EP アダプターに発生したため、キャプチャーされても発行されなかったイベントの数。
WebSphere MQ EP アダプターへのイベント	EVNTMQADAPT	WebSphere MQ EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
非同期通常イベント数	EVNTNORM	通常優先順位イベントの数。
ピーク・ディスパッチャー・タスク	EVNTPEAKDSP	ディスパッチャー・タスクの最大数。
ピーク・イベント・キャプチャー・キュー	EVNTPEAKEVQ	イベント・キャプチャー・キュー上のイベントの最大数。
ピーク・トランザクション・キュー	EVNTPEAKTRQ	トランザクション・キュー上のイベントの最大数。
非同期優先イベント数	EVNTPRIO	高優先順位イベントの数。
Put イベント	EVNTPUT	EP ディスパッチャー・キュー上の put_events の数。
同期イベント	EVNTSYNCCAP	キャプチャーされた同期発行イベント。
同期イベントの失敗	EVNTSYNCFAIL	発行できなかった同期発行イベント。
システム・イベントの合計キャプチャー数	EVNTSYSCAP	収集されたシステム・イベントの数。
Tdqueue EP アダプターへのイベント	EVNTTDQSTAT	Tdqueue EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
トランザクション・イベント	EVNTTRAN	トランザクション・イベントの数。
接続されたディスパッチャー・タスク	EVNTTRANATT	付加されたディスパッチャー・タスクの数。
廃棄されたトランザクション・イベント	EVNTTRANDIS	破棄されたトランザクション・イベントの数。

表 17. EVNTGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
トランザクション EP アダプターへのイベント	EVNTTRANSAD	トランザクション EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
Tsqueue EP アダプターへのイベント	EVNTTSQSTAT	Tsqueue EP アダプターにディスパッチされたイベントの数。
サポートされている最も高いスキーマ・レベル	SCHEMALEVEL	サポートされている最も高いスキーマ・バージョンとリリース。値の形式は vvrr で、0201 はバージョン 2 リリース 1 を示します。

イベント処理アダプター - EPADAPT

「イベント処理アダプター」(EPADAPT) ビューには、指定したイベント処理アダプターに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**アプリケーション操作ビュー (Application operations views)**」 > 「**イベント処理アダプター (Event processing adapter)**」

表 18. 提供された「イベント処理アダプター」(EPADAPT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.DETAILED	選択したイベント処理アダプターの詳細情報。
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.DETAILED1	イベント処理アダプター・リソース・シグニチャーの詳細情報。
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.DISABLE	イベント処理アダプターを無効にします。無効にすると、イベント処理アダプターとそれに関連するリソースが CICS で使用不可になります。
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.ENABLE	イベント処理アダプターを有効にします。有効にすると、イベント処理アダプターとそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
イベント処理アダプター EYUSTARTEPADAPT.TABULAR	イベント処理アダプターに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 19. EPADAPT ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	イベント処理アダプターを無効にします。無効にすると、イベント処理アダプターとそれに関連するリソースが CICS で使用不可になります。
ENABLE	イベント処理アダプターを有効にします。有効にすると、イベント処理アダプターとそれに関連するリソースが CICS で使用可能になります。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 20. EPADAPT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アダプター・タイプ	ADAPTERTYPE	<p>EPADAPTER のタイプを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> CUSTOM <ul style="list-style-type: none"> 任意の宛先に対して、必要な任意のフォーマットでイベントを発行する、ユーザー作成のイベント処理アダプターです。 HTTP <ul style="list-style-type: none"> HTTP サーバーにイベントを出力する IBM 提供の HTTP イベント処理アダプターです。IBM Operational Decision Manager や IBM Business Monitor などの製品でそれらのイベントをコンシュームできます。 TDQUEUE <ul style="list-style-type: none"> 指定された CICS TD キューにイベントを出力する IBM 提供の TDQ イベント処理アダプターです。 TRANSTART <ul style="list-style-type: none"> 指定された CICS トランザクションにイベントを発行する IBM 提供のトランザクション開始イベント処理アダプターです。 TSQUEUE <ul style="list-style-type: none"> 指定された CICS TS キューにイベントを発行する IBM 提供の TSQ イベント処理アダプターです。 IBM MQ <ul style="list-style-type: none"> IBM MQ Queue にイベントを出力する IBM 提供の IBM MQ イベント処理アダプターです。IBM Operational Decision Manager や IBM Business Monitor などの製品でそれらのイベントをコンシュームできます。
権限	AUTHORITY	<p>このイベント処理アダプターの権限を示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> CONTEXT <ul style="list-style-type: none"> イベント処理アダプターは、イベントがキャプチャーされる原因となったタスクのユーザー ID を使用して実行されます。EMITMODE が SYNCHRONOUS の場合や、イベント処理アダプターで「コンテキスト・ユーザー ID を使用」が指定されている場合は、常にこの動作になります。 REGION <ul style="list-style-type: none"> イベント処理アダプターは CICS 領域ユーザー ID を使用して実行されます。 USERID <ul style="list-style-type: none"> イベント処理アダプターは、イベント処理アダプターの「ユーザー ID」で指定された ID を使用して接続され、AUTHUSERID 属性内で返されます。 DEFAULT <ul style="list-style-type: none"> EP アダプターは、CICS のデフォルトのユーザー ID で実行されます。
権限ユーザー ID	AUTHUSERID	<p>イベント処理アダプターのトランザクションを開始するために使用する 8 文字のユーザー ID。この属性は、AUTHORITY が USERID の場合にのみ設定されます。</p>
バンドル名	BUNDLE	<p>イベント処理アダプターのインストール元バンドルの名前。</p>

表 20. EPADAPT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドによりインストールされました。 • NOTAPPLIC - このフィールドは、このリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
イベント処理アダプターの構成データ	CONFIGDATA1	<p>イベント処理アダプターの 1 次構成データ項目が含まれている 64 文字のデータ域。1 次構成データ項目が 64 バイトより小さい場合は、このフィールドにブランクが埋め込まれます。返されるデータ項目は、次のように ADAPTERTYPE に依存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CUSTOM <ul style="list-style-type: none"> – カスタム・イベント処理アダプター 構成データの最初の 64 バイトです。 • HTTP <ul style="list-style-type: none"> – HTTP サーバーを見つけるために HTTP イベント処理アダプターによって使用される URIMAP 定義の 8 文字の名前です。 • TDQ <ul style="list-style-type: none"> – TDQ イベント処理アダプターから出力されるイベント用の一時データ・キューの 4 文字の名前です。 • TRANSTART <ul style="list-style-type: none"> – トランザクション開始イベント処理アダプターにより開始されるイベント・コンシューマー・トランザクションの 4 文字の名前です。 • TSQ <ul style="list-style-type: none"> – TSQ イベント処理アダプターにより発行されるイベント用の一時ストレージ・キューの 16 文字の名前です。 • IBM MQ <ul style="list-style-type: none"> – この IBM MQ イベント処理アダプターにより発行されるイベント・メッセージ用の IBM MQ キューの 48 文字の名前です。このデータは、LOCALCCSID システム 初期設定パラメーターにより定義されるコード・ページに含まれます。

表 20. EPADAPT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
イベント・フォーマット	DATAFORMAT	<p>このイベント処理アダプターによって発行されたイベントの形式。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USER <ul style="list-style-type: none"> – フォーマットはユーザーにより定義されます。 • CBER <ul style="list-style-type: none"> – IBM Business Monitor REST HTTP サーバーの Common Base Event REST フォーマットです。 • CBE <ul style="list-style-type: none"> – IBM Business Monitor などの製品でのコンシュームのための Common Base Event フォーマットです。 • CCE <ul style="list-style-type: none"> – CICS コンテナ・イベント・フォーマットです。 • CFE <ul style="list-style-type: none"> – CICS フラット化イベント・フォーマットです。 • DSIE <ul style="list-style-type: none"> – Decision Server Insights イベント・フォーマットです。 • WBE <ul style="list-style-type: none"> – WebSphere ビジネス・イベント XML フォーマットです。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
発行モード	EMITMODE	<p>このイベント処理アダプターのイベント発行モード。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASYNCHRONOUS <ul style="list-style-type: none"> – イベント発行は、キャプチャー・トランザクションとは非同期的です。イベントが発行されなくても、キャプチャー・トランザクションの作業単位は、正常に完了する場合があります。 • SYNCHRONOUS <ul style="list-style-type: none"> – イベント発行は、キャプチャー・トランザクションと同期的です。イベントが発行されなければ、キャプチャー・トランザクションの作業単位は、正常に完了しません。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>イベント処理アダプターが有効かどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – イベント・バインディングは無効です。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – イベント・バインディングは有効です。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
呼び出しタイプ	INVOKETYPE	<p>イベント処理アダプターの呼び出し方法を示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ATTACH <ul style="list-style-type: none"> – イベント処理アダプターは、個別のタスクとして接続されます。 • LINK <ul style="list-style-type: none"> – イベント処理アダプター・プログラムのリンク先です。

表 20. EPADAPT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
名前	NAME	このイベント処理アダプターの名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
優先順位	PRIORITY	このイベント処理アダプターのイベント発行のディスパッチング優先順位を示します。EMITMODE が SYNCHRONOUS であれば、この属性は無視されます。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • HIGH <ul style="list-style-type: none"> – このイベント処理アダプターに対して発行されるイベントは優先順位が高くなります。 • NORMAL <ul style="list-style-type: none"> – このイベント処理アダプターに対して発行されるイベントは通常優先順位です。
プログラム	PROGRAM	イベント処理アダプター・プログラムの 8 文字の名前。ADAPTERTYPE が CUSTOM の場合、この属性は INVOKETYPE が LINK の場合にのみ適用されます。
イベントの発行数	PUTEVENTS	このイベント処理アダプターにより発行されたイベントの数です。
トランザクション	TRANSACTION	イベント処理アダプターのトランザクションに接続した場合に使用されるトランザクション定義の 4 文字の名前。TRANSACTION 属性は INVOKETYPE が ATTACH の場合にのみ適用されます。
トランザクション性	TRANSMODE	このイベント処理アダプターのイベント・トランザクション性属性を示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • NONTRANS <ul style="list-style-type: none"> – イベントはトランザクションではありません。キャプチャー・トランザクションの作業単位が正常に完了したかどうかにかかわらず、イベントを発行できます。 • TRANS <ul style="list-style-type: none"> – イベントには、トランザクション性があります。イベントを発行できるのは、キャプチャー・トランザクションの作業単位が正常に完了した場合に限られます。

XML 変換 - XMLTRANS

「XML 変換」(XMLTRANS) ビューには、指定された XML 変換に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「アプリケーション操作ビュー」 > 「XML 変換」

表 21. 提供された「XML 変換」(XMLTRANS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
XML 変換 EYUSTARTXMLTRANS.DETAILED	選択された XML 変換の詳細情報。
XML 変換 EYUSTARTXMLTRANS.DETAILED1	XML 変換リソース・シグニチャーの詳細情報。
XML 変換 EYUSTARTXMLTRANS.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
XML 変換 EYUSTARTXMLTRANS.TABULAR	XML 変換に関するテーブル形式の情報。

アクション

表 22. XMLTRANS ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 23. XMLTRANS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	バンドル定義の BAS バージョン番号。
バンドル名	BUNDLE	インストールされる XML 変換が含まれる元のバンドル名。
コード化文字セット ID	CCSID	実行時にアプリケーション・データ構造内の文字データをエンコードするために使用されるコード化文字セット ID (CCSID)。この値は、XML バインディング・ファイルが生成されたときの、XML 支援機能のオプションの CCSID パラメーターを使用して設定されます。CCSID は 8 文字までの値です。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは、ATOMSERVICE リソースによって定義されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>XML 変換の状態を示す CVDA を戻します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – XML 変換は使用可能になっていません。 • DISABLING <ul style="list-style-type: none"> – XML 変換は、使用不可にするための処理中です。今後使用することはできませんが、未完了のアクティビティは完了できます。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – XML 変換は使用可能です。 • ENABLING <ul style="list-style-type: none"> – XML 変換は、使用可能にするための処理中です。

表 23. XMLTRANS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。 DYNAMIC - リソースは、ATOMSERVICE リソースによってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
マッピング・レベル	MAPPINGLEVEL	XML バインディング・ファイルの作成時に使用されたマッピング・レベル。
マッピング・リリース番号	MAPPINGRNUM	XML バインディング・ファイルの生成時に使用されたマッピング・レベルのリリース番号。リリース番号の値は、0、1、または 2 です。
マッピング・バージョン番号	MAPPINGVNUM	XML バインディング・ファイルの生成時に使用されたマッピング・レベルのバージョン番号。バージョン番号の値は、1、2、3、4 のいずれかです。
最小ランタイム・レベル	MINRUNLEVEL	CICS で XML 変換をインストールするのに必要な最小ランタイム・レベル。
最小ランタイム・リリース番号	MINRUNRNUM	CICS で XML 変換をインストールするのに必要な最小ランタイム・レベルのリリース番号。
最小ランタイム・バージョン番号	MINRUNVNUM	CICS で XMLTRANSFORM をインストールするのに必要な最小ランタイム・レベルのバージョン番号。
名前	NAME	この XML 変換の名前を指定します。名前の長さは、最大 32 文字です。
使用回数	USECOUNT	XML 変換が使用された回数。
妥当性検査状況	VALIDATIONST	XML 変換リソースについて、完全妥当性検査が使用可能かどうかを指定します。CVDA 値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> VALIDATION <ul style="list-style-type: none"> 完全な妥当性検査が使用可能です。 NOVALIDATION <ul style="list-style-type: none"> 完全な妥当性検査は使用不可です。
XML スキーマ	XMLSCHEMA	関連付けられた XML スキーマ・ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
XSD バインディング	XSDBIND	XML バインディング・ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。

CICS ビジネス・トランザクション・サービス (BTS) 操作ビュー

「CICS ビジネス・トランザクション・サービス」(BTS) ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の BTS プロセスおよび活動に関する情報が示されます。

プロセス・タイプ - PROCTYP

「プロセス・タイプ」(PROCTYP) ビューには、BTS プロセス・タイプとその属性に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS ビジネス・トランザクション・サービス (BTS) 操作ビュー」 > 「プロセス・タイプ」

表 24. 提供された「プロセス・タイプ」(PROCTYP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.DETAILED	選択したプロセス・タイプに関する詳細情報
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.DISABLE	プロセス・タイプの状況を DISABLED に変更します。
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.DISCARD	プロセス・タイプをインストール先の CICS システムから破棄します。プロセス・タイプは、破棄する前に無効にしないでください。
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.ENABLE	プロセス・タイプを使用可能にします。
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.SET	選択したプロセス・タイプの属性を変更するには、「プロセス・タイプ設定」ビューを開きます。
プロセス・タイプ EYUSTARTPROCTYP.TABULAR	BTS プロセス・タイプとその属性に関する一般情報

アクション

表 25. PROCTYP ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	プロセス・タイプの状況を DISABLED に変更します。
DISCARD	プロセス・タイプをインストール先の CICS システムから破棄します。プロセス・タイプは、破棄する前に無効にしないでください。
ENABLE	プロセス・タイプを使用可能にします。
SET	選択したプロセス・タイプの属性を変更するには、「プロセス・タイプ設定」ビューを開きます。

フィールド

表 26. PROCTYP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
監査レベル	AUDITLEV	現在の定義に関連付けられている監査レベル。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> OFF - 監査情報は書き込まれません FULL - 処理とアクティビティの監査 PROCESS- 処理ベースの監査 ACTIVITY - アクティビティ・ベースの監査
監査ログ名	AUDITLOG	このプロセス・タイプに使用される監査ログの名前。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 26. PROCTYP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENASTAT	CICS BTS プロセス・タイプの使用可能状況。有効な値は ENABLED または DISABLED です。
ファイル名 (File name)	FILE	この CICS BTS プロセス・タイプがプロセス状況データを保管するために使用するファイルの名前。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
BTS プロセス・タイプ	NAME	CICS BTS プロセス・タイプの名前。

CICS 領域操作ビュー

「CICS 領域操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS システムに関する情報が表示されます。

CICS 領域 - CICSRRGN

「**CICS 領域**」(CICSRRGN) ビューは、CICSplex SM により管理される CICS システムについての情報を表示します。CICS システムが拡張回復機能 (XRF) 構成の一部である場合、表示される情報は構成内のアクティブな CICS システムに関するものです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**CICS 領域操作ビュー**」 > 「**CICS 領域**」

表 27. 提供された「 CICS 領域 」(CICSRGN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DELETSHIPED	選択した CICS システムから冗長端末定義を削除します。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL1	CICS 領域のトレースおよびダンプの情報に関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL10	TCB の詳細ビュー。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL2	CICS 領域のトランザクション・アクティビティに関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL3	CICS 領域の自動インストール詳細に関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL5	CICS 領域の通信および接続に関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL6	CICS 領域の設定に関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL7	CICS 領域のログギングおよびジャーナリング・アクティビティに関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL8	CICS 領域のシステム・ダンプおよびトランザクション・ダンプに関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAIL9	CICS 領域のジョブ名に関する詳細ビュー
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.DETAILED	選択した CICS システムに関する詳細な一般情報
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.RESETTIME	選択した CICS システムの内部クロックをリセットします。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SECREBUILD	CICS システムのストレージ内の外部セキュリティ・マネージャー (ESM) プロファイルがローカル・ストレージにある場合に、それらを再作成します。管理 CMAS 内にあるプロファイルのコピーも再作成されます。 注: このアクションではグローバル・ストレージにある ESM プロファイルは再作成できません。それらのプロファイルをリフレッシュするには、ESM により提供される機能を使用する必要があります。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SET	選択した CICS 領域の属性を変更します。

表 27. 提供された「CICS 領域」(CICSRGN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SHUTDOWN	<p>選択した CICS システムをシャットダウンします。</p> <p>シャットダウンのタイプ、ダンプを取るかどうか、CICS システムを自動的に再始動するかどうか、およびオプションで、使用するプログラム・リスト・テーブル (PLT) およびトランザクション・リスト・テーブル (XLT) の 2 文字の接尾部を指定します。</p> <p>シャットダウン補助トランザクション名を指定することもできます。このトランザクションは SDTRAN システム 初期設定パラメータに指定されたトランザクションを指定変更します。代替方法として、「シャットダウン補助トランザクションなし」を選択して、トランザクションなしで CICS システムをシャットダウンすることもできます。</p>
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SNAP	<p>システム・ダンプを要求します。</p> <p>1 から 8 文字のダンプ・コードを指定し、オプションで 1 から 8 文字の呼び出し元 ID と最大で 79 文字のタイトルを指定します。</p>
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SSLREBUILD	z/OS SSL 環境を再作成します。これにより鍵リング・キャッシュがリフレッシュされるため、CICS 再始動を実行せずに、新しい (または改訂された) SSL 証明書を使用できるようになります。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.STATISTICS	<p>CICS システムの統計データをシステム 管理機能 (SMF) データ・セットに要求します。</p> <p>CICS システム内のすべてのリソースの統計を要求するには、「全統計の収集」フィールドを選択します。選択したリソースの統計を要求するには、1 つ以上の個別のリソース・フィールドを選択します。統計を収集した後は、「統計カウンターのリセット」を選択してそれらをリセットできます。</p>
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.SWITCH	満杯になった場合の補助トレース・データ・セットの自動切り替えを設定します。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.TABULAR	CICS システムに関する表形式の情報。
CICS 領域 EYUSTARTCICSRGN.TABULAR1	CICS システムおよびトランザクションのダンプに関するテーブル形式の情報

アクション

表 28. CICSRGN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ARMRESTART	<p>CICS システムの MVS CANCEL を ARM 再始動を指定して要求します。このアクションは MVS CANCEL コマンドが失敗した場合でも正常に完了することに注意してください。CMAS と関連付けられたユーザー ID (API ユーザーではない) は、MVS CANCEL コマンドを正常に発行するために、適切なセキュリティ・アクセスを持っていなければなりません。</p> <p>このアクションは、SMSS では使用できません。</p>
DELETSHPED	選択した CICS システムから冗長端末定義を削除します。
RESETTIME	選択した CICS システムの内部クロックをリセットします。
SECREBUILD	CICS システムのストレージ内の外部セキュリティ・マネージャー (ESM) プロファイルがローカル・ストレージにある場合に、それらを再作成します。管理 CMAS 内にあるプロファイルのコピーも再作成されます。 注: このアクションではグローバル・ストレージにある ESM プロファイルは再作成できません。それらのプロファイルをリフレッシュするには、ESM により提供される機能を使用する必要があります。
SET	選択した CICS 領域の属性を変更します。

表 28. CICSRRGN ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
SHUTDOWN	<p>選択した CICS システムをシャットダウンします。</p> <p>シャットダウンのタイプ、ダンプを取るかどうか、CICS システムを自動的に再始動するかどうか、およびオプションで、使用するプログラム・リスト・テーブル (PLT) およびトランザクション・リスト・テーブル (XLT) の 2 文字の接尾部を指定します。</p> <p>シャットダウン補助トランザクション名を指定することもできます。このトランザクションは SDTRAN システム 初期設定パラメーターに指定されたトランザクションを指定変更します。代替方法として、「シャットダウン補助トランザクションなし」を選択して、トランザクションなしで CICS システムをシャットダウンすることもできます。</p>
SNAP	<p>システム・ダンプを要求します。</p> <p>1 から 8 文字のダンプ・コードを指定し、オプションで 1 から 8 文字の呼び出し元 ID と最大で 79 文字のタイトルを指定します。</p>
SSLREBUILD	z/OS SSL 環境を再作成します。これにより鍵リング・キャッシュがリフレッシュされるため、CICS 再始動を実行せずに、新しい (または改訂された) SSL 証明書を使用できるようになります。
STATISTICS	<p>CICS システムの統計データをシステム管理機能 (SMF) データ・セットに要求します。</p> <p>CICS システム内のすべてのリソースの統計を要求するには、「全統計の収集」フィールドを選択します。選択したリソースの統計を要求するには、1 つ以上の個別のリソース・フィールドを選択します。統計を収集した後は、「統計カウンターのリセット」を選択してそれらをリセットできます。</p>
SWITCH	満杯になった場合の補助トレース・データ・セットの自動切り替えを設定します。

フィールド

表 29. CICSRRGN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在割り当てられている HP プール TCB の数	ACTHPTCBS	現在ユーザー・タスクに割り振られている H8 モードのオープン TCB の実数。
現在割り当てられている JVM プール TCB の数	ACTJVMTCBS	ユーザー・タスクに現在割り振られている J8 および J9 モードのオープン TCB の実数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
現在割り当てられているオープン・プール TCB の数	ACTOPENTCBS	現在ユーザー・タスクに割り振られている L8 および L9 モードのオープン TCB の総数。
現在割り当てられている SSL プール TCB の数	ACTSSLTCBS	現在ユーザー・タスクに割り振られている S8 モードのオープン TCB の総数。
現在割り当てられている JVM サーバー・スレッド TCB の数	ACTTHRDTCBS	現在、有効な JVM サーバーのランタイム環境に割り振られている T8 モードのオープン TCB の総数。
現在割り当てられている XPLink プール TCB の数	ACTXPTCBS	ユーザー・タスクに現在割り振られている X8 および X9 モードのオープン TCB の総数。
AID の数	AIDCOUNT	領域内の AID の数
自動インストールの現行要求数	AINSCREQ	現在処理中の自動インストール要求数。
自動インストール要求の最大数	AINSMREQ	<p>一時点でキューに入れることのできる自動インストール要求の最大数。</p> <p>入力値: 0 から 999 まで</p>
自動インストール・プログラム名	AINSPROG	<p>このシステムの自動インストール・プロセスを制御するプログラムの名前。</p> <p>入力値: 任意の有効なプログラム名</p>
自動インストール使用可能状況	AINSTAT	自動インストール処理の状況 (ENABLED または DISABLED)。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
活動キーポイント (AKP) 頻度	AKP	活動キーポイント (AKP) トリガー値。これはキーポイント間のログギン操作の回数です。 入力値: 50 から 65535 まで このフィールドは、活動キーポイント機能が CICS システム内でアクティブでないことを意味する N/A の値が入っている場合は変更できません。
アクティブ・タスクの最大数	AMAXTASKS	システム内で同時に許可されているアクティブ・タスクの最大数。 入力値: 2 から 999 まで
VTAM アプリケーション ID	APPLID	この CICS システムの VTAM アプリケーション ID。
補助トレース状況	AUXSTATUS	この CICS システムの補助トレースの状況。 入力値: AUXSTART、AUXSTOP、AUXPAUSE
異常終了になった BMS 3270 妥当性検査エラーの数	BMSVALABCNT	BMS コマンドで無効な 3270 データを受け取り、検証 URM がタスクを打ち切った合計回数。
BMS 3270 妥当性検査	BMSVALIDATE	BMS 3270 検証が有効になっているかどうか。
無視された BMS 3270 妥当性検査エラーの数	BMSVALIGCNT	BMS コマンドで無効な 3270 データを受け取り、検証 URM が無視した合計回数。
ログに記録された BMS 3270 妥当性検査エラーの数	BMSVALLGCNT	BMS コマンドで無効な 3270 データを受け取り、検証 URM がログに記録した合計回数。
CICS 状況	CICSSTATUS	この CICS システムの現在の状況。 <ul style="list-style-type: none"> STARTUP - CICS は始動中ですが、まだ完全にアクティブになっていません。プログラムの開始に関するプログラム・リスト・テーブル (PLTPI) のプログラムは、始動中に実行されます。 FIRSTINIT - CICS は初期化の最初の段階にあります。 SECONDINIT - CICS は初期化の第 2 段階にあります。この段階は第 1 フェーズの PLTPI プログラムの実行時に一致します。これらの PLT 内のプログラムは DFHDELIM ステートメントの前に定義されます。 THIRDINIT - CICS は初期化の第 3 段階にあります。この段階は第 2 フェーズの PLTPI プログラムの実行時に一致します。これらの PLT 内のプログラムは DFHDELIM ステートメントの後に定義されます。 INITCOMPLETE - CICS 初期化が完了しました。 ACTIVE - CICS は完全にアクティブになっています。 FIRSTQUIESCE - CICS はシャットダウンの最初の静止段階にあります。シャットダウンに関するプログラム・リスト・テーブル (PLTSD) の最初の段階にあるプログラムは、この段階で実行されます。 FINALQUIESCE - CICS はシャットダウンの最後の静止段階にあります。PLTSD の 2 番目の段階のプログラムはこの段階で実行されます。 CONTROLSSHUT - CICS はウォーム・キーポイントによる通常シャットダウン中です。 SHUTDOWN - CICS は即時シャットダウン中です。 CANCELLED - CICS は非制御のシャットダウン中です。
CICS オペレーティング・システム ID	CICSSYS	CICS オペレーティング・システム識別コード。
コマンド保護状況	CMDPROTECT	CICS コマンドから渡される開始アドレスを検証するコマンド保護がアクティブであるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> CMDPROT - コマンド保護はアクティブです。 NOCMDPROT - コマンド保護は非アクティブです。
コールド・スタートの状況	COLDSTATUS	システムのコールド・スタート状態 (COLD、INITIAL、または NOTAPPLIC)。

表 29. CICS/SGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
自動インストール・コンソール状況	CONSOLES	CICS が MVS MODIFY コマンドを現在定義されていないコンソールから受け取った場合に、MVS コンソールを自動インストールするかどうかを示します。 入力値: NOAUTO、FULLAUTO、PROGAUTO
分離会話型タスク・パフォーマンス・レコード	CONVERSEST	会話型タスクが端末入出力要求の各ペアに対して生成された個別のパフォーマンス・クラス・レコードを持つかどうかを示します。 入力値: CONVERSE、NOCONVERSE
合計 CPU 使用時間	CPUTIME	開始時からこの CICS により使用された CPU 時間の合計 (秒数)。
CICS Transaction Server レベル	CTSLEVEL	この CICS システムが実行している CICS Transaction Server のレベル。
現在アクティブなユーザー・トランザクション数	CURACTVUSRTR	現在トランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクション数。
現行補助トレース・データ・セット	CURAUADS	現在の補助トレース・データ・セット (A または B) を示します。
現在キューに入れられているユーザー・トランザクション数	CURQUEDUSRTR	キューに入れられてトランザクション・クラスに入れられることを待機しているユーザー・トランザクションの数。
現在キューに入れられているトランザクションの待ち時間	CURQUETIME	現在キューに入れられているトランザクションがこのトランザクション・クラスの待機に費やした合計時間。
ディスパッチに適格な現在のユーザー・タスク数	CURRAMAX	ディスパッチングに適格な現在のユーザー・タスク数。
現行ダンプ・データ・セット	CURRENTDDS	どちらのダンプ・データ・セット (A または B) がアクティブであるかを示します。
現在のタスク数	CURRTASKS	システム内のアクティブ・ユーザー・タスクの現在の数。 示される値は MAXTASKS の現行値を上回る場合があります。これはトランザクション・クラスの MAXTASKS 限度または MAXIMUM 限度に到達したために開始できないタスクが数に含まれているからです。
MVS タスク制御ブロック (TCB) 数	CUTCBCNT	この領域で CICS により接続されている MVS タスク制御ブロック (TCB) の数。
ダンプ・データ・セット・オープン状況	DDSOSTAT	アクティブな CICS ダンプ・データ・セットがオープンしているか、クローズしているかを示します。 入力値: OPEN、CLOSED、SWITCH
ダンプ・データ・セットの切り替えタイプ	DDSSSTAT	アクティブ・ダンプ・データ・セットが満杯になった場合に、非アクティブ・ダンプ・データ・セットへの自動切り替えがあるかどうかを示します。 入力値: SWITCHALL、SWITCHNEXT、NOSWITCH
デバッグ・プロファイル状況	DEBUGTOOL	デバッグ・ツールの制御下で実行するプログラムを選択するためにデバッグ・プロファイルを使用するかどうかを示します。デバッグ・プロファイルを使用するデバッグ・ツールは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> コンパイル言語アプリケーション・プログラム (COBOL、PL/I、C、C++、およびアセンブラで作成されたプログラム) 用のデバッグ・ツール リモート・デバッグ・ツール (コンパイル済みの言語アプリケーション・プログラムと Java™ プログラム用) CICS 実行診断機能 (CEDF) などの他のデバッグ・メカニズムは、デバッグ・プロファイルを使用しません。
デフォルト・リモート・システム	DFTREMSYS	この CICS システムのデフォルトのリモート・システム。
デフォルト・ユーザー ID	DFTUSER	CICS システムに関連付けられたデフォルトのユーザー ID。
削除するまでの最小端末アイドル時間	DSIDLE	この領域に非アクティブのシブされた端末定義がインストールされている必要がある最小時間。CICS タイムアウト削除メカニズムが呼び出されるときに、この時間より長く非アクティブであるシブされた定義だけが削除されます。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
アイドル端末チェック間隔	DSINTERVAL	CICS タイムアウト削除メカニズムの呼び出し間の間隔。タイムアウト削除メカニズムは、IDLE オプションにより表示される時間より長く未使用であった、シッパされた端末定義を削除します。
分散ルーティング・プログラム	DSRTPROGRAM	このシステム内のトランザクションの分散ルーティングを制御するプログラムの名前。
動的ルーティング・プログラム名	DTRPROGRAM	このシステム内のトランザクションの動的ルーティングを制御するプログラムの名前。 入力値: 任意の有効なプログラム名
統計終了時刻	ENDOFDAY	CICS 統計の記録の終了時刻。終了時刻に、統計カウンターは SMF データ・セットに書き込まれ、カウンターはリセットされます。終了時刻は現地時間で表示されます。 入力値: 00:00:00 - 23:59:59
SYSEVENT モニター状況	EVENTCLASS	SYSEVENT クラスの CICS モニター・データが収集されるかどうかを示します。 入力値: EVENT、NOEVENT
例外クラス・モニター状況	EXCEPTCLASS	例外クラスの CICS モニター・データが収集されるかどうかを示します。 入力値: EXCEPT、NOEXCEPT
出口ルーチン待ち時間	EXITTIME	実行できるトランザクションがない場合に CICS がオペレーティング・システムに制御を渡す最大間隔 (ミリ秒)。 入力値: 100 から 3600000 まで
外部セキュリティ状況	EXTSEC	外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がこのシステムでアクティブであるかどうかを示します。
疑似再入の強制	FORCEQR	CONCURRENCY(THREADSAFE) として指定したすべてのユーザー・アプリケーション・プログラムを、CONCURRENCY(QUASIRENT) プログラムとして指定されたかのように CICS QR TCB の下で実行するように強制するかどうかを指定します。 これにより、テスト環境で、非スレッド・セーフであることが実証された、完全にはテストされていないスレッド・セーフ・アプリケーション・プログラムを実行することができます。 FORCEQR は、タスク関連ユーザー出口、グローバル・ユーザー出口、またはユーザー置換可能モジュールとして呼び出されない、スレッド・セーフと定義されたすべてのプログラムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • FORCE - スレッド・セーフとして定義されたすべてのユーザー・プログラムは、CONCURRENCY(QUASIRENT) プログラムとして指定されたかのように、CICS QR TCB の下での実行を強制されます。 • NOFORCE - CICS はプログラム・リソース定義に定義されている CONCURRENCY(THREADSAFE) 属性を受け入れ、ユーザーのアプリケーション・プログラムが不必要な TCB 切り替えを避けて、オープン TCB 上で稼働することを許可します。
パフォーマンス記録間隔	FREQUENCY	長実行トランザクションに対して CICS がトランザクション・パフォーマンス・クラス・レコードを自動的に生成する間隔。 入力値: 0、00:15:00 - 24:00:00
WEB ドメイン不要情報収集間隔	GARBAGEINT	Web ガーベッジ・コレクション・タスクが、端末タイムアウト間隔が満了した Web 3270 状態データをクリーンアップするために実行される間隔 (分数)。 入力値: 1 から 6000 まで
Good morning メッセージ長	GMMLLENGTH	ユーザーがネイティブ CICS にサインオンするときに表示される Good morning メッセージの長さ。
Good morning メッセージ	GMMTEXT	ユーザーがネイティブ CICS にサインオンするときに表示される Good morning メッセージのテキスト。

表 29. CICS/SGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
Good morning トランザクション ID	GMMTRANID	CICS good morning トランザクションの 4 文字 ID。
CICS 登録済み総称名	GRNAME	この CICS 領域要求を VTAM に登録する汎用リソース・グループ名。
汎用リソース登録状況	GRSTATUS	<p>VTAM 汎用リソース登録の状況。</p> <p>状況を DEREGISTERED に設定する場合、親和性を終了させることが必要な場合もあります。詳しくは、「CICS Intercommunication Guide」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> DEREGERROR - 登録解除が試行されましたが失敗し、再登録の試行はありませんでした。 DEREGISTERED - 登録解除が正常に完了しました。 NOTAPPLIC - CICS は汎用リソース機能を使用していません。GRNAME が設定されていないか、ブランクに設定されています。 REGERROR - 登録が試行されましたが失敗し、登録解除の試行はありませんでした。 REGISTERED - 登録は成功し、登録解除の試行はありませんでした。 UNAVAILABLE - VTAM は汎用リソース機能をサポートしません。 UNREGISTERED - CICS は汎用リソース機能を使用していますが、現在のところ登録の試行はされていません。
汎用トレース機能 (GTF) トレース状況	GTFSTATUS	<p>MVS 汎用トレース機能 (GTF) への CICS トレースの状況。</p> <p>入力値: GTFSTART、GTFSTOP</p>
ID クラス状況	IDNTYCLASS	<p>モニターがアクティブなときに、モニター・データの ID クラスを記録するかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOIDNTY - ID データは記録されません。 IDNTY - ID データは記録されます。
初期ダンプ・データ・セット	INITIALDDS	<p>どちらのダンプ・データ・セットが次の CICS 初期化中に使用されるかを示します。値 X は、ダンプ・データ・セット (A または B) で最後の CICS シャットダウン時 (正常または異常のいずれか) に使用されなかったほうが最初にオープンされることを意味します。</p> <p>入力値: A、B、X</p>
初期設定状況	INITSTATUS	<p>CICS システムの初期設定状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> INITCOMPLETE - 初期設定が完了しました。 SECONDINIT - CICS 初期化の第 2 ステージ。 THIRDINIT - CICS 初期化の第 3 ステージ。
統計記録間隔	INTERVAL	<p>CICS 統計カウンターがその間に増分される間隔。各間隔の終わりに、累積した統計が記録され、カウンターがリセットされます。</p> <p>入力値: 00:01:00 - 24:00:00</p>
内部トレース状況	INTSTATUS	<p>この CICS システムの内部トレースの状況。</p> <p>入力値: INTSTART、INTSTOP</p>
前回の CICS 統計リセット後のトランザクション実行	INTVTRANS	前回の CICS 統計リセット以降実行したタスク数。
領域間通信 (IRC) 状況	IRCSTAT	<p>システム内の領域間通信 (IRC) の状況。</p> <p>入力値: OPEN、CLOSED、IMMCLOSE</p>
MVS ジョブ ID	JOBID	この CICS システムの MVS ジョブ ID。
MVS ジョブ名	JOBNAME	この CICS システムの MVS ジョブ名。
最後のコールド・スタート時刻	LASTCOLDTIME	最終の初期開始以降に発生した領域の最終コールド・スタート時刻。
最後の緊急始動時刻	LASTEMERTIME	最終の初期開始以降に発生した領域の最終緊急開始時刻。
最後の初期始動時刻	LASTINITTIME	領域の最終の初期開始の時刻。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
前回統計リセット時刻	LASTRESET	CICS 統計の最終リセット時刻。これは現地時間で表示されます。
最後の初期始動時以降に発生した、この領域の最後のウォーム・スタートの時刻です。	LASTWARMTIME	領域の最終ウォーム・スタートの時刻。
LIBRARY 検索順序の更新	LDGLBSOU	LIBRARY 検索順序の更新の数。
LIBRARY 検索順序の更新時間	LDGLSORT	LIBRARY 検索順序の更新に費やした時間の量。
検索順序の更新のために待機したロード要求	LDGLWSOU	LIBRARY 検索順序の更新のために待機しているプログラム・ロードの数。
最大一時停止タスク数に達した回数	LOADHWMC	中断状態のタスク最大数に達した回数。
ロード要求待ちのピーク・タスク数	LOADHWMW	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するタスクの一時点の最大数。
不使用キューにあるプログラム数	LOADPNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラム数。
ロード要求数	LOADREQS	DFHRPL ライブラリー連結、または動的プログラム LIBRARY から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。
不使用キューからの再利用回数	LOADRNIU	不使用 (NIU) キューから CICS が行った再利用回数。現在 NIU キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再利用が発生します。
合計ロード時間	LOADTIME	すべてのライブラリー・ロード要求にかかった時間。
不使用プログラムの削除に要する合計時間	LOADTNIU	トランザクション・クラス内のキューに入れられていたトランザクションを待機するために費やされた合計時間。
合計ロード待ち時間	LOADWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するのに、中断状態のタスクが費やした合計時間。
ロード要求待ちのタスク数	LOADWCNT	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを強制的に待機させられているタスクの合計数。
現在ログオンされている LU 数	LUCURR	現在ログオンしている論理ユーザーの数。
一時点ログオン LU 最大数	LUHWM	任意の一時点でログオンしている論理ユーザーの最高数。
最大 HP プール TCB 数	MAXHPTCBS	CICS にその H8 モードの TCB のプールでの付加および保守が許可されている、H8 モードのオープン TCB の最大数。
最大 JVM プール TCB 数	MAXJVMTCBS	CICS にその J8 モードの TCB のプールでの付加および保守が許可されている、J8 および J9 モードのオープン TCB の最大数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大オープン・プール TCB 数	MAXOPENTCBS	CICS 領域内に同時に存在できる L8 および L9 モードのオープン TCB の最大数。CICS Transaction Server 5.1 では、この値は CICS により設定され、変更はできません。
最大 SSL プール TCB 数	MAXSSLTCBS	CICS 領域内に同時に存在できる S8 モードのオープン TCB の最大数。
アクティブ・タスク、一時停止タスク合計の最大数	MAXTASKS	<p>システム内で同時に許可されている、アクティブおよび中断状態の両方のタスクの最大数。</p> <p>入力値: 1 から 999 まで (CICS TS バージョン 4.2 以前) または 10 から 2000 まで (CICS TS バージョン 5.1 以降)</p> <p>CICSplex SM は最小で 6 個のタスクを使用し、以下の条件によっては、16 個まで使用する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブであるリソース・モニターの数 ・アクティブであるリアルタイム分析状況定義 (STATDEF) の数 <p>フィールド内の値が、企業で実行される可能性があるすべての CICSplex SM アクティビティに対応する十分な値であることを確認してください。</p>

表 29. CICS/SGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
JVM サーバー・スレッド TCB の最大数。	MAXTHRDTCBS	CICS にその T8 モードの TCB のプールでの付加および保守が許可されている、T8 モードのオープン TCB の最大数。これは、各 JVMSERVER のスレッドの最大数の合計です (限度の 2000 まで)。JVMSERVER ごとに値 threadlimit+1 が使用されます。
MAXTASK 限度に達した回数	MAXTRCNT	MAXTASK 限度に達した回数。
最大 XPLink プール TCB 数	MAXXPTCBS	CICS 領域内に同時に存在できる X8 および X9 モードのオープン TCB の最大数。CICS Transaction Server 5.1 では、この値は CICS により設定され、変更はできません。
2 GB 境界より上のストレージの最大量	MEMLIMIT	CICS が使用できる、2 GB 境界より上のストレージの最大量。 「N/A」の値は、CICS が使用できる 2 GB 境界より上のストレージの量に制限がないことを意味します。
パフォーマンス・クラス・レコードの時間帯	MONRPTTIME	グリニッジ標準時 (GMT) または現地時間 (LOCAL) のいずれかでの、パフォーマンス・クラス・レコードのタイム・スタンプ・フォーマット。
モニター状況	MONSTAT	システム中の CICS モニターの状況。 入力値: ON、OFF
バッチ処理される MRO 要求数	MROBATCH	接続システムからの MRO 要求をいくつバッチ処理した後に、このシステムに通知を送るか。 入力値: 1 から 255 まで
MVS システム ID	MVSSYSID	この CICS が実行している MVS システムの SMF ID。
MVS システム名	MVSSYSNAME	この CICS が実行している MVS システムの名前。
次の統計記録時刻	NEXTTIME	CICS 統計が次に記録されてリセットされる時刻。この時刻は、現行間隔の有効期限または終了時刻のどちらか早く終了するほうです。これは現地時間で表示されます。
オペレーティング・システムのリリース	OPREL	CICS システムが実行しているオペレーティング・システムのリリース。
オペレーティング・システム	OPSYS	CICS システムが実行しているオペレーティング・システムの名前。
OS/390 レベル	OSLEVEL	この CICS システムが実行しているマシン上で実行している OS/390 オペレーティング・システムのレベル。このフィールドが使用可能である CICS と、OS/390 より前のレベルの MVS を実行している場合、ブランクがこのフィールドに表示されます。
ページイン要求数	PAGEIN	開始時以降この CICS により出されたページイン要求の数。
ページアウト要求数	PAGEOUT	開始時以降この CICS により出されたページアウト要求の数。
ディスパッチに適格なユーザー・タスクのピーク数	PEAKAMAX	一度に並行してディスパッチに適格なユーザー・タスクの最大数。
システム内のピーク・タスク数	PEAKTASKS	任意の一時点でシステム内で同時に実行されているタスクの最大数。
アクティブなユーザー・トランザクションのピーク数	PEKACTVUSRTR	任意の一時点でトランザクション・クラス内にあるアクティブなユーザー・トランザクションの最高数。
キューに入れられたユーザー・トランザクションのピーク数	PEKQUEDUSRTR	任意の一時点でトランザクション・クラス内にあるキューに入れられたユーザー・トランザクションの最高数。
パフォーマンス・クラス・モニター状況	PERFCLASS	パフォーマンス・クラスの CICS モニター・データが収集されるかどうかを示します。 入力値: PERF、NOPERF
最終リセット時刻	PLASTRESET	現地時間で表される最終リセット時刻。
PLTPI ユーザー ID	PLTPIUSR	CICS PLTPI を実行しているユーザー ID。
圧縮により削除されたプログラム数	PRGMRCMP	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから除去されたプログラム・インスタンス数。
プログラムの使用回数	PRGMUCNT	この CICS システムによるプログラムの使用回数。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ローダー待ち要求数	PRGMWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機する間に中断している現在のタスク数。
プログラムの自動インストール試行回数	PROGAUTOATTM	プログラムの自動インストール試行回数。
自動インストール・プログラムのカタログ・タイプ	PROGAUTOCTLG	自動インストールされたプログラム定義をカタログするかどうかを示します。 入力値: CTLGALL CTLGMODIFY、CTLGNONE
自動インストール・プログラム出口ルーチン名	PROGAUTOEXIT	モデル定義を選択または変更するためにプログラム自動インストール・コードによって呼び出されるユーザー提供プログラムの名前。デフォルト名は DFHPGADX です。
プログラムの自動インストール試行の失敗回数	PROGAUTOFAIL	プログラムの自動インストール要求の失敗回数。
プログラムの自動インストール状況	PROGAUTOINST	自動インストールがプログラムに対してアクティブかどうかを示します。 入力値: AUTOACTIVE、AUTOINACTIVE
プログラムの自動インストール要求が拒否された回数	PROGAUTOXREJ	自動インストール・プログラム要求が拒否された回数。
すでにアンバインドされている持続セッション数	PRSSERRORCNT	CICS が復元しようとしたとき、既にアンバインド済みだった持続セッション合計数。
CICS 持続セッションの照会数	PRSSINQCNT	CICS が INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した合計回数。
持続した VTAM セッション数	PRSSNIBCNT	持続した VTAM セッション合計数。
正常に復元された持続セッション数	PRSSOPNCNT	正常に復元された持続セッションの総数。
終了された持続セッション数	PRSSUNBDCNT	終了した持続セッション数。
優先順位繰り上げ値	PRTYAGING	タスクの優先度をその待ち時間に内部的に関連付けるために使用される係数。 入力値: 0 から 65535 まで
持続セッション遅延間隔	PSDINTERVAL	CICS 障害後のリカバリー保留状態でセッションを保持するかどうか、およびその期間を決定する持続セッション遅延間隔。 入力値: 00:00:00 - 23:59:59
持続セッションのタイプ	PSTYPE	CICS を、VTAM の Single Node Persistent Sessions (SNPS)、Multi Node Persistent Sessions、または No Persistent Sessions (NOPS) のいずれを使用して実行するかを指定します。
LIBRARY の再オープンおよびロード再試行の回数	RDEBRBLD	ローダーが LOAD 中にエクステンツ終了状態を受け取り、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結を正常にクローズして再オープンし、ロードを再試行した回数。
使用中の実記憶域	REALSTG	現在この CICS により使用中の実記憶域の 1 キロバイト単位のフレーム数。
間隔統計記録状況	RECORDING	間隔および非送信請求統計の記録を制御します。終了時刻および要求された統計は、この値に関係なく必ず記録されます。 入力値: ON、OFF
再入可能プログラム保護状況	REENTPROTECT	再入可能プログラム (RDSA および ERDSA) のストレージが、キー 0 または CICS キーのどちらにあるかを示します。MVS キー 0 ストレージは、CICS キーまたはユーザー・キーで実行中のプログラムから書き込み保護されます。CICS キー・ストレージ内のプログラムは、CICS キーおよびユーザー・キーが異なるとき (つまりストレージ保護がアクティブのとき) には、ユーザー・キー内で実行中のプログラムからだけ保護されます。 <ul style="list-style-type: none"> REENTPROT - 読み取り専用 DSA は、キー 0 ストレージにあります。 NOREENTPROT - 読み取り専用 DSA は、CICS キー・ストレージにあります。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
領域ユーザー ID	REGIONUSERID	CICS 領域を実行しているユーザー ID。
CICS リリース	RELEASE	表示された CICS システムの CICS リリース。
レコード・レベル共用 (RLS) 状況	RLSSTATUS	<p>VSAM レコード・レベル共用 (RLS) 機能がこの CICS システムに対してアクティブであるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RLSACTIVE - CICS は SMSVSAM サーバーで登録されており、RLS は現在アクティブです。 • RLSINACTIVE - CICS は SMSVSAM サーバーで登録されていますが、SMSVSAM サーバーの障害が原因で RLS は現在非アクティブです。 • NOTAPPLIC - RLS=NO が指定されて開始したため、CICS システムは VSAM RLS をサポートしません。
リソース・リカバリー管理サービス (RRMS) 状況	RRMSSTAT	この MVS イメージに対する、この CICS 領域により報告される MVS リソース・リカバリー管理サービスの状況が示されます。
ランナウェイ時間間隔	RUNAWAY	<p>タスクがランナウェイ状態であると見なされる前に、タスクがプロセッサを制御できる時間 (ミリ秒)。</p> <p>入力値: 0、250 から 2700000 まで</p>
端末スキャン遅延時間	SCANDELAY	<p>ユーザー・タスクが端末入出力要求をしてから、要求を処理するために CICS 端末制御タスクがディスパッチされるまでのミリ秒の最大数。</p> <p>入力値: 0 から 5000 まで</p>
システム・ダンプの抑止回数	SDMPSUPP	CICS またはユーザーにより要求され、ユーザー出口、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により抑止されたシステム・ダンプの数。
システム・ダンプ実施回数	SDMPTOTL	最後の CICS 終了時統計のリセット以降、システム全体についてとられるシステム・ダンプの数。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。
シャットダウン・トランザクション	SDTRAN	通常または即時シャットダウンの開始時に実行されるトランザクションの名前。
シャットダウン状況	SHUTSTATUS	<p>CICS システムのシャットダウン状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CONTROLSHUT - ウォーム・キーポイントによる通常シャットダウン。 • NOTAPPLIC - CICS はシャットダウン・モードではありません。 • SHUTDOWN - 即時シャットダウンが進行中です。
シングル・タスク・トレース状況	SINGLESTATUS	<p>発行されるタスクからのユーザー・トレースを制御するフラグの状況。</p> <p>入力値: SINGLEON、SINGLEOFF</p>
I/O 要求数	SIORREQ	開始時以降この CICS により出された入出力開始 (SIO) 要求の数。
2 GB 境界より上のストレージ不足状況	SOSABOVEBAR	<p>ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTSOS - CICS は 2 GB 境界より上のストレージ不足ではありません。 • SOS - CICS は 2 GB 境界より上でストレージ不足になっています。
16 MB 境界より上のストレージ不足状況	SOSABOVELINE	<p>ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTSOS - CICS は 16 MB 境界より上のストレージ不足ではありません。 • SOS - CICS は 16 MB 境界より上でストレージ不足になっています。
16 MB 境界より下のストレージ不足状況	SOSBELOWLINE	<p>ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTSOS - CICS は 16 MB 境界より下のストレージ不足ではありません。 • SOS - CICS は 16 MB 境界より下でストレージ不足になっています。

表 29. CICS RGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
2 GB 境界より下のストレージ不足状況	SOSSTATUS	<p>ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOTSOS - CICS は、どの動的ストレージ域でもストレージ不足ではありません。 SOS - CICS は、16 MB を上回る動的ストレージ域と、下回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 SOSABOVE - CICS は 16 MB を上回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 SOSBELOW - CICS は 16 MB を下回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 <p>注: このフィールドは、2 GB 境界より上のストレージには適用されません。</p>
始動タイプ	STARTUP	システムの始動状態 (COLDSTART、WARMSTART、EMERGENCY、または LOGTERM)
CICS が開始された日付	STARTUPDATE	CICS のこの実行が開始された日付。日付は現地時間で表されます。
ストレージ保護状況	STGPROT	ストレージ保護がこのシステムでアクティブかどうかを示します。
CICS 開始時刻	STRTTIME	ディスクパッチャーが開始した時刻。これはこの CICS の実行が開始した概算時刻と見なすことができます。これは現地時間で表示されます。
SYSEVENT クラス・レコードに使用されるサブシステム ID	SUBSYSTEMID	<p>MVS ワークロード・アクティビティ 報告書内でサブシステム ID として使用される名前。サブシステム ID はデフォルトでは VTAM 汎用 APPLID の最初の 4 文字になります。</p> <p>これは CICS TS バージョン 3 リリース 2 以降では廃止されています。</p>
SUBTSKS システム初期設定パラメーターによる値セット	SUBTASKS	SUBTSKS システム初期設定パラメーターによって設定された値。0 または 1 のいずれかにできます。
補助トレース・データ・セット切り替えタイプ	SWITCHSTATUS	<p>現在の補助トレース・データ・セットが満杯になった場合に自動データ・セット切り替えが発生するかどうかを制御します。</p> <p>入力値: SWITCHNEXT、SWITCHALL、NOSWITCH</p>
同期点におけるパフォーマンス・レコード	SYNCPOINTST	<p>パフォーマンス・レコードが同期点で書き込まれるかどうかを示します。</p> <p>値: SYNCPOINT、NOSYNCPOINT</p>
システム・ダンプ状況	SYSDUMP	<p>CICS システム・ダンプを取ることがグローバルに抑止されているか、ダンプ・テーブルの sysdumpcodes 以外のすべてに関して抑止されているかを示します。</p> <p>入力値: SYSDUMP、NOSYSDUMP、TABLEONLY</p>
CICS システム ID	SYSID	この CICS システムのシステム ID。
システム・トレース状況	SYSTEMSTATUS	<p>システムのマスター・トレース・フラグの状況。</p> <p>入力値: SYSTEMON、SYSTEMOFF</p>
内部トレース・テーブル・サイズ	TABLESIZE	<p>内部トレース・テーブルのサイズ (キロバイト単位)。</p> <p>入力値: 16 から 1048576 まで</p>
CICS VTAM 出口ルーチン・トレース状況	TCEXITSTATUS	<p>CICS-VTAM 出口のトレースの状況。</p> <p>入力値: TCEXITALL、TCEXITSYSTEM、TCEXITNONE、TCEXITALLOFF</p>
TCP/IP 状況	TCPIP	<p>CICS 内部ソケット・サポート (TCP/IP) の状況。</p> <p>入力値: OPEN、CLOSED、IMMCLOSE</p>
トランザクション・ダンプの抑止回数	TDMPSUPP	CICS またはユーザーにより要求され、ユーザー出口またはダンプ・テーブルにより抑止されたトランザクション・ダンプの数。
トランザクション・ダンプの実施回数	TDMPTOTL	最後の CICS 終了時統計のリセット以降、システム全体についてとられるトランザクション・ダンプの数。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。

表 29. CICS/SGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
WEB ドメイン端末タイムアウト間隔	TIMEOUTINT	非アクティブ Web 3270 セッションがガーベッジ・コレクションの対象として適格となるまでの経過期間 (分数)。 入力値: 1 から 60 まで
アクティブなユーザー・トランザクションの合計数	TOTACTVUSRTR	このトランザクション・クラス内のアクティブなユーザー・トランザクションの総数。
キューに入れられたユーザー・トランザクションの合計数	TOTDELYUSRTR	このトランザクション・クラス内のキューに入れられたユーザー・トランザクションの総数。
合計タスク数	TOTLTASKS	CICS 実行開始以降システムで実行したタスク数。
キューに入れられたトランザクションの合計待ち時間	TOTQUETIME	キューに入れられたトランザクションがこのトランザクション・クラスの待機に費やした合計時間。
トランザクション分離状況	TRANISOLATE	ISOLATE 機能を使用して定義された他のトランザクションのすべてのユーザー・キー・プログラムから分離することをタスクが選択したかどうかを示します。
ユーザー・トレース状況	USERSTATUS	ユーザーのマスター・トレース・フラグの状況。 入力値: USERON、USEROFF
VTAM ACB の動的オープン回数	VTMACBDOPE	制御端末を通して VTAM アクセス制御ブロック (ACB) が開いた回数。 VTAM が CICS より前に開始し、CICS 実行中にアクティブのままであれば、この値はゼロになります。
RPL 最大値に達した回数	VTMRPLMAX	RPL 通知値最大数に達した回数。
通知された VTAM RPL の最大数	VTMRPLPOST	端末管理の任意の 1 ディスパッチで VTAM により通知された、任意受け取り要求パラメーター・リスト (RPL) の最大数。
VTAM がストレージ不足状況になった回数	VTMSOSCNT	VTAM が一時的ストレージ不足状態になった回数。
CICS-VTAM 接続状況	VTMSTATUS	CICS と VTAM の間の接続の状況。 入力値: OPEN、CLOSED、IMMCLOSE、FORCECLOSE
XCF グループ ID	XCFGROUP	この領域がメンバーであるシステム間カップリング・ファシリティー (XCF) グループの 8 文字名。 この領域が XCF グループのメンバーでない場合 (IRC にサインオンしていないため)、このフィールドにはブランクが含まれます。
現時点で MXT	XMGATMXT	CICS 領域が指定済みユーザー・トランザクション最大数 (MXT) に現在達しているかどうか。
MAXTASKS 限度に達した最終時刻	XMGLAMXT	アクティブなユーザー・トランザクション数が、ユーザー・トランザクションの指定済み最大数 (MXT) に等しくなった最終日時。
MAXTASKS の最終変更日時	XMGLSMXT	ユーザー・トランザクションの最大数 (MXT) が動的に設定された、または変更された最終日時。
トランザクションの最終接続時刻	XMGLTAT	最後のユーザー・トランザクションが接続された日時。
拡張回復機能 (XRF) 状況	XRFSTATUS	XRF ペアの一部であるシステムの場合、実行している CICS が PRIMARY であるか TAKEOVER であるかを示します。

システム・パラメーター - SYSPARM

「システム・パラメーター」(SYSPARM) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システムの始動時に使用されたシステム・パラメーターについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「システム・パラメーター」

表 30. 提供された「システム・パラメーター」(SYSPARM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
システム・パラメーター EYUSTARTSYSPARM.TABULAR	CICS システム・リンク定義に関するテーブル形式の情報

アクション

表 31. SYSPARM ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
GET	指定されたソース・テーブルから情報を取得します。サポートされるテーブルは SIT のみです。

フィールド

表 32. SYSPARM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キーワード名	KEYWORD	システム・パラメーターの 16 文字からなるキーワード ID。
レコードのセグメント数	SEGNUM	戻り値のセグメント番号。
合計セグメント数	SEGTOT	値のセグメントの総数。
システム・パラメーターのソース	SOURCE	<p>抽出されたシステム・パラメーターのソース・ロケーションを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> TABLE - パラメーターは、DFHSITxx ロード・モジュールから抽出されました。 CONSOLE - パラメーターは、システム・コンソールで提供されるオーバーライドから抽出されました。 SYSIN - パラメーターは、SYSIN データ・セットで提供されるオーバーライドから抽出されました。 JCL - パラメーターは、JCL EXEC ステートメント・パラメーターで提供されるオーバーライドから抽出されました。 <p>注: CONSOLE は、無効な値を修正するために入力されたパラメーターを取得しません。オペレーターを介さずに CICS を始動させるには、これらの値をソースの場所で修正する必要があります。</p>
合計値の長さ	TOTALLEN	現在のキーワード値セグメントすべてを合算した結合長さ。現行キーワードにキーワード値セグメントが 1 つしかない場合、これはキーワード値の長さと同じ値になります。
システム・パラメーターのタイプ	TYPE	<p>抽出されたシステム・パラメーターのタイプを示します。サポートされるのは次の値のみです:</p> <ul style="list-style-type: none"> SIT - システム 初期設定パラメーターは、次の場所のいずれかから抽出できます。 <ol style="list-style-type: none"> DFHSITxx ロード・モジュール (TABLE) EXEC PGM=DFHSIP ステートメントの PARM パラメーターに指定されたオーバーライド (JCL) CICS 始動ジョブ・ストリームの SYSIN データ・セットで指定されたオーバーライド (SYSIN) システム・コンソールで指定されたオーバーライド (CONSOLE)
キーワード値	VALUE	関連するソースの場所の関連するテーブル・タイプの関連キーワードに割り当てられた値。
キーワード値の長さ	VALUELEN	現在のキーワード値セグメントの長さ。キーワード値セグメントが 1 つしかない場合、これは合計値の長さと同じ値になります。

動的ストレージ域 - CICSDSA

「動的ストレージ域」(CICSDSA) ビューには、各 CICS システム内の動的ストレージ域 (DSA) についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「動的ストレージ域」

表 33. 提供された「動的ストレージ域」(CICSDSA) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
動的ストレージ域 EYUSTARTCICSDSA.DETAIL1	選択した動的ストレージ域に関する詳細情報
動的ストレージ域 EYUSTARTCICSDSA.DETAILED	選択した動的ストレージ域に関する詳細情報
動的ストレージ域 EYUSTARTCICSDSA.SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて CICS DSA 属性を設定します。
動的ストレージ域 EYUSTARTCICSDSA.TABULAR	各 CICS システムでの動的ストレージ域 (DSA) に関するテーブル形式の情報

アクション

表 34. CICSDSA ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて CICS DSA 属性を設定します。

フィールド

表 35. CICSDSA ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ストレージ・キー	ACCESSTYPE	この動的ストレージ域のアクセスのタイプ (CICS、USER、READONLY、TRUSTED)。ストレージ保護がアクティブではない場合、ERDSA 内のストレージ域を除くすべてのストレージ域のアクセス・タイプは CICS になります。
アドレス可能な現行アドレス・スペース・ストレージ	ASACTIVE	アドレス可能な現行アドレス・スペース・ストレージ。
サブプールの追加要求数	ASUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを作成する要求の数。
クッション限界	ATBCUSHLIMIT	この DSA のクッションのサイズ(バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
GCDSA、GUDSA、または GSDSA クッション解放数	ATBCUSHRELS	GCDSA に関連して解放されたクッション数。
共通サブスペース・ユーザーの累計数	CUMCMNSSUSRS	この CICS 実行に対する共通サブスペース・ユーザー要求の累積数。
固有サブスペース・ユーザーの累計数	CUMUNQSSUSRS	この CICS 実行に対する固有のサブスペース・タスク要求の累積数。
共通サブスペース・ユーザーの現行数	CURCMNSSUSRS	共通サブスペース・ユーザー要求の現在の数。
現行の DSA 割り振り	CURRALLOC	割り振られた DSA の現在の量。

表 35. CICSDSA ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
固有サブスペースに割り振られた現在のタスク数	CURUNQSSUSRS	固有のサブスペース・ユーザー要求の現在の数。
クッション・サイズ	CUSHION	この動的ストレージ域のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。 入力値: 0 から DSASIZE 値まで
サブプールの削除要求数	DSUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを削除する要求の数。
DSA に追加されたエクステン ト数	EXTENTSADDED	DSA に追加されるエクステント数。
DSA に割り振られたエクステ ント数	EXTENTSCURR	DSA に割り振られるエクステント数。
ページ・プールから削除された エクステント数	EXTENTSDELTD	ページ・プールから削除されたエクステント数。
FREEMAIN 要求数	FREMTOTL	この動的ストレージ域に対する FREEMAIN 要求数。
現在の GDSA アクティブ	GDSAACTIVE	2 GB 境界より上で使用可能なストレージの量。
GETMAIN 要求数	GETMTOTL	この動的ストレージ域からの GETMAIN 要求数。
GETSTOR 要求サイズ	GETSTORSIZE	要求されたストレージ量 (バイト数で表示される)。
ピーク DSA 割り振り	HWMALLOC	任意の一時点に割り振られた DSA の最大量。
アドレス可能な HWM アドレ ス・スペース	HWMASACTIVE	アドレス可能ピーク・アドレス・スペース・ストレージ。
共通サブスペース・ユーザーの ピーク数	HWMCMNSSUSRS	任意の一時点に行われた共通サブスペース・ユーザー要求の最大数。
使用可能フリー・ストレージの ピーク・サイズ	HWMFREE	任意の一時点におけるフリー・ストレージの最大量。
ピーク GDSA アクティブ	HWMGDSAACTIV	2 GB 境界より上で使用可能なストレージのピーク量。
固有サブスペース・ユーザーの ピーク数	HWMUNQSSUSRS	任意の一時点に行われた固有のサブスペース・ユーザー要求の最大数。
DSA のストレージの制限値	LIMIT	CICS がその範囲内で 16 MB 境界の同じ側にあるすべての DSA に動的に ストレージを割り振ることができる最大ストレージ量を合計バイト数で 表したもの。 示される値は、RDSA、UDSA、CDSA、および SDSA の DSA 制限、または ERDSA、EUDSA、ECDSA、ESDSA、および ETDSA の EDSA 制限のいずれ かです。2 GB 境界より上にある DSA の場合は、ゼロになります。 現在の制限より小さい値を新しく設定した場合、CICS ではすぐに新しい 制限を適用せず、ストレージが解放されるに伴って適用しようとする場合 があります。CICS は、指定された値を、DSA 制限値については 256 KB の 次の倍数に、EDSA 制限値については 1 MB の次の倍数にそれぞれ切り上 げます。 DSA 制限の入力値: 2,097,152 から 16,777,216 まで EDSA 制限の入力値: 50,331,648 から 2,146,435,072 まで
動的ストレージ域 (DSA) の位 置	LOCATION	この動的ストレージ域が、16 MB 境界より上または下にあるか、または 2 GB 境界より上にあるかを示します。
使用可能フリー・ストレージの 最小サイズ	LWMFREE	任意の一時点におけるフリー・ストレージの最少量。
2 GB 境界より上のストレージ の最大量	MEMLIMIT	CICS が 2 GB 境界の上にある個々の DSA を割り振ることのできる、スト レージ総量の現在の上限。 「N/A」の値は、CICS が使用できる 2 GB 境界より上のストレージの量に 制限がないことを意味します。

表 35. CICSDSA ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
動的ストレージ域 (DSA)	NAME	動的ストレージ域の名前。次のいずれかになります。 RDSA、UDSA、CDSA、SDSA、ERDSA、EUDSA、ECDSA、ESDSA、 ETDSA、GCDSA、GUDSA、GSDSA
現在一時停止中のストレージ 要求数	NSTGCURR	ストレージ不足のために現在一時停止されている GETMAIN 要求数。
NOSTORAGE が戻された回数	NSTGTOTL	SUSPEND(NO) を指定した GETMAIN 要求がストレージ不足状態を返した 回数。
使用可能合計ストレージのパ ーセント	PCTFREE	DSA または EDSA 制限サイズ値から計算された DSA の合計スペースの使 用可能パーセント。2 GB 境界より上のストレージでは、このデータは意 味を持ちません。
不使用プログラムが占有する ストレージ	PGMONIU	この動的ストレージ域内で、不使用 (NIU) プログラムによって占められて いるストレージ量。
使用可能プール・ストレージの パーセント	POOLPCTFREE	16 M 境界を超えた、または 16 M 未満で割り振られたすべての DSA プー ルからの使用可能なスペース。2 GB 境界より上のストレージでは、この データは意味を持ちません。
MVS ストレージ待ちの原因と なった要求数	REQSWAITMVS	MVS ストレージ待ちの原因となった要求数。
再入可能プログラム保護状況	RNTPGPROTECT	CICS のこの実行に対して再入可能プログラム保護が選択されたかどうか を指定します。これにより CICS ロード済みプログラムは直接書き込みを 受けないよう保護されます。
サブプール・サイズ	SIZE	動的ストレージ域のサイズ (バイト単位)。
クッションの解放回数	STGCRELC	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。 クッションは、フリー・ページ数が、クッション内のページ数を下回った 時点で、解放されたと見なされます。
空きストレージ・サイズ	STGFSIZE	この動的ストレージ域内の、クッションを含めたフリー・ストレージ量。
DSA のピーク・サイズ	STGSHWM	DSA のピーク・サイズ。
最大フリー域サイズ	STGLSIZE	この動的ストレージ域内で最大の連続フリー域の長さ (バイト単位)。
現行サブプール数	STGNSUBP	この動的ストレージ域内の現在のドメインまたはタスク・サブプール数。
ストレージ保護状況	STGPROTECT	この CICS システムの実行に「ストレージ保護」オプションが選択された かどうかを指定します。ストレージ保護がアクティブな場合、CICS では システム定義およびリソース定義で指定されたストレージおよび実行キ ーを監視します。
待機中にパージされたタスク 数	STGPWCNT	ストレージ不足が原因で一時停止されていたときにパージされた GETMAIN 要求数。
一時停止中のストレージ要求 のピーク数	STGSHWM	任意の一時点で、ストレージ不足が原因で一時停止された GETMAIN 要求 の最大数。
ストレージ不足カウント	STGSOSC	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。 SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのため に一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生 じていることを表します。
CICS がストレージ不足になっ た合計時間	STGSOST	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数の合 計。
要求が一時停止された回数	STGSTOTL	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した GETMAIN 要求が一 時停止した回数。
ストレージの侵害回数	STGVTOTL	この動的ストレージ域で記録された記憶保護違反の数。
MVS ストレージ待ちの合計時 間	TIMEWAITMVS	この動的ストレージ域で CICS がストレージを待機した時間の合計。
トランザクション分離状況	TRNISOLATION	アクティブな場合、EXECKEY(USER) によって定義されたプログラムのタ スク存続期間ストレージが、その他の EXECKEY(USER) プログラムから読 み書きされないよう保護されます。

動的ストレージ域グローバル - CICSSTOR

「動的ストレージ域グローバル」(CICSSTOR) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内のすべての CICS 動的ストレージ域 (DSA) についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「動的ストレージ域グローバル」

表 36. 提供された「動的ストレージ域グローバル」(CICSSTOR) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
動的ストレージ域グローバル EYUSTARTCICSSTOR.SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて CICS DSA 属性を設定します。

アクション

表 37. CICSSTOR ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて CICS DSA 属性を設定します。

フィールド

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
CDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	CAVGTIMESOS	CICS 動的ストレージ域 (CDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
CDSA 非即時 GETMAIN 要求数	CNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
CDSA クッション解放率	CRATECREL	この DSA のストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
CDSA エクステント増加率	CRATEEXTSA	この DSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
CDSA エクステント解放率	CRATEEXTSR	この DSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
CDSA FREEMAIN 要求比率	CRATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
CDSA GETMAIN 要求比率	CRATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
CDSA 記憶保護違反率	CRATESTORV	この DSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
ECDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	ECAVGTIMESOS	拡張動的ストレージ域 (ECDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
ECDSA 非即時 GETMAIN 要求数	ECNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
ECDSA クッション解放率	ECRATECREL	ECDSA ストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
ECDSA エクステント増加率	ECRATEEXTSA	ECDSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
ECDSA エクステント解放率	ECRATEEXTSR	ECDSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
ECDSA FREEMAIN 要求比率	ECRATEFM	ECDSA FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
ECDSA GETMAIN 要求比率	ECRATEGM	ECDSA GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
ECDSA 記憶保護違反率	ECRATESTORV	ECDSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
ERDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	ERAVGTIMESOS	拡張読み取り専用動的ストレージ域 (ERDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
ERDSA 非即時 GETMAIN 要求数	ERNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ERDSA クッション解放率	ERRATECREL	ERDSA ストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
ERDSA エクステント増加率	ERRATEEXTSA	ERDSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
ERDSA エクステント解放率	ERRATEEXTSR	ERDSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
ERDSA FREEMAIN 要求比率	ERRATEFM	ERDSA FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
ERDSA GETMAIN 要求比率	ERRATEGM	ERDSA GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
ERDSA 記憶保護違反率	ERRATESTORV	ERDSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
ESDSA におけるストレージ不足の経過平均時間	ESAVGTIMESOS	拡張共有動的ストレージ域 (ESDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
ESDSA 非即時 GETMAIN 要求数	ESNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
ESDSA クッション解放率	ESRATECREL	ESDSA ストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
ESDSA エクステント増加率	ESRATEEXTSA	ESDSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
ESDSA エクステント解放率	ESRATEEXTSR	ESDSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
ESDSA FREEMAIN 要求比率	ESRATEFM	ESDSA FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
ESDSA GETMAIN 要求比率	ESRATEGM	ESDSA GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
ESDSA 記憶保護違反率	ESRATESTORV	この DSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
ETDSA におけるストレージ不足の経過平均時間	ETAVGTIMESOS	拡張信頼動的ストレージ域 (ETDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
ETDSA 非即時 GETMAIN 要求数	ETNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
ETDSA クッション解放率	ETRATECREL	ETDSA ストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
ETDSA エクステント増加率	ETRATEEXTSA	ETDSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
ETDSA エクステント解放率	ETRATEEXTSR	ETDSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
ETDSA FREEMAIN 要求比率	ETRATEFM	ETDSA FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
ETDSA GETMAIN 要求比率	ETRATEGM	ETDSA GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
ETDSA 記憶保護違反率	ETRATESTORV	ETDSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
EUDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	EUAVGTIMESOS	拡張ユーザー動的ストレージ域 (EUDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
EUDSA 非即時 GETMAIN 要求数	EUNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
EUDSA クッション解放率	EURATECREL	ストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
EUDSA エクステント増加率	EURATEEXTSA	EUDSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
EUDSA エクステント解放率	EURATEEXTSR	EUDSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
EUDSA FREEMAIN 要求比率	EURATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
EUDSA GETMAIN 要求比率	EURATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
EUDSA 記憶保護違反率	EURATESTORV	EUDSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
GCDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	GCAVGTIMESOS	GCDSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
GCDSA 非即時 GETMAIN 要求数	GCNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
GCDSA FREEMAIN 要求比率	GCRATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
GCDSA GETMAIN 要求比率	GCRATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
GCDSA 記憶保護違反率	GCRATESTORV	この DSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
GSDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	GSAVGTIMESOS	GSDSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
GSDSA 非即時 GETMAIN 要求数	GSNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
GSDSA FREEMAIN 要求比率	GSRATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
GSDSA GETMAIN 要求比率	GSRATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
GSDSA 記憶保護違反率	GSRATESTORV	この DSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
GUDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	GUAVGTIMESOS	GUDSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
GUDSA 非即時 GETMAIN 要求数	GUNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
GUDSA FREEMAIN 要求比率	GURATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
GUDSA GETMAIN 要求比率	GURATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
GUDSA 記憶保護違反率	GURATESTORV	この DSA で記録された記憶保護違反の秒ごとの比率。
CDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTCFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
ECDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTECFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
ERDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTERFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
ESDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTESFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
ETDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTETFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
EUDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTEUFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
RDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTRFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
SDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTSFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
UDSA におけるフリー・ストレージの最小パーセント	LPCTUFREE	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量 (パーセンテージで表される)。
CDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTCCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
CDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTCFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
CDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTCGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
CDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTCGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ECDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTECCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
ECDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTECFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ECDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTECGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ECDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTECGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ERDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTERCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
ERDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTERFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ERDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTERGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ERDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTERGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ESDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTESCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
ESDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTESFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ESDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTESGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ESDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTESGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ETDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTETCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
ETDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTETFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ETDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTETGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
ETDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTETGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
EUDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTEUCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
EUDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTEUFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
EUDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTEUGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
EUDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTEUGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GCDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTGCGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GCDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTGCGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GSDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTGSGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GSDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTGSGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GUDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTGUGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
GUDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTGUGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
CDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFACDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
ECDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAECDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
ERDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAERDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ESDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAESDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
ETDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAETDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
EUDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAEUDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
RDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFARDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
SDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFASDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
UDSA におけるフリー・ストレージの最大パーセント	PCTLFAUDSA	この DSA で未使用のストレージのパーセンテージ。
RDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTRCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
RDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTRFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
RDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTRGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
RDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTRGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
SDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTSCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
SDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTSFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
SDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTSGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
SDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTSGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
16 MB 未満の CDSA ストレージのパーセント	PCTSTGCDSA	この DSA で 16 MB 境界の下にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ECDSA における 16 MB を超えるストレージのパーセント	PCTSTGECDSDA	この DSA で 16 MB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ERDSA における 16 MB を超えるストレージのパーセント	PCTSTGERDSA	この DSA で 16 MB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ESDSA における 16 MB を超えるストレージのパーセント	PCTSTGESDSA	この DSA で 16 MB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
ETDSA における 16 MB を超えるストレージのパーセント	PCTSTGETDSA	この DSA で 16 MB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
EUDSA における 16 MB を超えるストレージのパーセント	PCTSTGEUDSA	この DSA で 16 MB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
GCDSDA における 2 GB 境界を超えるストレージのパーセント	PCTSTGGCDSDA	この DSA で 2 GB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
GSDSDA における 2 GB 境界より上のストレージのパーセント	PCTSTGGSDSDA	この DSA で 2 GB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
GUDSDA における 2 GB 境界より上のストレージのパーセント	PCTSTGGUDSDA	この DSA で 2 GB 境界の上にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
RDSA における 16 MB 未満のストレージのパーセント	PCTSTGRDSA	この DSA で 16 MB 境界の下にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SDSA における 16 MB 未満のストレージのパーセント	PCTSTGSDSA	この DSA で 16 MB 境界の下にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
UDSA における 16 MB 未満のストレージのパーセント	PCTSTGUDSA	この DSA で 16 MB 境界の下にあるストレージ量 (パーセンテージで表される)。
UDSA におけるクッション解放のパーセント	PCTUCSH	この DSA に関連付けられたクッション解放数 (パーセンテージで表される)。
UDSA におけるフリー・ストレージのパーセント	PCTUFREE	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
UDSA における GETMAIN 失敗のパーセント	PCTUGMF	この DSA 内の失敗した GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
UDSA におけるページされた GETMAIN 要求のパーセント	PCTUGMP	この DSA 内のページされた GETMAIN 要求数 (パーセンテージで表される)。
CDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTCFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
ECDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTECFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
ERDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTERFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
ESDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTESFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
ETDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTETFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
EUDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTEUFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
RDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTRFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
SDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTSFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB 未満のピーク・ストレージの CDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGCDSA	16 MB 境界より下でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB を超えるピーク・ストレージの ECDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGECDSA	16 MB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB を超えるピーク・ストレージの ERDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGERDSA	16 MB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB を超えるピーク・ストレージの ESDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGESDSA	16 MB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB を超えるピーク・ストレージの ETDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGETDSA	16 MB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB を超えるピーク・ストレージの EUDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGEUDSA	16 MB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
2 GB 境界を超えるストレージの GCDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGGCDSA	2 GB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
GSDSA における 2 GB 境界より上のストレージのピーク・パーセント	PPCTSTGGSDSA	2 GB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
GUDSA における 2 GB 境界より上のストレージのピーク・パーセント	PPCTSTGGUDSA	2 GB 境界より上でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB 未満のピーク・ストレージの RDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGRDSA	16 MB 境界より下でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB 未満のピーク・ストレージの SDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGSDSA	16 MB 境界より下でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
16 MB 未満のピーク・ストレージの UDSA におけるピーク・パーセント	PPCTSTGUDSA	16 MB 境界より下でこの DSA に割り振られたストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
UDSA におけるフリー・ストレージのピーク・パーセント	PPCTUFREE	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (パーセンテージで表される)。
RDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	RAVGTIMESOS	読み取り専用動的ストレージ域 (RDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
RDSA 非即時 GETMAIN 要求数	RNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
RDSA クッション解放率	RRATECREL	この DSA のストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
RDSA エクステント増加率	RRATEEXTSA	この DSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
RDSA エクステント解放率	RRATEEXTSR	この DSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
RDSA FREEMAIN 要求比率	RRATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
RDSA GETMAIN 要求比率	RRATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
RDSA 記憶保護違反率	RRATESTORV	この DSA における記憶保護違反の秒ごとの比率。
SDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	SAVGTIMESOS	共有動的ストレージ域 (SDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
アドレス可能な現行アドレス・スペース・ストレージ	SMSASACTIVE	アドレス可能な現行アドレス・スペース・ストレージ。
クッション限界	SMSATBCUSHLI	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
GCDSA クッション解放の数	SMSATBCUSHRE	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
CDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSCASR	この DSA からの ADD_SUBPOOL 要求数。
CDSA クッション解放数	SMSCCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した CDSA 要求数	SMSCCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の CDSA クッション・サイズ	SMSCCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の CDSA サブプール数	SMSCCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
現在の CDSA サイズ	SMSCDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
CDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSCDSR	この DSA からの DELETE_SUBPOOL 要求数。
CDSA におけるエクステント数	SMSCEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された CDSA エクステント数	SMSCEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された CDSA エクステント数	SMSCEXTSR	この DSA から解放されたエクステント数。
CDSA FREEMAIN 要求数	SMSCFMREQ	この DSA からの FREEMAIN 要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
クッションを含む CDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSCFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
CDSA GETMAIN 要求数	SMSCGMREQ	この DSA からの GETMAIN 要求数。
CDSA におけるピーク・フリー・ストレージ・レベル	SMSCHWMFSTG	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量。これは、フリー・ページ数にページ・サイズ (4K) を乗算して求められ、バイト単位で表されます。
一時停止された CDSA 要求のピーク数	SMSCHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
CDSA での最大フリー域	SMSCLFSA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
CDSA における最低フリー・ストレージ・レベル	SMSCLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた CDSA 要求数	SMSCPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
CDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSCSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
共通サブスペース・ユーザーの合計数	SMSCSSCUM	共通サブスペースに割り振られたタスクの総数。
共通サブスペース・ユーザーの現行数	SMSCSSCUR	共通サブスペースに現在割り振られているタスク数。
共通サブスペース・ユーザーのピーク数	SMSCSSHWM	共通サブスペースに同時に割り振ることのできるタスクのピーク数。
CDSA におけるストレージの侵害回数	SMSCSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
CDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSCTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された CDSA 要求数	SMSCUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した CDSA 要求が一時停止した回数。
現在の DSA 限界	SMSDSALIMIT	CICS が 16 MB 境界の下にある個々の DSA を割り振ることのできる、ストレージ総量の現在の上限。
DSA に割り振られた現在の合計ストレージ	SMSDSATOTAL	16 MB 境界より下で現在 DSA に割り振られているストレージ総量。
ECDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSECASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
ECDSA クッション解放数	SMSECCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した ECDSA 要求数	SMSECCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の ECDSA クッション・サイズ	SMSECCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
ECDSA における現在のサブプール数	SMSECCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
ECDSA の現在のサイズ	SMSECDASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
ECDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSECDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
ECDSA エクステンント数	SMSECEXTS	この DSA に関連するエクステンント数。
追加された ECDSA エクステンント数	SMSECEXTSA	この DSA に追加されるエクステンント数。
解放された ECDSA エクステンント数	SMSECEXTSR	この DSA によって解放されたエクステンント数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ECDSA FREEMAIN 要求数	SMSECFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む ECDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSECFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
ECDSA GETMAIN 要求数	SMSECGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク ECDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSECHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された ECDSA 要求のピーク数	SMSECHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 ECDSA フリー域	SMSECLFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 ECDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSECLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた ECDSA 要求数	SMSECPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
ECDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSECSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
ECDSA 記憶保護違反回数	SMSECSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
ECDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSECSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された ECDSA 要求数	SMSECUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した ECDSA 要求が一時停止した回数。
現在の EDSA 限界	SMSEDSALIMIT	CICS が 16 MB 境界の上にある個々の拡張 DSA を割り振ることができる、ストレージ総量の現在の上限。
EDSA に割り振られた現在の合計ストレージ	SMSEDSATOTAL	16 MB 境界より上で現在 DSA に割り振られているストレージ総量。
ERDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSERASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
ERDSA クッション解放数	SMSERCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した ERDSA 要求数	SMSERCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の ERDSA クッション・サイズ	SMSERCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の ERDSA サブプール数	SMSERCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
ERDSA の現在のサイズ	SMSERDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
ERDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSERDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
ERDSA エクステント数	SMSEREXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された ERDSA エクステント数	SMSEREXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された ERDSA エクステント数	SMSEREXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
ERDSA FREEMAIN 要求数	SMSERFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む ERDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSERFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
ERDSA GETMAIN 要求数	SMSERGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク ERDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSERHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
一時停止された ERDSA 要求のピーク数	SMSEHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 ERDSA フリー域	SMSEHFLA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 ERDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSEHLMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた ERDSA 要求数	SMSEHPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
ERDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSESOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
ERDSA 記憶保護違反回数	SMSESV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
ERDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過合計時間	SMSETSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された ERDSA 要求数	SMSEUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した ERDSA 要求が一時停止した回数。
ESDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSESASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
ESDSA クッション解放数	SMSESCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した ESDSA 要求数	SMSESCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の ESDSA クッション・サイズ	SMSESCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の ESDSA サブプール数	SMSESCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
ESDSA の現在のサイズ	SMSESDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
ESDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSESDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
ESDSA エクステント数	SMSESEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された ESDSA エクステント数	SMSEEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された ESDSA エクステント数	SMSEEXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
ESDSA FREEMAIN 要求数	SMSESFREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む ESDSA フリー・ストレージ	SMSESFSTG	この DSA 内の、クッションを含めたフリー・ストレージ量。
ESDSA GETMAIN 要求数	SMSESGREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク ESDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSESHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された ESDSA 要求のピーク数	SMSESHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 ESDSA フリー域	SMSESLFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 ESDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSESLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた ESDSA 要求数	SMSESPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ESDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSESSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
ESDSA 記憶保護違反回数	SMSESSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
ESDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSESTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された ESDSA 要求数	SMSESUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した ESDSA 要求が一時停止した回数。
ETDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSETASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
ETDSA クッション解放数	SMSETCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した ETDSA 要求数	SMSETCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の ETDSA クッション・サイズ	SMSETCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の ETDSA サブプール数	SMSETCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
ETDSA の現在のサイズ	SMSETDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
ETDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSETDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
ETDSA エクステント数	SMSETEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された ETDSA エクステント数	SMSETEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された ETDSA エクステント数	SMSETEXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
ETDSA FREEMAIN 要求数	SMSETFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む ETDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSETFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
ETDSA GETMAIN 要求数	SMSETGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク ETDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSETHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された ETDSA 要求のピーク数	SMSETHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 ETDSA フリー域	SMSETLFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 ETDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSETLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた ETDSA 要求数	SMSETPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
ETDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSETSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
ETDSA 記憶保護違反回数	SMSETSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
ETDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過合計時間	SMSETTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された ETDSA 要求数	SMSETUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した ETDSA 要求が一時停止した回数。
EUDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSEUASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
EUDSA クッション解放数	SMSEUCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した EUDSA 要求数	SMSEUCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の EUDSA クッション・サイズ	SMSEUCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の EUDSA サブプール数	SMSEUCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
EUDSA の現在のサイズ	SMSEUDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
EUDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSEUDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
EUDSA エクステント数	SMSEUEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された EUDSA エクステント数	SMSEUEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された EUDSA エクステント数	SMSEUEXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
EUDSA FREEMAIN 要求数	SMSEUFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む EUDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSEUFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
EUDSA GETMAIN 要求数	SMSEUGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク EUDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSEUHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された EUDSA 要求のピーク数	SMSEUHWMS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 EUDSA フリー域	SMSEULFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 EUDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSEULWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
パージされた EUDSA 要求数	SMSEUPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にパージされた要求数。
EUDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSEUSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
EUDSA 記憶保護違反回数	SMSEUSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
EUDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSEUTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された EUDSA 要求数	SMSEUUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した EUDSA 要求が一時停止した回数。
失敗した IARV64 CONVERT(FROMGUARD) 要求の最大サイズ	SMSFRMGFLSZ	失敗した IARV64 CONVERT(FROMGUARD) の最大失敗要求サイズ (バイト)。
IARV64 CONVERT(FROMGUARD) 障害の数	SMSFRMGRDFL	IARV64 CONVERT(FROMGUARD) の失敗数。
GCDSD ADD_SUBPOOL 要求数	SMSGCASR	この DSA の ADD_SUBPOOL 要求数。
クッション解放数	SMSGCCREL	クッション解放数。
ストレージなしで失敗した GCDSD 要求数	SMSGCCRIS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の GCDSD クッション・サイズ	SMSGCCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時停止された GCDSA ストレージの現行の要求	SMSGCCSS	ストレージ不足のために一時停止された要求の現行数。
GCDSA における現在のサブプール数	SMSGCCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
GCDSA の現在のサイズ	SMSGCDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
GCDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSGCDJR	この DSA の DELETE_SUBPOOL 要求数。
GCDSA FREEMAIN 要求数	SMSGCFMREQ	この DSA の FREEMAIN 要求数。
GCDSA フリー・ストレージ	SMSGCFSTG	GCDSA フリー・ストレージ。
GCDSA GETMAIN 要求数	SMSGCGMREQ	この DSA の GETMAIN 要求数。
一時停止された GCDSA 要求のピーク数	SMSGCHWMSS	この DSA 内のストレージ不足のために一時停止した要求のピーク数。
GCDSA での最大フリー域	SMSGCLFA	GCDSA で最大のフリー域。
ページされた GCDSA 要求数	SMSGCPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
GCDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSGCSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
GCDSA 記憶保護違反回数	SMSGCSV	GCDSA 記憶保護違反の数。
GCDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSGCTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された GCDSA 要求数	SMSGCUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した GCDSA 要求が一時停止した回数。
現在の GDSA アクティブ	SMSGDSAActiv	2 GB 境界より上で使用可能なストレージの量。
割り振られた現在の GDSA	SMSGDSAALOC	割り振られている現在の GDSA。
現在の GDSA 限界	SMSGDSALIMIT	CICS が 2 GB 境界の上にある個々の DSA を割り振ることのできる、ストレージ総量の現在の上限。
GDSA に割り振られた現在の合計ストレージ	SMSGDSATOTAL	2 GB 境界より上で現在 DSA に割り振られているストレージ総量。
GETSTOR 要求サイズ	SMSGETSTORSZ	要求されたストレージ量 (バイト数で表示される)。
GSDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSGASR	この DSA の ADD_SUBPOOL 要求数。
GSDSA クッション解放数	SMSGSCREL	クッション解放数。
ストレージなしで失敗した GSDSA 要求数	SMSGSCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の GSDSA クッション・サイズ	SMSGSCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
一時停止された GSDSA ストレージの現行の要求	SMSGSCSS	ストレージ不足のために一時停止された要求の現行数。
GSDSA における現在のサブプール数	SMSGSCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
GSDSA の現在のサイズ	SMSGSDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
GSDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSGSDJR	この DSA の DELETE_SUBPOOL 要求数。
GSDSA FREEMAIN 要求数	SMSGSFMREQ	この DSA の FREEMAIN 要求数。
GSDSA フリー・ストレージ	SMSGSFSTG	GSDSA フリー・ストレージ。
GSDSA GETMAIN 要求数	SMSGSGMREQ	この DSA の GETMAIN 要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時停止された GSDSA 要求のピーク数	SMSGSHWMSS	この DSA 内のストレージ不足のために一時停止した要求のピーク数。
GSDSA における最大フリー域	SMSGSLFA	GSDSA における最大フリー域。
ページされた GSDSA 要求数	SMSGSPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
GSDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSGSSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS とは、クッションが現在使用中であること、ストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、またはその両方が生じていることを意味します。
GSDSA 記憶保護違反回数	SMSGSSV	GSDSA 記憶保護違反の数。
GSDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSGSTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された GSDSA 要求数	SMSGUCSS	ストレージ不足のために、SUSPEND(YES) を伴う GSDSA 要求が一時停止した回数。
GUDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSGUASR	この DSA の ADD_SUBPOOL 要求数。
GUDSA クッション解放数	SMSGUCREL	クッション解放数。
ストレージなしで失敗した GUDSA 要求数	SMSGUCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の GUDSA クッション・サイズ	SMSGUCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
一時停止された GUDSA ストレージの現行の要求	SMSGUCSS	ストレージ不足のために一時停止された要求の現行数。
GUDSA における現在のサブプール数	SMSGUCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
GUDSA の現在のサイズ	SMSGUDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
GUDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSGUDSR	この DSA の DELETE_SUBPOOL 要求数。
GUDSA FREEMAIN 要求数	SMSGUFMREQ	この DSA の FREEMAIN 要求数。
GUDSA フリー・ストレージ	SMSGUFSTG	GUDSA フリー・ストレージ。
GUDSA GETMAIN 要求数	SMSGUGMREQ	この DSA の GETMAIN 要求数。
一時停止された GUDSA 要求のピーク数	SMSGUHWMS	この DSA 内のストレージ不足のために一時停止した要求のピーク数。
GUDSA における最大フリー域	SMSGULFA	GUDSA における最大フリー域
ページされた GUDSA 要求数	SMSGUPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
GUDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSGUSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS とは、クッションが現在使用中であること、ストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、またはその両方が生じていることを意味します。
GUDSA 記憶保護違反回数	SMSGUSV	GUDSA 記憶保護違反の数。
GUDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSGUTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された GUDSA 要求数	SMSGUUCSS	ストレージ不足のために、SUSPEND(YES) を伴う GUDSA 要求が一時停止した回数。
割り振られたピークの GDSA	SMSHGDSAALC	割り振られたピークの GDSA。
64 ビットの専用メモリーを補完するための実ストレージ・フレームのピーク時の数	SMSHPGNSREAL	ページアウトされた 64 ビットの専用メモリー・オブジェクト用として使用された実ストレージ・フレームのピーク数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
64 ビットの専用ストレージを補完するために使用された補助スロットの数	SMSHVAXSLTS	ページアウトされた 64 ビットの専用ストレージ用として使用された補助スロットの数。
64 ビットの専用ストレージを補完するために使用された補助スロットのピーク時の数	SMSHVGAXSTS	ページアウトされた 64 ビットの専用ストレージ用として使用された補助スロットのピーク数。
アドレス可能なピーク・アドレス・スペース	SMSHWMASACT	アドレス可能ピーク・アドレス・スペース・ストレージ。
CDSA のピーク・サイズ	SMSHWMCDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
DSA に割り振られたストレージのピーク量	SMSHWMDSATOT	16 MB 境界より下で DSA に割り振られたストレージのピーク量。
ECDSA のピーク・サイズ	SMSHWMCDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
EDSA に割り振られたストレージのピーク量	SMSHWMEDSATO	16 MB 境界より上で DSA に割り振られたストレージのピーク量。
ERDSA のピーク・サイズ	SMSHWMERDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
ESDSA のピーク・サイズ	SMSHWMESDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
ETDSA のピーク・サイズ	SMSHWMETDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
EUDSA のピーク・サイズ	SMSHWMEDDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
GCDSA のピーク・サイズ	SMSHWMGCDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
GCDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) のピーク時の量	SMSHWMGCFSTG	GCDSA フリー・ストレージのピーク量 (クッションを含む)。
2 GB 境界より上で使用可能なストレージのピーク量	SMSHWMGDSAAC	ピーク GDSA アクティブ
GDSA に割り振られたストレージのピーク量	SMSHWMGDSATO	2 GB 境界より上で DSA に割り振られたストレージのピーク量。
GSDSA のピーク・サイズ	SMSHWMGSDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
GSDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) のピーク時の量	SMSHWMGSFSTG	GSDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) のピーク時の量。
GUDSA のピーク・サイズ	SMSHWMGUDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
GUDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) のピーク時の量	SMSHWMGUFSTG	GUDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) のピーク時の量。
RDSA のピーク・サイズ	SMSHWMRDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
SDSA のピーク・サイズ	SMSHWMSDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
UDSA のピーク・サイズ	SMSHWMUDSA	この DSA のピーク・サイズ (バイト単位で表される)。
割り振られた大規模メモリー・オブジェクトの数	SMSLRGMEMOBJ	このアドレス・スペースにより割り振られた大容量メモリー・オブジェクトの数。
このアドレス・スペースによって所有されている大規模ページの数	SMSLRGPGBNRL	このアドレス・スペースが所有する、実ストレージに戻された大容量ページ (1 MB のページ) の数。
大容量仮想メモリーから割り振られたバイト数	SMSLVABYTES	メモリー・オブジェクトで大容量仮想メモリーから割り振られたバイト数。
大容量仮想メモリー・オブジェクト内のピーク時の使用可能バイト数	SMSLVGBYTES	大容量仮想メモリー・オブジェクト内で使用可能なバイトのピーク数。
大容量仮想メモリー・オブジェクトで隠されたバイト数	SMSLVHBYTES	大容量仮想メモリー・オブジェクトで隠されたバイト数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
割り振られた専用メモリー・オブジェクトの数	SMSLVNMOMBS	割り振られた専用メモリー・オブジェクトの数。
大容量仮想メモリーから割り振られた共用バイト数	SMSLVSHRBTS	大容量仮想メモリーから割り振られた共用バイト数。
大容量仮想メモリー・オブジェクト内のピーク時の共用バイト数	SMSLVSHRGBS	大容量仮想メモリー・オブジェクト内の共用バイトのピーク数。
割り振られた共用メモリー・オブジェクトの数	SMSLVSHRNMO	割り振られた共用メモリー・オブジェクトの数。
GCDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) の最小量	SMSLWMGCFSTG	GCDSA フリー・ストレージの最小量 (クッションを含む)。
GSDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) の最小量	SMSLWMGSFSTG	GSDSA フリー・ストレージ (クッションを含む) の最小量。
GUDSA フリー・ストレージ (クッションも含む) の最小量	SMSLWMGUFSTG	GUDSA フリー・ストレージ (クッションを含む) の最小量。
2 GB 境界より上のストレージの最大量	SMSMEMLIMIT	CICS が 2 GB 境界の上にある個々の DSA を割り振ることのできる、ストレージ総量の現在の上限。 「N/A」の値は、CICS が使用できる 2 GB 境界より上のストレージの量に制限がないことを意味します。
ソース設定のメモリー限界	SMSMEMLIMSRC	CICS が使用できる、2 GB 境界より上のストレージの最大量を設定しているソース。 <ul style="list-style-type: none"> SMF - メモリー限界は SMFPRMxx によって設定されています。 JCL - メモリー限界は JCL によって設定されています。 REGION - メモリー限界は JCL 領域によって設定されています。 IEFUSI - メモリー限界は IEFUSI 出口によって設定されています。
ページ・プール数	SMSNAPGP	CICS 領域の DSA の数。
64 ビットの専用メモリーのために使用された実ストレージ・フレームの数	SMSPGSINREAL	64 ビットの専用メモリーを補完するために使用された実ストレージ・フレームの数。
RDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSRASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
RDSA クッション解放数	SMSRCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した RDSA 要求数	SMSRCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の RDSA クッション・サイズ	SMSRCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
現在の RDSA サブプール数	SMSRCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
RDSA の現在のサイズ	SMSRDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
RDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSRDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
再入可能プログラム保護状況	SMSRENTPGM	CICS のこの実行に対して再入可能プログラム保護が選択されたかどうかを指定します。これにより CICS ロード済みプログラムは直接書き込みを受けないよう保護されます。
RDSA エクステント数	SMSREXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された RDSA エクステント数	SMSREXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された RDSA エクステント数	SMSREXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
RDSA FREEMAIN 要求数	SMSRFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
クッションを含む RDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSRFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
RDSA GETMAIN 要求数	SMSRGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク RDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSRHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された RDSA 要求のピーク数	SMSRHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 RDSA フリー域	SMSRLFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 RDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSRLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた RDSA 要求数	SMSRPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
MVS ストレージ待ちの原因となった要求数	SMSRQWAITMVS	ストレージが使用可能になるのを現在待機している MVS 要求数。
RDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSRSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
RDSA ストレージの侵害回数	SMSRSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
RDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSRTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された RDSA 要求数	SMSRUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した RDSA 要求が一時停止した回数。
SDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSSASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
SDSA クッション解放数	SMSSCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した SDSA 要求数	SMSSCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の SDSA クッション・サイズ	SMSSCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
SDSA における現在のサブプール数	SMSSCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
SDSA の現在のサイズ	SMSSDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
SDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSSDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
SDSA におけるエクステント数	SMSSEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された SDSA エクステント数	SMSSEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された SDSA エクステント数	SMSSEXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
SDSA FREEMAIN 要求数	SMSSFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む SDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSSFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
SDSA GETMAIN 要求数	SMSSGMREQ	この DSA に関連する GETMAIN 要求数。
ピーク SDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSSHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された SDSA 要求のピーク数	SMSSHWMSS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大 SDSA フリー域	SMSSLFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 SDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSSLWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
2 GB 境界より上のストレージ不足状況	SMSSOSABAR	ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTSOS - CICS は 2 GB 境界より上のストレージ不足ではありません。 SOS - CICS は 2 GB 境界より上でストレージ不足になっています。
16 MB 境界より上のストレージ不足状況	SMSSOSALINE	ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTSOS - CICS は 16 MB 境界より上のストレージ不足ではありません。 SOS - CICS は 16 MB 境界より上でストレージ不足になっています。
16 MB 境界より下のストレージ不足状況	SMSSOSBLINE	ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTSOS - CICS は 16 MB 境界より下のストレージ不足ではありません。 SOS - CICS は 16 MB 境界より下でストレージ不足になっています。
2 GB 境界より下のストレージ不足状況	SMSSOSSTATUS	ストレージ不足状態が生じているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTSOS - CICS は、どの動的ストレージ域でもストレージ不足ではありません。 SOS - CICS は、16 MB を上回る動的ストレージ域と、下回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 SOSABOVE - CICS は 16 MB を上回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 SOSBELOW - CICS は 16 MB を下回る動的ストレージ域の少なくとも 1 つでストレージ不足です。 <p>注: このフィールドは、2 GB 境界より上のストレージには適用されません。</p>
ページされた SDSA 要求数	SMSSPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
SDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSSSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
SDSA 記憶保護違反回数	SMSSSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
ストレージ保護状況	SMSTGPROT	ストレージ保護がこのシステムでアクティブかどうかを示します。
SDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSTTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された SDSA 要求数	SMSSUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した RDSA 要求が一時停止した回数。
MVS ストレージ待ちの合計時間	SMSTMWAITMVS	MVS ストレージの累積待機時間。
トランザクション分離状況	SMSTRANISO	タスク存続期間ストレージを分離させることにより、EXECKEY(USER) によって定義されたプログラムがその他の EXECKEY(USER) プログラムから読み書きされないように保護されているかどうかを示します。
UDSA ADD_SUBPOOL 要求数	SMSUASR	この DSA に関連する ADD_SUBPOOL 要求数。
UDSA クッション解放数	SMSUCREL	この DSA に関連付けられたクッション解放数。
ストレージなしで失敗した UDSA 要求数	SMSUCRISS	この DSA でストレージ不足 (SOS) 状態のために要求が失敗した回数。
現在の UDSA クッション・サイズ	SMSUCSIZE	この DSA のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
UDSA における現在のサブプール数	SMSUCSUBP	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。
UDSA の現在のサイズ	SMSUDSASZ	この DSA の現在のサイズ (バイト単位で表される)。
UDSA DELETE_SUBPOOL 要求数	SMSUDSR	この DSA に関連する DELETE_SUBPOOL 要求数。
UDSA エクステント数	SMSUEXTS	この DSA に関連するエクステント数。
追加された UDSA エクステント数	SMSUEXTSA	この DSA に追加されるエクステント数。
解放された UDSA エクステント数	SMSUEXTSR	この DSA によって解放されたエクステント数。
UDSA FREEMAIN 要求数	SMSUFMREQ	この DSA に関連する FREEMAIN 要求数。
クッションを含む UDSA フリー・ストレージのサイズ	SMSUFSTG	この DSA 内に現在あるフリー・ストレージ量 (KB で表される)。
UDSA GETMAIN 要求数	SMSUGMREQ	この DSA からの GETMAIN 要求数。
ピーク UDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSUHWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリー・ストレージの最大量。
一時停止された UDSA 要求のピーク数	SMSUHWMISS	この DSA 内のストレージのために一時停止した要求のピーク数。
最大 UDSA フリー域	SMSULFA	この DSA 内におけるストレージの最大連続フリー域の長さ (バイトで表される)。
最低 UDSA フリー・ストレージ・レベル	SMSULWMFSTG	統計が最後に記録されて以来のこの DSA におけるフリーなストレージの最小量。
ページされた UDSA 要求数	SMSUPWWS	この DSA 内のストレージのために一時停止している間にページされた要求数。
UDSA におけるストレージ不足の発生回数	SMSUSOS	この DSA で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。ここで SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
固有サブスペース・ユーザーの合計数	SMSUSSCUM	固有サブスペースに割り振られたタスクの総数。
固有サブスペース・ユーザーの現行数	SMSUSSCUR	固有サブスペースに現在割り振られているタスク数。
固有サブスペース・ユーザーのピーク数	SMSUSSHWM	固有サブスペースに同時に割り振ることのできるタスクのピーク数。
UDSA 記憶保護違反回数	SMSUSV	この DSA に関連する記憶保護違反の回数。
UDSA におけるストレージ不足の経過合計時間	SMSUTSOS	この DSA で CICS がストレージ不足になっていた累積時間。
一時停止された UDSA 要求数	SMSUUCSS	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した UDSA 要求が一時停止した回数。
SDSA 非即時 GETMAIN 要求数	SNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
SDSA クッション解放率	SRATECREL	この DSA のストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
SDSA エクステント増加率	SRATEEXTSA	この DSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
SDSA エクステント解放率	SRATEEXTSR	この DSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
SDSA FREEMAIN 要求比率	SRATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
SDSA GETMAIN 要求比率	SRATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
SDSA 記憶保護違反率	SRATESTORV	この DSA における記憶保護違反の秒ごとの比率。

表 38. CICSSTOR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
UDSA におけるストレージ不足 (SOS) の経過平均時間	UAVGTIMESOS	ユーザー動的ストレージ域 (UDSA) で CICS がストレージ不足 (SOS) になっていた平均時間。
UDSA 非即時 GETMAIN 要求数	UNONIMMGET	この DSA に関連する非即時 GETMAIN 要求数。
UDSA クッション解放率	URATECREL	この DSA のストレージ・クッション解放の秒ごとの比率。
UDSA エクステント増加率	URATEEXTSA	この DSA にエクステントが追加された秒ごとの比率。
UDSA エクステント解放率	URATEEXTSR	この DSA からエクステントが解放された秒ごとの比率。
UDSA FREEMAIN 要求比率	URATEFM	この DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
UDSA GETMAIN 要求比率	URATEGM	この DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
UDSA 記憶保護違反率	URATESTORV	この DSA における記憶保護違反の秒ごとの比率。

MVS ストレージ域 - MVSESTG

「**MVS ストレージ域**」(MVSESTG) ビューには、CICS システム内にある TCB の MVS ストレージ・エレメントに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**CICS 領域操作ビュー (CICS region operations views)**」
> 「**MVS ストレージ域 (MVS storage areas)**」

表 39. 提供された「 MVS ストレージ域 」(MVSESTG) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
MVS ストレージ域 EYUSTARTMVSESTG.DETAILED	選択した MVS ストレージ・エレメントに関する詳細情報
MVS ストレージ域 EYUSTARTMVSESTG.TABULAR	各 CICS システム内の MVS ストレージ・エレメントに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 40. MVSESTG ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ストレージ・エレメント・アドレス	ELEMENTADDR	ストレージのエレメントの開始アドレス。戻される開始アドレスには、先行チェック・ゾーンは含まれません。
エレメントの長さ	ELEMENTLEN	ストレージのエレメントの長さ。戻される長さには、先行または後続チェック・ゾーンは含まれません。
使用中のエレメントの長さ	INUSELENGTH	使用中のエレメントの長さ。
ストレージ・キー	STORAGEKEY	ストレージ・キー。
サブプール番号	SUBPOOLNUM	MVS サブプール番号。
MVS TCB のアドレス	TCBADDRESS	MVS TCB のアドレス。

ドメイン・サブプール - DOMSPOOL

「ドメイン・サブプール」(DOMSPOOL) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内の CICS ドメイン・サブプールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「ドメイン・サブプール」

表 41. 提供された「ドメイン・サブプール」(DOMSPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ドメイン・サブプール EYUSTARTDOMSPOOL.DETAILED	使用可能なヘルプがありません。
ドメイン・サブプール EYUSTARTDOMSPOOL.TABULAR	使用可能なヘルプがありません。

アクション

なし。

フィールド

表 42. DOMSPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
エレメントにより使用された DSA のパーセント	DSAELEMPCT	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
ページにより使用された DSA のパーセント	DSAPAGEPCT	ページにより使用された DSA のパーセント。
ピーク DSA ページ使用パーセント	DSAPAGEPPCT	ピーク DSA ページ使用パーセント。
最終リセット後の FREEMAIN 率	FREEMAINRTE	要求された統計のカウンターが最後にリセットされてからの、FREEMAIN 要求の一秒あたりの率。
最終リセット後の GETMAIN 率	GETMAINRTE	要求された統計のカウンターが最後にリセットされてからの、GETMAIN 要求の一秒あたりの率。
エレメントにより使用されたページ・プールのパーセント	PAGEELEMPCT	エレメントにより使用されたページ・プールのパーセント。
ページにより使用されたページ・プールのパーセント	PAGEPAGEPCT	ページにより使用されたページ・プールのパーセント。
ページにより使用されたページ・プールのピーク・パーセント	PAGEPAGPPCT	ページにより使用されたページ・プールのピーク・パーセント。
サブプール・アクセス・タイプ	SMDACCESS	サブプールのアクセスのタイプ。CICS、USER、TRUSTED または READONLY です。ストレージ保護がアクティブでない場合、ERDSA 内のものを除くすべてのストレージ域は CICS に戻ります。
サブプール・エレメント境界	SMDBNDRY	各エレメントが位置合わせされる境界。これは 8 から 4096 バイトの範囲にある、2 の累乗です。
現在のエレメント数	SMDCELEM	現在使用されているストレージ・エレメントの数、すなわち GETMAIN されたがまだ FREEMAIN されていない数。
全エレメント長の合計	SMDCES	現行エレメントのストレージ量 (バイト単位)。

表 42. DOMSPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在のページ・ストレージ	SMDCPS	このサブプールに対するページ・ストレージの現在量。2 GB 境界より下の場合、ストレージはキロバイト単位、2 GB 境界より上の場合、メガバイト単位です。
動的ストレージ域 (DSA) の名前	SMDDSANAME	サブプールのある CICS 動的ストレージ域の省略名。
エレメント・チェーニング標識	SMDELCHN	アセンブラー DSECT フィールド名には値 X'01' または X'02' があり、SM が各エレメントのアドレスと長さを含むサブプールに対してエレメント・チェーンを保守するか否かを示します。
サブプール・エレメント・タイプ	SMDETYPE	サブプールのすべてのエレメントが固定長または可変長であるかを示します。
サブプール・エレメント長	SMDFLEN	各サブプール・エレメントの長さです (固定長のサブプールにのみ適用される)。
FREEMAIN 要求数	SMDFMREQ	このサブプールに対して発行された FREEMAIN 要求数。
GETMAIN 要求数	SMDGMREQ	このサブプールに対して発行された GETMAIN 要求数。
ピーク・ページ・ストレージ	SMDHWMP	このサブプールに対するページ・ストレージのピーク量。2 GB 境界より下の場合、ストレージはキロバイト単位、2 GB 境界より上の場合、メガバイト単位です。
初期フリー域サイズ	SMDIFREE	サブプールが事前割り振られるときに当初割り振られるエレメントの合計キロバイト。
16M より上/下または 2 GB 境界を超える位置	SMDLOCN	16MB 境界より上、16MB 境界より下、または 2 GB 境界より上のドメイン・サブプールの位置を示す。
ドメイン・サブプール名	SMDSPN	一時記憶域メイン・サブプールの名前。
現在の DSA サイズ (バイト単位)	SMSDSABYTES	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA の現行サイズ (バイト単位) です。
現在の DSA サイズ	SMSDSASZ	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA (バイトで表示される) または GCDSA (メガバイトで表示される) の現行サイズです。
現在の DSA 合計	SMSDSATOTAL	現在 DSA に割り振られている 16 MB 境界より下のストレージの総量。この値は、SMSDSALIMIT より小さいかまたは大きい場合があります。

タスク・サブプール - TSKSPOOL

「タスク・サブプール」(TSKSPOOL) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内の CICS タスク・ストレージ・サブプールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「タスク・サブプール」

表 43. 提供された「タスク・サブプール」(TSKSPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
タスク・サブプール EYUSTARTTSKSPOOL.DETAILED	使用可能なヘルプがありません。
タスク・サブプール EYUSTARTTSKSPOOL.TABULAR	使用可能なヘルプがありません。

アクション

なし。

フィールド

表 44. TSKSPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
エレメントにより使用された DSA のパーセント	DSAELEMPCT	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
ピーク DSA ページ使用パーセント	DSAPAGPPCT	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
最終リセット以後の FREEMAIN 率	FREEMAINRTE	要求された統計のカウンターが最後にリセットされてからの、FREEMAIN 要求の一秒あたりの率。
最終リセット以後の GETMAIN 率	GETMAINRTE	要求された統計のカウンターが最後にリセットされてからの、GETMAIN 要求の一秒あたりの率。
使用されたページ・プールのパーセント	PAGEPAGEPCT	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
サブプール・アクセス・タイプ	SMTACCESS	サブプールのアクセス・タイプ。CICS または USER のどちらかです。
全エレメント長の合計	SMTCES	この DSA 内のタスク・サブプールのすべての要素によって占有されるストレージの合計 (バイト単位)。
現在のエレメント数	SMTCNE	タスク・サブプール内の要素の数。
現在のページ・ストレージ	SMTCPSP	このタスク・サブプールに割り振られているすべてのページのストレージの合計。
動的ストレージ域 (DSA) の名前	SMTDSANAME	このタスク・ストレージの割り振り元である DSA の名前。使用できる値は 'CDSA'、'UDSA'、'ECDSA'、または 'EUDSA' です。
FREEMAIN 要求数	SMTFMREQ	FREEMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
GETMAIN 要求数	SMTGMREQ	GETMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
ピーク・ページ・ストレージ	SMTHWMPSP	この DSA 内のタスク・ストレージ活動をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージ。
16MB を超えるか 16MB 未満のタスク・サブプールの位置	SMTLOCN	DSA が 16 MB 境界の上と下のどちらにあるかを示します。

ローダー情報 - LOADER

「**CICS ロード**」(LOADER) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内の CICS ロードの情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**CICS 領域操作ビュー**」 > 「**ローダー情報**」

表 45. 提供された「ローダー・グローバル」(LOADER) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ローダー・グローバル EYUSTARTLOADER.DETAILED	
ローダー・グローバル EYUSTARTLOADER.TABULAR	

アクション

なし。

フィールド

表 46. LOADER ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
平均ロード時間	ALOADTIME	プログラムをロードするための平均時間 (hours:minutes:seconds.decimals で表される)。
プログラム・ロードの平均待ち時間	ALOADWAIT	プログラムをロードするための平均待機時間 (hours:minutes:seconds.decimals で表される)。
CDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQCDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
ECDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQECDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
ERDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQERDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
ESDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQESDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
RDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQRDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
SDSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQSDSA	この DSA において、プログラムが DPSC 機構によるストレージからの除去に適格である時間の平均の長さ。この値は、DFHSTUP により計算されます。
圧縮により除去された CDSA プログラム数	LDGDPSCRC	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
圧縮により除去された ECDSA プログラム数	LDGDPSCREC	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
圧縮により除去された ERDSA プログラム数	LDGDPSCRER	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
圧縮により除去された ESDSA プログラム数	LDGDPSCRES	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
圧縮により除去された RDSA プログラム数	LDGDPSCRR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
圧縮により除去された SDSA プログラム数	LDGDPSCRS	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、この DSA のプログラム・インスタンス数。
不使用キューにある CDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTC	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。
不使用キューにある ECDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTEC	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。
不使用キューにある ERDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTER	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。
不使用キューにある ESDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTES	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。
不使用キューにある RDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTR	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。
不使用キューにある SDSA プログラムの合計時間	LDGDPSCCTS	この DSA に関して不使用 (NIU) キュー上でプログラムが経過した合計時間 (時間、分、および秒)。

表 46. LOADER ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
正常なロード再試行数	LDGDREBS	ローダーが LOAD 中にエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結を正常にクローズして再オープンし、LOAD を再試行した回数。
待ちローダー要求のピーク回数	LDGHWMT	LDGWLRHW が示している高位水準点レベルに達した回数。
LIBRARY 検索順序の更新	LDGLBSOU	LIBRARY 検索順序の更新の数。
LIBRARY ロード要求数	LDGLLR	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。LPA 内のモジュールは、この回数には含まれません。
RO TCB におけるライブラリー・ロード要求数	LDGLLRRO	RO TCB におけるプログラム・ロード要求が発行された回数。
全ロードの合計時間	LDGLLT	LDGLLR で示される数のライブラリー・ロードに要した時間。
RO TCB におけるプログラムをロードするためにかかる時間	LDGLLTRO	RO TCB におけるプログラムをロードするためにかかる時間
LIBRARY 検索順序の更新時間	LDGLSORT	LIBRARY 検索順序の更新に費やした時間の量。
検索順序の更新のために待機したロード要求	LDGLWSOU	LIBRARY 検索順序の更新のために待機しているプログラム・ロードの数。
不使用 (NIU) キューにある CDSA プログラム数	LDGPROGNIUC	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
不使用 (NIU) キューにある ECDSA プログラム数	LDGPROGNIUEC	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
不使用 (NIU) キューにある ERDSA プログラム数	LDGPROGNIUER	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
不使用 (NIU) キューにある ESDSA プログラム数	LDGPROGNIUES	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
不使用 (NIU) キューにある RDSA プログラム数	LDGPROGNIUR	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
不使用 (NIU) キューにある SDSA プログラム数	LDGPROGNIUS	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数。
プログラムの使用回数	LDGPUSES	CICS システムによるプログラムの使用数。
不使用キューからの CDSA 再使用回数	LDGRECNIUC	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。
不使用キューからの ECDSA 再使用回数	LDGRECNIUEC	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。
不使用キューからの ERDSA 再使用回数	LDGRECNIUER	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。
不使用キューからの ESDSA 再使用回数	LDGRECNIUES	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。
不使用キューからの RDSA 再使用回数	LDGRECNIUR	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。

表 46. LOADER ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
不使用キューからの SDSA 再 使用回数	LDGRECNIOUS	この DSA に対して CICS が不使用 (NIU) キューから行った再使用の回 数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再 使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラ ム圧縮 (DPSC) に適格ではなくなります。
不使用 (NIU) プログラムによ り占有される CDSA のサイズ	LDGSTGNIUC	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
不使用プログラムにより占有 される ECDSA のサイズ	LDGSTGNIUEC	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
不使用プログラムにより占有 される ERDSA のサイズ	LDGSTGNIUER	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
不使用プログラムにより占有 される ESDSA のサイズ	LDGSTGNIUES	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
不使用 (NIU) プログラムによ り占有される RDSA のサイズ	LDGSTGNIUR	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
不使用 (NIU) プログラムによ り占有される SDSA のサイズ	LDGSTGNIUS	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムが占有しているこの DSA のスト レージのバイト数。
ローダー待ちの経過合計時間	LDGTTW	LDGWTDLR が示している数のタスクの中断時間。
待ちローダー要求数	LDGWLR	ローダー・ドメインが、別のタスクの代わりにそのプログラムで 現在操作 を実行しているために、現在強制的に中断されている ローダー・ドメイン 要求の数。
待ちローダー要求のピーク数	LDGWLRHW	一度に中断されるタスクの最大数。
待ちローダー要求数	LDGWTDLR	ローダー・ドメインが、別のタスクの代わりにそのプログラムで 操作を実 行しているために、強制的に中断された ローダー・ドメイン要求の数。
プログラム・ロード率	LOADRATE	プログラム・ロード要求の秒ごとの比率。
不使用プログラムにより保留 された CDSA のパーセント	PCDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
不使用プログラムにより保留 された ECDSA のパーセント	PECDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
不使用プログラムにより保留 された ERDSA のパーセント	PERDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
不使用プログラムにより保留 された ESDSA のパーセント	PESDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
プログラムの使用に対する待 機パーセント	PLOADWAIT	ローダー・ドメイン要求を中断タスクが待機するために経過した時間合計 (パーセンテージで表される)。
不使用プログラムにより保留 された RDSA のパーセント	PRDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
不使用プログラムにより保留 された SDSA のパーセント	PSDSANIU	不使用 (NIU) キュー上にあるプログラムによって保持されるこの DSA の ストレージ量 (パーセンテージで表される)。
CDSA における 16 MB 未満の DSA の不使用パーセント	PSTGNIUC	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。
ECDSA における 16 MB を超え る DSA の不使用パーセント	PSTGNIUEC	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。
ERDSA における 16 MB を超え る DSA の不使用パーセント	PSTGNIUER	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。
ESDSA における 16 MB を超え る DSA の不使用パーセント	PSTGNIUES	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。
RDSA における 16 MB 未満の DSA の不使用パーセント	PSTGNIUR	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。
SDSA における 16 MB 未満の DSA の不使用パーセント	PSTGNIUS	この DSA で不使用 (NIU) キュー上にあるプログラム数 (パーセンテージ で表される)。

表 46. LOADER ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
プログラム・ロードの合計待ち時間	TLOADWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するのに、中断状態のタスクが費やした時間。

動的ストレージ域ごとのローダー - LOADACT

「動的ストレージ域ごとの CICS ロード」(LOADACT) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内の CICS ロードの情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「動的ストレージ域ごとのローダー」

表 47. 提供された「動的ストレージ域ごとのローダー」(LOADACT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
動的ストレージ域ごとのローダー EYUSTARTLOADACT.DETAILED	使用可能なヘルプがありません。
動的ストレージ域ごとのローダー EYUSTARTLOADACT.TABULAR	使用可能なヘルプがありません。

アクション

なし。

フィールド

表 48. LOADACT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
平均プログラム・ロード時間	ALOADTIME	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにかかる平均時間。
プログラム・ロードの平均待ち時間	ALOADWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するのに、中断状態のタスクが費やした平均時間。
DSA 不使用 (NIU) キュー上での平均経過時間	ANIUQDSA	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。
圧縮により DSA から削除されたプログラム数	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから削除された、プログラム・インスタンス数。
不使用キューにある DSA プログラムの合計時間	LDGDP SCT	プログラムの不使用 (NIU) キュー・メンバーシップ時間。DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドには、DPSC メカニズムによって除去されるすべてのプログラムに関するこの時間の合計が入るので、CICS の実行時間より大きな値となり得ます。不使用キューから再利用されるそれらプログラムの待ち時間はこのフィールドに含まれません。
正常なロード再試行数	LDGDREBS	ローダーが LOAD 中にエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結を正常にクローズして再オープンし、LOAD を再試行した回数。
DSA 索引	LDGDSAINDEX	ローダー DSA 索引。
ローダー待ち要求のピーク回数	LDGHWMT	LDGWLRHW が示している高位水準点レベルに達した回数。これは、LDGWTDLR フィールドや LDGWLRHW フィールドと同様、ローダー・リソースの競合のレベルを示します。

表 48. LOADACT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ライブラリー・ロード要求数	LDGLLR	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。LPA 内のモジュールは、この回数には含まれません。
RO TCB におけるライブラリー・ロード要求数	LDGLLRRO	RO TCB におけるプログラム・ロード要求が発行された回数。
全プログラム・ロードの所要合計時間	LDGLLT	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにかかる合計時間。
RO TCB におけるプログラムをロードするためにかかる時間	LDGLLTRO	RO TCB におけるプログラムをロードするためにかかる時間
不使用 (NIU) キューにあるプログラム数	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラム数。
プログラムの使用回数	LDGPUSES	CICS システムによるプログラムの使用数。
不使用 (NIU) キューからの DSA 再使用回数	LDGRECNIU	不使用 (NIU) キューから CICS が行った再利用回数。現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再使用が発生します。再使用されたプログラムのインスタンスは、プログラム圧縮に適格ではありません。
不使用 (NIU) プログラムにより占有される DSA のサイズ	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムにより占有される DSA ストレージの現在の量。
ローダー待ちの経過合計時間	LDGTTW	別のタスクのためにローダー・ドメインがそのプログラム上で操作を実行した結果、強制的に中断させられた要求が待機に費やした合計時間。
待ちローダー要求数	LDGWLR	別のタスクのためにローダー・ドメインがそのプログラム上で操作を実行しているために、現在強制的に中断させられているローダー・ドメイン要求の数。
待ちローダー要求のピーク数	LDGWLRHW	一度に中断されるタスクの最大数。
待ちローダー要求数	LDGWTDLR	ローダー・ドメインが、別のタスクの代わりにそのプログラムで操作を実行しているために、強制的に中断されたローダー・ドメイン要求の数。この数値は、待機を完了したタスクの総数であり、現在待機中のタスクは含まれません (LDGWLR)。
プログラム・ロード率	LOADRATE	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した 1 秒当たりの回数。
不使用プログラムにより保留された DSA のパーセント	PDSANIU	不使用 (NIU) プログラムにより占有される DSA ストレージの現在の量 (パーセンテージで表される)。
プログラムの使用に対する待機パーセント	PLOADWAIT	プログラム使用の合計のパーセンテージで表されるプログラム待機の数値。
16 MB を超える/未満の DSA の不使用パーセント	PSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有される DSA の数 (パーセンテージで表される)。
プログラム・ロードの合計待ち時間	TLOADWAIT	すべてのプログラムが待機に費やした合計時間。

トランザクション・クラス - TRANCLAS

「トランザクション・クラス」(TRANCLAS) ビューには、各 CICS システムのトランザクション・クラスに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「トランザクション・クラス」

表 49. 提供された「トランザクション・クラス」(TRANCLAS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
トランザクション・クラス EYUSTARTTRANCLAS.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
トランザクション・クラス EYUSTARTTRANCLAS.DETAILED	選択したトランザクション・クラスに関する詳細情報
トランザクション・クラス EYUSTARTTRANCLAS.DISCARD	トランザクション・クラスをインストール先の CICS システムから破棄します。
トランザクション・クラス EYUSTARTTRANCLAS.SET	選択したトランザクション・クラスの属性を変更するには、「トランザクション・クラス設定」ビューを表示します。
トランザクション・クラス EYUSTARTTRANCLAS.TABULAR	各 CICS システムのトランザクション・クラスに関するテーブル形式の情報

アクション

表 50. TRANCLAS ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	トランザクション・クラスをインストール先の CICS システムから破棄します。
SET	選択したトランザクション・クラスの属性を変更するには、「トランザクション・クラス設定」ビューを表示します。

フィールド

表 51. TRANCLAS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キューに入った後受け入れのトランザクション数	ACCEPTAFTRQD	キューに入れられた後、実行することが許容されたトランザクションの数。
即時受け入れのトランザクション数	ACCEPTIMMED	即時に実行することが許容されているトランザクションの数。
クラス内で現在アクティブなトランザクション数	ACTIVE	クラス内で現在アクティブなトランザクションの総数。
アクティブなトランザクションのピーク数	ACTIVEPEAK	特定の時点でクラス内でアクティブであったトランザクションの最高数。
合計 接続要求数	ATTACHES	接続要求の総数。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。

表 51. TRANCLAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
現在キューに入れられているトランザクションの合計時間	CURQUEDTIME	このトランザクション・クラス内で現在キューに入れられているトランザクションが待機に費やした時間。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストールされたトランザクション定義数	INSTALLDEFS	現在インストールされているトランザクション定義の総数。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
クラス内の最大許容トランザクション数	MAXACTIVE	クラス内で同時に実行することが許されているトランザクションの最大数。
トランザクション・クラス名	NAME	8 文字のトランザクション・クラス名。
しきい値到達のためパージされたトランザクション数	PURGEIMMED	定義されたしきい値に達したためにパージされたトランザクションの数。
パージしきい値	PURGETHRESH	<p>キューに入れて最初のディスパッチを待機させることができる、このクラス内のトランザクションの最大数。キューがその PURGETHRESH 限度に達しているときに、発生したこのクラスのトランザクションはパージされます。</p> <p>キューのサイズが無制限の場合 (タスク生成に使用可能なストレージによるものを除く)、NO が表示されます。</p>
キューにある間にパージされたトランザクション数	PURGEWHILEQD	このクラス内でキューに入れられている間にパージされたトランザクションの数。
パージしきい値到達回数	PURGTHRTIMES	パージしきい値に達した回数。
現在キューにあるトランザクション数	QUEUED	現在キューの中で最初のディスパッチを待機しているトランザクションの数。キューイングは、アクティブ・タスク数が既に最大値になっているか、あるいは、システムにとっても最大値に到達しているか、いずれかの理由で発生します。
キューに入れられたトランザクションのピーク数	QUEUEDPEAK	特定の時点において、このクラスでキューに入れられていたトランザクションの最高数。
キューに入れられたトランザクションの合計時間	QUEUETIME	このクラス内でトランザクションがキューに入れられていた合計時間。
最大アクティブ・トランザクション数到達回数	TIMESATMAX	このトランザクション・クラスが、その定義された最大値に達した回数。
キューに入れられた合計トランザクション数	TOTQUEDCNT	このクラス内でキューに入れられたトランザクションの総数。

システム・ダンプ・コード - SYSDUMP

「CICS システム・ダンプ・コード」(SYSDUMP) ビューには、アクティブな CICS システムのシステム・ダンプ・コードについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「システム・ダンプ・コード」

表 52. 提供された「CICS システム・ダンプ・コード」(SYSDUMP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.ADD	新規のシステム・ダンプ・コードを作成します。 許可されるダンプのスコープ、コード、最大数、このコードに関連したエラーが出される場合に CICS システムをシャットダウンするかどうか、およびこのコードのオカレンスに従って CICSplex SM にシステム・ダンプを取らせるかどうかを指定します。
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.DELETE	システム・ダンプ・コードをダンプ・コードテーブルから削除します。
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.DETAILED	選択したシステム・ダンプ・コードに関する詳細情報
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.RESET	システム・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの数を 0 になるようにリセットします。
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.SET	CICS システム・ダンプ・コードの「設定」ビューを表示します。
CICS システム・ダンプ・コード EYUSTARTSYSDUMP.TABULAR	アクティブな CICS システムのシステム・ダンプ・コードに関するテーブル形式の情報

アクション

表 53. SYSDUMP ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ADD	新規のシステム・ダンプ・コードを作成します。 許可されるダンプのスコープ、コード、最大数、このコードに関連したエラーが出される場合に CICS システムをシャットダウンするかどうか、およびこのコードのオカレンスに従って CICSplex SM にシステム・ダンプを取らせるかどうかを指定します。
DELETE	システム・ダンプ・コードをダンプ・コードテーブルから削除します。
RESET	システム・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの数を 0 になるようにリセットします。
SET	CICS システム・ダンプ・コードの「設定」ビューを表示します。

フィールド

表 54. SYSDUMP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 SYSTEM - リソースは CICS によって最後に変更されました。 CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
前回リセット後のダンプ呼び出し数	CURRENT	<p>値が最後に 0 にリセットされたとき以降、このシステム・ダンプ・コードについて行われたダンプ呼び出しの数。この値は INITIALIZE アクション・コマンドを使用してリセットできます。</p> <p>この値は、「実行されたシステム・ダンプ数」フィールドの値 (これは CICS 終業時にリセットされる) より高くなる可能性があります。終了時統計のリセットの直前にこの値が初期化された場合、現在のダンプの数はとられるダンプの総数を超えることがあります。</p>
ダンプ分析重複回避機能 (DAE) オプション	DAEOPTION	<p>このシステム・ダンプ・コードに対して生成されたダンプが、MVS ダンプ分析重複回避機能 (DAE) コンポーネントによる抑止に適格かどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> DAE - ダンプは DAE 抑止に適格です。 NODAE - ダンプは DAE 抑止に適格ではありません。CICS がダンプの書き込みを決定している場合、MVS はそれを抑止しません。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
データ・スペース名リスト	DSPLIST	このダンプ・コードのダンプの実行時にダンプするデータ・スペース名のコンマ区切りリストを指定します。この属性は、CEMT または CICS システム・プログラミング・インターフェースでのみ変更できます。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 SYSTEM - リソースは CICS によってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 54. SYSDUMP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
ジョブ名リスト	JOBLIST	このダンプ・コードのダンプの実行時にダンプするアドレス・スペース名のコンマ区切りリストを指定します。この属性は、CEMT または CICS システム・プログラミング・インターフェースでのみ変更できます。
このコードによる最大ダンプ数	MAXIMUM	システム・ダンプがとられる結果になるこのシステム・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの最大数。 入力値: 0 から 999 まで (SYSDUMP のみ)
システム・ダンプの抑止回数	SDMPSUPP	このシステム・ダンプ・コードについて (CICS またはユーザーによって) 要求され、以下のいずれかによって抑止されたシステム・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー出口 ・ ダンプ・テーブル ・ グローバル・システム・ダンプ抑止
システム・ダンプ実施回数	SDMPTOTL	最後の CICS 終了時統計のリセット以降、このシステム・ダンプ・コードについてとられるシステム・ダンプの数。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。
システム・ダンプのスコープ・タイプ	SDUMPSCOPE	このシステム・ダンプ・コードを指定した SDUMP 要求が sysplex 内のその他の MVS イメージに送信されるかどうかを示します。MVS イメージは、ダンプ要求を開始した CICS システムに関連する、XCF/MRO によって接続された CICS システムを実行しているイメージです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ LOCAL - SDUMP 要求は関連 CICS システムに送信されません。 ・ RELATED - SDUMP 要求は関連 CICS システムに送信されます。CICS システムは、MVS ワークロード・マネージャーを備えた MVS/ESA 5.1 またはそれ以降で実行する必要があります。
シャットダウン・オプション	SHUTOPTION	このシステム・ダンプ・コードの呼び出しの後で CICS システムがシャットダウンされるかどうかを示します。 入力値: SHUTDOWN、NOSHUTDOWN
システム・ダンプ・コード	SYSDUMPCODE	システム・ダンプ・テーブル・エントリが変更される 8 文字のシステム・ダンプ・コードを指定します。有効なシステム・ダンプ・コードには、先行ブランクまたは組み込みブランクが含まれません。
システム・ダンプのオプション	SYSDUMPING	このコードによるシステム・ダンプ要求がダンプを生成するかどうかを指定します。CVDA 値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ NOSYSDUMP - ダンプはとられません。 ・ SYSDUMP - ダンプがとられます。 SYSDUMP が指定されているとしても、このコードの要求数が MAXIMUM に達しておらず、システム・ダンプがグローバルに抑止されていない (INQUIRE SYSTEM コマンドの DUMPING オプションを参照) 場合にのみ、CICS はダンプをとります。適切な場合、MVS は DAEPTION 値に応じてダンプを抑止することもできます。

トランザクション・ダンプ・コード - TRANDUMP

「**CICS** トランザクション・ダンプ・コード」(TRANDUMP) ビューには、アクティブな CICS システムのトランザクション・ダンプ・コードについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS** 操作ビュー」 > 「**CICS** 領域操作ビュー」 > 「トランザクション・ダンプ・コード」

表 55. 提供された「トランザクション・ダンプ・コード」(TRANDUMP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.ADD	新規のトランザクション・ダンプ・コードを作成するために、CICS トランザクション・ダンプ・コードの「追加」ビューを表示します。許可されるダンプのスコープ、コード、最大数、このコードに関連したエラーが出される場合に CICS システムをシャットダウンするかどうか、およびこのダンプ・コードのオカレンスに従って CICSplex SM にトランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプを取らせるかどうかを指定します。
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.DELETE	各 CICS システム内の、ダンプ・コードがリストされたトランザクション・ダンプ・コード・テーブルからダンプ・コードを除去します。
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.DETAILED	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.DETAILED	選択したトランザクション・ダンプ・コードに関する詳細情報
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.RESET	トランザクション・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの数を 0 になるようにリセットします。
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.SET	選択的ダンプ・コードの属性を変更するために、CICS トランザクション・ダンプ・コードの「設定」ビューを表示します。
トランザクション・ダンプ・コード EYUSTARTTRANDUMP.TABULAR	アクティブな CICS システムのトランザクション・ダンプ・コードに関するテーブル形式の情報

アクション

表 56. TRANDUMP ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ADD	新規のトランザクション・ダンプ・コードを作成するために、CICS トランザクション・ダンプ・コードの「追加」ビューを表示します。許可されるダンプのスコープ、コード、最大数、このコードに関連したエラーが出される場合に CICS システムをシャットダウンするかどうか、およびこのダンプ・コードのオカレンスに従って CICSplex SM にトランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプを取らせるかどうかを指定します。
DELETE	各 CICS システム内の、ダンプ・コードがリストされたトランザクション・ダンプ・コード・テーブルからダンプ・コードを除去します。
RESET	トランザクション・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの数を 0 になるようにリセットします。
SET	選択的ダンプ・コードの属性を変更するために、CICS トランザクション・ダンプ・コードの「設定」ビューを表示します。

フィールド

表 57. TRANDUMP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS によって最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
前回リセット後のダンプ呼び出し数	CURRENT	<p>値が最後に 0 にリセットされたとき以降、このトランザクション・ダンプ・コードについて行われたダンプ呼び出しの数。この値は INITIALIZE アクション・コマンドを使用してリセットできます。</p> <p>これには、このコードに対して抑止されるかまたはこのコードの数がその最大値に達したために、ダンプが発生しない要求も含まれます。</p> <p>この値は、「実行されたトランザクション・ダンプ数」フィールドの値 (これは CICS 終業時にリセットされる) より高くなる可能性があります。終了時統計のリセットの直前にこの値が初期化された場合、現在のダンプの数はとられるダンプの総数を超えることがあります。</p>
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS によってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
ダンプ呼び出しの最大数	MAXIMUM	<p>ダンプがとられる結果になるこのトランザクション・ダンプ・コードのダンプ呼び出しの最大数。</p> <p>入力値: 0 - 999 (TRANDUMP のみ)</p>

表 57. TRANDUMP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
システム・ダンプの抑止回数	SDMPSUPP	このトランザクション・ダンプ・コードについて (CICS またはユーザーによって) 要求され、以下のいずれかによって抑止されたシステム・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー出口 ・ ダンプ・テーブル ・ グローバル・システム・ダンプ抑止
システム・ダンプ実施回数	SDMPTOTL	最後の CICS 終了時統計のリセット以降、このトランザクション・ダンプ・コードについてとられるシステム・ダンプの数。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。
シャットダウン・オプション	SHUTOPTION	このトランザクション・ダンプ・コードの呼び出しの後で CICS システムがシャットダウンされるかどうかを示します。 入力値: SHUTDOWN、NOSHUTDOWN
システム・ダンプのオプション	SYSDUMPING	このトランザクション・ダンプ・コードについてシステム・ダンプがとられるかどうかを示します。 入力値: SYSDUMP、NOSYSDUMP
トランザクション・ダンプの抑止回数	TDMPSUPP	このトランザクション・ダンプ・コードについて (CICS またはユーザーによって) 要求され、以下のいずれかによって抑止されたトランザクション・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー出口 ・ ダンプ・テーブル
トランザクション・ダンプの実施回数	TDMPTOTL	最後の CICS 終了時統計のリセット以降、このトランザクション・ダンプ・コードについてとられるトランザクション・ダンプの数。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。
トランザクション・ダンプのスコープ・タイプ	TDUMPSCOPE	このトランザクション・ダンプ・コードを指定した SDUMP 要求が sysplex 内のその他の MVS イメージに送信されるかどうかを示します。MVS イメージは、ダンプ要求を開始した CICS システムに関連する、XCF/MRO によって接続された CICS システムを実行しているイメージです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ LOCAL - SDUMP 要求は関連 CICS システムに送信されません。 ・ RELATED - SDUMP 要求は関連 CICS システムに送信されます。CICS システムは、MVS ワークロード・マネージャーを備えた MVS/ESA 5.1 またはそれ以降で実行する必要があります。 入力値: LOCAL、RELATED
トランザクション・ダンプ・コード	TRANDUMPCODE	トランザクション・ダンプ・テーブル・エントリーが変更される 4 文字のトランザクション・ダンプ・コード。有効なトランザクション・ダンプ・コードには、先行ブランクや組み込みブランクがありません。
トランザクション・ダンプ・オプション	TRANDUMPING	このコードによるトランザクション・ダンプ要求が受信されたらトランザクション・ダンプをとるかどうかを指定します。CVDA 値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ NOTRANDUMP - トランザクション・ダンプはとられません。 ・ TRANDUMP - トランザクション・ダンプがとられます。 TRANDUMP が指定されているとしても、このコードの要求の数が MAXIMUM を超えない場合にのみ、CICS はダンプをとります。このオプションが ADD 要求から省略される場合、TRANDUMP が想定されます。

グローバル・ディスパッチャー情報 - DSPGBL

「グローバル CICS ディスパッチャー情報」(DSPGBL) ビューには、CICS システムのグローバル CICS ディスパッチャー情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「グローバル・ディスパッチャー情報」

表 58. 提供された「グローバル・ディスパッチャー情報」(DSPGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル・ディスパッチャー情報 EYUSTARTDSPGBL.DETAILED	選択した CICS システム内のグローバル・ディスパッチャーに関する詳細情報
グローバル・ディスパッチャー情報 EYUSTARTDSPGBL.TABULAR	CICS システム内のグローバル・ディスパッチャーに関するテーブル形式の情報

アクション

表 59. DSPGBL ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
SET	選択したディスパッチャーの属性を変更します。

フィールド

表 60. DSPGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在のタスク数	DSGCNT	システム内の現在のタスク数。この数値には、すべてのシステム・タスクとすべてのユーザー・タスクが含まれます。
経過ジョブ・ステップ時間	DSGEJST	このアドレス・スペース内のすべての TCB の、この間隔中に累積された合計 CPU 時間。
ランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR) (ミリ秒)	DSGICVRT	SIT に指定されている、あるいは指定変更として指定されている、あるいは CEMT SET SYSTEM TIME(値) または EXEC CICS SET SYSTEM TIME(フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更される、ランナウェイ・タスク時間のデフォルト・システム値 (ミリ秒で表現)。この値は、プロファイルでランナウェイ・タスク時間が指定されていないトランザクションを実行するタスクに対して使用されます。
端末スキャン遅延時間 (ICVTSD) (ミリ秒)	DSGICVSD	SIT に指定されている、あるいは指定変更として指定されている、あるいは CEMT SET SYSTEM SCANDELAY(値) または EXEC CICS SET SYSTEM SCANDELAY(フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更される、ICVTSD 時間値 (ミリ秒で表現)。
現行の領域終了時間 (ICV) (ミリ秒)	DSGICVT	SIT に指定されている、あるいは指定変更として指定されている、あるいは CEMT SET SYSTEM TIME(値) または EXEC CICS SET SYSTEM TIME(フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更される、ICV 時間値 (ミリ秒で表現)。
ディスパッチャー開始時刻 LOCAL	DSGLSTRT	CICS ディスパッチャーが開始された現地時間。この値は、CICS が開始された概算時刻として使用できます。
最終超過 TCB スキャン	DSGLXSCN	CICS ディスパッチャーの最終超過 MVS TCB スキャンの日時。
TCB が切り離されていない最終超過 TCB スキャン	DSGLXSND	TCB が切り離されていない CICS ディスパッチャーの最終超過 MVS TCB スキャンの日時。
MRO バッチ値 (MROBTCH)	DSGMBTCH	SIT に指定されている、あるいは指定変更として指定されている、あるいは CEMT SET SYSTEM MROBATCH(値) または EXEC CICS SET SYSTEM MROBATCH(フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更される、MROBTCH 値。
ピーク・タスク数	DSGPNT	システム内に同時に存在するピーク・タスク数。
優先順位繰り上げ値 (PRTYAGE) (ミリ秒)	DSGPRIAG	タスクの優先度を上げるために優先順位繰り上げアルゴリズムで使われるミリ秒数。CICS は、PRTYAGING ミリ秒の待ち時間 (ディスパッチは除く) が経過するごとに、タスクの優先度を 1 ずつ増やします。この値の範囲は 0 から 65535 で、デフォルトは 1000 です。
累算 SRB 時間	DSGSRBT	この CICS アドレス・スペースの累積 SRB 時間。
ディスパッチャー開始時刻 GMT	DSGSTART	ディスパッチャーが開始された時刻。この値は、CICS が開始された概算時刻として使用できます。

表 60. DSPGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
サブタスク数	DSGSTSKS	SUBTSKS SIT パラメーターで指定されている、並行モードでタスクを実行するのに CICS が使用できるタスク制御ブロック (TCB) の数。
TCB が切り離されていない超過 TCB スキャン数	DSGXSCNN	CICS ディスパッチャーによって MVS TCB が切り離されなかった 超過 MVS TCB スキャンの数。
超過 TCB スキャン数	DSGXSCNS	CICS ディスパッチャー 超過 MVS TCB スキャンの数。
切り離された超過 TCB の合計数	DSGXTCBD	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB 管理処理によって切り離された MVS TCB の合計数。
Quasi-再入可能性強制オプション	FORCEQR	CICS が、スレッド・セーフとして指定されているすべての CICSAPI ユーザー・アプリケーション・プログラムを、準再入可能プログラムとして指定されているかのように強制的に CICS QR TCB の下で実行するかどうかを指定します。 有効オプション: FORCE、NOFORCE

ディスパッチャー TCB モード - DSPMODE

「ディスパッチャー TCB モード」(DSPMODE) ビューには、CICS システム用の CICS ディスパッチャー TCB モードに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「ディスパッチャー TCB モード」

表 61. 提供された「ディスパッチャー TCB モード」(DSPMODE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ディスパッチャー TCB モード EYUSTARTDSPMODE.DETAILED	選択したディスパッチャー TCB モードに関する詳細情報
ディスパッチャー TCB モード EYUSTARTDSPMODE.TABULAR	CICS システム内のディスパッチャー TCB モードに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 62. DSPMODE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
この TCB で使用された合計 CPU 時間	DSGACT	この TCB モードで接続されているか接続されていたすべての TCB に 費された累算 CPU 時間。つまり、このモードの TCB が実行されていた合計時間。
TCB 接続数	DSGNTCBA	この TCB モードで接続された MVS TCB の数。
区画終了数	DSGSYSW	このモードの TCB で生じた MVS 待機数。
TCB 接続障害数	DSGTCBAF	この TCB モードで発生した MVS TCB 接続障害の数。
割り振られた TCB 数	DSGTCBAL	この TCB モードの TCB がタスクに割り当てられた (つまり、CICS が特定のタスクで使用するように TCB を割り当てた) 回数。TCB 割り振りは、オープン TCB モードにのみ適用されます。「N/A」は、これがオープン TCB モードでないか、このモードで TCB がまだ作成されていないことを意味します。
現在タスク生成された TCB 数	DSGTCBCA	現在、この CICS アドレス・スペースに接続されている TCB 数。

表 62. DSPMODE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
モードにより使用されている現在の TCB 数	DSGTCBCU	現在、この TCB モードで接続されている TCB 数。
その他切り離し数	DSGTCBDO	他の理由のため、この CICS ディスパッチャー TCB モードから切り離された、またはその処理中の MVS TCB の数 (たとえば TCB プール限界が下がった場合や、使用中の TCB の数に対して接続されている TCB の数が多すぎる場合など)。
無断切り離し数	DSGTCBDS	別の TCB モードで必要とされているため、この CICS ディスパッチャー・モードから減らされた、またはその処理中の MVS TCB の数。
不明確な切り離し数	DSGTCBDU	TCB に関連付けられた CICS トランザクションが異常終了したため、この CICS ディスパッチャー・モードに関して切り離された、または切り離し中の MVS TCB の数。
超過切り離し数	DSGTCBDX	CICS ディスパッチャーの超過 TCB スキャンが原因でこの CICS ディスパッチャー・モードから切り離された、またはその処理中の MVS TCB の数。
オープン状況	DSGTCBMD	この TCB モードがオープン TCB モードかそうでないか、または不明であるかを示します。不明は、この TCB モードが活動化されていないことを意味します。特定のモードにおける TCB に対して初めて要求を行うと、モードが活動化されます。
TCB ミスマッチ数	DSGTCBMM	この TCB モードで発生した MVS TCB ミスマッチの数。
TCB モード・プール番号	DSGTCBMP	この TCB モードが定義されている TCB プールの番号。
TCB モード名	DSGTCBNM	CICS ディスパッチャー TCB モードの名前。QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、D2、JM、EP、TP、S8、L8、L9、J8、J9、T8、X8、X9 が可能です。J8、J9 および JM は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
接続された TCB のピーク数	DSGTCBPA	このモードで接続される TCB のピーク数。
モードにより使用されている TCB のピーク数	DSGTCBPU	このモードで使用される TCB のピーク数。
TCB スチール数	DSGTCBST	他の TCB モードからスチールされた MVS TCB の数。
ディスパッチャー・タスクのこの TCB で使用された CPU 時間	DSGTCT	DS タスク用の累積 CPU 時間。つまり、デフォルト・ディスパッチャー・タスク (DSTCB) の実行中にこのモードの TCB が使用したプロセッサ時間。DSECT フィールドには、この時間が保管クロック (STCK) 値の形で入ります。
MVS によりディスパッチされたりアルタイム TCB の合計	DSGTDIT	MVS によってこのモードの TCB がディスパッチされた累積リアルタイム。つまり、ディスパッチャーが発行した MVS 待機と後続の待機との間に使用された合計時間。DFHSTUP レポートは、この時刻を hours:minutes:seconds.decimals の形で表現します。しかし、DSECT フィールドには、この時間が保管クロック (STCK) 値の形で入ります。
ディスパッチ可能キュー - 平均	DSGTMADQ	TCB のキューに入れられているディスパッチ可能タスクの平均数。
ディスパッチ可能キュー - 現在	DSGTMCDQ	TCB のキューに入っているディスパッチ可能タスクの現行数。
ディスパッチ可能キュー - ピーク	DSGTMCDQ	TCB のキューに入れられているディスパッチ可能タスクのピーク数。
MVS 待機中の経過リアルタイム CICS	DSGTWT	この TCB が MVS 待機中となっていた累積リアルタイム。つまり、ディスパッチャーが MVS 待機を発行してから、その MVS 待機から戻るまでに使用された合計時間。
TCB モード・プール名	TCBPOOLN	この TCB モードが定義されている TCB プールの名前。N/A、HOTPOOL、OPEN、JVM、SSL、XPLINK、または THREADED のいずれか。

ディスパッチャー TCB プール - DSPPOOL

「ディスパッチャー TCB プール」(DSPPOOL) ビューには、CICS システム用の CICS ディスパッチャー TCB プールに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「ディスパッチャー TCB プール」

表 63. 提供された「ディスパッチャー TCB プール」(DSPPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ディスパッチャー TCB プール EYUSTARTDSPPOOL.DETAILED	選択したディスパッチャー TCB プールに関する詳細情報
ディスパッチャー TCB プール EYUSTARTDSPPOOL.TABULAR	CICS システム内のディスパッチャー TCB プールに関するテーブル形式の情報

アクション

表 64. DSPPOOL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 65. DSPPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在の TCB ミスマッチ待ち数	DSGCMMWS	このプールを使用している TCB 要求による現在の TCB ミスマッチ待ち数。
現在の TCB ミスマッチ待ち時間	DSGCMMWT	このプールを使用している TCB 要求による現在の TCB ミスマッチ待ちの現在の待ち時間。
現在タスク生成された TCB 数	DSGCNUAT	この TCB プールにある TCB モードで接続された TCB の現行数。
現在の使用中 TCB 数	DSGCNUUS	この TCB プール内で接続されて使用中の CICS TCB の現行数。
現行 TCB 待ちタスク数	DSGCURNW	このプールで許容される TCB 数の限界にシステムが達したので現在遅延している TCB 要求数。
現行 TCB 限界での待ち時間	DSGCRWT	このプールで許容される TCB 数の限界にシステムが達したので現在遅延している TCB 要求の現在の遅延時間。
Time Max TCB Pool Limit last reached (最大 TCB プール限界に達した最後の時刻)	DSGLTCBL	プールが最大 TCB 限界に達した時刻。
TCB ミスマッチ待ち時間の合計	DSGMMWTM	このプールを使用している TCB 要求による TCB ミスマッチ待ちで費やした合計時間。
TCB ミスマッチ待ち数の合計	DSGMMWTS	TCB ミスマッチ待ち (つまり TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求) の合計数。JVM プールにある J8 および J9 モードの TCB の場合、正しいモード (J8 または J9) の TCB を待機した要求および JVM プロファイルが表示されます。J8 および J9 モードの TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大 TCB 数	DSGMXTCB	このプールで許容されている TCB の最大数の値。CICS Transaction Server 5.1 以降、オープン・プール、xplink プールおよびスレッド・プールの値は CICS により設定され、変更不可であり、設定操作は無視されます。オープン・プールおよび xplink プールの場合、値は maxtasks 値に基づいて CICS によって設定されます。オープン TCB の場合、(2*maxtasks)+32 です。xplink の場合、maxtasks 値です。スレッド・プールの場合、JVMSEVER ごとのスレッドの最大数の合計 (最大 2000 まで) です。JVMSEVER ごとの値 threadlimit+1 が使用されます。SSL TCB の場合、値は MAXSSLTCBS システム初期設定パラメーターから取られます。
プール限界時の回数	DSGNTCBL	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達した回数。

表 65. DSPPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TCB 待ちタスクのピーク数	DSGPEANW	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、遅延した TCB 要求のピーク数。
TCB ミスマッチ待ちのピーク数	DSGPMWWS	このプールを使用している TCB 要求による TCB ミスマッチ待ちのピーク数。
接続された TCB のピーク数	DSGPNUAT	この TCB プールにあり、TCB モードで接続される TCB のピーク数。
使用中 TCB のピーク数	DSGPNUUS	この TCB プール内で接続されて使用された CICS TCB のピーク時の数。
TCB プール番号	DSGTCBPN	CICS TCB プールの番号。
MVS ストレージ待ち時間の合計	DSGTOTMT	このプールを使用する TCB 要求による MVS ストレージ待機に費やされた 合計時間。
MVS ストレージ待ちの合計数	DSGTOTMW	TCB を使用できず MVS ストレージ制約が原因で TCB を 作成できなかったために待機していた MVS ストレージ要求の 合計数。
合計待機数	DSGTOTNW	このプールで許容される TCB 数の限界にシステムが達したので遅延した TCB 要求の合計数。
TCB 限界での合計待ち時間	DSGTOTWL	このプールで許容される TCB 数の限界にシステムが達したので TCB 要求が遅延した合計時間。
TCB プール名	POOLNAME	CICS TCB プールの名前。OPEN、SSL、XPLINK、または THREADED のいずれか。

エンキュー・プール - ENQUEUE

「**CICS グローバル・エンキュー**」(ENQUEUE) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブな CICS システム内の CICS エンキューについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**CICS 領域操作ビュー**」 > 「**エンキュー・プール**」

表 66. 提供された「エンキュー・マネージャー」(ENQUEUE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
エンキュー・マネージャー EYUSTARTENQUEUE.DETAILED	使用可能なヘルプがありません。
エンキュー・マネージャー EYUSTARTENQUEUE.TABULAR	使用可能なヘルプがありません。

アクション

なし。

フィールド

表 67. ENQUEUE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
エンキュー要求の平均保存時間	NQGACNQRT	中断されている UOW があるために保存されていた ENQ の平均保存時間。これには、現在保存されている ENQ の保存時間は含まれません。
sysplex エンキュー要求の平均待機時間	NQGAGNQWT	sysplex ENQ 要求の平均保存時間。これには、現在待機している sysplex ENQ は含まれません。
エンキュー要求の平均待機時間	NQGATNQWT	ENQ が保留にされているために待たなければならなかった ENQ の平均待ち時間。

表 67. ENQUEUE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在のエンキューの平均保存時間	NQGCACNQRT	中断されている UOW があるために現在保存されている ENQ の平均保存時間。
現在の sysplex エンキューの平均待機時間	NQGCAGNQWT	現在待機している sysplex ENQ の平均待ち時間。
現在待機しているエンキューの平均待機時間	NQGCATNQWT	現在待機している ENQ の平均待ち時間。
現在リテインされているエンキューの保存時間	NQGCNQRT	現在保存されている ENQ の保存時間の合計。
現在リテインされているエンキュー要求数	NQGCNQSR	現在保存されているエンキューの数。
現在待機しているエンキュー要求数	NQGCNQSW	現在待機している ENQ の数。
現在待機しているエンキュー要求の待機時間	NQGCNQWT	現在待機している ENQ についての、ENQ の待ち時間の合計。
合計待機 sysplex エンキュー要求	NQGGNQSW	待機した sysplex ENQ 要求の総数。
sysplex エンキュー要求の合計待機時間	NQGGNQWT	sysplex ENQ についての、ENQ の待ち時間の合計。
エンキュー・プール ID	NQGPOOL	ENQ プールの ID。
現在待機している sysplex エンキュー要求数	NQGSNQSW	現在待機している sysplex エンキューの数。
現在の sysplex エンキュー要求の待機時間	NQGSNQWT	現在待機している sysplex ENQ についての、ENQ の待ち時間の合計。
ENQBUSY でリジェクトされた合計エンキュー要求	NQGTIRJB	即時拒否された ENQ の数。
リテインされている合計エンキュー要求リジェクト ENQ	NQGTIRJR	即時拒否され保存されている ENQ の数。
エンキュー要求の合計保存時間	NQGTNQRT	すべての ENQ 要求の保存時間の合計。
発行されたエンキューの合計数	NQGTNQSI	発行された ENQ の総数。
リテインされたエンキュー要求の合計	NQGTNQSR	保存された ENQ 要求の総数。
待機エンキュー要求の合計数	NQGTNQSW	待機した ENQ の総数。
エンキュー要求の合計待機時間	NQGTNQWT	ENQ の待ち時間の合計。
オペレーターによってパージされた合計待機エンキュー要求	NQGTWPOP	オペレーターの介入のため、拒否を待っているエンキューの数。
タイムアウトによってパージされた合計待機エンキュー要求	NQGTWPTO	タイムアウトのため、拒否を待っているエンキューの数。
リテインされている合計待機エンキュー要求リジェクト ENQ	NQGTWRJR	拒否され保存されている ENQ の総数。

グローバル・ユーザー出口 - EXTGLORD

「グローバル・ユーザー出口」(EXTGLORD) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内のグローバル・ユーザー出口についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「グローバル・ユーザー出口」

表 68. 提供された「グローバル・ユーザー出口」(EXTGLORD) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル・ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXTGLORD.DETAILED	使用可能なヘルプがありません。
グローバル・ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXTGLORD.TABULAR	使用可能なヘルプがありません。

アクション

なし。

フィールド

表 69. EXTGLORD ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
並行性状況	CONCURRENTST	このプログラムの最後のイネーブル・コマンドで指定されたユーザー出口プログラムの並行性の状態を示します。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">QUASIRENT - ユーザー出口プログラムは準再入可能として定義されており、CICS API から CICS サービスを呼び出す際に CICS QR TCB の下でのみ実行できます。何らかの MVS サービスを使用する場合は、このユーザー出口プログラムを個人で管理する TCB に切り替える必要があります。THREADSAFE - プログラムはスレッド・セーフなものとして定義されて、プログラムに制御が付与されるときにユーザー・タスクによって使用されるどの TCB の下でも実行できます。
グローバル・ユーザー出口ルーチンの入り口点アドレス	ENTRY	グローバル・ユーザー出口プログラムの入り口アドレス。
入り口名	ENTRYNAME	グローバル・ユーザー出口プログラムの名前。この値はロード・モジュールの名前と同じになる場合もありますが、ロード・モジュールに複数の出口プログラムがある場合は別の値が戻されます。
出口ルーチン名	EXITPOINT	CICS 出口の名前。
出口位置	EXITPOSITION	EXITPOINT に使用可能だった出口の時間順序。
グローバル作業域を所有する出口ルーチン名	GAENTRYNAME	入り口名フィールドで指定された出口ルーチンによって使用されているグローバル作業域を所有する、現在使用可能なグローバル・ユーザー出口プログラムの名前。グローバル作業域が別の出口プログラムによって使用され、所有されている場合以外は、このフィールドに値は含まれません。
グローバル作業域の長さ	GALENGTH	この出口プログラムのグローバル作業域の長さ。
グローバル作業域ユーザー数	GAUSECOUNT	この出口プログラムが所有するグローバル作業域を使用している出口プログラムの数。
出口ルーチンが使用可能なグローバル出口点の数	NUMEXITS	出口ルーチンが使用可能なグローバル出口点の数。
プログラム名	PROGRAM	出口プログラムのロード・モジュールの名前。
出口プログラム可用性状況	STARTSTATUS	出口プログラムを実行できるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none">STARTED - 出口プログラムを実行できます。STOPPED - 出口プログラムを実行できません。
プログラムの使用回数	USECOUNT	現在の CICS セッションでユーザー出口プログラムが実行された合計回数。

タスク関連ユーザー出口プログラム - EXITTRUE

「タスク関連ユーザー出口ルーチン」(EXITTRUE) ビューには、インストールされている CICS TS タスク関連ユーザー出口ルーチンについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「CICS 領域操作ビュー」 > 「タスク関連ユーザー出口プログラム」

表 70. 提供された「タスク関連ユーザー出口ルーチン」(EXITTRUE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
タスク関連ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXITTRUE.DETAILED	特定のタスク関連のユーザー出口に関する詳細情報
タスク関連ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXITTRUE.TABULAR	現在インストールされているタスク関連のユーザー出口に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 71. EXITTRUE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
オープン API 状況	APIST	タスク関連ユーザー出口ルーチンがどの API を使用するかを示します。 <ul style="list-style-type: none">BASEAPI - タスク関連ユーザー出口プログラムは QUASIRENT または THREADSAFE のいずれかとして使用可能ですが、OPENAPI オプションでは使用可能ではありません。これは、CICS が許可したプログラミング・インターフェースに限定されることを意味します。BASEAPI は CICSAPI の同義語です。OPENAPI - タスク関連ユーザー出口プログラムは THREADSAFE オプションおよび OPENAPI オプションで使用可能です。これは、スレッド・セーフ様式で非 CICS の API を使用できることを意味します。この目的のために CICS はオープン TCB の下でタスク関連ユーザー出口ルーチンに制御を与えます。NOTAPPLIC - 適用不可。
並行性タイプ	CONCURRENTST	このプログラムの最後のイネーブル・コマンドで指定されたタスク関連ユーザー出口プログラムの並行性の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">QUASIRENT - タスク関連ユーザー出口プログラムは準再入可能であり、CICS API を介して CICS サービスを呼び出す際に CICS QR TCB の下でのみ実行可能です。何らかの MVS サービスを使用する場合は、このタスク関連ユーザー出口プログラムを個人で管理する TCB に切り替える必要があります。THREADS SAFE - タスク関連ユーザー出口プログラムは、スレッド・セーフです。APIST が BASEAPI である場合、タスク関連ユーザー出口プログラムは、プログラムが制御を得た時点でユーザー・タスクが使用しているどの TCB の下でも実行可能です。APIST が OPENAPI である場合は、使用される TCB は常に L8 TCB です。REQUIRED - タスク関連ユーザー出口プログラムは、オープン TCB を必要とします。この値が返されるのは APIST が BASEAPI の場合だけであり、使用されているオープン TCB のタイプが任意の適格なキー 8 オープン TCB であることを意味します。REQUIRED と OPENAPI の並行性と組み合わせは、THREADS SAFE と OPENAPI の場合と同様の意味を持ちます。そのため、以前のリリースとの互換性のゆえに、この場合の CICS は常に THREADSAFE の値を返します。NOTAPPLIC - 出口はタスク関連ユーザー出口ではありません。

表 71. EXITTRUE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNECTST	<p>これはタスク関連ユーザー出口ルーチンでのみ有効で、出口ルーチンと出口ルーチンがサポートしている外部リソース・マネージャーの間の接続の状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> CONNECTED - タスク関連ユーザー出口はその外部リソース・マネージャー・サブシステムと接続されており、API 要求を発行することができます。 NOTAPPLIC - 出口はタスク関連ユーザー出口ではありません。 NOTCONNECTED - タスク関連ユーザー出口はその外部リソース・マネージャー・サブシステムと接続されていないため、API 要求を発行できません。 UNKNOWN - タスク関連ユーザー出口は使用可能で開始されていますが、SPI 要求に対しては使用可能になっていません。CICS がタスク関連ユーザー出口ルーチン呼び出しできない場合にも UNKNOWN が戻されることがあります。いずれのケースでも、CICS は出口ルーチンが外部リソース・マネージャーに接続されているかどうかを示すことができません。
タスク関連ユーザー出口ルーチンの入口点アドレス	ENTRY	タスク関連ユーザー出口プログラムの入口点アドレスを指定します。
入口点名	ENTRYNAME	グローバルまたはタスク関連のユーザー出口プログラムの名前を指定します。この値はロード・モジュールの名前と同じになる場合もありますが、ロード・モジュールに複数の出口プログラムがある場合は別の値が戻されます。
フォーマット実行診断機能 (EDF) 状況	FORMATEDFST	<p>ENABLE コマンドで FORMATEDF が指定されたかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> FORMATEDF - オン NOFORMATEDF - オフ NOTAPPLIC - これはグローバル・ユーザー出口です
グローバル作業域を所有する出口ルーチン名	GAENTRYNAME	入口点名フィールドで指定された出口ルーチンによって使用されているグローバル作業域を所有する、現在使用可能なグローバルまたはタスク関連のユーザー出口プログラムの名前を指定します。グローバル作業域が別の出口プログラムによって使用され、所有されている場合以外は、このフィールドに値は含まれません。
グローバル作業域の長さ	GALENGTH	この出口プログラムのグローバル作業域の長さを指定します。
作業域ユーザー数	GAUSECOUNT	作業域のユーザーの数を指定します。
INDOUBWAIT 使用可能状況	INDOUBTST	<p>INDOUBWAIT キーワードでタスク関連ユーザー出口が使用可能かどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOTAPPLIC - 照会されている出口はグローバル・ユーザー出口です。 NOWAIT - 出口は INDOUBWAIT キーワードで使用可能ではありません。 WAIT - 出口は INDOUBWAIT キーワードで使用可能です。
プログラム名	PROGRAM	出口プログラムのロード・モジュールの名前を指定します。
ページ可能状況	PURGEABLEST	<p>タスク関連ユーザー出口ルーチンをページできるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> PURGEABLE - タスク関連ユーザー出口プログラムをページできます。 NOTPURGEABLE - タスク関連ユーザー出口プログラムをページできず、ページを強制する必要があります。 NOTAPPLIC - この情報はこのリリースの CICS には適用されません。
SPI 修飾子	QUALIFIER	<p>これは、タスク関連ユーザー出口ルーチンが SPI 呼び出しに使用可能の場合に、出口ルーチンから戻された 8 文字の修飾子を戻します。</p> <p>SPI 呼び出しに使用可能でないグローバル・ユーザー出口やタスク関連ユーザー出口の場合は、ブランクを返します。</p>

表 71. EXITTRUE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CICS 出口ルーチン・シャットダウン状況	SHUTDOWNST	CICS のシャットダウン時にタスク関連ユーザー出口ルーチンを呼び出すかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOSHUTDOWN - タスク関連ユーザー出口は呼び出されません。 NOTAPPLIC - 適用不可。 SHUTDOWN - CICS のシャットダウン時にタスク関連ユーザー出口が呼び出されます。
(SPI) 使用可能出口ルーチンの呼び出しオプション	SPIST	タスク関連ユーザー出口が SPI 呼び出しに使用可能かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOSPI - 出口は SPI に対して使用可能ではありません。 NOTAPPLIC - 照会されている出口はグローバル・ユーザー出口です。これは、INQUIRE コマンドが明示的にグローバル・ユーザー出口に対するものである場合にのみ発生します。 SPI - 出口は SPI に対して使用可能です。
出口プログラム可用性状況	STARTSTATUS	出口プログラムを実行できるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> STARTED - 出口プログラムを実行できます。 STOPPED - 出口プログラムを実行できません。
ローカル作業域の長さ	TALENGTH	ローカル (タスク関連) 作業域の長さを示します。
タスク呼び出しの開始および終了状況	TASKSTART	出口プログラムがすべてのタスクの開始時と終了時に自動的に呼び出されるように設定されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTASKSTART - 出口プログラムはすべてのタスクの開始時と終了時に呼び出されるようには設定されていません。 NOTAPPLIC - 適用不可。 TASKSTART - 出口プログラムはすべてのタスクの開始時と終了時に呼び出されるように設定されています。

グローバル MVS TCB 情報 - MVSTCBGL

「**グローバル MVS TCB**」(MVSTCBGL) ビューには、CICS アドレス・スペース内のグローバル MVS TCB に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**CICS 領域操作ビュー (CICS region operations views)**」
> 「**グローバル MVS TCB 情報 (Global MVS TCB information)**」

表 72. 提供された「 グローバル MVS TCB 情報 」(MVSTCBGL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル MVS TCB 情報 EYUSTARTMVSTCBGL.DETAILED	選択した CICS システム内のグローバル MVS TCB に関する詳細情報
グローバル MVS TCB 情報 EYUSTARTMVSTCBGL.TABULAR	CICS システム内のグローバル MVS TCB に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 73. MVSTCBGL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在の CICS TCB 数	CICSTCBCOUNT	アドレス・スペース内の CICS TCB の現行数。
CICS TCB の 16 M を超えるストレージ	CICSTCBSTGA	CICS TCB に割り振られた 16 MB を超えるストレージ合計 (バイト単位)。
16 M を超える使用中のストレージ	CICSTCBSTGAI	CICS TCB が使用中の 16 MB を超えるストレージ合計 (バイト単位)。
CICS TCB の 16 M 未満のストレージ	CICSTCBSTGB	CICS TCB に割り振られた 16 MB 未満のストレージ合計 (バイト単位)。
CICS TCB が使用中の 16 M 未満のストレージ	CICSTCBSTGBI	CICS TCB が使用中の 16 MB 未満のストレージ合計 (バイト単位)。
接続された CICS TCB で使用された CPU 時間	CICSTCBTIME	現在接続されている CICS TCB の現在までの合計 CPU 時間。
非 CICS TCB が使用中の 16 M を超えるストレージ	NCICSTCBSGAI	非 CICS TCB に割り振られた 16 MB を超えるストレージ合計 (バイト単位)。
16 M 未満の使用中のストレージ	NCICSTCBSGBI	非 CICS TCB が使用中の 16 MB 未満のストレージ合計 (バイト単位)。
非 CICS TCB の 16 M を超えるストレージ	NCICSTCBSTGA	非 CICS TCB に割り振られた 16 MB を超えるストレージ合計 (バイト単位)。
非 CICS TCB の 16 M 未満のストレージ	NCICSTCBSTGB	非 CICS TCB に割り振られた 16 MB 未満のストレージ合計 (バイト単位)。
接続された非 CICS TCB で使用された CPU 時間	NCICSTCBTIME	現在接続されている非 CICS TCB に関する現時点での合計 CPU 時間。
現在の非 CICS TCB 数	NONCICSTCBCT	現在アドレス・スペースにある非 CICS TCB 数。

MVS TCBs - MVSTCB

「**MVS TCB**」(MVSTCB) ビューには、CICS アドレス・スペース内にある MVS TCB に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**CICS 領域操作ビュー (CICS region operations views)**」
> 「**MVS TCB (MVS TCBs)**」

表 74. 提供された「 MVS TCB 」(MVSTCB) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
MVS TCB EYUSTARTMVSTCB.DETAILED	CICS システム内で選択した MVS TCB に関する詳細情報
MVS TCB EYUSTARTMVSTCB.TABULAR	CICS システム内の MVS TCB に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 75. MVSTCB ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
TCB アドレス	TCBADDRESS	MVS TCB のアドレス。
CICS タスク番号	TCBCICSTASK	この TCB に現在関連付けられている CICS タスク番号。なしの場合は、この TCB に現在 CICS トランザクションが割り当てられていないことを意味します。
TCB で使用された CPU 時間	TCBCPUTIME	この TCB に関する現時点での合計 CPU 時間
Daughter TCB (daughter TCB)	TCBDAUGHTER	daughter TCB のアドレス
Mother TCB	TCBMOTHER	mother TCB のアドレス
TCB 名	TCBNAME	MVS TCB の名前。
Sister TCB	TCBSISTER	sister TCB のアドレス
16 M を超える割り振り済みの専用ストレージ	TCBSTGABOVE	この TCB に割り振られている 16 MB 境界より上の専用ストレージの合計。
16 M を超える使用中の専用ストレージ	TCBSTGAINUSE	この TCB に割り振られている 16 MB を超える使用中の専用ストレージの合計。
16 M 未満の割り振り済み専用ストレージ	TCBSTGBELOW	この TCB に割り振られている 16 MB 境界より下の専用ストレージの合計。
16 M 未満の使用中の専用ストレージ	TCBSTGBINUSE	この TCB に割り振られている 16 MB 未満の使用中の専用ストレージの合計。
TCB タイプ	TCBTYPE	TCB のタイプ。値は、CICS または NONCICS です。

MVS ワークロード管理 - MVSWLM

MVS ワークロード管理 (MVSWLM) ビューには、CICS システムについての MVS ワークロード管理 (WLM) コンポーネント情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**CICS 領域操作ビュー (CICS region operations views)**」
> 「**MVS ワークロード管理 (MVS workload management)**」

表 76. 提供された「MVS ワークロード管理」(MVSWLM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.CLOSE	z/OS WLM ヘルスの値が 0 に達するまで、その z/OS WLM ヘルスを減らし始めるように CICS に指示します。
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.DETAILED	選択した CICS システムの MVS ワークロード・マネージャーの詳細情報
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.IMMCLOSE	z/OS WLM ヘルス を即座に 0 に設定するように CICS に指示します。
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.OPEN	z/OS WLM ヘルスの値が 100 に達するまで、その z/OS WLM ヘルスを増やし始めるように CICS に指示します。
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
MVS ワークロード管理 EYUSTARTMVSWLM.TABULAR	CICS システムの MVS ワークロード・マネージャーのテーブル形式の情報

アクション

表 77. MVSWLM ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	z/OS WLM ヘルスの値が 0 に達するまで、その z/OS WLM ヘルスを減らし始めるように CICS に指示します。
IMMCLOSE	z/OS WLM ヘルス を即座に 0 に設定するように CICS に指示します。
OPEN	z/OS WLM ヘルスの値が 100 に達するまで、その z/OS WLM ヘルスを増やし始めるように CICS に指示します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 78. MVSWLM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
CEC マシン・タイプ	MNGMCHTP	アドレス・スペースの CEC マシン・タイプ。
CEC 型式番号	MNGMDLID	アドレス・スペースの CEC 型式識別番号。
z/OS WLM ヘルスの調整値	MNGWLMAD	レベルが CICS TS 5.4 以上の CICS 領域の場合、これは、間隔ごとに CICS アドレス・スペースの z/OS WLM 正常性を調整する現在の調整値です
CPU 重要性	MNGWLMCC	<p>CICS 領域が MVS ワークロード管理コンポーネントに長期 CPU 保護で定義されているかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい <ul style="list-style-type: none"> – CICS 領域は、CPU クリティカルを指定する MVS ワークロード・マネージャーのサービス・クラスを使用している JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステムに定義されています。 • いいえ <ul style="list-style-type: none"> – CICS 領域は、CPU クリティカルを指定しない MVS ワークロード・マネージャーのサービス・クラスを使用している JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステムに定義されています。
ゴール重要度	MNGWLMGI	<p>MVS ワークロード・マネージャー・サービス・クラスに定義された相対重要度レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 <ul style="list-style-type: none"> – 最高位 • 2 <ul style="list-style-type: none"> – 高 • 3 <ul style="list-style-type: none"> – 中位 • 4 <ul style="list-style-type: none"> – 低位 • 5 <ul style="list-style-type: none"> – 最低位

表 78. MVS/WM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ゴール管理	MNGWLMGM	<p>z/OS ワークロード・マネージャーがトランザクション・ゴール、領域ゴール、またはその両方を使用してアドレス・スペースを管理するかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> トランザクション <ul style="list-style-type: none"> ワークロード・マネージャーは、トランザクション・ゴールを使用します 領域 <ul style="list-style-type: none"> ワークロード・マネージャーは、領域ゴールを使用します 両方 <ul style="list-style-type: none"> ワークロード・マネージャーは、両方のゴールを使用します 適用外 <ul style="list-style-type: none"> 不明なまたは未定義のゴール・モード
ゴール・タイプ	MNGWLMGT	<p>現行のサービス・クラスに関連付けられた MVS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプ。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 速度 <ul style="list-style-type: none"> MVS ワークロード・マネージャー・コンポーネントは、遅延を最小にするためにリソースをサービス・クラスに割り当てます。 任意 <ul style="list-style-type: none"> MVS ワークロード・マネージャー・コンポーネントは、他の非選択的ゴールで必要とされていない場合に限り、リソースをサービス・クラスに割り当てます。これは通常、低優先度の作業に使用されます。 システム <ul style="list-style-type: none"> サービス・クラスは、MVS ワークロード・マネージャーの定義済みサービス・クラス SYSTEM、SYSSTC、または SYSOTHER のいずれかです。 適用外 <ul style="list-style-type: none"> 不明なまたは未定義のゴール・タイプ。
速度ゴール値	MNGWLMGV	<p>速度ゴールを使用する MVS ワークロード・マネージャーのサービス・クラスに対し、この値は作業において許容できる遅延を示します。</p> <p>サービス・クラスに速度ゴールが定義されていない場合は、この値は 0 になります。</p>
z/OS WLM ヘルス	MNGWLMHL	<p>CICS TS 5.4 以上のレベルの CICS 領域の場合は、領域の z/OS WLM ヘルス・オープン状態を表すパーセント値です。SIT で WLMHEALTH=OFF が設定されている場合、N/A という値が返されます。</p>
z/OS WLM ヘルスが最後に更新された時刻	MNGWLMHT	<p>レベルが CICS TS 5.4 以上の CICS 領域の場合、これは、z/OS WLM 正常性が z/OS WLM に最後に報告された時刻 (ABSTIME 形式) です。</p>
z/OS WLM ヘルス更新の時間間隔 (秒単位)	MNGWLMIN	<p>レベルが CICS TS 5.4 以上の CICS 領域の場合、これは、CICS が z/OS ワークロード・マネージャー正常性 API に対して呼び出しを実行する間隔 (秒) です</p>
ゴール・モード	MNGWLMMD	<p>MVS ワークロード管理コンポーネントがゴール・モードで実行中かどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> はい <ul style="list-style-type: none"> MVS ワークロード管理コンポーネントはゴール・モードで実行中です。 いいえ <ul style="list-style-type: none"> MVS ワークロード管理コンポーネントは互換モードで実行中です。 <p>注: 互換モードは、z/OS V1R3 より前にリリースされた z/OS 上においてのみ使用できます。</p>

表 78. MVSWLM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
z/OS WLM ヘルス・オープン状況	MNGWLMOS	<p>レベルが CICS TS 5.4 以上の CICS 領域の場合、これは、z/OS WLM 正常性プロセスの状況です。CVDA 値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPEN - CICS に対して、z/OS WLM 正常性を値が 100 (この場合、正常性は OPEN 状態のままになります) になるまで増やし始めるように命令します。 • OPENING - CICS は z/OS WLM 正常性の増加処理を開始しました。正常性は現在 0 から 99 までの範囲内にあります。 • CLOSE - CICS に対して、z/OS WLM 正常性を値が 0 になるまで減らし始めるように命令します。 • CLOSED - CICS は z/OS WLM 正常性の減少処理を完了し、値は 0 になりました。 • CLOSING - CICS は z/OS WLM 正常性を 0 まで減少させる処理を開始しました。正常性は現在 100 から 1 までの範囲内にあります。 • IMMCLOSING - CICS は z/OS WLM 正常性をすぐに 0 に設定する処理を実行中です。 • IMMCLOSE - CICS は z/OS WLM 正常性をすぐに 0 に設定するように命令します。
レポート・クラス	MNGWLMRC	JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) 開始サブシステムに基づき、CICS 領域に割り当てられている MVS ワークロード・マネージャーのレポート・クラス名を示します。レポート・クラスが 1 つも割り当てられていない場合、このフィールドはブランクになります。
リソース・グループ	MNGWLMRG	JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) 開始サブシステムに基づき、CICS 領域に割り当てられている MVS ワークロード・マネージャーのリソース・グループ名を示します。リソース・グループが 1 つも割り当てられていない場合、このフィールドはブランクになります。
サービス・クラス	MNGWLMSC	JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) 開始サブシステムに基づき、CICS 領域に割り当てられている MVS ワークロード・マネージャーのサービス・クラス名を示します。
ストレージ重要性	MNGWLMSK	<p>CICS 領域が MVS ワークロード管理コンポーネントに長期ストレージ保護で定義されているかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい <ul style="list-style-type: none"> – CICS 領域は、ストレージ・クリティカルを指定する MVS ワークロード・マネージャーの種別規則を使用している JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステムに分類されています。 • いいえ <ul style="list-style-type: none"> – CICS 領域は、ストレージ・クリティカルを指定する MVS ワークロード・マネージャーの種別規則を使用している JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステムに分類されていません。 <p>サービス・クラスが単一の期間で、かつ速度ゴールまたは応答時間ゴールが 20 秒を超えるものである限り、JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステム下では、長期ストレージ保護が割り当てられません。</p>
WLM サーバー	MNGWLMST	<p>MVS ワークロード管理コンポーネントが CICS 領域をサーバーとして扱っているかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい <ul style="list-style-type: none"> – MVS ワークロード管理コンポーネントは CICS 領域をサーバーとして扱い、CICS サブシステム定義に基づいて作業を処理しています。 • いいえ <ul style="list-style-type: none"> – MVS ワークロード管理コンポーネントは、CICS 領域を非サーバー・アドレス・スペースとして扱っています。作業は JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) サブシステム定義に基づいて処理されています。

表 78. MVSWLM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ワークロード名	MNGWLMWN	JES (バッチ・ジョブ) または STC (開始タスク制御) 開始サブシステムに基づき、CICS 領域に割り当てられている MVS ワークロード管理コンポーネントのワークロード名を示します。 注: この名前は、CICS 領域が関与している可能性のある CICSplex SM ワークロード名とは異なります。

接続操作ビュー

「接続操作」ビューには、現行コンテキストおよび現行スコープ内にある ISC/MRO 接続、IPIC 接続、LU 6.2 モード名、パートナー、プロファイル、および TCP/IP サービスに関する情報が示されます。

ISC/MRO 接続 - CONNECT

「ISC/MRO 接続」(CONNECT) ビューは、ISC over SNA 接続、MRO 接続、およびローカル・システム・エントリーに関する情報を表示します。

ローカル・システム・エントリーの場合、利用できるフィールドはアプリケーション ID とシグニチャーのフィールドですが、「取り消し」、「ページ」、および「強制」アクションを適用して、ローカル・システムから AID をクリアできます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「接続操作ビュー」 > 「ISC/MRO 接続」

表 79. 提供された「ISC/MRO 接続」(CONNECT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.ACQUIRE	接続を獲得します (APPC のみ)。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.BACKOUT	接続の障害が原因で未確定の作業単位をバックアウトします。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.CANCEL	接続の自動開始プログラム記述子 (AID) のキューイングを取り消します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.COMMIT	接続の障害が原因で未確定の作業単位をコミットします。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DETAIL1	選択した ISC/MRO 接続のセッション情報および割り振り要求に関する詳細情報を表示します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DETAIL2	選択した ISC/MRO 接続の自動開始プログラム記述子 (AID) およびビッドに関する詳細情報を表示します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DETAIL3	選択した ISC/MRO 接続の機能シップに関する詳細情報を表示します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DETAIL4	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DETAILED	選択した ISC/MRO 接続に関する詳細情報を表示します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。

表 79. 提供された「ISC/MRO 接続」(CONNECT) ビュー・セットのビュー (続き)

ビュー	注
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.ENDAFFINITY	<p>CICS が VTAM 汎用リソース・グループのメンバーである場合、VTAM が CICS により所有される親和性を終了させることを指定します。これは APPC および LU6.1 接続の場合にのみ有効です。この接続はサービス休止でなければならず、APPC の場合は NORECOVDATA 状態でなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 親和性を問い合わせる機能が VTAM にはないため、CICS では特定の接続に親和性が存在することをはっきりとは認識しません。明示的に終了させる必要がある親和性が作成されている可能性がある場合はいつでも、CICS はメッセージ DFHZC0177 を発行します。このメッセージは疑わしい接続の NETNAME および NETID を示します。 親和性を終了させる要求が、そのような親和性が存在していないために VTAM により拒否される場合、CICS はメッセージ DFHZC0181 を発行します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.FORCE	<p>接続に関連するトランザクションが即時にパージされるように強制します (VTAM のみ)。</p>
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.INSERVICE	<p>システムをサービス中にします。つまり使用可能にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> MRO 接続の場合、すべてのセッションがサービス中になり、次のことが発生します。 <ul style="list-style-type: none"> 発行元システムとリモート・システムの両方にオープンした IRC があり、リモート・システムに発行元システムの INSERVICE 接続定義がある場合、接続は ACQUIRED になります。 そうでない場合、接続の状況は INSERVICE に設定され、前述の条件が満たされるときに接続が獲得されます。 接続の基礎セッションの状況は、必ず接続そのものの状況と同じです。 EXCI 接続の場合、すべての受信セッション (または 'パイプ') はサービス中になり、クライアント・プログラムにより使用可能になります。 ISC APPC 接続の場合、LU サービス管理セッションはサービス中になり、その結果として接続が獲得可能になります。 ISC LU6.1 接続の場合、すべてのセッションはサービス中になります。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.NORECOVDATA	<p>すべての未確定作業単位を (トランザクション定義に従って) 強制し、接続に未解決のすべての再同期を対象とし、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。接続の状態はリセットされます。</p> <p>重要: NORECOVDATA は例外的な状況でのみ使用してください。これはリカバリー情報を消去し、リモート・システム上のリソースを更新した作業単位のデータ保全性について妥協する場合があります。これを使用する必要がある状況の例としては、次の場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> これを使用する必要がある状況の例としては、次の場合があります。接続を破棄するか、ENDAFFINITY を発行する必要があるのに、静止プロトコルによってパートナー・システムを完了させることができない。(リカバリー・データが未解決の場合、APPC 接続にはどちらのアクションも不可能です。) 操作エラーまたは論理エラーにより接続のログ名のミスマッチになる。接続状態をリセットして、交換ログ名プロセスを完了できるようにする必要があります。

表 79. 提供された「ISC/MRO 接続」(CONNECT) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.NOTPENDING	<p>パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に接続により作成されたすべての未確定作業単位 (トランザクション定義に従う) を強制します。さらに、パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に作成された、接続が未解決の再同期 (FORGET 待機 UOW リンク) には FORGET が実行されます。</p> <p>PENDING 条件は、パートナーとのログ名のミスマッチがあった接続に関するリカバリー情報 (パートナーについて記憶されている除外 UOW または決定) が存在することを示します。CICS Transaction Server for z/OS パートナーの場合、ログ名のミスマッチはパートナーが初期始動を実行したことを示します。CICS Transaction Server for z/OS より前のパートナーの場合、ログ名のミスマッチはパートナーがコールド・スタートを実行したことを示します。どちらの場合も、リカバリー・プロトコルはパートナー側でのログ・データの消失により破壊されています。</p> <p>このシステムがパートナーと接続して、それから新しいログ名を受け取るまでは、接続を NOTPENDING 状態 (未確定を強制して NOFORGET UOW を消去する) に設定することはできません。</p> <p>接続全体の決定は FORGET 可能ですが、そのことは UOW に関係する他の接続の決定の記憶には影響しません。</p>
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.OUTSERVICE	<p>接続をサービス休止にします。つまり使用不可にします。</p> <p>接続に関して、すべてのセッションはサービス休止にされ (PURGE が指定された場合は即時に、指定されない場合はタスクの終了時に)、次のことが発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • APPC 接続が現在 ACQUIRED であり、OUTSERVICE を指定した場合、コマンドは失敗します。OUTSERVICE を設定する前に接続に対して RELEASE を実行する必要があります。 • 他の接続が現在 ACQUIRED である場合、セッションは失敗 (静止) しています。接続は再度 INSERVICE になるまで使用できません。 • 接続が現在 RELEASED である場合、接続の状況は OUTSERVICE に設定され、再度サービス中になるまで使用できません。 • 接続の基礎セッションの状況は、必ず接続そのものの状況と同じです。 • EXCI 接続の場合、すべての受信セッション (または「パイプ」) はサービス休止になり、クライアント・プログラムでは使用不可になります。 • ISC APPC システムの場合、このオプションは接続が RELEASED の場合にのみ有効です。LU サービス管理セッションはサービス休止になり、接続は再度 INSERVICE になるまで獲得できません。 • ISC LU6.1 接続の場合、すべてのセッションは解放され、サービス休止になります (PURGE または FORCEPURGE が指定された場合は即時に、PURGE または FORCEPURGE のいずれも指定されていない場合はタスクの終了時に)。INQUIRE CONNECTION コマンドへの応答が OUTSERVICE になった場合でも、接続が SET OUTSERVICE に明示的に設定されたわけではありません。特定の状況では、この接続は再インストールできません。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.PURGE	<p>接続に関連するトランザクションを変則的にページします (VTAM のみ)。CICS は、システムおよびデータ保全性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。</p>
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.RELEASE	<p>接続を解放します (APPC のみ)。</p>
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.RESYNC	<p>この接続の障害が原因で除外されている UOW を再試行します (つまり、この接続の交換ログ名再同期が試行されます)。接続が獲得された、または UOW の除外が解消したときに、このプロセスは通常は自動的に開始されるはずです。</p>

表 79. 提供された「ISC/MRO 接続」(CONNECT) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.SET	選択した ISC/MRO 接続の属性を変更するために、「設定」ビューを表示します。
ISC/MRO 接続 EYUSTARTCONNECT.TABULAR	ISC および MRO の接続に関する情報をテーブル形式で表示します。

アクション

表 80. CONNECT ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	接続を獲得します (APPC のみ)。
BACKOUT	接続の障害が原因で未確定の作業単位をバックアウトします。
CANCEL	接続の自動開始プログラム記述子 (AID) のキューイングを取り消します。
COMMIT	接続の障害が原因で未確定の作業単位をコミットします。
DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。
ENDAFFINITY	<p>CICS が VTAM 汎用リソース・グループのメンバーである場合、VTAM が CICS により所有される親和性を終了させることを指定します。これは APPC および LU6.1 接続の場合にのみ有効です。この接続はサービス休止でなければならず、APPC の場合は NORECOV DATA 状態でなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 親和性を問い合わせる機能が VTAM にはないため、CICS では特定の接続に親和性が存在することをはっきりとは認識しません。明示的に終了させる必要がある親和性が作成されている可能性がある場合はいつでも、CICS はメッセージ DFHZC0177 を発行します。このメッセージは疑わしい接続の NETNAME および NETID を示します。 親和性を終了させる要求が、そのような親和性が存在していないために VTAM により拒否される場合、CICS はメッセージ DFHZC0181 を発行します。
FORCE	接続に関連するトランザクションが即時にページされるように強制します (VTAM のみ)。
FORCECANCEL	<p>指定された接続についてキューイング中の、すべての自動開始プログラム記述子 (AID) (システム AID を含む) を取り消します。これは予測不能な結果になる場合があり、例外的な状況でのみ使用すべきです。</p> <p>注: これは関連の起動されるタスクがある一時データ AID は除去しません。これらの AID は関連タスクをページすると除去できます。</p>
FORCEPURGE	<p>接続されたシステム上のセッションで実行されているすべてのトランザクションを即時に異常終了させます。これは予測不能な結果になる場合があり、例外的な状況でのみ使用すべきです。極端な場合 (バックアウト処理中にエラーが発生するなど)、CICS は異常終了することがあります。</p> <p>未確定および除外された UOW の場合、FORCEPURGE には効果はありません。除外された UOW を強制するには、FORCEPURGE に続いて COMMIT、BACKOUT、または FORCE コマンドを接続で使用する必要があります。これは予測不能な結果になる場合があり、例外的な状況でのみ使用すべきです。</p>

表 80. CONNECT ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
INSERVICE	<p>システムをサービス中にします。つまり使用可能にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> MRO 接続の場合、すべてのセッションがサービス中になり、次のことが発生します。 <ul style="list-style-type: none"> 発行元システムとリモート・システムの両方にオープンした IRC があり、リモート・システムに発行元システムの INSERVICE 接続定義がある場合、接続は ACQUIRED になります。 そうでない場合、接続の状況は INSERVICE に設定され、前述の条件が満たされるときに接続が獲得されます。 接続の基礎セッションの状況は、必ず接続そのものの状況と同じです。 EXCI 接続の場合、すべての受信セッション (または 'パイプ') はサービス中になり、クライアント・プログラムにより使用可能になります。 ISC APPC 接続の場合、LU サービス管理セッションはサービス中になり、その結果として接続が獲得可能になります。 ISC LU6.1 接続の場合、すべてのセッションはサービス中になります。
KILL	<p>タスクを終了します。システムおよびデータ保安全性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保安全性も保証しませんが、ある状況では、停止された領域が処理を継続できるように、ユーザーがその領域を解放することを許可します。場合によっては (例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。</p>
NORECOVDATA	<p>すべての未確定作業単位を (トランザクション定義に従って) 強制し、接続に未解決のすべての再同期を対象とし、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。接続の状態はリセットされます。</p> <p>重要: NORECOVDATA は例外的な状況でのみ使用してください。これはリカバリー情報を消去し、リモート・システム上のリソースを更新した作業単位のデータ保安全性について妥協する場合があります。</p> <p>これを使用する必要がある状況の例としては、次の場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> これを使用する必要がある状況の例としては、次の場合があります。接続を破棄するか、ENDAFFINITY を発行する必要があるのに、静止プロトコルによってパートナー・システムを完了させることができない。(リカバリー・データが未解決の場合、APPC 接続にはどちらのアクションも不可能です。) 操作エラーまたは論理エラーにより接続のログ名のミスマッチになる。接続状態をリセットして、交換ログ名プロセスを完了できるようにする必要があります。
NOTPENDING	<p>パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に接続により作成されたすべての未確定作業単位 (トランザクション定義に従う) を強制します。さらに、パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に作成された、接続が未解決の再同期 (FORGET 待機 UOW リンク) には FORGET が実行されます。</p> <p>PENDING 条件は、パートナーとのログ名のミスマッチがあった接続に関するリカバリー情報 (パートナーについて記憶されている除外 UOW または決定) が存在することを示します。CICS Transaction Server for z/OS パートナーの場合、ログ名のミスマッチはパートナーが初期始動を実行したことを示します。CICS Transaction Server for z/OS より前のパートナーの場合、ログ名のミスマッチはパートナーがコールド・スタートを実行したことを示します。どちらの場合も、リカバリー・プロトコルはパートナー側でのログ・データの消失により破壊されています。</p> <p>このシステムがパートナーと接続して、それから新しいログ名を受け取るまでは、接続を NOTPENDING 状態 (未確定を強制して NOFORGET UOW を消去する) に設定することはできません。</p> <p>接続全体の決定は FORGET 可能ですが、そのことは UOW に関係する他の接続の決定の記憶には影響しません。</p>

表 80. CONNECT ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
OUTSERVICE	<p>接続をサービス休止にします。つまり使用不可にします。</p> <p>接続に関して、すべてのセッションはサービス休止にされ (PURGE が指定された場合は即時に、指定されない場合はタスクの終了時に)、次のことが発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • APPC 接続が現在 ACQUIRED であり、OUTSERVICE を指定した場合、コマンドは失敗します。OUTSERVICE を設定する前に接続に対して RELEASE を実行する必要があります。 • 他の接続が現在 ACQUIRED である場合、セッションは失敗 (静止) しています。接続は再度 INSERVICE になるまで使用できません。 • 接続が現在 RELEASED である場合、接続の状況は OUTSERVICE に設定され、再度サービス中になるまで使用できません。 • 接続の基礎セッションの状況は、必ず接続そのものの状況と同じです。 • EXCI 接続の場合、すべての受信セッション (または「パイプ」) はサービス休止になり、クライアント・プログラムでは使用不可になります。 • ISC APPC システムの場合、このオプションは接続が RELEASED の場合にのみ有効です。LU サービス管理セッションはサービス休止になり、接続は再度 INSERVICE になるまで獲得できません。 • ISC LU6.1 接続の場合、すべてのセッションは解放され、サービス休止になります (PURGE または FORCEPURGE が指定された場合は即時に、PURGE または FORCEPURGE のいずれも指定されていない場合はタスクの終了時に)。INQUIRE CONNECTION コマンドへの応答が OUTSERVICE になった場合でも、接続が SET OUTSERVICE に明示的に設定されたわけではありません。特定の状況では、この接続は再インストールできません。
PURGE	<p>接続に関連するトランザクションを変則的にページします (VTAM のみ)。CICS は、システムおよびデータ保全性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。</p>
RELEASE	<p>接続を解放します (APPC のみ)。</p>
RESYNC	<p>この接続の障害が原因で除外されている UOW を再試行します (つまり、この接続の交換ログ名再同期が試行されます)。接続が獲得された、または UOW の除外が解消したときに、このプロセスは通常は自動的に開始されるはずでず。</p>
SET	<p>選択した ISC/MRO 接続の属性を変更するために、「設定」ビューを表示します。</p>

フィールド

表 81. CONNECT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	この接続に使用中のアクセス方式 (VTAM、IRC、INDIRECT、XCF、XM、NETBIOS、TCPIP、または NOTAPPLIC)。
自動開始プログラム記述子 (AID) のピーク	AIDHWM	AID チェーン内の自動開始プログラム記述子 (AID) のピーク数。
自動開始プログラム記述子 (AID) の数	AIDS	AID チェーン内の現在の自動開始プログラム記述子 (AID) の数。 これは CICS TS バージョン 5 リリース 5 以降では廃止されています。
自動開始プログラム記述子 (AID) の数	AIDSF	AID チェーン内の現在の自動開始プログラム記述子 (AID) の数。
割り振り要求の合計数	ALLOCATES	このシステムに対する割り振り要求の総数。
キュー限度 (QUEUELIMIT) の割り振り	ALLOCQLIMIT	CONNECTION 定義で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。この値に達した場合、割り振りキュー要求は拒否されます。CONNECTION の QUEUELIMIT が NO と定義される場合、N/A が表示されます。
基本セッションで満たされる ATI 数	ATISBPRI	1 次 (コンテンション敗者) セッションで満たされた ATI 要求の数。
2 次セッションで満たされる ATI 数	ATISBSEC	2 次 (コンテンション勝者) セッションで満たされた ATI 要求の数。

表 81. CONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
自動接続オプション	AUTOSTATUS	<p>CICS が初期化されるとき、または VTAM との通信が開始されるたびにこの接続でのセッションがバインドされるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLCONN - 関連するセッションはバインドされます。 • AUTOCONN - 関連するセッションはバインドされます。 • NONAUTOCONN - 関連するセッションはバインドされません。 • NOTAPPLIC - 接続はローカル・システム項目です。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
送られた送信権要求の合計数	BIDSENT	送信された送信権要求の合計数。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続をインストールした場合、この値は、接続のインストール先の CICS システムの CICS リリース・レベルになります。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、接続定義を最後に変更したエージェントの CICS リリース・レベルになります。
最終変更時刻	CHANGETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、接続定義が最後に変更された現地の日時になります。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールを要求したユーザー ID です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、接続定義を最後に変更したユーザー ID になります。
現在進行中の送信権要求数	CONCURBIDS	現在進行中の送信権要求数。
接続設定の現地時刻	CONNCREATIME	接続が作成された現地時間
接続削除の現地時刻	CONNDELETIME	接続が削除された現地時間

表 81. CONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNSTATUS	<p>APPC または MRO のいずれかのプロトコルを使用する接続では、接続状況は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED - 接続は獲得されています。 • AVAILABLE - 接続は獲得されていますが、現在バインド済みセッションはありません。 • FREEING - 接続を解放中です。 • NOTAPPLIC - この接続は、CICS 間 MRO または APPC 接続ではありません。 • OBTAINING - 接続を獲得中です。 • RELEASED - 接続は解放済みです。 <p>入力値: ACQUIRED、RELEASED</p>
外部 CICS インターフェース・タイプ	CONNTYPE	<p>この接続が以下のタイプであるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SPECIFIC - 非 CICS クライアント・プログラムから CICS システムへの通信用で、クライアント・プログラム内の単一ユーザー専用の 1 つ以上のセッションとの MRO リンクです。 • GENERIC - 非 CICS クライアント・プログラムから CICS システムへの通信用で、複数の外部 CICS インターフェース・ユーザーにより共有される多数のセッションとの MRO リンクです。 • NOTAPPLIC - 外部 CICS インターフェース 接続ではありません。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、接続定義レコードが DFHCSD または EYUDREP で作成された現地の日時になります。
DL/I 機能のシップ数	DLIFUNCSHIP	機能シップのための DL/I 要求の数。
分散プログラム・リンク機能のシップ数	DPLFUNCSHIP	この接続経由で機能シップされた分散プログラム・リンク (DPL) 要求の数。
チャンネルのインターバル制御 FS 開始要求	ESTICCHNL	チャンネルのインターバル制御 FS 開始要求数
チャンネルの開始要求で受信されたバイト数	ESTICCHNRCVD	チャンネルの開始要求で受信されたバイト数
チャンネルの開始要求で送信されたバイト数	ESTICCHNSENT	チャンネルの開始要求で送信されたバイト数
チャンネルのプログラム制御 FS LINK 要求	ESTPCCHNL	チャンネルのプログラム制御 FS LINK 要求数
LINK チャンネル要求で受信されたバイト数	ESTPCCHNRCVD	LINK チャンネル要求で受信されたバイト数
LINK チャンネル要求で送信されたバイト数	ESTPCCHNSENT	LINK チャンネル要求で送信されたバイト数
端末共有チャンネル要求数	ESTTCCHNL	端末共有チャンネル要求の数。
端末共有チャンネル要求で受信されたバイト数	ESTTCCHNRCVD	端末共有チャンネル要求で受信されたバイト数
端末共有チャンネル要求で送信されたバイト数	ESTTCCHNSENT	端末共有チャンネル要求で送信されたバイト数
出口ルーチン・トレース状況	EXITTRACING	<p>この接続に関連付けられているセッションの端末出口プログラムのトレース・アクティビティを制御します。値 NOTAPPLIC は、この接続が LU6.1 または APPC 接続のどちらでもでないか、またはリモート接続であることを意味します。</p> <p>入力値: EXITTRACE、NOEXITTRACE</p>
QUEUELIMIT 到達のため拒否された割り振り	EXIT_REJALLC	QUEUELIMIT 値に達することから拒否された割り振りの総数。

表 81. CONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
その他の障害のある割り振り要求数	FAILEDOTHERS	セッションが現在使用不可であることが原因で失敗した割り振り要求の数。
リンクに失敗した割り振り要求数	FAILINKALLOC	接続の解放、サービス休止、またはクローズされたモード・グループが原因で失敗した割り振り要求の数。
ファイル制御機能のシップ数	FCFUNCSHIP	機能シップのためのファイル制御要求の数。
接続設定の GMT 時刻	GMTCREATIME	接続が作成された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)
接続削除の GMT 時刻	GMTDELETIME	接続が削除された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)
APPC 汎用リソース	GRNAME	汎用リソースへの APPC 接続の場合、このシステムも汎用リソースであれば、このフィールドには接続された LU の 8 文字の汎用リソース名が入ります。そうでない場合、このフィールドはブランクです。
間隔制御機能のシップ数	ICFUNCSHIP	機能シップのためのインターバル制御要求の数。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • AUTOINSTALL - リソースは自動インストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
TOR への実リンク名	LINKSYSTEM	リモートまたは間接システム項目 (使用可能な場合) の TOR に対する実リンクである接続の 4 文字の名前。リモートまたは間接項目からリンク・システムへのチェーン内で一部の接続が定義されていない場合、これは設定されません。
同時送信権要求の最大数	MAXBIDS	特定の時点で進行中であった送信権要求の最大数。
使用中の基本セッションのピーク数	MAXPRIMARIES	特定の時点で使用されていた 1 次 (コンテンション敗者) セッションの最大数。
MAXQTIME の超過でページされた割り振り数	MAXQTALLCPRG	キュー処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったためにページされた割り振りの数。
最大キュー時間	MAXQTIME	接続の QUEUELIMIT 値に達した場合に、割り振りキューの処理に充てられる秒単位の合計最大時間。割り振りキューの処理にこれよりも長い時間がかかる場合、キューはページされます。
MAXQTIME 値のためページされた割り振り数	MAXQTPURGCNT	処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったために、割り振りキューがページされた回数。
一時点使用中 2 次局のピーク数	MAXSECOND	特定の時点で使用されていた 2 次 (コンテンション勝者) セッションの最大数。
接続された LU のメンバー名	MEMBERNAME	汎用リソースへの APPC 接続の場合、このシステムも汎用リソースであれば、このフィールドには接続された LU の 8 文字のメンバー名 (アプリケーション ID) が入ります。そうでない場合、このフィールドはブランクです。
接続 ID	NAME	インストールされた接続の名前。
ネット名	NETNAME	ネットワークでリモート・システムの識別に使われる名前。
セッション待ちの AID 数	NONSPECAIDS	セッションが使用可能になるのを待機している自動開始プログラム記述子 (AID) の現行数。
ネットワーク修飾名	NQNAME	ネットワーク修飾名 (ログオン時に VTAM によって送信された場合)。

表 81. CONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
未解決割り振り要求のピーク数	OUTSALLOC	このシステムについてキューに入れられた割り振り要求の最大数。
保留状況	PENDSTATUS	APPC および MRO プロトコルを使用する接続の場合、セッション障害 (PENDING または NOTPENDING) 後の再同期を必要とする作業単位があるかどうかを示します。
現在使用中の 1 次局の数	PRICURRUSED	現在使用中の 1 次 (コンテンション敗者) セッションの数
接続プロトコル	PROTOCOL	アクセス方式が VTAM である接続では、LU61 と APPC のどちらの SNA プロトコルが使用中かを示します。値 EXCI は、この接続が外部 CICS インターフェースを使用することを意味します。値 NOTAPPLIC は、この接続が VTAM 接続でないことを意味します。
キューに入れられた割り振り要求数	QUEDALLOCATE	このシステムに対してキューに入れられた割り振り要求の現在の数。
定義された受信セッション数	RECEIVECOUNT	MRO 接続の場合、SESSIONS 定義で定義された受信セッション数。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	<p>接続について未解決のリカバリー情報があるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NORECOVDATA - 接続が静止し、接続のどちらの側にも未解決のリカバリー情報がありません。ローカル CICS システムのコールド・スタートでは、データ保全性は維持されます。 • RECOVDATA - ローカル CICS システムには、未確定の作業論理単位または接続において未解決の再同期処理のいずれかがあります。再同期は次に接続がアクティブになったときにとられます。ローカル CICS システムのコールド・スタートでは、データ保全性は維持されません。 • NRS - 接続はアクティブであり、ログ名の交換を完了しています。未完了または再同期中の作業論理単位がある可能性があります。
リモート・システムの接続名	REMOTENAME	この接続がリモート・システムで認識されるための名前。
所有 TOR のネット名	REMOTESYSNET	所有 TOR のシステム ID
リモート接続名	REMOTESYSTEM	リモートに接続されたシステムの名前
現在使用中の 2 次局の数	SECCURRUSED	現在使用中の 2 次 (コンテンション勝者) セッションの数。
定義された送信セッション数	SENDcount	MRO 接続の場合、SESSIONS 定義で定義された送信セッション数。
サービス状況	SERVSTATUS	<p>システムがデータを送受信できるかどうかを示します。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INSERVICE - 接続はサービス中です。システムはデータを送受信できます。 • OUTSERVICE - 接続はサービス中ではありません。システムはデータを送受信できません。 • GOINGOUT - 接続に関する OUTSERVICE 要求が発行されましたが、現在の作業がすべて完了するまで処理できません。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。
一時データ機能のシップ数	TDFUNCSHIP	機能シップのための一時データ要求の数。
端末共用要求の数	TERMSHAREREQ	トランザクション・ルーティング・コマンドの数。
一時記憶機能のシップ数	TSFUNCSHIP	機能シップのための一時記憶域要求の数。
接続タイプ	TYPE	接続タイプ。値: LU61、LU62、INDIRECT、MRO、NETBIOS、TCPIP、または NOTAPPLIC
交換ログ名 (XLN) 状況	XLNSTATUS	交換ログ名 (XLN) プロセスの状況。値 NOTAPPLIC は、リンクがリリースされている、リンクが MRO、LU6.1、または単一セッション APPC である、もしくはリンクが同期レベル 2 の会話をサポートしていないことを意味します。
XZIQUE 出口ルーチンがページした割り振り数	XZIQALLCPRG	キューのページを要求する XZIQUE 出口の結果としてページされた割り振りの数。
XZIQUE 出口ルーチンが要求したキュー・ページ数	XZIQPRGCNT	XZIQUE 出口により要求された割り振りキューのページの数。

表 81. CONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
XZIQUE 出口ルーチンが拒否した割り振り数	XZIQREJS	XZIQUE 出口により拒否された割り振りの数。
ZCP トレース	ZCPTRACING	ZCP トレース機能の状況を示します。値 NOTAPPLIC は、この接続が LU6.1 または APPC ではないことを意味します。 入力値: ZPTRACE、NOZPTRACE

IPIC 接続 - IPCONN

TCP/IP ネットワークの場合、「**IPIC 接続**」(IPCONN) ビューには、現在インストールされている IP 相互通信接続 (「**IPIC 接続**」ともいう) の状態が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**IPIC 接続 (IPIC connections)**」

表 82. 提供された「 IPIC 接続 」(IPCONN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.ACQUIRE	接続を獲得します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.BACKOUT	この IPIC 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をバックアウトします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.CANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての自動開始記述子 (AID) をキャンセルします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.COMMIT	この IP 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をコミットします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAIL4	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関する詳細情報
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED2	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続の詳細セッション情報および割り振り要求
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED3	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続の機能シップの詳細情報
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCE	TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCECANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCEPURGE	IP 接続に関連付けられているトランザクションをただちに強制パージします。

表 82. 提供された「 IPIC 接続 」(IPCONN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.INSERVICE	接続をサービス開始します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.KILL	IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ保全本性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保全本性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.NORECOVDATA	すべての未確定作業単位を強制し、未解決の再同期に対して FORGET を実行し、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.NOTPENDING	すべての未確定作業単位を強制し、パートナー・システムの初期始動(またはコールド・スタート)前に作成されたすべての未解決の再同期に対して FORGET を実行します。これにより、再同期プロセスが指定変更されます。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.OUTSERVICE	接続をサービス休止します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.PURGE	IPIC 接続に関連付けられているトランザクションを通常の方法でページします。CICS は、システムおよびデータ保全本性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.RELEASE	IPIC 接続を解放します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.RESYNC	交換ログ名の再同期を試行します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.SET	選択した接続の属性を変更するために「設定」ビューを表示します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.TABULAR	IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関するテーブル形式の情報

アクション

表 83. IPCONN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	接続を獲得します。
BACKOUT	この IPIC 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をバックアウトします。
CANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての自動開始記述子 (AID) をキャンセルします。
COMMIT	この IP 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をコミットします。
DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。
FORCE	TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。
FORCECANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。
FORCEPURGE	IP 接続に関連付けられているトランザクションをただちに強制ページします。

表 83. IPCONN ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
INSERVICE	接続をサービス開始します。
KILL	IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ保全性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保全性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。
NORECOVDATA	すべての未確定作業単位を強制し、未解決の再同期に対して FORGET を実行し、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。
NOTPENDING	すべての未確定作業単位を強制し、パートナー・システムの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に作成されたすべての未解決の再同期に対して FORGET を実行します。これにより、再同期プロセスが指定変更されます。
OUTSERVICE	接続をサービス休止します。
PURGE	IPIC 接続に関連付けられているトランザクションを通常の方法でページします。CICS は、システムおよびデータ保全性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。
RELEASE	IPIC 接続を解放します。
RESYNC	交換ログ名の再同期を試行します。
SET	選択した接続の属性を変更するために「設定」ビューを表示します。

フィールド

表 84. IPCONN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
リンク時に失敗した割り振り数	ALLCFAILLINK	この接続のリンクで失敗したセッション割り振りの数。
他の理由で失敗した割り振り数	ALLCFAILOTH	リンクに関係のない理由でこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
リモート・アプリケーション ID	APPLID	リモート・システムをネットワークに識別させるための名前 (IPCONN 定義の APPLID オプションから取られる)。これは、リモート・システムのアプリケーション ID (<i>applid</i>) であり、そのシステム初期設定テーブルの APPLID オプションで指定されます。XRF システムの場合は汎用アプリケーション ID です。
自動接続オプション	AUTOCONNECT	IPCONN 定義に指定された AUTOCONNECT オプションを以下のように示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOAUTOCONN <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続のインストール時に CICS はセッションの確立を試みません。 AUTOCONN <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続のインストール時に CICS はセッションの確立を試みます。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
証明書	CERTIFICATE	アウトバウンド IPCONN 接続で SSL ハンドシェイク内のクライアント証明書として使用される、鍵リング・ファイル内の証明書の名前。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続をインストールした場合、この値は、接続のインストール先の CICS システムの CICS リリース・レベルになります。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義を最後に変更したエージェントの CICS リリース・レベルになります。
最終変更時刻	CHANGETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義が最後に変更された現地の日時になります。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールを要求したユーザー ID です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義を最後に変更したユーザー ID になります。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	最大 28 の暗号スイートを指定した値 (16 進数のペアの形式)。CICS Transaction Server 5.1 以降、このフィールドでは、暗号リストが含まれる zFS にある XML ファイルの名前を代わりに指定できます。XML ファイル名は最大 28 文字で指定できます。
パートナー・システムへの最も複雑な経路	CLIENTLOC	<p>IPCONN は、いくつかのソケットを使用して、パートナー・システムに異なるパスを提供する場合があります。IPCONN で使用されたすべてのソケットに対して z/OS Communications Server が戻す SO_CLUSTERCONNTYPE オプションが評価され、多様性の高い経路を示すオプションがここに返されます。</p> <p>バイナリー・フォーマット SO_CLUSTERCONNTYPE は文字に変換され、0 または 1 のいずれかで表示されます。SO_CLUSTERCONNTYPE およびビット設定の詳細については、z/OS 1.9 インフォメーション・センターの「z/OS 1.9 Communications Server IP Sockets Application Programming Interface Guide」を参照してください。</p>

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNSTATUS	<p>CICS とリモート・システム間の IPIC 接続の状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は獲得されました。ACQUIRED の基準は機能交換の完了です。(機能交換とは、接続された 2 つの CICS 領域が集合的にサポートできるサービスのレベルを発見する方法のことです。同期点レベルやセキュリティー・プロトコル (SSL など) はその一例です。) • FREEING <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続を解放中です。 • OBTAINING <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は獲得中です。接続は ACQUIRED のすべての基準が満たされるまで OBTAINING 状態のままとなります。 • RELEASED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は RELEASED です (解放されました)。INSERVICE の状況になる場合もありますが、これは使用できません。
使用中の受信セッション数	CRECVSESS	この接続で使用中の受信セッション数。
使用中の送信セッション数	CSENDSSESS	この接続で使用中の送信セッション数。
現在のキューに入れられた割り振り数	CURRQUEUED	この接続で現在キューに入れられているセッション割り振りの数。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義レコードが DFHCSD または EYUDREP で作成された現地の日時になります。
ページされた XISQUE 割り振り数	EXITALLCPUR	XISQUE 出口モジュールによってページされた、この接続のセッションの数。
XISQUE 割り振りキュー・ページ数	EXITALLCQPUR	XISQUE 出口モジュールによってページされた、この接続のセッション割り振りの数。
XISQUE 割り振り拒否数	EXITALLCREJ	XISQUE 出口モジュールによって拒否された、この接続のセッション割り振りの数。
FC 機能シッパされた受信バイト数	FSFCBYTERECD	ファイル制御要求によって受信されたバイト数。
FC 機能シッパされた送信バイト数	FSFCBYTESENT	ファイル制御要求によって送信されたバイト数。
FC 機能シッパされた要求数	FSFCREQS	この接続での機能シッパに対するファイル制御機能要求の数。
IC 機能シッパされた受信バイト数	FSICBYTERECD	インターバル制御要求で受信されたバイト数。
IC 機能シッパされた送信バイト数	FSICBYTESENT	インターバル制御要求で送信されたバイト数。
IC 機能シッパされた要求数	FSICREQS	この接続での機能シッパのためのインターバル制御要求の数。
PC 機能シッパされた受信バイト数	FSPCBYTERECD	LINK 要求で受信されたバイト数。
PC 機能シッパされた送信バイト数	FSPCBYTESENT	LINK 要求で送信されたバイト数。
PC 機能シッパされた要求数	FSPGREQS	この接続での機能シッパのためのプログラム制御 LINK 要求の数。
TD 機能シッパされた受信バイト数	FSTDByTERECD	一時データ要求で受信されたバイト数。
TD 機能シッパされた送信バイト数	FSTDByTESENT	一時データ要求で送信されたバイト数。
TD 機能シッパされた要求数	FSTDREQS	この接続での機能シッパに対する一時データ要求の数。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TS 機能シッパされた受信バイト数	FSTSBYTERECD	一時記憶域要求で受信されたバイト数。
TS 機能シッパされた送信バイト数	FSTSBYTESENT	一時記憶域要求で送信されたバイト数。
TS 機能シッパされた要求数	FSTSREQS	この接続での機能シッパに対する一時記憶域要求の数。
接続設定の GMT 時刻	GMTCTIME	接続が作成された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)。
接続削除の GMT 時刻	GMTDIME	接続が削除された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)
高可用性状況	HA	IPIC 接続に高可用性が求められるかどうかを示す。 <ul style="list-style-type: none"> • REQUIRED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続には高可用性が求められます。 • NOTREQUIRED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続には高可用性が求められません。
リモート・ホスト名	HOST	リモート・システムにおけるホスト名または IP アドレス。 HOSTTYPE オプションはこの値の形式 (名前、IPv4 アドレス、IPv6 アドレスのいずれか) を示します。
ホスト名のアドレス・フォーマット	HOSTTYPE	ホストのアドレスの形式。 使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • HOSTNAME - HOST には、文字のホスト名が入ります。ホスト名に対応する IP アドレスは DNS を使用して検索されます。 • IPV4 - HOST に、ドット 10 進アドレス形式で指定された IPv4 アドレスが入っています。 • IPV6 - HOST には、コロン 16 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスが含まれています。 • NOTAPPLIC - ホスト名またはアドレスが正しくありません (HOST=0.0.0.0 または HOST=*)。
ID 伝搬	IDPROP	配布 ID が送信者によって接続先のシステムに転送されるかどうかを指定します。接続がシスプレックスの外に拡張され、主に配布 ID がエンタープライズ間で配布されるのを避けるために使用される場合にのみ、IDPROP 属性は効果があります。同じシスプレックスに含まれているシステム同士の接続の場合は、IDPROP(OPTIONAL) を指定した場合と同じ動作になり、他の設定は無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • NOTALLOWED: 送信するトランザクションに関連するユーザー ID が、この接続を使用した要求に対して送信されます。NOTALLOWED がデフォルト値です。 • オプション: 配布 ID があれば送信されます。送信トランザクションに関連したユーザー ID も送信されます。 • REQUIRED: この接続を使用した要求には配布 ID が必要です。REQUIRED を指定する場合は、受信側のシステムが配布 ID をサポートしている必要があります。送信トランザクションに関連したユーザー ID は送信されません。IDPROP(REQUIRED) を指定する場合は、IPIC 接続を使用するタスクに、関連する配布 ID がなければなりません。配布 ID がない場合は、セキュリティー・エラーが発生して要求が失敗します。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATSPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • AUTOINSTALL - リソースは自動インストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
解決された IP アドレスの形式	IPFAMILY	<p>解決された IP アドレスの形式、IPRESOLVED。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • IPV6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
リモート・ホストの IP アドレス	IPRESOLVED	この IPCONN が適用される HOST の解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、それが選択不可または不明の場合は、0.0.0.0。この IP アドレスの形式は IPFAMILY オプションで指定されます。
リンク・セキュリティ	LINKAUTH	<p>セキュリティが初期化された (SEC=YES) CICS システムで、リンク・セキュリティ用のユーザー ID をどのように確立するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CERTUSER - パートナー・システムとの TCP/IP 通信は SSL 用に構成され、SSL ハンドシェイクの間にパートナー・システムから証明書を受信する必要があります。たとえば、パートナー CICS システム内の TCPIPService は、SSL(YES) または SSL(CLIENTAUTH) で定義されていなければなりません。さらに、受信された証明書は外部セキュリティ・マネージャーに定義され、ユーザー ID と関連付けられている必要があります。このユーザー ID がリンク・セキュリティを確立するために使用されます。 • SECUSER - SECURITYNAME に指定されたユーザー ID が、リンク・セキュリティを確立するために使用されます。これはデフォルト値です。
接続設定の現地時刻	LOCCTIME	接続が作成された現地時間。
接続削除の現地時刻	LOCDDTIME	接続が削除された現地時間。
最大キュー時間	MAXQTIME	割り振り要求をキューに入れることのできる最大時間 (秒)。値の範囲は 0 - 9999 です。IPCONN 定義で MAXQTIME(NO) が指定された場合は標準スル値の -1 となります。
最小ミラー存続期間	MIRRORLIFE	<p>この領域で受信される、機能シッパされた要求に関するミラー・タスクの最小存続期間を示します。このパラメーターは、リソース所有領域の IPCONN で指定された場合にのみ有効であり、機能シッパ・インターバル制御機能の場合やリンク要求の場合は無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • REQUEST: ミラー・タスクは可能な限り早く終了します。 • TASK: リモート要求を出すアプリケーションは、そのアプリケーションのタスクが終了するまで、ミラー・タスクを引き続き使用できます。 • UOW: リモート要求を出すアプリケーションは、次の同期点が出されるまで、ミラー・トランザクションを引き続き使用できます。
ページされたキュー時間割り振り数	MQTALLPURG	キュー時間の値を超過したためにこの接続でページされたセッション割り振りの数。
キュー時間割り振りキュー・ページ数	MQTALLQPURG	キュー時間の値を超過したためにこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
IPIC 接続 ID	NAME	リモート・システムまたは領域の 8 文字の ID (つまり、その IPCONN 定義に割り当てられる名前)。
リモート・ネットワーク ID	NETWORKID	<p>リモート・システムのネットワーク ID。これは IPCONN 定義の NETWORKID オプションの値です。IPCONN 定義で NETWORKID が指定されない場合、戻される値は VTAM NETID か、VTAM=NO のシステムの場合はこの CICS (つまり IPCONN 定義がインストールされている CICS) の UOWNETQL システム初期化パラメーターの値になります。</p> <p>NETWORKID は APPLID オプションと組み合わせて使用されます。それは、接続システムで必ず固有名を使って命名が行われるようにするためです。</p>

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	16 進数の対で指定される暗号スイート・コードの数。値 0 は、XML 暗号ファイルの使用を表す場合があります。
パートナー・システムの製品トークン	PARTNER	パートナー・システムの製品トークン。ただし、パートナー・システムが CICS TS 5.3 以降で、かつ、HTTPUSRAGENTHDR システム初期設定パラメーターを使用している場合を除きます。接続が獲得されない場合、またはパートナー・システムが接続確立時に製品トークンを提示しなかった場合は、このフィールドは空白になります。例えば、CICS TS 4.1 パートナーの場合は、パートナー・システムは IBM_CICS_Transaction_Server/4.1.0(zOS) になります。
キュー・セッション割り振りのピーク数	PEAKQUEUED	任意のいずれかの時点における、この接続でキューに入れられる送信セッションの最大数。
保留状況	PENDSTATUS	<p>この IPIC 接続に関する保留中の作業単位があるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOTPENDING <ul style="list-style-type: none"> ログ名がパートナーと不一致ではありません。 PENDING <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続について未解決の再同期処理がありますが、パートナー・システムは初期始動を実行しました。再同期プロセスは完了していません。SET IPCONN NOTPENDING コマンドを使用すると、関連したトランザクション定義に従って、接続に関連した作業単位を一方的にコミットまたはバックアウトすることができます。個別に作業単位を調べて強制的にコミットまたはバックアウトを行うこともできます。この場合、さらに SET IPCONN NOTPENDING コマンドを使用してリカバリー・アクティビティを完了し、PENDING 状態をクリアしなければなりません。 <p>SET IPCONN NOTPENDING コマンドを発行するまでは、その接続を経由して新規の同期点作業 (つまり同期レベル 2 プロトコルが関係する作業) を伝送することができません。</p> <p>パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) によって生じる同期の消失を不安に思わなければ、IPCONN 定義に XLNACTON(FORCE) を指定することにより SET IPCONN NOTPENDING コマンドを自動的に発行させることができます。</p>
ポート番号	PORT	この IPIC 接続でのアウトバウンド要求で使用するポート番号。つまり、リモート・システムが listen しているポートの番号。IPCONN が PORT(NO) で定義されている場合、値は -1 です。
使用された受信セッションの最大数	PRECVSESS	任意のいずれかの時点における、この接続で使用中の受信セッションの最大数。
使用された送信セッションの最大数	PSENDSSESS	任意のいずれかの時点における、この接続で使用中の送信セッションの最大数。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ページ・タイプ	PURGETYPE	<p>関連トランザクションがページされる方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CANCEL <ul style="list-style-type: none"> – 指定の IPCONN のためにキューイングしている AID を取り消します。 • FORCECANCEL <ul style="list-style-type: none"> – IPCONN にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。注: FORCECANCEL は関連して起動されるタスクがある一時データ AID は除去しません。その種の AID は関連タスクをページすることによって除去できます。 • FORCEPURGE <ul style="list-style-type: none"> – 接続されたシステムのセッションで実行されているトランザクションをすべて即時に異常終了させます。これは予測不能な結果になる場合があります、例外的な状況でのみ使用すべきです。 <p>極端な場合 (バックアウト処理中にエラーが発生するなど)、CICS は異常終了することがあります。</p> <p>未確定および除外された UOW の場合、FORCEPURGE には効果はありません。</p> <p>注: 除外された UOW を強制するには、オペレーターは、FORCEPURGE に続いて SET IPCONN COMMIT、BACKOUT、または FORCE を発行する必要があります。これは予測不能な結果になる場合があります、例外的な状況でのみ使用すべきです。</p> • KILL <ul style="list-style-type: none"> – IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ保善性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保善性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。 • PURGE <ul style="list-style-type: none"> – 接続されたシステムで実行中のトランザクションをすべて異常終了させます。トランザクションはシステムおよびデータ保善性を維持できる場合にのみ終了します。定義で SPURGE=NO と指定されている場合、または UOW が除外されている場合、トランザクションはページされません。
キュー限度割り振り拒否数	QLIMALLOCRES	キューのしきい値に達したためにこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
キュー限度	QUEUELIMIT	この IPIC 接続について、キューに入れることができる割り振り要求の最大数。値の範囲は 0 - 9999 です。IPCONN 定義で QUEUELIMIT(NO) が指定された場合は標準ヌル値の -1 となります。
受信カウント	RECEIVECOUNT	この IPIC 接続用に定義された RECEIVE セッション数。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	<p>IPIC 接続について未解決の再同期処理があるかどうかを示します。接続については、今まで一度も接続されなかった、静止していてすべての再同期処理が完了した、または静止することなく中断した、という可能性があります。この場合には再同期が必要かもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NORECOVDATA <ul style="list-style-type: none"> – どちらの側にも未解決のリカバリー情報はありません。 • NRS <ul style="list-style-type: none"> – CICS に接続について未解決のリカバリーはありませんが、パートナーにそれがある可能性があります。 • RECOVDATA <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続に関連した未確定作業単位があるか、または接続で FORGET を待機している未解決の再同期タスクがあります。次の接続がアクティブになるかまたは UOW が再開されると、再同期が行われます。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リモート端末の開始	REMTRMSTRT	この接続を経由して開始するリモート端末数。
リモート・システムにおけるセキュリティ名	SECURITYNAME	これはリモート・システムのセキュリティ名であり、PROTOCOL(IPIC)にのみ適用されます。セキュリティが初期化された CICS システム (SEC=YES) では、セキュリティ名はリモート・システムの権限を設定するために使用されます。セキュリティ名は、ご使用のシステムの有効な RACF ユーザー ID でなければなりません。セキュリティ名のデフォルト値は、デフォルトのユーザー ID になります。
送信カウント	SENDCOUNT	この IPIC 接続用に定義された SEND セッション数。値として 0 が表示される場合、この IPIC 接続がデータの受信専用であることを示します。
サービス状況	SERVSTATUS	IPIC 接続でのデータの送受信が可能かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • INSERVICE <ul style="list-style-type: none"> – データの送受信が可能です。 • OUTSERVICE <ul style="list-style-type: none"> – データの送受信が不可能です。
Secure sockets layer (SSL) タイプ	SSLTYPE	サービスが Secure Sockets Layer を使用するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NOSSL - サービスは Secure Sockets Layer を使用しません。 • SSL - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を除く)。
TCP/IP サービス	TCPIPSERVICE	この IPCONN のインバウンド処理の属性を定義する PROTOCOL(IPIC) TCPIP SERVICE 定義の 8 文字の名前。
合計セッション割り振り数	TOTALLOC	この接続で使用されたセッションの総数。
トランザクション付加回数	TRANSATTCH	この接続で付加されたトランザクションの数。
TR 機能シッパされた受信バイト数	TRBYTERECD	この接続を経由するトランザクションに対して受信されたバイト数。
TR 機能シッパされた送信バイト数	TRBYTESENT	この接続を経由するトランザクションに対して送信されたバイト数。
TR 機能シッパされた要求数	TRREQS	この接続を経由して要求をルーティングしたトランザクションの数。
サポートされていない要求の数	UNSUPREQS	この接続を経由したサポートされない要求の機能シッパ試行数。
UOW アクション	UOWACTION	この IPIC 接続の失敗のために除外されている作業単位 (UOW) に対して取られるアクション。 <ul style="list-style-type: none"> • BACKOUT <ul style="list-style-type: none"> – この IPIC 接続の失敗のために除外されている UOW はすべてバックアウトされます。 • COMMIT <ul style="list-style-type: none"> – この IPIC 接続の失敗のために除外されている UOW はすべてコミットされます。 • FORCEUOW <ul style="list-style-type: none"> – TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。 • RESYNC <ul style="list-style-type: none"> – この IPIC 接続の障害が原因で除外されているすべての UOW を再試行します (つまり、この接続の交換ログ名再同期が試行されます)。接続が獲得された、または UOW の除外が解消したときに、このプロセスは通常は自動的に開始されるはずで。

表 84. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続時ユーザー・セキュリティ・レベル	USERAUTH	<p>接続に必要な接続時ユーザー・セキュリティのレベル:</p> <ul style="list-style-type: none"> • DEFAULTUSER - CICS はパートナー・システムからのユーザー ID およびパスワードを受け付けません。すべての要求はデフォルトのユーザー ID の下で実行されます。 • LOCAL - CICS はパートナー・システムからのユーザー ID およびパスワードを受け付けません。すべての要求は、リンク・セキュリティ用に決定されたユーザー ID の下で実行されます。 • VERIFY - 着信接続要求でユーザー ID およびユーザー・パスワードを指定する必要があります。 • IDENTIFY - 着信接続要求は、ユーザー ID を指定する必要があります。これにより、CICS TS バージョン 4 リリース 1 システムでは、必要に応じて配布 ID を送信者が接続先システムに転送できるようになります。

LU 6.2 モード名 - MODENAME

「LU6.2 モード名」(MODENAME) ビューには、LU 6.2 モード名についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「接続操作ビュー」 > 「LU6.2 モード名」

表 85. 提供された「LU6.2 モード名」(MODENAME) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LU6.2 モード名 EYUSTARTMODENAME.ACQUIRE	すべての折衝されたコンテンション勝者セッションを獲得します。使用可能なセッション数を増やすには、「属性の設定」をクリックして「使用可能なセッション数」フィールドの値を上書きします。
LU6.2 モード名 EYUSTARTMODENAME.CLOSE	使用可能なセッション値を 0 に設定します。接続されたシステムは、セッションを獲得できなくなります。
LU6.2 モード名 EYUSTARTMODENAME.DETAILED	選択した LU 6.2 モード名に関する詳細情報
LU6.2 モード名 EYUSTARTMODENAME.SET	選択された LU 6.2 モード名の属性を変更します。
LU6.2 モード名 EYUSTARTMODENAME.TABULAR	LU 6.2 モード名に関するテーブル形式の情報

アクション

表 86. MODENAME ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	すべての折衝されたコンテンション勝者セッションを獲得します。使用可能なセッション数を増やすには、「属性の設定」をクリックして「使用可能なセッション数」フィールドの値を上書きします。
CLOSE	使用可能なセッション値を 0 に設定します。接続されたシステムは、セッションを獲得できなくなります。
SET	選択された LU 6.2 モード名の属性を変更します。

フィールド

表 87. MODENAME ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
自動接続状況	AUTOCONN	CICS が VTAM との通信を開始するときには常にセッションが自動的に結合されるようにするかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ALLCONN: CICS はコンテンション勝者セッションとコンテンション敗者セッションの両方のバインドを試行します。 AUTOCONN: CICS は、コンテンション勝者となるセッションだけをバインドします。 NONAUTOCONN: CICS は、どのセッションのバインドも試行しません。
接続名	CONNECTION	このセッションのグループが関連している接続の名前。
接続状況	CONNSTATUS	接続の状況。有効な値は、RELEASED、CLOSED、ACQUIRED、FREEING、AVAILABLE、OBTAINING です。
モード名	NAME	セッションのグループに関連付けられたモード名の名前。
アクティブ・セッション数	SESSACTV	このグループ内で現在使用中のセッションの数。
使用可能セッション数	SESSAVAIL	現在使用中のセッションおよび使用可能なセッションを含む、グループ内のバインドされたセッションの現行数。
最大セッション数	SESSMAX	このグループ内で一度にサポートされるセッションの最大数。
コンテンション勝者セッションの最大数	SESSMAXWIN	このグループ内でコンテンション勝者としてサポートできるセッションの最大数。

パートナー - PARTNER

「パートナー」 (PARTNER) ビューには、現在インストールされているパートナー・テーブルについての一般情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「接続操作ビュー」 > 「パートナー」

表 88. 提供された「パートナー」 (PARTNER) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
パートナー EYUSTARTPARTNER.DETAILED	選択したパートナー・テーブルに関する詳細情報
パートナー EYUSTARTPARTNER.DISCARD	パートナー・テーブルをインストール先の CICS システムから破棄します。
パートナー EYUSTARTPARTNER.TABULAR	パートナー・テーブルに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 89. PARTNER ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	パートナー・テーブルをインストール先の CICS システムから破棄します。

フィールド

表 90. PARTNER ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
パートナーの位置するノード	NETNAME	パートナー・テーブルが配置されているノード名。
パートナーの位置するネットワーク	NETWORK	パートナー・テーブルが配置されているネットワーク名。この値がブランクの場合、パートナーはご使用中の CICS システムと同じネットワーク内にあります。
パートナー	PARTNER	パートナー・テーブルの名前。
パートナーのプロファイル名	PROFILE	パートナー・テーブルのプロファイル名。
リモート・トランザクション・プログラム名	TPNAME	パートナー・テーブルに関連付けられているリモート・トランザクション・プログラム名。
リモート・トランザクション・プログラム名の長さ	TPNAMELEN	リモート・トランザクション・プログラム名の文字数。

プロファイル - PROFILE

「**プロファイル**」(PROFILE) ビューには、現在インストールされているプロファイルについての一般情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**接続操作ビュー**」 > 「**プロファイル**」

表 91. 提供された「 プロファイル 」(PROFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
プロファイル EYUSTARTPROFILE.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
プロファイル EYUSTARTPROFILE.DETAILED	選択したプロファイルに関する詳細情報
プロファイル EYUSTARTPROFILE.DISCARD	プロファイルをインストール先の CICS システムから破棄します。
プロファイル EYUSTARTPROFILE.TABULAR	インストールされているプロファイルに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 92. PROFILE ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	プロファイルをインストール先の CICS システムから破棄します。

フィールド

表 93. PROFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 93. PROFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
プロファイル	PROFILE	プロファイルの名前。

TCP/IP サービス - TCPIPS

TCP/IP サービス名 (TCPIPS) ビューには、CICS 内部ソケット・サポートについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス (TCP/IP services)**」

表 94. 提供された「TCP/IP サービス」(TCPIPS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.CLOSE	TCP/IP サービスを閉じます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。この TCP/IP サービス定義を使用する管理対象 CICS システム内のトランザクションからの出力操作は完了できます。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAIL1	選択した TCP/IP サービス定義に関する詳細な SSL 暗号スイート・コード情報
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAIL2	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAILED	選択した TCP/IP サービス定義に関する詳細情報。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DISCARD	TCP/IP サービス定義をインストール先の CICS システムから破棄します。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.IMMCLOSE	TCP/IP サービス定義に即時クローズを要求します。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合は、このアクション・コマンドを使用するとそれらのトランザクションが異常終了する可能性があります。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.OPEN	TCP/IP サービスを開きます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れるようになります。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.TABULAR	現在インストールされている TCP/IP サービス定義に関する表形式の情報

アクション

表 95. TCPIPS ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	TCP/IP サービスを閉じます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。この TCP/IP サービス定義を使用する管理対象 CICS システム内のトランザクションからの出力操作は完了できます。
DEREGISTER	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。TCP/IP サービス定義の登録を解除します。
DISCARD	TCP/IP サービス定義をインストール先の CICS システムから破棄します。
IMMCLOSE	TCP/IP サービス定義に即時クローズを要求します。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合は、このアクション・コマンドを使用するとそれらのトランザクションが異常終了する可能性があります。
OPEN	TCP/IP サービスを開きます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れるようになります。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 96. TCPIP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
付加時セキュリティ	ATTACHSEC	ECI over TCP/IP サービスに関する、CICS クライアントへの接続で 사용되는接続時セキュリティのレベルを示します。 <ul style="list-style-type: none"> LOCAL - CICS はクライアントのユーザー ID またはパスワードを必要としません。 VERIFY - 着信接続要求でユーザー ID およびユーザー・パスワードを指定する必要があります。
認証レベル	AUTHENTICATE	この TCP/IP リソースで使用する認証のレベル。
キュー・バックログ設定	BACKLOG	TCP/IP で処理待ちのキューに入れられる要求の最大数の設定。 入力値: 0 から 32767 まで。 BACKLOG の値が SOMAXCONN の TCP/IP 構成値より大きい場合は、TCP/IP は SOMAXCONN 属性で指定された値を使用します。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
全ソケットにわたる受信バイト数	BYTERCVD	この TCP/IP サービスの全ソケットで受信された合計バイト数。
全ソケットにわたる送信バイト数	BYTESENT	この TCP/IP サービスの全ソケットで送信された合計バイト数。
証明書	CERTIFICATE	この TCP/IP サービスの SSL ハンドシェイクで使用する鍵リング・ファイル内の証明書の名前。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSEBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	最大 28 の暗号スイートを指定した値 (16 進数のペアの形式)。CICS Transaction Server 5.1 以降、このフィールドでは、暗号リストが含まれる zFS にある XML ファイルの名前を代わりに指定できます。XML ファイル名は最大 28 文字で指定できます。
ソケット・クローズに対するタイムアウト (秒)	CLOSETIMEOUT	受信するデータがない場合に、管理対象 CICS システムがソケットを閉じるまでの期間 (秒)。この値は、「ソケット・クローズ」パラメーターが TIMEOUT の場合に適用されます。
現在の最大バックログ	CMAKBACKLOG	TCP/IP サービスのバックログとして現在使用されている最大値。すべてのスタックを対象にした値です。これは、TCP/IP サービスの BACKLOG 属性を使用して指定した値より大きくなる場合があります。例えば SYN フラディングが発生したと判断して TCP/IP がバックログを大きくすることがあるからです。

表 96. TCIPIS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続数	CONNECTIONS	現在このサービスに関連付けられているソケット接続の数。
接続の最終ドロップ時刻	CONNLASTDROP	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯になったために接続が最後に拒否された時刻。
ドロップされた接続	CONNSDROPPED	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯になったためにドロップされた接続の総数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。
現在のバックログ	CURRBACKLOG	バックログに入っている接続要求の現在の数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
タスク限度に達したために持続接続が切断された回数	DISCATTIM	領域内のタスク数が限度を超えたために既存の HTTP 持続接続が閉じられた回数。
最大使用数に達したために接続が切断された回数	DISCATUSELIM	HTTP 持続接続の使用数が限度を超えたために切断が発生した回数。
ドメイン・ネーム・サービス (DNS) グループ	DNSGROUP	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。DNS グループ名。
ドメイン・ネーム・サービス (DNS) 状況	DNSSTATUS	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。この TCP/IP サービスの WLM/DNS 登録の現在の状態は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • NOTAPPLIC - このサービスは、DNS 接続の最適化を使用していません。リソースがインストールされた際に DNSGROUP 属性が指定されませんでした。 • UNAVAILABLE - OS/390 で登録がサポートされていません。 • UNREGISTERED - 登録はまだ行われていません (これは、すべてのサービスの初期状態です)。 • REGISTERED - 登録は正常に完了しました。 • REGERROR - エラーにより登録が失敗しました。 • DEREGISTERED - 登録解除が正常に完了しました。 • DEREGERROR - エラーにより登録解除が失敗しました。
一般的な TCIPIService	GENERICTCPS	この TCP/IP サービスが使用する一般的な TCP/IP サービスの名前。指定された場合、この TCIPISERVICE は特定の TCP/IP サービスになります。
サービス・オープンの GMT 時刻	GMTSERVOPN	この TCP/IP サービスが開かれたグリニッジ標準時。
重要なドメイン・ネーム・サービス (DNS) グループ・メンバー	GRPCRITICAL	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。この TCP/IP サービスが DNS グループの重要なメンバーかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • CRITICAL - この TCIPISERVICE が閉じられた場合、または何らかの理由で listen が異常停止した場合、DNSGROUP 属性で指定されたグループ名は、WLM から登録解除されます。 • NONCRITICAL - この TCIPISERVICE が閉じられたり、何らかの理由で listen が異常停止した場合、DNSGROUP 属性に指定されたグループ名は、これが同じグループ名を持つ集合の最後のサービスでない限り、WLM から登録解除されません。
listen するサーバー・アドレス	HOST	この TCIPISERVICE が着信要求 (ANY または DEFAULT) を listen するホスト名または IP アドレス。HOSTTYPE オプションで、この値のフォーマット (ホスト名、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、ANY、DEFAULT、あるいは、NOTAPPLIC のいずれか) を指定します。 IPRESOLVED には、実際に使用される数値の IP アドレスが入ります。

表 96. TCPIPS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
listen するサーバーのアドレス・フォーマット	HOSTTYPE	<p>サービスが listen する HOST フィールドのアドレスのフォーマット。</p> <ul style="list-style-type: none"> ANY - サーバーのアドレスに ANY オプションが指定されています。 DEFAULT - サーバーのアドレスに DEFAULT オプションが指定されています。 HOSTNAME - サーバーのアドレスは、文字のホスト名です。ホスト名に対応する IP アドレスが、ドメイン・ネーム・サーバーで検索されます。 IPv4 - サーバーのアドレスは、ドット 10 進アドレス・フォーマットで指定された IPv4 アドレスです。 IPv6 - サーバーのアドレスは、コロン 16 進アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスです。 NOTAPPLIC - サーバーのホスト名またはアドレスが適切ではありません。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
サービスの IPv4 アドレス	IPADDRESS	この TCPIPService が listen しているサーバーの IPv4 ドット 10 進アドレス、ANY、INADDR_ANY または DEFAULT。
解決された IP アドレス・フォーマット	IPFAMILY	<p>IPRESOLVED で示される、このサービスの解決済み IP アドレスのフォーマット。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPv4 - IPRESOLVED には、小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv4 アドレスが含まれています。 IPv6 - IPRESOLVED には、コロン 16 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスが含まれています。 UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
解決された IP アドレス	IPRESOLVED	<p>この TCPIPService が listen している解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、あるいは、これが使用不可であったり不明な場合は、0.0.0.0。</p> <p>HOST に指定されたアドレスが、ANY または DEFAULT の場合、解決済み IP アドレスは、アプリケーションで使用されている IP スタックに関連付けられた IP アドレスのリストから動的に選択されます。この IP アドレスは、使用されるソケットや、リスナーに使用されるサーバーや現行 IP アドレスに応じて変更されます。</p> <p>IPFAMILY で IP アドレスのフォーマットを明確にします。</p>
受信されるデータの最大長	MAXDATALEN	この TCP/IP サービス上で受信できるデータの最大長。
持続接続の最大数	MAXPERSIST	<p>CICS が受け入れる持続接続の最大数。値の範囲は 0 - 65535 です。</p> <p>MAXPERSIST 定義で MAXPERSIST(NO) 定義が指定された場合は標準ヌル値の -1 となります。</p>
TCP/IP サービス名	NAME	TCP/IP サービス名
非持続接続の数	NONPERSIST	maxpersist の制限を超えて行われた非持続接続の数。
MAXPERSIST に達したために接続が非持続にされた回数	NPERSATMAXP	MAXPERSIST に達したために新しい持続接続が非持続に変更された回数。

表 96. TCIPService のフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスク限度に達したために接続が非持続にされた回数	NPERSATTLIM	領域内のタスク数が限度を超えたために新しい HTTP 持続接続が非持続に変更された回数。
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	16 進数の対で指定される暗号スイート・コードの数。値 0 は、XML 暗号ファイルの使用を表す場合があります。
TCP/IP サービス状況	OPENSTATUS	<p>TCP/IP サービス定義の状態は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPEN - この TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れられます。 • OPENING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。サービスは OPENING の処理中です。 • CLOSED - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。 • CLOSING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。サービスは CLOSING の処理中です。 • IMMCLOSE - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合、それらのトランザクションが異常終了する可能性があります。 • IMMCLOSING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。CICS 内部ソケット・サポートは、即時終了の処理中です。
HTTP OPTIONS のハンドラー・プログラム	OPTIONSPGM	HTTP OPTIONS 要求が処理されるときに呼び出されるユーザー置き換え可能モジュール名。
ピーク接続数	PEAKCONNS	この TCP/IP サービス全体の、使用中になっているソケット接続のピーク数。
ポート番号	PORT	管理対象 CICS システムが着信クライアント要求を listen しているポート番号。
このサービスを使用するクライアントのプライバシー	PRIVACY	<p>これは CICS TS バージョン 3 リリース 1 以降では廃止されています。このサービスへのインバウンド接続に必要な SSL 暗号化のレベルを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • REQUIRED - 暗号化を使用する必要があります。 • SUPPORTED - クライアントおよびサーバーの両方がサポートする場合に暗号化を使用します。 • NOTSUPPORTED - 暗号化を一切使用してはなりません。
プロトコル	PROTOCOL	<p>この TCP/IP リソースで使用されているプロトコルの名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECI - ECI over TCP/IP プロトコル。 • HTTP - ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル。 • IIOP - これは CICS TS バージョン 5 リリース 1 以降では廃止されています。Internet Inter-ORB Protocol。 • IPIC - IP インター・コネクティビティー・プロトコル。 • USER - ユーザー定義プロトコル。
基本認証レルム名	REALM	CICS が基本認証を要求したときに提供されるレルム。
全ソケットにわたる受信数	RECEIVES	この TCP/IP サービスの全ソケットで行われた受信の総数。
要求	REQUESTS	TCP/IP サービスによって処理された要求の数。
全ソケットにわたる送信数	SENDS	この TCP/IP サービスの全ソケットで行われた送信の総数。
ソケット・クローズ・アクション	SOCKETCLOSE	<p>ソケットから受信するデータがない場合に管理対象 CICS システムがとるアクション。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WAIT - 管理対象 CICS システムは、受信するデータがない場合、待機してソケットを閉じません。 • TIMEOUT - 管理対象 CICS システムは、「クローズ・タイムアウト」パラメーターで指定された期間が経過してもデータの受信がない場合に、ソケットを閉じます。
特定の TCIPService	SPECIFTCPS	この TCP/IP サービスが使用する特定の TCP/IP サービスの名前。指定された場合、この TCP/IP サービスは一般的な TCP/IP サービスになります。

表 96. TCIPIS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
Secure sockets layer (SSL) タイプ	SSLTYPE	サービスが Secure Sockets Layer を使用するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NOSSL - サービスは Secure Sockets Layer を使用しません。 • SSL - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を除く)。 • CLIENTAUTH - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を含む)。 • ATTLAWARE - CICS は、AT-TLS がこのサービスのクライアント接続を保護すると想定して処理します。これによってクライアント認証がサポートされる場合があります。
サービス・オープンの現地時刻	TIMEOPEN	この TCP/IP サービスが開かれた現地時間。
合計接続数	TOTALCONNS	TCP/IP サービスのために確立された接続の総数。
トランザクション付加回数	TRANATTACH	この TCP/IP サービスを通して接続したトランザクションの総数。
CICS トランザクション ID	TRANSID	このサービスに関して受信した要求を処理するために接続されているトランザクションの ID。
TS キュー接頭部	TSQPREFIX	このパラメーターは、CICS Transaction Server for z/OS バージョン 3 リリース 2 以降では必要なくなったか、あるいは使用されなくなりました。
ユーザー置き換え可能モジュール名	URM	このサービスで呼び出すユーザー置き換え可能モジュール名。

IP 機能 - IPFACIL

「**IP 機能**」(IPFACIL) ビューには、アクティブ CICS タスクと、そのタスクによって使用されている IP 接続との間の関連付けが表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**IP 機能 (IP facilities)**」

表 97. 提供された「 IP 機能 」(IPFACIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.DETAILED	選択した IP 機能に関する詳細情報
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.TABULAR	IP 機能に関する情報をテーブル形式で表示します。

アクション

なし。

フィールド

表 98. IPFACIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
IP 接続 ID	IPCONN	タスクと関連した IP 接続名。

表 98. IPFACIL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
IP 機能タイプ	IPFACILTYPE	そのタスクに関連した IP 機能のタイプの標識。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • PRINCIPAL。この IP 機能はメイン IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。 • ALTERNATE。この IP 機能は 2 次 IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。
関連タスク ID	TASKID	IP 機能と関連付けられたタスクの ID。
IP 機能トークン	TOKEN	IP 機能の ID トークン

DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー

「DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作」ビューには、DB2 サブシステム、現行コンテキストおよびスコープ内の DB2 スレッド、DBCTL サブシステム、および WebSphere MQ 接続の状況および使用法に関する情報が示されます。

接続 - DB2CONN

「**DB2 接続**」(DB2CONN) ビューには、DB2CDEF オブジェクトを通して CICSplex SM に定義されている DB2 接続についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー**」 > 「**接続**」

表 99. 提供された「 DB2 接続 」(DB2CONN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.CONNECT	CICS/DB2 接続機能と DB2 サブシステムの間に接続が確立されるようにします。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.DETAIL1	選択した DB2 接続に関する詳細な接続統計情報
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.DETAIL4	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.DETAILED	選択した DB2 接続に関する詳細情報
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.DISCARD	DB2 接続をインストール先の CICS システムから破棄します。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.DISCONNECT	DB2 サブシステムから CICS/DB2 接続機能を切断させます。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.FORCE	DB2 接続を強制的に即時パージさせます。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.REBUILD	次のスレッドの再使用ですべての既存のスレッドを強制的に再サインオンさせます。
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.SET	選択した DB2 接続の属性を変更するには、「設定」ビューを表示します。

表 99. 提供された「DB2 接続」(DB2CONN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
DB2 接続 EYUSTARTDB2CONN.TABULAR	DB2 接続に関するテーブル形式の情報

アクション

表 100. DB2CONN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CONNECT	CICS/DB2 接続機能と DB2 サブシステムの間に接続が確立されるようにします。
DISCARD	DB2 接続をインストール先の CICS システムから破棄します。
DISCONNECT	DB2 サブシステムから CICS/DB2 接続機能を切断させます。
FORCE	DB2 接続を強制的に即時ページさせます。
REBUILD	次のスレッドの再使用ですべての既存のスレッドを強制的に再サインオンさせます。
SET	選択した DB2 接続の属性を変更するには、「設定」ビューを表示します。

フィールド

表 101. DB2CONN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
会計レコード・オプション	ACCOUNTREC	<p>これは、CICS DB2 接続機構が DB2 アカウンティング・レコードを作業単位(UOW)ごと、transid ごと、またはトランザクションごとに生成するか、あるいはプール・スレッドを使用するトランザクションでは生成しないかを規定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NONE - アカウント・レコードはカットされません。 TXID - CICS 接続機能では、スレッドを使用している transid が変更されたときにのみアカウンティング・レコードをカットします。 TASK - CICS 接続機能では、タスクごとに最低 1 つのアカウンティング・レコードをカットします。 UOW - CICS 接続機能では、同期点でスレッドが解放された場合に、作業単位 (UOW) ごとにアカウンティング・レコードをカットします。
プール・スレッド許可 ID	AUTHID	これは、プール・スレッド使用時のセキュリティー検査に使用するユーザー ID を定義します。プール・スレッド許可 ID が指定された場合、プール・スレッド許可タイプは適用されません。
プール・スレッド許可タイプ	AUTHTYPE	<p>これは、プール・スレッドを使用する際のセキュリティー検査に使用されるユーザー ID のタイプを示します。プール・スレッド許可タイプが指定された場合、許可 ID はブランクに設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> GROUP - 8 文字のユーザー ID と接続されたグループ名が許可 ID として使用されます。 SIGN - db2conn の記号 ID パラメーターが許可 ID として使用されます。 TERM - 端末識別名が許可 ID として使用されます。 TX - トランザクション ID が許可 ID として使用されます。 OPID - ユーザー・オペレーター ID が許可 ID として使用されます。 USERID - CICS トランザクションに関連付けられている 8 文字のユーザー ID が許可 ID として使用されます。 NOTAPPLIC - この DB2 接続にはセキュリティー検査は適用されません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
コマンド・スレッドを使用する呼び出し数	CCALLS	このフィールドは、DSNC トランザクションを使用して発行された DB2 コマンドの数を示します。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
コマンド・スレッド許可 ID	COMAUTHID	これは、コマンド・スレッド使用時のセキュリティ検査に使用するユーザー ID を定義します。COMAUTHID が指定される場合、COMAUTHTYPE は適用されません。
コマンド・スレッド許可タイプ	COMAUTHTYPE	<p>コマンド・スレッドを使用する際のセキュリティ検査に使用されるユーザー ID のタイプを示します。COMAUTHTYPE が指定された場合、COMAUTHID はブランクに設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CGROUP - 8 文字のユーザー ID と接続されたグループ名が許可 ID として使用されます。 • CSIGN - DB2 接続の記号 ID パラメーターが許可 ID として使用されます。 • CTERM - 端末識別名が許可 ID として使用されます。 • CTX - トランザクション ID が許可 ID として使用されます。 • COPID - ユーザー・オペレーター ID が許可 ID として使用されます。 • CUSERID - CICS トランザクションに関連付けられている 8 文字のユーザー ID が許可 ID として使用されます。 • NOTAPPLIC - この DB2 接続にはセキュリティ検査は適用されません。
最大コマンド・スレッド数	COMTHREADLIM	現在 CICS DB2 接続機能でアクティブにできるコマンド・スレッドの最大数。この数を超えた要求はオーバーフローしてプールに入ります。
アクティブなコマンド・スレッド数	COMTHREADS	これは、現在のアクティブ・コマンド・スレッド数を示します。
接続エラー処理オプション	CONNECTERROR	<p>接続機能が「待機モード」にあるため、CICS が DB2 に接続されないという情報を、SQL 要求を発行したアプリケーションに報告する方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ABEND - アプリケーションは AEY9 という異常終了コードで異常終了します。 • SQLCODE - アプリケーションは -923 sqlcode を受け取ります。STANDBYMODE が NOCONNECT に設定されている場合、SQLCODE は指定できません。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNECTST	CICS DB2 接続の状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> CONNECTED - CICS は DB2 に接続されています。 NOTCONNECTED - CICS は DB2 に接続されていません。 CONNECTING - CICS は現在 DB2 への接続を試みています。 DISCONNING - CICS は現在 DB2 から切断中です。
コマンド・スレッド・サインオンの回数	CSIGNONS	このフィールドは、コマンド・スレッドに関して実行された DB2 サインオン数を示します。
現在のコマンド・スレッド数	CTCURR	このフィールドは、この DB2 エントリーの現在のコマンド・スレッド数を示します。
コマンド・スレッドのピーク数	CTHWM	このフィールドは、アクティブ・コマンド・スレッドのピーク数を示します。
GMT 接続時刻	CTIMEGMT	これは、この接続定義が接続された最後の接続時刻を GMT で示します。
ローカル 接続時刻	CTIMELOC	これは、この接続定義が接続された最後の接続時刻を現地時間で示します。
最大コマンド・スレッド数	CTLIMIT	このフィールドは、現在 CICS DB2 接続機構でアクティブにできるコマンド・スレッドの最大数を示します。この数を越えた要求はオーバーフローしてプールに入ります。
コマンド・スレッドのプールへのオーバーフロー回数	CTOVERF	このフィールドは、アクティブ・コマンド・スレッドの数がコマンド・スレッドの限界を超えたために DSNB DB2 コマンドがプール・スレッドを使用した回数を示します。
コマンド・スレッドの終了回数	CTTERM	このフィールドは、コマンド・スレッドに関して DB2 に出されたスレッド終了要求の数を示します。
DB2 データ共用グループ ID	DB2GROUPID	CICS の接続先の DB2 データ共用グループまたはサブグループの名前です。これは、CICS-DB2 接続機能が非アクティブのときにのみ変更可能です。
DB2 サブシステム ID	DB2ID	これは、CICS の接続先の DB2 サブシステム名を示します。DB2 ID は、CICS-DB2 接続機能が非アクティブのときにのみ変更可能です。グループ接続を使用し、CICS DB2 接続が接続されていない場合、このフィールドはブランクになります。
DB2 のバージョンおよびリリース	DB2RELEASE	これは、CICS が接続される DB2 サブシステムのバージョンおよびリリース・レベルを示します。CICS が接続されていない場合は、このフィールドはブランクに設定されます。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
デッドロック解決のロールバック・オプション	DROLLBACK	このフィールドは、デッドロックを解決するための犠牲としてトランザクションが選択された場合に、CICS DB2 接続機構が同期点ロールバックを開始するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ROLLBACK - 接続機能によって、制御をアプリケーションに戻す前に同期点ロールバックが発行されます。現在の UOW がロールバックされたことを示す SQL コード -911 がアプリケーションに戻されます。 NOROLLBACK - 接続機能によって、トランザクションのロールバックが開始されません。デッドロックまたはタイムアウトによって生じた実行不成功を示す SQL コードの -913 がアプリケーションに戻されます。
GMT 切断時刻	DTIMEGMT	これは、この接続定義が切断された最後の切断時刻を GMT で示します。
ローカル切断時刻	DTIMELOC	これは、この接続定義が切断された最後の切断時刻を現地時間で示します。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
非送信請求エラー・メッセージ TDQ 名 1	MSGQUEUE1	このフィールドは、CICS DB2 接続機能からの非送信請求メッセージが送信される最初の一時データ・キューの名前を示します。この最初の一時データ・キュー名はブランクにはできません。
非送信請求エラー・メッセージ TDQ 名 2	MSGQUEUE2	このフィールドは、CICS DB2 接続機能からの非送信請求メッセージが送信される 2 番目の一時データ・キューの名前を示します。
非送信請求エラー・メッセージ TDQ 名 3	MSGQUEUE3	このフィールドは、CICS DB2 接続機能からの非送信請求メッセージが送信される 3 番目の一時データ・キューの名前を示します。
DB2 接続名	NAME	DB2 接続定義の名前。
非端末トランザクションのスレッド解放オプション	NONTERMREL	これは、中間同期点での再使用のために非端末トランザクションがスレッドを解放するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> RELEASE - 非端末トランザクションによって、中間の同期点での再利用のためにスレッドが解放されます。 NORELEASE - 非端末トランザクションは、中間同期点での再使用のためにスレッドを解放しません。
プール・スレッド打ち切り回数	PABORTS	このフィールドは、ロールバックされた、プール・スレッドを使用する作業単位の数を示します。
プール・スレッドを使用する呼び出し数	PCALLS	このフィールドは、プール・スレッドを使用して行われた SQL 呼び出しの数を示します。
プール・スレッド・コミットの回数	PCOMMITS	このフィールドは、プール・スレッドを使用する作業単位に実行された 2 フェーズ・コミットの数を示します。
プールに使用される計画名	PLAN	これは、プールに使用する計画の名前を示します。計画名が指定されると、PLANEXITNAME フィールドはブランクに設定されます。
プール・スレッドに使用される動的計画出口ルーチン名	PLANEXITNAME	これは、プール・スレッドに使用される動的計画出口の名前を示します。計画出口名が指定されると、PLAN フィールドはブランクに設定されます。
プール・スレッド部分サインオンの回数	PPSIGNONS	このフィールドは、プール・スレッドに関して実行された DB2 の部分的なサインオンの数を示します。
プール・スレッドが REUSELIMIT に達した回数	PREUSELIMIT	このフィールドは、プール・スレッドが REUSELIMIT に達し、強制終了する必要があった回数を示します。
TCB 優先順位	PRIORITY	このフィールドは、CICS メインタスクに対するプール・スレッド TCB の相対的な優先度を示します。 <ul style="list-style-type: none"> HIGH - TCB は CICS (QR TCB) よりも高い優先度を得ます。 EQUAL - TCB は CICS (QR TCB) と同じ優先度を持ちます。 LOW - TCB は CICS (QR TCB) よりも低い優先度を持ちます。
プール・スレッド待ちの現在のタスク数	PRQCUR	このフィールドは、現在プール・スレッドが使用可能になるのを待っている CICS タスクの数を示します。
プール・スレッド待ちのピーク・タスク数	PRQHWM	このフィールドは、プール・スレッドが使用可能になるのを待った CICS タスクのピーク数を示します。
プール・スレッド・サインオンの回数	PSIGNONS	このフィールドは、プール・スレッドに関して実行された DB2 サインオン数を示します。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
単一フェーズ・コミットの作業単位数	PSPHASE	このフィールドは、読み取り専用 UOW であったため、または UOW で更新されたリカバリー可能リソースが DB2 だけであったために単一フェーズ・コミットを使用した、プール・スレッドを使用する作業単位の数を示します。
スレッドの作成回数	PTCREATE	このフィールドは、プール・スレッドに関して DB2 に出されたスレッド作成要求の数を示します。
現在のアクティブ・プール・スレッド数	PTCURR	このフィールドは、この DB2 エントリーの現在の保護スレッド数を示します。
アクティブ・プール・スレッドのピーク数	PTHWM	このフィールドは、プール・スレッドを使用した CICS タスクのピーク数を示します。
最大プール・スレッド数	PTLIMIT	このフィールドは、プール・スレッドの現在の最大許容数を示します。
トランザクションがプール・スレッドを再使用した回数	PTREUSE	このフィールドは、プールを使用する CICS トランザクションが作成済みの DB2 スレッドを再使用できた回数を示します。
スレッドの終了回数	PTTERM	このフィールドは、プール・スレッドに関して DB2 に出されたスレッド終了要求の数を示します。
プール・スレッドの待機数	PTWAIT	このフィールドは、プール内の使用可能なスレッドがすべてビジーになり、スレッドが使用可能になるのをトランザクションが待たなければならなかった回数を示します。
保護スレッド・パージ周期 (分)	PURGECYCLEM	このフィールドでは、保護スレッド・パージ周期の長さを分単位で定義します。範囲は 0 - 59 です。 保護スレッドは、解放されたときにすぐに終了しません。その間に再利用されていないければ、それは 2 つの完全なサイクル周期の後にのみ終了します。そのため、パージ周期が解放後 30 秒に設定された場合、保護スレッドは解放後 30 から 60 秒でパージされます。その DB2ENTRY でスレッドを待機している他のトランザクションがない場合、無保護スレッドは (同期点またはタスクの最後で) 解放されるときに終了します。
保護スレッド・パージ周期 (秒)	PURGECYCLES	このフィールドでは、保護スレッド・パージ周期の長さを秒単位で定義します。範囲は 0 - 59 です。PURGECYCLEM がゼロの場合、PURGECYCLES の最小値は 5 秒になります。詳しくは、PURGECYCLEM を参照してください。
プール・スレッドを使用する現在のタスク数	PXCURR	このフィールドは、現在プール・スレッドを使用している CICS タスクの数を示します。
プール・スレッドを使用するピーク・タスク数	PXHWM	このフィールドは、アクティブ・プール・スレッドのピーク数を示します。
プール・スレッドを使用した合計タスク数	PXTOTAL	このフィールドは、プール・スレッドを使用した完了済みタスクの総数を示します。
再同期メンバー	RESYNCMEMBER	これはグループ接続を使用する場合にのみ適用され、CICS が最後に接続された DB2 データ共有グループ・メンバーに関する未解決の作業単位が保持されている場合に、CICS が採用するストラテジーを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> RESYNC - CICS は同じ DB2 データ共有グループ・メンバーと接続します。 NORESINC - CICS は同じ DB2 データ共有グループ・メンバーとの接続を 1 回試行します。その試行が失敗した場合、CICS は DB2 データ共有グループのいずれかのメンバーと接続して、未解決の作業単位に関する警告を発行します。 NOTAPPLIC - DB2 グループ接続は使用されません。
スレッドの再利用制限	REUSELIMIT	スレッドが強制終了する前にスレッドを再利用できる最大回数。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CICS-DB2 接続で使用されている許可 ID	SIGNID	<p>このフィールドでは、プール、AUTHTYPE(SIGN) を指定する DB2ENTRY スレッド、および COMAUTHTYPE(CSIGN) を指定するコマンド・スレッドのために DB2 にサインオンする際、CICS DB2 接続機能で使用する許可 ID を定義します。デフォルトはブランクで、それは DB2CONN がインストールされるときに CICS システムの applid に置き換えられます。</p> <p>注: SIGNID 属性にユーザー ID を指定した場合、CICS はインストールを実行しているユーザー ID に対して代理ユーザー検査を実行します。同様に、CICS 領域のユーザー ID は、CICS コールド・スタートまたは初期起動でのグループ・リスト・インストールの際に代理ユーザー検査の対象になります。</p>
待機モード・アクション	STANDBYMODE	<p>このフィールドは、接続の開始が試行されたとき DB2 がアクティブでなかった場合に CICS DB2 接続機構がとる処置を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOCONNECT - CICS DB2 接続機構は終了します。 • CONNECT - CICS DB2 接続機構は「待機モード」になり、DB2 を待機します。 • RECONNECT - CICS DB2 接続機構は「待機モード」になり、DB2 を待機します。DB2 に接続されると、その後 DB2 が失敗した場合に CICS DB2 接続機構は再び待機モードに戻り、その後 DB2 が再びアクティブになるときに再接続します。
接続統計 TDQ 名	STATSQUEUE	これは CICS DB2 接続がシャットダウンするときに統計の送信先となる一時データ・キューの名前を示します。
TCB のない現行接続数	TCBFREE	このフィールドは、TCB に現在関連付けられていない現行の接続数を示します。
最大接続数 (TCBLIMIT)	TCBLIMIT	このフィールドは、DB2 要求の処理に使用できる接続 (識別された TCB) の最大数を示します。
現行の pthread 接続数	TCBPROTCUR	このフィールドは、保護スレッドがある現行の接続数を示します。
接続を待機している現在のタスク数	TCBRDYQCURR	このフィールドは、DB2 接続が使用可能になるのを待機している、キュー内の CICS タスクの現行数を示します。
接続を待機しているピーク・タスク数	TCBRDYQHWM	このフィールドは、DB2 接続が使用可能になるのを待機している、キュー内の CICS タスクのピーク数を示します。
TCB のある現行接続数	TCBS	このフィールドは、現在 CICS-DB2 接続機能によって使用されている TCB の数を示します。
現在のサブタスク TCB 数	TCURR	このフィールドは、TCB に現在関連付けられている現行の接続数を示します。
スレッド・エラー後のアクション	THREADERROR	<p>これは、スレッド作成エラーの後に行われる処理を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ABEND - 最初の SQL エラーが検出されたときに、CICS はエラーのタイプに応じて異常終了コード AD2S、AD2T、または AD2U のトランザクション・ダンプを取ります。最初のエラーについては、トランザクションは異常終了しません。2 度目またはその後の SQL エラーでは、トランザクションは異常終了コード AD2S、AD2T、または AD2U を出して異常終了します。トランザクションは終了して再初期化されてからでなければ、別の SQL 要求を発行することはできません。 • N906 - トランザクションに関連付けられた DSNCSQL RMI は、使用不可になりません。別の SQL 要求が発行された場合、トランザクションが SYNCPOINT ROLLBACK を発行しなければ、トランザクションは -906 SQLCODE を受け取ります。ROLLBACK オプションの指定されていない SYNCPOINT は、ASP3 または ASP7 の異常終了を生じます。 • N906D - トランザクション・ダンプが取られ、トランザクションに関連付けられた DSNCSQL RMI は使用不可になりません。別の SQL 要求が発行された場合、トランザクションが SYNCPOINT ROLLBACK を発行しなければ、-906 SQLCODE を受け取ります。ROLLBACK オプションの指定されていない SYNCPOINT は、ASP3 または ASP7 の異常終了を生じます。トランザクション・ダンプは、AD2S、AD2T、または AD2U の異常終了を記録します。

表 101. DB2CONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大プール・スレッド数	THREADLIMIT	このフィールドは、現在 CICS DB2 接続機能でアクティブにできるプール・スレッドの最大数を示します。この数を超えると、(THREADWAIT 属性に従って) 要求の待機や拒否が起こります。また、デフォルトの THREADLIMIT (3) は指定可能な最小数です。最大値は、TCBLIMIT に指定された値以下でなければなりません。
アクティブ・プール・スレッド数	THREADS	このフィールドは、現在のプール・スレッド数を示します。
スレッド待機オプション	THREADWAIT	このフィールドは、アクティブ・プール・スレッドの数がしきい値に達したときにトランザクションにプール・スレッドを待たせるか、あるいはトランザクションを異常終了させるかを指定します。CICS DB2 接続は、THREADWAIT=NO がコーディングされ、プール・スレッド数が超過したときに、固有の異常終了コード AD3T、メッセージ DFHDB2011 を発行します。 <ul style="list-style-type: none"> • TWAIT - 全スレッドが使用中の場合、いずれかが使用可能になるまでトランザクションは待機する必要があります。トランザクションは CICS が待機を許可している限り待機できます。通常これは、スレッドが使用可能になるまでです。 • NOTWAIT - すべてのスレッドが使用中の場合、トランザクションは AD3T という異常終了コードで終了します。
TCB のあるピーク接続数	THWM	このフィールドは、この DB2 エントリーのアクティブ・スレッドのピーク数を示します。
現在の DB2 への接続の最大数	TLIMIT	このフィールドは、CICS-DB2 接続機能で利用できる TCB サブタスクの最大数を示します。

エントリー - DB2ENTRY

「**DB2 エントリー**」(DB2ENTRY) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ CICS システムで CICS DB2 接続機能が使用するエントリー・スレッドについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー**」 > 「**エントリー**」

表 102. 提供された「DB2 エントリー」(DB2ENTRY) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.DETAIL1	選択した DB2 入力に関する詳細な入力統計情報。
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.DETAIL2	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.DETAILED	選択した DB2 エントリーに関する詳細情報
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.DISABLE	「使用不可」ビューを表示します。このビューでは、DB2 エントリーがまだ使用中の場合に DB2 エントリーをどのように扱うかを指定できます。
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.DISCARD	DB2 エントリーをインストール先の CICS システムから破棄します。DB2 エントリーが使用不可になっていないと破棄はできません。
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.ENABLE	DB2 エントリーをインストール先の CICS システムで使用可能にします。

表 102. 提供された「DB2 エントリー」(DB2ENTRY) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.SET	上書きフィールドに指定する新規値に従って属性を設定します。
DB2 エントリー EYUSTARTDB2ENTRY.TABULAR	DB2 エントリーに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 103. DB2ENTRY ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	「使用不可」ビューを表示します。このビューでは、DB2 エントリーがまだ使用中の場合に DB2 エントリーをどのように扱うかを指定できます。
DISCARD	DB2 エントリーをインストール先の CICS システムから破棄します。DB2 エントリーが使用不可になっていないと破棄はできません。
ENABLE	DB2 エントリーをインストール先の CICS システムで使用可能にします。
SET	上書きフィールドに指定する新規値に従って属性を設定します。

フィールド

表 104. DB2ENTRY ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
打ち切り回数	ABORTS	このフィールドは、ロールバックされた、この DB2 エントリーを使用する作業単位の数を示します。
会計レコード・オプション	ACCOUNTREC	<p>これは、CICS DB2 接続機構が DB2 アカウンティング・レコードを作業単位 (UOW)、トランザクション、または transid ごとにそれぞれ生成する、あるいはこの DB2 エントリーを使用するトランザクションでは生成しない、を規定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • UOW - CICS DB2 接続機能を使用すると、各 UOW の DB2 によって、アカウンティング・レコードが生成されます (スレッドが UOW の最後で解放されると仮定した場合)。 • TASK - CICS DB2 接続機能を使用すると、各 CICS タスクの DB2 によって、最低 1 つのアカウンティング・レコードが生成されます。 • TXID - CICS DB2 接続機能を使用すると、スレッドを使用している transid が変更されたときに、DB2 によってアカウンティング・レコードが生成されます。 • NONE - この DB2 エントリーからのスレッドを使用するトランザクションに対し、アカウンティング・レコードは不要です。
スレッド許可 ID	AUTHID	これは、この DB2 エントリーのスレッドのセキュリティ検査に使用するユーザー ID を定義します。スレッド許可 ID が指定された場合、許可タイプは適用されません。
許可タイプ	AUHTYPE	<p>この DB2 エントリーのスレッドのセキュリティ検査に使用されるユーザー ID のタイプを示します。許可タイプが指定された場合、スレッド許可 ID はブランクに設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • GROUP - 8 文字の ID と接続されたグループ名が許可 ID として使用されます。 • SIGN - DB2 接続の SIGNID パラメーターが許可 ID として使用されます。 • TERM - 端末識別名が許可 ID として使用されます。 • TX - トランザクション ID が許可 ID として使用されます。 • OPID - ユーザー・オペレーター ID が許可 ID として使用されます。 • USERID - CICS トランザクションに関連付けられている 8 文字のユーザー ID が許可 ID として使用されます。

表 104. DB2ENTRY ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
呼び出し数	CALLS	このフィールドは、この DB2 エントリーを使用して行われた SQL 呼び出しの数を示します。
最終変更をしたエージェン	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェン</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェン	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェン
のリリース		の CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
コミット回数	COMMITTS	このフィールドは、この DB2 エントリーを使用する作業単位に実行された 2 フェーズ・コミットの数
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェン
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用不可アクション	DISABLEDACT	<p>DB2 エントリーがこれまで使用不可、またはこれから使用不可になる場合に、それにアクセスする新規トランザクションに対して CICS が行うことを定義します。指定なしの場合、DB2 エントリーが使用不可になると、新規要求はデフォルトでプールに経路指定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • POOL - CICS DB2 接続機能によって、要求の経路がプールに指定されます。プールへの経路を指定された各トランザクションの DB2CONN 上の MSGQUEUE によって指定された一時データ宛先に、メッセージ DFHDB2072 が送信されます。 • ABEND - CICS DB2 接続機能によって、トランザクションが異常終了します。この場合の異常コードは AD26 となります。 • SQLCODE - DB2ENTRY が使用不可であることを示す SQLCODE がアプリケーションに返されます。
デッドロック・ロールバック・オプション	DROLLBACK	<p>このフィールドは、デッドロックを解決するための犠牲としてトランザクションが選択された場合に、CICS DB2 接続機構が同期点ロールバックを開始するかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ROLLBACK - 接続機能によって、制御をアプリケーションに戻す前に同期点ロールバックが発行されます。現在の UOW がロールバックされたことを示す SQL コードの -911 がアプリケーションに戻されます。 • NOROLLBACK - 接続機能によって、トランザクションのロールバックが開始されません。デッドロックまたはタイムアウトによって生じた実行不成功を示す SQL コードの -913 がアプリケーションに戻されます。

表 104. DB2ENTRY ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
使用可能状況	ENABLESTATUS	DB2 エントリーがアプリケーション・プログラムからアクセス可能かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - DB2 エントリーはアプリケーションからアクセス可能です。DB2 エントリーは使用可能な状態でインストールされています。 • DISABLED - DB2 エントリーはアプリケーションからアクセスできません。 • DISABLING - DB2 エントリーを使用不可にしています。新規トランザクションはエントリーにアクセスできません。ただし、エントリーを使用する既存のトランザクションは、FORCE オプションを使用して DB2 エントリーが使用不可にされない限り、最後まで実行できます。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
DB2 エントリー名	NAME	これは、特定のトランザクションやトランザクションのグループが DB2 にアクセスする際に使用するリソースを定義する DB2 エントリーの名前です。
計画名	PLAN	これは、このエントリーに使用する計画の名前を示します。計画名が指定されると、「動的計画出口ルーチン名」フィールドはブランクに設定されます。
動的計画出口ルーチン名	PLANEXITNAME	これは、このエントリーに使用される動的計画出口の名前を示します。「動的計画出口ルーチン名」が指定されると、「計画名」フィールドはブランクに設定されます。
TCB 優先順位	PRIORITY	このフィールドは、CICS メインタスクに対する DB2 エントリー TCB の相対的な優先度を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • HIGH - TCB は CICS (QR TCB) タスクよりも高い優先度を得ます。 • EQUAL - TCB は CICS (QR TCB) タスクと同じ優先度を持ちます。 • LOW - TCB は CICS (QR TCB) タスクよりも低い優先度を持ちます。
最大保護スレッド数	PROTECTNUM	このフィールドは、この DB2 エントリーにおける保護スレッドの現在の最大許容数を示します。
部分サインオン回数	PSIGNONS	このフィールドは、この DB2 エントリーに関して実行された DB2 の部分的なサインオンの数を示します。
現在の保護スレッド数	PTCURR	このフィールドは、この DB2 エントリーの現在の保護スレッド数を示します。
保護スレッド数	PTHREADS	このフィールドは現在の保護スレッド数を示します。
保護スレッドのピーク数	PTHWM	このフィールドは、この DB2 エントリーにおける保護スレッドのピーク数を示します。
最大保護スレッド数	PTLIM	このフィールドは、この DB2 エントリーにおける保護スレッドの現在の最大許容数を示します。
DB2ENTRY スレッドが REUSELIMIT に達した回数	REUSELMCT	このフィールドは、DB2ENTRY スレッドが REUSELIMIT に達し、強制終了する必要がある回数を示します。
スレッド待ちの現在のタスク数	RQCUR	このフィールドは、現在この DB2 エントリーでスレッドが使用可能になるのを待っている CICS タスクの数を示します。
スレッド待ちのピーク・タスク数	RQHWM	このフィールドは、この DB2 エントリーでスレッドが使用可能になるのを待った CICS タスクのピーク数を示します。

表 104. DB2ENTRY ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
サインオン回数	SIGNONS	このフィールドは、この DB2 エントリーに関して実行された DB2 サインオン数を示します。
シングル・フェーズ・コミットの UOW 数	SPHASE	このフィールドは、読み取り専用 UOW であったため、または UOW で更新されたリカバリー可能リソースが DB2 だけであったために単一フェーズ・コミットを使用した、DB2 エントリーを使用する作業単位の数を示します。
スレッドの作成回数	TCREATE	このフィールドは、この DB2 エントリーのスレッドに関して DB2 に出されたスレッド作成要求の数を示します。
現在のスレッド数	TCURR	このフィールドは、この DB2 エントリーの現在のアクティブ・スレッド数を示します。
アクティブ・スレッドの最大数	THREADLIMIT	このフィールドは、現在 CICS DB2 接続機構でアクティブにできるプール・スレッドの最大数を示します。この数を超えると、要求の待機やプールへのオーバーフロー、または拒否が起こります。
アクティブ・スレッド数	THREADS	このフィールドは、現在この DB2 エントリーで使用可能なスレッドの数を示します。
スレッド待機オプション	THREADWAIT	このフィールドは、アクティブ・プール・スレッド数がしきい値の数に達したときにトランザクションにプール・スレッドを待たせるか、あるいはトランザクションを異常終了させるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • TWAIT - すべてのスレッドが使用中の場合、いずれかが使用可能になるまでトランザクションは待機します。 • NOTWAIT - すべてのスレッドが使用中の場合、トランザクションは AD2P という異常終了コードで終了します。 • TPOOL - すべてのスレッドが使用中の場合、トランザクションはプール・スレッドを転用使用します。プールも使用中で、DB2 接続の threadwait パラメーターに NOTWAIT が指定されている場合、トランザクションは異常終了コード AD3T で終了します。
アクティブ・スレッドのピーク数	THWM	このフィールドは、この DB2 エントリーのアクティブ・スレッドのピーク数を示します。
最大スレッド数	TLIMIT	このフィールドは、DB2 エントリーにおけるスレッドの現在の最大許容数を示します。
スレッドの再使用回数	TREUSE	このフィールドは、DB2 エントリーを使用する CICS トランザクションが作成済みの DB2 スレッドを再使用できた回数を示します。
スレッドの終了回数	TTERM	このフィールドは、この DB2 エントリーのスレッドに関して DB2 に出されたスレッド終了要求の数を示します。
スレッド待機数またはオーバーフロー回数	TWORO	このフィールドは、DB2 エントリー内の使用可能なスレッドがすべてビジーで、スレッドが使用可能になるのをトランザクションが待たなければならなかったり、プールにオーバーフローして代わりにプール・スレッドを使用しなければならなかった回数を示します。
現在のタスク数	XCURR	このフィールドは、現在この DB2 エントリーを使用している CICS タスクの数を示します。
ピーク・タスク数	XHWM	このフィールドは、この DB2 エントリーを使用した CICS タスクのピーク数を示します。
合計タスク数	XTOTAL	このフィールドは、この DB2 エントリーを使用した完了済みタスクの総数を示します。

CICS 領域内のサブシステム - DB2SS

「CICS 領域内の DB2 サブシステム」(DB2SS) ビューには、アクティブな CICS システムと DB2 サブシステムとの間の接続についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー」 > 「CICS 領域内のサブシステム」

表 105. 提供された「CICS 領域内の DB2 サブシステム」(DB2SS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS 領域内の DB2 サブシステム EYUSTARTDB2SS.DETAILED	選択した DBCTL サブシステムに関する詳細情報
CICS 領域内の DB2 サブシステム EYUSTARTDB2SS.TABULAR	DBCTL サブシステムに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 106. DB2SS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在のアクティブ・タスク数	CURTHREAD	CICS システムと DB2 サブシステムの間で現在アクティブになっているスレッドの数。
第 1 エラー宛先	ERRDEST1	非送信請求メッセージを受信する最初の CICS 一時データ宛先。
第 2 エラー宛先	ERRDEST2	非送信請求メッセージを受信する 2 番目の CICS 一時データ宛先。
第 3 エラー宛先	ERRDEST3	非送信請求メッセージを受信する 3 番目の CICS 一時データ宛先。
MVS システム ID	LOCATION	DB2 サブシステムがある MVS システムのシステム ID。
最大スレッド数	MAXTHREAD	CICS システムと DB2 サブシステムの間で作成できたスレッドの最大数。コマンド・スレッド、プール・スレッド、エントリー・スレッドが含まれます。
DB2 ID	NAME	DB2 サブシステムの名前。
計画割り振り入り口トレース ID	PLANENTRTRC	このサブシステムに使用される DB2 動的計画出口の入り口トレース ID
計画割り振り出口ルーチン・トレース ID	PLANEXITTRC	このサブシステムに使用される DB2 動的計画出口の出口トレース ID
DB2 接続名	RCTNAME	8 文字の DB2 接続名。
DB2 サブシステム・リリース・レベル	RELEASE	DB2 サブシステムのリリース。
スナップ・ダンプ出力クラス	SNAPCLASS	スナップ・ダンプの SYSOUT クラス
SQL トレース ID	SQLTRCID	SQL トレースの ID
CICS DB2 統計の一時データ宛先	STATSDEST	CICS DB2 統計の収集に使用される一時データ宛先
DB2 CICS 接続状況	STATUS	DB2 サブシステムの状況。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> ACTIVE - サブシステムは処理中であるか、作業に使用可能です。 INACTIVE - サブシステムは作業に使用できません。 QUIESCING - サブシステムはシャットダウン中です。 WAITING - サブシステムは完全に初期化されていません。 CONNECTING - CICS は現在サブシステムへの接続を試みています。 DISCONNING - 現在、CICS がサブシステムから切断中です。
DB2 サブシステム・オプションの待機	WAIT	DB2 サブシステムが使用可能になるまでお待ちください。

CICS 領域内のスレッド - DB2THRD

「CICS 領域内の DB2 スレッド」(DB2THRD) ビューには、DB2 DSNCRCT テーブルに定義されているすべてのスレッドについての情報が表示されます。スレッドは初期トランザクション ID 順にリストされます。複数の DB2 トランザクションでスレッドを共用する場合、ビューには共用トランザクションの名前が表示されます。これは、DB2THRD リソースに関連付けられています。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー」 > 「CICS 領域内のスレッド」

表 107. 提供された「CICS 領域内の DB2 スレッド」(DB2THRD) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS 領域内の DB2 スレッド EYUSTARTDB2THRD.DETAILED	選択した DB2 スレッドに関する詳細情報
CICS 領域内の DB2 スレッド EYUSTARTDB2THRD.TABULAR	DB2 スレッドに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 108. DB2THRD ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
打ち切り回数	ABORTCNT	ロールバックされたリカバリー単位 (アペンドと同期点ロールバックの両方を含む) の数。このカウントが増分されるのは、コミット処理中に CICS がアボート呼び出しと共に DB2 を呼び出したときだけであり、他のタイプの DB2 アボートはカウントされません。
許可回数	AUTHCNT	この DSNCRCT 項目に対して実行された許可検査の数。
許可タイプ	AUHTYPE	DSNCRCT 項目の最初の AUTH= サブパラメーターで定義されている、このトランザクションの許可のタイプ。 <ul style="list-style-type: none">CHARSTR - 特定の文字ストリングNA - 許可を判別できませんNULL - 指定の USERID について使用可能な RACF グループがありません。RACFGID - RACF のユーザー ID およびグループ名SIGNID - CICS システムの許可 IDTERMID - 端末 IDTRANID - トランザクション IDUSER - ユーザー・オペレーター ID (3 文字)USERID - サインオン・ユーザー ID (8 文字)
現在のスレッド数	CURTHREADS	この DSNCRCT 項目で現在アクティブになっているスレッドの数
ディスパッチング・モード	DPMODE	DSNCRCT 項目の DPMODE= または DPMODI= パラメーターで指定されている、CICS に関連する接続サブタスクのディスパッチング 優先順位。 <ul style="list-style-type: none">EQ - サブタスクには CICS と等しい優先度が許可されている必要があります。HIGH - サブタスクは CICS よりも高い優先度を持つことができます。LOW - サブタスクは CICS よりも低い優先度を持つことになります。

表 108. DB2THRD ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
初期トランザクション	INITTRAN	<p>DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、スレッド内の最初のトランザクションを示します。ここに示される値は、どの TYPE= ステートメントが使用されたかに依存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CMD - TYPE=CMD • POL - TYPE=POOL • tranid - TYPE=ENTRY • DB2THRDD (DB2THRD から) • DB2TRAN (DB2THRDD から)
最大スレッド数	MAXTHREADS	この DSNCRCT 項目のアクティブ・スレッドの最大数。THRDM= パラメーターで指定します。
DB2 サブシステム	NAME	このスレッドが所属する DB2 サブシステムの名前。
グループ内トランザクション数	OTHERIDS	DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、他のトランザクションの数。
プラン	PLANNAME	<p>DSNCRCT 項目の PLAN= パラメーターで指定されている、このトランザクションに関連付けられたアプリケーション・プランの名前。</p> <p>このフィールドがブランクの場合、プラン名は指定されていません。値が '*****' の場合、PLNEXIT=YES パラメーターが指定されていたのでプラン名が適用されないという意味になります</p>
プール・スレッドへの動的計画 出口ルーチン	PLANPRGM	DSNCRCT 項目の PLANPGME= パラメーターで指定されている、このトランザクションの出口プログラムの名前。このフィールドがブランクの場合、出口プログラム名は指定されていません。
読み取り専用コミット数	READCOMMIT	このスレッドに関連付けられたトランザクションのために処理された読み取り専用コミットの数。
ロールバック・オプション	ROLLBACKOPT	<p>DSNCRCT 項目の ROLBE= または ROLBI= パラメーターで指定されている、このトランザクションのロールバック・オプション。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - アプリケーションに制御を戻す前に同期点ロールバックが発行されます。 • NO - ロールバックは発行されません。
予約済みスレッド数	RSVTHREADS	THRDS= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目に対する開始済みスレッド・サブタスクの数。
使用中のピーク同時スレッド数	THREADHWM	THRDA= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目について接続機能が接続を許可しているスレッドの最大数。
スレッド待機数	THREADWAIT	このトランザクションがスレッドを待機しなかった回数。
スレッド待機オプション	THREADWOPT	<p>TWAIT= または TWAITI= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目のスレッド待機オプション。この値は、すべてのスレッドが使用中のときにトランザクションがどのように応答するかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES または TWAIT - 全スレッドが使用中の場合、トランザクションはいずれかのスレッドが使用可能になるまで待機します。 • NO または NOTWAIT - 全スレッドが使用中の場合、トランザクションは異常終了します。 • POOL - 全スレッドが使用中の場合、スレッド・プールを使用するようにトランザクションを切り替えなければならないことを示します。そのプールも使用中で、なおかつマクロの TYPE=POOL フォームの TWAIT または TWAITI パラメーターに NO が指定されている場合、トランザクションは異常終了します。 • NA - スレッドの待機オプションを判別できません。
計画使用回数	USECOUNT	指定されたプランが使用された回数。

スレッド関連トランザクション - DB2TRAN

「DB2 スレッド関連トランザクション」(DB2TRAN) ビューには、各 DB2 スレッドに関連付けられているトランザクション ID についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー」 > 「スレッド関連トランザクション」

表 109. 提供された「DB2 スレッド関連トランザクション」(DB2TRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DB2 スレッド関連トランザクション EYUSTARTDB2TRAN.DETAILED	選択した DB2 トランザクションに関する詳細なビュー情報
DB2 スレッド関連トランザクション EYUSTARTDB2TRAN.TABULAR	DB2 スレッドに関連した DB2 トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 110. DB2TRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
初期トランザクション	INITTRAN	DSNCRCT マクロの TXID= パラメーターで指定されている、スレッド内で最初のトランザクションを識別します。
関連トランザクション ID	NAME	DSNCRCT マクロの TXID= パラメーターで指定され、初期トランザクションに関連付けられている別のトランザクションを識別します。

エントリー関連トランザクション - DB2TRN

「DB2 エントリー関連トランザクション」(DB2TRN) ビューには、各 DB2 エントリーに関連付けられているトランザクションについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー」 > 「エントリー関連トランザクション」

表 111. 提供された「DB2 エントリー関連トランザクション」(DB2TRN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DB2 エントリー関連トランザクション EYUSTARTDB2TRN.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
DB2 エントリー関連トランザクション EYUSTARTDB2TRN.DETAILED	選択した DB2 トランザクションに関する詳細なビュー情報
DB2 エントリー関連トランザクション EYUSTARTDB2TRN.DISCARD	DB2 トランザクションと DB2 エントリーの間の関連を破棄します。

表 111. 提供された「DB2 エントリー関連トランザクション」(DB2TRN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
DB2 エントリー関連トランザクション EYUSTARTDB2TRN.TABULAR	DB2 エントリーに関連した DB2 トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 112. DB2TRN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	DB2 トランザクションと DB2 エントリーの間の関連を破棄します。
SET	上書きフィールドで指定する新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 113. DB2TRN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSEBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
DB2TRN の DB2 エントリー名	DB2ENTRY	この DB2TRN が参照する DB2 エントリーの名前。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 GRPLIST - リソースは、GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 113. DB2TRN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
DB2 トランザクション名	NAME	これは、CICS システム内でのトランザクションの名前です。
計画名	PLAN	DB2 計画名を示します。
計画出口ルーチン名	PLANEXITNAME	DB2 計画出口ルーチン名を示します。
DB2 エントリーと関連するトランザクション ID	TRANSID	これは、DB2 エントリーに関連付けるトランザクションを指定します。トランザクション名にはワイルドカードを使用できます。

DBCTL サブシステム - DBCTLSS

「**DBCTL サブシステム**」(DBCTLSS) ビューには、アクティブな CICS システムと DBCTL サブシステムの間の接続に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー**」 > 「**DBCTL サブシステム**」

表 114. 提供された「使用中の DBCTL サブシステム」(DBCTLSS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
使用中の DBCTL サブシステム EYUSTARTDBCTLSS.DETAILED	選択した DBCTL サブシステムに関する詳細情報
使用中の DBCTL サブシステム EYUSTARTDBCTLSS.TABULAR	DBCTL サブシステムに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 115. DBCTLSS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
接続に使用された CICS システム名	CICSNAME	DBCTL サブシステムに接続された CICS システムの名前。
DBCTL ID 上書き	DBCTLOVERRIDE	DBCTL は ID を指定変更します。ID を指定していない場合、DRA は、DRA 始動テーブルの DBCTLID パラメーターに指定した DBCTL ID を使用します。
MVS システム ID	LOCATION	この DBCTL サブシステムがある MVS システムのシステム ID。
最大スレッド数に達した回数	MAXTHRDCNT	CICS と DBCTL の間のアクティブ・スレッドの数がその最大値に達した回数。
最大スレッド数状態の経過時間	MAXTHRDTIME	CICS-DBCTL セッションがその最大スレッド値で実行されていた経過時間。
最大スレッド数	MAXTHREAD	データベース・リソース・アダプター (DRA) 始動パラメーター・テーブルで指定されるスレッドの最大数。
最小スレッド数に達した回数	MINTHRDCNT	CICS と DBCTL の間のアクティブなスレッドの数が最小値に達した回数。
最小スレッド数	MINTHREAD	データベース・リソース・アダプター (DRA) 始動パラメーター・テーブルで指定されるスレッドの最小数。
DBCTL サブシステム名	NAME	DBCTL サブシステムの名前。

表 115. DBCTLSS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
使用中のピーク・スレッド数	PEAKTHREADS	特定の時点における DBCTL と CICS の間のスレッドの最高数。
完全修飾始動テーブル名	PRPNAME	データベース・リソース・アダプター (DRA) 始動テーブルの完全修飾名。
PSB が正常にスケジュールされた回数	PSBSCHED	CICS-DBCTL セッションが正常にプログラム仕様ブロック (PSB) をスケジュールに入れた回数。
リカバリー可能サービス・エレメント (RSE) 名	RSENAME	DBCTL リカバリー可能サービス・エレメント (RSE) の名前。
DBCTL CICS 接続状況	STATUS	DBCTL への接続状況。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> ACTIVE - CICS は DBCTL に接続されています。 INACTIVE - CICS は DBCTL に接続されていません。 WAITING - CICS と DBCTL の間の接続はまだ完了していません。
切断時刻	TIMEOFF	DBCTL サブシステムから最後に接続が切断された GMT 時刻。
接続時刻	TIMEON	DBCTL サブシステムに対して最初に接続が行われた GMT 時刻。

WebSphere MQ 接続統計 - MQCONN

「**WebSphere MQ 接続統計**」(MQCONN) ビューには、CICS 領域の WebSphere MQ 接続に関する状況情報と統計が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**DB2、DBCTL および WebSphere MQ 操作ビュー**」 > 「**WebSphere MQ 接続統計**」

表 116. 提供された「 WebSphere MQ 接続統計 」(MQCONN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
WebSphere MQ 接続統計 EYUSTARTMQCONN.DETAIL1	個々のコマンド別の WebSphere MQ API 呼び出しの統計。
WebSphere MQ 接続統計 EYUSTARTMQCONN.DETAIL2	未確定、未解決、コミット済み、およびバックアウト済みの作業単位の統計。
WebSphere MQ 接続統計 EYUSTARTMQCONN.DETAIL3	接続を使用したすべての WebSphere MQ API 呼び出しの統計。
WebSphere MQ 接続統計 EYUSTARTMQCONN.DETAILED	選択した CICS 領域の WebSphere MQ 接続統計に関する概要情報
WebSphere MQ 接続統計 EYUSTARTMQCONN.TABULAR	CICS 領域の WebSphere MQ 接続統計に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 117. MQCONN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
MQ 接続名	MQCONNECT	CICS-MQ 接続定義の名前。

表 117. MQCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
MQ 接続状況	MQGCONNSTAT	この CICS システムと WebSphere MQ の間の接続の状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> CONNECTED - CICS は WebSphere MQ に接続されています。 NOTCONNECTED - CICS は WebSphere MQ に接続されていません。
未確定の作業単位数	MQGINDBTUOW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定だった UOW の合計数。
開始キュー名	MQGINITQ	デフォルト WebSphere MQ 開始キューの名前。
MQ リリース	MQGMQRELEASE	WebSphere MQ キュー・マネージャーのリリース。
MQ キュー・マネージャー名	MQGQMGRNAME	WebSphere MQ キュー・マネージャー名。
解決されたバックアウト作業単位数	MQGRESBACUW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で、バックアウトによって解決された UOW 数。
解決されたコミット済み作業単位数	MQGRESCOMUW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で、コミットによって解決された UOW 数。
2 フェーズのコミット 操作数	MQGT2PCOMM	接続上にある UOW の 2 つのフェーズ・コミットの合計数。
MQ 接続後の MQ API 呼び出し数	MQGTAPI	CICS の WebSphere MQ への接続後に行われた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
正常に完了した MQ API 呼び出し数	MQGTAPIOK	正常に完了した WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
バックアウト作業単位数	MQGTBACKUOW	バックアウトによって解決された、接続上にある UOW の合計数。
MQBUFMH 要求数	MQGTBUFMH	MQBUFMH コマンドが発行された合計回数。
内部 MQ 呼び出し数	MQGTCALL	接続での WebSphere MQ への内部呼び出しの合計数。
入出力を必要とした MQ 呼び出し数	MQGTCALLIO	完了するために入出力を必要とした WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
同期して完了した MQ 呼び出し数	MQGTCALLSYNC	同期して完了した WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
MQCB 要求数	MQGTCB	MQCB コマンドが発行された合計回数。
MQCLOSE 要求数	MQGTCLOSE	MQCLOSE コマンドが発行された合計回数。
コミット済み作業単位数	MQGTCOMMUOW	コミットによって解決された、接続上にある UOW の合計数。
コンシュームされたメッセージの数	MQGTCONSUME	コールバック・ルーチンに渡されたメッセージの合計数。
MQCRTMH 要求数	MQGTCRTMH	MQCRTMH コマンドが発行された合計回数。
MQCTL 要求数	MQGTCTL	MQCTL コマンドが発行された合計回数。
MQDLTMH 要求数	MQGTDLTMH	MQDLTMH コマンドが発行された合計回数。
MQDLTMP 要求数	MQGDTLTMH	MQDLTMP コマンドが発行された合計回数。
MQ が接続されていなかったときの MQ API 呼び出し数	MQGTFUTATT	接続状況が 'NOTCONNECTED' の場合 (つまり試行が失敗した場合) に行われた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。CICS が WebSphere MQ に接続すると、この数値はゼロにリセットされます。
MQGET 要求数	MQGTGET	MQGET コマンドが発行された合計回数。
待ち要求のある MQGET 数	MQGTGETWAIT	MQGET コマンドが MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された合計回数。
MQINQ 要求数	MQGTINQ	MQINQ コマンドが発行された合計回数。
MQINQMP 要求数	MQGTINQMP	MQINQMP コマンドが発行された合計回数。
MQMHBUF 要求数	MQGTMHBUF	MQMHBUF コマンドが発行された合計回数。
MQOPEN 要求数	MQGTOPEN	MQOPEN コマンドが発行された合計回数。
MQPUT 要求数	MQGTPUT	MQPUT コマンドが発行された合計回数。
MQPUT1 要求数	MQGTPUT1	MQPUT1 コマンドが発行された合計回数。

表 117. MQCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
MQSET 要求数	MQGTSET	MQSET コマンドが発行された合計回数。
MQSETMP 要求数	MQGTSETMP	MQSETMP コマンドが発行された合計回数。
単一フェーズのコミット 操作数	MQGTSPCOMM	接続上にある UOW の単一フェーズ・コミットの合計数。
MQSTAT 要求数	MQGTSTAT	MQSTAT コマンドが発行された合計回数。
MQSUB 要求数	MQGTSUB	MQSUB コマンドが発行された合計回数。
MQSUBRQ 要求数	MQGTSUBRQ	MQSUBRQ コマンドが発行された合計回数。
TCB スイッチを持っていた MQ 呼び出し数	MQGTSTASK	TCB スイッチが関係していた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
タスク数	MQGTTASKEND	接続上にあるタスクの合計数。
現在のタスク数	MQGTTASKS	WebSphere MQ 呼び出しを発行した現在のタスク数。
待機した待ち要求のあった MQGET 数。	MQGTWAITMSG	MQGET コマンドが MQGMO_WAIT オプションを指定して発行され、その要求が待機した合計回数。
未解決の作業単位数	MQGUNRESUOW	CICS システムがコールド・スタートされたため、WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で解決できなかった UOW 数。

WebSphere MQ 接続 - MQCON

「**WebSphere MQ 接続**」(MQCON) ビューには、CICS 領域の WebSphere MQ 接続に関する状況情報と統計が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**DB2、DBCTL、WebSphere MQ 操作ビュー (DB2, DBCTL and WebSphere MQ operations views)**」 > 「**WebSphere MQ 接続**」

表 118. 提供された「 WebSphere MQ 接続 」(MQCON) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.CONNECT	この CICS システムを WebSphere MQ に接続します。要求された Websphere MQ キュー・マネージャーがアクティブでない場合は、状態が接続中に設定され、WebSphere MQ がアクティブになると接続が完了します。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DETAIL1	個々のコマンド別の WebSphere MQ API 呼び出しの統計。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DETAIL2	未確定、未解決、コミット済み、およびバックアウト済みの作業単位の統計。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DETAIL3	接続を使用したすべての WebSphere MQ API 呼び出しの統計。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DETAIL4	選択した MQ 接続に関するリソース・シグニチャー情報
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DETAILED	選択した CICS 領域の WebSphere MQ 接続に関する概要情報。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DISCARD	この MQCONN を除去します。MQCONN は、破棄する前に NOTCONNECTED に設定しなければなりません。

表 118. 提供された「WebSphere MQ 接続」(MQCON) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.DISCONNECT	この CICS システムを WebSphere MQ から切断します。BUSY パラメーターを使用して、切断が完了するまで待機するか (WAIT)、静止の開始後に制御を戻すか (NOWAIT)、現在 WMQ を使用しているトランザクションを強制的にページするか (FORCE) を決定します。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
WebSphere MQ 接続 EYUSTARTMQCON.TABULAR	CICS 領域の WebSphere MQ 接続に関するテーブル形式の情報。

アクション

表 119. MQCON ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CONNECT	この CICS システムを WebSphere MQ に接続します。要求された Websphere MQ キュー・マネージャーがアクティブでない場合は、状態が接続中に設定され、WebSphere MQ がアクティブになると接続が完了します。
DISCARD	この MQCONN を除去します。MQCONN は、破棄する前に NOTCONNECTED に設定しなければなりません。
DISCONNECT	この CICS システムを WebSphere MQ から切断します。BUSY パラメーターを使用して、切断が完了するまで待機するか (WAIT)、静止の開始後に制御を戻すか (NOWAIT)、現在 WMQ を使用しているトランザクションを強制的にページするか (FORCE) を決定します。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 120. MQCON ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSEBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。

表 120. MQCON ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNECTST	CONNECTST は CICS MQ 接続の状況を戻します。CVDA 値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> CONNECTED - CICS は WebSphere MQ に接続されています。 NOTCONNECTED - CICS は WebSphere MQ に接続されていません。 CONNECTING - CICS は現在 WebSphere MQ への接続を試みています。 DISCONNING - CICS は現在 WebSphere MQ から切断中です。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
GMT 接続時間	MQGGMTCONN	CICS が WebSphere MQ に接続した GMT 日時。
GMT 切断時刻	MQGGMTDISC	CICS が WebSphere MQ から切断した GMT 日時。
未確定の作業単位数	MQGINDBTUOW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定だった UOW の合計数。
開始キュー名	MQGINITQ	デフォルト WebSphere MQ 開始キューの名前。
ローカル接続時間	MQGLOCCONN	CICS が WebSphere MQ に接続した現地日時。
ローカル切断時刻	MQGLOCDISC	CICS が WebSphere MQ から切断した現地日時。
解決されたバックアウト作業単位数	MQGRESBACUW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で、バックアウトによって解決された UOW 数。
解決されたコミット済み作業単位数	MQGRESCOMUW	WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で、コミットによって解決された UOW 数。
2 フェーズのコミット 操作数	MQGT2PCOMM	接続上にある UOW の 2 つのフェーズ・コミットの合計数。
WebSphere MQ 接続後の WebSphere MQ API 呼び出し数	MQGTAPI	CICS の WebSphere MQ への接続後に行われた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
正常に完了した WebSphere MQ API 呼び出し数	MQGTAPIOK	正常に完了した WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
バックアウト作業単位数	MQGTBACKUOW	バックアウトによって解決された、接続上にある UOW の合計数。
MQBUFMH 要求数	MQGTBUFMH	MQBUFMH コマンドが発行された合計回数。
内部 WebSphere MQ 呼び出し数	MQGTCALL	接続での WebSphere MQ への内部呼び出しの合計数。
入出力を必要とした WebSphere MQ 呼び出し数	MQGTCALLIO	完了するために入出力を必要とした WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
同期して完了した WebSphere MQ 呼び出し数	MQGTCALLSYNC	同期して完了した WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
MQCB 要求数	MQGTCB	MQCB コマンドが発行された合計回数。
MQCLOSE 要求数	MQGTCLOSE	MQCLOSE コマンドが発行された合計回数。
コミット済み作業単位数	MQGTCOMMUOW	コミットによって解決された、接続上にある UOW の合計数。

表 120. MQCON ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
コンシュームされたメッセージの数	MQGTCONSUME	コールバック・ルーチンに渡されたメッセージの合計数。
MQCRTMH 要求数	MQGTCRTMH	MQCRTMH コマンドが発行された合計回数。
MQCTL 要求数	MQGTCTL	MQCTL コマンドが発行された合計回数。
MQDLTMH 要求数	MQGDTLTMH	MQDLTMH コマンドが発行された合計回数。
MQDLTMP 要求数	MQGDTLTMP	MQDLTMP コマンドが発行された合計回数。
WebSphere MQ が接続されていなかったときの WebSphere MQ API 呼び出し数	MQGTFUTATT	接続状況が 'NOTCONNECTED' の場合 (つまり試行が失敗した場合) に行われた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。CICS が WebSphere MQ に接続すると、この数値はゼロにリセットされます。
MQGET 要求数	MQGTGET	MQGET コマンドが発行された合計回数。
待ち要求のある MQGET 数	MQGTGETWAIT	MQGET コマンドが MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された合計回数。
MQINQ 要求数	MQGTINQ	MQINQ コマンドが発行された合計回数。
MQINQMP 要求数	MQGTINQMP	MQINQMP コマンドが発行された合計回数。
MQMHBUF 要求数	MQGTMHBUF	MQMHBUF コマンドが発行された合計回数。
MQOPEN 要求数	MQGTOPEN	MQOPEN コマンドが発行された合計回数。
MQPUT 要求数	MQGTPUT	MQPUT コマンドが発行された合計回数。
MQPUT1 要求数	MQGTPUT1	MQPUT1 コマンドが発行された合計回数。
MQSET 要求数	MQGTSET	MQSET コマンドが発行された合計回数。
MQSETMP 要求数	MQGTSETMP	MQSETMP コマンドが発行された合計回数。
単一フェーズのコミット操作数	MQGTSPCOMM	接続上にある UOW の単一フェーズ・コミットの合計数。
MQSTAT 要求数	MQGTSTAT	MQSTAT コマンドが発行された合計回数。
MQSUB 要求数	MQGTSUB	MQSUB コマンドが発行された合計回数。
MQSUBRQ 要求数	MQGTSUBRQ	MQSUBRQ コマンドが発行された合計回数。
TCB スイッチを持っていた WebSphere MQ 呼び出し数	MQGTSUBTASK	TCB スイッチが関係していた WebSphere MQ API 呼び出しの合計数。
完了タスク数	MQGTTASKEND	接続上にあるタスクの合計数。
待機した待ち要求のあった MQGET 数。	MQGTWAITMSG	MQGET コマンドが MQGMO_WAIT オプションを指定して発行され、その要求が待機した合計回数。
未解決の作業単位数	MQGUNRESUOW	CICS システムがコールド・スタートの対象になっていたため、WebSphere MQ アダプターの開始時に未確定で解決できなかった UOW 数。
WebSphere MQ キュー・マネージャーまたは QSG 名	MQNAME	WebSphere MQ キュー・マネージャー名またはキュー共有グループ名。
接続されているキュー・マネージャーの名前	MQQMGR	接続した WebSphere MQ キュー・マネージャー名。
WebSphere MQ リリース	MQRELEASE	WebSphere MQ キュー・マネージャーのリリース。
WebSphere MQ 接続名	NAME	WebSphere MQ 接続名

表 120. MQCON ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
再同期メンバー	RESYNCMEMBER	<p>これはグループ接続を使用する場合にのみ適用され、CICS が最後に接続された WebSphere MQ キュー共有グループ (QSG) メンバーに対して未解決の作業単位が保持されている場合に、CICS が採用するストラテジーを指定します。</p> <p>未確定で中断された作業単位は、この時点では CICS がそれらの作業単位を解決できないので、このプロセスに含まれません。それらの UOW の再同期は、CICS がそのリモート・コーディネーターと再同期したときに生じます。CVDA 値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RESYNC - CICS は同じ WebSphere MQ QSG メンバーに接続します。 • NORESYNC - CICS は同じ WebSphere MQ QSG メンバーとの接続を 1 回試行し、その試行が失敗した場合は WebSphere MQ QSG のいずれかのメンバーと接続して、未解決の作業単位に関する警告を発行します。 • GROUPTRESYNC - CICS はキュー共有グループの任意のメンバーに接続します。WebSphere MQ によりキュー・マネージャーが選択され、そのキュー・マネージャーが CICS に、キュー共有グループ内のすべての適格なキュー・マネージャーの代理で未確定の作業単位を解決するよう指示します。この機能のことをグループ・リカバリー単位 (グループ UR) といいます。このオプションを使用できるのは、CICS のグループ UR がサポートされている WebSphere MQ リリースを実行していて、各キュー・マネージャーでグループ UR が有効になっている場合に限られます。 • NOTAPPLIC - 接続にグループ接続は使用されていません。
現在のタスク数	TASKS	WebSphere MQ 呼び出しを発行した現在のタスク数。CICS MQ モニター・タスクも含まれます。
現在の CICS MQ モニター・タスクの数	TRIGMONTASKS	現在 CICS-MQ インターフェースを使用している CICS MQ モニター・タスクの数。

WebSphere MQ 開始キュー - MQINI

「WebSphere MQ 開始キュー」(MQINI) ビューには、CICS 領域の WebSphere MQ 接続に関する状況情報と統計が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「DB2、DBCTL、および WebSphere MQ 操作ビュー (DB2, DBCTL and WebSphere MQ operations views)」 > 「WebSphere MQ 開始キュー (WebSphere MQ initiation queue)」

表 121. 提供された「WebSphere MQ 開始キュー」(MQINI) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
WebSphere MQ 開始キュー EYUSTARTMQINI.DETAILED	WebSphere MQ 開始キューに関する概要情報。
WebSphere MQ 開始キュー EYUSTARTMQINI.TABULAR	CICS 領域の WebSphere MQ 開始キューに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 122. MQINI ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 DYNAMIC - リソースは、INITQNAME を指定して MQCONN をインストールした結果として最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
MQ 開始キュー名	INITQNAME	WebSphere MQ 開始キューの名前。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> AUTOINSTALL - リソースは自動インストールされました。 DYNAMIC - リソースは、INITQNAME を指定して MQCONN をインストールした結果としてインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
MQ 開始キュー・リソース名	NAME	WebSphere MQ 開始キュー・リソースの名前。

WebSphere MQ モニター - MQMON

「**WebSphere MQ モニター**」(MQMON) ビューには、CICS 領域で定義された WebSphere MQ モニターに関する状況情報と統計が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**DB2、DBCTL、WebSphere MQ 操作ビュー (DB2, DBCTL and WebSphere MQ operations views)**」 > 「**WebSphere MQ モニター**」

表 123. 提供された「 WebSphere MQ モニター 」(MQMON) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.DETAIL1	個々のコマンド別の WebSphere MQ API 呼び出しの統計。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.DETAILED	選択された CICS 領域の WebSphere MQ モニターに関する概要情報。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.DISABLE	MQMONITOR を無効にします。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.DISCARD	この MQMONITOR を除去します。MQMONITOR は、破棄する前に STOPPED および DISABLED に設定しなければなりません。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.ENABLE	MQMONITOR を有効にします。

表 123. 提供された「WebSphere MQ モニター」(MQMON) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.START	MQMONITOR を開始します。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.STOP	MQMONITOR を停止します。
WebSphere MQ モニター EYUSTARTMQMON.TABULAR	CICS 領域の WebSphere MQ モニターに関する表形式情報。

アクション

表 124. MQMON ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	MQMONITOR を無効にします。
DISCARD	この MQMONITOR を除去します。MQMONITOR は、破棄する前に STOPPED および DISABLED に設定しなければなりません。
ENABLE	MQMONITOR を有効にします。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
START	MQMONITOR を開始します。
STOP	MQMONITOR を停止します。

フィールド

表 125. MQMON ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
自動始動状況	AUTOSTATUS	MQ キュー・マネージャーとの接続の確立時にキュー・モニター・トランザクションが自動的に開始するかどうか。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSDBATC - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATC - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 DYNAMIC - リソースは、INITQNAME を指定して MQCONN をインストールした結果として最後に変更されました。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。

表 125. MQMON ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	MQ モニターの有効/無効状況。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは、INITQNAME を指定して MQCONN をインストールした結果としてインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
モニター・データ	MONDATA	<p>MQ キューをモニターするトランザクションに渡すデータ。ユーザー作成の MQMONITOR の場合は、このデータに以下の接頭部が付きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 左方シェブロン • MQ モニター・リソース名 • ターゲット・ユーザー ID • 右方シェブロン
モニター状況	MONSTATUS	MQ モニターの現在のアクティビティの状況。
モニター・ユーザー ID	MONUSERID	MQ キューをモニターするタスクで使用するユーザー ID。
GMT 開始時刻	MQRGMTSTART	CICS MQ モニターが開始した GMT 日時。
GMT 停止時刻	MQRGMTSTOP	CICS MQ モニターが停止した GMT 日時。
ローカル開始時刻	MQRLCLSTART	CICS MQ モニターが開始したローカル日時。
ローカル停止時刻	MQRLCLSTOP	CICS MQ モニターが停止したローカル日時。
MQ キュー名	MQRQNAME	WebSphere MQ キューの名前。
バックアウト作業単位数	MQRTBACKUOW	バックアウトによって解決された、接続上にある UOW の合計数。
MQCLOSE 要求数	MQRTCLOSE	MQCLOSE コマンドが発行された合計回数。
コミット済み作業単位数	MQRTCOMMUOW	コミットによって解決された、接続上にある UOW の合計数。
MQGET 要求数	MQRTGET	MQGET コマンドが発行された合計回数。
待ち要求のある MQGET 数	MQRTGETWAIT	MQGET コマンドが MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された合計回数。
MQINQ 要求数	MQRTINQ	MQINQ コマンドが発行された合計回数。
MQINQL 要求数	MQRTINQL	MQINQL コマンドが発行された合計回数。
MQOPEN 要求数	MQRTOPEN	MQOPEN コマンドが発行された合計回数。
その他の MQ 呼び出しの数	MQRTOTHER	その他の MQ 呼び出しの総数。
MQPUT 要求数	MQRTPUT	MQPUT コマンドが発行された合計回数。
MQPUT1 要求数	MQRTPUT1	MQPUT1 コマンドが発行された合計回数。
MQSET 要求数	MQRTSET	MQSET コマンドが発行された合計回数。

表 125. MQMON ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
MQ モニター・リソース名	NAME	WebSphere MQ モニター・リソースの名前。
MQ キュー名	QNAME	モニター対象の WebSphere MQ キューの名前。
タスク番号	TASKID	MQ キューをモニターするタスクのタスク番号。
モニター・トランザクション	TRANSACTION	MQ キューをモニターするタスクで使用するトランザクション。
ターゲット・ユーザー ID	USERID	アプリケーションでユーザー ID が指定されていない場合に、MQ モニター・タスクが開始するタスクで使用するユーザー ID。

文書テンプレート操作ビュー

「文書テンプレート操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の文書テンプレートに関する情報が表示されます。

文書テンプレート - DOCTEMP

「文書テンプレート」(DOCTEMP) ビューには、現在インストールされている文書テンプレートについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「文書テンプレート操作ビュー」 > 「文書テンプレート」

表 126. 提供された「文書テンプレート」(DOCTEMP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.DETAIL1	選択した文書テンプレートに関する統計情報
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.DETAIL2	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.DETAILED	選択した文書テンプレートに関する詳細情報
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.DISCARD	文書テンプレート・テーブルをインストール先の CICS システムから破棄します。
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.NEWCOPY	キャッシュされた文書テンプレートのコピーをインストール先の CICS システムでリフレッシュします。
文書テンプレート EYUSTARTDOCTEMP.TABULAR	現在インストールされている文書テンプレートに関する表形式の情報。

アクション

表 127. DOCTEMP ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	文書テンプレート・テーブルをインストール先の CICS システムから破棄します。
NEWCOPY	キャッシュされた文書テンプレートのコピーをインストール先の CICS システムでリフレッシュします。

フィールド

表 128. DOCTEMP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
復帰改行 (CRLF) 追加オプション	APPENDCRLF	読み込み時に文書テンプレートのレコードに復帰や改行 (CRLF) を付加するためのオプション。値は APPEND または NOAPPEND です。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
キャッシュからの DOCTEMPLATE 削除の総数	CACHEDELD	キャッシュされた文書テンプレートのコピーがストレージ不足状態のために削除された回数。
DOCTEMPLATE のサイズ (バイト数)	CACHESIZE	キャッシュされた文書テンプレートのコピーに必要なストレージの量。テンプレートの初回使用前、このフィールドはゼロです。このフィールドは、キャッシュされることのない CICS プログラムのテンプレートや、キャッシングを指定されていない出口プログラムのテンプレートでは常にゼロです。
キャッシュからの DOCTEMPLATE アクセスの総数	CACHEUSED	キャッシュされた文書テンプレートのコピーをアプリケーションが使用した回数。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
DOCTEMPLATE の新規コピー状況	COPY	文書テンプレートの COPY 状況。文書テンプレートの新しいコピーが必要かどうかを判別します。
区分データ・セットの DD 名	DDNAME	文書テンプレート用の区分データ・セットの DD 名。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
文書コンテンツ・タイプ	DOCTYPE	文書の内容のデータ・タイプ。値は BINARY または EBCDIC です。
区分データ・セットのデータ・セット名	DSNAME	文書テンプレート用のデータ・セット名 (dsname)。
出口ルーチン・プログラム名	EXITPGM	文書テンプレート用の出口プログラムの名前。
ファイル名 (File name)	FILE	文書テンプレート用のファイルの名前。
zSeries ファイル・システムのテンプレート・ファイル	HFSFILE	zSeries ファイル・システム (zFS) テンプレート・ファイルの名前

表 128. DOCTEMP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
区分データ・セットのメンバー名	MEMBER	文書テンプレート用の区分データ・セットのメンバー。
文書テンプレート名	NAME	文書テンプレートの名前。
発行された NEWCOPY 要求の総数	NEWCOPYCNT	この文書テンプレートに対して SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドが発行された回数。
プログラム名	PROGRAM	文書テンプレート用のプログラム。
DOCTEMPLATE 読み取りの総数	READCOUNT	文書テンプレートがソースから読み取られた回数。
一時データ・キュー名	TDQUEUE	文書テンプレート用の一時データ・キューの ID。
拡張文書テンプレート名	TEMPLATENAME	文書テンプレートの絶対パス名。
文書テンプレート・タイプ	TEMPLATETYPE	文書テンプレートのタイプ。使用可能な文書テンプレートのタイプ： <ul style="list-style-type: none"> • EXITPGM - 出口プログラム。 • FILE - ファイル。 • HFS - HFS ファイル。 • MEMBER - 区分データ・セットのメンバー。 • PROGRAM - プログラム。 • TDQUEUE - 一時データ・キュー。 • TSQUEUE - 一時記憶域キュー。
一時記憶域キュー名	TSQUEUE	文書テンプレート用の一時記憶域キューの ID。
DOCTEMPLATE が使用された合計回数	USECOUNT	何らかの理由で文書テンプレートが参照された合計回数。

エンキュー・モデル操作ビュー

「ENQ モデル操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の ENQ モデルに関する情報が表示されます。

エンキュー・モデル - ENQMODEL

「**ENQ モデル**」(ENQMODEL) ビューには、CICSplex SM で管理されているアクティブ CICS システム内の ENQ モデルに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**エンキュー・モデル操作ビュー**」 > 「**ENQ モデル**」

表 129. 提供された「ENQ モデル」(ENQMODEL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.DETAILED	選択した ENQ モデルに関する詳細情報
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.DISABLE	選択した ENQ モデルの状況を DISABLED に設定します。
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.DISCARD	選択した ENQ モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。破棄が発行されると、ENQNAME パターンと一致するエンキューがローカル・システムからなくなるまでモデルは WAITING の状態となります。その後ローカル・システムから除去され、システムはモデルにアクセスできなくなります。つまり、同じ名前のモデル・リソース定義の以前のインストールが取り消されます。定義を追加または除去してもすでに保持されている ENQ は影響を受けず、定義が追加または除去された後に発行される ENQ コマンドだけが影響を受けます。
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.ENABLE	選択した ENQ モデルの状況を ENABLED に設定します。使用不可になっている ENQ モデルをインストールする順序は任意ですが、使用可能化は固有性の高いものから順に行う必要があります。
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.SET	選択した ENQ モデルの状況を設定します。
ENQ モデル EYUSTARTENQMODEL.TABULAR	ENQ モデルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 130. ENQMODEL ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	選択した ENQ モデルの状況を DISABLED に設定します。
DISCARD	選択した ENQ モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。破棄が発行されると、ENQNAME パターンと一致するエンキューがローカル・システムからなくなるまでモデルは WAITING の状態となります。その後ローカル・システムから除去され、システムはモデルにアクセスできなくなります。つまり、同じ名前のモデル・リソース定義の以前のインストールが取り消されます。定義を追加または除去してもすでに保持されている ENQ は影響を受けず、定義が追加または除去された後に発行される ENQ コマンドだけが影響を受けます。
ENABLE	選択した ENQ モデルの状況を ENABLED に設定します。使用不可になっている ENQ モデルをインストールする順序は任意ですが、使用可能化は固有性の高いものから順に行う必要があります。
SET	選択した ENQ モデルの状況を設定します。

フィールド

表 131. ENQMODEL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 131. ENQMODEL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
ENQ リソース名	ENQNAME	これは、1 - 255 文字のリソース名を定義します。
ENQ スcope 名	ENQSCOPE	オプションの 4 文字の scope 名を識別します。このフィールドが省略された場合やブランクが指定された場合、適合する ENQ はローカル・scope を持ちます。
ENQ 状況	ENQSTATUS	<p>ENQMODEL に対して実行するアクションを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – マッチング ENQ 要求は通常の方法で処理されます。 • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – マッチング ENQ 要求は拒否され、発行側のタスクはコード ANQE を出して異常終了します。マッチング INSTALL CREATE および DISCARD 要求は、処理されます。 • WAITING <ul style="list-style-type: none"> – マッチング ENQ 要求は拒否される途上にあり、発行側のタスクはコード ANQE を出して異常終了します。処理を待っている INSTALL CREATE または DISCARD 要求があります。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
ENQ モデル名	NAME	これは、この CICS システム内で定義されている ENQ モデルの名前です。

Enterprise Java コンポーネント操作ビュー

「Enterprise Java コンポーネント」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS およびユーザー定義のエンタープライズ Bean に関する情報が表示されます。

CorbaServers 内のエンタープライズ Bean - EJCOBEAN

「CorbaServer 内のエンタープライズ Bean」(EJCOBEAN) ビューには、現在インストールされている CorbaServer 内のエンタープライズ Bean についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「Enterprise Java コンポーネント操作ビュー」 > 「CorbaServer 内の Enterprise Bean」

表 132. 提供された「CorbaServer 内の Enterprise Bean」(EJCOBEAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CorbaServer 内の Enterprise Bean EYUSTARTEJCOBEAN.DETAILED	選択したエンタープライズ Bean に関する詳細情報
CorbaServer 内の Enterprise Bean EYUSTARTEJCOBEAN.TABULAR	CorbaServer 内のエンタープライズ Bean に関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 133. EJCOBEAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
Bean 状態の活動化回数	BEANACTIVATE	このタイプの Bean が活動化された回数。
Bean 作成回数	BEANCREATES	このタイプの Bean が作成された回数。
Bean メソッド呼び出し回数	BEANMETHCALL	このタイプの Bean に対してリモート・メソッド呼び出しが行われた回数。
Enterprise Bean 名	BEANNAME	エンタープライズ Bean の名前。
Bean 状態の不動態化回数	BEANPASSIVAT	このタイプの Bean が不動態化された回数。
Bean 除去回数	BEANREMOVES	このタイプの Bean が除去された回数。
CICS-配置 jar ファイル	DJAR	Bean が属している配置 JAR ファイルの名前。
CorbaServer 名	NAME	CorbaServer の名前。

CorbaServers - EJCOSE

「CorbaServers」(EJCOSE) ビューには、現在インストールされている CorbaServer についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「Enterprise Java コンポーネント操作ビュー (Enterprise Java component operations views)」 > 「CorbaServer」

表 134. 提供された「 CorbaServer 」(EJCOSE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAIL1	選択した CorbaServer に関する JNDI およびシェルフの詳細情報
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAIL2	選択した CorbaServer に関するホストおよび証明書の詳細情報
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAIL3	選択した CorbaServer に関する DJAR および統計の詳細情報
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAIL4	選択した CorbaServer に関する詳細暗号情報
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAIL5	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DETAILED	選択した CorbaServer に関する詳細一般情報
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.DISCARD	選択した CorbaServer を関連 MAS、関連配置 JAR ファイル、および Bean から破棄します。
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.PUBLISH	公表: <ul style="list-style-type: none"> 指定された CorbaServer にインストールされたすべての Bean 指定された Corbaserver の汎用ファクトリー相互運用オブジェクト参照 (汎用ファクトリー) <p>Bean を公表するということは、ネーム・スペースに Bean のホームへの参照をバインドすることを意味します。Bean がバインドされるネーミング・コンテキストには、CICS 領域に定義された初期コンテキストに関連して、名前が付けられます。このとき、CorbaServer の JNDIPREFIX 属性と Bean の名前が連結されます。汎用ファクトリーは、GenericFactory という名前と Corbaserver の JNDIPREFIX 属性を連結してバインドされます。</p>
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.RETRACT	選択した CorbaServer にインストールされているすべての Bean を撤回します。Bean を撤回するということは、ネーム・スペースから Bean のホームへの参照をアンバインドすることを意味します。Bean がバインドされるネーミング・コンテキストには、CICS 領域に定義された初期コンテキストに関連して、名前が付けられます。このとき、CorbaServer の JNDIPREFIX 属性と Bean の名前が連結されます。
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.SCAN	選択した CorbaServer の配置 JAR ファイル・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) に新規または更新済みの配置 JAR ファイルがないかスキャンします。CICS がピックアップ・ディレクトリーで新規の配置 JAR ファイルを見つけた場合、そのファイルをシェルフ・ディレクトリーにコピーし、その DJAR 定義を動的に作成およびインストールします。更新された配置 JAR ファイルを CICS がピックアップ・ディレクトリーで見つけた場合、インストール済み DJAR 定義と配置 JAR ファイルのシェルフ・コピー両方の LASTMODTIME、DATESTAMP、および TIMESTAMP 属性を更新します。
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.SET	選択した CorbaServer の属性を変更します。
CorbaServers EYUSTARTEJCOSE.TABULAR	インストールされている CorbaServer に関するテーブル形式の情報。

アクション

表 135. EJCOSSE ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	選択した CorbaServer を関連 MAS、関連配置 JAR ファイル、および Bean から破棄します。
PUBLISH	公表: <ul style="list-style-type: none"> 指定された CorbaServer にインストールされたすべての Bean 指定された Corbaserver の汎用ファクトリー相互運用オブジェクト参照 (汎用ファクトリー) <p>Bean を公表するということは、ネーム・スペースに Bean のホームへの参照をバインドすることを意味します。Bean がバインドされるネーミング・コンテキストには、CICS 領域に定義された初期コンテキストに関連して、名前が付けられます。このとき、CorbaServer の JNDIPREFIX 属性と Bean の名前が連結されます。汎用ファクトリーは、GenericFactory という名前と Corbaserver の JNDIPREFIX 属性を連結してバインドされます。</p>
RETRACT	選択した CorbaServer にインストールされているすべての Bean を撤回します。Bean を撤回するということは、ネーム・スペースから Bean のホームへの参照をアンバインドすることを意味します。Bean がバインドされるネーミング・コンテキストには、CICS 領域に定義された初期コンテキストに関連して、名前が付けられます。このとき、CorbaServer の JNDIPREFIX 属性と Bean の名前が連結されます。
SCAN	選択した CorbaServer の配置 JAR ファイル・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) に新規または更新済みの配置 JAR ファイルがないかスキャンします。CICS がピックアップ・ディレクトリーで新規の配置 JAR ファイルを見つけた場合、そのファイルをシェルフ・ディレクトリーにコピーし、その DJAR 定義を動的に作成およびインストールします。更新された配置 JAR ファイルを CICS がピックアップ・ディレクトリーで見つけた場合、インストール済み DJAR 定義と配置 JAR ファイルのシェルフ・コピー両方の LASTMODTIME、DATESTAMP、および TIMESTAMP 属性を更新します。
SET	選択した CorbaServer の属性を変更します。

フィールド

表 136. EJCOSSE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
宣言 ID プロトコル用の TCP/IP サービス	ASSERTED	宣言 ID 認証を使用して、インバウンド IIOP で使用されるポートの特性を定義する TCIPSERVICE の 8 文字の名前。
Java naming directory (JNDI) への Bean の自動公表	AUTOPUBLISH	配置 JAR ファイルが CorbaServer に正常にインストールされたときに、ファイルに含まれているエンタープライズ Bean を自動的に JNDI ネームスペースに公表するかどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Autopub <ul style="list-style-type: none"> エンタープライズ Bean は自動公表されます。 Noauto <ul style="list-style-type: none"> エンタープライズ Bean は自動公表されません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
Secure sockets layer (SSL) クライアント証明書	CERTIFICATE	これは、アウトバウンド IIOP 接続用の SSL ハンドシェイクでクライアント証明書として使用される鍵リング内の証明書のラベルを指定します。このオプションを指定しない場合、鍵リングのデフォルトの証明書が使用されます。

表 136. EJCOSE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	SSL ハンドシェイク時にクライアントと折衝するのに使用される、暗号スイートの 28 個の 16 進数の対のリスト。プロセスの対の間にセキュア接続が確立されると、両方でサポートされる最もセキュアな暗号スイートが使用されます。
クライアント証明プロトコル用 TCP/IP サービス	CLIENTCERT	SSL クライアント証明書認証付きのインバウンド IIOP に使用するポートの特性を定義する TCPIPService リソースの 8 文字の名前。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
CICS-配置 JAR ファイル・ピックアップ・ディレクトリー	DJARDIR	zFS 上の配置 JAR ファイル・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとしても知られる) の名前を含む 255 文字の領域。(ピックアップ・ディレクトリーは、CICS スキャン機構によって CorbaServer にインストールされる配置 JAR ファイルの格納場所です。)
CorbaServer 状況	ENABLESTATUS	<p>CorbaServer の現在の状態を指定します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled <ul style="list-style-type: none"> – CorbaServer は現在要求を処理しておらず、新規要求を受け入れることができません。初期化を正しく行えなかったか、あるいは明示的に使用不可になっている可能性があります。 • Disabling <ul style="list-style-type: none"> – CorbaServer は、使用不可状態になる前の静止の処理中です。新規要求は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。 • Discarding <ul style="list-style-type: none"> – この CorbaServer に関する DISCARD 要求を受け取りました。CorbaServer は破棄される前の静止の過程にあります。新規要求は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。 • 有効 <ul style="list-style-type: none"> – CorbaServer は使用可能であり、要求を受け入れています。 • Enabling <ul style="list-style-type: none"> – CorbaServer は初期化中です。まだ要求を受け入れる準備はできていません。 <p>入力値: ENABLED、DISABLED</p>
活動化失敗回数	FAILACTIVATE	失敗したステートフル・セッション Bean 活動化の総数。

表 136. EJCOSSE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ホスト名または IP アドレス	HOST	この論理 EJB または CORBA サーバーのホスト名または IP アドレス。HOSTTYPE オプションはこの値のフォーマットを、名前、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスとして提供します。HOST はリソース定義で指定される静的な値です。
ホスト名またはホスト・アドレスの形式	HOSTTYPE	HOST オプションにある名前またはアドレスのフォーマット。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • HOSTNAME - HOST に文字のホスト名が入っています。DNS を使用して、ホスト名に対応する IP アドレスが検索されます。 • IPV4 - HOST には、小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv4 アドレスが含まれます。 • IPV6 - HOST には、コロンで区切られた 16 進アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスが含まれます。 • NOTAPPLIC - HOST 名またはアドレスが正しくありません (HOST=0.0.0.0 または HOST=*)。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
解決された IP アドレスの形式	IPFAMILY	IPRESOLVED オプションの IP アドレスのフォーマット。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - IPRESOLVED に、ドット 10 進アドレス形式で指定された IPv4 アドレスが入っています。 • IPV6 - IPRESOLVED に、コロン 16 進アドレス形式で指定された IPv6 アドレスが入っています。 • UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
この CORBA サーバーの解決済みアドレス	IPRESOLVED	HOST オプションで指名された CORBA サーバーの解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、それが選択不可または不明の場合は、0.0.0.0。この IP アドレスの形式は IPFAMILY オプションで指定されます。
Java naming directory (JNDI) 接頭部	JNDIPREFIX	エンタープライズ Bean の Java Naming and Directory Interface (JNDI) への公表の実行時に使用される接頭部。CICS は接頭部と接尾部の間に区切り文字を挿入しないので、この接頭部の末尾に区切り文字 (例えばスラッシュなど) を付ける必要があります。このオプションを指定しないと、JNDI への Bean の公表時に接頭部が先頭に付けられません。
CorbaServer 名	NAME	CorbaServer の名前。
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	SSL 暗号スイート・コードの数。
オブジェクト活動化の回数	OBJACTIVATES	成功したステートフル・セッション Bean 活動化の総数。
オブジェクトの保管回数	OBJSTORES	成功したステートフル・セッション Bean 不動態化の総数。

表 136. EJCOSE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
アウトバウンド・プライバシー	OUTPRIVACY	<p>この CorbaServer からのアウトバウンド要求で使用される SSL 暗号化のレベルを示します。レベルは CIPHERS 属性によって決まります。可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Notsupported <ul style="list-style-type: none"> – 暗号化は使用されません。SSL ハンドシェークの間、CICS は、サポートされる暗号スイートの中で、暗号化を提供しないもののみを公示します。 • 必須 <ul style="list-style-type: none"> – 暗号化が使用されます。SSL ハンドシェークの間、CICS は、サポートされる暗号スイートの中で、暗号化を提供するもののみを公示します。 • サポートの有無 <ul style="list-style-type: none"> – 暗号化は、クライアントとサーバーの両方が暗号化をサポートしている場合に使用されます。SSL ハンドシェークの間、CICS は、サポートされるすべての暗号スイートを公示します。
TCP/IP ポート番号	PORT	この属性は廃止されており、サポートされていません。
Session Bean タイムアウト (分)	SESSBEANTIME	セッション Bean が破棄できるようになる非アクティブ状態の経過時間 (分) を定義します。値 0 を定義すると、Bean のタイムアウトは発生しません。デフォルト値は 10 分です。
zSeries ファイル・システム (zFS) シェルフ・ディレクトリ	SHELF	zFS のディレクトリ (シェルフ、主に配置 JAR ファイル用) の、255 文字までの完全修飾名。
Secure sockets layer (SSL) 使用率	SSL	この属性は廃止されており、サポートされていません。
Secure sockets layer (SSL) ポート番号	SSLPORT	この属性は廃止されており、サポートされていません。
SSL AUTHENTICATE=NO プロトコル用の TCP/IP サービス	SSLUNAUTH	SSL はあるがクライアント認証はないインバウンド IIOP に使用するポートの特性を定義する TCIPSERVICE リソースの 8 文字の名前
CorbaServer 状態の使用率	STATE	<p>CICS Transaction Server for z/OS バージョン 3 リリース 1 より前のリリースに対してのみ適用されます。これより後のリリースでは ENABLESTATUS で置き換えられています。これは、この CorbaServer の現在の状況を指定するもので、以下の値を持ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INITING - CorbaServer は初期化中です。まだ要求を受け入れる準備はできていません。 • INSERVICE - CorbaServer は使用可能であり、要求を受け入れています。 • PENDINIT - まだ初期化が開始されていません。 • PENDRESOLVE - まだ CorbaServer の解決が開始されていません。 • UNRESOLVED - CorbaServer の解決に失敗しました。 • UNUSABLE - CorbaServer は使用できません。 • DISCARDING - この CorbaServer で DISCARD が進行中です。 • RESOLVING - CorbaServer の解決中です。
非認証プロトコル用 TCP/IP サービス	UNAUTH	認証なしのインバウンド IIOP に使用するポートの特性を定義する TCIPSERVICE リソースの 8 文字の名前

CICS 配置 JAR ファイル - EJDJAR

「CICS-配置 JAR ファイル」(EJDJAR) ビューには、CICSplex SM によって管理されている CICS-配置 JAR ファイルについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「Enterprise Java コンポーネント操作ビュー」 > 「CICS-配置 jar ファイル」

表 137. 提供された「CICS-配置 jar ファイル」(EJDJAR) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.DETAILED	選択した CICS 配置 JAR ファイルに関する詳細情報
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.DISCARD	選択した CICS-配置 JAR ファイルを関連 MAS から破棄します。
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.PUBLISH	選択した CICS-配置 JAR ファイルの Bean を JNDI ディレクトリーに公表します。
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.RETRACT	選択した CICS-配置 JAR ファイルの Bean を JNDI ディレクトリーから撤回します。
CICS-配置 jar ファイル EYUSTARTEJDJAR.TABULAR	インストールした CICS 配置 JAR ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 138. EJDJAR ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	選択した CICS-配置 JAR ファイルを関連 MAS から破棄します。
PUBLISH	選択した CICS-配置 JAR ファイルの Bean を JNDI ディレクトリーに公表します。
RETRACT	選択した CICS-配置 JAR ファイルの Bean を JNDI ディレクトリーから撤回します。

フィールド

表 139. EJDJAR ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none">• CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。• CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。• DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。• DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。• DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。• CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。• NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。

表 139. EJDJAR ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
CorbaServer 名	CORBASERVER	EJCOSED パネルへのハイパーリンクです。このパネルには、この配置 JAR の宛先 CorbaServer の詳細が指定されます。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
zSeries ファイル・システム (zFS) のパス	HFSFILE	zFS 上にある配置 JAR ファイルの完全修飾名の最初の 30 文字。フィールドが '...' で終わっている場合は、ファイル名の一部しか表示されていません。フィールドの内容をすべて確認するには、詳細パネルへのハイパーリンクを参照してください。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的に最終インストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
DJAR の最終変更時刻	LASTMODTIME	zFS 上の配置 JAR ファイルが最後に更新された時を 1900 年 1 月 1 日 00:00 以来のミリ秒単位で示します。これは読み取り専用の値で、DJAR リソースがインストールされたり更新されたりしたときに CICS によって更新されます。最終変更時刻は、ピックアップ・ディレクトリー内の JAR に対して行われた更新によって CICS 自体がリフレッシュされたかどうかを判別するのに使用できます。
CICS-配置 jar ファイル	NAME	配置 Java アーカイブの名前。
CICS-配置 jar ファイル状況	STATE	この配置 JAR の現在の状況を示します。値には INITING、INSERVICE、PENDINIT、PENDRESOLVE、UNRESOLVED、UNUSABLE、DISCARDING、および RESOLVING があります。

CICS 配置 JAR ファイル内のエンタープライズ Bean - EJDJBAN

「**CICS-配置 JAR ファイル内のエンタープライズ Bean**」(EJDJBAN) ビューには、CICS-配置 JAR ファイル内のエンタープライズ Bean に関する一般情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**Enterprise Java コンポーネント操作ビュー**」 > 「**CICS-配置 JAR ファイル内の Enterprise Bean**」

表 140. 提供された「 CICS-配置 jar ファイル内の Enterprise Bean 」(EJDJBAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS-配置 jar ファイル内の Enterprise Bean EYUSTARTEJDJBAN.DETAILED	選択したエンタープライズ Bean に関する詳細情報
CICS-配置 jar ファイル内の Enterprise Bean EYUSTARTEJDJBAN.TABULAR	CICS-配置 JAR ファイル内のエンタープライズ Bean に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 141. EJDJBEAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
Bean 状態の活動化回数	BEANACTIVATE	このタイプの Bean が活動化された回数。
Bean 作成回数	BEANCREATES	このタイプの Bean が作成された回数。
Bean メソッド呼び出し回数	BEANMETHCALL	このタイプの Bean に対してリモート・メソッド呼び出しが行われた回数。
Enterprise Bean 名	BEANNAME	エンタープライズ Bean の名前。
Bean 状態の不動態化回数	BEANPASSIVAT	このタイプの Bean が不動態化された回数。
Bean 除去回数	BEANREMOVES	このタイプの Bean が除去された回数。
CorbaServer 名	CORBASERVER	CorbaServer の名前。
CICS-配置 jar ファイル	NAME	Bean が属している配置 JAR ファイルの名前。

JVM プール - JVMPOOL

「**Java 仮想マシン (JVM) プール**」(JVMPOOL) ビューには、CICS アドレス・スペース内にある JVM のプールに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**Enterprise Java コンポーネント操作ビュー (Enterprise Java component operations views)**」 > 「**JVM プール (JVM pool)**」

表 142. 提供された「JVM プール」(JVMPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.DETAIL1	選択した JVM プールに関する詳細なトレース制御情報
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.DETAIL2	選択した JVM プールに関する詳細なプール統計情報
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.DETAILED	選択した JVM プールに関する詳細一般情報
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.DISABLE	選択したプールの状況を使用不可にして、新規要求に対してプールからのサービスが提供されないようにします。コマンドが発行される前に開始されたプログラムは完了するまで実行することができます。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.ENABLE	選択したプールの状況を使用可能にして、プールからの JVM を使用して Java プログラムを実行できるようにします。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.FORCEPURGE	SET TASK FORCEPURGE メカニズムによって、JVM を使用しているタスクを終了し、JVM を終了します。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM が終了します。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。

表 142. 提供された「JVM プール」 (JVMPOOL) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.PHASEOUT	JVM が現在の Java プログラムの実行を終了したら、JVM に削除対象としてマークを付けます。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM に削除対象のマークが付けられます。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.PURGE	SET TASK PURGE メカニズムによって、JVM を使用しているタスクをすべて終了し、JVM を終了します。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM が終了します。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.SET	選択した JVM プールの状況を設定します。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.START	START オプションを使用して JVMPOOL を初期化します。開始する JVM プロファイルの JVM の数を指定します。また、JVM の実行キーも指定します。
JVM プール EYUSTARTJVMPOOL.TABULAR	CICS アドレス・スペース内の JVM プールに関するテーブル形式の情報

アクション

表 143. JVMPOOL ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	選択したプールの状況を使用不可にして、新規要求に対してプールからのサービスが提供されないようにします。コマンドが発行される前に開始されたプログラムは完了するまで実行することができます。
ENABLE	選択したプールの状況を使用可能にして、プールからの JVM を使用して Java プログラムを実行できるようにします。
FORCEPURGE	SET TASK FORCEPURGE メカニズムによって、JVM を使用しているタスクを終了し、JVM を終了します。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM が終了します。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。
PHASEOUT	JVM が現在の Java プログラムの実行を終了したら、JVM に削除対象としてマークを付けます。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM に削除対象のマークが付けられます。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。
PURGE	SET TASK PURGE メカニズムによって、JVM を使用しているタスクをすべて終了し、JVM を終了します。JVM プロファイルを指定しない場合、プール内のすべての JVM が終了します。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、特定のプロファイルでは JVM の終了を制限するように JVM プロファイルを指定することができます。
SET	選択した JVM プールの状況を設定します。
START	START オプションを使用して JVMPOOL を初期化します。開始する JVM プロファイルの JVM の数を指定します。また、JVM の実行キーも指定します。

フィールド

表 144. JVMPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
JVM LVL0 トレース制御	JVMLVLOTTRACE	SJ コンポーネントのトレース・レベル 29 に対応する、JVM レベル 0 トレースのデフォルト・オプション。このレベルのトレースのデフォルト設定は、異常なイベントやエラー用に予約されている、JVM のトレース・ポイント・レベル 0 にマップします。オフに切り替えることができない CICS 例外トレースとは異なり、JVM レベル 0 トレースは、JVM トレースが必要なとき以外は通常オフになっています。

表 144. JVMPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
JVM LVL1 トレース制御	JVMLVL1TRACE	SJ コンポーネントのトレース・レベル 30 に対応する、JVM レベル 1 トレースのデフォルト・オプション。このレベルのトレースのデフォルト設定は、JVM のトレース・ポイント・レベル 1 にマップします。
JVM LVL2 トレース制御	JVMLVL2TRACE	SJ コンポーネントのトレース・レベル 31 に対応する、JVM レベル 2 トレースのデフォルト・オプション。このレベルのトレースのデフォルト設定は、JVM のトレース・ポイント・レベル 2 にマップします。
JVM USER トレース制御	JVMUSERTRACE	SJ コンポーネントのトレース・レベル 32 に対応する、JVM ユーザー・トレースのデフォルト・オプション。
除去の対象となる Java 仮想マシン (JVM) 数	PHASINGOUT	JVM プールから除去するようマークされた JVM の数。JVM は引き続き、JVM の Java プログラムを現在実行している、または実行したタスクに割り振られています。JVM は、JVMPOOL フェーズアウト、ページ、または強制ページ・アクションの結果として、または CLCACHE フェーズアウト、ページ、または強制ページ・アクションの結果として除去するようにマークされます。
JVM プロファイル・ディレクトリ	PROFILEDIR	CICS 内の JVM プロファイルを含む z/OS UNIX ディレクトリの名前。この値は、JVMPROFILEDIR システム 初期設定パラメーターから取得されます。
現在のプールされた (クラス・キャッシュ) JVM	SJGCURRCACHE	共用クラス・キャッシュを使用する、現在プールにある JVM およびプールされた JVM の数。JVM は、CLASSCACHE=YES を指定した JVM プロファイルを使って作成された場合に共用クラス・キャッシュを使用します。この数には、Java プログラムによって使用されているプールされた JVM と再使用を待機しているプールされた JVM の両方が含まれます。
現在の JVM 数	SJGCURRJVMS	現在 JVM プール内にある JVM の数。
ピークのプールされた (クラス・キャッシュ) JVM	SJGPEAKCACHE	共用クラス・キャッシュを使用した、JVM プール内の JVM のピーク数。
ピーク JVM 数	SJGPEAKJVMS	JVM プール内の JVM のピーク数。
JVM 要求 - クラス・キャッシュ	SJGREQSCACHE	共有クラス・キャッシュを使用する JVM を要求した Java プログラムの総数。
JVM 初期化済み JVM 要求数	SJGREQSINIT	JVM が初期化された JVM プログラム要求の数。
JVM ミスマッチがある JVM 要求数	SJGREQSMISMA	再使用可能 (継続) JVM を必要とするものの、同じ JVM プロファイルですでに初期化されている JVM がなかった JVM プログラム要求の数。
JVM リセット済み JVM 要求数	SJGREQSRESET	再設定可能 JVM 内のプログラムを実行する要求の数。このフィールドは、CICS TS 3.2 以降の領域には適用されません。
JVM 再利用付き JVM 要求数	SJGREQSREUSE	継続 JVM 内のプログラムを実行する要求の数。
JVM 終了済み JVM 要求数	SJGREQSTERMI	終了した JVM の数。
合計 JVM プログラム要求数	SJGREQSTOTAL	JVM 内の Java プログラムを実行する要求の総数。
Java 仮想マシン (JVM) プールの状況	STATUS	JVM プールの状況。 <ul style="list-style-type: none"> ENABLED - プールは使用可能です。プールから JVM を使用して Java プログラムを実行できます。これは正常状況です。 DISABLED - プールは使用不可です。このプールから新規の要求をサービスすることはできません。JVM プールが使用不可になる前に開始されたプログラムは、引き続き実行できます。
事前に初期化された Java 仮想マシンの数	TOTAL	初期化されて使用可能な状態にあるかまたはタスクに割り振られた JVM の数。この合計には、終了の処理中で領域から除去されていて、PHASINGOUT の数に含まれている JVM が含まれます。

JVM プロファイル - JVMPROF

「JVM プロファイル」(JVMPROF) ビューには、CICS アドレス・スペース内でプールに入っている JVM の JVM プロファイルに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**Enterprise Java コンポーネント操作ビュー (Enterprise Java component operations views)**」 > 「**JVM プロファイル (JVM profile)**」

表 145. 提供された「JVM プロファイル」(JVMPROF) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
JVM プロファイル EYUSTARTJVMPROF.DETAIL1	選択した JVM プロファイルの統計に関する詳細情報
JVM プロファイル EYUSTARTJVMPROF.DETAILED	選択した JVM プロファイルに関する詳細情報
JVM プロファイル EYUSTARTJVMPROF.TABULAR	CICS アドレス・スペース内の JVM プロファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 146. JVMPROF ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現在の JVM プロファイル CICS キー使用回数	CCURPROFUSE	CICS の実行キーを使用した JVM の現在の使用回数。
JVM CICS キーが 'SOS' アクションで破棄された回数	CJVMDESTRSOS	このプロファイルを使用する CICS キー JVM がストレージ不足状態のために破棄された回数。JVM のストレージ・モニターが CICS に対してストレージ不足の状態を通知すると、現在使用されていない JVM プール内の JVM を破棄することがあります。
CICS キー JVM のヒープ・ピーク	CJVMHEAPHWM	このプロファイルを使用する CICS キー JVM によって使用されるヒープ・ストレージのピーク。
再設定不可能な CICS キー JVM の数	CJVMSUNRESET	再設定不可能だった CICS キー JVM 数。このフィールドは、CICS TS 3.2 以降の領域には適用されません。
クラス・キャッシュ状況	CLASSCACHEST	このプロファイルを使用する JVM が、共有クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM かどうかを指定します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">CLASSCACHE - この JVM の JVM プロファイルは、共有クラス・キャッシュの使用を指定しました。NOCLASSCACHE - この JVM の JVM プロファイルは、共有クラス・キャッシュの使用を指定しませんでした。
使用される言語環境プログラム・ヒープのピーク (CICS キー)	CLEHEAPHWM	このプロファイルを使用する CICS キー JVM の言語環境プログラム・ヒープ・ストレージのピーク。
CICS キーのミスマッチ被害者数	CMISMAVICTIM	異なるプロファイルの JVM を求めるアプリケーションの要求に応える目的で、このプロファイルのフリーの CICS キー JVM を取得して破壊し、再初期化したり (ミスマッチ)、必要に応じてその TCB も破壊して再作成したりした (スチール) 回数。アプリケーションによってあまり要求されない JVM プロファイルは、TCB ミスマッチまたはスチールリングの対象になる可能性があります。これは、そのようなプロファイルを使用して作成された JVM が、再使用のために、JVM プール内でより長い時間待機しているためです。
CICS キーのミスマッチ・スティーラー回数	CMISMSTEALER	このプロファイルを使用した CICS キー JVM に対するアプリケーションの要求がミスマッチまたはスチールになった回数。アプリケーションの要求に応えるため、別のプロファイルを使用したフリー JVM は破棄されて再初期化され (ミスマッチ)、必要な場合には TCB も破棄されて再作成されました (スチール)。

表 146. JVMPROF ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
JVM が作成した新規 CICS キー	CNEWJVMSCRT	このプロファイルを使用して作成された新規 CICS キー JVM 数。
ピークの JVM プロファイル CICS キー使用回数	CPEAKPROFUSE	JVM プールに含められた、このプロファイルを使用した CICS キー JVM のピーク数。
JVM プロファイル CICS キー要求数	CPROFILEREQS	CICS の実行キーを使用した JVM の要求数。
JVM プロファイル CICS -Xmx 値	CPROFXMXVALU	CICS キー JVM のこの JVM プロファイルに設定された -Xmx パラメーター。 -Xmx パラメーターは、JVM 内のヒープの最大サイズを指定します。
zFS ファイルの絶対パス名	HFSNAME	JVM プロファイル用 zFS ファイルの絶対パス名。
プログラム定義内で使用される名前	NAME	JVM プロファイルの名前。
JVM 再使用状況	REUSEST	このプロファイルの JVM を再使用できるかどうか。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Reuse - JVM は継続して使用できます。 • Noreuse - JVM は単一の使用です。 • Reset - JVM プロファイルを持つ JVM は再設定可能です。バージョン 3.1 以前の CICS TS 領域でのみ有効です。
現在の JVM プロファイル USER キー使用回数	UCURPROFUSE	ユーザーの実行キーを使用した JVM の現在の使用回数。
JVM ユーザー・キーが 'SOS' アクションで破棄された回数	UJVMDESTRSOS	このプロファイルを使用するユーザー・キー JVM がストレージ不足状態のために破棄された回数。
user キー JVM のヒープ・ピーク	UJVMHEAPHWM	このプロファイル内のユーザー・キー JVM によって使用されるヒープ・ストレージのピーク。
再設定不可能な USER キー JVM の数	UJVMSUNRESET	再設定不可能だったユーザー・キー JVM 数。このフィールドは、CICS TS 3.2 以降の領域には適用されません。
使用される言語環境プログラム・ヒープのピーク (USER キー)	ULEHEAPHWM	このプロファイルを使用するユーザー・キー JVM の言語環境プログラム・ヒープ・ストレージのピーク。
USER キーのミスマッチ被害者数	UMISMAVICTIM	異なるプロファイルの JVM を求めるアプリケーションの要求に応える目的で、このプロファイルのフリーのユーザー・キー JVM を取得して破壊し、再初期化したり (ミスマッチ)、必要に応じてその TCB も破壊して再作成したりした (スチール) 回数。
USER キーのミスマッチ・スティーラー回数	UMISMSTEALER	このプロファイルを使用したユーザー・キー JVM に対するアプリケーションの要求がミスマッチまたはスチールになった回数。
JVM が作成した新規ユーザー・キー	UNEWJVMSCRT	このプロファイルを使用して作成された新規ユーザー・キー JVM 数。
ピークの JVM プロファイル USER キー使用回数	UPEAKPROFUSE	JVM プールに含められた、このプロファイルを使用したユーザー・キー JVM のピーク数。
JVM プロファイル USER キー要求数	UPROFILEREQS	ユーザーの実行キーを使用した JVM の要求数。
JVM プロファイル USER -Xmx 値	UPROFXMXVALU	ユーザー・キー JVM のこの JVM プロファイルに設定された -Xmx パラメーター。 -Xmx パラメーターは、JVM 内のヒープの最大サイズを指定します。

JVM サーバー - JVMSERV

「JVM サーバー」(JVMSERV) ビューには、CICS アドレス・スペース内の JVM サーバーに関する情報が表示されます。JVM では、言語環境エンクレーブおよび T8 TCB のプールが必要です。各タスクは、JVM 内で pthread として実行するために T8 TCB を使用します。CICS 内では、ランタイム環境は JVMSERVER というリソースによって表されます。JVMSERVER リソースは JVM のランタイム・オプションを定義します。これには、JVM プロファイルの場所および JVM がサポートするスレッドの最大数が含まれます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**Enterprise Java コンポーネント操作ビュー (Enterprise Java component operations views)**」 > 「**JVM サーバー (JVM server)**」

表 147. 提供された「JVM サーバー」(JVMSESV) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.DETAILED	選択した JVM サーバーに関する詳細情報。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.DETAILED1	JVM サーバー・リソース・シグニチャーの詳細情報。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.DISABLE	JVMSESV を無効にします。JVMSESV を破棄する前に無効にする必要があります。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.DISCARD	この JVMSESV を除去します。JVMSESV 定義は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.ENABLE	JVMSESV 定義はアプリケーションからアクセス可能です。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
JVM サーバー EYUSTARTJVMSESV.TABULAR	JVM サーバーに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 148. JVMSESV ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	JVMSESV を無効にします。JVMSESV を破棄する前に無効にする必要があります。
DISCARD	この JVMSESV を除去します。JVMSESV 定義は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。
ENABLE	JVMSESV 定義はアプリケーションからアクセス可能です。
JVMDIAG	JVMSESV から診断ファイルを収集します。
JVMDUMP	JVMSESV の PERFORM JVM DUMP (ALL JAVACORE HEAP SNAPTRACE)
LIBDUMP	Liberty サーバーのダンプ・スクリプトを実行し、この JVMSESV で実行中の Liberty サーバーの診断を収集します。
LIBREFAPPL	アプリケーションの変更について Liberty に通知します。
LIBREFCONFIG	構成の変更について Liberty に通知します。
OSGIREFPKG	JVMSESV の OSGi フレームワーク内のパッケージを最新表示します。フレームワーク内の OSGi バンドルの更新のインストール後にインポート・パッケージおよびエクスポート・パッケージを再書き込みできるようにします。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 149. JVMSESV ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 149. JVMSEVR ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
現在のヒープ・サイズ	CURRENTHEAP	JVM ヒープの現在のサイズ。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>JVMSEVR が有効かどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – JVMSEVR リソースを無効にします。CICS はすべての要求の処理を終了してから、JVM および言語環境エンクレーブを停止します。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – JVMSEVR リソースを有効にします。CICS は言語環境エンクレーブを作成して、JVM を始動します。 • DISABLING <ul style="list-style-type: none"> – JVMSEVR リソースを無効にしています。 • ENABLING <ul style="list-style-type: none"> – JVMSEVR リソースを有効にしています。 • DISCARDING <ul style="list-style-type: none"> – JVMSEVR リソースを破棄しています。
ガーベッジ・コレクション・ポリシー	GCPOLICY	この JVM が使用しているガーベッジ・コレクション・ポリシー (アルゴリズム)。
初期ヒープ・サイズ	INITHEAP	JVM ヒープの初期サイズ (Xms)。

表 149. JVMSESV ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドによりインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
Java インストール・ホーム・ディレクトリー	JAVAHOME	Java ランタイムがあるディレクトリーの名前。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
JVM プロファイル名	JVMPROFILE	JVM サーバー用 JVM プロファイルの 1 から 8 文字の名前を指定します。JVM プロファイルは、システム初期化パラメーター JVMPROFILEDIR によって指定された z/OS UNIX ディレクトリー内のファイルです。
LE ランタイム・オプション・プログラム	LERUNOPTS	言語環境用ランタイム・オプションを定義するプログラムの 1 から 8 文字の名前を指定します。
JVM ログ・ファイル	LOG	関連付けられたログ・ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
最大ヒープ・サイズ	MAXHEAP	JVM ヒープの最大サイズ (Xmx)
JVM サーバー名	NAME	この JVMSERVER の名前を指定します。この名前の長さは最大 8 文字です。
ヒープ占有	OCCUPANCY	ヒープ占有 (前回のガーベッジ・コレクション以降のヒープ・サイズ)
ピーク時のヒープ・サイズ	PEAKHEAP	JVMSERVER 内の JVM により使用されるピーク・ヒープ・サイズ。
JVM プロセス ID	PID	JVMSERVER で実行されている JVM のプロセス ID。
JVM プロファイル・ファイル	PROFILE	プロファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
JVM プロファイル・ディレクトリー	PROFILEDIR	CICS 内の JVM プロファイルを含む z/OS UNIX ディレクトリーの名前。この値は、JVMPROFILEDIR システム初期設定パラメーターから取得されます。
JVM 作成時間 (GMT)	SRVCRITMEGMT	JVMSERVER 内の現在の JVM が作成された時刻 (GMT)。
JVM 作成時間 (現地時間)	SRVCRITMELCL	JVMSERVER 内の現在の JVM が作成された時刻 (現地時間)
メジャー・ガーベッジ・コレクション・イベントの数	SRVGCMJRCNT	JVM でメジャー・ガーベッジ・コレクションが実行された回数。
メジャー・ガーベッジ・コレクションで使用された合計 CPU	SRVGCMJRCPU	メジャー・ガーベッジ・コレクションで費やされた CPU の合計。
メジャー・ガーベッジ・コレクションで解放されたヒープ	SRVGCMJRFRD	メジャー・ガーベッジ・コレクションによって解放されたヒープの量。
マイナー・ガーベッジ・コレクション・イベントの数	SRVGCMNRCNT	JVM でマイナー・ガーベッジ・コレクションが実行された回数。
マイナー・ガーベッジ・コレクションで使用された合計 CPU	SRVGCMNRCPU	マイナー・ガーベッジ・コレクションで費やされた CPU の合計。
マイナー・ガーベッジ・コレクションで解放されたヒープ	SRVGCMNRFRD	マイナー・ガーベッジ・コレクションによって解放されたヒープの量。

表 149. JVMSERV ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
JVM サーバー・システム・スレッドの使用回数	SRVSYSTHCNT	JVM サーバーがシステム・スレッドを使用した回数。
システム・スレッド待機数	SRVSYSTHDWT	システム・スレッドを待機したタスクの数。
システム・スレッド待機のタスクの数	SRVSYSTHNWT	システム・スレッド待ちの現在のタスク数。
待機システム・スレッドのピーク時の数	SRVSYSTHPWT	システム・スレッド待ちのピーク・タスク数。
合計システム・スレッド待機時間	SRVSYSTHWT	タスクがシステム・スレッドを待機した合計時間。
現在のスレッド数	SRVTHRCURR	現在の JVM サーバー・スレッド数
スレッドのピーク数	SRVTHRHWM	JVM サーバー・スレッドのピーク数
スレッド待機数	SRVTHRWAITS	スレッド待機数
待機スレッドの現在の数	SRVTHRCURR	現在の待機スレッド数
待機スレッドのピーク数	SRVTHRWHRM	待機スレッドのピーク数
合計スレッド待機時間	SRVTHRWTIME	合計スレッド待ち時間
JVM サーバーのタスク数	SRVUSECOUNT	この JVM サーバーで実行するために接続されているタスクの総数
JVM 標準エラー・ファイル	STDERR	関連付けられた標準エラー・ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
JVM 標準出力ファイル	STDOUT	関連付けられた標準出力ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
最大スレッド数	THREADLIMIT	JVM の呼び出し時に CICS によって許可されるスレッドの最大数を設定します。各スレッドは T8 TCB を使用して接続されます。スレッドの有効範囲は 1 から 256 までです。
JVM トレース・ファイル	TRACE	関連付けられたトレース・ファイルの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。
JVM 作業ディレクトリー	WORKDIR	関連付けられた作業ディレクトリーの名前。データ域の長さは 255 文字分です。名前の長さが 255 文字未満の場合、CICS は末尾ブランクでデータ域を埋め込みます。

JVM クラス・キャッシュ - CLCACHE

「JVM クラス・キャッシュ」(CLCACHE) ビューには、CICS アドレス・スペース内でプールに入っている JVM の共用クラス・キャッシュに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「Enterprise Java コンポーネント操作ビュー」 > 「JVM クラス・キャッシュ」

表 150. 提供された「JVM クラス・キャッシュ」(CLCACHE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.DETAILED	選択したクラス・キャッシュに関する詳細情報

表 150. 提供された「JVM クラス・キャッシュ」(CLCACHE) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.FORCEPURGE	選択した共用クラス・キャッシュを停止して削除します。共用クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM を使用するすべてのタスクは FORCEPURGE メカニズムによって終了され、プールされた JVM が終了します。JVM は共用クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.PHASEOUT	選択した共用クラス・キャッシュを停止して削除します。共用クラス・キャッシュを使用するすべてのプールされた JVM に削除対象のマークが付きます。JVM が現在の Java プログラムの実行を終了したら、JVM は実際に削除されます。JVM は共用クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.PURGE	選択した共用クラス・キャッシュを停止して削除します。共用クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM を使用するすべてのタスクは PURGE メカニズムによって終了され、プールされた JVM が終了します。JVM は共用クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.RELOAD	選択した共用クラス・キャッシュを再ロードします。新規クラス・キャッシュを作成するこの操作は、共用クラス・キャッシュの状況が STARTED になっているときに実行します (このオプションは共用クラス・キャッシュが開始されている場合にのみ有効です)。より新しいバージョンの Java クラスをロードできる場合には、新規のクラス・キャッシュはその新しいバージョンを使用します。ただし、タスクに既に割り振られているプールされた JVM とコマンド発行後にタスクに割り振られるプールされた JVM のどちらも新規の共用クラス・キャッシュの準備が整うまでは、既存の共用クラス・キャッシュおよび古いバージョンの Java クラスを使用し続けます。新規の共用クラス・キャッシュの準備が整うと、新規キャッシュを使用するプールされた JVM に、プールされた JVM の後続の要求が与えられます。アプリケーションによって要求されると、これらの新規にプールされた JVM が開始され、古い共用クラス・キャッシュを使用するプールされた JVM が置き換えられます。古い共用クラス・キャッシュを使用しているプールされた JVM には現在の Java プログラムの実行を終了する許可が与えられ、その後そのプールされた JVM は終了します。古い共用クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM がすべて終了すると、そのキャッシュは削除されます。
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.START	選択した共用クラス・キャッシュを開始します。新規クラス・キャッシュを作成するこの操作は、共用クラス・キャッシュの状況が STOPPED になっているときに実行します。
JVM クラス・キャッシュ EYUSTARTCLCACHE.TABULAR	CICS アドレス・スペース内の共用クラス・キャッシュに関するテーブル形式の情報

アクション

表 151. CLCACHE ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
FORCEPURGE	選択した共用クラス・キャッシュを停止して削除します。共用クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM を使用するすべてのタスクは FORCEPURGE メカニズムによって終了され、プールされた JVM が終了します。JVM は共用クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。
PHASEOUT	選択した共用クラス・キャッシュを停止して削除します。共用クラス・キャッシュを使用するすべてのプールされた JVM に削除対象のマークが付きます。JVM が現在の Java プログラムの実行を終了したら、JVM は実際に削除されます。JVM は共用クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。

表 151. CLCACHE ビューに使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
PURGE	選択した共有クラス・キャッシュを停止して削除します。共有クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM を使用するすべてのタスクは PURGE メカニズムによって終了され、プールされた JVM が終了します。JVM は共有クラス・キャッシュを使用できなくなり、これに依存していたすべてのプールされた JVM が終了すると、このキャッシュは削除されます。
RELOAD	選択した共有クラス・キャッシュを再ロードします。新規クラス・キャッシュを作成するこの操作は、共有クラス・キャッシュの状況が STARTED になっているときに実行します (このオプションは共有クラス・キャッシュが開始されている場合にのみ有効です)。より新しいバージョンの Java クラスをロードできる場合には、新規のクラス・キャッシュはその新しいバージョンを使用します。ただし、タスクに既に割り振られているプールされた JVM とコマンド発行後にタスクに割り振られるプールされた JVM のどちらも新規の共有クラス・キャッシュの準備が整うまでは、既存の共有クラス・キャッシュおよび古いバージョンの Java クラスを使用し続けます。新規の共有クラス・キャッシュの準備が整うと、新規キャッシュを使用するプールされた JVM に、プールされた JVM の後続の要求が与えられます。アプリケーションによって要求されると、これらの新規にプールされた JVM が開始され、古い共有クラス・キャッシュを使用するプールされた JVM が置き換えられます。古い共有クラス・キャッシュを使用しているプールされた JVM には現在の Java プログラムの実行を終了する許可が与えられ、その後そのプールされた JVM は終了します。古い共有クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM がすべて終了すると、そのキャッシュは削除されます。
SET	共有クラス・キャッシュの自動開始の状況を設定します。
START	選択した共有クラス・キャッシュを開始します。新規クラス・キャッシュを作成するこの操作は、共有クラス・キャッシュの状況が STOPPED になっているときに実行します。

フィールド

表 152. CLCACHE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
自動始動状況	AUTOSTARTST	共有クラス・キャッシュの自動始動状況。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Enabled <ul style="list-style-type: none"> 共有クラス・キャッシュが停止している場合、またはこの CICS 実行ではまだ開始されていない場合は、プロファイルで共有クラス・キャッシュを使用する必要がある JVM での Java アプリケーションの実行要求を CICS が受信すると、ただちに共有クラス・キャッシュが開始されます。 • Disabled <ul style="list-style-type: none"> 共有クラス・キャッシュが停止している場合、またはこの CICS 実行ではまだ開始されていない場合、これを開始するために明示的な PERFORM CLASSCACHE Start コマンドが必要です。共有クラス・キャッシュの状況が Stopped で、自動始動が使用不可に設定されている場合、共有クラス・キャッシュを使用する必要があるプロファイルの JVM で Java アプリケーションを実行するようにとの要求を CICS が受信すると、その要求は失敗します。
キャッシュ内のフリー・スペース量 (バイト)	CACHEFREE	共有クラス・キャッシュ内のフリー・スペース量 (バイト単位)。
クラス・キャッシュのサイズ (バイト)	CACHESIZE	共有クラス・キャッシュの状況が Starting または Started の場合、これは現行の共有クラス・キャッシュのサイズになります。共有クラス・キャッシュの状況が Reloading の場合、これはロードされている新規共有クラス・キャッシュのサイズになります。
JVM 要求 - クラス・キャッシュ	JVMREQSCACHE	共有クラス・キャッシュを使用する JVM を要求した Java プログラムの総数。
JVM の終了待ちのクラス・キャッシュ数	OLDCACHES	自分に依存しているプールされた JVM がフェーズアウトするのを待機しているため、領域内に依然としてとどまっている古い共有クラス・キャッシュの数。現在の共有クラス・キャッシュの状況が Stopped であり、プールされた JVM が引き続きそのキャッシュに依存する場合、その共有クラス・キャッシュは古い共有クラス・キャッシュ数に含まれます。

表 152. CLCACHE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ピークのプールされた (クラス・キャッシュ) JVM	PEAKCACHEJVM	共用クラス・キャッシュを使用した、JVM プール内の JVM のピーク数。
フェーズアウトされている JVM 数	PHASINGOUT	古い共用クラス・キャッシュに依存し、フェーズアウトされているプールされた JVM の数。現在の共有クラス・キャッシュの状況が Stopped の場合、それに引き続き依存しているプールされた JVM も、フェーズアウトしているプールされた JVM の数に含まれます。
始動に使用された、あるいはキャッシュの再ロードに使用されているプロファイル	PROFILE	CICS Transaction Server for z/OS バージョン 4 リリース 1 より前のリリースに対してのみ適用されます。これより後のリリースでは PROFILE は廃止されます。 共有クラス・キャッシュの状況が Stopped の場合、ここには共有クラス・キャッシュを開始するマスター JVM で使用される JVM プロファイルの名前 (8 文字) が表示されます。共有クラス・キャッシュの状況が Started 、 Starting 、または Reloading の場合、ここには共有クラス・キャッシュを開始または再ロードした有効な最新の要求で使用された JVM プロファイルの名前 (8 文字) が表示されます。この名前は共有クラス・キャッシュが開始または再ロードできない場合でも表示されます。Profile オプションを使用して別の JVM プロファイルを指定しない限り、表示された JVM プロファイルが、次回共用クラス・キャッシュを開始または再ロードするためのコマンドを発行するときに使用されます。
JVM 再使用状況	REUSEST	CICS TS 3.2 以降の領域では、共有クラス・キャッシュを初期化するマスター JVM は必ず連続的 (再使用可能) JVM です。このオプションは、マスター JVM の以下の再使用状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 再使用 <ul style="list-style-type: none"> マスター JVM とプールされた JVM は連続的です。 リセット <ul style="list-style-type: none"> マスター JVM とプールされた JVM はリセット可能です。 不明 <ul style="list-style-type: none"> クラス・キャッシュは開始されていません。この状態の場合、CICS は再使用状況を識別できませんが、共用クラス・キャッシュの開始時には状況が必ず Reuse になります。
クラス・キャッシュが開始された時間	STARTTIME	現在の共用クラス・キャッシュが開始された日時。この時刻は現地時間で表されます。

表 152. CLCACHE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
クラス・キャッシュ状況	STATUS	<p>現在の共有クラス・キャッシュの状況。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Started <ul style="list-style-type: none"> – クラス・キャッシュは作動可能で、プールされた JVM がこれを使用できます。 • Stopped <ul style="list-style-type: none"> – クラス・キャッシュがこの CICS 実行では初期化されていないか、PERFORM CLASSCACHE フェーズアウト、ページ、強制ページのいずれかのコマンドによって停止されています。自動始動が使用不可に設定されている場合、共有クラス・キャッシュを使用することが必要なプロファイルの JVM で Java アプリケーションを実行するようにとの要求 (つまりプールされた JVM を求める要求) は失敗します。 • Starting <ul style="list-style-type: none"> – 共有クラス・キャッシュは、自動始動機能または明示的な Start コマンドの発行のいずれかによって初期化されています。共有クラス・キャッシュの開始中、その使用を必要とするプールされた JVM は、開始プロセスが完了し、共有クラス・キャッシュの準備が整うまで待機します。共有クラス・キャッシュの初期化がうまくいかない場合、プールされた JVM の待ち要求は失敗します。 • Reloading <ul style="list-style-type: none"> – 再ロード・コマンドが発行され、既存の共有クラス・キャッシュと置き換えるために新規の共有クラス・キャッシュがロードされます。共有クラス・キャッシュの再ロード中、タスクに割り振り済みのプールされた JVM と、コマンド発行後にタスクに割り振られたプールされた JVM は、いずれも新規共有クラス・キャッシュの準備ができるまで既存の共有クラス・キャッシュを使用し続けます。
クラス・キャッシュに依存する JVM 数	TOTALJVMs	共有クラス・キャッシュに依存している CICS 領域内のプールされた JVM 数。これには、現行の共有クラス・キャッシュに依存しているプールされた JVM と、古い共有クラス・キャッシュに依存し、フェーズアウトされているプールされた JVM の両方が含まれます。

JVM 状況 - JVM

「**JVM 状況**」(JVM) ビューには、CICS アドレス・スペース内のプールされた JVM に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**Enterprise Java コンポーネント操作ビュー (Enterprise Java component operations views)**」 > 「**JVM 状況 (JVM status)**」

表 153. 提供された「JVM 状況」(JVM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
JVM 状況 EYUSTARTJVM.DETAILED	選択した JVM に関する詳細情報
JVM 状況 EYUSTARTJVM.TABULAR	CICS アドレス・スペース内の JVM に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 154. JVM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
プールされた JVM の初期化以降の経過秒数	AGE	プールされた JVM の初期化以降の経過秒数。
プールされた JVM がタスクに割り振られていた秒数	ALLOCAGE	プールされた JVM がタスクに割り振られている秒数。JVM がタスクに現在割り振られていない場合にはゼロです。
クラス・キャッシュ状況	CLASSCACHEST	選択済み JVM が共用クラス・キャッシュに依存するプールされた JVM であるかどうか。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • CLASSCACHE - この JVM の JVM プロファイルは、共有クラス・キャッシュの使用を指定しました。 • NOCLASSCACHE - この JVM の JVM プロファイルは、共有クラス・キャッシュの使用を指定しませんでした。
プールされた JVM の実行キー	EXECKEY	選択済みのプールされた JVM の実行キー。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • CICSSEXECKEY - JVM は CICS キーで実行されます。 • USEREXECKEY - JVM はユーザー・キーで実行されます。
Java 仮想マシン	NAME	プールされた Java 仮想マシンを一意的に識別する JVM トークン。
フェーズアウト状況	PHASINGOUTST	プールされた JVM に削除対象のマークが付けられているかどうか。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • PHASEOUT - JVM はフェーズアウトされています。 • NOPHASEOUT - JVM はフェーズアウトされていません。これは割り振り可能であるか、あるいは現在の割り振りが終了すると割り振り可能になります。
プールされた JVM の初期化に使用されるプロファイル	PROFILE	選択済みのプールされた JVM の JVM プロファイル。
JVM 再使用状況	REUSEST	選択済みのプールされた JVM を再使用できるかどうか。CICS TS 3.2 以降の領域では、値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • REUSE - JVM は連続的です。 • NOREUSE - JVM は単一の使用です。
プールされた JVM が割り振られたタスク	TASK	プールされた JVM が割り振られるタスク。

出口操作ビュー

「出口操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のグローバル・ユーザー出口およびタスク関連ユーザー出口に関する情報が表示されます。

グローバル・ユーザー出口 - EXITGLUE

「グローバル・ユーザー出口ルーチン」(EXITGLUE) ビューには、インストールされている CICS TS グローバル・ユーザー出口ルーチンについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**出口操作ビュー**」 > 「**グローバル・ユーザー出口ルーチン**」

表 155. 提供された「グローバル・ユーザー出口ルーチン」(EXITGLUE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル・ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXITGLUE.DETAILED	特定のグローバル・ユーザー出口に関する詳細情報

表 155. 提供された「グローバル・ユーザー出口ルーチン」(EXITGLUE) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
グローバル・ユーザー出口ルーチン EYUSTARTEXTGLUE.TABULAR	現在インストールされているグローバル・ユーザー出口に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 156. EXITGLUE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
グローバル・ユーザー出口ルーチンの入り口アドレス	ENTRY	グローバル・ユーザー出口プログラムの入り口アドレスを指定します。
入り口名	ENTRYNAME	グローバル・ユーザー出口プログラムの名前を指定します。この値はロード・モジュールの名前と同じになる場合もありますが、ロード・モジュールに複数の出口プログラムがある場合は別の値が戻されます。
出口ルーチン名	EXITPOINT	CICS 出口の名前を指定します。
グローバル作業域を所有する出口ルーチン名	GAENTRYNAME	入り口名フィールドで指定された出口ルーチンによって使用されているグローバル作業域を所有する、現在使用可能なグローバルまたはタスク関連のユーザー出口プログラムの名前を指定します。グローバル作業域が別の出口プログラムによって使用され、所有されている場合以外は、このフィールドに値は含まれません。
グローバル作業域の長さ	GALENGTH	この出口プログラムのグローバル作業域の長さを指定します。
グローバル作業域ユーザー数	GAUSECOUNT	この出口プログラムが所有するグローバル作業域を使用している出口プログラムの数。
出口ルーチンが使用可能なグローバル出口点の数	NUMEXITS	出口ルーチンが使用可能なグローバル出口点の数を指定します。
プログラム名	PROGRAM	出口プログラムのロード・モジュールの名前を指定します。
出口プログラム可用性状況	STARTSTATUS	出口プログラムを実行できるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> STARTED - 出口プログラムを実行できます。 STOPPED - 出口プログラムを実行できません。

FEPI 操作ビュー

「フロントエンド・プログラミング・インターフェース」(FEPI) ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の FEPI 接続、ノード、プール、プロパティー・セット、およびターゲットに関する情報が表示されます。

接続 - FEPICONN

「FEPI 接続」(FEPICONN) ビューには、インストールされている FEPI 接続に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「FEPI 操作ビュー」 > 「接続」

表 157. 提供された「FEPI 接続」(FEPICONN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.ACQUIRE	接続を獲得します。
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.DETAILED	選択した FEPI 接続に関する詳細情報
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.INSERVICE	接続をサービス開始します。
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.OUTSERVICE	接続をサービス休止します。
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.RELEASE	接続を解放します。
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って FEPI 接続属性を設定します。
FEPI 接続 EYUSTARTFEPICONN.TABULAR	現在インストールされている FEPI 接続に関するテーブル形式の情報

アクション

表 158. FEPICONN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	接続を獲得します。
INSERVICE	接続をサービス開始します。
OUTSERVICE	接続をサービス休止します。
RELEASE	接続を解放します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って FEPI 接続属性を設定します。

フィールド

表 159. FEPICONN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
獲得状況	ACQSTATUS	獲得状況、つまりその接続でのセッションがバインドされているかどうかを示します。値は ACQUIRED、ACQUIRING、RELEASED または RELEASING です。
獲得数	ACQUIRES	接続が獲得された合計回数
受信文字数	CHARSRECVD	この接続で受信したデータの総文字数
送信文字数	CHARSENT	この接続で送信されたデータの総文字数
会話数	CONVERSATNS	この接続を使用した会話の総数
エラー状態数	ERRORS	この接続に関して発生した VTAMB. エラー状態の総数
接続インストール状況	INSTLSTATUS	リソースがインストールされているかどうか、またはそのリソースを使用している会話の終了を待機しているときは、リソース破棄の処理中であるかどうかを指定します。入力値: INSTALLED、NOTINSTALLED
最終 REQSESS 要求からのセンス・コード	LASTACQCODE	接続の最後の獲得要求の結果、つまり最後の VTAM REQSESS からのセンス・コードを示します。ゼロは成功を意味します。
ノード名	NODENAME	接続を識別するノードの名前
プール名	POOLNAME	FEPI プール名

表 159. FEPICONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
受信タイムアウト数	RECVTIMEOUT	この接続で FEPI RECEIVE がタイムアウトした合計回数
接続サービス状況	SERVSTATUS	接続のサービス状況、つまり接続が会話に使用できるかどうかを示します。サービス状況は、使用が可能な INSERVICE か、新規の会話での使用が停止される OUTSERVICE のいずれかです。なお、サービス状況を OUTSERVICE に設定しても、リソースを使用している既存の会話が終了されるわけではありません。既存の会話が終了するまでサービス状況は GOINGOUT になります。
会話状況	STATE	<p>接続を使用している会話の状態を識別する 12 文字の値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> APPLICATION - 通常のアプリケーション・タスクが会話を所有しています BEGINSESSION - セッション開始処理タスクが会話を所有しています FREE - FEPI FREE コマンドの後、セッション終了処理タスクが会話を所有しています NOCONV - 接続上にアクティブな会話はありません PENDBEGIN - セッション開始処理タスクがスケジュールされました PENDDATA - FEPI は、FEPI START コマンドの後、インバウンド・データを待機しています PENDFREE - FEPI FREE コマンドの後、セッション終了処理タスクがスケジュールされました PENDPASS - FEPI FREE PASS コマンドの後、会話が所有されていません PENDRELEASE - アンバインド要求の後、セッション終了処理タスクがスケジュールされました PENDSTART - インバウンド・データが到着し、FEPI START で指定されたタスクがスケジュールされました PENDSTSN - STSN 処理タスクがスケジュールされました PENDUNSOL - 非送信請求データ処理タスクがスケジュールされました RELEASE - アンバインド要求の後、セッション終了処理タスクが会話を所有しています STSN STSN 処理タスクが会話を所有しています UNSOLDATA - 非送信請求データ処理タスクが会話を所有しています
ターゲット名	TARGETNAME	接続を識別するターゲット
非請求入力数	UNSOLICINP	この接続で非送信請求入力を受信した合計回数
接続のユーザー・データ	USERDATA	接続のユーザー・データ
接続待ちの会話数	WAITCONVNUM	この接続を待機している会話の総数

ノード - FEPINODE

「**FEPI ノード**」(FEPINODE) ビューには、インストールされている FEPI ノードについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**FEPI 操作ビュー**」 > 「**ノード**」

表 160. 提供された「 FEPI ノード 」(FEPINODE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.ACQUIRE	FEPI ノードを獲得します。

表 160. 提供された「FEPI ノード」(FEPINODE) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.DETAILED	選択した FEPI ノードに関する詳細情報
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.DISCARD	FEPI ノードを破棄します。
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.INSERVICE	FEPI ノードをサービス中にします。
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.OUTSERVICE	FEPI ノードをサービス休止にします。
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.RELEASE	FEPI ノードを解放します。
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI ノード属性を設定します。
FEPI ノード EYUSTARTFEPINODE.TABULAR	現在インストールされている FEPI ノードに関するテーブル形式の情報

アクション

表 161. FEPINODE ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	FEPI ノードを獲得します。
DISCARD	FEPI ノードを破棄します。
INSERVICE	FEPI ノードをサービス中にします。
OUTSERVICE	FEPI ノードをサービス休止にします。
RELEASE	FEPI ノードを解放します。
SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI ノード属性を設定します。

フィールド

表 162. FEPINODE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ノード獲得数	ACQNUM	接続が獲得された回数。
獲得状況	ACQSTATUS	獲得状態、つまり VTAM ACB が開かれているか閉じられているか。値は ACQUIRED、ACQUIRING、RELEASED、または RELEASING です。
ノード・インストール状況	INSTLSTATUS	ノードのインストール状態: INSTALLED または NOTINSTALLED
最終 REQSESS 要求からのセンス・コード	LASTACQCODE	接続の最後の獲得要求の結果、つまり最後の VTAM REQSESS からのセンス・コードを示します。ゼロは成功を意味します。
ノード名	NODENAME	接続を識別するノードの名前
ノード・サービス状況	SERVSTATUS	ノードのサービス状態。サービス状況は、使用が可能な INSERVICE か、新規の会話での使用が停止される OUTSERVICE のいずれかです。なお、サービス状況を OUTSERVICE に設定しても、リソースを使用している既存の会話が終了されるわけではありません。既存の会話が終了するまでサービス状況は GOINGOUT になります。
ノードのユーザー・データ	USERDATA	ノードのユーザー・データ

プール - FEPIPOOL

「FEPI プール」 (FEPIPOOL) ビューには、インストールされている FEPI プールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「FEPI 操作ビュー」 > 「プール」

表 163. 提供された「FEPI プール」 (FEPIPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.DELETE	FEPI プールからノードおよびターゲットを削除します。
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.DETAILED	選択した FEPI プールに関する詳細情報
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.DISCARD	FEPI プールを破棄します。
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.INSERVICE	FEPI プールをサービス中にします。
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.OUTSERVICE	FEPI プールをサービス休止にします。
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI プール属性を設定します。
FEPI プール EYUSTARTFEPIPOOL.TABULAR	現在インストールされている FEPI プールに関するテーブル形式の情報

アクション

表 164. FEPIPOOL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ADD	FEPI プールにノードおよびターゲットを追加します。
DELETE	FEPI プールからノードおよびターゲットを削除します。
DISCARD	FEPI プールを破棄します。
INSERVICE	FEPI プールをサービス中にします。
OUTSERVICE	FEPI プールをサービス休止にします。
SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI プール属性を設定します。

フィールド

表 165. FEPIPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
セッション開始トランザクション	BEGINSESSION	セッション前処理を実行しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
接続数	CONNECTIONS	プール内の接続数
開始ブラケット・コンテンション解消	CONTENTION	FEPI SEND コマンドが発行され、「開始ブラケット」を持つインバウンド・データがある場合に何が起るかを指定するデータ値

表 165. FEPIPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在の割り振り数	CURALLCS	このプールから割り振られた会話数
現在の待機割り振り数	CURALLCWAIT	現在割り振りを待っている会話数
デバイス・タイプ	DEVICE	会話モードとデバイス・タイプを示すデータ値: T3278M2、T3278M3、T3278M4、T3278M5、T3279M2、T3279M3、T3279M4、T3279M5、TPS55M2、TPS55M3、TPS55M4、または LUP
セッション終了トランザクション	ENDSESSION	セッション終了処理を実行しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
例外を保持している TDQ キュー	EXCEPTIONQ	例外イベントが通知される一時データ・キューの名前。キューが指定されなかった場合はブランクになります。
ジャーナル名	FJOURNALNAME	データが記録されるジャーナルの名前。
ジャーナル番号	FJOURNALNUM	データが記録されるジャーナルの番号。ジャーナルに番号がない場合は 0 が表示されます。番号がないジャーナルにはジャーナル名があります。
データ形式オプション	FORMAT	データ形式を示す値: FORMATTED、DATASTREAM、または NOTAPPLIC
初期インバウンド・データ状況	INITIALDATA	セッション開始時に初期インバウンド・データが予期されるかどうかを示す値。値は NOTINBOUND または INBOUND です。
プール・インストール状況	INSTLSTATUS	プールのインストール状態: INSTALLED または NOTINSTALLED
戻りデータの最大長	MAXLENGTH	会話に対する任意の FEPI RECEIVE、CONVERSE、または EXTRACT FIELD コマンドで戻ることができるデータ、つまり会話に対する任意の FEPI SEND または CONVERSE コマンドによって送信されるデータの最大長
メッセージ・ジャーナル状況	MSGJRNL	インバウンド・データやアウトバウンド・データに対してジャーナル処理が実行されるかどうかを示す値。値は NOMSGJRNL、INPUT、OUTPUT、または INOUT です。
ノード数	NODES	プール内の現在のノード数
同時割り振りのピーク数	PEAKALLCS	このプールから割り振られた同時会話のピーク数。
待機割り振りのピーク数	PEAKALLCWAIT	割り振りを待たなければならなかった会話のピーク数
ピーク接続数	PEAKCONNS	このプールから割り振られた同時接続のピーク数
プール名	POOLNAME	プールの名前
プロパティ・セット名	PROPERTYSET	プールのインストールに使用されたプロパティ・セット名
プール・サービス状況	SERVSTATUS	プールのサービス状態: INSERVICE、OUTSERVICE、または GOINGOUT 入力値は INSERVICE、OUTSERVICE です
設定 / テスト順序番号 (STSN) トランザクション	STSN	STSN データを処理しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
ターゲット数	TARGETS	プール内の現在のターゲット数
タイムアウトになった待機割り振りの合計数	TOTALLOCTOUT	タイムアウトになった会話の割り振りの数
合計待機割り振り数	TOTALLOCWAIT	割り振りを待たなければならなかった会話の数
非送信請求データ・トランザクション	UNSOLDATA	非送信請求データを処理しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
非送信請求データの送信権要求確認	UNSOLDATAACK	非送信請求データが処理されていない場合に FEPI が BID にどんな肯定応答を与えるかを示します。値は NEGATIVE、POSITIVE または NOTAPPLIC です。
プール・ユーザー・データ	USERDATA	プールのユーザー・データ
待機会話数	WAITCONVNUM	現在割り振りを待っている会話数

プロパティ・セット - FEIPROP

「FEPI プロパティ・セット」(FEIPROP) ビューには、インストールされている FEPI プロパティ・セットについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「FEPI 操作ビュー」 > 「プロパティ・セット」

表 166. 提供された「FEPI プロパティ・セット」(FEIPROP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI プロパティ・セット EYUSTARTFEIPROP.DETAILED	選択した FEPI プロパティ・セットに関する詳細情報
FEPI プロパティ・セット EYUSTARTFEIPROP.DISCARD	プロパティ・セットを破棄します。
FEPI プロパティ・セット EYUSTARTFEIPROP.TABULAR	現在インストールされている FEPI プロパティ・セットに関するテーブル形式の情報

アクション

表 167. FEIPROP ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	プロパティ・セットを破棄します。

フィールド

表 168. FEIPROP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
セッション開始トランザクション	BEGINSESSION	セッション前処理を実行しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
コンテンション解消結果	CONTENTION	FEPI SEND コマンドが発行され、「開始ブラケット」を持つインバウンド・データがある場合に何が起こるかを指定するデータ値
デバイス・タイプ	DEVICE	会話モードとデバイス・タイプを示すデータ値。値は T3278M2、T3278M3、T3278M4、T3278M5、T3279M2、T3279M3、T3279M4、T3279M5、TPS55M2、TPS55M3、TPS55M4、または LUP です。
セッション終了トランザクション	ENDSESSION	セッション終了処理を実行しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
例外を保持している TDQ キュー	EXCEPTIONQ	例外イベントが通知される一時データ・キューの名前。キューが指定されなかった場合はブランクになります。
ジャーナル名	FJOURNALNAME	データが記録されるジャーナルの名前。
ジャーナル番号	FJOURNALNUM	データが記録されるジャーナルの番号。ジャーナルに番号がない場合は 0 が表示されます。番号がないジャーナルにはジャーナル名があります。
データ形式	FORMAT	データ形式を示す値。値は FORMATTED、DATASTREAM または NOTAPPLIC です。
初期インバウンド・データ・オプション	INITIALDATA	セッション開始時に初期インバウンド・データが予期されるかどうかを示す値。値は NOTINBOUND または INBOUND です。
戻りデータの最大長	MAXLENGTH	会話に対する任意の FEPI RECEIVE、CONVERSE、または EXTRACT FIELD コマンドで戻ることができるデータ、つまり会話に対する任意の FEPI SEND または CONVERSE コマンドによって送信されるデータの最大長

表 168. FEPIPROP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ジャーナル状況	MSGJRNL	インバウンド・データやアウトバウンド・データに対してジャーナル処理が実行されるかどうかを示す値。値は NOMSGJRNL、INPUT、OUTPUT または INOUT です。
プロパティ・セット名	PROPERTYSET	プロパティ・セットの名前
設定 / テスト順序番号 (STSN) トランザクション	STSN	STSN データを処理しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
非送信請求データ・トランザクション	UNSOLDATA	非送信請求データを処理しているトランザクションの名前。トランザクションが指定されなかった場合はブランクになります。
非送信請求データ応答	UNSOLDATAACK	非送信請求データが処理されていない場合に FEPI が BID にどんな肯定応答を与えるかを示します。値は NEGATIVE、POSITIVE、または NOTAPPLIC です。

ターゲット - FEPITRGT

「**FEPI ターゲット**」 (FEPITRGT) ビューには、インストールされている FEPI ターゲットについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**FEPI 操作ビュー**」 > 「**ターゲット**」

表 169. 提供された「 FEPI ターゲット 」 (FEPITRGT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.DETAILED	選択した FEPI ターゲットに関する詳細情報
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.DISCARD	FEPI ターゲットを破棄します。
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.INSERVICE	FEPI ターゲットをサービス中にします。
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.OUTSERVICE	FEPI ターゲットをサービス休止にします。
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI ターゲット属性を設定します。
FEPI ターゲット EYUSTARTFEPITRGT.TABULAR	現在インストールされている FEPI ターゲットに関するテーブル形式の情報

アクション

表 170. FEPITRGT ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	FEPI ターゲットを破棄します。
INSERVICE	FEPI ターゲットをサービス中にします。
OUTSERVICE	FEPI ターゲットをサービス休止にします。
SET	入力フィールドで指定する新しい値に従って FEPI ターゲット属性を設定します。

フィールド

表 171. FEPITRGT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
合計割り振り数	ALLOCATES	タイムアウトになった、このプールのこのターゲットに対する会話の割り振りの数
バックエンド・システムの VTAM アプリケーション ID	APPLID	ターゲット・システムが表しているバックエンド・システムの VTAM アプリケーション名
現在の待機割り振り数	CURALLCWAIT	現在このプールのこのターゲットに割り振られるのを待っている会話数
インストール状況	INSTLSTATUS	プールのインストール状態: INSTALLED または NOTINSTALLED
ノード数	NODES	このターゲットに接続されているノードの数
待機割り振りのピーク数	PEAKALLCWAIT	このプールのこのターゲットに割り振られるのを待たなければならなかった会話のピーク数
プール名	POOLNAME	ターゲットが置かれているプールの名前
サービス状況	SERVSTATUS	ターゲットのサービス状態。値は INSERVICE、OUTSERVICE、または GOINGOUT です。
ターゲット名	TARGETNAME	ターゲットの名前
タイムアウトになった待機割り振りの合計数	TOTALLOCTOUT	このプールのこのターゲットに限定して割り振られた会話のうち、タイムアウトになった会話の数
合計待機割り振り数	TOTALLOCWAIT	このプールのこのターゲットに割り振られるのを待たなければならなかった会話数
ターゲット・ユーザー・データ	USERDATA	ターゲットのユーザー・データ

ファイル操作ビュー

「ファイル操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS ファイルおよびデータ・テーブルに関する情報が表示されます。ローカル共用リソース (LSR) プールに関する情報や、ローカル・ファイルおよびリモート・ファイル、また、CICS 保守またはユーザー保守のデータ・テーブルが関連付けられているファイルなどを含め、すべてのタイプの CICS ファイルの情報が得られます。「ファイル」ビューで提供される情報は、ビュー・コマンドを発行するタイミングによって異なります。例えば、ファイルを閉じるとき、多くの情報は次回ファイルが開かれるときのファイルの状態を反映します。ファイルを一度も開いていない場合、いくつかの情報は使用不可になり、デフォルトまたはヌル値を受け取ります。一度ファイルが開かれるとこれらの値は変わります。条件データ・テーブル・ファイルとは、CICS 保守またはユーザー保守のデータ・テーブルが関連付けられたファイルのことです。DSNAME のようなデータ・セット名フィールドおよび LOCFILE や REMFILE のようなファイル名フィールドは、大/小文字の区別をします。CICSplex SM インターフェース (API および WUI) にデータ・セット名およびファイル名を入力する際、データの大/小文字が正しく入力していることを確認してください。CICS TS 3.2 より前のリリースでは、データ・セット名およびファイル名は自動的に大文字に変換されていました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール - CFDTPOOL

「カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール」(CFDTPOOL) ビューには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール」

表 172. 提供された「カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール」(CFDTPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール EYSTARTCFDTPOOL.DETAILED	選択したカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールに関する詳細情報
カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール EYSTARTCFDTPOOL.TABULAR	現在インストールされているカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 173. CFDTPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNSTATUS	プールの接続状況を示しています。 <ul style="list-style-type: none"> • CONNECTED <ul style="list-style-type: none"> – カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールのサーバーが使用可能で、この CICS が現在接続されています。 • UNCONNECTED <ul style="list-style-type: none"> – カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールのサーバーが使用可能ですが、この CICS は現在接続されていません。 • UNAVAILABLE <ul style="list-style-type: none"> – カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールのサーバーは現在使用不可です。
プール名	NAME	現在使用可能なカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールの固有名または総称名

管理下データ・テーブル - CMDT

「管理下データ・テーブル」(CMDT) ビューには、CICS 保守またはユーザー保守のデータ・テーブルや、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルが関連付けられているファイルについての情報が表示されます。データは、そのデータ・テーブルに関連付けられているファイルの側の視点から示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「管理下データ・テーブル」

表 174. 提供された「管理下データ・テーブル」(CMDT) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.CLOSE	<p>次のいずれかのオプションを使用して、データ・テーブル・ファイルをクローズします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wait <ul style="list-style-type: none"> – データ・テーブル・ファイルが使用中でなくなるまでクローズ・アクションの実行を待機します。 • Nowait <ul style="list-style-type: none"> – データ・テーブル・ファイルが使用中の場合はクローズ・アクションを実行しません。 • Force <ul style="list-style-type: none"> – たとえ使用中であっても、データ・テーブル・ファイルをすぐに閉じます。 <p>データ・テーブル・ファイルがオープン・アクションによって使用可能にされていた場合は、クローズによってファイルが使用不可になります。</p>
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DETAIL1	選択したデータ・テーブル・ファイルのテーブルの詳細に関する詳細情報
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DETAIL2	選択したデータ・テーブル・ファイルのデータ・セットの詳細に関する詳細情報
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DETAIL3	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DETAILED	選択したデータ・テーブル・ファイルに関する詳細情報
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DISABLE	<p>次のいずれかのオプションを使用して、データ・テーブル・ファイルを使用不可にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wait <ul style="list-style-type: none"> – データ・テーブル・ファイルが使用中でなくなるまで使用不可アクションの実行を待機します。 • Nowait <ul style="list-style-type: none"> – データ・テーブル・ファイルが使用中の場合は使用不可アクションを実行しません。 • Force <ul style="list-style-type: none"> – たとえ使用中であっても、データ・テーブル・ファイルをすぐに使用不可にします。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.DISCARD	データ・テーブル・ファイルをインストール先の CICS システムから破棄します。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.ENABLE	データ・テーブル・ファイルを使用可能にします。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.OPEN	データ・テーブル・ファイルを開きます。データ・テーブル・ファイルがクローズ・アクションによって使用不可にされていた場合は、オープンによってファイルが使用可能になります。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従ってデータ・テーブル・ファイル属性を設定します。
管理下データ・テーブル EYUSTARTCMDT.TABULAR	関連したデータ・テーブルを持ったファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 175. CMDT ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	<p>次のいずれかのオプションを使用して、データ・テーブル・ファイルをクローズします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wait <ul style="list-style-type: none"> データ・テーブル・ファイルが使用中でなくなるまでクローズ・アクションの実行を待機します。 • Nowait <ul style="list-style-type: none"> データ・テーブル・ファイルが使用中の場合はクローズ・アクションを実行しません。 • Force <ul style="list-style-type: none"> たとえ使用中であっても、データ・テーブル・ファイルをすぐに閉じます。 <p>データ・テーブル・ファイルがオープン・アクションによって使用可能にされていた場合は、クローズによってファイルが使用不可になります。</p>
DISABLE	<p>次のいずれかのオプションを使用して、データ・テーブル・ファイルを使用不可にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wait <ul style="list-style-type: none"> データ・テーブル・ファイルが使用中でなくなるまで使用不可アクションの実行を待機します。 • Nowait <ul style="list-style-type: none"> データ・テーブル・ファイルが使用中の場合は使用不可アクションを実行しません。 • Force <ul style="list-style-type: none"> たとえ使用中であっても、データ・テーブル・ファイルをすぐに使用不可にします。
DISCARD	データ・テーブル・ファイルをインストール先の CICS システムから破棄します。
ENABLE	データ・テーブル・ファイルを使用可能にします。
OPEN	データ・テーブル・ファイルを開きます。データ・テーブル・ファイルがクローズ・アクションによって使用不可にされていた場合は、オープンによってファイルが使用可能になります。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従ってデータ・テーブル・ファイル属性を設定します。

フィールド

表 176. CMDT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
追加オプション	ADD	<p>データ・テーブル・ファイルに新規レコードを追加できるかどうかを示します。</p> <p>入力値: ADDABLE、NOTADDABLE</p>
WRITE 要求数	ADDCNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT 要求の数
READ 要求でテーブルに追加されたレコード数	ADDFRREAD	ロード・プロセスによって、またはロードの進行中に API 読み取り要求が発行された結果としてデータ・テーブル・ファイルに置かれたレコードの数
ユーザー出口ルーチンが拒否した追加要求数	ADDREJ	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコード数。
WRITE 要求で追加されたレコード数	ADDREQ	API 書き込み要求の結果として行われた、データ・テーブル・ファイルへのレコード追加の試行数
テーブルが満杯で拒否された追加要求数	ADDTFULL	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、テーブル内のレコードが許容される最大数に達しているために拒否されたレコード数。

表 176. CMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
ブラウズ・オプション	BROWSE	データ・テーブル・ファイル内のレコードをブラウズできるかどうかを示します。 入力値: BROWSABLE、NOTBROWSABLE
READNEXT、READPREV 要求数	BROWSECNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された GET NEXT および GET PREV 要求の数
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
CFDT コンテンション数	CONTENTION	データ・テーブルからの読み取りの結果として CFDT サーバー上で競合が発生した回数。
データ・テーブル・ファイルの現行レコード数	CURCOUNT	データ・テーブル・ファイル内の現在のレコード数。
データ・セット・タイプ	DATASETTYPE	このデータ・テーブル・ファイルに関連付けられたデータ・セットのタイプ。次のオプションのいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • B - BDAM データ・セット • E - VSAM 入力順データ・セット (ESDS) • K - VSAM キー順データ・セット (KSDS) • P - 代替索引によってアクセスされる VSAM パス • R - VSAM 相対レコード・データ・セット (RRDS)
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
削除オプション	DELETE	データ・テーブル・ファイルからレコードを削除できるかどうかを示します。 入力値: DELETABLE、NOTDELETABLE
DELETE 要求数	DELETEREQ	DELETE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイルからレコードの削除を試みた回数。
データ・コンポーネントの I/O 操作数	DEXPCNT	データ・テーブル・ファイル上でのデータ・レコードに対する入出力操作の数

表 176. CMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
関連データ・セットのファイル属性指定	DISPOSITION	データ・テーブル・ファイルの属性指定。 入力値: OLD、SHARE
データ・セット名	DSNAME	このデータ・テーブル・ファイルに関連付けられているデータ・セットの 44 文字の名前。これは、アクセス方式およびオペレーティング・システムに対して定義されます。 入力値: 任意の有効なデータ・セット名
使用可能化状況	ENABLESTATUS	データ・テーブル・ファイルが、アプリケーション・プログラムからのアクセスに使用可能かどうかを示します。この状況は次のオプションのいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - 使用不可コマンドの結果として、アクセスできません。 • DISABLING - 使用不可またはクローズ・コマンドの後、まだアクセス中です。 • UNENABLED - クローズ・コマンドの結果として、アクセスできません。 • UNENABLING - ファイルのクローズ要求を受信しましたが、それ以前にファイルにアクセスしたタスクが実行中です。これらのタスクのファイル使用は完了できますが、新しいタスクによるアクセスはできません。
ファイル ID	FILE	データ・テーブル・ファイルの名前
順方向リカバリー・オプション	FWDRECSTATUS	データ・テーブル・ファイルが順方向リカバリー可能かどうかを示します。値は FWDRECOVERABLE または NOTFWDRCVBLE です。
READ 要求数	GETCNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された GET 要求の数
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数
ファイル・クローズの GMT 時刻	GMTFILECLS	データ・テーブル・ファイルが閉じられた GMT 保管クロック時間。
ファイル・オープンの GMT 時刻	GMTFILEOPN	データ・テーブル・ファイルが開かれた GMT 保管クロック時間
索引コンポーネントの I/O 操作数	IEXCPCNT	データ・テーブル・ファイル上での索引レコードに対する入出力操作の数。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後にインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によりインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
ジャーナル番号	JOURNALNUM	このデータ・テーブル・ファイルに関連付けられているジャーナルの ID。ID が 1 の場合は、CICS システム・ログであることを示します。値 0 は、このデータ・テーブル・ファイルにジャーナルが関連付けられていないことを意味します。
キーの長さ	KEYLENGTH	キーの長さ
キー位置	KEYPOSITION	レコードの先頭に対して相対的な、各レコード内でのキー・フィールドの開始位置。

表 176. CMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CFDT ロード・タイプ	LOADTYPE	このテーブルに関連するデータ・セットのロード仕様は次のとおり (アクションは CFTABLE のみによる)。 <ul style="list-style-type: none"> • NOLOAD - データ・セットのロードは不要です。 • LOAD - 関連付けされたデータ・セットは、最初に開かれるときにテーブルにロードされます。 • NOTAPPLIC - 適用不可。
DELETE 要求数	LOCDELCNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された DELETE 要求の数
LSR プール番号	LSRPOOLID	このデータ・テーブル・ファイルに関連付けられているローカル共用リソース (LSR) プールの ID。 入力値: 1 から 255 まで
レコードが保持できる最大レコード数	MAXNUMRECS	データ・テーブル・ファイルに保持できるレコードの最大数。0 から 99,999,999 の範囲で指定します。値 0 は、テーブルのサイズに論理上の限界を設けないことを意味します。ただし、実際には、構造上のシステム限界 (2,147,483,647) があります。「NOLIMIT」を指定する場合には注意が必要です。これを指定すると、ランナウェイ・タスク内のトランザクションの状態がカップリング・ファシリティー・データ・スペース内のストレージを満杯にしてしまうことを防止できなくなります。 入力値: 0 から 99,999,999 まで
最大テーブル・サイズ	MAXTSIZE	データ・テーブル・ファイル内のレコードの一時点最高数
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	現在アクティブな VSAM ストリングの数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに割り振られたストレージ・バッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に割り振られたストレージ・バッファの数。
アクティブ・ストリングの待機数	NUMSTRINGWT	VSAM アクティブ・ストリング待ちの数
オープン状況	OPENSTATUS	データ・テーブル・ファイルがオープン、クローズ、移行中のいずれであるかを示します。 入力値: OPEN、CLOSED
CFDT プール名	POOLNAME	MVS カップリング・ファシリティー・データ・テーブル (CFDT) では、テーブルがそこで構成される CFDT プールの名前。
読み取りオプション	READ	データ・テーブル・ファイルからレコードを読み取ることができるかどうかを示します。 入力値: READABLE、NOTREADABLE
読み取り再試行数	READRETRY	読み取り中に FOR によってテーブルが変更されたために、AOR で再試行が必要になった READ の数。
正常な読み取り数	READS	データ・テーブル・ファイルからのレコード取り出しの試行が成功した数。
テーブルになかった合計レコード数	RECNOTFND	レコードがデータ・テーブル・ファイル内に見つからなかったために API 読み取り要求がソース・データ・セットに向けられた回数。
レコード形式	RECORDFORMAT	データ・テーブル・ファイル内のレコード形式。値は FIXED、VARIABLE、または UNDEFINED です。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。
リカバリー処理タイプ	RECOVSTATUS	データ・テーブル・ファイルがリカバリー可能かどうかを示します。値は RECOVERABLE または NOTRECOVERABLE です。
REWRITE 要求数	REWRITE	REWRITE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイル内でレコードの更新を試みた回数。
使用されている合計ストレージ (K バイト)	STGALCINU	データ・テーブル・ファイル用に使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。

表 176. CMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
合計割り振りストレージ (K バイト)	STGALCTOT	データ・テーブル・ファイルに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
レコード・データで使用中のストレージ (K バイト)	STGDTAINU	データ・テーブル・ファイルのレコード・データで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
レコード・データに割り振られたストレージ (K バイト)	STGDTATOT	データ・テーブル・ファイルのレコード・データに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
レコード入力ブロックで使用中のストレージ (KB)	STGENTINU	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
レコード入力ブロックに割り振られたストレージ (KB)	STGENTTOT	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
索引で使用中のストレージ (K バイト)	STGIDXINU	データ・テーブル・ファイルの索引で使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
索引に割り振られたストレージ (K バイト)	STGIDXTOT	データ・テーブル・ファイルの索引に割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
ストリング数	STRINGS	データ・テーブル・ファイル上で一度に実行できる操作の総数。 入力値: 1 から 255 まで
データ・テーブルのタイプ	TABLE	ファイルに関連付けられているデータ・テーブルが CICS 保守テーブル、ユーザー保守テーブル、CF 保守テーブルのいずれであるかを示します。 有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • CICSTABLE • USERTABLE • CFTABLE • NOTTABLE 「テーブル・タイプ」属性を変更するためには、ファイルが CLOSED 状態にあり、ENABLESTATUS が DISABLED または UNENABLED になっていることが必要です。変更は、ファイルを次に開くときまで有効になりません。
CFDT テーブル名	TABlename	MVS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル (CFDT) では、ファイルがロードされる CFDT テーブルの名前。
ファイルがクローズされた現地時刻	TIMECLOSE	データ・テーブル・ファイルが閉じられた現地時間。
ファイルがオープンされた現地時刻	TIMEOPEN	データ・テーブル・ファイルが開かれた現地時間。
更新オプション	UPDATE	データ・テーブル・ファイル内のレコードを更新できるかどうかを示します。 入力値: UPDATABLE、NOTUPDATABLE
REWRITE 要求数	UPDATECNT	このデータ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数
CFDT 更新モデル	UPDATEMODEL	ファイルに関連付けられている更新モデルのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • LOCKING - ロック・モデルを使用してカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを更新します。 • CONTENTION - 競合モデルを使用してカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを更新します。 • NOTAPPLIC - ファイルはカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを参照せず、ファイル・リソース定義の UPDATEMODEL に値は指定されません。このテーブルに関連するデータ・セットのロード仕様は次のとおり (アクションは CFTABLE のみによる)。 • NOLOAD - データ・セットのロードは不要です。 • LOAD - 関連付けされたデータ・セットは、最初に開かれるときにテーブルにロードされます。

表 176. CMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
VSAM データ・セット・タイプ	VSAMTYPE	このデータ・テーブル・ファイルに関連付けられたデータ・セットのタイプ。次のオプションのいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ESDS - VSAM 入力順データ・セット • KSDS - VSAM キー順データ・セット • RRDS - VSAM 相対レコード・データ・セット • VRRDS - 可変相対レコード・データ・セット データ・テーブル・ファイルがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
同時要求キューのピーク数 - 使用中ストリング	WSTRCCURCNT	キューに入っている同時要求のピーク数 - 使用中ストリング
ストリングが使用中による待機合計要求数	WSTRCNT	ストリングが使用中であるためにキューに入れられた要求の総数

ファイルの物理データ・セット - DSNAME

「ファイルの物理データ・セット」(DSNAME) ビューには、インストールされた CICS ファイルに関連するデータ・セットについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「ファイルの物理データ・セット」

表 177. 提供された「ファイルの物理データ・セット」(DSNAME) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.BACKOUT	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW をバックアウトします。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.COMMIT	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW をコミットします。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.DETAILED	選択したデータ・セットに関する詳細情報
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.FORCE	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW を強制的にバックアウトまたはコミットします。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.IMMQUIESCE	データ・セットを即時静止します。既存のすべての CICS オープン RLS ACB はクローズされ、データ・セットにアクセスしているすべての作業単位は異常終了し、ファイル状態が ENABLED であれば UNENABLED に設定され、データ・セットにはクローズというマークが付けられます。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。そのデータ・セットを現在使用しているタスクは、CICS タスク FORCEPURGE を使用して即時終了されます。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.QUIESCE	データ・セットにアクセスしているすべての作業単位が同期点に達したら、データ・セットを静止します。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.REMOVE	データ・セットと CICS システムの間の関連を除去し、データ・セットを割り振り解除します。データ・セットのファイル数が 0 で、そのバックアウト状況が NORMALBKOUT の場合にのみ、データ・セットを除去できます。
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じてデータ・セット属性を設定します。

表 177. 提供された「ファイルの物理データ・セット」(DSNAME) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.TABULAR	現在インストールされているデータ・セットに関するテーブル形式の情報
ファイルの物理データ・セット EYUSTARTDSNAME.UNQUIESCE	データ・セットに静止解除のマークを付けます。RLS または非 RLS ACB はオープンできます。後続のオープン ACB 要求は、最初のオープン ACB と同じモードで許可されます。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。

アクション

表 178. DSNAME ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
BACKOUT	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW をバックアウトします。
COMMIT	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW をコミットします。
FORCE	指定されたデータ・セットでロックを保持している除外 UOW を強制的にバックアウトまたはコミットします。
IMMQUIESCE	データ・セットを即時静止します。既存のすべての CICS オープン RLS ACB はクローズされ、データ・セットにアクセスしているすべての作業単位は異常終了し、ファイル状態が ENABLED であれば UNENABLED に設定され、データ・セットにはクローズというマークが付けられます。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。そのデータ・セットを現在使用しているタスクは、CICS タスク FORCEPURGE を使用して即時終了されます。
IMMQUIESE	即時静止 (非推奨)
QUIESCE	データ・セットにアクセスしているすべての作業単位が同期点に達したら、データ・セットを静止します。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。
QUIESE	静止 (非推奨)
REMOVE	データ・セットと CICS システムの間の関連を除去し、データ・セットを割り振り解除します。データ・セットのファイル数が 0 で、そのバックアウト状況が NORMALBKOUT の場合にのみ、データ・セットを除去できます。
SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じてデータ・セット属性を設定します。
UNQUIESCE	データ・セットに静止解除のマークを付けます。RLS または非 RLS ACB はオープンできます。後続のオープン ACB 要求は、最初のオープン ACB と同じモードで許可されます。データ・セットのビジー値を WAIT または NOWAIT に設定できます。
UNQUIESE	静止解除 (非推奨)

フィールド

表 179. DSNAME ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	このデータ・セットで使用するアクセス方式: BDAM、VSAM、または NOTAPPLIC
可用性状況	AVAILABILITY	VSAM データ・セットの場合、データ・セットが使用可能かどうかを示します。 入力値: AVAILABLE、UNAVAILABLE、RREPL

表 179. DSNAME ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
バックアップ・タイプ	BACKUPTYPE	<p>このデータ・セットに使用されるバックアップのタイプを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DYNAMIC - データ・セットは「backup-while-open」(BWO) 処理に適しています。つまり、必要な機能を備えたデータ・セット・マネージャーは、データ・セットが出力用にオープンしている間はそのデータ・セットのバックアップを取ることができます。また、データ・セットはクローズしている間もバックアップすることができます。データ・セットは BWO に適格であり、非 RLS モードでアクセスされます。データ・セットが RLS モードでオープンしている場合、VSAM カタログを調べて、データ・セットが BWO に適格であるか検出する必要があります。RLS モードでオープンしたデータ・セットの場合、NOTAPPLIC が BACKUPTYPE として戻されます。 • NOTAPPLIC - データ・セットは、コマンドが発行される CICS 領域によってオープンされていないか、またはデータ・セットが BDAM または VSAM PATH です。また、データ・セットが RLS モードでオープンされている場合、NOTAPPLIC が戻されます。VSAM カタログを参照して、BWO 状況を入手する必要があります。 • STATIC - データ・セットは非 RLS モードでアクセスされ、BWO 処理には適格ではありません。このデータ・セットに対して出力用にオープンしているすべての CICS ファイルをクローズしてからでなければ、データ・セット・マネージャーはバックアップ・コピーを取ることができません。 • UNDETERMINED - RECOVSTATUS が UNDETERMINED の場合に基本ファイル用に戻されます。
基本データ・セット名	BASEDSNAME	VSAM パスの場合、パスが関連付けられている基本データ・セットの名前。VSAM 基本データ・セットの場合、この名前は 1 次データ・セット名と同じです。
バックアウト状況	BKOUTSTATUS	VSAM データ・セットの場合、データ・セットのバックアウト状況を次のいずれかで示します。NORMALBKOUT、FAILEDBKOUT、FAILINGBKOUT、または NOTAPPLIC
データ・セット名	DSNAME	データ・セットの名前。
データ・セットを参照するファイル定義数	FILECOUNT	このデータ・セット名を現在参照しているさまざまなファイル定義の数。この値は、いずれかのファイルがこの CICS セッション中にデータ・セットを使用しているかどうかを示すものではありません。
ジャーナル番号	FWDRECOVLOG	リカバリー状況が FWDRECOVABLE である VSAM データ・セットの場合、更新をログに記録するために使用されるジャーナルの ID。
順方向リカバリー・ログ・ストリーム名	FWDRECOVLSN	リカバリー状況が FWDRECOVABLE である VSAM データ・セットの場合、更新をログに記録するために使用されるジャーナルの ID。
レプリカ生成ロギング	LOGREPSTATUS	VSAM データ・セットの場合、このデータ・セットがレプリカ生成ロギングを持てるように定義されているかどうかを示します。有効な値は、LOGREPLICATE、NOLOGREPLICA、NOTAPPLIC です。
脱落ロック状況	LOSTLOCKS	<p>このデータ・セットに脱落ロックがあるかどうかを示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOLOSTLOCKS - データ・セットには脱落ロックがありません。 • REMLOSTLOCKS - データ・セットには脱落ロックがあります。 • RECOVERLOCKS - データ・セットには脱落ロックがあり、そのため使用不可です。 • NOTAPPLIC - これは RLS データ・セットではないか、データ・セットが、コマンドが発行される CICS 領域によってオープンされていません。
データ・セット・タイプ	OBJECT	VSAM データ・セットの場合、このデータ・セットが、レコードを含む基本データ・セット (BASE) か、別のデータ・セットへのパス (PATH) か、それとも、データ・セットがこの CICS 領域で開かれていない、もしくは BDAM データ・セットである (NOTAPPLIC) かどうかを示します。

表 179. DSNAME ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
レコード・レベル共用 (RLS) 静止状態	QUIESCESTATE	<p>データ・セットの RLS 静止状態。情報はデータ・セットの ICF カタログ・エントリーから取得されます。有効な入力値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Quiesced - データ・セットは静止済みです。RLS ACB はデータ・セットに対してオープンできず、CICS 領域には、現在このデータ・セットに対してオープンしている RLS ACB がありません。ただし、データ・セットは非 RLS モードではオープンできます。 • Unquiesced - これは、静止中でも静止済みでもないデータ・セットの通常値です。これは、RLS または非 RLS ACB を、最初のオープンで設定されているモードで、データ・セットに対してオープンできることを示します。ACB があるモードでオープンした後、他の ACB は同じモードでのみオープンできます。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	<p>データ・セットのリカバリー特性を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FWDRECOVERABLE - データ・セットに対するすべての更新が、バックアップ・リカバリーと順方向リカバリーの両方について記録されます。 • NOTAPPLIC - これは BDAM データ・セットか VSAM パスであるか、またはコマンドが発行される CICS 領域がこのデータ・セットを開いていません。 • NOTRECOVERABLE - データ・セットに対する更新内容は記録されません。 • RECOVERABLE - データ・セットに対するすべての更新内容がバックアップのために記録されます。 • UNDETERMINED - リカバリー状況が不明です。このデータ・セットの関連ファイルが開かないか、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルまたはユーザー保守のデータ・テーブル (ここではリカバリー属性は関連データ・セットと無関係) として定義されているファイルだけが開かれたためです。
保存レコード・ロック状況	RETLOCKS	このデータ・セットの据え置きリカバリー処理の結果として保存されたロックがあるかどうかを示します。有効な値は、RETAINED、NORETAINED、および NOTAPPLIC です。
データ・セット妥当性状況	VALIDITY	VSAM データ・セットの場合、ファイルをデータ・セットに対してオープンすることにより、そのデータ・セット名を VSAM カタログに対して検証したかどうかを示します (VALID または INVALID)。この値が INVALID の場合、データ・セットのリカバリー状況を判別できません。

ローカル・ファイル - LOCFILE

「ローカル・ファイル」(LOCFILE) ビューは、CICSplex SM により管理されるアクティブな CICS システム内のローカル・ファイルについての情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「ローカル・ファイル」

表 180. 提供された「ローカル・ファイル」(LOCFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.CLOSE	ローカル・ファイルをクローズします。「ビジー値」を WAIT、NOWAIT、または FORCE に設定できます。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.DETAIL3	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.DETAILED	選択したローカル・ファイルに関する詳細情報

表 180. 提供された「ローカル・ファイル」(LOCFILE) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.DISABLE	ローカル・ファイルを使用不可にします。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.DISCARD	ローカル・ファイルを廃棄します。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.ENABLE	ローカル・ファイルを使用可能にします。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.OPEN	ローカル・ファイルをオープンします。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
ローカル・ファイル EYUSTARTLOCFILE.TABULAR	CICS システム内のローカル・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 181. LOCFILE ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	ローカル・ファイルをクローズします。「ビジー値」を WAIT、NOWAIT、または FORCE に設定できます。
DISABLE	ローカル・ファイルを使用不可にします。
DISCARD	ローカル・ファイルを廃棄します。
ENABLE	ローカル・ファイルを使用可能にします。
OPEN	ローカル・ファイルをオープンします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 182. LOCFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	このファイルに使用されるアクセス方式: BDAM、VSAM、DB2 または REMOTE
追加オプション	ADD	ファイルに新規レコードを追加できるかどうかを示す 入力値: ADDABLE、NOTADDABLE 出力値: NOTAPPLIC
WRITE 要求数	ADDCNT	このローカル・ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
基本データ・セット名	BASEDSNAME	パスとして CICS に定義されたファイルの場合、VSAM 基本データ・セットの名前。基本として定義されたファイルの場合、この名前は 1 次データ・セット名と同じです。
ブロック形式 (BDAM のみ)	BLOCKFORMAT	ファイル上のレコードがブロック化されるか、または非ブロック化されるかを示します。
ブロック・キーの長さ (BDAM のみ)	BLOCKKEYLN	BDAM ファイルの場合、1 から 255 の範囲の 10 進数の物理ブロック・キー長。値 N/A は、ファイルが BDAM ファイルでないことを意味します。

表 182. LOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ブロック・サイズ (BDAM のみ)	BLOCKSIZE	BDAM ファイルの場合、ブロックのバイト単位の長さ。ブロックが可変長であるかまたは未定義の場合、表示される値は最大ブロック・サイズです。値 N/A は、ファイルが BDAM ファイルでないことを意味します。
ブラウズ・オプション	BROWSE	レコードをファイルから順次取り出すことができるかどうかを示します。 入力値: BROWSABLE、NOTBROWSABLE
READNEXT 要求および READPREV 要求の数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。
更新ブラウズの要求数	BROWUPDCNT	このローカル・ファイルに対して発行された GET NEXT、GET PREV、および PUT UPDATE 要求の数。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
データ・セット・タイプ	DATASETTYPE	ファイルに関連したデータ・セット内でのレコードの編成方法を示します。VSAM ファイルの場合、タイプは次のいずれかで示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESDS - 入力順データ・セット • KSDS - キー順データ・セット • RRDS - 相対レコード・データ・セット BDAM ファイルの場合、タイプは KEYED または NOTKEYED のいずれかです。ファイルがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
削除オプション	DELETE	VSAM ファイルの場合、レコードをファイルから削除できるかどうかを示します。 入力値: DELETABLE、NOTDELETABLE 出力値: NOTAPPLIC
データ・レコードの I/O 操作数	DEXPCNT	VSAM ファイルの場合、データ・レコード用のファイル上の入出力操作の数。

表 182. LOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ファイル属性指定	DISPOSITION	ファイルの処理。 入力値: OLD、SHARE
データ・セット名	DSNAME	データ・セットの名前
空き状況	EMPTYSTATUS	VSAM ファイルの場合、データ・セットを参照するファイルが次回オープンされるときに、そのデータ・セットを空にするかどうかを示します (EMPTYREQ または NOEMPTYREQ)。このオプションは、再使用可能として定義され、非 RLS モードでの使用が定義されているデータ・セットにのみ有効です。 入力値: EMPTYREQ、NOEMPTYREQ
使用可能化状況	ENABLESTATUS	ローカル・ファイルがアプリケーション・プログラムによってアクセス可能かどうかを示します。この状況は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - SET DISABLED コマンドの結果として使用不可です。 • DISABLING - SET DISABLED または SET CLOSED コマンドの後、引き続きアクセスされます。 • UNENABLED - SET CLOSED コマンドの結果として使用不可です。 • UNENABLING - ファイルのクローズ要求を受信しましたが、それ以前にファイルにアクセスしたタスクが実行中です。これらのタスクのファイル使用は完了できますが、新しいタスクによるアクセスはできません。 入力値: ENABLED、DISABLED
BDAM 排他制御状況	EXCLUSIVE	BDAM ファイルの場合、更新の読み取りが発行されるときに、ファイル上のレコードが排他制御下に置かれるかどうかを示します。 入力値: EXCTL、NOEXCTL、NOTAPPLIC
ファイル ID	FILE	ファイルの名前。
順方向リカバリー・オプション	FWDRECSTATUS	VSAM ファイルについて、ファイルが順方向リカバリーが可能かどうか (FWDRECOVABLE または NOTFWDRCVBLE) を示します。
READ 要求数	GETCNT	このローカル・ファイルに対して発行された GET 要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	このローカル・ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
ファイル・クローズの GMT 時刻	GMTFILECLS	ファイルがクローズされた時間。
ファイル・オープンの GMT 時刻	GMTFILEOPN	ファイルがオープンされた時間。
索引コンポーネントに対する I/O 操作数	IEXPCNT	VSAM ファイルの場合、索引レコード用のファイル上の入出力操作の数。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後にインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によりインストールされました。 • BUNDLE - リソースは、バンドルでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。

表 182. LOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ジャーナル番号	JOURNALNUM	このファイルに関連したジャーナルの ID (1 から 99 の範囲)。ID が 1 の場合は、CICS システム・ログであることを示します。値 0 は、FCT エントリーで JID=NO が指定されたため、自動ジャーナル処理が行われないことを示します。
キーの長さ	KEYLENGTH	VSAM KSDS に関連したローカル・ファイルの場合、キーの長さ。BDAM データ・セットに関連したローカル・ファイルの場合、非ブロック化に使用される論理キーの長さ。ファイルがオープンしていない場合は、値 0 が戻されます。
キー位置	KEYPOSITION	レコードの先頭に対して相対的な、各レコード内でのキー・フィールドの開始位置。ファイルがオープンしていない場合は、値 0 が戻されます。
DELETE 要求数	LOCDELCNT	このローカル・ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
LSR プール番号	LSRPOOLID	VSAM ファイルの場合、ファイルに関連した LSR プールの数。 値 0 は、ファイルがバッファを共有してはならないことを意味します。 値 N/A は、ファイルが VSAM ファイルでないことを意味します。 入力値: 0 から 255 まで
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	ファイルに対する更新の現在の数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに使用されるバッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に使用されるバッファの数。
現在のストリング待機数	NUMSTRINGWT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるためにキューに入れている要求の現在の数。
データ・セット・タイプ (ベースまたはパス)	OBJECT	VSAM ファイルの場合、ファイルが基本データ・セットに関連しているか (BASE)、または代替索引を用いてアクセスされるパスとして定義されているか (PATH) を示します。
オープン状況	OPENSTATUS	ファイルがオープンしているか、クローズしているか、または移行状態かを示します。値は次のとおりです。OPEN、CLOSED、OPENING、CLOSING、CLOSEREQUEST。 入力値: OPEN、CLOSED
VSAM 拡張アドレス方式のタイプ	RBATYPE	VSAM ファイルの場合、データ・セットが拡張アドレス方式を使用するかどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> EXTENDED - この VSAM データ・セットは相対バイト・アドレス方式を使用するため、4 ギガバイトを超えるデータを保持できます。 NOTAPPLIC - 以下のいずれかに該当します。 <ul style="list-style-type: none"> データ・セットが BDAM です。 ファイルがリモートです。 ファイルがオープンしていません。 NOTEXTENDED - この VSAM データ・セットは相対バイト・アドレス方式を使用しないため、4 ギガバイトを超えるデータを保持できません。
読み取りオプション	READ	レコードをファイルから読み取ることができるかどうかを示します。 入力値: READABLE、NOTREADABLE 出力値: NOTAPPLIC

表 182. LOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
読み取り安全性のデフォルト・レベル	READINTEG	<p>読み取り安全性オプションが API FILE READ コマンドで明示的にコーディングされていない場合、ファイルにアクティブな読み取り安全性のデフォルト・レベル。レベルは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • UNCOMMITTED - 読み取り安全性はこのファイルに指定されていません。 • CONSISTENT - このファイルの読み取り要求は、整合読み取り安全性に従わなければなりません (それ以外が読み取り要求で指定されていない限り)。 • REPEATABLE - このファイルの読み取り要求は、反復可能読み取り安全性に従わなければなりません (それ以外が読み取り要求で指定されていない限り)。 • NOTAPPLIC - 読み取り安全性はこのファイルに適用されません。
レコード形式	RECORDFORMAT	ファイル上のレコードのフォーマット (FIXED、VARIABLE、または UNDEFINED)。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。ファイルがオープンしていない場合は、値 0 が戻されます。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	ファイルがリカバリー可能かどうかを示します (RECOVERABLE または NOTRECOVERABLE)。
相対アドレス指定タイプ (BDAM のみ)	RELTYPE	<p>BDAM ファイルについて、ファイルへのアクセスに相対アドレス指定と絶対アドレス指定のいずれを使用しているかを示し、相対アドレス指定の場合、ファイルのレコード識別フィールドのブロック参照部分で使用される相対アドレス方式のタイプを示します。タイプは次のいずれかで示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BLK - 相対ブロック・アドレス指定 • DEC - ゾーン 10 進フォーマット • HEX - 16 進相対トラックおよびレコード形式 • NOTAPPLIC - 絶対アドレス指定を使用またはファイルが VSAM ファイル
レコード・レベル共用 (RLS) ファイルのアクセス・モード	RLSACCESS	<p>ファイルが RLS モードでアクセスされるかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RLS - ファイルは RLS モードでアクセスされるデータ・セットを参照します。 • NOTRLS - ファイルは非 RLS モードでアクセスされるデータ・セットを参照します。 • NOTAPPLIC - ファイルは RLS モードでのアクセスに適格ではありません。 <p>入力値: RLS、NOTRLS</p>
レコード・レベル共用 (RLS) 要求待機のタイムアウト	RLSREQWTO	VSAM RLS サーバーから要求の完了を待機している間にタイムアウトした RLS ファイル要求の数。
ストリング数	STRINGS	<p>VSAM ファイルの場合、ファイル上で実行できる並行操作の数。値 N/A は、ファイルが VSAM ファイルでないことを意味します。</p> <p>入力値: 1 から 255 まで</p>
ファイルがクローズされた現地時刻	TIMECLOSE	ファイルがクローズされた現地時間。
ファイルがオープンされた現地時刻	TIMEOPEN	ファイルがオープンされた現地時間。
更新オプション	UPDATE	<p>ファイル内のレコードを更新できるかどうかを示します。</p> <p>入力値: UPDATABLE、NOTUPDATABLE</p>
REWRITE 要求数	UPDATECNT	このローカル・ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。

表 182. LOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
VSAM データ・セット・タイプ	VSAMTYPE	このファイルに関連したデータ・セット内でのレコードの編成方法を示します。 VSAM ファイルの場合、タイプは次のいずれかで示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESDS - 入力順データ・セット • KSDS - キー順データ・セット • RRDS - 相対レコード・データ・セット • VRRDS - 可変相対レコード・データ・セット BDAM ファイルの場合、タイプは KEYED または NOTKEYED のいずれかです。 ファイルがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
ストリングを待機しているピーク・タスク数	WSTRCCURCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるために任意のいずれかの時点でキューに入れられた要求のピーク数。
全ストリングが使用中によりキューに入れられた合計要求数	WSTRCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるためにキューに入れられた要求の合計数。

VSAM LSR プール・バッファ - LSRPBUF

「**VSAM LSR プール・バッファ**」(LSRPBUF) ビューには、VSAM ローカル共用リソース (LSR) プールのバッファの使用法に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**ファイル操作ビュー**」 > 「**VSAM LSR プール・バッファ**」

表 183. 提供された「 VSAM LSR プール・バッファ 」(LSRPBUF) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
VSAM LSR プール・バッファ EYUSTARTLSRPBUF.DETAILED	選択した LSR プール・バッファに関する詳細情報
VSAM LSR プール・バッファ EYUSTARTLSRPBUF.TABULAR	CICS システム内の LSR プール・バッファに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 184. LSRPBUF ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
バッファ数	COUNT	プールで利用できる各サイズのバッファの数。
正常な CREAD 要求数	CREADS	ハイパースペース・バッファから仮想バッファヘデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
正常な CWRITE 要求数	CWRITES	仮想バッファからハイパースペース・バッファヘデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
失敗した CREAD 要求数	FAILCREADS	バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。

表 184. LSRPBUF ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
失敗した CWRITE 要求数	FAILCWITES	バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD ヘータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・バッファ数	HIPERBUFF	プールに指定されているハイパースペース・バッファの数。
検索バッファ読み取り数	LOOKASIDES	物理的入出力操作を開始せずに VSAM が対応できた READ 要求の数。
非ユーザー始動バッファ書き込み数	NONUWRITE	バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
プール番号	POOL	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 です。
プール番号/バッファ・サイズ/バッファ・タイプ	POOLSIZE TYPE	プール番号、バッファ・サイズ、バッファ・タイプ
バッファ読み取り数	READS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要があった、バッファに対する READ 入出力数。
バッファ・サイズ	SIZE	プールで利用できるバッファのサイズ。
バッファ使用	TYPE	バッファの使用状況を示します。次のいずれかになります: <ul style="list-style-type: none"> • D - データ・バッファ • I - 索引バッファ • B - データと索引の両方
ユーザー始動バッファ書き込み数	USERIWRITE	バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。

VSAM LSR プール - LSRPOOL

「**VSAM LSR プール**」(LSRPOOL) ビューには、VSAM ローカル共用リソース (LSR) プールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**ファイル操作ビュー**」 > 「**VSAM LSR プール**」

表 185. 提供された「 VSAM LSR プール 」(LSRPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
VSAM LSR プール EYUSTARTLSRPOOL.DETAILED	選択した LSR プールに関する詳細情報
VSAM LSR プール EYUSTARTLSRPOOL.TABULAR	CICS システム内の LSR プールに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 186. LSRPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
作成現地時刻	CREATETIME	LSR プールがいつ作成されたのかを現地時間で示します。
データ・バッファの正常な検索数	DBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できたデータ・バッファの READ 要求の数。

表 186. LSRPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
非ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBNUWRITE	プールのデータ・バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
データ・バッファの読み取り I/O 数	DBREAD	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要があった、データ・バッファに対する READ 入出力数。
データ・バッファ数	DBUFFCNT	プールによって使用されているデータ・バッファの数。
ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBUIWRITE	プールのデータ・バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常なデータ・バッファ CREAD 要求数	DCREAD	ハイパースペース・データ・バッファから仮想データ・バッファへデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
正常なデータ・バッファ CWRITE 要求数	DCWRITE	仮想データ・バッファからハイパースペース・データ・バッファへデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
削除現地時刻	DELETETIME	LSR プールがいつ削除されたのかを現地時間で示します。値が表示されるのは、LSR プールが削除された場合、つまり、そのプールを使用していたすべてのファイルが閉じられた場合に限られます。
失敗したデータ・バッファ CREAD 要求数	DFAILCREAD	データ・バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗したデータ・バッファ CWRITE 要求数	DFAILCWRITE	データ・バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD へデータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・データ・バッファ数	DHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース・データ・バッファの数。
作成 GMT 時刻	GMTCRETIME	LSR プールがいつ作成されたのかをグリニッジ標準時 (GMT) で示します。
削除 GMT 時刻	GMTDELTIME	LSR プールがいつ削除されたのかをグリニッジ標準時 (GMT) で示します。値が表示されるのは、LSR プールが削除された場合、つまり、そのプールを使用していたすべてのファイルが閉じられた場合に限られます。
検索索引バッファ読み取り数	IBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できた索引バッファの READ 要求の数。
非ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBNUWRITE	プール用の索引バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
索引バッファ合計読み取り数	IBREADS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要があった、索引バッファに対する READ 入出力数。
索引バッファ数	IBUFFCNT	プールによって使用されている索引バッファの数。
ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBUIWRITE	プール用の索引バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常な索引バッファ CREAD 要求数	ICREAD	ハイパースペース索引バッファから仮想索引バッファへデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
正常な索引バッファ CWRITE 要求数	ICWRITE	仮想索引バッファからハイパースペース索引バッファへデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
ハイパースペース索引バッファ数	IDHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース索引バッファの数。
個別データおよび索引フラグ	IDXDATFLG	データ・バッファと索引バッファが別々のプールを使用する (X'80') か、同じプールを共用する (X'00') かを示します。
失敗した索引バッファ CREAD 要求数	IFAILCREAD	索引バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗した索引バッファ CWRITE 要求数	IFAILCWRITE	索引バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD へデータを書き込む必要がありました。
LSR プール番号	LSRPOOLID	数値の LSR プール番号。範囲は 1 から 255。
同時アクティブ・ストリングのピーク数	MAXCCURSTR	いずれかの時点でアクティブだったストリングの最大数。
キーの最大長	MAXKEYLEN	この LSR プールを使用する可能性のある VSAM データ・セットの最も長いキーの長さ。

表 186. LSRPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
待機要求のピーク数	PEAKWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中だったためにいずれかの時点でキューに入れられた要求の最大数。
合計ストリング数	TOTSTRINGS	LSR プールで使用できるストリングの総数。
合計ストリング待機数	TOTWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中であったためにキューに入れられた要求の総数。

リモート・ファイル - REMFILE

「リモート・ファイル」(REMFILE) ビューには、リモート CICS ファイルについての情報が表示されます。リモート・ファイルとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるファイルです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「リモート・ファイル」

表 187. 提供された「リモート・ファイル」(REMFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート・ファイル EYUSTARTREMFILE.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
リモート・ファイル EYUSTARTREMFILE.DETAILED	選択したリモート・ファイルに関する詳細情報
リモート・ファイル EYUSTARTREMFILE.DISCARD	ローカル CICS システムからリモート・ファイルを廃棄します。
リモート・ファイル EYUSTARTREMFILE.TABULAR	CICS システム内のリモート・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 188. REMFILE ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	ローカル CICS システムからリモート・ファイルを廃棄します。

フィールド

表 189. REMFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
WRITE 要求数	ADDCNT	このリモート・ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
READNEXT 要求および READPREV 要求の数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。

表 189. REMFILE ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより 最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>リモート・ファイルがアプリケーション・プログラムによってアクセス可能かどうかを示します。この状況は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - SET DISABLED コマンドの結果としてアクセス不可です。 • DISABLING - SET DISABLED または SET CLOSED コマンドの後、引き続きアクセスされます。 • UNENABLED - SET CLOSED コマンドの結果としてアクセス不可です。 • NOTAPPLIC - ファイルはリモート・ファイルです。
ファイル ID	FILE	ローカル CICS システムに認識されているファイルの名前。
READ 要求数	GETCNT	このリモート・ファイルに対して発行された GET 要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	このリモート・ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • TABLE - リソースは CICSplex テーブル定義により最後にインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によりインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 189. REMFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
キーの長さ	KEYLENGTH	VSAM KSDSに関連したリモート・ファイルの場合、キーの長さ。BDAM データ・セットに関連したリモート・ファイルの場合、非ブロック化に使用される論理キーの長さ。
DELETE 要求数	REMDLNCNT	このリモート・ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
リモート・ファイル名	REMOTENAME	このファイルがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート・ファイルがある CICS システムの名前。
REWRITE 要求数	UPDATECNT	このリモート・ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。

ファイル用トポロジー・データ - CRESFILE

「ファイル用トポロジー・データ」(CRESFILE) ビューは、CICS システム中のファイルのインスタンスに関するトポロジー情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ファイル操作ビュー」 > 「ファイル用トポロジー・データ」

表 190. 提供された「ファイル用トポロジー・データ」(CRESFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ファイル用トポロジー・データ EYSTARTCRESFILE.DETAILED	CICS システム内のファイルのインスタンスに関する詳細トポロジー情報
ファイル用トポロジー・データ EYSTARTCRESFILE.TABULAR	CICS システム内のファイルのインスタンスに関するテーブル形式のトポロジー情報

アクション

なし。

フィールド

表 191. CRESFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
データ・セット名	DSNAME	このファイルに関連したデータ・セットの名前。
使用可能状況	ENABLESTATUS	一時データ・キューの使用可能状況。このキューを使用できるかどうかを示します。 オプションは ENABLED、DISABLED、UNENABLED、DISABLING、UNENABLING です。
ファイル・タイプ	FTYPE	ファイルのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • LFILE - ローカル・ファイル • RFILE - リモート・ファイル • CTABL - CICS データ・テーブル • UTABL - ユーザー・データ・テーブル • CFTBL - カップリング・ファシリティー・データ・テーブル

表 191. CRESFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
モニター状況	MONSTAT	システム中の CICS モニターの状況。これは BIT フィールドで、値は次の値の組み合わせを合計したものになります。 <ul style="list-style-type: none"> • 01 - データが存在する可能性あり • 02 - データが収集された • 04 - ユーザー・モニター定義 • 08 - システム・モニター定義 • 16 - リソースが論理的に削除された • 32 - リソース状況機能がアクティブ 値 '00' は、このシステムではモニター機能がアクティブではないことを示します。
ファイル	NAME	ファイルの名前。
オープン状況	OPENSTATUS	CICS 領域でファイルをクローズするか、それともオープンするかを示します。 オプションは OPEN、OPENING、CLOSED、CLOSING、CLOSEREQUEST です。
リモート・システム上のファイル名	REMOTENAME	このファイルがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム ID	REMOTESYSTEM	ファイルのあるリモート CICS システムのシステム ID。
バージョン番号	VER	リソースのバージョン番号。

ジャーナル操作ビュー

「ジャーナル操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のジャーナル・モデル、システム・ログ、一般ログ、およびログ・ストリームに関する情報が表示されます。

モデル - JRNLMODL

「ジャーナル・モデル」(JRNLMODL) ビューには、インストールされているジャーナル・モデルと対応するログ・ストリーム名についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ジャーナル操作ビュー」 > 「モデル」

表 192. 提供された「ジャーナル・モデル」(JRNLMODL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ジャーナル・モデル EYUSTARTJRNLMODL.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
ジャーナル・モデル EYUSTARTJRNLMODL.DETAILED	選択したジャーナル・モデルに関する詳細情報
ジャーナル・モデル EYUSTARTJRNLMODL.DISCARD	ジャーナル・モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。
ジャーナル・モデル EYUSTARTJRNLMODL.TABULAR	CICS システムにインストールされているジャーナル・モデルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 193. JRNLMODL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	ジャーナル・モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。

フィールド

表 194. JRNLMODL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
ジャーナル・モデル名	JOURNALMODEL	ジャーナル・モデルの名前。
ジャーナル名	JOURNALNAME	ジャーナルの名前。
MVS ログ・ストリーム名	STREAMNAME	ジャーナル・モデルに関連付けられた MVS ログ・ストリーム名。
ログ・ストリーム・タイプ	TYPE	ジャーナル・モデルに関連付けられたログ・ストリームのタイプ。

名前 - JRNLNAME

「ジャーナル名」(JRNLNAME) ビューには、システム・ログおよび一般ログに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「ジャーナル操作ビュー」 > 「名前」

表 195. 提供された「ジャーナル名」(JRNNAME) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.DETAILED	選択したジャーナルに関する詳細情報
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.DISCARD	ジャーナル名をインストール先の CICS システムから破棄します。
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.FLUSH	ログ・バッファの内容をログ・ストリームに書き出します。ジャーナルは閉じられません。
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.RESET	ログ・ストリームからジャーナルを切断します。ジャーナルは、ジャーナル書き込みによって再オープンできます。
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従ってジャーナル名属性を設定します。
ジャーナル名 EYUSTARTJRNNAME.TABULAR	CICS システムにインストールされているジャーナルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 196. JRNNAME ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	ジャーナル名をインストール先の CICS システムから破棄します。
FLUSH	ログ・バッファの内容をログ・ストリームに書き出します。ジャーナルは閉じられません。
RESET	ログ・ストリームからジャーナルを切断します。ジャーナルは、ジャーナル書き込みによって再オープンできます。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従ってジャーナル名属性を設定します。

フィールド

表 197. JRNNAME ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ジャーナル名	JOURNALNAME	8 文字のジャーナル名。
バッファ・フラッシュ要求数	NUMBUFLUSH	ジャーナル・ブロックが MVS ログ・ストリームまたは SMF ログに書き込まれた回数。
合計書き込みバイト数	NUMBYTES	ジャーナルに書き込まれた合計バイト数。
ジャーナル書き込み数	NUMWRITES	ジャーナル・レコードがジャーナルに書き込まれた回数。
ジャーナル状況	STATUS	ジャーナルの状況: DISABLED、ENABLED、または FAILED。
MVS ログ・ストリーム名	STREAMNAME	MVS タイプ・ジャーナルの場合は、ジャーナルに関連付けられたログ・ストリーム名。
ログ・ストリーム・タイプ	TYPE	ジャーナルのタイプ: MVS、SMF、または DUMMY。

MVS ログ・ストリーム名 - STREAMNM

「**MVS ログ・ストリーム**」(STREAMNM) ビューには、現在接続されている MVS ログ・ストリームについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**ジャーナル操作ビュー**」 > 「**MVS ログ・ストリーム名**」

表 198. 提供された「 MVS ログ・ストリーム 」(STREAMNM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
MVS ログ・ストリーム EYUSTARTSTREAMNM.DETAILED	選択した MVS ログ・ストリームに関する詳細情報
MVS ログ・ストリーム EYUSTARTSTREAMNM.TABULAR	アクティブな CICS システム内の MVS ログ・ストリームに関するテーブル形式の情報

アクション

表 199. STREAMNM ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
GET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 200. STREAMNM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
自動削除オプション	AUTODEL	ログ・ストリームのデータが、保存期間の終了後に自動削除されるかどうかを示します (YES or NO)。
ログからの読み取り数	BRWREAD	ログ・ストリームへの読み取り要求の数。
ログ・ブラウズ開始数	BRWSTRT	ログ・ストリームで開始されたブラウズ要求の数。
バッファ付加要求数	BUFAPPNDRQ	ジャーナル・レコードが現行のログ・ストリーム・バッファに正常に追加された回数。
バッファ満杯による待機数	BUFFWAIT	論理的にバッファが満杯であったため、ジャーナル・レコードを現行ログ・ストリームに追加できなかった回数。
合計書き込みバイト数	BYTES	ログ・ストリームに書き込まれた合計バイト数。
バッファ・フラッシュ待ちの現在のタスク数	CUFWTRS	ログ・ストリーム・バッファのフラッシュを待つ間に一時停止にされたタスクの現行数。
DASD のみオプション	DASDONLY	ログ・ストリームが DASD 専用ログ・ストリームかどうか (YES または NO) を示します。
ログ末尾削除数	DELETES	ログ・ストリームへの削除要求の数。
活動キーポイント頻度	LGGAKPFREQ	現在の活動キーポイント・トリガー値。次のキーポイントを取得するまでの間に行われたロギング操作の回数を示します。
採用活動キーポイント数	LGGAKPSTKN	活動キーポイント取得数
ログ延期間隔	LGGLGDEFER	現在のログ遅延間隔。これは、MVS システム・ロガーを起動する前に、強制されるジャーナル書き込み要求をどのくらいの期間遅延するかを判別するために CICS ログ・マネージャーが使用する時間の期間を示します。
ログ・ストリーム照会カウント	LGSQUERIES	ログ・ストリームの状況を検査するために CICS が実行した照会の数。

表 200. STREAMNM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大ブロック・サイズ	MAXBLK	このログ・ストリームでサポートされる最大ブロック・サイズ。
バッファ・フラッシュ待ちのピーク・タスク数	PKFWTRS	ログ・ストリーム・バッファのフラッシュを待つ間に一時停止にされたタスクの一時点最大数。
データ保存期間 (日)	RETPD	このログ・ストリームでデータが保持される保存期間 (日数)。
再試行可能なエラー数	RETRYERRS	データがログ・ストリームに書き込まれる間に、MVS システム・ロガーの再試行可能なエラーが発生した回数。
ログへの書き込み率	RWRITES	ログへの書き込み率
ログ・ストリーム状況	STATUS	ログ・ストリームの状況 (OK または FAILED)。
カップリング・ファシリティー構造	STRCNAME	このログ・ストリームが保持されているカップリング・ファシリティー構造の名前。
MVS ログ・ストリーム	STREAMNAME	MVS システム・ロガーのログ・ストリーム名。
システム・ログ標識	SYSTEMLOG	ログ・ストリームがシステム・ログかどうかを示します。
バッファ・フラッシュ待ちの合計タスク数	TFCWAIT	ログ・ストリーム・バッファのフラッシュを待つ間に一時停止にされたタスクの総数。
ジャーナルおよび順方向リカバリー・ログの数	USECOUNT	現在ログ・ストリームを使用している CICS ジャーナルおよび順方向リカバリー・ログの数。
書き込み要求数	WRITES	ログ・ストリームへの書き込み要求の数。

プログラム操作ビュー

「プログラム操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内で使用されているプログラムやデータ・セット(静的 DFHRPL および動的 LIBRARY データ・セットの両方)に関する情報が表示されます。

プログラム - PROGRAM

「プログラム」(PROGRAM) ビューには、現在インストールされているプログラムに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**プログラム操作ビュー (Program operations views)**」 > 「**プログラム (Programs)**」

表 201. 提供された「プログラム」(PROGRAM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
プログラム EYUSTARTPROGRAM.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
プログラム EYUSTARTPROGRAM.DETAILED	選択したプログラムに関する詳細情報
プログラム EYUSTARTPROGRAM.DISABLE	プログラムを使用不可にします。
プログラム EYUSTARTPROGRAM.DISCARD	プログラムがインストールされている CICS システムからそのプログラムを破棄します。注: DFH という文字で始まる名前を持つプログラムは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。

表 201. 提供された「プログラム」(PROGRAM) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
プログラム EYUSTARTPROGRAM.ENABLE	プログラムを使用可能にします。
プログラム EYUSTARTPROGRAM.NEWCOPY	<p>CICS は、プログラムがトランザクションで使用されなくなると、そのプログラムの新規コピーを使用します。(モジュールが使用中かどうか、INQUIRE PROGRAM コマンドの RESCOUNT オプションで判別できます。値ゼロは、プログラムが使用されていないことを意味します。) CICS は、単一トランザクション中、プログラムの使用が完了し、それ以降の使用がまだ開始していない時点で、プログラムを新規バージョンと置換することができます。</p> <p>CICS は、PRIVATE オプションか SHARED オプションかに応じて、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から新規バージョンをロードするか、または LPA 常駐バージョンを使用します。PRIVATE がデフォルト設定です。</p> <p>注: NEWCOPY は、HOLD オプションで指定されたプログラム、または JVM で実行する Java プログラムには指定できません。Java プログラムをリフレッシュするには、PERFORM JVMPOOL TERMINATE コマンドを使用します。</p>
プログラム EYUSTARTPROGRAM.PHASEIN	<p>すべての新規トランザクション要求について、すぐにプログラムの新規コピーをロードします。現在実行中のすべてのトランザクションに対しては、それらが終了する (RESCOUNT がゼロと等しくなる) まで、CICS は引き続き従来のコピーを使用します。CICS は、PRIVATE オプションか SHARED オプションかに応じて、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から新規バージョンをロードするか、または LPA 常駐バージョンを使用します。PRIVATE がデフォルト設定です。</p> <p>注: PHASEIN は、HOLD オプションで指定されたプログラム、または JVM で実行する Java プログラムには指定できません。Java プログラムをリフレッシュするには、PERFORM JVMPOOL TERMINATE コマンドを使用します。</p> <p>PHASEIN は REFRESH PROGRAM 機能を実行して、プログラムの新規バージョンがカタログされていること、および指定されたプログラムのこのバージョンを今後すべての ACQUIRE 要求で使用しなければならないことを、ローダー・ドメインに通知します。</p> <p>プログラムの RESCOUNT がゼロになり、その後の ACQUIRE PROGRAM が実行されるまで、CEMT INQUIRE PROGRAM () はプログラムの最初のコピーに関する情報を戻します。</p>
プログラム EYUSTARTPROGRAM.RELEASE	LOAD コマンドで既にロードされているプログラムを解放します。その結果、発行側のタスクでは、LOAD を再度発行しない限り、リソースを使用できなくなります。
プログラム EYUSTARTPROGRAM.SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じてプログラム属性を設定します。
プログラム EYUSTARTPROGRAM.TABULAR	現在インストールされているプログラムに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 202. PROGRAM ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	プログラムを使用不可にします。
DISCARD	プログラムがインストールされている CICS システムからそのプログラムを破棄します。注: DFH という文字で始まる名前を持つプログラムは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。
ENABLE	プログラムを使用可能にします。
GET	(オプション) インストール済みプログラムを表示するプラットフォームの名前を指定します。

表 202. PROGRAM ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
NEWCOPY	<p>CICS は、プログラムがトランザクションで使用されなくなると、そのプログラムの新規コピーを使用します。(モジュールが使用中かどうか、INQUIRE PROGRAM コマンドの RESCOUNT オプションで判別できます。値ゼロは、プログラムが使用されていないことを意味します。)CICS は、単一トランザクション中、プログラムの使用が完了し、それ以降の使用がまだ開始していない時点で、プログラムを新規バージョンと置換することができます。</p> <p>CICS は、PRIVATE オプションか SHARED オプションかに応じて、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から新規バージョンをロードするか、または LPA 常駐バージョンを使用します。PRIVATE がデフォルト設定です。</p> <p>注: NEWCOPY は、HOLD オプションで指定されたプログラム、または JVM で実行する Java プログラムには指定できません。Java プログラムをリフレッシュするには、PERFORM JVMPOOL TERMINATE コマンドを使用します。</p>
PHASEIN	<p>すべての新規トランザクション要求について、すぐにプログラムの新規コピーをロードします。現在実行中のすべてのトランザクションに対しては、それらが終了する (RESCOUNT がゼロと等しくなる) まで、CICS は引き続き従来のコピーを使用します。CICS は、PRIVATE オプションか SHARED オプションかに応じて、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から新規バージョンをロードするか、または LPA 常駐バージョンを使用します。PRIVATE がデフォルト設定です。</p> <p>注: PHASEIN は、HOLD オプションで指定されたプログラム、または JVM で実行する Java プログラムには指定できません。Java プログラムをリフレッシュするには、PERFORM JVMPOOL TERMINATE コマンドを使用します。</p> <p>PHASEIN は REFRESH PROGRAM 機能を実行して、プログラムの新規バージョンがカタログされていること、および指定されたプログラムのこのバージョンを今後すべての ACQUIRE 要求で使用しなければならないことを、ローダー・ドメインに通知します。</p> <p>プログラムの RESCOUNT がゼロになり、その後の ACQUIRE PROGRAM が実行されるまで、CEMT INQUIRE PROGRAM () はプログラムの最初のコピーに関する情報を戻します。</p>
RELEASE	LOAD コマンドで既にロードされているプログラムを解放します。その結果、発行側のタスクでは、LOAD を再度発行しない限り、リソースを使用できなくなります。
SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じてプログラム属性を設定します。

フィールド

表 203. PROGRAM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
平均ロード時間	ALOADTIME	プログラム・ロード要求にかかる平均時間。
API 状況	APIST	<p>アプリケーション・プログラミング・インターフェースの制限状況を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> CICSAPI - プログラムは CICS アプリケーション・プログラミング・インターフェースの使用に制限されます。CICS は、プログラムが準再入可能 (QR) TCB で実行するか、または別の TCB で実行するかを判別します。これは、PROGRAM リソース定義の CONCURRENCY 属性の値によって決まります。プログラムがスレッド・セーフとして定義されている場合、そのとき CICS によって使用されている TCB のうち、適切であると判断される方でプログラムは実行します。 OPENAPI - プログラムは、CICS アプリケーション・プログラミング・インターフェースに制限されることはありません。CICS は、PROGRAM リソース定義の EXECKEY 属性の値に応じて、プログラム独自のオープン TCB でプログラムを実行します。CICS コマンドの実行中に CICS が QR TCB への切り替えを必要とする場合、アプリケーション・プログラムに制御を返す前にオープン TCB に戻ります。OPENAPI では、プログラムをスレッド・セーフ標準に合わせてコーディングし、CONCURRENCY(REQUIRED) で定義する必要があります。
アプリケーション名	APPLICATION	このプログラムが定義されるアプリケーションのアプリケーション名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このプログラムはエントリー・ポイントとして定義されます。

表 203. PROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
メジャー・バージョン	APPLMAJORVER	このプログラムが定義されるアプリケーションのメジャー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このプログラムはエントリー・ポイントとして定義されます。
マイクロ・バージョン	APPLMICROVER	このプログラムが定義されるアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このプログラムはエントリー・ポイントとして定義されます。
マイナー・バージョン	APPLMINORVER	このプログラムが定義されるアプリケーションのマイナー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このプログラムはエントリー・ポイントとして定義されます。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
CEDF 状況	CEDFSTATUS	プログラムの CEDF 状況。CEDF アクションが有効かどうか (CEDF または NOCEDF) を判別します。リモート・プログラム、マップ、および区画セットに対しては、値 NOTAPPLIC が返されます。 入力値: CEDF、NOCEDF
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 • DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
COBOL タイプ	COBOLTYPE	使用中の COBOL のタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • COBOL - OS/VS COBOL • COBOLII - Enterprise COBOL または VS COBOL II • NOTINIT - プログラムは COBOL プログラムとして定義されていますが、まだロードされていないためタイプを判断できません。 • NOTAPPLIC - プログラムはロード済みですが COBOL プログラムでないか、プログラムがロードされていないため COBOL プログラムとして定義されていません。

表 203. PROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
並行性オプション	CONCURRENCY	<p>プログラムの並行性属性を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • QUASIRENT - プログラムは準再入可能として定義され、CICS QR TCB でのみ実行できます。 • THREADSAFE - プログラムはスレッド・セーフとして定義され、プログラムが制御を付与されているときに使用されている方の TCB で実行できます。これはオープン TCB か CICS QR TCB のいずれかになります。プログラムはスレッド・セーフ標準に適合するようにコード化される必要があります。 • REQUIRED - プログラムはオープン TCB 上で実行する必要があります。使用するオープン TCB のタイプは、アプリケーション・プログラム・インターフェース 属性の設定とプログラムの言語によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> – Java プログラムの場合、T8、J8 または J9 が使用されます。J8 および J9 の TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。 – C または C++ XPLINK プログラムの場合、X8 または X9 が使用されます。 – COBOL、PLI、非 XPLINK の C およびアセンブラー・プログラムでは、CICSAPI が設定されている場合、TCB のキーに関係なく CICS サービスが CICS キーまたは USER キーで実行されていると、L8 TCB が常に使用されます。OPENAPI を設定した場合は、プログラムの実行キーに応じて、L8 または L9 の TCB を使用します。 <p>プログラムはスレッド・セーフ標準に適合するようにコード化される必要があります。</p>
新規コピー必要状況	COPY	プログラムの COPY 状況。プログラムの新規コピーが必要かどうかを判別します。このフィールドをサポートしていない CICS リリースでは、値 N/A が戻されます。
現行コピーの格納場所の CICS DSA	CURRENTLOC	現在ストレージ内に常駐しているプログラムのコピーがある場合、そのコピーの場所 (CDSA、LPA、ECDSA、EUDSA、ERDSA、ELPA、UDSA、ESDSA、RDSA、または SDSA)。値 NOCOPY は、現在ロードされているプログラムのコピーがないことを示します。
データ・ロケーション	DATALLOCATION	<p>プログラムが 16MB を超えるデータ・アドレスを受け入れることが可能かどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ANY - 16 MB より大きいアドレスを受け入れられます。 • BELOW - 16 MB 未満のアドレスが必要です。 • NOTAPPLIC - このオプションは選択不可です。プログラムはリモートとして定義されているか、またはマップ・セットあるいは区画セットのいずれかです。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
動的ルーティング・タイプ	DYNAMSTATUS	<p>プログラムの DYNAMIC ルーティング状況。DYNAMIC の場合、CICS 動的ルーティング出口ルーチンによって動的に経路指定できます。NOTDYNAMIC の場合、CICS 動的ルーティング出口ルーチンによって経路指定できません。</p>
プログラムの入り口点	ENTRYPOINT	<p>最後にロードされたプログラムのコピーの入り口点アドレス。</p> <p>プログラムが AMODE=31 で定義されている場合は、アドレスの高位ビット (16 進数の 80) がオンに設定されます。値 FF000000 は、現在プログラムが使用されていないか、プログラムがリモート・プログラムまたは Java 仮想マシンで稼働する Java プログラムであることを表します。</p>

表 203. PROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
プログラム実行キー	EXECKEY	<p>プログラムが実行しているアクセス・キー。</p> <ul style="list-style-type: none"> CICSEXECKEY - プログラムは CICS キーで実行され、CICS キーとユーザー・キーのストレージの両方に対する読み取り権限と書き込み権限を持ちます。 USEREXECKEY - プログラムはユーザー・キーで実行され、ユーザー・キー・ストレージへの書き込み権限を持ちますが、CICS キー・ストレージに対しては読み取り専用権限のみを持ちます。 NOTAPPLIC - このオプションは選択不可です。プログラムはリモートとして定義されているか、またはマップ・セットあるいは区画セットのいずれかです。
API サブセット制限タイプ	EXECUTIONSET	<p>ローカル CICS システムで実行されている場合、プログラムが API サブセットに制限されているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> DPLSUBSET - プログラムは、分散プログラム・リンク (DPL) 要求によってリンクされる際に適用されるのと同じ CICS API のサブセットに制限されます。 FULLAPI - プログラムは、CICS API の DPL サブセットに制限されません。全機能 API を使用できます。 NOTAPPLIC - このオプションは選択不可です。プログラムはリモートとして定義されているか、またはマップ・セットあるいは区画セットのいずれかです。 <p>入力値: DPLSUBSET、FULLAPI</p>
プログラムがストレージにロードされた回数	FETCHCNT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムのコピーが DFHRPL または LIBRARY 連結からストレージにロードされた回数。
全プログラム取り出しの合計時間	FETCHTIME	現在の CICS 統計間隔中にプログラムの全取り出しの実行にかかる合計時間。
保留状況	HOLDSTATUS	プログラムのコピーが HOLD オプション (HOLD または NOHOLD) を使用して現在ロードされているかどうかを示します。値 NOTAPPLIC は、プログラムが現在ロードされていないか、リモート・プログラムであることを表します。
ホット・プーリング状況	HOTPOOLING	HOTPOOLING オプションは廃止されました。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後にインストールされました。 AUTOINSTALL - リソースは自動インストールされました。 DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
Java 仮想マシン・クラス	JVMCLASS	これは PROGRAMJ パネルへのハイパーリンクです。このパネルは JVM クラス仕様の内容を詳述しており、仕様の変更が可能です。
Java 仮想マシン (JVM) デバッグ状況	JVMDEBUG	JVMDEBUG オプションは廃止されたので、JVMDEBUG が指定されると CICS は必ず NODEBUG を返します。
Java 仮想マシン (JVM) プロファイル名	JVMPROFILE	これは CICS TS パージョン 5 リリース 1 以降では廃止されています。JVM プロファイルの名前です。デフォルト値は DFHJVMPR です。

表 203. PROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
Java 仮想マシン (JVM) サーバー	JVMSERVER	この PROGRAM で使用される JVMSERVER リソース名。
言語	LANGUAGE	<p>プログラムが書かれている言語 (COBOL、C、PLIPL1 (PLI または PL1 を表す)、LE370、LEVSE、ASSEMBLER、JAVA)。</p> <p>リソース定義で言語が指定されていない場合には、値 NOTDEFINED が返されます。最終的にプログラムがロードされる際には言語が推論されて、この値が使用されることになります。</p> <p>リモート・プログラム、マップ、および区画セットに対しては、値 NOTAPPLIC が返されます。</p>
プログラムの長さ	LENGTH	プログラムの長さ (バイト単位)。値 0 は、現在の CICS セッションではプログラムがロードされていないことを示します。値 N_A は、リモート・プログラム、または Java 仮想マシンで稼働する Java プログラムであることを表します。
LIBRARY 名	LIBRARY	このプログラムがロードされた LIBRARY リソースの名前。プログラムがロードされていない場合、または LPASTATUS が LPA (プログラムが LPA からロードされたことを示す) の場合には、この値はブランクになります。
ロード・データ・セット名	LIBRARYDSN	このプログラムがロードされたデータ・セットの名前。プログラムがロードされていない場合、または LPASTATUS が LPA (プログラムが LPA からロードされたことを示す) の場合には、この値はブランクになります。
プログラムのロード開始点	LOADPOINT	最後にロードされたプログラムのコピーのロード・アドレス。値 FF000000 は、現在プログラムが使用されていないか、プログラムが Java 仮想マシンで稼働する Java プログラムであることを表します。
リンク・バック域 (LPA) 状況	LPASTAT	<p>最後にロードされたプログラムのコピー元を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> LPA - CICS は、リンク・バック域 (LPA) または拡張リンク・バック域 (ELPA) のバージョンを使用しました。 NOTLPA - CICS は専用バージョンを使用しました。 NOTAPPLIC - CICS はプログラムの LPA バージョンまたは専用バージョンを使用しませんでした。
発行された NEWCOPY 要求数	NEWCOPYCNT	現在の CICS 統計間隔中にこのプログラムに対して NEWCOPY 要求が発行された回数。
オペレーション名	OPERATION	このプログラムがエン트리・ポイントとして定義されるアプリケーション操作の名前。このフィールドが設定されていない場合、このプログラムはエン트리・ポイントとしては定義されませんが、引き続きアプリケーションの一部である可能性があります。
最終リセット以降の JVM プログラム使用回数	PGRJUSECOUNT	このプログラムが Java プログラムの場合、現在の CICS 統計間隔中にアクセスされた回数。
プラットフォーム名	PLATFORM	このプログラムが定義されるアプリケーションのプラットフォーム名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このプログラムはエン트리・ポイントとして定義されます。
プログラム名	PROGRAM	プログラムの名前。
プログラム・タイプ	PROGTYPE	<p>プログラムのタイプ。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> MAP - マップ・セット。 PARTITION - 区画セット。 PROGRAM - 実行可能プログラム。
リモート・システムにおけるプログラム名	REMOTENAME	リモート・システムが定義されている場合、プログラムがリモート CICS システムで認識されるための名前。このフィールドがブランクの場合、リモート・システムは定義されていません。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	このプログラムに関するリンク要求が発信されるリモート CICS システムの名前。このフィールドがブランクの場合、リモート・システムは定義されていません。
プログラム圧縮による除去回数	REMOVECNT	現在の CICS 統計間隔中に動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機能によってこのプログラムのコピーがストレージから削除された回数。

表 203. PROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在のプログラム・アクセス回数	RESCOUNT	現在生じている、このプログラムの別個の呼び出しの数。値 N/A は、リモート・プログラム、または Java 仮想マシンで稼働する Java プログラムであることを表します。
プログラムの常駐	RESIDENCY	プログラムがロードされてから、仮想ストレージに永続的に常駐するかどうかを示す、プログラムの常駐状況。
プログラム・ロード率	RLOADING	プログラムのロード率。
データ・セットのオフセット番号	RPLID	DFHRPL DD プログラム・ライブラリー連結へのオフセット。 注: 連結の最初の区分データ・セットのオフセット値はゼロで始まります。
プログラム除去率	RREMOVAL	プログラムの除去率。
実行時環境情報	RUNTIME	プログラムの実行時環境に関する情報を指定します。ユーザーは、以下の値を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> JVM - プログラムは、Java 仮想マシンで実行される Java プログラムです。 NOJVM - プログラムは、JVM 環境外の CICS アプリケーションとして実行されます。 値 NOJVM が指定されると、現在のアプリケーション状態に基づいて、以下のいずれかの報告された設定に解決されます。 <ul style="list-style-type: none"> LE370 - プログラムは、LE370 実行時サポートで実行されます。 NONLE370 - プログラムは、言語固有の実行時環境で実行されます。 UNKNOWN - プログラムが CICS によってロードされていないためプログラム環境は不明です。従って、そのソース言語を推測できません。 XPLINK - プログラムは、XPLINK オプションを使用してコンパイルされた C または C++ プログラムです。 NOTAPPLIC - モジュールがマップ・セットまたは区画セットであるため、RUNTIME は適用されません。上記の値を直接設定することはできません。これらは、NOJVM 値が指定された結果として報告されるに過ぎません。
プログラム使用率	RUSE	プログラムの使用率。
共用状況	SHARESTATUS	プログラムの共用状況。次にロードされる新規コピーが、共用バージョン (SHARED) になるか、専用バージョン (PRIVATE) になるかを決定します。リモート・プログラム、または Java 仮想マシンで稼働する Java プログラムに対しては、値 NOTAPPLIC が返されます。 入力値: SHARED、PRIVATE
使用可能状況	STATUS	プログラムの使用可能状況。プログラムを使用できるかどうかを示します。 入力値: ENABLED、DISABLED
リモート接続に対するミラー・トランザクション名	TRANSID	プログラムがリモートまたは動的として定義される場合にリモート・システムが接続するサーバー・トランザクション名。このフィールドがブランクの場合には、プログラムはリモートとして定義されていません。
最終リセット以降のプログラム使用回数	USEAGELSTAT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムへのアクセスが要求された回数。
プログラムの合計実行回数	USECOUNT	現在の CICS セッションでプログラムが実行された合計回数。CICS TS 3.2 以降の領域の場合、このフィールドには Java プログラムおよび他のタイプのプログラムの使用回数が表示されます。それより前の領域の場合、Java プログラムではこのフィールドに使用回数は表示されません。リモート・プログラムでは N/A という値が戻されます。
フェッチ当たりのプログラムの平均使用回数	USEFETCH	フェッチ当たりのプログラムの平均使用回数。

DFHRPL を含む LIBRARY - LIBRARY

「**LIBRARY**」(LIBRARY) ビューには、現在インストールされている LIBRARY についての情報が表示されます。LIBRARY は、アプリケーションやアプリケーションのグループを構成するプログラム・エンティティ

ーを含む PDS/PDSE または連結された PDS/PDSE のシーケンスを表しますが、実際の内容はシステム・プログラマーによって決定されます。DFHRPL は LIBRARY の特殊な例で、実行中の CICS システム内で更新することはできません。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「プログラム操作ビュー」 > 「LIBRARY、DFHRPL を含む」

表 204. 提供された「LIBRARY」(LIBRARY) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.DETAILED	選択された LIBRARY についての詳細情報。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.DISABLE	LIBRARY を無効にします。無効にした場合、LIBRARY は LIBRARY 検索順序に含まれなくなります。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索しません。注: 指定された DFHRPL の LIBRARY を使用不可にしたり、破棄したりすることはできません。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.DISCARD	LIBRARY をインストール先の CICS システムから破棄します。LIBRARY は、破棄する前に無効にする必要があります。注: 指定された DFHRPL の LIBRARY を使用不可にしたり、破棄したりすることはできません。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.ENABLE	LIBRARY を有効にします。有効にした場合、LIBRARY は LIBRARY 検索順序に含まれるようになります。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索します。注: ENABLE が失敗すると、LIBRARY は使用不可のままになります。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って LIBRARY 属性を設定します。
LIBRARY EYUSTARTLIBRARY.TABULAR	現在インストールされている LIBRARY についての表形式の情報。

アクション

表 205. LIBRARY ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	LIBRARY を無効にします。無効にした場合、LIBRARY は LIBRARY 検索順序に含まれなくなります。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索しません。注: 指定された DFHRPL の LIBRARY を使用不可にしたり、破棄したりすることはできません。
DISCARD	LIBRARY をインストール先の CICS システムから破棄します。LIBRARY は、破棄する前に無効にする必要があります。注: 指定された DFHRPL の LIBRARY を使用不可にしたり、破棄したりすることはできません。
ENABLE	LIBRARY を有効にします。有効にした場合、LIBRARY は LIBRARY 検索順序に含まれるようになります。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索します。注: ENABLE が失敗すると、LIBRARY は使用不可のままになります。
GET	(オプション) インストール済みライブラリーを表示するプラットフォームの名前を指定します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って LIBRARY 属性を設定します。

フィールド

表 206. LIBRARY ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後に変更されました。これは、静的 DFHRPL ライブラリーに適用されます。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
クリティカル状況	CRITSTATUS	<p>LIBRARY が CICS の始動にとって重要かどうかを指定します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CRITICAL <ul style="list-style-type: none"> – LIBRARY は CICS を始動するために重要です。CICS の始動時に何らかの理由で LIBRARY を正常にインストールできない場合、「GO or CANCEL」メッセージが出されます。これによりオペレーターは、クリティカル値を無効にして CICS に始動を許可するかどうかを決定できます。CICS が続行を許可される場合、ストレージ不足条件などによってインストールが不可能になっているのであれば、LIBRARY は「使用不可」状態でインストールされます。応答が始動を続行することである場合、LIBRARY は NONCRITICAL として再カタログされません。そのため、LIBRARY を今後 CRITICAL とみなさないことにする場合、クリティカル状況を明示的に NONCRITICAL に設定する必要があります。 • NONCRITICAL <ul style="list-style-type: none"> – LIBRARY は CICS の始動にとって重要ではありません。CICS の始動時に LIBRARY を正常にインストールできない場合、LIBRARY はインストール済みだが使用不可の状態のままになり、警告メッセージが出されます。しかし、CICS の始動は続行します。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。

表 206. LIBRARY ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>LIBRARY が全体的な LIBRARY 検索順序に含まれるかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – この LIBRARY は、LIBRARY 検索順序に含まれていません。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索しません。 • DISABLING <ul style="list-style-type: none"> – LIBRARY を無効にする要求が受信されましたが、まだ処理中です。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – この LIBRARY は、LIBRARY 検索順序に含まれます。この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索します。 • ENABLING <ul style="list-style-type: none"> – LIBRARY を有効にする要求が受信されましたが、まだ処理中です。 • DISCARDING <ul style="list-style-type: none"> – CICS システムから LIBRARY を破棄する要求が受信されましたが、まだ処理中です。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムにより最後にインストールされました。これは、静的 DFHRPL ライブラリーに適用されます。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
LIBRARY 名	NAME	LIBRARY の名前。
DSNAME 数	NUMDSNAMES	LIBRARY 連結内のデータ・セットの数。動的に定義された LIBRARY の場合、これは非ブランクの DSNAMExx 値の数になり、16 より大きい値にすることはできません。静的に定義された DFHRPL の場合、これは連結内のデータ・セットの数になり、16 より大きい値にすることができます。
プログラム・ロード回数	PGMLOADCNT	この LIBRARY 内のデータ・セットからプログラムがロードされた回数。

表 206. LIBRARY ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ランキング	RANKING	<p>この LIBRARY が有効となっている場合、全体的な検索順序のどの位置に配置されるのかを決定する数。数が小さい場合、ロードするプログラムを探すとき、ランキング番号が大きい他の LIBRARY リソースの前にこの LIBRARY が検索されることを示します。ランキングは、重複値を許可するという点では異なるものの、LIBRARY 連結内のデータ・セットの連結番号にいくらか類似していると見なすことができます。RANKING は 1 から 99 の範囲の値をとり、デフォルトは 50 です。値 10 は DFHRPL (静的 LIBRARY) のために予約されており、指定できません。</p> <p>1 つ以上のデータ・セットでこの LIBRARY に離散的なアプリケーションが含まれる場合、他の LIBRARY リソースと比べたこの LIBRARY のランキングは通常は重要ではなく、デフォルトのランキング値を受け入れることができます。ただし、この LIBRARY に、別の LIBRARY にも現れるプログラム成果物を置き換えるために必要なプログラム成果物が含まれる場合は例外となります。その場合、プログラム成果物がこの LIBRARY からロードされるように、この LIBRARY のランキングを他の LIBRARY のランキングより小さい値にする必要があります。</p> <p>DFHRPL 連結には、事前定義されたランキングである 10 が割り当てられます。この値は変更できません。これにより、動的に定義された LIBRARY リソースに 10 より小さいランキング値を指定すれば、その LIBRARY リソースを全体的な検索順序で DFHRPL 連結より前に配置することができます。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> LIBRARY リソースを検索順序で DFHRPL より前に配置するランキングにすることは、一時的な状態であるとは見なす必要があります。 事前定義された DFHRPL ランキングの 10 は、検索順序で LIBRARY リソースの配置が DFHRPL より前にならないようにすることを意図していますが、LIBRARY リソース自体の間のランキングが重要でない場合には、DFHRPL の前に配置できる LIBRARY リソースの総数は制限されません。ランキングが 10 より小さい場合、可能であれば、この LIBRARY が検索順序で DFHRPL より前に現れることをユーザーに通知するメッセージを表示します。 ランキングが 10 より小さい場合、プログラムが最初にロードされるか、NEWCOPY または PHASEIN 要求が発行されて、プログラムが DFHRPL より優先されて動的 LIBRARY からロードされるまで、そのランキングは有効になりません。ただし、プログラムが DFHRPL 連結内にある場合に限ります。連結内にない場合には、10 より小さいランキングを使用する理由はありません。
検索位置	SEARCHPOS	<p>全体的な LIBRARY 検索順序内における、この LIBRARY の現在の絶対位置。検索順序内の最初の LIBRARY は SEARCHPOS が 1、次の LIBRARY は SEARCHPOS が 2 となります。SEARCHPOS はランキングと同じではありませんが、その値はシステム内の様々な LIBRARY リソースの相対的なランキングの値により決定されます。LIBRARY が無効にされている場合、SEARCHPOS は 0 となり、その LIBRARY が検索全体に関与しないことが示されます。</p>

LIBRARY データ・セット名 - LIBDSN

「LIBRARY データ・セット名」(LIBDSN) ビューには、現在インストールされている LIBRARY リソースに含まれているデータ・セットについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「プログラム操作ビュー」 > 「LIBRARY データ・セット名」

表 207. 提供された「 LIBRARY データ・セット名 」(LIBDSN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LIBRARY データ・セット名 EYUSTARTLIBDSN.DETAILED	選択された LIBRARY データ・セット名についての詳細情報。
LIBRARY データ・セット名 EYUSTARTLIBDSN.TABULAR	現在インストールされている LIBRARY データ・セット名についての表形式の情報。

アクション

表 208. LIBDSN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
GET	(オプション) インストール済みライブラリーを表示するプラットフォームの名前を指定します。

フィールド

表 209. LIBDSN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
データ・セット名	DSNAME	LIBRARY 連結内のデータ・セットの名前。LIBRARY が動的に定義された LIBRARY の場合、この名前は LIBRARY 定義で指定されたデータ・セットになります。LIBRARY が静的に定義された DFHRPL の場合、この名前は CICS 始動 JCL 中で DFHRPL 連結に定義されたデータ・セットになります。
データ・セット検索列挙子	DSNSEARCHPOS	データ・セットの全体的な LIBRARY データ・セットの検索順序内での相対位置を表示します。 この値は、データ・セットの LIBRARY の SEARCHPOS と、データ・セットの DSNUM を組み合わせることによって獲得されます。LIBRARY が無効にされている場合、LIBRARY の SEARCHPOS は 0 となり、その LIBRARY が全体的な検索順序に含まれないことが示されます。その場合、このフィールドは N/A に設定されます。 この値の計算方法に起因して、検索される最初のデータ・セットは、データ・セット検索列挙子が 1 ではなく 1001 になります。
LIBRARY データ・セット番号	DSNUM	LIBRARY 定義内のデータ・セットの番号。DFHRPL の場合、1 から始まり、DFHRPL 連結の先頭からのデータ・セットの相対的オフセットから派生する番号になります。DFHRPL 以外の LIBRARY の場合、この番号は、データ・セットが定義された番号になります。そのため、データ・セットが連続的に定義されていない場合は、この番号は連番にはなりません。
LIBRARY 名	LIBRARY	連結内でこのデータ・セットを含む LIBRARY の名前。
検索位置	SEARCHPOS	全体的な LIBRARY 検索順序内における、このデータ・セットの LIBRARY の現在の絶対位置。検索順序内の最初の LIBRARY は SEARCHPOS が 1、次の LIBRARY は SEARCHPOS が 2 となります。SEARCHPOS はランキン グと同じではありませんが、その値はシステム内の様々な LIBRARY リ ソースの相対的なランキングの値により決定されます。LIBRARY が無効に されている場合、SEARCHPOS は 0 となり、その LIBRARY が全体的な検 索順序に含まれないことが示されます。

静的 DFHRPL データ・セット名 - RPLLIST

「静的 DFHRPL データ・セット」(RPLLIST) ビューには、開始 JCL の CICS システムごとに DFHRPL DDNAME に連結された再配置可能プログラム・ライブラリー・データ・セットについての情報が表示されます。データ・セットは、DFHRPL DDNAME に表示される順序でリストされます。

RPLLIST ビューを使用すると、ロード済みプログラムが CICS 開始 JCL の静的 DFHRPL 連結にあれば、そのソース・データ・セットを判別できます。ロード・ライブラリーの動的定義に LIBRARY リソースが使用されている場合はプログラムが DFHRPL にない可能性があります。その場合は、LIBRARY または PROGRAM ビューを使用してロード済みプログラムのソース・データ・セットを判別します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「プログラム操作ビュー」 > 「静的 DFHRPL データ・セット名」

表 210. 提供された「静的 DFHRPL データ・セット」(RPLLIST) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
静的 DFHRPL データ・セット EYUSTRARPLLIST.DETAILED	選択した静的 RPL データ・セット位置内の静的 RPL データ・セットに関する詳細情報
静的 DFHRPL データ・セット EYUSTRARPLLIST.TABULAR	静的 DFHRPL データ・セットに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 211. RPLLIST ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
静的 RPL データ・セット名	DSNAME	データ・セットの名前。
静的 RPL データ・セット位置	RPLNUM	静的 DFHRPL 連結内のデータ・セットの位置。

タスク操作ビュー

「タスク操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の実行中のタスクに関する情報が表示されます。

アクティブ・タスク - TASK

「アクティブ・タスク」(TASK) ビューには、現在実行中のタスクについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「タスク操作ビュー (Task operations views)」 > 「アクティブ・タスク (Active tasks)」

表 212. 提供された「アクティブ・タスク」(TASK) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
アクティブ・タスク EYUSTRATASK.DETAIL1	選択したタスクの ID 詳細
アクティブ・タスク EYUSTRATASK.DETAIL10	選択したタスクに関するチャネル使用情報
アクティブ・タスク EYUSTRATASK.DETAIL11	タスク関連データ
アクティブ・タスク EYUSTRATASK.DETAIL2	選択したタスクに関するクロックおよびタイミングの情報
アクティブ・タスク EYUSTRATASK.DETAIL3	選択したタスクに関する設定情報

表 212. 提供された「アクティブ・タスク」(TASK) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL4	選択したタスクに関する要求数情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL5	選択したタスクに関する通信要求情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL6	選択したタスクに関するストレージ使用情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL7	選択したタスクに関する TCP/IP 使用情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL8	選択したタスクに関する CICS BTS 要求情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAIL9	選択したタスクに関する CPU および TCB の情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.DETAILED	選択したタスクに関する詳細一般情報
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.PURGE	タスクをページします。(即時に異常終了させます)
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
アクティブ・タスク EYUSTARTTASK.TABULAR	現在実行中のタスクに関するテーブル形式の情報

アクション

表 213. TASK ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
FORCEPURGE	システムまたはデータ 保全性が維持されるかどうかに関係なく、CICS にタスクを即時強制ページさせます。
GET	MAXTASKS または TRANCLASS MAXACTIVE に対してキューに入れられたタスクを表示に含める (YES) または除外する (NO) を示します。このパラメーターが指定されていない場合、キューに入れられたタスクは含められます。
KILL	ページまたは強制ページを使用してタスクを取り消すことができない場合、CICS にタスクを即時強制ページさせます。
PURGE	タスクをページします。(即時に異常終了させます)
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 214. TASK ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行 ABEND コード	ABCODEC	現行異常終了コードの ID。
オリジナル ABEND コード	ABCODEO	オリジナル異常終了コードの名前。
初期アプリケーション名	ACAPPLNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションの名前。
初期アプリケーション・メジャー・バージョン	ACMAJORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのメジャー・バージョン。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
初期アプリケーション・マイクロ・バージョン	ACMICROVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイクロ・バージョン。
初期アプリケーション・マイナー・バージョン	ACMINORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイナー・バージョン。
初期アプリケーション操作	ACOPERNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションが実行している操作。
初期プラットフォーム	ACPLATNAME	このタスクに関連付けられている初期のプラットフォームの名前。
BTS 活動 ID	ACTVTYID	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動 ID。
BTS 活動名	ACTVTYNM	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動名。
ALLOCATE 要求数	ALLOCATES	このタスクによって発行された割り振り要求の数。
アプリケーション名 - プログラム	APPLNAMEPROG	アプリケーション・ネーミング・プログラム名。
アプリケーション名 - トランザクション	APPLNAMETRAN	アプリケーション・ネーミング・トランザクション名。
EXEC CICS FREE CHILD コマンド数	ASFREETCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FREE CHILD コマンドの数。
EXEC CICS FETCH コマンド数	ASFTCHCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FETCH コマンドの数。
EXEC CICS FETCH 待ち時間	ASFTCHWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> EXEC CICS FETCH CHILD コマンドの発行によってユーザー・タスクが子タスクを待機した時間。 完了していない子タスクのために EXEC CICS FETCH API の中断が必要になった回数。
EXEC CICS RUN TRANSID 遅延時間	ASRNATWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した時間。 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した回数。
EXEC CICS RUN TRANSID コマンド数	ASRUNCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS RUN TRANSID コマンドの数。
非同期 API コマンド数	ASTOTCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS 非同期 API コマンドの総数。
タスク接続時間	ATTACHTIME	タスクが接続された日時。これは現地時間で表示されます。
BTS 活動データ・コンテナ要求数	BAACDCCT	このタスクによって発行された活動データ・コンテナ要求の数。
BTS 獲得要求数	BAACQPCT	このタスクによって発行された CICS Business Transaction Server (BTS) プロセス/活動獲得要求の数。
BTS 活動定義要求数	BADACTCT	このタスクによって発行された活動定義要求の数。
BTS 活動削除および取り消し要求数	BADCPACT	このタスクによって発行された活動削除、およびプロセス/活動取り消し要求の数。
BTS 入力定義イベント要求数	BADFIECT	このタスクによって発行された入力定義イベント要求の数。
BTS プロセス定義要求数	BADPROCT	このタスクによって発行されたプロセス定義要求の数。
BTS リンク要求数	BALKPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動リンク要求の数。
BTS プロセス・データ・コンテナ要求数	BAPRDCCT	このタスクによって発行されたプロセス・データ・コンテナ要求の数。
BTS 実行非同期要求数	BARASYCT	このタスクによって非同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
BTS 再接続検索イベント要求数	BARATECT	このタスクによって発行された再接続検索イベント要求の数。
BTS 再開要求数	BARMPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動再開要求の数。
BTS リセット要求数	BARSPACT	このタスクによって発行された ACQprocess/活動リセット要求の数。
BTS 実行同期要求数	BARSYNCT	このタスクによって同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。
BTS 一時停止要求	BASUPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動中断要求の数。
BTS タイマー関連イベント要求数	BATIAECT	このタスクによって発行されたタイマー関連イベント要求の数。このフィールドには次が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • DEFINE TIMER EVENT • CHECK TIMER EVENT • DELETE TIMER EVENT • FORCE TIMER EVENT
BTS 合計データ・コンテナ要求数	BATOTCCT	このタスクによって発行されたデータ・コンテナ要求の合計数。
BTS 合計イベント要求数	BATOTECT	このタスクによって発行されたイベント要求の合計数。
BTS 合計要求数	BATOTPCT	このタスクによって発行されたプロセス/活動要求の合計数。
合計 BMS 要求数	BMSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された端末管理、基本マッピング・サポート (BMS) 要求の数 (MAP、IN、および OUT 要求を含む)。
BMS マップイン要求数	BMSINCNT	このタスクによる BMS マップイン要求の数。
BMS マップ要求数	BMSMAPCNT	このタスクによる BMS マップ要求数。
BMS マップアウト要求数	BMSOUTCNT	このタスクによる BMS マップアウト要求の数。
ブリッジにより開始されたトランザクション ID	BRDGTRAN	このトランザクションが 3270 ブリッジ機能によって開始されたかどうかを示します。CICS モニターがオンになっていない場合、フィールドには使用不可であることが示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • YES - タスクは 3270 ブリッジによって開始されました。 • NO - タスクは 3270 ブリッジによって開始されていません。
ブリッジ・トランザクション ID	BRIDGE	3270 ブリッジによって開始された現在のタスクのオリジナル・トランザクション ID。
3270 ブリッジ機能トークン	BRTOKEN	8 バイトのブリッジ機能トークン。
ワークロード・マネージャー開始 - 終了段階の完了	BTECOMP	ワークロード・マネージャーの開始から終了までの段階の完了。
CDSA における GETMAIN 要求数	CDSAGETM	CDSA GETMAIN 要求の総数。
CDSA における最大プログラム・ストレージ	CDSAPSHWM	CDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
CDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	CDSASHWM	CDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
平均 CDSA ストレージ使用量	CDSASOCC	CDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
CEC マシン・タイプ	CECMCHTP	CEC マシン・タイプ番号 (EBCDIC)。
CEC 型式番号	CECMDLID	CEC 型式識別番号 (EBCDIC)。
CFDT 待ち時間	CFDTWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • タスクが CFDT ファイル入出力を待機した経過時間。 • タスクが CFDT ファイル入出力を待機した回数。
1 次 TC 受信文字数	CHARIN	受信した 1 次端末管理文字の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
2 次 TC 受信文字数	CHARINSEC	受信した 2 次端末管理文字の数。
1 次 TC 送信文字数	CHAROUT	送信された 1 次端末管理文字の数。
2 次 TC 送信文字数	CHAROUTSEC	送信された 2 次端末管理文字の数。
CICS ディスパッチャーの変更モード数	CHMODECT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 変更モード要求の数。
CICS イベント待ち時間	CICSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS イベント待ち時間の合計。 タスクがイベントを待機した回数。
クライアント IP アドレス	CLIPADDR	このタスクを開始したクライアントの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
コマンド・レベル・セキュリティ状況	CMDSEC	コマンド・レベル・セキュリティ検査がこのタスクに有効かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> CMDSECNO - コマンド・セキュリティ検査は無効です。 CMDSECYES - コマンド・セキュリティ検査を実行中です。
放棄制御待ち時間	CONTROLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが制御を他のトランザクションに引き渡した後に待機に費やした経過時間。 タスクが他のトランザクションに対する制御を中止した結果として待機した回数。
相関 UOW ID	CORREUOW	相関作業単位 ID。
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクによって使用された CPU 時間。 このタスクがディスパッチされた回数。 注: このタスクのディスパッチ状況が RUNNING の場合、ユーザー・タスク CPU 時間およびタスク・ディスパッチ・カウントは、このディスパッチが終了するまで集計されません。
CP での合計 CPU 時間	CPUTONCP	標準 CP でのタスク CPU 時間の合計
実行する現行プログラム	CURRENTPROG	現在実行しているプログラムの名前。
現在のタスク数	CURTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での現行タスク数の値。
DB2 接続 (TCB) 待ち時間	DB2CONWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 接続が完了するのを待機するために費やした時間。 タスクが DB2 接続を待機した回数。
DB2 計画名	DB2PLAN	このタスクに関連した DB2 計画。
DB2 ReadyQ 待ち時間	DB2RDYQW	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 作動可能キューで待機するために費やした時間。 タスクが DB2 作動可能キューで待機した回数。
合計 DB2 要求数	DB2REQCT	このタスクによって発行された DB2 データベース要求 (SQL および IFI) の数。
DB2 要求待ち時間	DB2WAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DB2 データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 DB2 データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
トランザクション・タイプ詳細	DETTRANATYPE	トランザクション・タイプの詳細。有効な値は次のとおりです。 BRIDGE、CICSBTS、DPL、MIRROR、NONE、ONCRPC、SYSTEM、WEB。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスクに割り振られている現在のコンテナ・ストレージ。	DFHCHNL329	このタスクに割り振られた現在のコンテナ・ストレージ。
非永続ソケット	DFH SOCK292	このタスクに関連した非永続ソケットの現在の数。
永続ソケット	DFH SOCK293	このタスクに関連した永続ソケットの現在の数。
タスク・ストレージ UD SA	DFHSTOR033	タスクの UD SA ストレージ。
プログラム・ストレージ - 合計	DFHSTOR087	プログラム・ストレージ合計。
タスク・ストレージ EUD SA	DFHSTOR106	タスクの EUD SA ストレージ。
プログラム・ストレージ - 下位	DFHSTOR108	16 MB 境界より下のプログラム・ストレージ。
タスク・ストレージ CDS A	DFHSTOR116	タスクの CDS A ストレージ。
タスク・ストレージ ECDS A	DFHSTOR119	タスクの ECDS A ストレージ。
プログラム・ストレージ - ERDS A	DFHSTOR122	プログラムの ERDS A ストレージ。
プログラム・ストレージ - 上位	DFHSTOR139	16 MB 境界より上のプログラム・ストレージ。
プログラム・ストレージ - ECDS A	DFHSTOR142	プログラムの ECDS A ストレージ。
プログラム・ストレージ - CDS A	DFHSTOR143	プログラムの CDS A ストレージ。
プログラム・ストレージ - SDS A	DFHSTOR160	プログラムの SDS A ストレージ。
プログラム・ストレージ - ESD SA	DFHSTOR161	プログラムの ESD SA ストレージ。
プログラム・ストレージ - RDS A	DFHSTOR162	プログラムの RDS A ストレージ。
タスク・ストレージ - GCDS A	DFHSTOR442	タスクの GCDS A ストレージ。
タスク・ストレージ - GUD SA	DFHSTOR444	タスクの GUD SA ストレージ。
現在の CICS ディスパッチャー TCB 数	DFHTASK252	CICS ディスパッチャー TCB の現在の数。
文書作成要求数	DHCRECT	このタスクによって発行された文書作成要求の数。
文書挿入要求数	DHINSCT	このタスクによって発行された文書挿入要求の数。
文書検索要求数	DHRETCT	このタスクによって発行された文書検索要求の数。
文書設定要求数	DHSETCT	このタスクによって発行された文書設定要求の数。
合計文書要求数	DHTOTCT	このタスクによって発行された文書処理要求の合計数。
作成された文書の全長	DHTOTDCL	このタスクによって作成された文書の長さの合計。
ユーザー・タスク・ディスパッチ時刻	DISPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクがディスパッチされてからの経過時間。 このタスクがディスパッチされた回数。
ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間	DSAPTHWT	CICS ディスパッチャーが pthread を割り振るのをこのタスクが待機した合計時間。
初回ディスパッチ遅延時間	DSPDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のディスパッチを待機する経過時間。この時間には、MAXT または TRANCLASS 限界を待機する時間が含まれます。 最初のディスパッチにおける遅延数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
動的トランザクション・バックアウト・オプション	DTB	<p>タスクが失敗する場合に、このタスクによってリカバリー可能リソースに対してアンコミットされた変更がどのように処理されるかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTSUPPORTED - この属性はサポートされません。 • BACKOUT - 変更はバックアウトされています。 • COMMIT - 変更はコミットされます。 • WAIT - 変更は待ち状態になります。
デッドロック・タイムアウト (秒)	DTIMEOUT	デッドロック・タイムアウト間隔 (秒数) を示します。CICS は、ロックされたリソースについてそのデッドロック・タイムアウト値を超えて待機するタスクを異常終了します。
トランザクション・ダンプ・オプション	DUMPING	<p>タスクが異常終了する場合に、トランザクション・ダンプが取られるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTRANDUMP - トランザクション・ダンプは取られません。 • TRANDUMP - トランザクション・ダンプは取られます。
ECDSA における GETMAIN 要求数	ECDSAGETM	ECDSA GETMAIN 要求の総数。
ECDSA における最大プログラム・ストレージ	ECDSAPSHWM	ECDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
ECDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	ECDSASHWM	ECDSA のこのトランザクションで使用されるピーク・バイト数。
平均 ECDSA ストレージ使用量	ECDSASOCC	ECDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
遅延時間 ENQ	ENQDELAY	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク制御エンキューを待機した経過時間。 • このタスクがタスク制御エンキューを待機した回数。
ワークロード・マネージャー実行段階の完了	EXECOMP	ワークロード・マネージャー実行段階の完了。
外部待ち時間	EXTERNWAIT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CICS の外部にあるリソースを待機するために費やした経過時間。 • タスクが CICS の外部にあるリソースを待機した回数。 <p>こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。</p>
例外待ち時間	EXWAIT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスクが例外条件で待機した合計経過時間。 • タスクが例外条件で待機した回数。
基本機能	FACILITY	機能が一時データ・キュー、端末、またはシステムの場合、このタスクの起動に関連付けられた機能の名前。タスクが別の方法で開始された場合は、機能の値はブランクになります。FACILITYTYPE フィールドにタスクを開始させた機能のタイプが表示されるため、どの FACILITY を使用したかがわかります。
機能タイプ	FACILITYTYPE	<p>このタスクを開始した機能のタイプ。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DEST - CICS は、トリガー・レベルに達していた一時データ・キューを処理するためにタスクを開始しました。 • TASK - 別のタスクが端末を指定しない START コマンドを使用してタスクを開始したか、CICS がタスクを内部的に作成したかのいずれかです。 • TERM - 非送信請求入力を処理するためにタスクが開始されたか、タスクが別のタスクによって TERMID オプションを含む START コマンドで開始されたかのいずれかです。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ファイル制御 WRITE 要求数	FCADDCNT	このタスクによって発行されたファイル制御追加/新規レコードの書き込み要求の合計数。
ファイル制御アクセス方式要求数	FCAMCNT	CICS ファイル制御によってこのタスクについて発行されたアクセス方式 (VSAM または BDAM) 要求の合計数。
ファイル制御ブラウズ要求数	FCBRWCNT	このタスクによって発行されたファイル制御 getnext および getprevious 要求の合計数。
合計ファイル制御要求数	FCCOUNT	このユーザー・タスクによって発行されたファイル制御要求の数 (OPEN、CLOSE、ENABLE、および DISABLE 要求を除く)。
ファイル制御 DELETE 要求数	FCDELCNT	このタスクによって発行されたファイル制御削除要求の合計数。
ファイル制御 READ 要求数	FCGETCNT	このタスクによって発行されたファイル制御取得/読み取り要求の合計数。
ファイル制御入出力待ち時間	FCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理の入出力待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御入出力を待機した回数。
ファイル制御 REWRITE 要求数	FCPUTCNT	このタスクによって発行されたファイル制御プット/書き込み要求の合計数。
ファイル制御 VSAM ストリング待ち時間	FCVSWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理 VSAM ストリング待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御 VSAM ストリングを待機した回数。タスクがストリングを待機している場合、VSAM ストリングの数を増やすことを検討してください。
ファイル制御の排他制御の待ち時間	FCXCWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル制御の排他制御待ち時間の合計。 このタスクが制御インターバルの排他制御を待機した回数。
最初のプログラム名	FIRSTPRGM	タスク接続時間に起動される最初のプログラムの名前。
GCDSA における GETMAIN 要求数	GCDSAGETM	GCDSA GETMAIN 要求の総数。
GCDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4K ページ数)	GCDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上で CICS 動的ストレージ域 (GCDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
グローバル ENQ 遅延時間	GNQDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> グローバル・エンキューを待機してこのタスクが費やした時間。 このタスクがグローバル ENQ を待機した回数。
GUDSA における GETMAIN 要求数	GUDSAGETM	GUDSA GETMAIN 要求の総数。
GUDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4K ページ数)	GUDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上でユーザー動的ストレージ域 (GUDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
間隔制御開始数	ICCOUNT	このタスクが発行したインターバル制御の START 要求または INITIATE 要求の数。これには、EXEC CICS START transid コマンドで開始されたトランザクションの数、自動トランザクション開始の数、および内部的に発行されたインターバル制御開始の数が含まれます。
ブリッジ出口ルーチンで提供されるユーザー・データ	IDENT	この CICS タスクを 3270 ブリッジからの入力に関連付けるために使用される、3270 ブリッジによって提供された ID。
合計 IMS 要求数	IMSREQCT	このタスクによって発行された IMS データベース要求の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
IMS 要求待ち時間	IMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> IMS データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 IMS データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。
トランザクション未確定オプション	INDOUBT	CICS 領域が 2 フェーズ・コミット処理中にコーディネーターとの接続に失敗するかまたはそれを失い、UOW が未確定状態に入ったときにとられるアクションを示します。「待機オプション」フィールドで WAIT が指定された場合、待機時間の有効期限が切れるまで、このフィールドは無効です。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> BACKOUT - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はバックアウトされ、リソースは UOW の開始前の状態に戻されます。 COMMIT - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はコミットされ、実行中の UOW には完了というマークが付けられます。
リカバリー・マネージャー UOW 未確定の障害	INDOUBTFAIL	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
未確定時間 (分)	INDOUBTMINS	未確定期間中の障害が発生してから、タスクが「未確定オプション」フィールドで示されたアクション (COMMIT または BACKOUT) をとるまでの時間の長さ (分単位)。
未確定待機オプション	INDOUBTWAIT	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
間隔制御要求数	INTVLC	ユーザー・タスクによってインターバル制御機能 START、CANCEL、DELAY、および RETRIEVE の要求が発行された回数。
間隔制御遅延時間	INTVLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> インターバル制御機能遅延時間の合計。 タスクがインターバル制御サービスの結果として待機した回数。
タスクに関連付けられる IP 機能の数	IPFACCNT	このタスクに現在関連付けられている IP 機能の数。
領域内通信入出力待ち時間	IRIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 領域内通信入出力の合計待機時間。 このタスクが領域内通信入出力を待機した回数。
IPIC セッション割り振り待ちの遅延時間	ISALWTT	このタスクが IPIC セッションの割り振りを待機するために費やした時間。
データ分離タイプ	ISOLATEST	ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージが他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ISOLATE - ストレージは分離されます。 NOISOLATE - ストレージは分離されません。
J8 TCB モードの CPU 時間	J8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが J8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
ジャーナル管理入出力待ち時間	JCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ジャーナル管理の入出力待ち時間の合計。 このタスクがジャーナル管理入出力を待機した回数。
ジャーナル出力要求数	JCUSRWCNT	このタスクによって発行された WEB サービス起動要求の数。
ジャーナル書き込み要求数	JRNLRWITREQ	このタスクによって発行されたジャーナル書き込み要求の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
合計 JVM 中断時間	JVMSUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが中断されて CICS に戻された経過時間。 Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが CICS に戻って一時停止した回数。
合計 JVM 経過時間	JVMTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行するのに費やした経過時間。一時停止の時間を含みます (JVM 一時停止時間を参照)。 このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行された回数。
L8 TCB モードの CPU 時間	L8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが L8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは、プログラムが DB2 要求を発行する際に CONCURRENCY=THREADSAFE になるように定義されたプログラムによって使用されます。
ロック・マネージャー待ち時間	LOCKMGRWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した経過時間。 ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した回数。 ユーザー・タスクが明示的にリソースのロックを獲得することはできませんが、多くの CICS モジュールは、CICS ロック・マネージャー (LM) ドメインを使用することにより、ユーザー・タスクに代わってリソースをロックします。
CICS ロガー書き込み要求数	LOGGRWRITREQ	このタスクによって発行された CICS ロガー書き込み要求の数。
論理区画名	LPARNAME	論理区画名 (EBCDIC)。
LU6.1 入出力待ち時間	LU61WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.1 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.1 入出力を待機した回数。
LU6.2 入出力待ち時間	LU62WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.2 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.2 入出力を待機した回数。
VTAM LU 名	LUNAME	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。パフォーマンス・モニターが非アクティブの場合は、ブランクが返されます。
最大タスク数	MAXTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での最大タスク数の値。
ポリシー・タスク規則に基づいて起動されたアクションの数	MPPRTXCD	ポリシー・タスク・ルールによってトリガーされたアクション (メッセージ、イベント、異常終了) の数。
ポリシー・システム規則に基づいて起動されたアクションの数	MPSRACT	ポリシー・システム規則が「真」と評価され、アクションをトリガーした回数。
ポリシー・システム規則の評価回数	MPSRECT	ポリシー・システム・ルールが評価された回数。
他の TCB モードの CPU 時間	MSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでディスパッチされた時にこのタスクが使用した CPU 時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
他の TCB モード・ディスパッチ時間	MSDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされるのに費やした時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
1 次 TC メッセージ受信数	MSGIN	受信した 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC メッセージ受信数	MSGINSEC	受信した 2 次端末管理メッセージの数。
1 次 TC メッセージ送信数	MSGOUT	送信された 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC メッセージ送信数	MSGOUTSEC	送信された 2 次端末管理メッセージの数。
MXT 限度による初回ディスパッチ遅延時間	MXTDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達しているために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。
オープン TCB における最大遅延時間	MXTOTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクが使用できない場合も含む)。 タスクが MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機した回数 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクで使用できなかったものを含む)。
指定カウンターの取得要求数	NCGETCNT	指定カウンターの取得要求数
発信システム・ネット名	NETNAME	発信システムのネットワーク名。
UOW のネットワーク ID	NETUOWID	作業単位のネットワーク ID。
発信アプリケーション ID	OAPPLID	この処理要求 (トランザクション) が発生した CICS 領域 (例えば CWXN タスクが実行された領域) のアプリケーション ID
発信クライアント IP アドレス	OCLIPADR	発信クライアント (または Telnet クライアント) の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
発信クライアント・ポート番号	OCLIPORT	発信クライアント (または Telnet クライアント) の TCP/IP ポート番号。
発信機能名	OFCTYNME	発信トランザクションの機能名。発信トランザクションが機能と関連付けられていない場合、このフィールドはヌルとなります。トランザクション機能タイプ (存在する場合) は、トランザクション・フラグ OTRANFLG (370) フィールドのバイト 0 を使用して識別できます。
標準 CP でのオフロード適格	OFFLCPUT	オフロード適格であったにもかかわらず標準 CP で実行されたタスク CPU 時間の合計
発信ネットワーク ID	ONETWKID	このタスクに関連付けられている発信記述子から取られた APPLID のネットワーク ID。
発信ポート番号	OPORTNUM	発信 TCPIPService によって使用されるポート番号。
トランザクション起点タイプ	ORIGINTYPE	トランザクションのソース。これは、CICS トランザクション・マネージャを使用してトランザクションが接続された基本トランザクション・クライアント・タイプを解釈したものです。
発信開始時刻	OSTART	親タスク (例えば CWXN タスク) が開始された時刻。時刻は GMT で表示されます。
発信 TCPIPService 名	OTCPSVCE	発信 TCPIPService の名前。
発信トランザクション ID	OTRAN	親タスク (例えば CWXN タスク) のトランザクション ID (TRANSID)。
発信トランザクション・フラグ	OTRANFLG	発信トランザクション・フラグ。トランザクション定義および状況情報をシグナル通知するために使用される 64 ビットのストリング。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
発信タスク ID	OTRANNUM	親タスク (例えば CWXN タスク) の数。
発信ユーザー関連データ	OUSERCOR	発信ユーザー関係子。
発信ユーザー ID	OUSERID	起点 Userid-2 または Userid-1 (例えば CWBA から)。親タスクに応じて変わります。
RDSA における最大読み取り専用ストレージ	PC24RHHWM	ユーザー・タスクにより、読み取り専用動的ストレージ域 (RDSA) において 16 MB 境界の下で使用中のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。
SDSA における最大共用ストレージ	PC24SHWM	共用動的ストレージ域 (SDSA) において 16 MB 境界より下のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。
ESDSA における最大共用ストレージ	PC31SHWM	拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) において 16 MB 境界より上のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。
分散プログラム・リンク (DPL) 要求数	PCDPLCT	このタスクが別の CICS システムに対する CICS プログラム制御分散プログラム・リンクを発行した合計回数。
プログラム・リンク要求数	PCLINKCNT	このタスクによって発行されたプログラム・リンク要求の合計数。
プログラム・ロード要求数	PCLOADCNT	このタスクによって発行されたプログラム・ロード要求の合計数。
プログラム・ロード時間	PCLOADTM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からの取り出しをユーザー・タスクが待機した経過時間。 DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からのプログラム取り出しをこのタスクが待機した回数。 この数値に含まれるのは、インストール済みのプログラム定義を持つプログラム、またはアプリケーション要求の結果として自動インストールされたプログラムの取り出しだけです。ただし、LPA に常駐しているインストール済みプログラムは、LIBRARY からの物理的な取り出しを発生させないので、含まれません。
ユーザー置き換え可能モジュール (URM) リンクの数	PCLURMCT	このトランザクションがユーザー置き換え可能モジュールへのリンクを発行した回数。
プログラム制御権移動 (XCTL) 要求数	PCXCTLCNT	このタスクによって発行されたプログラム XCTL 要求の数。
パフォーマンス・レコード数	PERFRECCNT	このタスクについて CICS Monitoring Facility (CMF) によって書き込まれたパフォーマンス・レコードの数。
タスクに割り振られる最大コンテナ・ストレージ。	PGCSTHWM	このタスクに割り振られる最大コンテナ・ストレージ。
BTS プロセス ID	PRCSID	ユーザー・タスクが実装した CICS BTS ルート活動の CICS で割り当てられた ID。
BTS プロセス名	PRCSNAME	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス名。
BTS プロセス・タイプ	PRCSTYPE	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス・タイプ。
タスク優先順位	PRIORITY	タスクの合計優先度。合計優先度は、タスクに関連するユーザーの優先度、基本機能である端末の優先度、および実行中のトランザクションの優先度の合計です。
タスク・プロファイル名	PROFILE	タスクのプロファイル名。
16 MB ライン未満最大プログラム・ストレージ	PSTG24HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界未満のプログラム・ストレージの最大量。
16 MB ラインを超える最大プログラム・ストレージ	PSTG31HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界を超えるプログラム・ストレージの最大量。
全 DSA にわたる最大プログラム・ストレージ	PSTGHWM	すべての DSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ページ可能性状況	PURGEABILITY	タスクがシステム 停止条件でページ可能かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOTPURGEABLE - タスクはページ不能です。 PURGEABLE - タスクはページ可能です。
ページ・タイプ	PURGETYPE	タスクのページ・タイプ。
QR TCB で使用された CPU 時間	QRCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。
QR TCB での実行中のディスパッチ時間	QRDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。
QR TCB モード遅延時間	QRMODDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが QR TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。 タスクが QR TCB モードで待機した回数 (別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックの待機を含む)。
リカバリー・マネージャー作業単位 ID	RECOVERTOKN	リカバリー・マネージャーの作業単位 ID。
レコード・タイプ	RECTYPE	パフォーマンス・レコード・タイプ。このフィールドは、ユーザー・タスク用にパフォーマンス・レコードが出力された理由を示します。次のいずれかの値が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> C - 端末会話のレコード出力 D - PERFORM=DELIVER を指定する、ユーザー定義のイベント・モニター・ポイント (EMP) に対する SET MONITOR のレコード出力 F - 長期実行トランザクションのレコード出力 S - 同期点要求のレコード出力 T - タスク終了 (切り離し) のレコード出力 トランザクション・リソース・クラス・データの場合、このフィールドには常に「T」が表示されます。
ローカル・リカバリー単位 ID	RECUNITID	ローカル・リカバリー単位の ID。
リモート・トランザクション名	REMOTENAME	リモート・システムで実行されるトランザクションの名前。
リカバリー・マネージャー UOW の未確定アクションでの解決	RESOLVEACT	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定アクションで解決した作業単位の合計数。
タスク応答時間	RESPTIME	タスク応答時間 (ミリ秒単位)。
リソース・レベル・セキュリティ状況	RESSEC	リソース・セキュリティチェックがこのタスクに有効かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> RESSECNO - リソース・セキュリティチェックは無効です。 RESSECYES - リソース・セキュリティチェックを実行中です。
VSAM レコード・レベル共用で使用された CPU 時間	RLSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションが、SRB モードで実行する RLS 要求の実行に費やした CPU 時間の合計。 タスクが SRB モードで実行される RLS 要求を実行した回数。
VSAM レコード・レベル共用待ち時間	RLSWAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが RLS ファイル入出力を待機した経過時間。 タスクが RLS ファイル入出力を待機した回数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
RMI 一時停止時間	RMISUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した経過時間。 • タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した回数。
合計 RMI 経過時間	RMITIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 一時停止した時間を含む、タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 • タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
リカバリー・マネージャー UOW リソース所有者の障害	ROFAIL	リカバリー・マネージャー UOW リソース所有者の障害。
RO TCB モード遅延時間	ROMODDLY	このタスクが RO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから RO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
ERDSA における最大プログラム・ストレージ	ROPS31HWM	ERDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数 (16 M 境界を超える読み取り専用ストレージ)。
動的ルーティング・タイプ	ROUTING	タスクが動的ルーティングの対象になる可能性がある、または対象だった可能性があるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • DYNAMIC - タスクは動的にルーティングできるか、または動的にルーティングできた可能性があります。 • STATIC - タスクは静的です。
RRMS/MVS リカバリー単位 ID	RRMSURID	RRMS/MVS によって CICS に与えられたリカバリー単位 ID/トークン。
RRMS/MVS 同期点調整遅延時間	RRMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのタスクが費やした時間。 • このタスクが RRMS/MVS との同期点調整を待機した回数。
予約スペース	RSVD1	予約スペース
予約スペース	RSVD2	予約スペース
リモート・システム ID	RSYSID	リモート名で定義されたトランザクションが定義されるリモート・システムの名前。
読み取りタイムアウト (秒)	RTIMEOUT	読み取りタイムアウト値 (秒数) を示します。入力を受け取らない場合は、この期間が経過した後でこのタスクが終了します。
ランナウェイ・タスク時間 (ミリ秒)	RUNAWAY	タスクがランナウェイ状態であると見なされる前に、タスクがプロセッサを制御できる時間 (ミリ秒) を示します。インターバルの有効期限が切れると、タスクは異常終了します。
ディスパッチ状況	RUNSTATUS	タスクが現在の処理キューにあるかを示します (DISPATCHABLE、RUNNING、または SUSPENDED)。
同期トランザクションの実行待ち時間	RUNTRWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした時間の合計。 • 同期で接続しているトランザクションの完了をタスクが待機した回数。 CICS BTS の場合、このフィールドには、このタスクが、「プロセス/活動実行」が同期で実行されるのを待機するのに費やした時間が記録されません。
S8 TCB モードの CPU 時間	S8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 • このタスクが S8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
画面サイズ	SCRNSIZE	代替またはデフォルト画面サイズがこのタスクによって使用されるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ALTERNATE - 代替画面サイズが使用されます。 • DEFAULT - デフォルト画面サイズが使用されます。
共用一時記憶域待ち時間	SHAREDTSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 共有一時記憶域の待ち時間の合計。 • タスクが共有一時記憶域を待機した回数。
16MB を超える共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMA	16 MB を超える共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMB	16 MB 未満の共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージの FREEMAIN バイトの合計数	SHSTGBYTEFMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMA	16 MB を超える共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMB	16 MB 未満の共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGM CABV	ECDSA または ESDSA における 16 MB 境界より上の共有ストレージについて、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGM CBAR	GCDSA または GSDSA における 2 GB 境界より上の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGM CBEL	CDSA または SDSA の 16 MB 境界より下の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。 この数値は、CDSA または SDSA getmain カウントの数値には含まれないことに注意してください。
リカバリー・マネージャー UOW の分流入	SHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定の障害のために除外する必要があった作業単位の合計数。
MVS SOS 待機時間	SMMVSSWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した時間。 • MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した回数。
暗号化解除したソケットのバイト数	SOBYDECT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化解除された合計バイト数。
暗号化ソケットのバイト数	SOBYENCT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化された合計バイト数。
選択された暗号	SOCIPHER	SSL ハンドシェーク・ネゴシエーションの際に選択されたインバウンド暗号コード。
接続に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか	SOCONMSG	クライアントの新規接続の確立に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか。
TCP/IP ソケット入出力待ち時間	SOIOWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのタスクが費やした時間。 • ソケットの送信または受信が完了するのをこのタスクが待機した回数。 これには、このタスクが SO、SL、および S8 TCB モードで費やした時間が含まれます。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SO TCB モード遅延時間	SOMODDLY	このタスクが SO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから SO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
CFDT 同期点待ち時間	SRVSYWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した経過時間。 タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した回数。
タスク開始時刻	START	タスクが開始された時刻。 GMT または現地時間で表示され、MNTIME システム初期化パラメーターに従います。 設定されていない場合、デフォルトは GMT です。
開始コード	STARTCODE	<p>このタスクがどのように開始されたかを示す 2 文字の値。 可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> D - タスクは、SYNCONRETURN オプションを指定しない Distributed Programming Link (DPL) コマンドを処理するように開始されました。(タスクは同期点の発行を許可されていません。) DS - タスクは、SYNCONRETURN オプションを含む Distributed Programming Link (DPL) コマンドを処理するように開始されました。(タスクは同期点の発行を許可されています。) QD - CICS は、トリガー・レベルに達していた一時データ・キューを処理するためにタスクを開始しました。 S - 別のタスクが、FROM オプションでデータを渡さない START コマンドを使用して、このタスクを開始しました。 START コマンドはチャンネルを通過したかどうかわかりません。 SD - 別のタスクが、FROM オプションでデータを渡す START コマンドを使用して、このタスクを開始しました。 SZ - タスクが FEPI START コマンドで開始されました (詳しくは、「Front End Programming Interface Guide」を参照してください)。 TO - タスクが端末 (または別のシステム) からの非送信請求入力进行处理するために開始され、実行されるトランザクションがその入力から判別されました。 TP - タスクが非送信請求入力进行处理するため、または別のタスクでの RETURN IMMEDIATE コマンドに応答して開始されました。 いずれの場合も、実行されるトランザクションは、入力を参照しないで (RETURN コマンドまたは関連する TERMINAL 定義で) 事前設定されていました。 U - CICS はタスクを内部的に作成しました。 <p>注: IIOP 要求プロセッサがローカルに実行される場合、ASSIGN コマンドまたは INQUIRE TASK の開始コードは U です。 IIOP 要求プロセッサが MRO リンクを経由してリモートに実行される場合、これらのコマンドの開始コードは TO です。 (IIOP 要求プロセッサをその他のタイプの接続を経由してリモートに実行しようとする場合、ルーティング要求は受け入れられないため、こうした状態ではこれらのコマンドの開始コードは該当しません)。</p>
タスク停止時刻	STOP	タスクの停止時刻。 GMT または現地時間で表示され、MNTIME システム初期化パラメーターに従います。 設定されていない場合、デフォルトは GMT です。
ストレージ・クリア状況	STORAGECLEAR	<p>CICS がこのタスクから解放されるストレージをクリアする必要があるかどうかを示します (他のタスクが機密データを誤って表示することがないようにするため)。 値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> CLEAR - ストレージはクリアされます。 NOCLEAR - ストレージはクリアされません。
WLM 実行段階サブセットの完了	SUBEXECOMP	WLM 実行段階サブセットの完了。
タスクの一時停止時間	SUSPENDTIME	RUNSTATUS 値が SUSPENDED の場合、最後のディスパッチ以降、タスクが中断されている秒数 (端数切り捨て)。 タスクが実行中であるかまたはディスパッチ可能な場合、SUSPENDTIME 値は 0 です。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスクの一時停止理由	SUSPENDTYPE	このタスクが一時停止されている場合、その理由を示します (実行中またはディスパッチ可能なタスクの場合はブランクが戻されます)。
タスクが待機しているリソース	SUSPENDVALUE	このタスクが待機しているリソースの名前 (例えば、タスクがレコード上でキューに入っている場合はファイルの名前)。SUSPENDVALUE は一時停止しているタスクにのみ適用されます。タスクが実行中であるかまたはディスパッチ可能な場合、戻される値はブランクです。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが一時停止されていた経過時間の合計。 このタスクが一時停止された回数。
同期点要求数	SYNCCOUNT	このタスクによって発行された同期点要求の数。
親同期点待ち遅延時間	SYNCDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした時間の合計。 タスクがその親トランザクションが同期点に至る (その更新がコミットされるなど) のを待機した回数。 CICS BTS の場合、このフィールドには、「プロセス/活動同期実行」を発行することによりこのタスクを開始した親タスクからの同期点を、このタスクが待機するのに費やした時間が記録されます。
同期点待ち時間	SYNCPTWAITTM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 同期点要求の処理中にこのタスクがディスパッチまたは一時停止された経過時間の合計。 同期点要求の処理中にタスクがディスパッチまたは一時停止された回数。
FEPI 割り振りタイムアウト数	SZALLCTO	ユーザー・タスクが会話の割り振りを待っている間にタイムアウトになった回数。
FEPI 割り振り要求数	SZALLOCT	ユーザー・タスクが割り振った会話の数。
受信 FEPI 文字数	SZCHRIN	ユーザー・タスクによって FEPI を介して受信される文字数。
送信 FEPI 文字数	SZCHROUT	ユーザー・タスクによって FEPI を介して送信される文字数。
FEPI 受信要求数	SZRCVCT	ユーザー・タスクが行った FEPI RECEIVE 要求の数。
FEPI 受信タイムアウト数	SZRCVTO	データの受信を待機している間に、ユーザー・タスクがタイムアウトした回数。
FEPI 送信要求数	SZSENDCT	ユーザー・タスクが行った FEPI SEND 要求の数。
FEPI 開始要求数	SZSTRCT	ユーザー・タスクによって行われる FEPI START 要求の数。
合計 FEPI 要求数	SZTOTCT	ユーザー・タスクによって行われる FEPI API および SPI 要求すべての合計数。
FEPI 一時停止時間	SZWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがすべての FEPI サービスを待機した経過時間の合計。 このタスクが FEPI サービスを待機した回数。
タスク ID	TASK	タスクの ID。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
データ記憶キー	TASKDATAKEY	<p>CICS がタスク期間のためにタスク初期設定時に割り振るタスク存続期間ストレージ (アプリケーションからアクセス可能) のストレージ・キー。これらのストレージ域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) です。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Userdatakey - CICS は、このトランザクションのユーザー・キー・ストレージを取得します。いずれかのキーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行います。 • Cicsdatakey - このトランザクション用の CICS キー・ストレージを取得します。CICS キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行います。ユーザー・キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りのみを行います。 <p>トランザクション内のプログラムのいずれかが USER で定義されている場合は、Userdatakey を指定する必要があります。トランザクションに Cicsdatakey を指定する場合、このトランザクションの下でプログラムをユーザー・キーで実行しようとする、タスク異常終了が生じて異常終了コード AEZD が出力されます。</p>
データ・ロケーション	TASKDATALOC	<p>トランザクションの継続期間中に CICS によって獲得されたタスク存続期間ストレージを、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置けるかどうかを示します。特定の CICS タスクに関連しているこれらの領域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) を含んでいます。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BELOW - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は 16 MB 境界より下に置く必要があります。 • ANY - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置くことができます。
トランザクション・エラー・フラグ	TASKFLAG	このタスクのトランザクション・エラー・フラグ。
セッション割り振り待ちの遅延時間	TCALWTT	このタスクがセッションの割り振りを待機するために費やした時間。
CICS TCB タイプ	TCB	<p>タスクが実行されている CICS TCB のタイプ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CKOPEN - タスクは CICS キーのオープン TCB で実行されています。 • UKOPEN - タスクはユーザー・キーのオープン TCB で実行されています。 • QR - タスクは CICS 準再入可能 TCB で実行されています。 • INTERNAL - ユーザー・タスクはその他の CICS 管理 TCB のいずれかで実行されています。
CICS ディスパッチャーの TCB 接続数	TCBATTCT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 接続の数。
受信 2 次 LU6.2 文字数	TCC62IN2	このタスクによって受信された 2 次 LU6.2 文字の数。
送信 2 次 LU6.2 文字数	TCC62OU2	ユーザー・タスクにより LU6.2 セッションについて代替機能に送信された文字数。
端末入出力待ち時間	TCIOTIME	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末の入出力待ち時間の合計。 • このタスクが端末入出力を待機した回数。
TCL による初回ディスパッチ遅延時間	TCLDELAY	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 • このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。
受信 2 次 LU6.2 メッセージ数	TCM62IN2	ユーザー・タスクにより LU6.2 セッションについて代替機能から受信されたメッセージの数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
送信 2 次 LU6.2 メッセージ数	TCM62OU2	ユーザー・タスクにより LU6.2 セッションについて代替機能に送信されたメッセージの数。
合計一時データ要求数	TDCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時データ要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。
TD 区画外ロック待ち時間	TDELWTT	これは、タスクが TD 区画外ロックを待機した時間です。
一時データ取得要求数	TDGETCNT	このタスクによって発行された一時データ取得/読み取り要求の合計数。
TD 区画内ロック待ち時間	TDILWTT	これは、タスクが TD 区画内ロックを待機した時間です。
一時データ入出力待ち時間	TDIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時データの入出力待ち時間の合計。 このタスクが一時データ入出力を待機した回数。
一時データ・ページ要求数	TDPURCNT	このタスクによって発行された一時データ・ページ/削除要求の合計数。
一時データ書き込み要求数	TDPUTCNT	このタスクによって発行された一時データ・プット/書き込み要求の合計数。
端末接続名	TERMCONNAME	端末セッション接続の名前。
実際の端末 ID またはセッション ID	TERMID	これは、タスクが実行している実際の端末識別名です。トランザクション・ルーティング環境では、これはタスクが通過する経路にあるセッションの ID であり、TermConn にはこのセッションが属する接続のシステム ID が含まれます。
端末情報	TERMNALINFO	端末情報。
端末ストレージ	TERMSTG	トランザクションに関連する端末に割り振られた端末ストレージ (TIOA) の平均量。
Atom サービス名	TMRATMSN	Atom サービス名
合計 BIF DIGEST 要求数	TMRBFDGC	合計 BIF DIGEST 要求数
合計 BIF 要求数	TMRBFTC	合計 BIF 要求数
CorbaServer 名	TMRCBRNM	タスクに関連した CorbaServer の名前。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
OO クラス・ライブラリー API 要求	TMRCFACT	OO クラス・ライブラリー API 要求の合計数。
クライアント IP ポート	TMRCIPOR	クライアントのポート番号。
CICS TCB 変更モード遅延時間	TMRCMDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した経過時間。 ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後、ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した回数。 <p>例えば、CICS L8 または S8 モード TCB から CICS QR モード TCB に戻る変更 TCB モード要求では、別のタスクが現在 QR TCB でディスパッチされているために QR TCB を待たなければならないような場合もあります。</p>
文書削除要求数	TMRDHLC	このタスクによって発行された文書削除要求の数。
MVS DS ストレージ制約待ち時間	TMRDSCWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機に費やした経過時間。 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機した回数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ディスパッチャー TCB のミスマッチ待ち時間	TMRDSMWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> TCB ミスマッチ待ち時間 (つまり、TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求) の合計数。 TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求の数。
CICS ディスパッチャー TCB 最高水準点	TMRDSTHW	使用中の CICS ディスパッチャー TCB のピーク数。
EVENT のキャプチャー数	TMRECEVC	キャプチャーされた EVENT 数
イベント・フィルター 要求数	TMRECFOC	イベント・フィルター 要求数
キャプチャーされた同期発行イベントの数	TMRECSEC	キャプチャーされた同期発行 EVENT の数。
SIGNAL EVENT 要求数	TMRECSGE	SIGNAL EVENT 要求数
合計 EXEC CICS 要求数	TMREICTC	EXEC CICS 要求総数
Bean 状態の活動化要求数	TMREJBAC	このタスクによって発行された Bean 状態の活動化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 作成要求数	TMREJBCC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 作成要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 状態の不動態化要求数	TMREJBPC	このタスクによって発行された Bean 状態の不動態化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 除去要求数	TMREJBRC	このタスクによって発行された割り振り要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean 合計要求数	TMREJBTC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean メソッドの呼び出し数	TMREJMCT	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean メソッドの呼び出しの数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大ホット・プーリング TCB 遅延時間	TMRHTDLY	このフィールドは廃止されています。
ローカルの START CHANNEL 要求合計	TMRICSCC	このタスクによって発行されたローカル START CHANNEL 要求の数。
すべてのローカル START CHANNEL 要求のデータ長	TMRICSCD	このタスクによって発行されたすべてのローカル START CHANNEL 要求のデータ長。
リモートの START CHANNEL 要求合計	TMRICSRC	このタスクによって発行されたリモート START CHANNEL 要求の合計数。
すべてのリモート START CHANNEL 要求のデータ長	TMRICSRD	このタスクによって発行されたすべてのリモート START CHANNEL 要求のデータ長。
IPCONN 割り振り要求数	TMRISACT	IP 相互通信接続のセッションのタスクによって発行される割り振りセッション要求の数。
IPCONN 名	TMRISCNM	このトランザクションと関連付けられている IP 相互通信接続を定義する IP 相互接続エントリ (IPCONN) の名前。
IPCONN I/O 待ち時間	TMRISWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが IP 相互通信接続の作業が完了するまで待機に費やした時間。 タスクが IP 相互通信接続作業の完了を待機した回数。
J9 TCB モードの CPU 時間	TMRJ9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> J9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが J9 TCB モードでディスパッチされた回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
JVM サーバー・スレッド待ち時間	TMRJSTWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが JVM サーバー・スレッドの作業の待機に費やした時間 タスクが JVM サーバー・スレッドの作業を待機した回数
最大 Java 仮想マシン (JVM) TCB 遅延時間	TMRJTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXJVMTCBS 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延。 タスクがシステム・パラメーター MAXJVMTCBS によって設定された限界で待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Java 仮想マシン経過時間 - 初期化	TMRJVMIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境を初期化するために費やした経過時間。 JVM 環境が初期化された回数。
Java 仮想マシン経過時間 - リセット	TMRJVMRT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境をリセットするために費やした経過時間。 JVM 環境がリセットされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード CPU 時間	TMRKY8CP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード CPU 時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード・ディスパッチ時間	TMRKY8DS	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード・ディスパッチ時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 9 モード CPU 時間	TMRKY9CP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた合計 CPU 時間。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
ユーザー・タスク・キー 9 モード・ディスパッチ時間	TMRKY9DS	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた経過時間の合計。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
ユーザー・タスク L9 モード CPU 時間	TMRL9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> L9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが L9 TCB モードでディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
XML システム・サービスの CPU 時間	TMRMLCTM	XML システム・サービスの CPU 時間
合計文書長	TMRMLTDL	文書の全長
EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数	TMRMLXTC	EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
WebSphere MQ API SRB timeme	TMRMQAST	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> API 要求の実行中に WebSphere MQ の SRB に費やされた合計 CPU 時間。 タスクが SRB 時間を累積した回数。
WebSphere MQ Getwait 待ち 時間	TMRMQGWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> WebSphere MQ によるタスクの GETWAIT 要求に対するサービス提供を待機するのにタスクが費やした時間。 WebSphere MQ がタスクの GETWAIT 要求に対してサービスを提供するのをタスクが待機した回数。
ネットワーク ID	TMRNETID	ネットワークの ID。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW インスタンスとシーケ ンス番号	TMRNETSX	発信システムでネットワーク作業単位 ID の識別に使用される名前。この名前は、発信システムによって作成された STCK 派生のトークン、あるいは IRC (MRO) または ISC (APPC) 接続機能管理ヘッダー (FMH) の一部として渡されたネットワーク作業単位 ID のいずれかを使用してトランザクション接続時に割り当てられます。
Node.js アプリケーション名	TMRNJAPN	タスクが開始された Node.js アプリケーション名。
OTS 未確定待ち時間	TMROIDWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> オブジェクト・トランザクション・サービスの未確定待機時間。 このタスクがオブジェクト・トランザクション・サービスの未確定を待機した回数。
OTS トランザクション ID	TMROTSID	オブジェクト・トランザクション・サービスのトランザクション待ち時間。
チャンネルとの DPL プログラ ム・リンク要求数	TMRPCDCC	このタスクによって発行された DPL プログラム・リンク要求の数。
チャンネルとのすべての DPL プ ログラム・リンクのデータ長	TMRPCDLL	ユーザー・タスクにより CHANNEL オプション付きで発行された分散プログラム・リンク (DPL) 要求すべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのすべての DPL 戻 りの合計データ長	TMRPCDRL	ユーザー・タスクにより発行された DPL RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム・リン ク要求数	TMRPCLCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム・リンク要求の合計数。
チャンネルとのプログラム戻り 要求数	TMRPCRCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム戻り要求の数。
チャンネルとのすべてのプログ ラム戻りのデータ長	TMRPCRCL	ユーザー・タスクにより発行されたリモート疑似会話型 RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム XCTL 要求数	TMRPCXCC	このタスクによって発行されたプログラム XCTL 要求の合計数。
コンテナ・チャンネル・ブラウ ズ要求数	TMRPGBCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル・ブラウズ要求の数。
チャンネル・コンテナ用に作成 されたコンテナ数	TMRPGCCC	このタスクによりチャンネル・コンテナ用に作成されたコンテナの数。
合計チャンネル・データ・コンテ ナー要求数	TMRPGCTC	このタスクによって発行されたチャンネル・データ・コンテナ要求の合計数。
コンテナ・チャンネル取得要求 数	TMRPGGCC	このタスクによって発行される GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル 取得要求のデータ長	TMRPGGCL	このタスクによって発行されたすべての GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求のデータ長。
コンテナ・チャンネル移動要求 数	TMRPGMCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル移動要求の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
コンテナ・チャンネル・プット要求数	TMRPGPCC	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル・プット要求のデータ長	TMRPGPCL	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求すべてのデータ長。
パイプライン名	TMRPIPLN	パイプライン名
TCP/IP サービス・ポート番号	TMRPORTN	TCP/IP サービスによって使用されるポート番号。
パートナー待ち時間	TMRPTPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パートナーの待ち時間の合計。 ・ タスクがパートナー・トランザクションの完了を待機した回数。
実際の LUNAME	TMRRLUNM	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。
ユーザー・タスク RO モード CPU 時間	TMRROCPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モードの CPU 時間。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク RO モード・ディスパッチ時間	TMRRODSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モード・ディスパッチ時間 (秒数)。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
要求プロセッサ待ち時間	TMRROPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求プロセッサの入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求プロセッサの入出力操作を待機した回数。
要求受信側待ち時間	TMRQRWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求受信側の入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求受信側の入出力操作を待機した回数。
受信文字数	TMRSOCIN	このタスクによって受信された文字の数。
CREATE 非永続ソケット要求数	TMRSOCNS	このタスクによって発行された Create 非永続ソケット要求の数。
送信文字数	TMRSOCOT	このタスクによって送信された文字の数。
CREATE 永続ソケット要求数	TMRSOCPS	このタスクによって発行された Create 永続ソケット要求の数。
EXTRACT TCPIP 要求と EXTRACT CERTIFICATE 要求の数	TMRSOERC	EXTRACT TCPIP および EXTRACT CERTIFICATE 要求の合計数。
インバウンド・ソケット受信文字数	TMRSOI1C	このタスクによるインバウンド・ソケット受信文字数。
インバウンド・ソケット受信要求数	TMRSOIMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット受信要求数。
非永続ソケット HWM	TMRSONHW	このタスクに関連した非永続ソケットのピーク数。
インバウンド・ソケット送信文字数	TMRSOO1C	このタスクによるインバウンド・ソケット送信文字数。
インバウンド・ソケット送信要求数	TMRSOOMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット送信要求数。
アウトバウンド・ソケット入出力待ち時間	TMRSOOWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトバウンド・ソケットの入出力待ち時間の合計。 ・ このタスクがアウトバウンド・ソケット入出力を待機した回数。
永続ソケット HWM	TMRSOPHW	永続ソケットのピーク数。
ソケット受信要求数	TMRSORCT	このタスクによって発行されたソケット受信要求の合計数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ソケット送信要求数	TMRSSOCT	このタスクによって発行されたソケット送信要求の合計数。
合計ソケット要求数	TMRSSOTC	このタスクによって発行されたソケット要求の合計数。
最大 CICS SSL TCB 遅延時間	TMRSTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SSL TCB (S8 モード) を入手するために待機した経過時間。 システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SS TCB (S8 モード) を入手するために待機した回数。
ユーザー・タスク T8 モード CPU 時間	TMRT8CPU	ユーザー・タスク T8 モードの CPU 時間
TCP/IP サービス名	TMRTCPV	TCP/IP サービスの名前。
トランザクション・グループ ID	TMRTGPID	このタスクに関連したトランザクション・グループの ID。
EXEC CICS ASKTIME 要求数	TMRTIATC	EXEC CICS ASKTIME 要求数
合計 EXEC CICS xxxTIME 要求数	TMRTITC	EXEC CICS xxxTIME 要求の総数
トランザクション・シーケンス番号	TMRTSRN	トランザクションのシーケンス番号。
最大スレッド TCB 遅延時間	TMRTDLY	最大スレッド TCB 遅延時間
URI マップ名	TMRURIMN	URI マップ名
Web ブラウズ要求数	TMRWBOC	このタスクによって発行された Web ブラウズ要求の合計数。
WEB ブラウズ要求数	TMRWBRC	このトランザクションによって発行された WEB ブラウズ要求の数。
WEB EXTRACT 要求数	TMRWBEC	このトランザクションによって発行された Web 取り出し要求の数。
Web 要求で受信したバイト数	TMRWBI1C	このタスクによって発行された Web 要求により受信されたバイト数。
Web 受信要求数	TMRWBIRC	このタスクによって発行された Web 受信要求の合計数。
WEB サービス起動要求数	TMRWBIWC	このタスクによって発行された WEB サービス起動要求の数。
Web 要求で送信したバイト数	TMRWBO1C	このタスクによって発行された Web 送信要求により送信されたバイト数。
Web 送信要求数	TMRWBOSC	このタスクによって発行された Web 送信要求の合計数。
Web 解析要求数	TMRWBPRC	このタスクによって発行された Web 解析要求の合計数。
リポジトリから読み取られたデータのデータ長	TMRWBRDL	リポジトリから読み取られたデータのデータ長。
WEB 読み取り要求数	TMRWBROC	このタスクによって発行された Web 読み取り要求の合計数。
リポジトリ読み取り	TMRWBRPR	このタスクによって発行されたリポジトリ読み取り要求の合計数。
WEB 読み取り要求数	TMRWBRRC	このトランザクションによって発行された WEB 読み取り要求の数。
リポジトリに書き込まれたデータのデータ長	TMRWBWDL	ユーザー・タスクが一時ストレージのリポジトリに書き込んだデータの全長。
Web 書き込み要求数	TMRWBWOC	このタスクによって発行された Web 書き込み要求の合計数。
WEB 書き込み要求数	TMRWBWRC	このトランザクションによって発行された WEB 書き込み要求の数。
合計 Websphere MQ 要求数	TMRWMQRC	タスクに関する Websphere MQ 要求の総数。
プログラム名	TMRWPBMN	プログラム名
合計 WS アドレッシング要求数	TMRWSATC	合計 WS アドレッシング要求数
WSACONTEXT BUILD 要求数	TMRWSCBC	WSACONTEXT BUILD 要求数

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
WSACONTEXT GET 要求数	TMRWSCGC	WSACONTEXT GET 要求数
WSAEPR 作成要求数	TMRWSEPC	WSAEPCCCT - WSAEPR CREATE 要求数
Web サービス・オペレーション名	TMRWSOPN	Web サービス・オペレーション名
Webservice 名	TMRWSVCN	Web サービス名
ユーザー・タスク X8 モード CPU 時間	TMRX8CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X8 TCB モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク X9 モード CPU 時間	TMRX9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X9 TCB モードでディスパッチされた回数。
最大 CICS XPLink TCB 遅延時間	TMRXTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 CICS XPLink TCB 遅延時間。 ユーザー・タスクが CICS XPLink TCB を入手するために待機した回数。
タスク・トレース・タイプ	TRACING	このタスクのトレースのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> SPECTRACE - このタスクのトレースは特別です。 SPRSTRACE - このタスクのトレースは抑止です。 STANTRACE - このタスクのトレースは標準です。
トランザクション・クラス	TRANCLASS	タスクが属するトランザクション・クラスの名前。タスクにクラスが割り当てられていない場合、デフォルト・クラスの DFHTCLOO が戻されます。タスクが番号付きのクラスに属している場合に返される値は DFHTCLnn で、ここで nn は 2 桁のクラス番号を示します。
トランザクション・フラグ	TRANFLAGS	このトランザクションの CICS トランザクション定義および状況情報フラグ。
トランザクション	TRANID	タスクに関連したトランザクション名。
トランザクション優先順位	TRANPRIORITY	実行中の TRANSACTION の定義内の PRIORITY オプションに由来する、タスクの合計優先度のコンポーネント。
トランザクション・タイプ	TRANATYPE	トランザクション開始タイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> TO - 端末入力から接続 S - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データなし) SD - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データあり) QD - 一時データのトリガー・レベルで接続 U - ユーザー要求による接続 TP - 端末 TCTTE トランザクション ID から接続 SZ - フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) から接続
トランザクション・ルーティング・プロファイル名	TRPROF	トランザクション・ルーティングに使用されるプロファイルの名前。
合計一時記憶域要求数	TSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時記憶域要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。
一時記憶域の取得数	TSGETCNT	このタスクによって発行された一時記憶域取得/読み取り要求の合計数。
共用記憶域への TS 取得数	TSGETSCNT	共用記憶域への TS 取得数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時記憶域入出力待ち時間	TSIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時記憶域の入出力待ち時間の合計。 このタスクが一時記憶域入出力を待機した回数。
補助記憶域への TS 書き込み数	TSPUTACNT	補助記憶域への TS 書き込み数。
主記憶域への TS 書き込み数	TSPUTMCNT	主記憶域への TS 書き込み数。
共用記憶域への TS プット数	TSPUTSCNT	共用記憶域への TS 書き込み数。
トランザクション作業域 (TWA) のサイズ (バイト数)	TWASIZE	関連したトランザクション作業域 (TWA) のサイズ (バイト数) を示します。
ローカル作業単位 (UOW) ID	UNITOFWORK	タスクに関連する作業単位のローカル ID。作業単位 ID は、CICS とその他のリソース・マネージャー (例えば、IMS と DB2) の間でリカバリー操作を同期化するために使用されます。
リカバリー・マネージャー UOW の非分流	UNSHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失ったものの、未確定の障害のために除外されなかった作業単位の合計数。
ネットワーク UOW インスタンスとシーケンス番号	UOWID	このタスクに関連する作業単位のローカル ID。
ユーザー ID	USERID	タスクに現在関連しているユーザーの ID。
UDSA における最大プログラム・ストレージ	USRPS24HWM	UDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
EUDSA における最大プログラム・ストレージ	USRPS31HWM	EUDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
16MB 未満ユーザー・ストレージ GETMAIN 要求数	USTG24CNT	16 MB 境界未満のストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
UDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	USTG24HWM	UDSA のこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
16 MB ライン未満平均ストレージ使用量	USTG24OCC	16 MB 境界未満のユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
16MB を超えるユーザー・ストレージ GETMAIN 要求数	USTG31CNT	16 MB 境界を超えるストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
EUDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	USTG31HWM	EUDSA のこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
16 MB ラインを超える平均ストレージ使用量	USTG31OCC	16 MB 境界を超えるユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが再ディスパッチを待つのに費やした平均時間。 このタスクが再ディスパッチを待機した回数。
WEB 要求により受信した文字数	WBCHRIN	このタスクによって発行された WEB 受信の結果として、WEB を介して受信された文字数。
WEB 要求により送信された文字数	WBCHROUT	このタスクによって発行された WEB 送信の結果として、WEB を介して送信された文字数。
INVOKE SOAP サービス障害	WBISSFCT	INVOKE xxxSERVICE SOAP 障害の数。
JSON 応答本体の長さ	WBJSNRPL	JSON 応答本体の長さ
JSON 要求本体の長さ	WBJSNRQL	JSON 要求本体の長さ
WEB 受信要求数	WBRCVCT	このタスクによって発行された WEB 受信要求の数。
WEB リポジトリ書き込み数	WBREPWCT	このタスクによって発行された WEB リポジトリ書き込み要求の数。
WEB 送信要求数	WSENDCT	このタスクによって発行された WEB 送信要求の数。
SOAPFAULT CREATE 要求	WBSFCRCT	SOAPFAULT CREATE 要求の数。

表 214. TASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SOAPFAULT CREATE 要求の合計	WBSFTOCT	SOAPFAULT CREATE 要求の総数。
SOAP 要求本体の長さ	WBSREQBL	SOAP 要求ボディ長の長さ。
SOAP 応答本体の長さ	WBSRSPBL	SOAP 応答本体の長さ。
合計 WEB 要求数	WBTOTCT	このタスクによって発行された Web 要求の合計数。これにはリポジットリー書き込み要求の数は含まれません。
ワークロード・マネージャー・レポート・クラス名	WLMRPTRCNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) レポート・クラス。
ワークロード・マネージャー・サービス・クラス名	WLMSRVCNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・クラス。

完了したタスク - HTASK

「完了したタスク (ヒストリー)」(HTASK) ビューには完了したタスクに関する情報が表示されます。CICSplex SM の管理対象となるシステムで以前に実行されていて、現在完了しているタスクです。タスクが完了すると、HTASK リソースから情報を取得できます。ただし、このタスクで CICSplex SM ヒストリー・レコードがアクティブになっている場合に限りです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「タスク操作ビュー (Task operations views)」 > 「完了したタスク (Completed tasks)」

表 215. 提供された「完了したタスク (ヒストリー)」(HTASK) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL1	選択したタスクの ID 詳細
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL10	選択したタスクに関するプログラム・ストレージ情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL11	選択したタスクに関する JVM 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL12	選択したタスクに関する共用ストレージ情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL13	選択したタスクに関する Web および文書要求情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL14	選択したタスクに関する FEPI 通信情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL15	選択したタスクに関するエンタープライズ Bean 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL16	選択したタスクに関するリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL17	タスク関連データ

表 215. 提供された「完了したタスク (ヒストリー)」 (HTASK) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL2	選択したタスクに関するクロックおよびタイミングの情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL3	選択したタスクに関する設定情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL4	選択したタスクに関する要求数情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL5	選択したタスクに関する通信要求情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL6	選択したタスクに関するストレージ使用情報。注: 以下の GETMAIN 要求テーブルでは、GETMAIN 要求は GCDSA に関して何も意味を持たないため、ブランクになります。
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL7	選択したタスクに関する TCP/IP 通信情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL8	選択したタスクに関する CICS BTS 要求情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL9	選択したタスクに関する CPU および TCB の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAILED	選択したタスクに関する詳細一般情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR	現時点から指定の秒数以内に完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR1	指定の開始時刻からある一定の期間 (秒数) 以内に完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR2	開始時刻から終了時刻までに完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR3	完了タスクの関連データに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 216. HTASK ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行 ABEND コード	ABCODEC	現行異常終了コードの ID。
オリジナル ABEND コード	ABCODEO	オリジナル異常終了コードの名前。
初期アプリケーション名	ACAPPLNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションの名前。
初期アプリケーション・メジャー・バージョン	ACMAJORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのメジャー・バージョン。
初期アプリケーション・マイクロ・バージョン	ACMICROVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイクロ・バージョン。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
初期アプリケーション・マイナー・バージョン	ACMINORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイナー・バージョン。
初期アプリケーション操作	ACOPERNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションが実行している操作。
初期プラットフォーム	ACPLATNAME	このタスクに関連付けられている初期のプラットフォームの名前。
BTS 活動 ID	ACTVTYID	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動 ID。
BTS 活動名	ACTVTYNM	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動名。
ALLOCATE 要求数	ALLOCATES	このタスクによる割り振り要求の合計数。
アプリケーション・ネーミング・プログラム名	APPLNAMEPROG	アプリケーション・ネーミング・プログラム名。
アプリケーション・ネーミング・トランザクション名	APPLNAMETRAN	アプリケーション・ネーミング・トランザクション名。
EXEC CICS FREE CHILD コマンド数	ASFREET	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FREE CHILD コマンドの数。
EXEC CICS FETCH コマンド数	ASFTCHCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FETCH コマンドの数。
EXEC CICS FETCH 待ち時間	ASFTCHWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> EXEC CICS FETCH CHILD コマンドの発行によってユーザー・タスクが子タスクを待機した時間。 完了していない子タスクのために EXEC CICS FETCH API の中断が必要になった回数。
EXEC CICS RUN TRANSID 遅延時間	ASRNATWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した時間。 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した回数。
EXEC CICS RUN TRANSID コマンド数	ASRUNCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS RUN TRANSID コマンドの数。
非同期 API コマンド数	ASTOTCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS 非同期 API コマンドの総数。
BTS 活動データ・コンテナ要求数	BAACDCCT	このタスクによって発行された活動データ・コンテナ要求の数。
BTS 獲得要求数	BAACQPCT	このタスクによって発行された CICS Business Transaction Server (BTS) プロセス/活動獲得要求の数。
BTS 活動定義要求数	BADACTCT	このタスクによって発行された活動定義要求の数。
BTS 活動削除および取り消し要求数	BADCPACT	このタスクによって発行された活動削除およびプロセス/活動取り消し要求の数。
BTS 入力定義イベント要求数	BADFIECT	このタスクによって発行された入力定義イベント要求の数。
BTS プロセス定義要求数	BADPROCT	このタスクによって発行されたプロセス定義要求の数。
BTS リンク要求数	BALKPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動リンク要求の数。
BTS プロセス・データ・コンテナ要求数	BAPRDCCT	このタスクによって発行されたプロセス・データ・コンテナ要求の数。
BTS 実行非同期要求数	BARASYCT	このタスクによって非同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。
BTS 再接続検索イベント要求数	BARATECT	このタスクによって発行された再接続検索イベント要求の数。
BTS 再開要求数	BARMPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動再開要求の数。
BTS リセット要求数	BARSPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動リセット要求の数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
BTS 実行同期要求数	BARSYNCT	このタスクによって同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。
BTS 一時停止要求	BASUPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動中断要求の数。
BTS タイマー関連イベント要求数	BATIAECT	このタスクによって発行されたタイマー関連イベント要求の数。このフィールドには次が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • DEFINE TIMER EVENT • CHECK TIMER EVENT • DELETE TIMER EVENT • FORCE TIMER EVENT
BTS 合計データ・コンテナ要求数	BATOTCCT	このタスクによって発行されたデータ・コンテナ要求の合計数。
BTS 合計イベント要求数	BATOTECT	このタスクによって発行されたイベント要求の合計数。
BTS 合計要求数	BATOTPCT	このタスクによって発行されたプロセス/活動要求の合計数。
合計 BMS 要求数	BMSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された端末管理、基本マッピング・サポート (BMS) 要求の数 (MAP、IN、および OUT 要求を含む)。
BMS マップイン要求数	BMSINCNT	このタスクによる BMS マップイン要求の数。
BMS マップ要求数	BMSMAPCNT	このタスクによる BMS マップ要求数。
BMS マップアウト要求数	BMSOUTCNT	このタスクによる BMS マップアウト要求の数。
ブリッジにより開始されたトランザクション ID	BRDGTRAN	このトランザクションが 3270 ブリッジ機能によって開始されたかどうかを示します。CICS モニターがオンになっていない場合、このフィールドには「No」と示されます。
ブリッジ・トランザクション ID	BRIDGE	3270 ブリッジによって開始されたこのトランザクションのオリジナル・トランザクション ID。
ワークロード・マネージャー開始 - 終了段階の完了	BTECOMP	処理要求 (トランザクション) の開始から終了までの全段階が完了しました。
CDSA における GETMAIN 要求数	CDSAGETM	CDSA GETMAIN 要求の総数。
CDSA における最大プログラム・ストレージ	CDSAPSHWM	CDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
CDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	CDSASHWM	CDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
平均 CDSA ストレージ使用量	CDSASOCC	CDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
CEC マシン・タイプ	CECMCHTP	CEC マシン・タイプ番号 (EBCDIC)。
CEC 型式番号	CECMDLID	CEC 型式識別番号 (EBCDIC)。
CFDT 待ち時間	CFDTWAIT	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • タスクが CFDT ファイル入出力を待機した経過時間。 • タスクが CFDT ファイル入出力を待機した回数。
1 次 TC 受信文字数	CHARIN	受信した 1 次端末管理文字の数。
2 次 TC 受信文字数	CHARINSEC	このタスクによって受信された 2 次端末管理文字の数。
1 次 TC 送信文字数	CHAROUT	送信された 1 次端末管理文字の数。
2 次 TC 送信文字数	CHAROUTSEC	このタスクによって送信された 2 次端末管理文字の数。
CICS ディスパッチャーの変更モード数	CHMODECT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 変更モード要求の数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CICS イベント待ち時間	CICSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS イベント待ち時間の合計。 タスクがイベントを待機した回数。
クライアント IP アドレス	CLIPADDR	このタスクを開始したクライアントの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
放棄制御待ち時間	CONTROLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが制御を他のトランザクションに引き渡した後に費やした平均時間。 タスクが他のトランザクションに対する制御を中止した結果として待機した回数。
相関 UOW ID	CORREUOW	相関作業単位の ID。
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	このタスクにより使用された CPU 時間 (秒数)。モニターが活動状態にない場合、値 0000:00:00.000000 が戻ります。
CP での合計 CPU 時間	CPUTONCP	標準 CP でのタスク CPU 時間の合計
現在のタスク数	CURTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での現行タスク数の値。
DB2 接続 (TCB) 待ち時間	DB2CONWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 接続が完了するのを待機するために費やした時間。 タスクが DB2 接続を待機した回数。
DB2 作動可能キュー待ち時間	DB2RDYQW	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 作動可能キューで待機するために費やした時間。 タスクが DB2 作動可能キューで待機した回数。
合計 DB2 要求数	DB2REQCT	このタスクによって発行された DB2 データベース要求 (SQL および IFI) の数。
DB2 要求待ち時間	DB2WAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DB2 データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 DB2 データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
トランザクション・タイプ詳細	DETTRANATYPE	トランザクション・タイプの詳細。有効な値は次のとおりです。BRIDGE、CICSBTs、DPL、MIRROR、NONE、ONCRPC、SYSTEM、WEB。
DOCUMENT CREATE 要求数	DHCRECT	このタスクによって発行された文書作成要求の数。
DOCUMENT INSERT 要求数	DHINSCT	このタスクによって発行された文書挿入要求の数。
DOCUMENT RETRIEVE 要求数	DHRETCT	このタスクによって発行された文書検索要求の数。
DOCUMENT SET 要求数	DHSETCT	このタスクによって発行された文書設定要求の数。
合計文書要求数	DHTOTCT	このタスクによって発行された文書処理要求の合計数。
作成された文書の全長	DHTOTDCL	このタスクによって作成された文書の長さの合計。
ユーザー・タスク・ディスパッチ時刻	DISPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクがディスパッチされてからの経過時間。 このタスクがディスパッチされた回数。
ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間	DSAPTHWT	CICS ディスパッチャーが pthread を割り振るのをこのタスクが待機した合計時間。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
初回ディスパッチ遅延時間	DSPDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のディスパッチを待機する経過時間。この時間には、MAXT または TRANCLASS 限界を待機する時間が含まれます。 最初のディスパッチにおける遅延数。
ECDSA における GETMAIN 要求数	ECDSAGETM	ECDSA GETMAIN 要求の総数。
ECDSA における最大プログラム・ストレージ	ECDSAPSHWM	ECDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
ECDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	ECDSASHWM	ECDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
平均 ECDSA ストレージ使用量	ECDSASOCC	ECDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ローカル ENQ 遅延時間	ENQDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスク制御エンキューを待機した経過時間。 このタスクがタスク制御エンキューを待機した回数。
ワークロード・マネージャー実行段階の完了	EXECOMP	処理要求 (トランザクション) の全実行段階が完了しました。
外部待ち時間	EXTERNWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS の外部にあるリソースを待機するために費やした平均時間。 タスクが CICS の外部にあるリソースを待機した回数。 <p>こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。</p>
例外待ち時間	EXWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが例外条件で待機した合計経過時間。 タスクが例外条件で待機した回数。
基本機能	FACILITY	機能が一時データ・キュー、端末、またはシステムの場合、このタスクの起動に関連付けられた機能の名前。タスクが別の方法で開始された場合は、機能の値はブランクになります。FACILITYTYPE フィールドにタスクを開始させた機能のタイプが表示されるため、どの FACILITY を使用したかがわかります。
機能タイプ	FACILITYTYPE	このタスクを開始した機能のタイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> TDQUEUE - CICS は、トリガー・レベルに達していた一時データ・キューを処理するためのタスクを開始しました。FACILITY フィールドからキューの名前が返されます。 START - 別のタスクが、端末を指定しなかった START コマンドでタスクを開始したか、CICS がタスクを内部で作成しました。この場合、FACILITY フィールドからはブランクが返されます。 TERMINAL - タスクが非送信請求入力进行处理するために開始されたか、別のタスクが TERMID オプション付きの START コマンドでタスクを開始したかのいずれかです。前者の場合、FACILITY フィールドから入力データを送信した端末の名前が返され、後者の場合は、TERMID に指定された端末が返されます。
ファイル制御 ADD 要求数	FCADDCNT	このタスクによって発行されたファイル制御追加/新規レコードの書き込み要求の合計数。
ファイル制御アクセス方式要求数	FCAMCNT	このタスクによって発行されたファイル制御アクセス方式要求の合計数。
ファイル制御 BROWSE 要求数	FCBRWCNT	このタスクによって発行されたファイル制御ブラウズ要求の合計数。
合計ファイル制御要求数	FCCOUNT	このユーザー・タスクによって発行されたファイル制御要求の数 (OPEN、CLOSE、ENABLE、および DISABLE 要求を除く)。
ファイル制御 DELETE 要求数	FCDELCNT	このタスクによって発行されたファイル制御削除要求の合計数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ファイル制御 READ 要求数	FCGETCNT	このタスクによって発行されたファイル制御読み取り要求の合計数。
ファイル制御入出力待ち時間	FCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理の入出力待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御入出力を待機した回数。
ファイル制御 WRITE 要求数	FCPUTCNT	このタスクによって発行されたファイル制御書き込み要求の合計数。
ファイル制御 VSAM ストリング待ち時間	FCVSWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理 VSAM ストリング待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御 VSAM ストリングを待機した回数。タスクがストリングを待機している場合、VSAM ストリングの数を増やすことを検討してください。
ファイル制御の排他制御の待ち時間	FCXCWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル制御の排他制御待ち時間の合計。 このタスクが制御インターバルの排他制御を待機した回数。
最初のプログラム名	FIRSTPRGM	タスク接続時間に起動される最初のプログラムの名前。
GCDSA における GETMAIN 要求数	GCDSAGETM	GCDSA GETMAIN 要求の総数。
GCDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4k ページ数)	GCDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上で CICS 動的ストレージ域 (GCDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
グローバル ENQ 遅延時間	GNQDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> グローバル・エンキューを待機してこのタスクが費やした時間。 このタスクがグローバル ENQ を待機した回数。
GUDSA における GETMAIN 要求数	GUDSAGETM	GUDSA GETMAIN 要求の総数。
GUDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4k ページ数)	GUDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上でユーザー動的ストレージ域 (GUDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
間隔制御要求数	ICCOUNT	このタスクが発行したインターバル制御の START 要求または INITIATE 要求の数。これには、EXEC CICS START transid コマンドで開始されたトランザクションの数、自動トランザクション開始の数、および内部的に発行されたインターバル制御開始の数が含まれます。
合計 IMS 要求数	IMSREQCT	このタスクによって発行された IMS データベース要求の数。
IMS 要求待ち時間	IMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> IMS データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 IMS データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。
トランザクション未確定オプション	INDOUBT	CICS 領域が 2 フェーズ・コミット処理中にコーディネーターとの接続に失敗するかまたはそれを失い、UOW が未確定状態に入ったときにとられるアクションを示します。「待機オプション」フィールドで WAIT が指定された場合、待機時間の有効期限が切れるまで、このフィールドは無効です。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> BACKWARD - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はバックアウトされ、リソースは UOW の開始前の状態に戻されます。 FORWARD - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はコミットされ、実行中の UOW には完了というマークが付けられます。
リカバリー・マネージャー UOW 未確定の障害	INDOUBTFAIL	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
未確定待ち時間	INDOUBTWAIT	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
インターバル制御機能カウン ト	INTVLC	インターバル制御要求カウント。このタスクによって発行される START、DELAY、CANCEL、RETRIEVE、および DELAY 要求の数 (DELAY INTERVAL(0) 要求を除く)。
間隔制御遅延時間	INTVLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターバル制御機能遅延時間の合計。 ・ タスクがインターバル制御サービスの結果として待機した回数。
領域間通信 (MRO) 入出力待ち 時間	IRIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 領域内通信入出力の合計待機時間。 ・ このタスクが領域内通信入出力を待機した回数。
IPIC セッション割り振り待ち の遅延時間	ISALWTT	このタスクが IPIC セッションの割り振りを待機するために費やした時間。
データ分離タイプ	ISOLATEST	ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージが他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ YES - ストレージは分離されます。 ・ NO - ストレージは分離されていません。
J8 TCB モードの CPU 時間	J8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 ・ このタスクが J8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
ジャーナル管理入出力待ち時 間	JCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャーナル管理の入出力待ち時間の合計。 ・ このタスクがジャーナル管理入出力を待機した回数。
ジャーナル出力要求数	JCUSRWCNT	このタスクによって発行されたジャーナル出力要求の数。
ジャーナル書き込み要求数	JRNLWRITREQ	このタスクによって発行されたジャーナル書き込み要求の数。
合計 JVM 中断時間	JVMSUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが中断されて CICS に戻された経過時間。 ・ Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが CICS に戻って一時停止した回数。
合計 JVM 経過時間	JVMTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行するのに費やした経過時間。一時停止の時間を含みます (JVM 一時停止時間を参照)。 ・ このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行された回数。
L8 TCB モードの CPU 時間	L8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 ・ このタスクが L8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは、プログラムが DB2 要求を発行する際に CONCURRENCY=THREADSAFE になるように定義されたプログラムによって使用されます。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ロック・マネージャー待ち時間	LOCKMGRWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した経過時間。 ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した回数。 ユーザー・タスクが明示的にリソースのロックを獲得することはできませんが、多くの CICS モジュールは、CICS ロック・マネージャー (LM) ドメインを使用することにより、ユーザー・タスクに代わってリソースをロックします。
CICS ロガー書き込み要求数	LOGGRWRITREQ	このタスクによって発行された CICS ロガー書き込み要求の数。
論理区画名	LPARNAME	論理区画名 (EBCDIC)。
LU61 入出力待ち時間	LU61WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.1 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.1 入出力を待機した回数。
LU62 入出力待ち時間	LU62WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.2 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.2 入出力を待機した回数。
VTAM LU 名	LUNAME	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。
最大タスク数	MAXTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での最大タスク数の値。
ポリシー・タスク規則に基づいて起動されたアクションの数	MPPRTXCD	ポリシー・タスク・ルールによってトリガーされたアクション (メッセージ、イベント、異常終了) の数。
ポリシー・システム規則に基づいて起動されたアクションの数	MPSRACT	ポリシー・システム規則が「真」と評価され、アクションをトリガーした回数。
ポリシー・システム規則の評価回数	MPSRECT	ポリシー・システム・ルールが評価された回数。
他の TCB モードの CPU 時間	MSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでディスパッチされた時にこのタスクが使用した CPU 時間。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。 JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ時間	MSDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされるのに費やした時間。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。 JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
1 次 TC 受信メッセージ数	MSGIN	受信した 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC 受信メッセージ数	MSGINSEC	このタスクによって受信された 2 次端末管理メッセージの数。
1 次 TC 送信メッセージ数	MSGOUT	送信された 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC 送信メッセージ数	MSGOUTSEC	このタスクによって送信された 2 次端末管理メッセージの数。
MXT による初回ディスパッチ遅延時間	MXTDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達しているために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大 TCB オープン 遅延時間	MXTOTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクが使用できない場合も含む)。 タスクが MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機した回数 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクで使用できなかったものを含む)。
指定カウンターの取得要求数	NCGETCNT	指定カウンターの取得要求数。
LU 6.2 ネットワーク全体の UOW ネット名	NETNAME	発信システムのネットワーク名。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW ID	NETUOWID	作業単位のネットワーク ID。
発信アダプター・データ 1	OADATA1	アダプターにより 発信データに追加されたデータの最初のセクション。
発信アダプター・データ 2	OADATA2	アダプターにより 発信データに追加されたデータの 2 番目のセクション。
発信アダプター・データ 3	OADATA3	アダプターにより 発信データに追加されたデータの 3 番目のセクション。
発信アダプター ID	OADID	アダプターによって 発信元データに追加されたアダプター ID。タスクがアダプターにより 開始されなかった場合、またはタスクがアダプターにより 開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合、このフィールドはブランクになります。
発信アプリケーション ID	OAPPLID	このタスクと関連付けられている発信記述子から取られたアプリケーション ID。
発信クライアント IP アドレス	OCLIPADR	発信クライアント (または Telnet クライアント) の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
発信クライアント・ポート番号	OCLIPORT	発信クライアント (または Telnet クライアント) の TCP/IP ポート番号。
発信機能名	OFCTYNME	発信トランザクションの機能名。発信トランザクションが機能と関連付けられていない場合、このフィールドはヌルとなります。トランザクション機能タイプ (存在する場合) は、トランザクション・フラグ OTRANFLG (370) フィールドのバイト 0 を使用して識別できます。
標準 CP でのオフロード適格	OFFLCPUT	オフロード適格であったにもかかわらず標準 CP で実行されたタスク CPU 時間の合計
発信ネットワーク ID	ONETWKID	タスクが実行された発信領域 APPLID のネットワーク修飾子。
発信ポート番号	OPORTNUM	発信 TCPIPService によって使用されるポート番号。
トランザクション起点タイプ	ORIGINTYPE	トランザクションのソース。これは、CICS トランザクション・マネージャーを使用してトランザクションが接続された基本トランザクション・クライアント・タイプを解釈したものです。
親タスク開始時刻	OSTART	親タスクが開始された時刻。時刻は GMT で表示されます。
発信 TCP/IP サービス	OTCPSVCE	発信 TCPIPService の名前。
発信トランザクション ID	OTRAN	親タスクが実行されたトランザクションの名前。
発信トランザクション・フラグ	OTRANFLG	発信トランザクション・フラグ。トランザクション定義および状況情報をシグナル通知するために使用される 64 ビットのストリング。
発信タスク ID	OTRANNUM	親タスクのタスク ID。
発信ユーザー関連データ	OUSERCOR	発信ユーザー関係子。
発信ユーザー ID	OUSERID	親タスクが実行されたユーザー ID。
RDSA における最大読み取り専用プログラム・ストレージ	PC24RHWM	ユーザー・タスクにより、読み取り専用動的ストレージ域 (RDSA) において 16 MB 境界の下で使用中のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。
SDSA における最大共用プログラム・ストレージ	PC24SHWM	共用動的ストレージ域 (SDSA) において 16 MB 境界より下のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ESDSA における最大共用プログラム・ストレージ	PC31SHWM	拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) において 16 MB 境界より上のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。
分散プログラム・リンク (DPL) 要求数	PCDPLCT	このタスクが別の CICS システムに対する CICS プログラム制御分散プログラム・リンクを発行した合計回数。
プログラム LINK 要求数	PCLINKCNT	このタスクによって発行されたプログラム・リンク要求の数。
プログラム LOAD 要求数	PCLOADCNT	このタスクによって発行されたプログラム・ロード要求の合計数。
プログラム・ロード時間	PCLOADTM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からの取り出しをユーザー・タスクが待機した経過時間。 DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からのプログラム取り出しをこのタスクが待機した回数。 この数値に含まれるのは、インストール済みのプログラム定義を持つプログラム、またはアプリケーション要求の結果として自動インストールされたプログラムの取り出しだけです。ただし、LPA に常駐しているインストール済みプログラムは、LIBRARY からの物理的な取り出しを発生させないので、含まれません。
ユーザー置き換え可能モジュール・リンク要求数	PCLURMCT	このタスクがユーザー置き換え可能モジュールへのリンクを発行した回数。
プログラム制御権移動 (XCTL) 要求数	PCXCTLCNT	このタスクによって発行されたプログラム XCTL 要求の数。
パフォーマンス・レコード数	PERFRECCNT	このタスクについて CICS Monitoring Facility (CMF) によって書き込まれたパフォーマンス・レコードの数。
タスクに割り振られる最大コンテナ・ストレージ	PGCSTHWM	このタスクに割り振られるコンテナ・ストレージの最大バイト数 (最高水準点)。
直前のホップのアプリケーション ID	PHAPPLID	このタスクに関連付けられている別の CICS システムの直前のタスクの CICS システムの VTAM アプリケーション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップ・カウント	PHCOUNT	このタスクに関連付けられているタスクを開始するために、ある CICS システムから別のシステムに要求が行われた回数です。ただし、このコマンドが実行される CICS システムが発信元である場合はゼロです。
直前のホップのネットワーク修飾子	PHNTWKID	このタスクに関連付けられている直前のタスクの CICS システム VTAM アプリケーション ID のネットワーク修飾子。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのタスク開始時刻	PHSTART	このタスクに関連付けられていて、別の CICS 領域内にある直前のタスクの開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合、このオプションは空白に設定されています。
直前のホップのトランザクション ID	PHTRAN	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのトランザクション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのタスク ID	PHTRANNO	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのタスク ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
BTS プロセス ID	PRCSID	ユーザー・タスクが実装した CICS BTS ルート活動の CICS で割り当てられた ID。
BTS プロセス名	PRCSNAME	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス名。
BTS プロセス・タイプ	PRCSTYPE	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス・タイプ。
タスク優先順位	PRIORITY	タスクの合計優先度。合計優先度は、タスクに関連するユーザーの優先度、基本機能である端末の優先度、および実行中のトランザクションの優先度の合計です。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
16 MB 未満の最大プログラム・ストレージ	PSTG24HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界未満のプログラム・ストレージの最大量。
16 MB を超える最大プログラム・ストレージ	PSTG31HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界を超えるプログラム・ストレージの最大量。
全 DSA にわたる最大プログラム・ストレージ	PSTGHWM	すべての DSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
直前のトランザクションのカウント	PTCOUNT	RUN TRANSID コマンドまたは TERMID オプションなしの START コマンドによって、このタスクに関連付けられているのと同じ CICS 領域でタスクを開始するように求める要求がローカル CICS 領域内のタスクから出された回数。そのような要求がなかった場合は、ゼロになります。
直前のトランザクションのタスク開始時刻	PTSTART	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) の開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合、このオプションはブランクになります。
直前のトランザクションのトランザクション ID	PTTRAN	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のトランザクション ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合はブランクになります。
直前のトランザクションのタスク ID	PTTRANNO	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のタスク ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合は、ゼロになります。
QR TCB モードでの実行中に使用された CPU 時間	QRCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。
QR TCB モードでの実行中のディスパッチ時間	QRDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。
QR TCB モード遅延時間	QRMODDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが QR TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。 タスクが QR TCB モードで待機した回数 (別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックの待機を含む)。
レコード・タイプ	RECTYPE	パフォーマンス・レコード・タイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> C - 端末会話のレコード出力 D - PERFORM=DELIVER を指定する、ユーザー定義のイベント・モニター・ポイント (EMP) に対する SET MONITOR のレコード出力。 F - 長期実行トランザクションのレコード出力。 S - 同期点要求のレコード出力。 T - タスク終了 (切り離し) のレコード出力。 トランザクション・リソース・クラス・データの場合、このフィールドには常に「T」が表示されます。
リカバリー・マネージャー UOW の未確定アクションでの解決	RESOLVEACT	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定アクションで解決した作業単位の合計数。
タスク応答時間	RESPTIME	タスク応答時間 (ミリ秒単位)。
VSAM レコード・レベル共用で使用された CPU 時間	RLSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションが、SRB モードで実行する RLS 要求の実行に費やした CPU 時間の合計。 タスクが SRB モードで実行される RLS 要求を実行した回数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
VSAM レコード・レベル共用待ち時間	RLSWAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが RLS ファイル入出力を待機した経過時間。 タスクが RLS ファイル入出力を待機した回数。
CICSplex SM RMI 経過時間	RMICPSMTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICSplex SM リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが CICSplex SM リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DB2 RMI 経過時間	RMIDB2TIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが DB2 リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが DB2 リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DBCTL RMI 経過時間	RMIDBCTLTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが DBCTL リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが DBCTL リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DL/I RMI 経過時間	RMIEXECDLITM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが EXEC DLI リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが EXEC DLI リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
WebSphere MQ RMI 経過時間	RMIMQSERIEST	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが WebSphere MQ リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが WebSphere MQ リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
その他の合計 RMI 経過時間	RMIOThertime	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) に費やした経過時間の合計。個別にリストされる時間 (RMIDB2TIME、RMIDBCTLTIME、RMIEXECDLITM、RMIMQSERIEST、RMICPSMTIME および RMITCPIPTIME) は含まれません。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。個別にリストされる時間 (RMIDB2TIME、RMIDBCTLTIME、RMIEXECDLITM、RMIMQSERIEST、RMICPSMTIME および RMITCPIPTIME) は含まれません。
合計 RMI 一時停止時間	RMISUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した経過時間。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した回数。
TCP/IP ソケット RMI 経過時間	RMITCPIPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが z/OS 通信サーバー IP CICS ソケットのリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが z/OS Communications Server IP CICS ソケットのリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
合計 RMI 経過時間	RMITIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
合計 RMI 経過時間	RMITOTALTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、RMI で費やした経過時間の合計。 RMI でこのタスクによって発行された要求の総数。
リカバリー・マネージャー UOW リソース所有者の障害	ROFAIL	リソース所有者に障害が発生しました。
RO TCB モード遅延時間	ROMODDLY	このタスクが RO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから RO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
最大読み取り専用プログラム・ストレージ	ROPS31HWM	ERDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数 (16 MB 境界を超える読み取り専用ストレージ)。
RRMS/MVS リカバリー単位 ID	RRMSURID	RRMS/MVS によって CICS に与えられたリカバリー単位 ID/トークン。
RRMS/MVS 同期点調整遅延時間	RRMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのタスクが費やした時間。 このタスクが RRMS/MVS との同期点調整を待機した回数。
リモート・システム ID	RSYSID	リモート名で定義されたトランザクションが定義されるリモート・システムの名前。
同期トランザクションの実行 待ち時間	RUNTRWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした時間の合計。 同期で接続しているトランザクションの完了をタスクが待機した回数。 CICS BTS の場合、このフィールドには、このタスクが、「プロセス/活動実行」が同期で実行されるのを待機するのに費やした時間が記録されます。
S8 TCB モードの CPU 時間	S8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが S8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
共用一時記憶域入出力待ち時間	SHAREDTSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 共有一時記憶域の待ち時間の合計。 タスクが共有一時記憶域を待機した回数。
16M を超える共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMA	16 MB を超える共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMB	16 MB 未満の共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージの FREEMAIN バイトの合計数	SHSTGBYTEFMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMA	16 MB を超える共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMB	16 MB 未満の共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCABV	ECDSA または ESDSA における 16 MB 境界より上の共有ストレージについて、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCBAR	GCDSA または GSDSA における 2 GB 境界より上の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCBEL	CDSA または SDSA の 16 MB 境界より下の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
リカバリー・マネージャー UOW の分流	SHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定の障害のために除外する必要があった作業単位の合計数。
MVS SOS 待機時間	SMMVSSWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した時間。 MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した回数。
暗号化解除したソケットのバイト数	SOBYDECT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化解除されたバイト数。
暗号化ソケットのバイト数	SOBYENCT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化されたバイト数。
選択された暗号	SOCIPHER	SSL ハンドシェーク・ネゴシエーションの際に選択されたインバウンド暗号コード。
接続に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか	SOCONMSG	クライアントの新規接続の確立に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか。
インバウンド TCP/IP ソケット 入出力待ち時間	SOIOWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのタスクが費やした時間。 ソケットの送信または受信が完了するのをこのタスクが待機した回数。 これには、このタスクが SO、SL、および S8 TCB モードで費やした時間が含まれます。
SO TCB モード遅延時間	SOMODDLY	このタスクが SO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから SO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
CFDT 同期点待ち時間	SRVSYWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した経過時間。 タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した回数。
タスク開始時刻	START	タスクが開始された GMT (グリニッジ標準時) 時刻。
タスク停止時刻	STOP	タスクが停止された GMT (グリニッジ標準時) 時刻。
WLM 実行段階サブセットの完了	SUBEXCOMP	処理要求 (トランザクション) の実行段階のサブセットが完了しました。
タスク・ヒストリー・サブタイプ	SUBTYPE	このタスク・ヒストリー・リソースのサブタイプ。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> A - 領域のシャットダウン時にアクティブだったタスクの統計値。 T - 正常完了または異常完了したタスクの統計値。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが一時停止されていた経過時間の合計。 このタスクが一時停止された回数。
同期点要求数	SYNCCOUNT	このタスクによって発行された同期点要求の数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
親同期点待ち遅延時間	SYNCDLY	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした時間の合計。 タスクがその親トランザクションが同期点に至る (その更新がコミットされるなど) のを待機した回数。 <p>CICS BTS の場合、このフィールドには、「プロセス/活動同期実行」を発行することによりこのタスクを開始した親タスクからの同期点を、このタスクが待機するのに費やした時間が記録されます。</p>
同期点待ち時間	SYNCPWAITTM	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同期点要求の処理中にこのタスクがディスパッチまたは一時停止された経過時間の合計。 同期点要求の処理中にタスクがディスパッチまたは一時停止された回数。
FEPI ALLOCATE タイムアウト数	SZALLCTO	このタスクによって発行された FEPI 割り振りタイムアウトの数。
FEPI ALLOCATE 要求数	SZALLOCT	このタスクによって発行された FEPI 割り振り要求の数。
受信 FEPI 文字数	SZCHRIN	このタスクによって受信された FEPI 文字の数。
送信 FEPI 文字数	SZCHROUT	このタスクによって送信された FEPI 文字の数。
FEPI RECEIVE 要求数	SZRCVCT	このタスクによって発行された FEPI 受信要求の数。
FEPI RECEIVE タイムアウト数	SZRCVTO	このタスクによって発行された FEPI 受信タイムアウトの数。
FEPI SEND 要求数	SZSENDCT	このタスクによって発行された FEPI 送信要求の数。
FEPI START 要求数	SZSTRCT	このタスクによって発行された FEPI 開始要求の数。
合計 FEPI 要求数	SZTOTCT	ユーザー・タスクによって行われる FEPI API および SPI 要求すべての合計数。
FEPI 一時停止時間	SZWAIT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがすべての FEPI サービスを待機した経過時間の合計。 このタスクが FEPI サービスを待機した回数。
タスク ID	TASK	タスクの ID。
データ記憶キー	TASKDATAKEY	<p>CICS がタスク期間のためにタスク初期設定時に割り振るタスク存続期間ストレージ (アプリケーションからアクセス可能) のストレージ・キー。これらのストレージ域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) です。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> USER - CICS は、このトランザクションのユーザー・キー・ストレージを取得します。いずれかのキーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行えます。 CICS - CICS はこのトランザクション用の CICS キー・ストレージを取得します。CICS キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行えます。ユーザー・キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りのみ行えます。
16MB を上回る/下回るデータ・ロケーション	TASKDATALOC	<p>トランザクションの継続期間中に CICS によって獲得されたタスク存続期間ストレージを、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置けるかどうかを示します。特定の CICS タスクに関連しているこれらの領域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) を含んでいます。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> BELOW - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は 16 MB 境界より下に置く必要があります。 ANY - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置くことができます。
トランザクション・エラー・フラグ	TASKFLAG	このタスクのトランザクション・エラー・フラグ。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
セッション割り振り待ちの遅延時間	TCALWTT	このタスクがセッションの割り振りを待機するために費やした時間。
CICS ディスパッチャーの TCB 接続数	TCBATTCT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 接続の数。
2 次 LU62 TC 受信文字数	TCC62IN2	このタスクによって受信された 2 次 LU6.2 文字の数。
2 次 LU62 TC 送信文字数	TCC62OU2	このタスクによって送信された 2 次 LU6.2 文字の数。
端末管理入出力待ち時間	TCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 端末の入出力待ち時間の合計。 • このタスクが端末入出力を待機した回数。
TCL による初回ディスパッチ遅延時間	TCLDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 • このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。
2 次 LU62 TC 受信メッセージ数	TCM62IN2	このタスクによって受信された 2 次 LU6.2 TC メッセージの数。
2 次 LU62 TC 送信メッセージ数	TCM62OU2	このタスクによって送信された LU6.2 端末管理メッセージの数。
合計一時データ要求数	TDCCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時データ要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。
TD 区画外ロック待ち時間	TDELWTT	これは、タスクが TD 区画外ロックを待機した時間です。
一時データ GET 要求数	TDGETCNT	このタスクによって発行された一時データ取得/読み取り要求の数。
TD 区画内ロック待ち時間	TDILWTT	これは、タスクが TD 区画内ロックを待機した時間です。
一時データ入出力待ち時間	TDIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 一時データの入出力待ち時間の合計。 • このタスクが一時データ入出力を待機した回数。
一時データ PURGE 要求数	TDPURCNT	このタスクによって発行された一時データ・ページ/削除要求の数。
一時データ PUT 要求数	TDPUTCNT	このタスクによって発行された一時データ・プット/書き込み要求の数。
端末接続名	TERMCNNAME	端末セッション接続の名前。
実際の端末 ID またはセッション ID	TERMID	これは、タスクが実行している実際の端末識別名です。 トランザクション・ルーティング環境では、これはタスクが通過する経路にあるセッションの ID です。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
端末情報	TERMNALINFO	<p>端末に関する情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> バイト 0 - 特性: <ul style="list-style-type: none"> X'00' - 適用外 X'01' - 端末 X'02' - セッション バイト 1 - セッション・タイプ: <ul style="list-style-type: none"> X'00' - 適用外 X'01' - IRC X'02' - IRC XM X'03' - IRC XCF X'04' - LU61 X'05' - LU62 SINGLE X'06' - LU62 PARALLEL バイト 2 - アクセス方式: <ul style="list-style-type: none"> X'01' - VTAM X'03' - BSAM X'04' - TCAM X'06' - BGAM X'07' - CONSOLE バイト 3: デバイス・タイプ・コード
時間キー	TIME	タスクが開始された時刻。MNTIME システム 初期化パラメーターに応じて、現地時間または GMT (グリニッジ標準時) になります。MNTIME が設定されていない場合は、GMT がデフォルト値になります。返される時間が「表示可能な」書式ではないことに注意してください。16 進数の時間値はキー・フィールドで表示されます。
Atom サービス名	TMRATMSN	Atom サービス名
合計 BIF DIGEST 要求数	TMRBFDGC	BIF DIGEST 要求数
合計 BIF 要求数	TMRBFTC	BIF 要求総数
CorbaServer 名	TMRCBRNM	タスクに関連した CorbaServer の名前。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
OO クラス・ライブラリー API 要求数	TMRCFACT	OO クラス・ライブラリー API 要求の合計数。
クライアント IP ポート	TMRCIPOR	クライアントのポート番号。
CICS TCB 変更モード遅延時間	TMRCMDLY	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した経過時間。 ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後、ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した回数。 <p>例えば、CICS L8 または S8 モード TCB から CICS QR モード TCB に戻る変更 TCB モード要求では、別のタスクが現在 QR TCB でディスパッチされているために QR TCB を待たなければならないような場合もあります。</p>
文書削除要求数	TMRDHDLC	このタスクによって発行された文書削除要求の数。
ディスパッチャー MVS ストレージ制約待ち時間	TMRDSCWT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機に費やした経過時間。 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機した回数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ディスパッチャー TCB のミスマッチ待ち時間	TMRDSMWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> TCB ミスマッチ待ち時間 (つまり、TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求) の合計数。 TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求の数。
CICS ディスパッチャー TCB のピーク数	TMRDSTHW	使用中の CICS ディスパッチャー TCB のピーク数。
イベントのキャプチャー数	TMRECEVC	キャプチャーされた EVENT 数
イベント・フィルター・コマンド数	TMRECFOC	イベント・フィルター・コマンド数
キャプチャーされた同期発行イベントの数	TMRECSEC	キャプチャーされた同期発行 EVENT の数。
SIGNAL EVENT 要求数	TMRECSGE	SIGNAL EVENT 要求数
合計 EXEC CICS 要求数	TMREICTC	EXEC CICS 要求総数
Bean 状態の活動化要求数	TMREJBAC	このタスクによって発行された Bean 状態の活動化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 作成要求数	TMREJBCC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 作成要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 状態の不動態化要求数	TMREJBPC	このタスクによって発行された Bean 状態の不動態化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 除去要求数	TMREJBRC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 除去要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean 合計要求数	TMREJBTC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean メソッドの呼び出し数	TMREJMCT	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean メソッドの呼び出しの数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大ホット・プリーング TCB 遅延時間	TMRHTDLY	このフィールドは廃止されています。
チャンネルとのローカル・インターバル制御機能開始数	TMRICSCC	このタスクによって発行されたチャンネル・オプションを使用したローカル・インターバル制御開始の数。
チャンネルとのすべてのローカル IC 開始のデータ長	TMRICSCD	チャンネルとのすべてのローカル IC 開始のデータ長。
チャンネルとのリモート・インターバル制御機能開始数	TMRICSRC	このタスクによって発行されたチャンネル要求を使用したリモート・インターバル制御開始の総数。
チャンネルとのすべてのリモート IC 開始のデータ長	TMRICSRD	チャンネルとのすべてのリモート IC 開始のデータ長。
IPCONN 割り振り要求数	TMRISACT	IP 相互通信接続のセッションのタスクによって発行される割り振りセッション要求の数。
IPCONN 名	TMRISCNM	このトランザクションと関連付けられている IP 相互通信接続を定義する IP 相互接続エントリ (IPCONN) の名前。
IPCONN I/O 待ち時間	TMRISWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> IP 相互通信接続処理の完了を待機するのにタスクが費やした時間。 タスクが IP 相互通信接続作業の完了を待機した回数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
J9 TCB モードの CPU 時間	TMRJ9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> J9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが J9 TCB モードでディスパッチされた回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
JVM サーバー・スレッド待ち時間	TMRJSTWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが JVM サーバー・スレッドの作業の待機に費やした時間 タスクが JVM サーバー・スレッドの作業を待機した回数
最大 JVM TCB 遅延時間	TMRJTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXJVMTCS 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延。 タスクがシステム・パラメーター MAXJVMTCS によって設定された限界で待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
JVM 経過時間 - 初期化	TMRJVMIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境を初期化するために費やした経過時間。 JVM 環境が初期化された回数。
JVM 経過時間 - リセット	TMRJVMRT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境をリセットするために費やした経過時間。 JVM 環境がリセットされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード CPU 時間	TMRKY8CP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード CPU 時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード・ディスパッチ時間	TMRKY8DS	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード・ディスパッチ時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 9 モード CPU 時間	TMRKY9CP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた合計 CPU 時間。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
ユーザー・タスク・キー 9 モード・ディスパッチ時間	TMRKY9DS	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた経過時間の合計。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
ユーザー・タスク L9 モード CPU 時間	TMRL9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> L9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが L9 TCB モードでディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
XML システム・サービスの CPU 時間	TMRMLCTM	XML システム・サービスの CPU 時間
合計文書長	TMRMLTDL	文書の全長

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数	TMRMLXTC	EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数
WebSphere MQ API SRB 時間	TMRMQAST	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> API 要求の実行中に WebSphere MQ の SRB に費やされた合計 CPU 時間。 タスクが SRB 時間を累積した回数。
WebSphere MQ Getwait 待ち時間	TMRMQGWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> WebSphere MQ によるタスクの GETWAIT 要求に対するサービス提供を待機するのにタスクが費やした時間。 WebSphere MQ がタスクの GETWAIT 要求に対してサービスを提供するのをタスクが待機した回数。
ネットワーク ID	TMRNETID	ネットワークの ID。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW インスタンスとシーケンス番号	TMRNETSX	発信システムでネットワーク作業単位 ID の識別に使用される名前。この名前は、発信システムで作成された STCK 派生トークンを使用するか、IRC (MRO)、IPIC (IP 相互通信) または ISC (APPC) の付加機能管理ヘッダー (FMH) の一部として渡されたネットワーク作業単位を使用して、トランザクション接続時に割り当てられます。
Node.js アプリケーション名	TMRNJAPN	タスクが開始された Node.js アプリケーション名。
OTS 未確定待ち時間	TMROIDWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> オブジェクト・トランザクション・サービスの未確定待機時間。 このタスクがオブジェクト・トランザクション・サービスの未確定を待機した回数。
OTS トランザクション ID	TMROTSID	オブジェクト・トランザクション・サービスのトランザクション ID。
チャンネルとの DPL プログラム・リンク要求数	TMRPCDCC	このタスクによって発行された DPL プログラム・リンク要求の数。
チャンネルとのすべての DPL プログラム・リンクのデータ長	TMRPCDLL	ユーザー・タスクにより CHANNEL オプション付きで発行された分散プログラム・リンク (DPL) 要求すべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのすべての DPL 戻りの合計データ長	TMRPCDRL	ユーザー・タスクにより発行された DPL RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム・リンク要求数	TMRPCLCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム・リンク要求の数。
チャンネルとのプログラム戻り要求数	TMRPCRCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム戻り要求の数。
チャンネルとのすべてのプログラム戻りのデータ長	TMRPCRCL	ユーザー・タスクにより発行されたリモート疑似会話型 RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム XCTL 要求数	TMRPCXCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム XCTL 要求の数。
コンテナ・チャンネル・ブラウズ要求数	TMRPGBCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル・ブラウズ要求の数。
チャンネル・コンテナ用に作成されたコンテナ数	TMRPGCCC	このタスクによりチャンネル・コンテナ用に作成されたコンテナの数。
合計チャンネル・データ・コンテナ要求数	TMRPGCTC	このタスクによって発行されたチャンネル・データ・コンテナ要求の合計数。
コンテナ・チャンネル取得要求数	TMRPGGCC	このタスクによって発行される GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル取得要求のデータ長	TMRPGGCL	このタスクによって発行されたすべての GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求のデータ長。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
コンテナ・チャンネル移動要求数	TMRPGMCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル移動要求の数。
コンテナ・チャンネル・プット要求数	TMRPGPCC	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル・プット要求のデータ長	TMRPGPCL	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求すべてのデータ長。
パイプライン名	TMRPIPLN	パイプライン名
TCP/IP サービス・ポート番号	TMRPORTN	TCP/IP サービスによって使用されるポート番号。
パートナー待ち時間	TMRPTPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パートナーの待ち時間の合計。 ・ タスクがパートナー・トランザクションの完了を待機した回数。
実 LU 名	TMRRLUNM	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。
ユーザー・タスク読み取り専用モード CPU 時間	TMRROCPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モードの CPU 時間。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク読み取り専用モード・ディスパッチ時間	TMRRODSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モード・ディスパッチ時間 (秒数)。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
要求プロセッサ待ち時間	TMRROPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求プロセッサの入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求プロセッサの入出力操作を待機した回数。
要求受信側待ち時間	TMRQRWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求受信側の入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求受信側の入出力操作を待機した回数。
受信文字数	TMRSOCIN	このタスクによって受信された文字の数。
CREATE 非永続ソケット要求数	TMRSOCNS	このタスクによって発行された Create 非永続ソケット要求の数。
送信文字数	TMRSOCOT	このタスクによって送信された文字の数。
CREATE 永続ソケット要求数	TMRSOCPS	このタスクによって発行された Create 永続ソケット要求の数。
EXTRACT TCPIP 要求と EXTRACT CERTIFICATE 要求の数	TMRSOERC	EXTRACT TCPIP および EXTRACT CERTIFICATE 要求の合計数。
インバウンド・ソケット受信文字数	TMRSOI1C	このタスクによって受信されたインバウンド・ソケット文字の合計数。
インバウンド・ソケット受信要求数	TMRSOIMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット受信要求の数。
非永続ソケットのピーク数	TMRSONHW	このタスクに関連した非永続ソケットのピーク数。
インバウンド・ソケット送信文字数	TMRSOO1C	このタスクによって送信されたインバウンド・ソケット文字の数。
インバウンド・ソケット送信要求数	TMRSOOMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット送信要求の数。
アウトバウンド TCP/IP ソケット入出力待ち時間	TMRSOOWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトバウンド・ソケットの入出力待ち時間の合計。 ・ このタスクがアウトバウンド・ソケット入出力を待機した回数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
永続ソケットのピーク数	TMR SOPHW	このタスクに関連した永続ソケットのピーク数。
ソケット受信要求数	TMR SORCT	このタスクによって発行されたソケット受信要求の数。
ソケット送信要求数	TMR SOSCT	このタスクによって発行されたソケット送信要求の数。
合計ソケット要求数	TMR SOTC	このタスクによって発行されたソケット要求の合計数。
最大 CICS SSL TCB 遅延時間	TMR STDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SSL TCB (S8 モード) を入手するために待機した経過時間。 システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SS TCB (S8 モード) を入手するために待機した回数。
ユーザー・タスク T8 モード CPU 時間	TMRT8CPU	ユーザー・タスク T8 モードの CPU 時間
TCP/IP サービス名	TMRTCP SV	TCP/IP サービスの名前。
トランザクション・グループ ID	TMRTGP ID	このタスクに関連したトランザクション・グループの ID。
EXEC CICS ASKTIME 要求数	TMRTIATC	EXEC CICS ASKTIME 要求数
合計 EXEC xxxTIME 要求数	TMRTITC	EXEC xxxTIME 要求総数
最大スレッド TCB 遅延時間	TMRTTDLY	最大スレッド TCB 遅延時間
URI マップ名	TMRURIMN	URI マップ名
Web ブラウズ要求数	TMRWBBOC	このタスクによって発行された Web ブラウズ要求の数。
WEB BROWSE 要求数	TMRWB BRC	このタスクによって発行された Web ブラウズ要求の合計数。
Web EXTRACT 要求数	TMRWB ERC	このタスクによって発行された Web 取り出し要求の合計数。
Web 要求で受信したバイト数	TMRWBI1C	このタスクによって発行された Web 要求により受信されたバイト数。
Web 受信要求数	TMRWBIRC	このタスクによって発行された Web 受信要求の数。
WEB サービス起動要求数	TMRWBIWC	このタスクによって発行された WEB サービス起動要求の数。
Web 要求で送信したバイト数	TMRWBO1C	このタスクによって発行された Web 送信要求により送信されたバイト数。
Web 送信要求数	TMRWBOSC	このタスクによって発行された Web 送信要求の数。
Web 解析要求数	TMRWBPRC	このタスクによって発行された Web 解析要求の数。
リポジトリリーから読み取られたデータのデータ長	TMRWBRDL	リポジトリリーから読み取られたデータのデータ長。
WEB 読み取り要求数	TMRWBROC	このタスクによって発行された Web 読み取り要求の数。
リポジトリリー読み取り数	TMRWBRPR	このタスクによって発行されたリポジトリリー読み取り要求の数。
WEB READ 要求数	TMRWB RRC	このタスクによって発行された Web 読み取り要求の合計数。
リポジトリリーに書き込まれたデータのデータ長	TMRWBWDL	リポジトリリーから書き込まれたデータのデータ長。
Web 書き込み要求数	TMRWBWOC	このタスクによって発行された Web 書き込み要求の数。
WEB WRITE 要求数	TMRWBWRC	このタスクによって発行された Web 書き込み要求の合計数。
合計 WebSphere MQ 要求数	TMRWMQRC	タスクに関する WebSphere MQ 要求の総数。
プログラム名	TMRWPBMN	プログラム名
合計 WS アドレッシング要求数	TMRWSATC	WS アドレッシング要求総数
WSACONTEXT BUILD 要求数	TMRWSCBC	WSACONTEXT BUILD 要求数

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
WSACONTEXT GET 要求数	TMRWSCGC	WSACONTEXT GET 要求数
WSAEPR CREATE 要求数	TMRWSEPC	WSAEPCCCT - WSAEPR CREATE 要求数
Web サービス・オペレーション名	TMRWSOPN	Web サービス・オペレーション名
Webservice 名	TMRWSVCN	Web サービス名
ユーザー・タスク X8 モード CPU 時間	TMRX8CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X8 TCB モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク X9 モード CPU 時間	TMRX9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X9 TCB モードでディスパッチされた回数。
最大 CICS XPLink TCB 遅延時間	TMRXTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 CICS XPLink TCB 遅延時間。 ユーザー・タスクが CICS XPLink TCB を入手するために待機した回数。
トランザクション・クラス	TRANCLASS	タスクが属するトランザクション・クラスの名前。
トランザクション・フラグ	TRANFLAGS	このトランザクションの CICS トランザクション定義および状況情報フラグ。
トランザクション ID	TRANID	タスクに関連したトランザクション名。
トランザクション・タイプ	TRANATYPE	トランザクション開始タイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> TO - 端末入力から接続。 S - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データなし) SD - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データあり) QD - 一時データのトリガー・レベルで接続 U - ユーザー要求による接続 TP - 端末 TCTTE トランザクション ID から接続 SZ - フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) による接続。
合計 TS 要求数	TSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時記憶域要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。
一時記憶域 GET 要求数	TSGETCNT	このタスクによって発行された一時記憶域取得/読み取り要求の数。
共用記憶域への TS GET 要求数	TSGETSCNT	共用記憶域への TS 取得数。
TS 入出力待ち時間	TSIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時記憶域の入出力待ち時間の合計。 このタスクが一時記憶域入出力を待機した回数。
補助記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTACNT	補助記憶域への TS 書き込み数。
主記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTMCNT	主記憶域への TS 書き込み数。
共用記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTSCNT	共用記憶域への TS 書き込み数。
リカバリー・マネージャー UOW の非分流	UNSHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失ったものの、未確定の障害のために除外されなかった作業単位の合計数。
ローカル作業単位 (UOW) ID	UOWID	このタスクに関連する作業単位のローカル ID。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW インスタンスとシーケンス番号	UOWINSTSEQ	LU6.2 ネットワーク全体の作業単位の合計数。

表 216. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ユーザー ID	USERID	タスクに関連したユーザー ID。
UDSA における最大プログラム・ストレージ	USRPS24HWM	UDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
EUDSA における最大プログラム・ストレージ	USRPS31HWM	EUDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
16MB 未満のユーザー・ストレージ GETMAIN 要求数	USTG24CNT	16 MB 境界未満のストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
UDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	USTG24HWM	UDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
16 MB 未満平均ストレージ使用量	USTG24OCC	16 MB 境界未満のユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
16MB を超えるユーザー・ストレージ GETMAIN 要求数	USTG31CNT	16 MB 境界を超えるストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
EUDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	USTG31HWM	EUDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
16 MB を超える平均ストレージ使用量	USTG31OCC	16 MB 境界を超えるユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが再ディスパッチを待つのに費やした平均時間。 このタスクが再ディスパッチを待機した回数。
Web 受信文字数	WBCHRIN	このタスクによって発行された WEB 受信の結果として、WEB を介して受信された文字数。
Web 送信文字数	WBCHROUT	このタスクによって発行された WEB 送信の結果として、WEB を介して送信された文字数。
INVOKE SOAP サービス障害	WBISSFCT	INVOKE xxxSERVICE SOAP 障害の数。
JSON 応答本体の長さ	WBJSNRPL	JSON 応答本体の長さ
JSON 要求本体の長さ	WBJSNRQL	JSON 要求本体の長さ
WEB RECEIVE 要求数	WBRCVCT	このタスクによって発行された Web 受信要求の合計数。
Web リポジトリ書き込み数	WBREPWCT	このタスクによって発行された WEB リポジトリ書き込み要求の数。
WEB SEND 要求数	WBSENDCT	このタスクによって発行された Web 送信要求の合計数。
SOAPFAULT CREATE 要求	WBSFCRCT	SOAPFAULT CREATE 要求の数。
SOAPFAULT CREATE 要求の合計	WBSFTOCT	SOAPFAULT CREATE 要求の総数。
SOAP 要求本体の長さ	WBSREQBL	SOAP 要求ボディ長の長さ。
SOAP 応答本体の長さ	WBSRSPBL	SOAP 応答本体の長さ。
合計 Web 要求数	WBTOTCT	このタスクによって発行された Web 要求の合計数。これにはリポジトリ書き込み要求の数は含まれません。
ワークロード・マネージャー・レポート・クラス名	WLMRPTRCNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) レポート・クラス。
ワークロード・マネージャー・サービス・クラス名	WLMSRVCNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・クラス。

EXCI 要求 - EXCI

「EXCI 要求」(EXCI) ビューは、CICS 外部 CICS インターフェース API を使用するクライアント・プログラムから発生したタスクに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「タスク操作ビュー (Task operations views)」 > 「EXCI 要求 (EXCI requests)」

表 217. 提供された「EXCI 要求」(EXCI) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
EXCI 要求 EYUSTARTEXCI.DETAILED	ターゲット・スコープ内で実行していて、CICS EXCI プロトコルを使って CICS 外から呼び出された、選択したタスクの詳細情報
EXCI 要求 EYUSTARTEXCI.TABULAR	ターゲット・スコープ内で実行していて、CICS EXCI プロトコルを使って CICS 外から呼び出されたタスクを識別するのに使われるテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 218. EXCI ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
EXCI クライアント ID	LUWID	次の形式の EXCI クライアント ID。jobname.stepname.procname - MVSid。
EXCI クライアント MVS システム ID	MVSSYSID	この EXCI クライアントが実行している MVS システムの SMF ID。
RRMS/MVS リカバリー単位 ID	RRMSURID	EXCI クライアントが整合更新するために RRMS を使用している場合、この値は 16 進表記の RRMS リカバリー単位 ID です。
タスク番号	TASK	アクティブ EXCI クライアントに関連付けられた CICS タスク番号。タスク番号ゼロは指定した EXCI クライアントからアクティブになっている DPL 要求がないことを表します。

間隔制御要求数 - REQID

「間隔制御エレメント」(REQID) ビューには、アクティブ CICS システム内の未解決の間隔制御要求に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「タスク操作ビュー」 > 「間隔制御要求数」

表 219. 提供された「間隔制御要求数」(REQID) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
間隔制御要求数 EYUSTARTREQID.CANCEL	間隔制御エレメントを取り消します。
間隔制御要求数 EYUSTARTREQID.DETAILED	選択したインターバル制御エレメントに関する詳細情報
間隔制御要求数 EYUSTARTREQID.TABULAR	未解決のインターバル制御エレメントに関するテーブル形式の情報

アクション

表 220. REQID ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CANCEL	間隔制御エレメントを取り消します。

フィールド

表 221. REQID ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
機能管理ヘッダー状況	FMHSTATUS	要求に関連付けられているデータに機能管理ヘッダーが含まれているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> FMH - 要求に関連付けられているデータに機能管理ヘッダーが含まれています。 NOFMH - 要求に関連付けられているデータに機能管理ヘッダーは含まれていません。 NOTAPPLIC - 要求に関連付けられているデータがないか、要求タイプが START または ROUTE ではありません。
要求の有効期限が切れるまでの間隔	INTERVAL	要求の有効期限が切れるまでの残り時間。
要求名	NAME	要求の名前。
要求を作成した START コマンドの QUEUE	QUEUE	要求に関連付けられているキュー値。
要求を作成したコマンド・タイプ	REQTYPE	要求タイプ属性。 <ul style="list-style-type: none"> DELAY - キューに入れられた要求は DELAY コマンドで発行された。 POST - キューに入れられた要求は POST コマンドで発行された。 START - キューに入れられた要求は START コマンドで発行された。 ROUTE - キューに入れられた要求は ROUTE コマンドで発行された。
シーケンス番号	RSEQ	固有のリソース・キーを保障するために生成されるシーケンス番号。
要求を作成した START コマンドの RTERMID	RTERMID	要求に関連付けられているリモート端末名。
要求を作成した START コマンドの RTRANSID	RTRANSID	要求に関連付けられているリモート・トランザクション名。
要求を作成した START コマンドの TERMID	TERMID	要求に関連付けられている端末名。
有効期限時刻	TIME	要求に関連付けられている有効期限時刻。午前 0 時 (現地時間) を基準にした絶対値です。その期限までに要求を処理する必要があります。要求の有効期限が現在の日付を超えている場合、有効期限までの残り時間は 23 より大きくなります。
コマンド作成要求により指定された TRANSID	TRANSID	要求に関連付けられているトランザクション名。
関連ユーザー ID	USERID	この要求を作成したタスクに関連付けられているユーザー ID。

3270 ブリッジ機能 - BRFACIL

「3270 ブリッジ機能」(BRFACIL) ビューには、ブリッジ環境で CICS 3270 アプリケーションを実行する際に実際の 3270 をシミュレートするための 3270 ブリッジ・メカニズムで使用される仮想端末 (ブリッジ機能) が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「端末操作ビュー」 > 「3270 ブリッジ機能」

表 222. 提供された「3270 ブリッジ機能」(BRFACIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.DETAILED	選択した 3270 ブリッジ機能に関する詳細情報
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.RELEASE	アクティブ・ブリッジ機能に削除対象としてマークを付けます。
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.TABULAR	CICS システム内の 3270 ブリッジ機能に関するテーブル形式の情報

アクション

表 223. BRFACIL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
RELEASE	アクティブ・ブリッジ機能に削除対象としてマークを付けます。
SET	選択したブリッジ機能の属性を変更します。

フィールド

表 224. BRFACIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
機能保持時間	KEEPTIME	ブリッジ機能が非アクティブの状態では保存される時間の長さ。この期間が経過すると、機能に削除対象のマークが付きま。
リモート・ブリッジ・ターゲット領域ネットワーク名	LINKSYSNET	Link3270 ブリッジ要求が別の領域に経路指定されている場合のターゲット領域のアプリケーション ID。要求が Link3270 ルーターと同じ領域で処理される場合は、このフィールドはブランクになります。このフィールドは、Link3270 セッションで最初のトランザクションを実行するときに動的トランザクション・ルーティングが複数の試行を行うと、変わることがあります。このフィールドは、ルーター領域でのみ設定されます。
リモート・ブリッジ・ターゲット領域システム ID	LINKSYSTEM	Link3270 ブリッジ要求が別の領域に経路指定されている場合のターゲット領域のシステム ID。要求が Link3270 ルーターと同じ領域で処理される場合は、このフィールドはブランクになります。このフィールドは、Link3270 セッションで最初のトランザクションを実行するときに動的トランザクション・ルーティングが複数の試行を行うと、変わることがあります。このフィールドは、ルーター領域でのみ設定されます。
ブリッジ機能トークン	NAME	ブリッジ機能の 8 バイトの機能トークン。
ネーム・スペース・タイプ	NAMESPACE	ブリッジ機能名の割り振りに使用されるネーム・スペースのスコープ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> LOCAL - ブリッジ機能は START BREXIT ブリッジ機構によって割り振られたため、その名前は、それが作成されたローカル領域の中でのみ固有のものとなります。 SHARED - ブリッジ機能は Link3270 ブリッジ機構によって割り振られたため、その名前は、共用 DFHBRNSF ネーム・スペース・ファイルへのアクセス権限を持つ CICSplex 内のすべての CICS ルーター領域の間で固有のものとなります。
ネットワーク名	NETNAME	3270 ブリッジ機能の仮想ネットワーク名。
リモート・ブリッジ・ルーター・ネットワーク名	REMOTESYSNET	ブリッジ・ルーター領域のアプリケーション ID。このフィールドは、ターゲット領域でのみ設定されます。要求がルーター領域で処理され、ターゲット領域に送信されない場合は、ブランクになります。
リモート・ブリッジ・ルーター・システム ID	REMOTESYSTEM	ブリッジ・ルーター領域のシステム ID。このフィールドは、ターゲット領域でのみ設定されます。要求がルーター領域で処理され、ターゲット領域に送信されない場合は、ブランクになります。

表 224. BRFACIL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスク番号	TASKID	3270 ブリッジ機能で現在実行されているアクティブ CICS タスクの数。このフィールドはターゲット領域でのみ表示され、ブリッジが使用中でないときはゼロに設定されます。
端末	TERMID	3270 ブリッジ機能の仮想端末 ID。
端末状況	TERMSTATUS	ブリッジ機能の状況。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ACQUIRED - ブリッジ機能は現在使用中です。 AVAILABLE - ブリッジ機能は現在使用されていません。クライアントによる再使用が可能です。 RELEASED - ブリッジ機能に対して SET BRFACILITY RELEASED が発行されています。これは次のクリーンアップ・サイクルで削除されます。
トランザクション	TRANSID	3270 ブリッジ機能で現在実行されているユーザー・トランザクションの名前。現在ブリッジが使用中でない場合、このフィールドはブランクになります。
ユーザー ID	USERID	3270 ブリッジ機能に関連付けられているユーザー ID。

処理要求 - WORKREQ

「処理要求」(WORKREQ) ビューには、EJB 処理要求およびそれに関連したトランザクションについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「タスク操作ビュー (Task operations views)」 > 「処理要求 (Work requests)」

表 225. 提供された「処理要求」(WORKREQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
処理要求 EYUSTARTWORKREQ.DETAILED	EJB 処理要求に関する詳細情報
処理要求 EYUSTARTWORKREQ.FORCEPURGE	選択済み処理要求を強制ページします。
処理要求 EYUSTARTWORKREQ.PURGE	選択済み処理要求をページします。
処理要求 EYUSTARTWORKREQ.TABULAR	EJB 処理要求に関するテーブル形式の情報

アクション

表 226. WORKREQ ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
FORCEPURGE	選択済み処理要求を強制ページします。
PURGE	選択済み処理要求をページします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 227. WORKREQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
クライアント IP アドレス	CLIENTIPADDR	要求を発信したクライアントの IPv4 または IPv6 アドレス。この IP アドレスのフォーマットは CLNTIPFAMILY 値により提供されます。
クライアント IP アドレスの形式	CLNTIPFAMILY	<p>CLIENTIPADDR フィールドのクライアントの IP アドレス・フォーマットを示す値。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • IPV6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • NOTAPPLIC - アドレスにエントリが指定されていません。
関連付けられた CorbaServer	CORBASERVER	関連する CorbaServer の名前。
要求を受信したホスト・ポート	LISTENERPORT	要求を受信したホスト・ポート。
処理要求	NAME	作業要求を示すために CICS が生成したトークン。
親タスクのアプリケーション ID	OAPPLID	親タスクのアプリケーション ID。
要求を受信したタスク	OTASK	要求を受信したタスク (RequestReceiver) の番号。
要求を受信したトランザクション ID	OTRANSID	要求を受信したトランザクションの ID。
ページ・タイプ	PURGETYPE	<p>タスクがページされるか、強制ページされるかを指定します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Forcepurge - 処理要求は即時に終了します。システム 保全性は保証されません。バックアウト処理中に処理要求が強制ページされる場合など極端な例では、CICS は異常終了する場合があります。処理要求を終了させるものの、CICS を終了させないという場合には、FORCEPURGE ではなく PURGE を使用してください。 • Purge - 処理要求は終了しますが、システム 保全性とデータ保全性が維持できる場合に限って終了が生じます。
現在の要求 ID	REQUESTID	現行要求の ID。この値は、要求を開始するクライアントによって送信され、応答と要求を関連付けるために使用されます。クライアントはいつでも、一度に複数の要求を処理できます。
呼び出しのスタック・レベル	STACK	この呼び出しのスタック・レベル。クライアントから新規要求を受信するたびに、要求受信側はスタックを作成して値 1 で初期化します。スタックは新規 Bean が呼び出されるたびに 1 ずつ増加し、スタックを増加させた Bean が終了するたびに減少します。したがって、スタックの値により、この作業要求が実行している EJB トランザクション内の現行レベルが分かります。要求が非 CICS EJB サーバーに送信される場合には、このフィールドの値は増加しません。
ローカル・タスク番号	TASK	ローカル・タスク番号。
ローカル・トランザクション ID	TRANSID	ローカル・トランザクションの ID。

表 227. WORKREQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ターゲット CICS システムのアドレス	TSYSTEM	<p>ターゲット・システムの VTAM APPLID または解決済み IPv4 または IPv6 アドレスおよびポート。このフィールドには、以下のいずれかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット・システムのコロン 16 進数 IPv6 アドレスおよびポート番号。形式は ::a:b:c:d:port などのようになります。 ターゲット・システムの小数点付き 10 進数 IPv4 アドレスおよびポート番号。形式は a.b.c.d:port のようになります。 最大 8 文字とその後のブランク。この場合、最大 8 個の文字はターゲット・システムの VTAM アプリケーション ID です。 このフィールドにブランク文字 (スペース) のストリングしか含まれない場合、ターゲットは MRO を使用した CICS ではありません。 別の値。CICS は、その他の可能性を認識していません。他の値は、インストール済み環境の、この CICS コマンドのこのパラメーターから入手した値を処理することが予期されている他のソフトウェアにとって意味がなければなりません。
ターゲット・システム・アドレスの形式	TSYSTYPE	<p>ターゲット・システムのアドレスの形式を示します。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> APPLID - アドレスは最大 8 文字の VTAM APPLID の後にブランクが付いたものになります。 IPv4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定され、ポートも含められます。 IPv6 - アドレスは IPv6 コロン 16 進数アドレス・フォーマットで指定され、ポートも含められます。 NOTAPPLIC - アドレスにエントリーが指定されていません。ターゲット・システムのアドレスにブランクが含まれています。
実行中の処理のタイプ	WORKTYPE	<p>実行中の処理のタイプ。</p> <ul style="list-style-type: none"> IIOP - IIOP 要求に関する処理が実行されていることを示します。 SOAP - Web サービス要求に関する処理が実行されていることを示します。

タスクごとのストレージ・エレメント - TASKESTG

「タスクごとのストレージ・エレメント」(TASKESTG) ビューには、タスクと関連付けられた CICS ストレージ・エレメントがリストされます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「タスク操作ビュー」 > 「タスクごとのストレージ・エレメント」

表 228. 提供された「タスクごとのストレージ・エレメント」(TASKESTG) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
タスクごとのストレージ・エレメント EYUSTARTTASKESTG.DETAILED	タスクの CICS ストレージ・エレメントに関する詳細情報
タスクごとのストレージ・エレメント EYUSTARTTASKESTG.TABULAR	タスクの CICS ストレージ・エレメントに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 229. TASKESTG ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
DSA 名	DSANAME	ストレージ・エレメントが戻される DSA (動的ストレージ域) の名前。可能な値は、CDSA、UDSA、ECDSA、および EUDSA です。
ストレージ・エレメント・アドレス	ELEMENTADDR	ストレージのエレメントの開始アドレス。戻される開始アドレスには、先行チェック・ゾーンは含まれません。
エレメントの長さ	ELEMENTLEN	ストレージのエレメントの長さ。戻される長さには、先行または後続チェック・ゾーンは含まれません。
タスク番号	TASK	タスクの ID。

タスクごとのファイル使用 - TASKFILE

「タスク・エレメント・ストレージ」(TASKFILE) ビューには、タスクおよびタスクが CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システムで使用した CICS ファイルについての情報が表示されます。データを取得できるのは、CICS リソース・モニターがアクティブになってからだけです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「タスク操作ビュー」 > 「タスクごとのファイル使用」

表 230. 提供された「個々のタスクによるファイル使用 (File usage by an individual task)」(TASKFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
個々のタスクによるファイル使用 (File usage by an individual task) EYUSTARTTASKFILE.DETAILED	選択したタスクのファイル使用に関する詳細情報
個々のタスクによるファイル使用 (File usage by an individual task) EYUSTARTTASKFILE.TABULAR	タスクとそのタスクで使用された CICS ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 231. TASKFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
データ・セット名	DSNAME	データ・セットの名前。
アクセス方式呼び出し数	FCAMCNT	CICS ファイル制御によってこのタスクについて発行されたアクセス方式 (VSAM または BDAM) 要求の合計数。
ADD 要求時間およびカウント	MNRADD	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した ADD 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された ADD 追加要求の数。
BROWSE 要求時間およびカウント	MNRBRWSE	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した BROWSE 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された BROWSE 要求の数。

表 231. TASKFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CFDT 入出力待ち時間およびカウント	MNRCFDTIOWT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した CFDT 入出力要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された CFDT 入力および出力要求の数。
DELETE 要求時間およびカウント	MNRDEL	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した DELETE 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
ファイルの限界を超えました	MNRFILELIMIT	モニターするファイルの最大数 (MCT で定義された) を超過したかどうかを示します。
READ 要求時間およびカウント	MNRGET	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した READ 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された読み取り要求の数。
ファイル入出力待ち時間およびカウント	MNRIOWT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行したすべての入出力要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した合計時間。 ファイルに対して発行された入力および出力要求の合計数。
ファイル ID	MNRNAME	タスクによって使用されるファイルの名前。
WRITE 要求時間およびカウント	MNRPUT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した WRITE 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された書き込み要求の数。
RLS 入出力待ち時間およびカウント	MNRRLSIOWT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行した RLS 入出力要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ファイルに対して発行された RLS 入力および出力要求の数。
タスク開始時刻	MNRSTART	タスクが開始された時刻。これは GMT 形式で表示されます。
タスク ID	MNRTASKNO	タスクの ID。
合計要求時間およびカウント	MNRTOTAL	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このファイルに対してユーザー・タスクが発行したすべての READ、WRITE、REWRITE、DELETE、STARTBR、ENDBR、UNLOCK、および RESETBR 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した合計時間。 ファイルに対して発行された READ、WRITE、REWRITE、DELETE、STARTBR、ENDBR、UNLOCK、および RESETBR 要求の合計数。
トランザクション ID	MNRTRANID	タスクに関連したトランザクション名。
ユーザー ID	MNRUSERID	タスクに関連したユーザー ID。

タスクごとの TS キュー使用 - TASKTSQ

「個々のタスクによる TS キュー使用」(TASKTSQ) ビューには、CICSplex SM によって管理中のアクティブ・システムで使用されているタスクおよび CICS 一時記憶域キューに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」>「タスク操作ビュー」>「タスクごとの TS キュー使用」

表 232. 提供された「個々のタスクによる TSQ 使用」(TASKTSQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
個々のタスクによる TSQ 使用 EYUSTARTTASKTSQ.DETAILED	選択したファイルに関連付けられた一時記憶域キューに関する詳細情報
個々のタスクによる TSQ 使用 EYUSTARTTASKTSQ.TABULAR	タスクとそのタスクに関連した CICS 一時記憶域キューに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 233. TASKTSQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
共用 TS キュー READQ 項目の長さ	GETSHRITEML	補助一時記憶域キューから読み取られるすべての項目の全長。
タスク開始時刻	MNRSTART	タスクが開始された時刻。時刻は GMT 形式で表示されます。
タスク ID	MNRTASKNO	タスクの ID。
トランザクション ID	MNRTRANID	タスクに関連したトランザクション名。
TS キューの限界を超えました	MNRSQLIMIT	モニター対象の TS キューの最大数 (MCT で定義される) を超過したかどうか。
ユーザー ID	MNRUSERID	タスクに関連したユーザー ID。
補助 TS キュー WRITEQ 項目の長さ	PUTAUXITEML	補助一時記憶域キューに書き込まれるすべての項目の全長。
メイン TS キュー WRITEQ 項目の長さ	PUTMAINITEML	主一時記憶域キューに書き込まれるすべての項目の全長。
共用 TS キュー WRITEQ 項目の長さ	PUTSHRITEML	補助一時記憶域キューに書き込まれるすべての項目の全長。
共用 TS キュー入出力待ち時間	SHRTSQIOWT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none">ユーザー・タスクが、この共用一時記憶域キューに関して自分で発行した入出力要求を待機した経過時間。共用一時記憶域キューに対して発行された入出力要求の合計数。
TS キュー READQ 時間およびカウント	TSQGET	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none">ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した GET 要求を待機した経過時間。一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した GET 要求数。
TS キュー READQ 項目の長さ	TSQGETITEML	この一時記憶域キューから読み取られるすべての項目の全長。

表 233. TASKTSQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
共用 TS キュー READQ 時間およびカウント	TSQGETSHR	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した、共用一時記憶域への READQ 要求を待機した経過時間。 一時記憶域キューに対して発行された、共用一時記憶域への READQ 要求数。
TS キュー入出力待ち時間	TSQIOWT	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した入出力要求を待機した経過時間。 一時記憶域キューに対して発行された入出力要求の合計数。
TS キュー名	TSQNAME	一時記憶域キューの CICS 名 (16 文字)。
補助 TS キュー WRITEQ 時間およびカウント	TSQPUTAUX	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した、補助一時記憶域への WRITEQ 要求を待機した経過時間。 一時記憶域キューに対して発行された、補助一時記憶域への WRITEQ 要求数。
メイン TS キュー WRITEQ 時間およびカウント	TSQPUTMAIN	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した、主一時記憶域への WRITEQ 要求を待機した経過時間。 一時記憶域キューに対して発行された、主一時記憶域への WRITEQ 要求数。
共用 TS キュー WRITEQ 時間およびカウント	TSQPUTSHR	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行した、共用一時記憶域への WRITEQ 要求を待機した経過時間。 一時記憶域キューに対して発行された、共用一時記憶域への WRITEQ 要求数。
合計 TSQ 入出力時間およびカウント	TSQTOTAL	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが、この一時記憶域キューに関して自分で発行したすべての要求を待機した経過時間の合計。 一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した要求の合計数。

タスクごとの RMI 使用状況 - TASKRMI

「個々のタスクごとの RMI 使用状況」(TASKRMI) ビューには、タスクによる CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) の使用状況についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「タスク操作ビュー」 > 「タスクごとの RMI 使用状況」

表 234. 提供された「タスクごとの RMI 使用状況」(TASKRMI) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
タスクごとの RMI 使用状況 EYUSTARTTASKRMI.DETAILED	選択したタスクの RMI 使用に関する詳細情報

表 234. 提供された「 タスクごとの RMI 使用状況 」(TASKRMI) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
タスクごとの RMI 使用状況 EYUSTARTTASKRMI.TABULAR	タスクでの RMI 使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 235. TASKRMI ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
GET	MAXTASKS または TRANCLASS MAXACTIVE に対してキューに入れられたタスクを表示に含める (YES) または除外する (NO) かを示します。このパラメーターが指定されていない場合、キューに入れられたタスクは含められます。

フィールド

表 236. TASKRMI ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクによって使用された CPU 時間。 このタスクがディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・ディスパッチ時刻	DISPTIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクがディスパッチされてからの経過時間。 タスクのディスパッチ後、このタスクが発行した合計要求数。
タスク応答時間	RESPTIME	タスク応答時間 (ミリ秒単位)。
CICSplex SM RMI 経過時間	RMICPSMTIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICSplex SM 要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の CICSplex SM 要求数
DB2 RMI 経過時間	RMIDB2TIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DB2 要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の DB2 要求数。
DBCTL RMI 経過時間	RMIDBCTLTIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DBCTL 要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の DBCTL 要求数。
DL/I RMI 経過時間	RMIEXCIDLITM	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> EXEC DLI 要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の EXEC DLI 要求数
MQSeries RMI 経過時間	RMIMQSERIEST	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> WebSphere MQ 要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の WebSphere MQ 要求数。

表 236. TASKRMI ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
その他の合計経過時間	RMIOTherTime	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を除く、RMI で費やした経過時間の合計。 一時停止要求を除く、RMI でこのタスクが発行した合計要求数。
TCP/IP ソケット RMI 経過時間	RMITCPITime	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS TCP/IP ソケット要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の CICS TCP/IP ソケット要求数
合計 RMI 経過時間	RMITime	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、RMI で費やした経過時間の合計。 RMI でこのタスクによって発行された要求の総数。
前回統計間隔における合計 RMI 経過時間	RMITotalTime	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、RMI で費やした経過時間の合計。 RMI でこのタスクによって発行された要求の総数。
タスク開始時刻	START	タスクが開始された時刻。MNTIME システム初期化パラメーターに応じて、現地時間または GMT (グリニッジ標準時) になります。MNTIME が設定されていない場合、デフォルトは GMT です。
タスク停止時刻	STOP	タスクが停止された時刻。MNTIME システム初期化パラメーターに応じて、現地時間または GMT (グリニッジ標準時) になります。MNTIME が設定されていない場合、デフォルトは GMT です。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 前回のディスパッチ後、タスクが一時停止していた間の合計経過時間。 前回のディスパッチ後、タスクが一時停止した回数。
タスク ID	TASKID	タスクの ID。
トランザクション ID	TRANID	タスクに関連したトランザクション名。
ユーザー ID	USERID	タスクに関連したユーザー ID。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	これは、以下のエレメントのいずれかまたは両方が含まれる複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 再ディスパッチ要求を待機するために CICS RMI で費やされた合計経過時間。 CICS RMI 内の再ディスパッチ要求数。

IP 機能 - IPFACIL

「**IP 機能**」(IPFACIL) ビューには、アクティブ CICS タスクと、そのタスクによって使用されている IP 接続との間の関連付けが表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**IP 機能 (IP facilities)**」

表 237. 提供された「IP 機能」(IPFACIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.DETAILED	選択した IP 機能に関する詳細情報
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.TABULAR	IP 機能に関する情報をテーブル形式で表示します。

アクション

なし。

フィールド

表 238. IPFACIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
IP 接続 ID	IPCONN	タスクと関連した IP 接続名。
IP 機能タイプ	IPFACILTYPE	そのタスクに関連した IP 機能のタイプの標識。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> PRINCIPAL。この IP 機能はメイン IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。 ALTERNATE。この IP 機能は 2 次 IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。
関連タスク ID	TASKID	IP 機能と関連付けられたタスクの ID。
IP 機能トークン	TOKEN	IP 機能の ID トークン

タスク関連情報 - TASKASSC

「タスク関連情報」(TASKASSC) ビューには、アクティブ・タスクに関連する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「タスク操作ビュー (Task operations views)」 > 「タスク関連情報 (Task association information)」

表 239. 提供された「タスク関連情報」(TASKASSC) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
タスク関連情報 EYUSTARTTASKASSC.DETAIL2	配布 ID に関連するタスク相関目的のデータを表示する詳細ビュー
タスク関連情報 EYUSTARTTASKASSC.DETAILED	タスク相関目的に関するデータを表示する詳細ビュー
タスク関連情報 EYUSTARTTASKASSC.TABULAR	タスク相関目的に関するデータを表示するテーブル形式ビュー

アクション

なし。

フィールド

表 240. TASKASSC ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行アプリケーション名	ACAPPLNAME	このタスクに関連付けられている現在のアプリケーションの名前。
現行アプリケーション・メジャー・バージョン	ACMAJORVER	このタスクに関連付けられている現在のアプリケーションのメジャー・バージョン。
現行アプリケーション・マイクロ・バージョン	ACMICROVER	このタスクに関連付けられている現在のアプリケーションのマイクロ・バージョン。
現行アプリケーション・マイナー・バージョン	ACMINORVER	このタスクに関連付けられている現在のアプリケーションのマイナー・バージョン。
現行アプリケーション操作	ACOPERNAME	このタスクに関連付けられている現在のアプリケーションが実行している操作。
現行プラットフォーム	ACPLATNAME	このタスクに関連付けられている現在のプラットフォームの名前。
ソケット・アプリケーション・データ	APPLDATA	このタスクを開始する要求を受信したソケットと CICS によって関連付けられたアプリケーション・データ。タスクがソケットを介して開始されなかった場合は、APPLDATA はブランクです。
アプリケーション ID	APPLID	このタスクが実行されている CICS 領域。
クライアント IP アドレス	CLIENTIPADDR	このタスクの開始を要求した TCP/IP クライアントの IPv4 または IPv6 アドレス。この IP アドレスのフォーマットは、IPFAMILY フィールドに表示されます。このタスクが TCP/IP クライアントから開始されなかったか、またはこのタスクのソースがまだ決定されていない場合、このフィールドには 0.0.0.0 が入ります。
クラスター接続タイプ	CLIENTLOC	FACILNAME のファシリティの z/OS Communications Server によって戻される SO_CLUSTERCONNTYPE オプション。FACILTYPE の値が IPIC の場合は IPCONN の CLIENTLOC 値がここに戻されます。 バイナリー・フォーマット SO_CLUSTERCONNTYPE は文字に変換され、0 または 1 のいずれかで表示されます。SO_CLUSTERCONNTYPE およびビット設定の詳細については、z/OS 1.9 インフォメーション・センターの「z/OS 1.9 Communications Server IP Sockets Application Programming Interface Guide」を参照してください。
TCP/IP スタック・ポート番号	CLIENTPORT	このタスクを接続する要求を送信するために TCP/IP スタックが使用したポートの番号。タスクがこの方法で開始されなかった場合は CLIENTPORT にゼロが入ります。
クライアント IP アドレス・フォーマット	CLNTIPFAMILY	CLIENTIPADDR フィールドの IP アドレス・フォーマットを示す値。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• IPV4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。• IPV6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。• NOTAPPLIC - 0.0.0.0 がアドレスに指定されます。
識別名	DNAME	これは指定されたレルムの識別名です。名前は最長 246 文字の UTF-8 文字で、16 進形式で表示されます。
機能名	FACILNAME	このタスクの開始と関連付けられた機能。タスクが名前なしの機能によって開始された場合、この属性はブランクとなります。
機能タイプ	FACILTYPE	このタスクを開始した機能のタイプ。
開始タスクのユーザー ID	INITUSERID	開始タスク (接続の発生原因となったタスク) のユーザー ID。
IPCONN リソース	IPCONN	このタスクを開始する要求を受信するために使用された任意の IP 接続 (IPCONN) の名前。タスクがこの方法で開始されなかった場合、IPCONN はブランクとなります。FACILTYPE が IPCONN となっている場合にのみこのフィールドに非ブランクの値が入ります。

表 240. TASKASSC ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
サーバー IP アドレス・フォーマット	IPFAMILY	SERVERIPADDR フィールドの IP アドレス・フォーマットを示す値。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • IPV6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • NOTAPPLIC - 0.0.0.0 がアドレスに指定されます。
VTAM LU 名	LUNAME	このタスクの開始元となった端末の完全修飾ネットワーク名。IP 相互接続 (IPCONN)、ISC over SNA (APPC)、または MRO セッションからタスクが開始された場合は LUNAME にリモート領域のネットワーク名が入ります。端末から、または IPCONN、APPC、または MRO セッションからタスクが開始されなかった場合、LUNAME はブランクとなります。OTS トランザクションの場合、LUNAME はブランクとなります。
MVS イメージ	MVSIMAGE	このタスクを開始する要求を受信するために使用された TCPIP SERVICE と関連付けられている MVS イメージの名前。タスクがこの方法で開始されなかった場合、MVSIMAGE はブランクとなります。注: この機能は、活動化されている通信サーバー TCP/IP ネットワーク・アクセス制御サポート、およびネットワーク・セキュリティ・ゾーンに構成されている CLIENTIPADDRESS に依存します。
ネットワーク ID	NETID	このタスクの開始元となった端末のネットワーク ID。
発信アプリケーション ID	ODAPPLID	このタスクと関連付けられている発信記述子から取られたアプリケーション ID。
発信アダプター・データ 1	ODAPTRDATA1	アダプターにより発信データに追加されたデータの最初のセクション。
発信アダプター・データ 2	ODAPTRDATA2	アダプターにより発信データに追加されたデータの 2 番目のセクション。
発信アダプター・データ 3	ODAPTRDATA3	アダプターにより発信データに追加されたデータの 3 番目のセクション。
発信アダプター ID	ODAPTRID	アダプターによって発信元データに追加されたアダプター ID。タスクがアダプターにより開始されなかった場合、またはタスクがアダプターにより開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合、このフィールドはブランクになります。
発信クライアント IP アドレス	ODCLNTIPADDR	親タスクの開始を要求した TCP/IP クライアントの IPv4 または IPv6 アドレス。この IP アドレスのフォーマットは、ODIPFAMILY フィールドで提供されます。親タスクが TCP/IP クライアントから開始されなかったか、または親タスクのソースがまだ決定されていない場合、このフィールドには 0.0.0.0 が入ります。
発信ポート番号	ODCLNTPORT	親タスクの開始を要求した TCP/IP クライアントによって使用されるポートの番号。親タスクがこの方法で開始されなかった場合は、ODCLNTPORT はゼロを戻します。
発信機能名	ODFACILNAME	親タスクの開始と関連付けられた機能が一時データ・キュー、端末、またはシステムである場合、この属性にその機能の名前が入ります。親タスクがこの方法で開始されなかった場合、この属性はブランクとなります。
発信機能タイプ	ODFACILTYPE	このタスクと関連付けられている親タスクを開始した機能のタイプ。
発信クライアント IP アドレス・フォーマット	ODIPFAMILY	ODCLNTIPADDR フィールドの IP アドレス・フォーマットを示す値。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • IPV6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 • NOTAPPLIC - 0.0.0.0 がアドレスに指定されます。
発信 VTAM LU 名	ODLUNAME	親タスクの開始元となった端末の完全修飾ネットワーク名。IP 相互接続 (IPCONN)、ISC over SNA (APPC)、または MRO セッションから親タスクが開始された場合は、この属性にリモート領域のネットワーク名が入ります。親タスクが端末、IPCONN、APPC、MRO セッションのいずれからも開始されなかった場合、この属性はブランクとなります。OTS トランザクションの場合、この属性はブランクとなります。

表 240. TASKASSC ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
発信ネットワーク ID	ODNETID	タスクの実行の発生原因となった LUNAME のネットワーク修飾子
発信ネットワーク ID	ODNETWORKID	タスクが実行された発信領域 APPLID のネットワーク修飾子。
発信サーバー・ポート	ODSERVERPORT	親タスクが要求を受け取ったときに使用された listen IP ポート番号。親タスクがこの方法で開始されなかった場合、この属性はゼロになります。
親タスク開始時刻	ODSTARTTIME	親タスクが開始された時刻。時刻は GMT で表示されます。
親タスク開始時刻	ODSTARTTM	親タスクが開始された時刻の 21 文字表記。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。
発信タスク ID	ODTASKID	親タスクのタスク ID。
発信 TCP/IP サービス名	ODTCPIPS	親タスクを開始した要求に関連付けられている TCPIPService または Liberty JVM サーバー IP リスナーの名前。親タスクがこの方法で開始されなかった場合、この属性はブランクになります。
発信トランザクション ID	ODTRANSID	親タスクが実行されたトランザクションの名前。
発信ユーザー ID	ODUSERID	親タスクが実行されたユーザー ID。
直前のホップのアプリケーション ID	PHAPPLID	このタスクに関連付けられている別の CICS システムの直前のタスクの CICS システムの VTAM アプリケーション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップ・カウント	PHCOUNT	このタスクに関連付けられているタスクを開始するために、ある CICS システムから別のシステムに要求が行われた回数です。ただし、このコマンドが実行される CICS システムが発信元である場合はゼロです。
直前のホップのネットワーク修飾子	PHNETWORKID	このタスクに関連付けられている直前のタスクの CICS システム VTAM アプリケーション ID のネットワーク修飾子。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのタスク開始時刻	PHSTARTTIME	このタスクに関連付けられていて、別の CICS 領域内にある直前のタスクの開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合、このオプションは空白に設定されています。
直前のホップのタスク開始時刻	PHSTARTTM	過去のホップ上でタスクが開始された時間です。
直前のホップのタスク ID	PHTASKID	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのタスク ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのトランザクション ID	PHTRANSID	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのトランザクション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
最初のプログラム	PROGRAM	このトランザクションを実行しているタスクによって呼び出される最初のプログラムの名前。
直前のトランザクションのカウント	PTCOUNT	RUN TRANSID コマンドまたは TERMID オプションなしの START コマンドによって、このタスクに関連付けられているのと同じ CICS 領域でタスクを開始するように求める要求がローカル CICS 領域内のタスクから出された回数。そのような要求がなかった場合は、ゼロになります。
直前のトランザクションのタスク開始時刻	PTSTARTTIME	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) の開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合、このオプションはブランクになります。
直前のトランザクションのタスク開始時刻	PTSTARTTM	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) の開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合、このオプションはブランクになります。
直前のトランザクションのタスク ID	PTTASKID	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のタスク ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合は、ゼロになります。

表 240. TASKASSC ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
直前のトランザクションのトランザクション ID	PTTRANSID	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のトランザクション ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合はブランクになります。
基本認証レルム名	REALM	これはレルム名です。レルムは最長 255 文字の UTF-8 文字で、16 進形式で表示されます。
スケジューリング IP サーバー	SERVERIPADDR	このタスクをスケジュールに入れた IP サービスの IPv4 または IPv6 アドレス。この IP アドレスのフォーマットは、IPFAMILY フィールドに表示されます。このタスクが IP サービスから開始されなかったか、このタスクのソースがまだ決定されていない場合、このフィールドには 0.0.0.0 が入ります。
サーバー listen ポート	SERVERPORT	このタスクを接続することになる要求を受信した IP サービスが listen しているポートの番号。サービスは TCPIPService リソースまたは Liberty JVM サーバーのいずれかです。タスクがこの方法で開始されなかった場合は SERVERPORT にゼロが入ります。
タスク開始時刻	STARTTIME	タスクが開始された時刻。時刻は GMT で表示されます。
タスク開始時刻	STARTTM	このタスクが開始された時刻の 21 文字表記。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。
タスク ID	TASKID	「タスク関連情報」(TASKASSC) ビューに、アクティブ・タスクの関連情報が示されます。
TCP/IP ジョブ	TCPIPJOB	このタスクを開始する要求を受信した IP 接続 (IPCONN) に関連付けられている TCP/IP ジョブの名前。タスクがこの方法で開始されなかった場合、TCPIPJOB はブランクとなります。注: この機能は、活動化されている通信サーバー TCP/IP ネットワーク・アクセス制御サポート、およびネットワーク・セキュリティ・ゾーンに構成されている CLIENTIPADDRESS に依存します。
TCP/IP サービス名	TCPIPService	このタスクを開始する要求を受信した IP 接続 (IPCONN) に関連付けられている TCPIPService の名前。タスクがこの方法で開始されなかった場合、この属性はブランクとなります。
TCP/IP ネットワーク・セキュリティ・ゾーン	TCPIPZONE	このタスクを開始する要求を受信した IPCONN に関連付けられている TCP/IP ネットワーク・セキュリティ・ゾーンの名前。TCP/IP ネットワーク・セキュリティ・ゾーンがない、またはタスクがこの方法で開始されなかった場合、この属性はブランクとなります。注: この機能は、活動化されている通信サーバー TCP/IP ネットワーク・アクセス制御サポート、およびネットワーク・セキュリティ・ゾーンに構成されている CLIENTIPADDRESS に依存します。
トランザクション ID	TRANSACTION	このタスクを実行しているトランザクションの名前。
トランザクション・グループ ID	TRNGRPID	発信トランザクションのトランザクション・グループ ID。
ユーザー関連データ	USERCORRDATA	XAPADMGR グローバル・ユーザー出口プログラムによって関連データ発信記述子に追加されたユーザー関係子データ。このフィールドは親タスクの開始時に作成されます。その時点でグローバル・ユーザー出口プログラムが実行されていない場合、この属性はブランクとなります。
ユーザー ID	USERID	このタスクと関連付けられているユーザー ID。

TCP/IP サービス操作ビュー

「TCP/IP サービス操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の TCP/IP サービスに関する情報が表示されます。

TCP/IP サービス - TCPIPS

TCP/IP サービス名 (TCPIPS) ビューには、CICS 内部ソケット・サポートについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス (TCP/IP services)**」

表 241. 提供された「TCP/IP サービス」(TCPIPS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.CLOSE	TCP/IP サービスを閉じます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。この TCP/IP サービス定義を使用する管理対象 CICS システム内のトランザクションからの出力操作は完了できます。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAIL1	選択した TCP/IP サービス定義に関する詳細な SSL 暗号スイート・コード情報
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAIL2	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DETAILED	選択した TCP/IP サービス定義に関する詳細情報。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.DISCARD	TCP/IP サービス定義をインストール先の CICS システムから破棄します。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.IMMCLOSE	TCP/IP サービス定義に即時クローズを要求します。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合は、このアクション・コマンドを使用するとそれらのトランザクションが異常終了する可能性があります。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.OPEN	TCP/IP サービスを開きます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れるようになります。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
TCP/IP サービス EYUSTARTTCPIPS.TABULAR	現在インストールされている TCP/IP サービス定義に関する表形式の情報

アクション

表 242. TCPIPS ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	TCP/IP サービスを閉じます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。この TCP/IP サービス定義を使用する管理対象 CICS システム内のトランザクションからの出力操作は完了できます。
DEREGISTER	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。TCP/IP サービス定義の登録を解除します。
DISCARD	TCP/IP サービス定義をインストール先の CICS システムから破棄します。
IMMCLOSE	TCP/IP サービス定義に即時クローズを要求します。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れなくなります。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合は、このアクション・コマンドを使用するとそれらのトランザクションが異常終了する可能性があります。
OPEN	TCP/IP サービスを開きます。このアクション・コマンドを使用すると、管理対象 CICS システムはこの TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れるようになります。

表 242. TCPIPS ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 243. TCPIPS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
付加時セキュリティ	ATTACHSEC	ECI over TCP/IP サービスに関する、CICS クライアントへの接続で使われる接続時セキュリティのレベルを示します。 <ul style="list-style-type: none"> LOCAL - CICS はクライアントのユーザー ID またはパスワードを必要としません。 VERIFY - 着信接続要求でユーザー ID およびユーザー・パスワードを指定する必要があります。
認証レベル	AUTHENTICATE	この TCP/IP リソースで使われる認証のレベル。
キュー・バックログ設定	BACKLOG	TCP/IP で処理待ちのキューに入れられる要求の最大数の設定。 入力値: 0 から 32767 まで。 BACKLOG の値が SOMAXCONN の TCP/IP 構成値より大きい場合は、TCP/IP は SOMAXCONN 属性で指定された値を使用します。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
全ソケットにわたる受信バイト数	BYTERCVD	この TCP/IP サービスの全ソケットで受信された合計バイト数。
全ソケットにわたる送信バイト数	BYTESENT	この TCP/IP サービスの全ソケットで送信された合計バイト数。
証明書	CERTIFICATE	この TCP/IP サービスの SSL ハンドシェイクで使用する鍵リング・ファイル内の証明書の名前。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 CSEBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	最大 28 の暗号スイートを指定した値 (16 進数のペアの形式)。CICS Transaction Server 5.1 以降、このフィールドでは、暗号リストが含まれる zFS にある XML ファイルの名前を代わりに指定できます。XML ファイル名は最大 28 文字で指定できます。

表 243. TCPIPS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ソケット・クローズに対するタイムアウト (秒)	CLOSETIMEOUT	受信するデータがない場合に、管理対象 CICS システムがソケットを閉じるまでの期間 (秒)。この値は、「ソケット・クローズ」パラメーターが TIMEOUT の場合に適用されます。
現在の最大バックログ	CMAXBACKLOG	TCP/IP サービスのバックログとして現在使用されている最大値。すべてのスタックを対象にした値です。これは、TCP/IP サービスの BACKLOG 属性を使用して指定した値より大きくなる場合があります。例えば SYN フラッディングが発生したと判断して TCP/IP がバックログを大きくすることがあるからです。
接続数	CONNECTIONS	現在このサービスに関連付けられているソケット接続の数。
接続の最終ドロップ時刻	CONNLASTDROP	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯になったために接続が最後に拒否された時刻。
ドロップされた接続	CONNSDROPPED	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯になったためにドロップされた接続の総数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。
現在のバックログ	CURRBACKLOG	バックログに入っている接続要求の現在の数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
タスク限度に達したために持続接続が切断された回数	DISCATTIM	領域内のタスク数が限度を超えたために既存の HTTP 持続接続が閉じられた回数。
最大使用数に達したために接続が切断された回数	DISCATUSELIM	HTTP 持続接続の使用数が限度を超えたために切断が発生した回数。
ドメイン・ネーム・サービス (DNS) グループ	DNSGROUP	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。DNS グループ名。
ドメイン・ネーム・サービス (DNS) 状況	DNSSTATUS	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。この TCP/IP サービスの WLM/DNS 登録の現在の状態は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> NOTAPPLIC - このサービスは、DNS 接続の最適化を使用していません。リソースがインストールされた際に DNSGROUP 属性が指定されませんでした。 UNAVAILABLE - OS/390 で登録がサポートされていません。 UNREGISTERED - 登録はまだ行われていません (これは、すべてのサービスの初期状態です)。 REGISTERED - 登録は正常に完了しました。 REGERROR - エラーにより登録が失敗しました。 DEREGISTERED - 登録解除が正常に完了しました。 DEREGERROR - エラーにより登録解除が失敗しました。
一般的な TCPIPService	GENERICTCPS	この TCP/IP サービスが使用する一般的な TCP/IP サービスの名前。指定された場合、この TCPIPService は特定の TCP/IP サービスになります。
サービス・オープンの GMT 時刻	GMTSERVOPN	この TCP/IP サービスが開かれたグリニッジ標準時。
重要なドメイン・ネーム・サービス (DNS) グループ・メンバー	GRPCRITICAL	これは CICS TS バージョン 5 リリース 2 以降では廃止されています。この TCP/IP サービスが DNS グループの重要なメンバーかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> CRITICAL - この TCPIPService が閉じられた場合、または何らかの理由で listen が異常停止した場合、DNSGROUP 属性で指定されたグループ名は、WLM から登録解除されます。 NONCRITICAL - この TCPIPService が閉じられたり、何らかの理由で listen が異常停止した場合、DNSGROUP 属性に指定されたグループ名は、これが同じグループ名を持つ集合の最後のサービスでない限り、WLM から登録解除されません。

表 243. TCIPIS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
listen するサーバー・アドレス	HOST	この TCIPISERVICE が着信要求 (ANY または DEFAULT) を listen するホスト名または IP アドレス。HOSTTYPE オプションで、この値のフォーマット (ホスト名、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、ANY、DEFAULT、あるいは、NOTAPPLIC のいずれか) を指定します。 IPRESOLVED には、実際に使用される数値の IP アドレスが入ります。
listen するサーバーのアドレス・フォーマット	HOSTTYPE	サービスが listen する HOST フィールドのアドレスのフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> ANY - サーバーのアドレスに ANY オプションが指定されています。 DEFAULT - サーバーのアドレスに DEFAULT オプションが指定されています。 HOSTNAME - サーバーのアドレスは、文字のホスト名です。ホスト名に対応する IP アドレスが、ドメイン・ネーム・サーバーで検索されます。 IPv4 - サーバーのアドレスは、ドット 10 進アドレス・フォーマットで指定された IPv4 アドレスです。 IPv6 - サーバーのアドレスは、コロン 16 進アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスです。 NOTAPPLIC - サーバーのホスト名またはアドレスが適切ではありません。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
サービスの IPv4 アドレス	IPADDRESS	この TCIPISERVICE が listen しているサーバーの IPv4 ドット 10 進アドレス、ANY、INADDR_ANY または DEFAULT。
解決された IP アドレス・フォーマット	IPFAMILY	IPRESOLVED で示される、このサービスの解決済み IP アドレスのフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> IPv4 - IPRESOLVED には、小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv4 アドレスが含まれています。 IPv6 - IPRESOLVED には、コロン 16 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスが含まれています。 UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
解決された IP アドレス	IPRESOLVED	この TCIPISERVICE が listen している解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、あるいは、これが使用不可であったり不明な場合は、0.0.0.0。 HOST に指定されたアドレスが、ANY または DEFAULT の場合、解決済み IP アドレスは、アプリケーションで使用されている IP スタックに関連付けられた IP アドレスのリストから動的に選択されます。この IP アドレスは、使用されるソケットや、リスナーに使用されるサーバーや現行 IP アドレスに応じて変更されます。 IPFAMILY で IP アドレスのフォーマットを明確にします。
受信されるデータの最大長	MAXDATALEN	この TCP/IP サービス上で受信できるデータの最大長。
持続接続の最大数	MAXPERSIST	CICS が受け入れる持続接続の最大数。値の範囲は 0 - 65535 です。MAXPERSIST 定義で MAXPERSIST(NO) 定義が指定された場合は標準スル値の -1 となります。

表 243. TCPIPS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TCP/IP サービス名	NAME	TCP/IP サービス名
非持続接続の数	NONPERSIST	maxpersist の制限を超えて行われた非持続接続の数。
MAXPERSIST に達したために接続が非持続にされた回数	NPERSATMAXP	MAXPERSIST に達したために新しい持続接続が非持続に変更された回数。
タスク限度に達したために接続が非持続にされた回数	NPERSATTLIM	領域内のタスク数が限度を超えたために新しい HTTP 持続接続が非持続に変更された回数。
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	16 進数の対で指定される暗号スイート・コードの数。値 0 は、XML 暗号ファイルの使用を表す場合があります。
TCP/IP サービス状況	OPENSTATUS	<p>TCP/IP サービス定義の状態は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPEN - この TCP/IP サービス定義からの入力を受け入れられます。 • OPENING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。サービスは OPENING の処理中です。 • CLOSED - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。 • CLOSING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。サービスは CLOSING の処理中です。 • IMMCLOSE - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。管理対象 CICS システムに TCP/IP サービス定義を使用しているトランザクションがある場合、それらのトランザクションが異常終了する可能性があります。 • IMMCLOSING - この TCP/IP サービス定義からの入力は受け入れられません。CICS 内部ソケット・サポートは、即時終了の処理中です。
HTTP OPTIONS のハンドラー・プログラム	OPTIONSPGM	HTTP OPTIONS 要求が処理されるときに呼び出されるユーザー置き換え可能モジュール名。
ピーク接続数	PEAKCONNS	この TCP/IP サービス全体の、使用中になっているソケット接続のピーク数。
ポート番号	PORT	管理対象 CICS システムが着信クライアント要求を listen しているポート番号。
このサービスを使用するクライアントのプライバシー	PRIVACY	<p>これは CICS TS バージョン 3 リリース 1 以降では廃止されています。このサービスへのインバウンド接続に必要な SSL 暗号化のレベルを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • REQUIRED - 暗号化を使用する必要があります。 • SUPPORTED - クライアントおよびサーバーの両方がサポートする場合に暗号化を使用します。 • NOTSUPPORTED - 暗号化を一切使用してはなりません。
プロトコル	PROTOCOL	<p>この TCP/IP リソースで使用されているプロトコルの名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECI - ECI over TCP/IP プロトコル。 • HTTP - ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル。 • IIOP - これは CICS TS バージョン 5 リリース 1 以降では廃止されています。Internet Inter-ORB Protocol。 • IPIC - IP インター・コネクティビティー・プロトコル。 • USER - ユーザー定義プロトコル。
基本認証レルム名	REALM	CICS が基本認証を要求したときに提供されるレルム。
全ソケットにわたる受信数	RECEIVES	この TCP/IP サービスの全ソケットで行われた受信の総数。
要求	REQUESTS	TCP/IP サービスによって処理された要求の数。
全ソケットにわたる送信数	SENDS	この TCP/IP サービスの全ソケットで行われた送信の総数。

表 243. TCPIPS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ソケット・クローズ・アクション	SOCKETCLOSE	ソケットから受信するデータがない場合に管理対象 CICS システムがとるアクション。 <ul style="list-style-type: none"> • WAIT - 管理対象 CICS システムは、受信するデータがない場合、待機してソケットを閉じません。 • TIMEOUT - 管理対象 CICS システムは、「クローズ・タイムアウト」パラメーターで指定された期間が経過してもデータの受信がない場合に、ソケットを閉じます。
特定の TCPIPService	SPECIFTCPS	この TCP/IP サービスが使用する特定の TCP/IP サービスの名前。指定された場合、この TCP/IP サービスは一般的な TCP/IP サービスになります。
Secure sockets layer (SSL) タイプ	SSLTYPE	サービスが Secure Sockets Layer を使用するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NOSSL - サービスは Secure Sockets Layer を使用しません。 • SSL - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を除く)。 • CLIENTAUTH - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を含む)。 • ATTLAWARE - CICS は、AT-TLS がこのサービスのクライアント接続を保護すると想定して処理します。これによってクライアント認証がサポートされる場合があります。
サービス・オープンの現地時刻	TIMEOPEN	この TCP/IP サービスが開かれた現地時間。
合計接続数	TOTALCONNS	TCP/IP サービスのために確立された接続の総数。
トランザクション付加回数	TRANATTACH	この TCP/IP サービスを通して接続したトランザクションの総数。
CICS トランザクション ID	TRANSID	このサービスに関して受信した要求を処理するために接続されているトランザクションの ID。
TS キュー接頭部	TSQPREFIX	このパラメーターは、CICS Transaction Server for z/OS バージョン 3 リリース 2 以降では必要なくなったか、あるいは使用されなくなりました。
ユーザー置き換え可能モジュール名	URM	このサービスで呼び出すユーザー置き換え可能モジュール名。

TCP/IP グローバル統計 - TCPIPGBL

「**TCP/IP グローバル統計**」(TCPIPGBL) ビューには、CICS 内部 TCP/IP ソケット・サポートについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー**」 > 「**TCP/IP グローバル統計**」

表 244. 提供された「TCP/IP グローバル統計」(TCPIPGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
TCP/IP グローバル統計 EYUSTARTTCPIPGBL.DETAIL1	選択した CICS システム内の CRL プロファイルの詳細
TCP/IP グローバル統計 EYUSTARTTCPIPGBL.DETAILED	選択した CICS システム内の TCP/IP ソケットに関する詳細情報
TCP/IP グローバル統計 EYUSTARTTCPIPGBL.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
TCP/IP グローバル統計 EYUSTARTTCPIPGBL.TABULAR	CICS 内部 TCP/IP ソケットに関するテーブル形式の情報

アクション

表 245. TCPIPGBL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 246. TCPIPGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクティブ TCP/IP ソケット数	ACTSOCKETS	現在 CICS ソケット・ドメインで管理しているアクティブ TCP/IP ソケット数。
最大ソケットで遅延した現在の要求数	CDELMAXSOCKS	現在、最大ソケット数で待機しているタスクの数。
非永続インバウンド・ソケットの現在の数	CINSCKSNPERS	非永続インバウンド・ソケットの現在の数。
インバウンド・ソケット数	CINSOCKETS	現在のインバウンド TCP/IP ソケットの数。
非永続アウトバウンド・ソケット数	COUSOCKETS	現在のアウトバウンド TCP/IP ソケットの数。
永続アウトバウンド・ソケット数	CPERSOCKETS	現在の永続アウトバウンド TCP/IP ソケットの数。
最大ソケットでの現在の遅延時間 (秒)	CQTMASOCKS	最大ソケット数での現在の遅延時間 (秒)。
証明書取り消しリスト (CRL) プロファイル名	CRLPROFILE	証明書取り消しリスト (CRL) プロファイルの名前。
CRL サーバー名	CRLSERVER	証明書取り消しリスト (CRL) サーバーの名前。
最大ソケットで遅延した要求の合計数	DELMAXSOCKS	最後の CICS 統計リセット以降の、最大ソケット数で待機したタスクの数。
作成された非永続インバウンド・ソケットの総数	INSCKSNPERS	作成された非永続インバウンド・ソケットの総数。
作成されたインバウンド・ソケット数	INSOCKETSCR	最後の CICS 統計リセット以降の、作成されたインバウンド TCP/IP ソケットの数。
ソケット・リスナーが HTTP 接続のリスニングを一時停止した最終時刻	LTIMPAUSLIST	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにソケット・リスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止した最終時刻。
HTTP 接続持続性が停止された最終時刻	LTIMSTOPPERS	領域内のタスクの数が限界を超えたために HTTP 接続持続性を停止するためのアクションを領域が取った最終時刻です。
TCP/IP ソケット最大数	MAXSOCKETS	CICS ソケット・ドメインで管理できる TCP/IP ソケットの最大数。 入力値: 1 から 65535 まで
アウトバウンド・ソケットが再使用された合計回数	OUTSCKSREUSE	プール内の接続が再使用された合計回数。
クローズされたアウトバウンド・ソケット数	OUTSOCKETSCL	最後の CICS 統計リセット以降の、閉じられたアウトバウンド TCP/IP ソケットの数。
作成されたアウトバウンド・ソケット数	OUTSOCKETSCR	最後の CICS 統計リセット以降の、作成されたアウトバウンド TCP/IP ソケットの数。
永続アウトバウンド・ソケットの総数	OUTSOCKSPERS	作成された永続アウトバウンド・ソケットの総数。
ソケット・リスナーが HTTP 接続のリスニングを一時停止しました	PAUSINGLIST	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにリスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止したかどうかを示します。
最大ソケットで遅延した要求のピーク数	PDELMAXSOCKS	最後の CICS 統計リセット以降の、最大ソケット数で待機したタスクのピーク数。

表 246. TCPIGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
非永続インバウンド・ソケットのピーク数	PINSCKSNPERS	非永続インバウンド・ソケットのピーク数。
永続インバウンド・ソケットのピーク数	PINSCKSPERS	永続インバウンド・ソケットのピーク数。
インバウンド・ソケットのピーク数	PINSOCKETS	最後の CICS 統計リセット以降の、インバウンド TCP/IP ソケットのピーク数。
アウトバウンド・ソケットのピーク数	POUTSCKSBOTH	永続/非永続の両方のアウトバウンド・ソケットのピーク数。
非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数	POUTSOCKETS	最後の CICS 統計リセット以降の、非永続アウトバウンド TCP/IP ソケットのピーク数。
永続アウトバウンド・ソケットのピーク数	PPERSOCKETS	最後の CICS 統計リセット以降の、永続アウトバウンド TCP/IP ソケットのピーク数。
最大ソケットでの合計遅延時間 (秒)	QTMASOCKS	最後の CICS 統計リセット以降の、最大ソケット数で生じた遅延時間の合計 (秒)。
予約域	RSVD1	予約域。
HTTP 接続のパフォーマンス・チューニング	SOTUNING	<p>HTTP 接続のパフォーマンス・チューニングが実行されるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - HTTP 接続のパフォーマンス・チューニングが実行されます。 • 520 - HTTP 接続のパフォーマンス・チューニングは実行されません。IP エンドポイントを共有する場合、すべての領域の SOTUNING を同じ値にしてください。そうしないと、ロードが均等にならない場合があります。
SSL キャッシュ・タイプ	SSLCACHE	SSL キャッシュ・タイプ - CICS、SYSPLEX、または適用不可です。
TCP/IP 状況	STATUS	<p>CICS 内部ソケット・サポート (TCP/IP) の状況。</p> <p>入力値: OPEN、CLOSED、IMMCLOSE</p>
HTTP 接続持続性を停止している領域	STOPPINGPERS	領域内のタスクの数が限界を超えたために領域が HTTP 接続持続性を停止しているかどうかを示します。
最大ソケットでのタイムアウト回数	TDOMASOCKS	最後の CICS 統計リセット以降の、最大ソケット数で起こったタイムアウトの数。
タスクの受け入れ限界においてソケット・リスナーが通知された回数	TIMATACCLIM	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したことをリスナーが通知された回数。
最大使用数で HTTP 接続を切断した回数	TIMDISCATMAX	使用数が限界を超えたために HTTP 持続接続が切断された回数。
最大ソケット数に達した回数	TIMMASOCKS	最後の CICS 統計リセット以降の、最大ソケット数の限度に到達した回数。
非持続にされた HTTP 持続接続の数	TIMMNONPERS	領域内のタスクの数が限界を超えたために HTTP 持続接続が非持続にされた回数。
領域が HTTP 接続持続性を停止した回数	TIMSTOPPERS	領域内のタスクの数が限界を超えたために領域が HTTP 接続持続性を停止するためのアクションを取った回数。

IPIC 接続 - IPCONN

TCP/IP ネットワークの場合、「**IPIC 接続**」(IPCONN) ビューには、現在インストールされている IP 相互通信接続 («**IPIC 接続**» と同じ) の状態が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)」 > 「IPIC 接続 (IPIC connections)」

表 247. 提供された「IPIC 接続」(IPCONN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.ACQUIRE	接続を獲得します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.BACKOUT	この IPIC 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をバックアウトします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.CANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての自動開始記述子 (AID) をキャンセルします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.COMMIT	この IP 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をコミットします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAIL4	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関する詳細情報
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED2	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続の詳細セッション情報および割り振り要求
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DETAILED3	選択した IP 相互接続性 (IPIC) 接続の機能シップの詳細情報
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCE	TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCECANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.FORCEPURGE	IP 接続に関連付けられているトランザクションをただちに強制ページします。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.INSERVICE	接続をサービス開始します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.KILL	IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ保全性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保全性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.NORECOVDATA	すべての未確定作業単位を強制し、未解決の再同期に対して FORGET を実行し、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.NOTPENDING	すべての未確定作業単位を強制し、パートナー・システムの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に作成されたすべての未解決の再同期に対して FORGET を実行します。これにより、再同期プロセスが指定変更されます。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.OUTSERVICE	接続をサービス休止します。

表 247. 提供された「IPIC 接続」(IPCONN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.PURGE	IPIC 接続に関連付けられているトランザクションを通常の方法でページします。CICS は、システムおよびデータ 保全性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.RELEASE	IPIC 接続を解放します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.RESYNC	交換ログ名の再同期を試行します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.SET	選択した接続の属性を変更するために「設定」ビューを表示します。
IPIC 接続 EYUSTARTIPCONN.TABULAR	IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関するテーブル形式の情報

アクション

表 248. IPCONN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	接続を獲得します。
BACKOUT	この IPIC 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をバックアウトします。
CANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての自動開始記述子 (AID) をキャンセルします。
COMMIT	この IP 接続失敗のため除外されたすべての作業単位をコミットします。
DISCARD	接続がインストールされている CICS システムからその接続を廃棄します。接続はサービス休止になった後に廃棄できます。
FORCE	TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。
FORCECANCEL	IPIC 接続にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。
FORCEPURGE	IP 接続に関連付けられているトランザクションをただちに強制ページします。
INSERVICE	接続をサービス開始します。
KILL	IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ 保全性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保全性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。
NORECOVDATA	すべての未確定作業単位を強制し、未解決の再同期に対して FORGET を実行し、パートナー・システムから以前に受け取ったログ名を消去します。
NOTPENDING	すべての未確定作業単位を強制し、パートナー・システムの初期始動 (またはコールド・スタート) 前に作成されたすべての未解決の再同期に対して FORGET を実行します。これにより、再同期プロセスが指定変更されます。
OUTSERVICE	接続をサービス休止します。
PURGE	IPIC 接続に関連付けられているトランザクションを通常の方法でページします。CICS は、システムおよびデータ 保全性を維持できる場合にのみ、この接続に関連付けられているトランザクションを強制終了します。注: 定義が SPURGE=NO を指定している場合、トランザクションはページされません。
RELEASE	IPIC 接続を解放します。

表 248. IPCONN ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
RESYNC	交換ログ名の再同期を試行します。
SET	選択した接続の属性を変更するために「設定」ビューを表示します。

フィールド

表 249. IPCONN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
リンク時に失敗した割り振り数	ALLCFAILLINK	この接続のリンクで失敗したセッション割り振りの数。
他の理由で失敗した割り振り数	ALLCFAILOTH	リンクに関係のない理由でこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
リモート・アプリケーション ID	APPLID	リモート・システムをネットワークに識別させるための名前 (IPCONN 定義の APPLID オプションから取られる)。これは、リモート・システムのアプリケーション ID (<i>applid</i>) であり、そのシステム初期設定テーブルの APPLID オプションで指定されます。XRF システムの場合は汎用アプリケーション ID です。
自動接続オプション	AUTOCONNECT	IPCONN 定義に指定された AUTOCONNECT オプションを以下のように示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NOAUTOCONN <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続のインストール時に CICS はセッションの確立を試みません。 • AUTOCONN <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続のインストール時に CICS はセッションの確立を試みます。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
証明書	CERTIFICATE	アウトバウンド IPCONN 接続で SSL ハンドシェイク内のクライアント証明書として使用される、鍵リング・ファイル内の証明書の名前。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • AUTOINSTALL - リソースは最後に自動インストールされました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続をインストールした場合、この値は、接続のインストール先の CICS システムの CICS リリース・レベルになります。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義を最後に変更したエージェントの CICS リリース・レベルになります。
最終変更時刻	CHANGETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義が最後に変更された現地の日時になります。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールを要求したユーザー ID です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義を最後に変更したユーザー ID になります。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	最大 28 の暗号スイートを指定した値 (16 進数のペアの形式)。CICS Transaction Server 5.1 以降、このフィールドでは、暗号リストが含まれる zFS にある XML ファイルの名前を代わりに指定できます。XML ファイル名は最大 28 文字で指定できます。
パートナー・システムへの最も複雑な経路	CLIENTLOC	<p>IPCONN は、いくつかのソケットを使用して、パートナー・システムに異なるパスを提供する場合があります。IPCONN で使用されたすべてのソケットに対して z/OS Communications Server が戻す SO_CLUSTERCONNTYPE オプションが評価され、多様性の高い経路を示すオプションがここに返されます。</p> <p>バイナリー・フォーマット SO_CLUSTERCONNTYPE は文字に変換され、0 または 1 のいずれかで表示されます。SO_CLUSTERCONNTYPE およびビット設定の詳細については、z/OS 1.9 インフォメーション・センターの「z/OS 1.9 Communications Server IP Sockets Application Programming Interface Guide」を参照してください。</p>
接続状況	CONNSTATUS	<p>CICS とリモート・システムの間の IPIC 接続の状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は獲得されました。ACQUIRED の基準は機能交換の完了です。(機能交換とは、接続された 2 つの CICS 領域が集散的にサポートできるサービスのレベルを発見する方法のことです。同期点レベルやセキュリティー・プロトコル (SSL など) はその一例です。) • FREEING <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続を解放中です。 • OBTAINING <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は獲得中です。接続は ACQUIRED のすべての基準が満たされるまで OBTAINING 状態のままとなります。 • RELEASED <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続は RELEASED です (解放されました)。INSERVICE の状況になる場合もありますが、これは使用できません。
使用中の受信セッション数	CRECVSESS	この接続で使用中の受信セッション数。
使用中の送信セッション数	CSENDSSESS	この接続で使用中の送信セッション数。
現在のキューに入れられた割り振り数	CURRQUEUED	この接続で現在キューに入れられているセッション割り振りの数。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	CICSplex SM SYSLINK 定義を使用して接続がインストールされた場合、これはインストールの現地日時です。SYSLINK を使用して接続をインストールしなかった場合、この値は、IPIC 接続定義レコードが DFHCSD または EYUDREP で作成された現地の日時になります。
ページされた XISQUE 割り振り数	EXITALLCPUR	XISQUE 出口モジュールによってページされた、この接続のセッションの数。
XISQUE 割り振りキュー・ページ数	EXITALLCQPUR	XISQUE 出口モジュールによってページされた、この接続のセッション割り振りの数。
XISQUE 割り振り拒否数	EXITALLCREJ	XISQUE 出口モジュールによって拒否された、この接続のセッション割り振りの数。
FC 機能シッパされた受信バイト数	FSFCBYTERECD	ファイル制御要求によって受信されたバイト数。
FC 機能シッパされた送信バイト数	FSFCBYTESENT	ファイル制御要求によって送信されたバイト数。
FC 機能シッパされた要求数	FSFCREQS	この接続での機能シッパに対するファイル制御機能要求の数。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
IC 機能シッパされた受信バイト数	FSICBYTERECD	インターバル制御要求で受信されたバイト数。
IC 機能シッパされた送信バイト数	FSICBYTESENT	インターバル制御要求で送信されたバイト数。
IC 機能シッパされた要求数	FSICREQS	この接続での機能シッパのためのインターバル制御要求の数。
PC 機能シッパされた受信バイト数	FSPCBYTERECD	LINK 要求で受信されたバイト数。
PC 機能シッパされた送信バイト数	FSPCBYTESENT	LINK 要求で送信されたバイト数。
PC 機能シッパされた要求数	FSPGREQS	この接続での機能シッパのためのプログラム制御 LINK 要求の数。
TD 機能シッパされた受信バイト数	FSTDbyterECD	一時データ要求で受信されたバイト数。
TD 機能シッパされた送信バイト数	FSTDbyterESENT	一時データ要求で送信されたバイト数。
TD 機能シッパされた要求数	FSTDREQS	この接続での機能シッパに対する一時データ要求の数。
TS 機能シッパされた受信バイト数	FSTSbyterECD	一時記憶域要求で受信されたバイト数。
TS 機能シッパされた送信バイト数	FSTSbyterESENT	一時記憶域要求で送信されたバイト数。
TS 機能シッパされた要求数	FSTSREQS	この接続での機能シッパに対する一時記憶域要求の数。
接続設定の GMT 時刻	GMTCTIME	接続が作成された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)。
接続削除の GMT 時刻	GMTDIME	接続が削除された時刻 (グリニッジ標準時 (GMT) 形式)。
高可用性状況	HA	IPIC 接続に高可用性が求められるかどうかを示す。 <ul style="list-style-type: none"> REQUIRED <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続には高可用性が求められます。 NOTREQUIRED <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続には高可用性が求められません。
リモート・ホスト名	HOST	リモート・システムにおけるホスト名または IP アドレス。HOSTTYPE オプションはこの値の形式 (名前、IPv4 アドレス、IPv6 アドレスのいずれか) を示します。
ホスト名のアドレス・フォーマット	HOSTTYPE	ホストのアドレスの形式。使用可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> HOSTNAME - HOST には、文字のホスト名が入ります。ホスト名に対応する IP アドレスは DNS を使用して検索されます。 IPV4 - HOST に、ドット 10 進アドレス形式で指定された IPv4 アドレスが入っています。 IPV6 - HOST には、コロン 16 進数アドレス・フォーマットで指定された IPv6 アドレスが含まれています。 NOTAPPLIC - ホスト名またはアドレスが正しくありません (HOST=0.0.0.0 または HOST=*)。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ID 伝搬	IDPROP	<p>配布 ID が送信者によって接続先のシステムに転送されるかどうかを指定します。接続がシスプレックスの外に拡張され、主に配布 ID がエンタープライズ間で配布されるのを避けるために使用される場合にのみ、IDPROP 属性は効果があります。同じシスプレックスに含まれているシステム同士の接続の場合は、IDPROP(OPTIONAL) を指定した場合と同じ動作になり、他の設定は無視されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOTALLOWED: 送信するトランザクションに関連するユーザー ID が、この接続を使用した要求に対して送信されます。NOTALLOWED がデフォルト値です。 オプション: 配布 ID があれば送信されます。送信トランザクションに関連したユーザー ID も送信されます。 REQUIRED: この接続を使用した要求には配布 ID が必要です。REQUIRED を指定する場合は、受信側のシステムが配布 ID をサポートしている必要があります。送信トランザクションに関連したユーザー ID は送信されません。IDPROP(REQUIRED) を指定する場合は、IPIC 接続を使用するタスクに、関連する配布 ID がなければなりません。配布 ID がいない場合は、セキュリティー・エラーが発生して要求が失敗します。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 AUTOINSTALL - リソースは自動インストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
解決された IP アドレスの形式	IPFAMILY	<p>解決された IP アドレスの形式、IPRESOLVED。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPv4 - アドレスは IPv4 小数点付き 10 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 IPv6 - アドレスはコロンで区切られた IPv6 16 進数アドレス・フォーマットで指定されます。 UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
リモート・ホストの IP アドレス	IPRESOLVED	この IPCONN が適用される HOST の解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、それが選択不可または不明の場合は、0.0.0.0。この IP アドレスの形式は IPFAMILY オプションで指定されます。
リンク・セキュリティー	LINKAUTH	<p>セキュリティーが初期化された (SEC=YES) CICS システムで、リンク・セキュリティー用のユーザー ID をどのように確立するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> CERTUSER - パートナー・システムとの TCP/IP 通信は SSL 用に構成され、SSL ハンドシェイクの間にパートナー・システムから証明書を受信する必要があります。たとえば、パートナー CICS システム内の TCPIPService は、SSL(YES) または SSL(CLIENTAUTH) で定義されていなければなりません。さらに、受信された証明書は外部セキュリティー・マネージャーに定義され、ユーザー ID と関連付けられている必要があります。このユーザー ID がリンク・セキュリティーを確立するために使用されます。 SECUSER - SECURITYNAME に指定されたユーザー ID が、リンク・セキュリティーを確立するために使用されます。これはデフォルト値です。
接続設定の現地時刻	LOCCTIME	接続が作成された現地時間。
接続削除の現地時刻	LOCDDTIME	接続が削除された現地時間。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大キュー時間	MAXQTIME	割り振り要求をキューに入れることのできる最大時間 (秒)。値の範囲は 0 - 9999 です。IPCONN 定義で MAXQTIME(NO) が指定された場合は標準スル値の -1 となります。
最小ミラー存続期間	MIRRORLIFE	この領域で受信される、機能シッパされた要求に関するミラー・タスクの最小存続期間を示します。このパラメーターは、リソース所有領域の IPCONN で指定された場合にのみ有効であり、機能シッパ・インターバル制御機能の場合やリンク要求の場合は無効になります。 <ul style="list-style-type: none"> • REQUEST: ミラー・タスクは可能な限り早く終了します。 • TASK: リモート要求を出すアプリケーションは、そのアプリケーションのタスクが終了するまで、ミラー・タスクを引き続き使用できます。 • UOW: リモート要求を出すアプリケーションは、次の同期点が出されるまで、ミラー・トランザクションを引き続き使用できます。
ページされたキュー時間割り振り数	MQTALLPURG	キュー時間の値を超過したためにこの接続でページされたセッション割り振りの数。
キュー時間割り振りキュー・ページ数	MQTALLQPURG	キュー時間の値を超過したためにこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
IPIC 接続 ID	NAME	リモート・システムまたは領域の 8 文字の ID (つまり、その IPCONN 定義に割り当てられる名前)。
リモート・ネットワーク ID	NETWORKID	リモート・システムのネットワーク ID。これは IPCONN 定義の NETWORKID オプションの値です。IPCONN 定義で NETWORKID が指定されない場合、戻される値は VTAM NETID か、VTAM=NO のシステムの場合はこの CICS (つまり IPCONN 定義がインストールされている CICS) の UOWNETQL システム初期化パラメーターの値になります。 NETWORKID は APPLID オプションと組み合わせて使用されます。それは、接続システムで必ず固有名を使って命名が行われるようにするためです。
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	16 進数の対で指定される暗号スイート・コードの数。値 0 は、XML 暗号ファイルの使用を表す場合があります。
パートナー・システムの製品トークン	PARTNER	パートナー・システムの製品トークン。ただし、パートナー・システムが CICS TS 5.3 以降で、かつ、HTTPUSRAGENTHDR システム初期設定パラメーターを使用している場合を除きます。接続が獲得されない場合、またはパートナー・システムが接続確立時に製品トークンを提示しなかった場合は、このフィールドは空白になります。例えば、CICS TS 4.1 パートナーの場合は、パートナー・システムは IBM_CICS_Transaction_Server/4.1.0(zOS) になります。
キュー・セッション割り振りのピーク数	PEAKQUEUED	任意のいずれかの時点における、この接続でキューに入れられる送信セッションの最大数。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
保留状況	PENDSTATUS	<p>この IPIC 接続に関する保留中の作業単位があるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOTPENDING <ul style="list-style-type: none"> – ログ名がパートナーと不一致ではありません。 • PENDING <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続について未解決の再同期処理がありますが、パートナー・システムは初期始動を実行しました。再同期プロセスは完了していません。SET IPCONN NOTPENDING コマンドを使用すると、関連したトランザクション定義に従って、接続に関連した作業単位を一方的にコミットまたはバックアウトすることができます。個別に作業単位を調べて強制的にコミットまたはバックアウトを行うこともできます。この場合、さらに SET IPCONN NOTPENDING コマンドを使用してリカバリー・アクティビティを完了し、PENDING 状態をクリアしなければなりません。 <p>SET IPCONN NOTPENDING コマンドを発行するまでは、その接続を経由して新規の同期点作業 (つまり同期レベル 2 プロトコルが関係する作業) を伝送することができません。</p> <p>パートナーの初期始動 (またはコールド・スタート) によって生じる同期の消失を不安に思わなければ、IPCONN 定義に XLNACTION(FORCE) を指定することにより SET IPCONN NOTPENDING コマンドを自動的に発行させることができます。</p>
ポート番号	PORT	この IPIC 接続でのアウトバウンド要求で使用するポート番号。つまり、リモート・システムが listen しているポートの番号。IPCONN が PORT(NO) で定義されている場合、値は -1 です。
使用された受信セッションの最大数	PRECVSESS	任意のいずれかの時点における、この接続で使用中の受信セッションの最大数。
使用された送信セッションの最大数	PSENDSSESS	任意のいずれかの時点における、この接続で使用中の送信セッションの最大数。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
ページ・タイプ	PURGETYPE	<p>関連トランザクションがページされる方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CANCEL <ul style="list-style-type: none"> – 指定の IPCONN のためにキューイングしている AID を取り消します。 • FORCECANCEL <ul style="list-style-type: none"> – IPCONN にキューイングしているすべての AID (システム AID を含む) をキャンセルします。注: FORCECANCEL は関連して起動されるタスクがある一時データ AID は除去しません。その種の AID は関連タスクをページすることによって除去できます。 • FORCEPURGE <ul style="list-style-type: none"> – 接続されたシステムのセッションで実行されているトランザクションをすべて即時に異常終了させます。これは予測不能な結果になる場合があります、例外的な状況でのみ使用すべきです。 <p>極端な場合 (バックアウト処理中にエラーが発生するなど)、CICS は異常終了することがあります。</p> <p>未確定および除外された UOW の場合、FORCEPURGE には効果はありません。</p> <p>注: 除外された UOW を強制するには、オペレーターは、FORCEPURGE に続いて SET IPCONN COMMIT、BACKOUT、または FORCE を発行する必要があります。これは予測不能な結果になる場合があります、例外的な状況でのみ使用すべきです。</p> • KILL <ul style="list-style-type: none"> – IPCONN セッションに割り振られたタスクを強制終了します。システムおよびデータ保善性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保善性も保証しませんが、ある状況においては停止した領域を解放して、領域が処理を継続できるようにします。場合によっては(例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。 • PURGE <ul style="list-style-type: none"> – 接続されたシステムで実行中のトランザクションをすべて異常終了させます。トランザクションはシステムおよびデータ保善性を維持できる場合にのみ終了します。定義で SPURGE=NO と指定されている場合、または UOW が除外されている場合、トランザクションはページされません。
キュー限度割り振り拒否数	QLIMALLOCRES	キューのしきい値に達したためにこの接続で失敗したセッション割り振りの数。
キュー限度	QUEUELIMIT	この IPIC 接続について、キューに入れることができる割り振り要求の最大数。値の範囲は 0 - 9999 です。IPCONN 定義で QUEUELIMIT(NO) が指定された場合は標準ヌル値の -1 となります。
受信カウント	RECEIVECOUNT	この IPIC 接続用に定義された RECEIVE セッション数。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	<p>IPIC 接続について未解決の再同期処理があるかどうかを示します。接続については、今まで一度も接続されなかった、静止していてすべての再同期処理が完了した、または静止することなく中断した、という可能性があります。この場合には再同期が必要かもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NORECOVDATA <ul style="list-style-type: none"> – どちらの側にも未解決のリカバリー情報はありません。 • NRS <ul style="list-style-type: none"> – CICS に接続について未解決のリカバリーはありませんが、パートナーにそれがある可能性があります。 • RECOVDATA <ul style="list-style-type: none"> – IPIC 接続に関連した未確定作業単位があるか、または接続で FORGET を待機している未解決の再同期タスクがあります。次の接続がアクティブになるかまたは UOW が再開されると、再同期が行われます。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リモート端末の開始	REMTRMSTRT	この接続を経由して開始するリモート端末数。
リモート・システムにおけるセキュリティ名	SECURITYNAME	これはリモート・システムのセキュリティ名であり、PROTOCOL(IPIC)にのみ適用されます。セキュリティが初期化された CICS システム (SEC=YES) では、セキュリティ名はリモート・システムの権限を設定するために使用されます。セキュリティ名は、ご使用のシステムの有効な RACF ユーザー ID でなければなりません。セキュリティ名のデフォルト値は、デフォルトのユーザー ID になります。
送信カウント	SENDCOUNT	この IPIC 接続用に定義された SEND セッション数。値として 0 が表示される場合、この IPIC 接続がデータの受信専用であることを示します。
サービス状況	SERVSTATUS	IPIC 接続でのデータの送受信が可能かどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> INSERVICE <ul style="list-style-type: none"> データの送受信が可能です。 OUTSERVICE <ul style="list-style-type: none"> データの送受信が不可能です。
Secure sockets layer (SSL) タイプ	SSLTYPE	サービスが Secure Sockets Layer を使用するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NOSSL - サービスは Secure Sockets Layer を使用しません。 SSL - このサービスで Secure Sockets Layer を使用します (クライアント認証を除く)。
TCP/IP サービス	TCPIPSERVICE	この IPCONN のインバウンド処理の属性を定義する PROTOCOL(IPIC) TCPIP SERVICE 定義の 8 文字の名前。
合計セッション割り振り数	TOTALLOC	この接続で使用されたセッションの総数。
トランザクション付加回数	TRANSATTCH	この接続で付加されたトランザクションの数。
TR 機能シッパされた受信バイト数	TRBYTERECD	この接続を経由するトランザクションに対して受信されたバイト数。
TR 機能シッパされた送信バイト数	TRBYTESENT	この接続を経由するトランザクションに対して送信されたバイト数。
TR 機能シッパされた要求数	TRREQS	この接続を経由して要求をルーティングしたトランザクションの数。
サポートされていない要求の数	UNSUPREQS	この接続を経由したサポートされない要求の機能シッパ試行数。
UOW アクション	UOWACTION	この IPIC 接続の失敗のために除外されている作業単位 (UOW) に対して取られるアクション。 <ul style="list-style-type: none"> BACKOUT <ul style="list-style-type: none"> この IPIC 接続の失敗のために除外されている UOW はすべてバックアウトされます。 COMMIT <ul style="list-style-type: none"> この IPIC 接続の失敗のために除外されている UOW はすべてコミットされます。 FORCEUOW <ul style="list-style-type: none"> TRANSACTION 定義の ACTION オプションの指定に従って、この IPIC 接続の失敗により除外されているすべての UOW を強制的に BACKOUT または COMMIT します。 RESYNC <ul style="list-style-type: none"> この IPIC 接続の障害が原因で除外されているすべての UOW を再試行します (つまり、この接続の交換ログ名再同期が試行されます)。接続が獲得された、または UOW の除外が解消したときに、このプロセスは通常は自動的に開始されるはずで。

表 249. IPCONN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続時ユーザー・セキュリティ・レベル	USERAUTH	<p>接続に必要な接続時ユーザー・セキュリティのレベル:</p> <ul style="list-style-type: none"> • DEFAULTUSER - CICS はパートナー・システムからのユーザー ID およびパスワードを受け付けません。すべての要求はデフォルトのユーザー ID の下で実行されます。 • LOCAL - CICS はパートナー・システムからのユーザー ID およびパスワードを受け付けません。すべての要求は、リンク・セキュリティ用に決定されたユーザー ID の下で実行されます。 • VERIFY - 着信接続要求でユーザー ID およびユーザー・パスワードを指定する必要があります。 • IDENTIFY - 着信接続要求は、ユーザー ID を指定する必要があります。これにより、CICS TS バージョン 4 リリース 1 システムでは、必要に応じて配布 ID を送信者が接続先システムに転送できるようになります。

IP 機能 - IPFACIL

「**IP 機能**」(IPFACIL) ビューには、アクティブ CICS タスクと、そのタスクによって使用されている IP 接続との間の関連付けが表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**IP 機能 (IP facilities)**」

表 250. 提供された「 IP 機能 」(IPFACIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.DETAILED	選択した IP 機能に関する詳細情報
IP 機能 EYUSTARTIPFACIL.TABULAR	IP 機能に関する情報をテーブル形式で表示します。

アクション

なし。

フィールド

表 251. IPFACIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
IP 接続 ID	IPCONN	タスクと関連した IP 接続名。
IP 機能タイプ	IPFACILTYPE	<p>そのタスクに関連した IP 機能のタイプの標識。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PRINCIPAL。この IP 機能はメイン IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。 • ALTERNATE。この IP 機能は 2 次 IP 接続名をその所有タスクと関連付けます。
関連タスク ID	TASKID	IP 機能と関連付けられたタスクの ID。
IP 機能トークン	TOKEN	IP 機能の ID トークン

URI マップ - URIMAP

「URI マップ」(URIMAP) ビューには、Web クライアントからの要求またはリモート・サーバーへの要求の汎用リソース ID (URI) に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」> 「TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)」> 「URI マップ (URI maps)」

表 252. 提供された「URI マップ」(URIMAP) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DETAIL1	選択された URI マップについての詳細情報。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DETAIL2	選択された URI マップについての詳細情報。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DETAIL3	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DETAILED	選択された URI マップについての詳細情報。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DISABLE	プログラムが URIMAP 定義にアクセスできないようにします。 URIMAP 定義を再インストールまたは破棄できるようにするには、その前にこれを使用不可にする必要があります。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.DISCARD	システムから URIMAP 定義を除去します。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.ENABLE	プログラムが URIMAP 定義にアクセスできるようにします。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
URI マップ EYUSTARTURIMAP.TABULAR	現在インストールされている URI マップ定義についての表形式の情報。

アクション

表 253. URIMAP ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	プログラムが URIMAP 定義にアクセスできないようにします。URIMAP 定義を再インストールまたは破棄できるようにするには、その前にこれを使用不可にする必要があります。
DISCARD	システムから URIMAP 定義を除去します。
ENABLE	プログラムが URIMAP 定義にアクセスできるようにします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 254. URIMAP ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
HTTP 要求の処理にアナライザー・プログラムを使用	ANALYZERSTAT	<p>USAGE(SERVER) の場合、TCIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザーが要求を処理するために呼び出されるかどうか。その他すべての使用タイプについては、値は強制的に NOANALYZER になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ANALYZER - アナライザー・プログラムを実行します。 NOANALYZER - アナライザー・プログラムを実行しません。
アプリケーション名	APPLICATION	この URIMAP リソースが定義されるアプリケーションのアプリケーション名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
メジャー・バージョン	APPLMAJORVER	この URIMAP リソースが定義されるアプリケーションのメジャー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
マイクロ・バージョン	APPLMICROVER	この URIMAP リソースが定義されるアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
マイナー・バージョン	APPLMINORVER	この URIMAP リソースが定義されるアプリケーションのマイナー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
要求を処理する Atomservice	ATOMSERVICE	これは USAGE(ATOM) 用の属性です。クライアントが、この URIMAP 定義によって指定された URI を使用して、Atom フィールドに関する要求を CICS に行う場合、ATOMSERVICE は Atom フィールドの ATOMSERVICE リソース定義の名前 (1 から 8 文字) を指定します。ATOMSERVICE リソース定義は、Atom サービス、フィールド、コレクション、または、カテゴリー文書を定義し、フィールドにデータを提供するために使用される、Atom 構成ファイル、CICS リソースまたはアプリケーション・プログラム、および Atom バインディング・ファイルを特定します。
認証レベル	AUTHENTICATE	この TCP/IP リソースで使用される認証のレベル。
可用性状況	AVAILSTATUS	<p>アプリケーション・エントリー・ポイントが可用性を制御している場合の、この URIMAP リソースの可用性。</p> <ul style="list-style-type: none"> AVAILABLE - この URIMAP リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点を使用できます。 UNAVAILABLE - この URIMAP リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は有効ですが、まだ使用できません。 NONE - 可用性が NONE である理由がいくつかあります。 <ul style="list-style-type: none"> この URIMAP リソースは CICS アプリケーションの一部ではありません。 この URIMAP リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点がありません。 この URIMAP リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は無効です。 この URIMAP リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は、同じ CICS バンドル内に常駐していません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
アウトバウンド HTTPS 要求用の SSL クライアント証明書	CERTIFICATE	USAGE(CLIENT) の場合、アウトバウンド IIOP 接続で SSL ハンドシェイク内のクライアント証明書として使用される、鍵リング内の証明書のラベル。

表 254. URIMAP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
HTTP 要求に対する CICS 応答の文字セット	CHARACTERSET	USAGE(SERVER) の場合、静的応答の文字セット名。最大 40 文字です。
SSL 暗号スイート・コード	CIPHERS	最大 28 の暗号スイートを指定した値 (16 進数のペアの形式)。CICS Transaction Server 5.1 以降、このフィールドでは、暗号リストが含まれる zFS にある XML ファイルの名前を代わりに指定できます。XML ファイル名は最大 28 文字で指定できます。
要求内容进行处理するコンバーター・プログラム	CONVERTER	USAGE(SERVER) の場合、HTTP 要求を PROGRAM で指定したアプリケーション・プログラムに適する形式に変換するために使用されるコンバーター・プログラムの名前。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
状況	ENABLESTATUS	<p>URIMAP 定義の状況。可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enabled - URIMAP 定義にアクセスできます。 • Disabled - URIMAP 定義にアクセスできません。この状況の URIMAP 定義は削除できます。 • Disabledhost - URIMAP 定義にアクセスできません。この定義が一部を成している仮想ホストが使用不可であるためです。仮想ホストすべての URIMAP 定義を再び使用可能にするには、HOST ビューを使用します。URIMAP 定義がこの状況である場合は、削除できません。
静的応答を形成する修飾 zFS ファイル	HFSFILE	USAGE(SERVER) の場合、内容が HTTP 応答として返される、z/OS UNIX システム・サービスの zSeries ファイル・システム (zFS) 内にあるファイルの完全修飾名または相対名。
URI のホスト・コンポーネント	HOST	リモート・システムにおけるホスト名または IP アドレス。HOSTTYPE オプションはこの値の形式 (名前、IPv4 アドレス、IPv6 アドレスのいずれか) を示します。これが名前または IPv4 アドレスの場合、ポート番号も表示されます。
静的応答をエンコードするコード・ページ	HOSTCODEPAGE	USAGE(SERVER) の場合、静的応答を形成するテキスト文書がエンコードされている IBM コード・ページ (EBCDIC)。最大 10 文字です。

表 254. URIMAP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ホスト名またはホスト・アドレスの形式	HOSTTYPE	<p>URI (HOST) のホスト・コンポーネントのアドレス・フォーマット。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HOSTNAME - HOST に文字のホスト名が入っています。DNS を使用して、ホスト名に対応する IP アドレスが検索されます。 • IPV4 - HOST に、ドット 10 進アドレス形式で指定された IPv4 アドレスが入っています。 • IPV6 - HOST に、コロン 16 進アドレス形式で指定された IPv6 アドレスが入っています。 • NOTAPPLIC - HOST 名またはアドレスが正しくありません (HOST=0.0.0.0 または HOST=*)。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは、GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは BUNDLE によりインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
解決された IP アドレスの形式	IPFAMILY	<p>IPRESOLVED オプションの IP アドレスのフォーマット。使用可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - IPRESOLVED に、ドット 10 進アドレス形式で指定された IPv4 アドレスが入っています。 • IPV6 - IPRESOLVED に、コロン 16 進アドレス形式で指定された IPv6 アドレスが入っています。 • UNKNOWN - IPRESOLVED がまだ使用されていないか、アドレスを解決できません。これは、IPRESOLVED が 0.0.0.0 である場合のデフォルトです。
この URIMAP の解決済み IP アドレス	IPRESOLVED	この URIMAP が適用される HOST の解決済み IPv4 または IPv6 アドレス、それが選択不可または不明の場合は、0.0.0.0。この IP アドレスの形式は IPFAMILY オプションで指定されます。
インバウンド HTTP 要求のリダイレクト先 URI	LOCATION	USAGE(SERVER) または USAGE(PIPELINE) の場合、リダイレクトが指定されている場合に Web クライアントのリダイレクト先となる代替 URL。リダイレクトのタイプの定義には、REDIRECTYPE が使用されます。
URI マップ参照カウント	MAPREFCOUNT	この URIMAP 定義が参照された回数。
URI マップ・ホストまたはパスが使用不能	MATCHDISABLD	このホストとパスが一致するものの、URIMAP 定義が使用できなかった回数。
URI マップ・ホストまたはパスをリダイレクト	MATCHREDIRECT	このホストとパスが一致し、要求がリダイレクトされた回数。
HTTP 要求に対する CICS 応答のメディア・タイプ	MEDIATYPE	CICS が HTTP 要求に対して提供する静的応答のメディア・タイプ (データ内容) を指定します。これは USAGE(SERVER) に対するもので、静的応答が提供されます。最大 56 文字を使用することができます。データ内容について正式に認識されるそれぞれのタイプの名前は、IANA によって定義されています。
名前	NAME	URIMAP 定義の名前。
SSL 暗号スイート・コード数	NUMCIPHERS	16 進数の対で指定される暗号スイート・コードの数。
オペレーション名	OPERATION	この URIMAP リソースがエントリー・ポイントとして定義されるアプリケーション操作の名前。このフィールドが設定されていない場合、このリソースはエントリー・ポイントとしては定義されませんが、引き続きアプリケーションの一部である可能性があります。

表 254. URIMAP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
マップが適用される URI のパス・コンポーネント	PATH	USAGE(CLIENT) の場合、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のパスです。その他の USAGE の場合は、この URIMAP 定義を選択するのに使用される着信 HTTP 要求のパスです。PATH はアスタリスクで終了する場合があります。この場合、それが総称であることを意味し、アスタリスクの前の文字までが同じであるパスと一致します。
要求を処理するパイプライン	PIPELINE	USAGE(PIPELINE) と USAGE(JVMSERVER) の場合、着信要求を処理する Web サービスの PIPELINE リソース定義の名前。
プラットフォーム名	PLATFORM	この URIMAP リソースが定義されるアプリケーションのプラットフォーム名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
USAGE(CLIENT)のポート番号	PORT	USAGE(CLIENT) の場合、PORT オプションはクライアント 接続に使用したポート番号を表示します。HOST にネイティブ IPv4 アドレスまたはホスト名が含まれる場合、ポート番号も HOST オプションに表示されます。USAGE(CLIENT) の場合、URIMAP で定義時に PORT(NO) が指定されていても、PORT 属性には通信で使用されるポート番号が常に含まれています。USAGE(JVMSERVER) の場合、PORT オプションは、Liberty プロファイル・サーバーで実行中のアプリケーションにアクセスするための要求の受信に使用するポート番号を表示します。USAGE(ATOM)、USAGE(SERVER)、または USAGE(PIPELINE) の場合、PORT オプションは -1 に設定します。
要求を処理するアプリケーション・プログラム	PROGRAM	USAGE(SERVER) の場合、着信 HTTP 要求を処理するアプリケーション・プログラムの名前。
リダイレクトのタイプ	REDIRECTTYPE	一致する要求を、一時的または永続的にリダイレクトするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • NONE - 要求は転送されません。LOCATION フィールドに指定されている URL はすべて無視されます。 • TEMPORARY - 要求は一時的に転送されます。応答に使用される HTTP 状況コードは 302 (Found) です。 • PERMANENT - 要求は持続的に転送されます。応答に使用される HTTP 状況コードは 301 (Moved Permanently) です。
マップが適用される URI のスキーマ・コンポーネント	SCHEME	HTTP 要求のスキーム。SSL 付きの HTTP (HTTPS) か、SSL なし (HTTP)。
プールに入っているソケットのタイムアウト (秒)	SOCKETCLOSE	ソケットが閉じるまでのタイムアウト値。0 から 240000 までの秒単位の値です (HHMMSS)。0 は、接続プールが発生しないことを示します。
プールされたソケットのピーク数	SOCKPLSZPEAK	アウトバウンド接続ソケット・プールのピーク・サイズ。
プールされたソケット数	SOCKPOOLSIZE	現在、接続プール内にあるソケットの数。
再利用されたソケットの数	SOCKRECLAIMD	プールから再利用されたソケットの数。
タイムアウトになったソケットの数	SOCKTIMEDOUT	プール内でタイムアウトになったソケットの数。
この URI マップに関連するインバウンド TCP/IP サービス	TCIPSERVICE	USAGE(SERVER) または USAGE(PIPELINE) の場合、この URIMAP 定義が適用される TCIPSERVICE。この URIMAP 定義に一致するのは、この TCIPSERVICE で受信する要求だけです。TCIPSERVICE が指定されていない場合、URIMAP 定義はすべての 着信 HTTP 要求に適用されます。
静的応答を形成する文書テンプレート	TEMPLATENAME	USAGE(SERVER) の場合、内容が HTTP 応答として返される CICS 文書テンプレートの名前。
応答用アプリケーションを実行するための別名トランザクション	TRANSACTION	USAGE(SERVER)、USAGE(JVMSERVER)、または USAGE(PIPELINE) の場合の、着信 HTTP 要求を処理する別名トランザクション名。

表 254. URIMAP ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
URI マップ使用率	USAGE	<p>この URIMAP の使用目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SERVER - URIMAP 定義は、CICS が HOST と PATH によって特定される要求に対する HTTP 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 • CLIENT - URIMAP 定義は、CICS から HTTP 要求を HTTP クライアントとして作成するための情報を指定する目的で使用されます。 • PIPELINE - URIMAP 定義は、CICS が HOST と PATH によって特定される要求に対する XML 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 • ATOM - URIMAP 定義は、URI ではなく IRI (Internationalized Resource Identifier) の使用を暗黙指定するために使用されます。IRI とは、Unicode 文字を含む URI です。 • JVMSERVER - URIMAP 定義は、Liberty サーバーの HOST と PATH で識別される要求に対して CICS が XML 応答を作成するためのリソースを探すために使用されます。
別名トランザクションに割り当てるユーザー ID	USERID	USAGE(SERVER)、USAGE(JVMSERVER)、または USAGE(PIPELINE) の場合の、別名トランザクションが接続される際の 8 文字のユーザー ID。
要求を処理する Web サービス	WEBSERVICE	USAGE(PIPELINE) と USAGE(JVMSERVER) の場合、着信要求を処理する Web サービスの WEBSERVICE リソース定義の名前。

グローバル URI マップ統計 - URIMPGBL

「**グローバル URI マップ統計**」(URIMPGBL) ビューは、URIMAP リソースの CICS 抽出統計によって戻されたグローバル統計を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー**」 > 「**グローバル URI マップ統計**」

表 255. 提供された「グローバル URI マップ統計」(URIMPGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル URI マップ統計 EYUSTARTURIMPGBL.DETAILED	選択した CICS システムの URI マップ・グローバル統計に関する詳細情報
グローバル URI マップ統計 EYUSTARTURIMPGBL.TABULAR	すべての CICS システムの URI マップ・グローバル統計に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 256. URIMPGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
直接接続数	DRCTATTCOUNT	直接接続されたユーザー・タスクによって処理される要求の数。
URI マップ動的内容	DYNAMCONTENT	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、(アプリケーション・プログラムによって作成された) 動的内容が応答として送信された回数。
Entry point reference count (エントリー・ポイント参照カウント)	EPREFCOUNT	アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された、一致する URIMAP 定義の検索が行われた回数。

表 256. URIMPGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ホスト使用不可カウント	HOSTDISABLED	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、仮想ホストが使用不可であった回数。
URI マップ参照カウント	MAPREFCOUNT	一致する URIMAP 定義の検索が行われた回数。
URI マップ・ホストまたはパス一致アナライザー	MATCHANALYZE	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、TCP/IPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザー・プログラムが呼び出された回数。
URI マップ・ホストまたはカウントが一致する	MATCHCOUNT	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われ、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかった回数。
URI マップ・ホストまたはパスが使用不能	MATCHDISABLD	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、その URIMAP 定義が使用不可であった回数。
URI マップ・ホストまたはパスをリダイレクト	MATCHREDIRECT	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、要求がリダイレクトされた回数。
URI マップ・ホストまたはカウントが一致しない	NOMATCHCOUNT	一致する URIMAP 定義の検索が行われたものの、一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出されなかった回数。
URI マップ・パイプライン要求	PIPELINEREQS	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、Web サービスによって要求が扱われた回数。
URI マップ SCHEME(HTTP) 要求	SCHEMEHTTP	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、かつスキームが HTTP であった回数。
URI マップ SCHEME(HTTPS) 要求	SCHEMEHTTPS	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、スキームが HTTPS (SSL 付きの HTTP) だった回数。
URI マップ静的内容	STATICCONTENT	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、それに対応して静的内容 (文書テンプレートまたは zFS ファイル) が送信された回数。

URI ホスト - HOST

「URI ホスト」(HOST) ビューには、ローカル・システムにある仮想ホストに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「TCP/IP サービス操作ビュー」 > 「URI ホスト」

表 257. 提供された「URI ホスト」(HOST) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
URI ホスト EYUSTARTHOST.DETAILED	選択した仮想ホストに関する詳細情報
URI ホスト EYUSTARTHOST.DISABLE	ホストを使用不可にします。
URI ホスト EYUSTARTHOST.ENABLE	ホストを使用可能にします。
URI ホスト EYUSTARTHOST.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
URI ホスト EYUSTARTHOST.TABULAR	ローカル・システム内の仮想ホストに関する表形式の情報

アクション

表 258. HOST ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	ホストを使用不可にします。
ENABLE	ホストを使用可能にします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 259. HOST ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
状況	ENABLESTATUS	この仮想ホストの状況。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ENABLED - 仮想ホストは使用可能です。 DISABLED - 仮想ホストは使用不可です。仮想ホストを構成する URIMAP 定義にアプリケーションはアクセスできません。
名前	NAME	仮想ホストの名前。それぞれの仮想ホスト名は、仮想ホストを構成する URIMAP 定義で指定されているホスト名から取られます。例えば、CICS 領域に含まれる URIMAP 定義で www.example.com というホスト名が指定されていた場合、CICS は www.example.com という名前の仮想ホストを作成します。URIMAP 定義のホスト名は最大 120 文字まで可能です。
このホストに関連するインバウンド・ポート TCP/IP サービス	TCPIPSERVICE	この仮想ホストが関連するインバウンド・ポートを指定する TCPIPSERVICE 定義名。この定義が指定されていないと、仮想ホストはすべての TCPIPSERVICE 定義に関連付けられます。

Web サービス - WEBSERV

「**Web サービス**」(WEBSERV) ビューには、Web サービス設定でデプロイされた CICS アプリケーション・プログラムのランタイム環境に関する情報が表示されます。ここでは、アプリケーション・データ構造と SOAP メッセージとの間のマッピングが CICS 提供ツールを使用して生成されています。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー (TCP/IP service operations views)**」 > 「**Web サービス (Web servicess)**」

表 260. 提供された「 Web サービス 」(WEBSERV) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
Web サービス EYUSTARTWEBSERV.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
Web サービス EYUSTARTWEBSERV.DETAILED	選択した Web サービスに関する詳細情報
Web サービス EYUSTARTWEBSERV.DISCARD	Web サービスを破棄します
Web サービス EYUSTARTWEBSERV.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
Web サービス EYUSTARTWEBSERV.TABULAR	Web サービスに関する表形式の情報

アクション

表 261. WEBSERV ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	Web サービスを破棄します
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 262. WEBSERV ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
zFS 上の完全修飾アーカイブ・ファイル	ARCHIVEFILE	この Web サービスの WSDL 文書を含むアーカイブ・ファイル。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
この Web サービスが表す WSDL バインディング	BINDING	Web サービスが表す WSDL バインディング。WSDL ファイルには多数のバインディングが存在する場合があります、これはそのうちの 1 つです。
コード化文字セット ID	CCSID	実行時にアプリケーションと Web サービス・バインディング・ファイルとの間でデータをエンコードするために使用する CCSID の名前。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCS DUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • DYNAMIC - リソースは最後に動的に変更されました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによって最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
プログラム入力が CHANNEL の場合に使用されるコンテナ	CONTAINER	CICS がチャネルにあるターゲット・アプリケーション・プログラムにデータを受け渡す際に、最上位データを保持するコンテナの名前。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
リモート Web サービスのエンドポイント URI	ENDPOINT	Web サービス記述で定義されているように、Web サービスのネットワーク上の場所 (エンドポイント) を指定する URI。

表 262. WEBSERV ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • DYNAMIC - リソースは動的にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは、GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは BUNDLE によりインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
zFS 上の WSBIND ファイルの最終更新時刻	LASTMODTIME	1900 年 1 月 1 日 00:00 以降、zFS 上の配置 Web サービス・バインディング・ファイルが最後に更新された時刻 (ミリ秒単位)。
WSBIND ファイルで使用するマッピング・レベル	MAPPINGLEVEL	WSBIND ファイルの生成時に使用されたマッピング・レベル。
MAPLEVEL のマッピング・リリース番号部分	MAPPINGRNUM	WSBIND ファイルの生成時に使用されたマッピング・レベルのリリース番号。リリース番号の値は、0、1、または 2 です。
MAPLEVEL のマッピング・バージョン番号部分	MAPPINGVNUM	WSBIND ファイルの生成時に使用されたマッピング・レベルのバージョン番号。バージョン番号の値は、1、2、3、4 のいずれかです。
WSBIND ファイルに必要な最小ランタイム・レベル	MINRUNLEVEL	CICS に WEBSERVICE をインストールするために必要な最小ランタイム・レベル。
MINRUNLVL の最小ランタイム・リリース番号部分	MINRUNRNUM	CICS に WEBSERVICE をインストールするために必要な最小ランタイム・レベルのリリース番号。
MINRUNLVL の最小ランタイム・バージョン番号部分	MINRUNVNUM	CICS に WEBSERVICE をインストールするために必要な最小ランタイム・レベルのバージョン番号。
名前	NAME	Web サービス定義の名前。
指定されたプログラムが入力を予想する場所	PGMINTERFACE	サービス・プロバイダーの場合、CICS がデータを COMMAREA またはチャンネル内のターゲット・アプリケーション・プログラムに渡すかどうかを示しています。
この Web サービスがインストールされているパイプライン	PIPELINE	この Web サービス・リソースの入った PIPELINE リソースの名前。
zFS の Web サービス・ポリシー・ディレクトリーの名前	POLICYDIR	このフィールドはまだ使用できませんが、将来の開発用に予約済みです。
この Web サービスを実装するためのアプリケーション・プログラム	PROGRAM	ターゲット・アプリケーション・プログラムの名前。

表 262. WEBSERV ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
Web サービス状況	STATE	<p>Web サービスの状態。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Discarding <ul style="list-style-type: none"> Discard コマンドが Web サービスに対して発行されました。Web サービスは破棄される前の静止の過程にあります。新規処理は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。 Initing <ul style="list-style-type: none"> Web サービス・バインディング・ファイルおよび WSDL ファイルをシェルフにコピー中です。 Inservice <ul style="list-style-type: none"> シェルフでの WSBIND ファイルのコピーの解決が正常に行われ、Web サービスを使用できます。 Unusable <ul style="list-style-type: none"> リソースの Web サービス・バインディング・ファイル (WSBIND) に問題があります。 更新 <ul style="list-style-type: none"> WEBSERVICE の更新要求が保留になっています。 Disabled <ul style="list-style-type: none"> この状態は、CICS バンドルで定義されている WEBSERVICE リソースでのみ発生します。Web サービスは静止を完了したため、新しい作業を受け入れていません。 Disabling <ul style="list-style-type: none"> この状態は、CICS バンドルで定義されている WEBSERVICE リソースでのみ発生します。Web サービスは静止中です。新規処理は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。
この Web サービス用に直接インストールされた URI マップ	URIMAP	動的にインストールされた URIMAP リソース定義の名前 (この Web サービスに関連付けられている URIMAP リソース定義がある場合)。
WSDL に対して SOAP メッセージの検査を実施	VALIDATIONST	<p>Web サービス記述内の対応するスキーマに照らした SOAP メッセージの完全な妥当性検査が指定されているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> VALIDATION - 完全な妥当性検査が使用可能です。 NOVALIDATION - 完全な妥当性検査は使用不可です。
Web サービスが使用された数	WEBUSECOUNT	Web サービス要求を処理するためにこの Web サービスが使用された回数。
zFS 上の完全修飾 WSBIND ファイル	WSBIND	Web サービス・リソースに関連付けられている Web サービス・バインディング・ファイルのファイル名。
zFS 上の完全修飾 WSDL ファイル	WSDLFILE	Web サービス・リソースに関連付けられている Web サービス記述 (WSDL) ファイルのファイル名。
現在の Web サービス・ダイレクト方式の XOP 状況	XOPDIRECTST	<p>現在 Web サービスが XOP 文書をダイレクト方式で処理できるかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOXOPDIRECT - 現在 Web サービスは XOP 文書およびバイナリー添付ファイルを直接処理することはできません。これは、Web サービス実装が XOP 文書およびバイナリー添付ファイルのダイレクト処理をサポートしていない場合、または Web サービスの妥当性検査のスイッチがオンになっている場合に当てはまります。 XOPDIRECT - 現在 Web サービスは XOP 文書およびバイナリー添付ファイルを直接処理できます。これは、Web サービス実装が XOP 文書のダイレクト処理をサポートしていて、Web サービスの妥当性検査のスイッチが入っていない場合に当てはまります。

表 262. WEBSERV ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
Web サービス XOP 機能	XOPSUPPORTST	<p>Web サービス実装により XOP 文書およびバイナリー添付ファイルをダイレクト方式で処理できるかどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOXOPSUPPORT - Web サービス実装では、XOP 文書およびバイナリー添付ファイルのダイレクト処理はサポートされていません。 • XOPSUPPORT - Web サービス実装では、XOP 文書およびバイナリー添付ファイルのダイレクト処理がサポートされています。これは、Web サービス支援機能を使用して生成および配置されるすべての Web サービスに当てはまります。

パイプライン - PIPELINE

「パイプライン」(PIPELINE) ビューには、CICS アプリケーションが Web サービス・プロバイダーまたはリクエスターの役割を果たす場合に、サービス要求およびそれに対する応答に影響を与える処理ノードに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「TCP/IP サービス操作ビュー」 > 「パイプライン」

表 263. 提供された「パイプライン」(PIPELINE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.DETAILED	選択したパイプラインに関する詳細情報
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.DISABLE	インバウンド・サービス要求をリジェクトします。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.DISCARD	この PIPELINE 定義を削除します。PIPELINE は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.ENABLE	インバウンド・サービス要求を正常に処理します。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.SCAN	PIPELINE の Web サービス・バインディング・ディレクトリーをスキャンします。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
パイプライン EYUSTARTPIPELINE.TABULAR	パイプラインに関する表形式の情報。

アクション

表 264. PIPELINE ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	インバウンド・サービス要求をリジェクトします。
DISCARD	この PIPELINE 定義を削除します。PIPELINE は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。

表 264. PIPELINE ビューに使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
ENABLE	インバウンド・サービス要求を正常に処理します。
SCAN	PIPELINE の Web サービス・バインディング・ディレクトリーをスキャンします。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 265. PIPELINE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
MIME コンテンツ ID ドメイン・ネーム	CIDDOMAIN	バイナリー添付ファイルを示す MIME コンテンツ ID 値を生成するために使用されるドメインの名前を表示します。
このパイプライン用の zFS 上の構成ファイル名	CONFIGFILE	サービス要求および応答に影響を与える処理ノードに関する情報が含まれる zFS ファイル名を指定します。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
状況	ENABLESTATUS	<p>PIPELINE がインストールされるときに初期状況を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED: この PIPELINE の Web サービス要求は正常に処理されます。 • DISABLED: この PIPELINE の Web サービス要求は処理できません。 • ENABLING - PIPELINE を初期化中です。処理を受け入れる準備がまだできていません。 • DISABLING - PIPELINE は DISABLED 状態になる前の静止の過程にあります。新規処理は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。 • DISCARDING - DISCARD コマンドが PIPELINE に対して発行されました。PIPELINE は破棄される前の静止の過程にあります。新規処理は受け入れませんが、現在実行中の処理は完了できます。

表 265. PIPELINE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
パイプラインが処理するメッセージのフォーマット	MSGFORMAT	パイプラインが処理するメッセージのフォーマットを示す 8 文字のストリングを戻します。考えられる値は次のとおりです: JSON、OTHER、SOAP11、SOAP12。
XOP 添付ファイルが存在しない場合にも MTOM を使用	MTOMNOXOPST	バイナリー添付ファイルが存在しない場合、アウトバウンド SOAP メッセージに対して MTOM を使用すべきかどうかを示す値を戻します。値は以下のとおりです。YES: バイナリー添付ファイルが存在しない場合であっても MTOM を使用します。NO: バイナリー添付ファイルが存在しなければ MTOM を使用しません。
SOAP MTOM 状況	MTOMST	パイプラインで MTOM のサポートが有効かどうかを示す値を戻します。値は以下のとおりです。SUPPORTED: MTOM サポートはパイプラインで有効です。NOTSUPPORT: MTOM サポートはパイプラインで無効です。
名前	NAME	この PIPELINE の名前を指定します。この名前の長さは最大 8 文字です。
パイプライン動作モード	PIPEMODE	パイプラインの作動しているモード。
パイプラインが使用された回数	PIPEUSECOUNT	パイプラインが使用された回数を指定します。
zFS のパイプライン・ポリシー・ディレクトリーの名前	POLICYDIR	このフィールドはまだ使用できませんが、将来の開発用に予約済みです。
要求側パイプラインの応答待ち時間	RESPWAIT	アプリケーション・プログラムがリモート Web サービスからのオプションの応答メッセージを待機する待ち時間の時間管理 (秒単位) を指定します。値の範囲は 0 - 9999 です。PIPELINE 定義で RESPWAIT(DEFT) が指定された場合は標準ヌル値の -1 となります。この属性に RESPWAIT(DEFT) を指定すると、トランスポート・プロトコルのデフォルトのタイムアウト値が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> HTTP のデフォルトのタイムアウト値は 10 秒です。 MQ のデフォルトのタイムアウト値は 60 秒です。 この属性の値は -1 (DEFT) に再設定できないことに注意してください。0 から 9999 の値だけが適用できます。RESPWAIT の値を -1 に再設定する必要がある場合、現在の PIPELINE オブジェクトを削除してから、RESPWAIT 値を DEFT に指定した別の PIPELINE を INSTALL しなくてはなりません。
アウトバウンド SOAP メッセージ MTOM 状況	SENDMTOMST	アウトバウンド SOAP メッセージに対して MTOM を使用すべき時を示す値を戻します。値は以下のとおりです。YES: アウトバウンド SOAP メッセージに MTOM を常に使用します。NO: アウトバウンド SOAP メッセージに MTOM は使用しません。SAME: インバウンド・メッセージを MTOM 形式で受信する場合には、アウトバウンド SOAP メッセージ応答に対して MTOM を使用します。
WSBind ファイルのディレクトリー名 (シェルフ)	SHELF	zFS 上のディレクトリー (シェルフ、主に Web サービス・バインディング・ファイル用) の完全修飾名を指定します (1 文字から 255 文字まで)。
パイプラインがサポートしている SOAP レベル	SOAPLEVEL	パイプラインでサポートされている SOAP バージョンを指定します。値としては、ブランク、1.1、または 1.2 が可能です。
SOAPLEVEL の SOAP リリース番号部分	SOAPRNUM	PIPELINE で使用される SOAP レベルのリリース番号のフルワード・バイナリー値を戻します。

表 265. PIPELINE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SOAPLEVEL の SOAP バージョン番号部分	SOAPVNUM	PIPELINE で使用される SOAP レベルのバージョン番号のフルワード・バイナリー値を戻します。
zFS 上の WSBIND (ピックアップ) ディレクトリー名	WSDIR	zFS 上の Web サービス・バインディング・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) の完全修飾名 (1 文字から 255 文字まで) を指定します。
パイプライン・ダイレクト方式の XOP 状況	XOPDIRECTST	パイプラインが、現在ダイレクト方式で XOP 文書を処理できるかどうかを示す値を返します。
パイプライン・アプリケーション・ハンドラーの XOP 機能	XOPSUPPORTST	パイプラインのアプリケーション・ハンドラーが XOP 文書およびバイナリー添付ファイルの処理をサポートするかどうかを示す値を返します。

Atomservices - ATOMSERV

「**ATOMSERVICE**」(ATOMSERV) ビューには、Atom サービス文書に関する情報が表示されます。Atom サービス文書は、サーバー上に存在するワークスペース、コレクション、およびカテゴリーを記述する XML 文書です。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**TCP/IP サービス操作ビュー**」 > 「**Atomservices**」

表 266. 提供された「 Atomservice 」(ATOMSERV) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.DETAIL1	選択した Atom サービスに関するリソース・シグニチャー情報。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.DETAILED	選択した Atom サービスに関する詳細情報。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.DISABLE	ATOMSERVICE 定義はアプリケーションからアクセスできません。ATOMSERVICE 定義を再インストールまたは破棄できるようにするには、その前にこれを使用不可にする必要があります。ATOMSERVICE リソース定義を使用不可にすると、CICS によって、503 (サービス使用不可) 状況コードとともに HTTP 応答が Web クライアントに戻されます。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.DISCARD	この ATOMSERVICE を除去します。ATOMSERVICE は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.ENABLE	ATOMSERVICE 定義はアプリケーションからアクセス可能です。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。
Atomservice EYUSTARTATOMSERV.TABULAR	Atom サービスに関するテーブル形式の情報。

アクション

表 267. ATOMSERV ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	ATOMSERVICE 定義はアプリケーションからアクセスできません。ATOMSERVICE 定義を再インストールまたは破棄できるようにするには、その前にこれを使用不可にする必要があります。ATOMSERVICE リソース定義を使用不可にすると、CICS によって、503 (サービス使用不可) 状況コードとともに HTTP 応答が Web クライアントに戻されます。
DISCARD	この ATOMSERVICE を除去します。ATOMSERVICE は、破棄する前に無効にしなくてはなりません。
ENABLE	ATOMSERVICE 定義はアプリケーションからアクセス可能です。
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 268. ATOMSERV ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
エントリー URL への DELETE 要求数	ATMSRVDELENT	エントリー URL に送信される HTTP DELETE 要求の数。
エントリー URL への GET 要求数	ATMSRVGETENT	エントリー URL に送信される HTTP GET 要求の数。
フィード URL への GET 要求数	ATMSRVGETFED	フィード URL に送信される HTTP GET 要求の数。
フィード URL への POST 要求数	ATMSRVPSTFED	フィード URL に送信される HTTP POST 要求の数。
エントリー URL への PUT 要求数	ATMSRVPUTENT	エントリー URL に送信される HTTP PUT 要求の数。
Atom サービスの参照数	ATMSRVREFCT	Atom サービス参照カウント
Atom サービスの使用不可参照数	ATMSRVREFDIS	Atom サービス参照使用不可カウント
Atomtype	ATOMTYPE	ATOMSERVICE 定義によって生成された Atom 文書のタイプを表示します。有効な値は、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • カテゴリー <ul style="list-style-type: none"> – Atom カテゴリー文書。コレクション内にある文書のカテゴリーをリストします。 • Collection (コレクション) <ul style="list-style-type: none"> – Atom コレクション文書。編集可能なエントリー文書のグループを含みます。 • Feed (フィード) <ul style="list-style-type: none"> – Atom フィード文書。フィード・メタデータを記述し、フィード・データを提供するエントリー文書を含みます。 • サービス <ul style="list-style-type: none"> – Atom サービス文書。サーバー上で使用できる、追加または編集可能なエントリー文書のコレクションに関する情報を提供します。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
バインド・ファイル名	BINDFILE	CICS リソース内のレコード・レイアウトを示す WSBIND データを含む UNIX ファイルの名前。

表 268. ATOMSERV ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
構成ファイル名	CONFIGFILE	返される Atom 文書のタイプを指定する XML 構成データを含む UNIX ファイルの名前。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>ATOMSERV が使用可能かどうかを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DISABLED <ul style="list-style-type: none"> – ATOMSERV は無効です。 • ENABLED <ul style="list-style-type: none"> – ATOMSERV は有効です。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
名前	NAME	この ATOMSERV の名前を指定します。この名前の長さは最大 8 文字です。
リソース名	RESOURCENAME	この Atom フィールドまたはコレクションのデータを提供する CICS リソースの名前を表示します。このフィールドは、Atom のサービス文書または カテゴリー文書には適用されません。

表 268. ATOMSERV ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リソース・タイプ	RESOURCE TYPE	<p>この Atom フィールドまたはコレクションのデータを提供する CICS リソースのタイプを表示します。このフィールドは、Atom のサービス文書またはカテゴリ文書には適用されません。有効な値は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル <ul style="list-style-type: none"> – CICS ファイル。 • プログラム <ul style="list-style-type: none"> – サービス・ルーチン。Atom エントリーの内容を提供するために書き込まれた CICS アプリケーション・プログラムです。 • Tsqueue (TS キュー) <ul style="list-style-type: none"> – 一時記憶域キュー。 • NOTAPPLIC <ul style="list-style-type: none"> – これはこのリソースには適用されません。
URIMAP 名	URIMAPNAME	この ATOMSERVICE 定義に関連付けられている URI を示す 8 文字の URIMAP 名を表示します。
XMLTRANSFORM 名	XMLTRANSNAME	この ATOMSERVICE 定義に関連付けられている XMLTRANSFORM リソースの 32 文字の名前を表示します。

一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー

「一時記憶域キュー (TSQ) 操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の一時記憶域使用および一時記憶域キューに関する情報が表示されます。

モデル - TSMODEL

「一時記憶域モデル」(TSMODEL) ビューには、インストールされている一時記憶域モデルについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー」 > 「モデル」

表 269. 提供された「一時記憶域モデル」(TSMODEL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時記憶域モデル EYUSTARTTSMODEL.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
一時記憶域モデル EYUSTARTTSMODEL.DETAILED	選択した一時記憶域モデルに関する詳細情報
一時記憶域モデル EYUSTARTTSMODEL.DISCARD	常駐している CICS システム上で、指定した一時記憶域モデルの使用をやめます。
一時記憶域モデル EYUSTARTTSMODEL.TABULAR	一時記憶域モデルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 270. TSMODEL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	常駐している CICS システム上で、指定した一時記憶域モデルの使用をやめます。

フィールド

表 271. TSMODEL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
TS キューの期限切れ間隔 (時間数)	EXPIRYINT	<p>最終使用間隔制限時間 (時間数)。この値に基づいて、TSMODEL に基づく一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうか判別されます。この値は TSMODEL の EXPIRYINT 値から派生したものか、あるいは CICS TS 5.2 以降の場合、EXPIRYINT 値または EXPIRYINTMIN 値が時間単位での次の時刻に切り上げられた値です。EXPIRYINTMIN 値は EXPIRYINT 値を指定変更します。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINT の値として、0 から 15000 までの範囲が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 - この TSMODEL には期限切れ間隔が適用されません。したがって、この TSMODEL に基づく一時記憶域キューが期限切れになることはありません。これはデフォルト値です。 • 指定する値は、最後に使用されるインターバル (時間) です。これが経過した後、キューは自動削除の対象となります。
TS キューの期限切れ間隔 (分)	EXPIRYINTMIN	<p>最終使用間隔制限時間 (分数)。この値に基づいて、TSMODEL に基づく一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうか判別されます。CICS は、値を 10 分の倍数に切り上げます。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINTMIN の値としては、0 から 900000 までの範囲が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 - この TSMODEL には期限切れ間隔 (分) が適用されないことを示します。これはデフォルト値です。 • 値 - 最後に使用される間隔 (分) を指定します。その時間が過ぎると、キューが自動削除の対象になります。

表 271. TSMODEL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
キュー・ロケーション	LOCATION	このモデルに適合する一時記憶域キューの場所を示します。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> AUXILIARY - CICS 一時記憶域 VSAM データ・セット、DFHTEMP。 MAIN - 主記憶域。
TS モデル名	NAME	一時記憶域モデルの名前。
共用 TS プール名	POOLNAME	この TS モデルで使用する共有一時記憶域プールの名前。
TS キュー接頭部	PREFIX	このモデルが適用される一時記憶域キューの評価に使用する接頭部。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	これは、このモデルに適合する一時記憶域キューのリカバリー特性を定義します。値は RECOVERABLE または NOTRECOVERABLE です。
リモート TS キュー接頭部	REMOTEPREFIX	このモデルが適用されるリモート・システム上のキューの接頭部。
リモート・システム ID	REMOTESYSTEM	このモデルに適合するキューが定義されているリモート CICS システムの名前。
セキュリティ状況	SECURITYST	これは、このモデルに適合する一時記憶域キューのセキュリティ特性を定義します。値は EXTSECURITY または NOSECURITY です。

プール - TSPool

「一時記憶域プール」(TSPool) ビューには、一時記憶域プールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー」 > 「プール」

表 272. 提供された「一時記憶域プール」(TSPool) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時記憶域プール EYUSTARTTSPool.DETAILED	選択した一時記憶域プールに関する詳細情報
一時記憶域プール EYUSTARTTSPool.TABULAR	一時記憶域プールに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 273. TSPPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNSTATUS	一時記憶域プールの現在の接続状況を識別します。
一時記憶域プール名	NAME	一時記憶域プールの名前。

グローバル一時ストレージ統計 - TSQGBL

「**グローバル一時記憶キュー**」(TSQGBL) ビューには、一時的なストレージ・キューの使用についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー (CICS operations views)**」 > 「**一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー (Temporary storage queue (TSQ) operations views)**」 > 「**Global temporary storage statistics (グローバル一時ストレージ統計)**」

表 274. 提供された「グローバル一時記憶域統計」(TSQGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル一時記憶域統計 EYUSTARTTSQGBL.DETAILED	選択した CICS システム内の一時記憶域キュー使用に関する詳細情報
グローバル一時記憶域統計 EYUSTARTTSQGBL.TABULAR	CICS システム内の一時記憶域キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 275. TSQGBL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
SET	入力フィールドで指定された値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 276. TSQGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
補助記憶域を使い果たした回数	AUXFULL	使用可能な補助一時ストレージがなかったために 1 つ以上のトランザクションが中断状態になった回数。
一時記憶バッファ数	BUFFERS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
合計バッファ待機数	BUFFWAITS	使用可能なバッファがなかったために要求がキューに入れられた合計回数。
バッファ読み取り数	BUFREADS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
バッファ書き込み数	BUFWRITES	一時ストレージ・データ・セットへの WRITE 入出力要求の数。
制御間隔の使用可能バイト数	BYTESPERCI	制御インターバルで使用できるバイト数。
セグメントあたりのバイト数	BYTESPERSEG	TS データ・セットのセグメントごとのバイト数。
使用可能な制御間隔数	CINUM	補助ストレージに使用可能な制御インターバルの数。
使用中の制御間隔数	CISINUSE	現在、アクティブなデータを含んでいる制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	制御インターバルのサイズ (バイト単位)。
一時記憶域圧縮回数	COMPRESSIONS	一時ストレージ・バッファが圧縮された回数。

表 276. TSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在使用されているストレージ (バイト)	CURRSTG	一時ストレージ・レコードに現在使用されている仮想ストレージの量 (バイト単位)。
バッファで待機中の現行ユーザー数	CURRUWBFR	現在、使用可能なバッファがないためにキューに入っている要求の数。
ストリングで待機中の現行ユーザー数	CURRUWSTR	使用可能なストリングがないためにキューに入れられている入出力要求の現在の数。
最長のキュー内にあるエントリー数	ENTLGQUE	最も大きいキューのレコード数。
キュー拡張のしきい値	EXTTHRESHOLD	1 つの一時記憶域グループ ID に保持されるレコードの数。
フォーマット 書き込み数	FMTWRT	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
補助 TS から獲得されたレコード数	GETQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコード数。
メイン TS から獲得されたレコード数	GETQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域から取得したレコード数。
データ・セットにおける I/O エラー数	IOERRS	一時ストレージ・データ・セットで発生した入出力エラーの数。
最長の補助レコード長	LONGAUXREC	一時記憶域データ・セットに書き込まれた、最も長いレコードのサイズ (バイト)。
使用している一時記憶域名の数	NAMESINUSE	現在使用中の一時ストレージ・キュー名の数。
使用制御間隔のピーク数	PEAKCIUSE	アクティブ・データを含む制御インターバルのある時点でのピーク数。
使用キュー名のピーク数	PEAKQUES	特定の時点で使用されていた一時記憶域キュー名のピーク数。
使用されるストレージのピーク (バイト)	PEAKSTG	ある時点で一時ストレージ・レコードのために使用されている仮想ストレージのピーク量。
使用中のストリング数のピーク	PEAKUSDSTR	同時入出力操作のピーク数。
バッファで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWBUF	使用可能なバッファがなかったためにキューに入れられた要求のある時点でのピーク数。
ストリングで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWSTR	ある時点でキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
補助 TS に対して書き込まれたレコード数	PUTQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコード数。
メイン TS に対して書き込まれたレコード数	PUTQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域に書き込んだレコード数。
キューの作成回数	QUECRECNT	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。
キュー拡張の作成回数	QUEXTENDS	キュー拡張を作成するのに要した回数。
制御間隔の使用可能セグメント数	SEGSPERCI	制御インターバルで使用できるセグメントの数。
接続された共用プール数	SHRDPOOLCONN	この CICS 領域によって実際に接続先になる TS プールの数。
定義済み共用プール数	SHRDPOOLDEF	DFHTST TYPE=SHARED で TST に定義されているか、または TSMODEL を使用して定義されている固有の共用 TS キュー・プールの数。
共同読み取り要求数	SHRDREADREQ	共有一時ストレージ・キューに対する TSQ 読み取りの発行回数。
共同書き込み要求数	SHRDWRITEREQ	共有一時ストレージ・キューに対する TSQ 書き込みの発行回数。
一時記憶域ストリング数	STRINGS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時ストレージ・ストリングの数。
ストリング待機発生数	STRINGWAIT	使用可能なストリングがなかったためにキューに入れられた入出力要求の総数。

表 276. TSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TSMALNLIMIT に達した回数	TSMALNHIT	一時ストレージの使用率が TSMALNLIMIT の値に達した回数。
TSMALN の 2 GB 境界より上のストレージの現在の使用量	TSMALNINUSE	一時ストレージに使用されている、2 GB 境界より上のストレージの現行使用率 (バイト単位)。
TSMALN の 2 GB 境界より上のストレージの最大量	TSMALNLIMIT	一時ストレージに使用される 2 GB 境界より上のストレージの最大量 (バイト単位)。
TS MAIN ストレージの最大使用量	TSMALNMAX	一時ストレージにより使用される MAIN ストレージの最大量。
TSMALN の 2 GB 境界より上のストレージの使用率	TSMALNPCT	一時ストレージにより使用される、2 GB 境界より上のストレージの計算されたパーセント。
リカバリー処理による強制バッファ書き込み数	WRTFRECVR	キューに対して指定されているリカバリーによって生じた WRITE 入出力要求の数。
長さが CISIZE を超えるレコード数	WRTGTCISZ	制御インターバル・サイズを超える長さで書き込まれたレコードの数。

一時記憶域キュー - TSQNAME

「一時記憶域キュー」(TSQNAME) ビューには、すべての非共用一時記憶域キューについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー」

表 277. 提供された「一時記憶域キュー」(TSQNAME) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時記憶域キュー EYUSTARTTSQNAME.DELETE	一時記憶域キューを削除します。
一時記憶域キュー EYUSTARTTSQNAME.DETAILED	選択した非共用一時記憶域キューに関する詳細情報
一時記憶域キュー EYUSTARTTSQNAME.TABULAR	CICS システム内の非共用一時記憶域キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 278. TSQNAME ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DELETE	一時記憶域キューを削除します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 279. TSQNAME ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
TS キューの期限切れ間隔 (時間数)	EXPIRYINT	<p>最終使用間隔制限時間 (時間数)。この値に基づいて、一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうかが判別されます。この値は TSMODEL の EXPIRYINT 値から派生したものか、あるいは CICS TS 5.2 以降の場合、EXPIRYINT 値または EXPIRYINTMIN 値が時間単位での次の時刻に切り上げられた値です。EXPIRYINTMIN 値は EXPIRYINT 値を指定変更します。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINT の値として、0 から 15000 までの範囲が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - この TSMODEL には期限切れ間隔が適用されません。したがって、この TSMODEL に基づく一時記憶域キューが期限切れになることはありません。これはデフォルト値です。 指定する値は、最後に使用されるインターバル (時間) です。これが経過した後、キューは自動削除の対象となります。
TS キューの期限切れ間隔 (分)	EXPIRYINTMIN	<p>最終使用間隔制限時間 (分数)。この値に基づいて、一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうか判別されます。CICS は、値を 10 分の倍数に切り上げます。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINTMIN の値としては、0 から 900000 までの範囲が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - この TS キューには期限切れ間隔が適用されないことを示します。これはデフォルト値です。 値 - 最後に使用される間隔 (分) を指定します。その時間が過ぎると、キューが自動削除の対象になります。
16 進数のキュー名	HEXNAME	一時ストレージ・キューの 16 進数の名前。
前回キューを使用してからの間隔 (秒)	LASTUSEDINT	<p>一時記憶域キューが最後に参照されてからの間隔 (秒)。</p> <p>大規模な共用一時記憶域キューの場合、戻される値は、関連付けられている TS キュー・マネージャーに指定された LASTUSEDINTERVAL パラメータの値によって決まります。</p>
キュー・ロケーション	LOCATION	<p>一時記憶域キューがある場所を示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> AUXILIARY 一時ストレージ・キューは、CICS 一時ストレージ VSAM データ・セット (またはカップリング・ファシリティ) 内に保持されます。 MAIN 一時ストレージ・キューは、主ストレージに保持されます。
最大項目長 (バイト)	MAXITEMLEN	<p>一時記憶域キュー内で一番大きな項目の長さ (バイト)。</p> <p>キュー項目の長さは、ユーザー・データの長さにヘッダー情報分の 8 バイトを加えた合計を切り上げた値です。主記憶域キューの場合は、項目の保管に使用される MVS 記憶域サブプールの境界に合わせて長さを切り上げます。</p> <p>補助一時記憶域の場合、長さは次に高い 64 か 128 の倍数 (一時記憶域データ・セットの制御インターバル・サイズによる) に切り上げられます。(CI サイズについての背景情報は、「制御間隔サイズ」を参照してください。)</p> <p>共有キューの場合、MINITEMLEN、MAXITEMLEN、QUELENGTH に戻される長さは、カップリング・ファシリティに保管されているデータ長を反映します。これには、すべての項目の制御情報 (項目ごとに 2 バイト長の接頭部から成る) も含まれます。</p> <p>すべてのタイプのキューで、戻される最大値は 32767 (16 進では '7FFF') が上限です。</p>
最小項目長 (バイト)	MINITEMLEN	一時記憶域キュー内で一番小さい項目の長さ (バイト)。CICS での項目の長さの計算方法や共有 TS キューについての情報は、MAXITEMLEN オプションを参照してください。
キュー名	NAME	一時記憶域キューの名前。
キュー内の項目数	NUMITEMS	一時記憶域キュー内の項目の数。

表 279. TSQNAME ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
キューの合計長 (バイト)	QUELENGTH	一時記憶域キュー内のすべての項目の合計の長さ (バイト)。 注: AUXILIARY TSQNAME に一時ストレージ・データ・セットの制御インターバル・サイズよりも長い項目が含まれている場合、このフィールドには N/A が表示されます。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	一時記憶域キューがリカバリー可能かどうかを示します。オプションは RECOVERABLE または NOTRECOVERABLE です。
TS キューを作成したトランザクション	TRANSID	一時記憶域キューを作成したトランザクションの ID。
TS モデル	TSMODEL	キューの作成時に使用されていた TS モデルの名前。キューの作成時に、TS モデルからキューのプロパティがいくつか設定されます。TS モデルがその後変更または削除されると、これは TS キューに対して影響を与えなくなります。

共用キュー - TSQSHR

「共用一時記憶域キュー」 (TSQSHR) ビューには、共用一時記憶域キューについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー」 > 「共用キュー」

表 280. 提供された「共用一時記憶域キュー」 (TSQSHR) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
共用一時記憶域キュー EYUSTARTTSQSHR.DELETE	共用一時記憶域キューを削除します。
共用一時記憶域キュー EYUSTARTTSQSHR.DETAILED	選択した一時記憶域キューに関する詳細情報
共用一時記憶域キュー EYUSTARTTSQSHR.TABULAR	CICS システム 内の共用一時記憶域キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 281. TSQSHR ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DELETE	共用一時記憶域キューを削除します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 282. TSQSHR ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
TS キューの期限切れ間隔 (時間数)	EXPIRYINT	最終使用間隔制限時間 (時間数)。この値に基づいて、一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうかは判別されます。この値は TSMODEL の EXPIRYINT 値から派生したものか、あるいは CICS TS 5.2 以降の場合、EXPIRYINT 値または EXPIRYINTMIN 値が時間単位での次の時刻に切り上げられた値です。EXPIRYINTMIN 値は EXPIRYINT 値を指定変更します。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINT の値として、0 から 15000 までの範囲が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 0 - この TSMODEL には期限切れ間隔が適用されません。したがって、この TSMODEL に基づく一時記憶域キューが期限切れになることはありません。これはデフォルト値です。 指定する値は、最後に使用されるインターバル (時間) です。これが経過した後、キューは自動削除の対象となります。
TS キューの期限切れ間隔 (分)	EXPIRYINTMIN	最終使用間隔制限時間 (分数)。この値に基づいて、一時記憶域キューが既に期限切れになっていて、自動削除の対象になるかどうかは判別されます。CICS は、値を 10 分の倍数に切り上げます。TSMODEL がその後に変更された場合でも、一時記憶域キュー作成時の TSMODEL の値がキューの存続期間として使用されます。EXPIRYINTMIN の値としては、0 から 900000 までの範囲が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 0 - この TS キューには期限切れ間隔が適用されないことを示します。これはデフォルト値です。 値 - 最後に使用される間隔 (分) を指定します。その時間が過ぎると、キューが自動削除の対象になります。
16 進数のキュー名	HEXNAME	一時ストレージ・キューの 16 進数の名前。
前回キューを使用してからの間隔 (秒)	LASTUSEDINT	共用一時記憶域キューが最後に参照されてからの間隔 (秒)。
キュー・ロケーション	LOCATION	共用一時記憶域キューがある場所を示します。
最大項目長 (バイト)	MAXITEMLEN	共用一時記憶域キュー内で一番大きな項目の長さ (バイト)。 注: AUXILIARY TSQSHR に一時記憶域データ・セットの制御インターバルのサイズよりも長い項目が含まれている場合、このフィールドには N/A が表示されます。
最小項目長 (バイト)	MINITEMLEN	共用一時記憶域キュー内で一番小さい項目の長さ (バイト)。 AUXILIARY TSQSHR に一時記憶域データ・セットの制御インターバルのサイズよりも長い項目が含まれている場合、このフィールドには N/A が表示されます。
キュー名	NAME	共用一時記憶域キューの名前。
キュー内の項目数	NUMITEMS	共用一時記憶域キュー内の項目の数。
一時記憶域プール名	POOLNAME	一時記憶域プールの名前。CICS は、プールを管理する一時記憶域サーバーにコマンドを出します。
キューの合計長 (バイト)	QUELENGTH	共用一時記憶域キュー内のすべての項目の合計の長さ (バイト)。 AUXILIARY TSQSHR に一時記憶域データ・セットの制御インターバルのサイズよりも長い項目が含まれている場合、このフィールドには N/A が表示されます。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	共用一時記憶域キューがリカバリー可能かどうかを示します。
TS キューを作成したトランザクション	TRANSID	共用一時記憶域キューを作成したトランザクションの ID。
TS モデル	TSMODEL	キューの作成時に使用されていた TS モデルの名前。キューの作成時に、TS モデルからキューのプロパティがいくつか設定されます。TS モデルがその後変更または削除されると、これは TS キューに対して影響を与えなくなります。

すべてのタスク・サブプール - TSKSPOLS

「タスク・サブプール」(TSKSPOLS) ビューには、CICSplex SM によって管理されているアクティブ・システム内の CICS タスク・ストレージ・サブプールについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時記憶域キュー (TSQ) 操作ビュー」 > 「すべてのタスク・サブプール」

表 283. 提供された「すべてのタスク・サブプール」(TSKSPOLS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
すべてのタスク・サブプール EYUSTARTTSKSPOLS.DETAILED	選択したサブプールに関する詳細情報
すべてのタスク・サブプール EYUSTARTTSKSPOLS.TABULAR	現行スコープのタスク・ストレージ・サブプールに関するテーブル形式の情報。

アクション

なし。

フィールド

表 284. TSKSPOLS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
エレメントにより使用された DSA の CDSA パーセント	DSAELEMPCTC	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
エレメントにより使用された DSA の ECDSA パーセント	DSAELEMPCTEC	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
エレメントにより使用された DSA の EUDSA パーセント	DSAELEMPCTEU	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
エレメントにより使用された DSA の UDSA パーセント	DSAELEMPCTU	この DSA のすべてのタスク・サブプールの要素によって使用されているストレージの量 (パーセント)。
CDSA のページ・プール使用のピーク・パーセント	DSAPAGPPCTC	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
ECDSA のページ・プール使用のピーク・パーセント	DSAPAGPPCTEC	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
EUDSA のページ・プール使用のピーク・パーセント	DSAPAGPPCTEU	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
UDSA のページ・プール使用のピーク・パーセント	DSAPAGPPCTU	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
最終リセット後の CDSA FREEMAIN 率	FREEMAINRTC	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の ECDSA FREEMAIN 率	FREEMAINRTEC	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の EUDSA FREEMAIN 率	FREEMAINRTEU	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の UDSA FREEMAIN 率	FREEMAINRTU	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する FREEMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の CDSA GETMAIN 率	GETMAINRTC	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。

表 284. TSKSPOLS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終リセット後の ECDSA GETMAIN 率	GETMAINRTEC	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の EUDSA GETMAIN 率	GETMAINRTEU	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
最終リセット後の UDSA GETMAIN 率	GETMAINRTU	要求された統計のカウンターが前回リセットされて以来のこの DSA に対する GETMAIN 要求の秒ごとの比率。
CDSA のページ・プール使用の 現在のパーセント	PAGEPLPCTC	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
ECDSA のページ・プール使用の 現在のパーセント	PAGEPLPCTEC	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
EUDSA のページ・プール使用の 現在のパーセント	PAGEPLPCTEU	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
UCDSA のページ・プール使用の 現在のパーセント	PAGEPLPCTU	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (パーセンテージで表される)。
CDSA サブプール・アクセス・ タイプ	SMTACCESSC	サブプールのアクセス・タイプ。CICS または USER のどちらかです。
ECDSA サブプール・アクセス・ タイプ	SMTACCESSEC	サブプールのアクセス・タイプ。CICS または USER のどちらかです。
EUDSA サブプール・アクセス・ タイプ	SMTACCESSEU	サブプールのアクセス・タイプ。CICS または USER のどちらかです。
UDSA サブプール・アクセス・ タイプ	SMTACCESSU	サブプールのアクセス・タイプ。CICS または USER のどちらかです。
全エレメント長の CDSA 合計	SMTCECDSA	この DSA 内のタスク・サブプールのすべての要素によって占有されるストレージの合計 (バイト単位)。
全エレメント長の ECDSA 合計	SMTCESECDSA	この DSA 内のタスク・サブプールのすべての要素によって占有されるストレージの合計 (バイト単位)。
全エレメント長の EUDSA 合計	SMTCESEUDSA	この DSA 内のタスク・サブプールのすべての要素によって占有されるストレージの合計 (バイト単位)。
全エレメント長の UDSA 合計	SMTCESUDSA	この DSA 内のタスク・サブプールのすべての要素によって占有されるストレージの合計 (バイト単位)。
CDSA の現在のエレメント数	SMTCNECDSA	この DSA のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数。
ECDSA の現在のエレメント数	SMTCNEECDSA	この DSA のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数。
EUDSA の現在のエレメント数	SMTCNEEUDSA	この DSA のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数。
UDSA の現在のエレメント数	SMTCNEUDSA	この DSA のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数。
CDSA 現行ページ・ストレージ	SMTCPSCDSA	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (バイト単位で表される)。
ECDSA 現行ページ・ストレージ	SMTCPSECDSA	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (バイト単位で表される)。
EUDSA 現行ページ・ストレージ	SMTCPSEUDSA	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (バイト単位で表される)。
UDSA 現行ページ・ストレージ	SMTCPsudsa	この DSA 内のタスク・サブプールに割り振られている、すべてのページ内にあるストレージ合計 (バイト単位で表される)。
FREEMAIN 要求の CDSA 数	SMTFMREQCDSA	FREEMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
FREEMAIN 要求の ECDSA 数	SMTFMREQEC	FREEMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
FREEMAIN 要求の EUDSA 数	SMTFMREQEU	FREEMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
FREEMAIN 要求の UDSA 数	SMTFMREQUDSA	FREEMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
GETMAIN 要求の CDSA 数	SMTGMREQCDSA	GETMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。

表 284. TSKSPOLS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
GETMAIN 要求の ECDSA 数	SMTGMREQEC	GETMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
GETMAIN 要求の EUDSA 数	SMTGMREQEU	GETMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
GETMAIN 要求の UDSA 数	SMTGMREQUDSA	GETMAIN がこの DSA から要求しているタスク・サブプールの数。
CDSA ピーク・ページ・ストレージ	SMTHWMPSCDSA	この DSA 内のタスク・ストレージ活動をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージ。
ECDSA ピーク・ページ・ストレージ	SMTHWMPSEC	この DSA 内のタスク・ストレージ活動をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージ。
EUDSA ピーク・ページ・ストレージ	SMTHWMPSEU	この DSA 内のタスク・ストレージ活動をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージ。
UDSA ピーク・ページ・ストレージ	SMTHWMPsudsa	この DSA 内のタスク・ストレージ活動をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージ。
16MB 境界より上/下の CDSA の位置	SMTLOCNCDSA	DSA が 16 MB 境界の上と下のどちらにあるかを示します。
16MB 境界より上/下の ECDSA の位置	SMTLOCNECDSA	DSA が 16 MB 境界の上と下のどちらにあるかを示します。
16MB 境界より上/下の EUDSA の位置	SMTLOCNEUDSA	DSA が 16 MB 境界の上と下のどちらにあるかを示します。
16MB 境界より上/下の UDSA の位置	SMTLOCNUDSA	DSA が 16 MB 境界の上と下のどちらにあるかを示します。

端末操作ビュー

「端末操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の端末に関する情報が示されます。注: 「端末」ビューには、LU 6.2 接続またはモード名についての情報は表示されません。また、このビューでは LU 6.2 接続またはモード名に対してコマンドを発行することはできません。LU 6.2 接続またはモード名については、「接続」ビューを使って参照してください。

3270 ブリッジ機能 - BRFACIL

「**3270 ブリッジ機能**」(BRFACIL) ビューには、ブリッジ環境で CICS 3270 アプリケーションを実行する際に実際の 3270 をシミュレートするための 3270 ブリッジ・メカニズムで使用される仮想端末 (ブリッジ機能) が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**端末操作ビュー**」 > 「**3270 ブリッジ機能**」

表 285. 提供された「 3270 ブリッジ機能 」(BRFACIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.DETAILED	選択した 3270 ブリッジ機能に関する詳細情報
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.RELEASE	アクティブ・ブリッジ機能に削除対象としてマークを付けます。
3270 ブリッジ機能 EYUSTARTBRFACIL.TABULAR	CICS システム内の 3270 ブリッジ機能に関するテーブル形式の情報

アクション

表 286. BRFACIL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
RELEASE	アクティブ・ブリッジ機能に削除対象としてマークを付けます。
SET	選択したブリッジ機能の属性を変更します。

フィールド

表 287. BRFACIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
機能保持時間	KEEPTIME	ブリッジ機能が非アクティブの状態で作成される時間の長さ。この期間が経過すると、機能に削除対象のマークが付きます。
リモート・ブリッジ・ターゲット領域ネットワーク名	LINKSYSNET	Link3270 ブリッジ要求が別の領域に経路指定されている場合のターゲット領域のアプリケーション ID。要求が Link3270 ルーターと同じ領域で処理される場合は、このフィールドはブランクになります。このフィールドは、Link3270 セッションで最初のトランザクションを実行するときに動的トランザクション・ルーティングが複数の試行を行うと、変わることがあります。このフィールドは、ルーター領域でのみ設定されます。
リモート・ブリッジ・ターゲット領域システム ID	LINKSYSTEM	Link3270 ブリッジ要求が別の領域に経路指定されている場合のターゲット領域のシステム ID。要求が Link3270 ルーターと同じ領域で処理される場合は、このフィールドはブランクになります。このフィールドは、Link3270 セッションで最初のトランザクションを実行するときに動的トランザクション・ルーティングが複数の試行を行うと、変わることがあります。このフィールドは、ルーター領域でのみ設定されます。
ブリッジ機能トークン	NAME	ブリッジ機能の 8 バイトの機能トークン。
ネーム・スペース・タイプ	NAMESPACE	ブリッジ機能名の割り振りに使用されるネーム・スペースのスコープ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> LOCAL - ブリッジ機能は START BREXIT ブリッジ機構によって割り振られたため、その名前は、それが作成されたローカル領域の中でのみ固有のものとなります。 SHARED - ブリッジ機能は Link3270 ブリッジ機構によって割り振られたため、その名前は、共用 DFHBRNSF ネーム・スペース・ファイルへのアクセス権を持つ CICSplex 内のすべての CICS ルーター領域の間で固有のものとなります。
ネットワーク名	NETNAME	3270 ブリッジ機能の仮想ネットワーク名。
リモート・ブリッジ・ルーター・ネットワーク名	REMOTESYSNET	ブリッジ・ルーター領域のアプリケーション ID。このフィールドは、ターゲット領域でのみ設定されます。要求がルーター領域で処理され、ターゲット領域に送信されない場合は、ブランクになります。
リモート・ブリッジ・ルーター・システム ID	REMOTESYSTEM	ブリッジ・ルーター領域のシステム ID。このフィールドは、ターゲット領域でのみ設定されます。要求がルーター領域で処理され、ターゲット領域に送信されない場合は、ブランクになります。
タスク番号	TASKID	3270 ブリッジ機能で現在実行されているアクティブ CICS タスクの数。このフィールドはターゲット領域でのみ表示され、ブリッジが使用中でないときはゼロに設定されます。
端末	TERMID	3270 ブリッジ機能の仮想端末 ID。
端末状況	TERMSTATUS	ブリッジ機能の状況。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ACQUIRED - ブリッジ機能は現在使用中です。 AVAILABLE - ブリッジ機能は現在使用されていません。クライアントによる再使用が可能です。 RELEASED - ブリッジ機能に対して SET BRFACILITY RELEASED が発行されています。これは次のクリーンアップ・サイクルで削除されます。
トランザクション	TRANSID	3270 ブリッジ機能で現在実行されているユーザー・トランザクションの名前。現在ブリッジが使用中でない場合、このフィールドはブランクになります。

表 287. BRFACIL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ユーザー ID	USERID	3270ブリッジ機能に関連付けられているユーザー ID。

自動インストール・モデル - AIMODEL

「自動インストール・モデル」(AIMODEL) ビューには、自動インストール端末モデルについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」>「端末操作ビュー」>「自動インストール・モデル」

表 288. 提供された「自動インストール・モデル」(AIMODEL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
自動インストール・モデル EYUSTARTAIMODEL.DETAILED	選択した自動インストール端末モデルに関する詳細情報
自動インストール・モデル EYUSTARTAIMODEL.DISCARD	自動インストール端末モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。
自動インストール・モデル EYUSTARTAIMODEL.TABULAR	自動インストール端末モデルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 289. AIMODEL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	自動インストール端末モデルをインストール先の CICS システムから破棄します。

フィールド

表 290. AIMODEL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
モデル名	MODEL	特定のモデル定義を使用する際に、その後の端末定義に使用するプロパティの集合を定義するモデルの名前。

端末 - TERMNL

「端末」(TERMNL) ビューには、現在インストールされている端末についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」>「端末操作ビュー」>「端末」

表 291. 提供された「端末」(TERMNL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
端末 EYUSTARTTERMNL.ACQUIRE	端末を獲得します (VTAM のみ)。

表 291. 提供された「端末」(TERMNL) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
端末 EYUSTARTTERMNL.CANCEL	端末の自動開始プログラム記述子 (AID) のキューイングを取り消します。
端末 EYUSTARTTERMNL.DETAIL1	選択した端末に関する詳細情報
端末 EYUSTARTTERMNL.DETAILED	選択した端末に関する詳細情報
端末 EYUSTARTTERMNL.DISCARD	端末がインストールされている CICS システムからその端末を廃棄します。端末はサービス休止になった後に廃棄できます。
端末 EYUSTARTTERMNL.FORCEPURGE	この端末で実行するトランザクションは即時異常終了します。データ保全本性は保証されません。極端な場合 (バックアウト処理中にエラーが発生するなど)、CICS は異常終了することがあります。
端末 EYUSTARTTERMNL.INSERVICE	端末をサービス中に設定して、使用可能にします。VTAM の場合、INSERVICE は端末を ACQUIRED (獲得) できることを意味します。
端末 EYUSTARTTERMNL.OUTSERVICE	端末をサービス休止に設定して、トランザクションに使用不可にします。現行トランザクションはすべて正常に処理を完了することができますが、これ以後、トランザクションが端末を使用することはできません。VTAM の場合はさらに、端末を OUTSERVICE に設定することで、即時にまたは現行トランザクション終了時に端末が解放され、オペレーターがサインオフされます。
端末 EYUSTARTTERMNL.PURGE	端末をサービス休止にし、その PURGETYPE 値を PURGE に設定します。それにより、端末に関連するトランザクションは正常にバージされます。
端末 EYUSTARTTERMNL.RELEASE	端末を解放します。
端末 EYUSTARTTERMNL.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
端末 EYUSTARTTERMNL.TABULAR	CICS システムにインストールされている 端末に関するテーブル形式の情報

アクション

表 292. TERMNL ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
ACQUIRE	端末を獲得します (VTAM のみ)。
CANCEL	端末の自動開始プログラム記述子 (AID) のキューイングを取り消します。
DISCARD	端末がインストールされている CICS システムからその端末を廃棄します。端末はサービス休止になった後に廃棄できます。
FORCEPURGE	この端末で実行するトランザクションは即時異常終了します。データ保全本性は保証されません。極端な場合 (バックアウト処理中にエラーが発生するなど)、CICS は異常終了することがあります。
INSERVICE	端末をサービス中に設定して、使用可能にします。VTAM の場合、INSERVICE は端末を ACQUIRED (獲得) できることを意味します。
KILL	タスクは終了されることになります。システムおよびデータ保全本性は保証されません。KILL オプションは、PURGE および FORCEPURGE オプションを拡張します。このオプションは、タスクの PURGE または FORCEPURGE を試みた後で初めて使用すべきです。KILL オプションはどのような種類の保全本性も保証しませんが、ある状況では、停止された領域が処理を継続できるように、ユーザーがその領域を解放することを許可します。場合によっては (例えば、タスクがバックアウト処理中に kill される場合)、CICS は異常終了します。

表 292. TERMNL ビュー用に使用可能なアクション (続き)	
意味	説明
OUTSERVICE	端末をサービス休止に設定して、トランザクションに使用不可にします。現行トランザクションはすべて正常に処理を完了することができますが、これ以後、トランザクションが端末を使用することはできません。VTAM の場合はさらに、端末を OUTSERVICE に設定することで、即時にまたは現行トランザクション終了時に端末が解放され、オペレーターがサインオフされます。
PURGE	端末をサービス休止にし、その PURGETYPE 値を PURGE に設定します。それにより、端末に関連するトランザクションは正常にページされます。
RELEASE	端末を解放します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 293. TERMNL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	端末に定義されたアクセス方式で、次のいずれかになります: <ul style="list-style-type: none"> • VTAM • BSAM • BTAM • BGAM • TCAM • TCAMSNA • CONSOLE
獲得状況	ACQSTATUS	VTAM の下で、CICS がこの端末によって表される論理装置とのセッション中かどうかを示します。このフィールドが NOTAPPLIC の場合は、アクセス方式が VTAM 以外であることを意味します。入力値: <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED • RELEASED • NOTAPPLIC • COLDACQ • ACQUIRING • RELEASING
代替ページの高さ	ALTPAGEHT	代替ページ・サイズが選択されたときに、BMS によって使用するよう定義された代替ページ高さ。
代替ページ幅	ALTPAGEWD	代替ページ・サイズが選択されたときに、BMS によって使用するよう定義された代替ページ幅。
代替プリンター	ALTPRINTER	優先プリンターの代替として使用する 3270 プリンターの名前。
代替プリンターに対するハードウェア COPY 機能	ALTPRTCOPYST	CICS がハードウェア COPY 機能を使用して、代替プリンターからの印刷要求を実行するかどうかを示します。 入力値: ALTPRTCOPY、NOALTPRTCOPY
代替画面の高さ	ALTSCRNHT	代替画面サイズが選択されたときに、BMS によって使用するよう定義された代替画面高さ。
代替画面幅	ALTSCRNWD	代替画面サイズが選択されたときに、BMS によって使用するよう定義された代替画面幅。
代替マップ・セット接尾部	ALTSUFFIX	BMS が DFHMSD TYPE マクロで指定されたとおりにマップ・セット名に追加する 1 文字の数値の接尾部。このフィールドがブランクの場合、接尾部がマップ・セット名に追加されないことを意味します。これは、画面が代替サイズになっており、接尾部が使用中である場合にのみ該当します。
APL キーボード機能	APLKYBDST	3270 デバイスに APL キーボード機能があるかどうかを示します。値は APLKYBDS または NOAPLKYB です。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
APL テキスト機能	APLTEXTST	3270 デバイスに APL テキスト機能があるかどうかを示します。値は APLTEXT または NOAPLTEX です。
ASCII データ・ストリーム・タイプ	ASCII	使用されている ASCII データ・ストリームのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ASCII7 - 7 ビットの ASCII データ・ストリーム • ASCII8 - 8 ビットの ASCII データ・ストリーム • NOTAPPLIC - 適用不可。
自動トランザクション開始 (ATI) 状況	ATISTATUS	CICS がこの端末でタスクを基本機能として自動的に開始 (ATI) できるかどうかを示します。 入力値: ATI、NOATI
音響警報機能	AUDALARMST	デバイスに、3651 制御装置に接続された 3270 ディスプレイまたは 3270 プリンター用の音響アラーム機能があるかどうかを示します (AUDALARM または NOAUDALARM)。
セッション・バインディング状況	AUTOCONNECT	CICS が初期化される時、または VTAM との通信が開始される時に、この端末とのセッションが確立されるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ALLCONN - AUTOCONN と同じ • AUTOCONN - CICS は関連セッションをバインドします。 • NONAUTOCONN - CICS は関連セッションをバインドしません。 • NOTAPPLIC - 端末は VTAM 端末ではないか、リモート端末、代理、またはモデルです。
バックグラウンド透過性機能	BACKTRANSST	デバイスに、バックグラウンド透過性機能があるかどうかを示します (BACKTRANS または NOBACKTRANS)。
拡張カラー機能	COLORST	フィールドまたは文字ごとの色の選択を可能にする拡張カラー機能が装置にあるかどうかを示します (COLOR または NOCOLOR)。
コンソール ID	CONSOLE	MVS コンソールに限り、コンソールの ID を示します。
制御装置のコピー機能	COPYST	3270 ディスプレイまたはプリンターのコピー機能が 3270 制御装置に組み込まれているかどうかを示します (COPY または NOCOPY)。
関連 ID	CORRELID	次のような 8 文字の関連 ID。 <ul style="list-style-type: none"> • LU6.1 セッションの場合、NETNAMEQ。 • LU6.2 セッションの場合、接続された 2 つのセッションに共通するトークン。 • MRO セッションの場合、このセッションが接続している MRO リンクのもう一方の終端にあるセッションの端末 ID。
セッション作成状況	CREATESESS	VTAM では、端末を ATI トランザクションによって自動的に獲得できるかどうかを示します。このフィールドが NOTAPPLIC の場合は、アクセス方式が VTAM 以外であることを意味します。オプションは CREATE、NOCREATE、NOTAPPLIC です。
デバイス・データ・ストリーム・タイプ	DATASTREAM	デバイス・データ・ストリームのタイプを識別します。 <ul style="list-style-type: none"> • DS3270 - 3270 データ・ストリーム • NOTAPPLIC - 適用不可。 • SCS - SNA 文字ストリング
デフォルトのページ高さ	DEFPAGEHT	デフォルト・ページ・サイズが選択されたときに、BMS によって使用するように定義されたデフォルトのページ高さ。
デフォルトのページ幅	DEFPAGEWD	デフォルト・ページ・サイズが選択されたときに、BMS によって使用するように定義されたデフォルトのページ幅。
デフォルトの画面高さ	DEFSCRNHT	デフォルト画面サイズが選択されたときに、BMS によって使用するように定義されたデフォルトの画面高さ。
デフォルトの画面幅	DEFSCRNWD	デフォルト画面サイズが選択されたときに、BMS によって使用するように定義されたデフォルトの画面幅。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
デバイス・タイプ	DEVICE	TCTTE で記録された端末またはセッションのタイプ。 考えられる値: BATCHLU、BIPROG、BISYNCH、CDRDLPR、CONTNLU、HARDCOPY、INTACTLU、ISCMCONV、LUCMODGRP、LUCSESS、LUTYPE4、LUTYPE6、MAGTAPE、RESSYS、SDLC、SEQDISK、SYSTEM3、SYSTEM7、SYS7BSA、TCONSOLE、TELETYPE、TTCAM、TWX3335、T1050、T1053、T2260L、T2260R、T2265、T2740、T2741BCD、T2741COR、T2770、T2780、T3275R、T3277L、T3277R、T3284L、T3284R、T3286L、T3286R、T3600BI、T3601、T3614、T3650ATT、T3735、T3650PIPE、T3650USER、T3653HOST、T3740、T3780、T3790、T3790SCSP、T3790UP、T7770、VIDEOTERM
デバイス使用中状況	DEVICES	デバイスの状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> BUSY - デバイスは使用中です。 NOTBUSY - デバイスは使用中ではありません。
切断要求状況	DISCREQ	CICS がアプリケーションからの切断要求を尊重するかどうかを示します。 入力値: DISCREQ、NODISCREQ、NOTAPPLIC
上下両段キーボード状況	DUALCASE	端末にタイプライター型キーボードまたはオペレーター・コンソール・キーボードがあるかどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> DUALCASE - 端末にはタイプライター型キーボードがあります。 NODUALCASE - 端末にはオペレーター・コンソール・キーボードがあります (このキーボードは単一の大/小文字に制限されません)。または 3270 ディスプレイではありません。
出口ルーチン・トレース状況	EXITTRAC	VTAM では、出口トレースが端末用にアクティブであることを示します。値 NOTAPPLIC は、アクセス方式が VTAM 以外のものであることを意味します。 入力値: EXITTRACE、NOEXITTRACE
拡張データ・ストリーム・サポート	EXTENDED	3270 デバイスまたは SCS プリンターが 3270 データ・ストリームへの拡張をサポートするかどうかを示します。オプションは EXTENDED または NOEXTENDED です。
機能管理ヘッダー (FMH) オプション	FMHPARM	デバイスが、ユーザー提供パラメーターから BMS によって構築した機能管理ヘッダー (FMH) データをサポートするかどうかを示します。オプションは FMHPARM または NOFMHPARM です。
書式送り機能	FORMFEED	デバイスに用紙送り機能があるかどうかを示します。オプションは FORMFEED および NOFORMFEED です。
グラフィック文字セット・グローバル ID	GCHARS	図形文字セットのグローバル ID (GCSGID)。この ID は、この端末で入出力できる図形文字のセットを示す 1 から 65534 の範囲の登録された数です。値ゼロは、GCSGID 値が定義されていないことを意味します。
コード・ページ・グローバル ID	GCODES	コード・ページのグローバル ID (CPGID)。この ID は、この端末で入出力できる文字のコード・ポイントを定義する EBCDIC コード・ページを示す 1 から 65534 の範囲の登録された数です。値ゼロは、CPGID 値が定義されていないことを意味します。
水平フォーム機能	HFORM	デバイスに、文書を出力用に様式設定する際に BMS で水平タブを使用できるようにする水平フォーム機能があるかどうかを示します。オプションは HFORM または NOHFORM です。
拡張強調表示機能	HIGHLIGHT	3270 装置または SCS プリンターに、フィールドまたは文字を反転表示、下線モード、または明滅で表示するための拡張強調表示機能があるかどうかを示します。オプションは HIGHLIGHT または NOHIGHLIGHT です。
入力メッセージ数	INPMSCNT	オペレーターが開始した端末への入力の数。初期トランザクション入力と、端末への会話型読み取りの結果としての入力を含みます。
英数カナ文字モード端末	KATAKAN	装置がカタカナ端末かどうかを示します (KATAKANA または NOKATAKANA)。
選択ペン機能	LIGHTPEN	3270 ディスプレイに選択ペン機能があるかどうかを示します。オプションは LIGHTPEN または NOLIGHTPEN です。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リモート TOR への実リンク接続	LINKSYSTEM	リモート端末に限り、TOR に対する実リンクである接続の 4 文字の名前。
SEND MAP コマンドで前回参照されたマップ	MAPNAME	この端末について処理された SEND MAP コマンドの MAP オプションで、一番最近に参照された BMS マップの名前。
SEND MAP コマンドで前回参照されたマップ・セット	MAPSETNAME	この端末について処理された SEND MAP コマンドの MAPSET オプションで、一番最近に参照された BMS マップ・セットの名前。
モード名	MODENAME	APPC では、類似した特性を持つ、(この端末が属する) 並列セッションのグループの名前。
磁気スロット読取装置	MSRCONTROLST	端末が磁気スロット読取装置を備えた 8775 または 3643 デバイスであるかどうかを示します。オプションは MSRCONTR または NOMSRCON です。
各国語 ID	NATLANG	この端末で使用するよう最初に定義された各国語を示す 1 文字の英数字値。
端末定義タイプ	NATURE	端末定義の性質を次のいずれかで示します。 <ul style="list-style-type: none"> • TERMINAL - 物理端末定義 • MODEL - 端末のタイプに固有のモデル端末定義 • SESSION - リモート (APPC) セッション • SURROGAT - 代理端末定義
ネットワーク名	NETNAME	VTAM のもとでは、この論理装置 (端末またはセッション) が認識されるための名前。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が VTAM 以外であることを意味します。
次のトランザクション ID	NEXTTRANSID	EXEC CICS RETURN コマンドの後に実行する次のトランザクションの名前。 入力値: 任意の有効なトランザクション ID
ネットワーク修飾名	NQNAME	ネットワーク修飾名 (ログオン時に VTAM によって送信された場合)。
外部様式設定機能サポート	OBFORMATST	デバイスが外部様式設定機能をサポートするかどうかを示します。 入力値: OBFORMAT、NOOBFORMAT
外部使用オペレーター ID	OBOPERIDST	3790 および 3770 バッチ・データ交換論理装置の場合、この端末に必要な BMS ルーティング機能をサポートするために、外部オペレーター ID が CICS によって使用されるかどうかを示します (OBOPERID または NOOBOPERID)。
オペレーター ID	OPERID	端末でサインオンしたユーザーの 3 文字のオペレーター識別コードを戻します。 注: 端末が代理端末の場合、この値は現行のものでないことがあります。これは、端末定義が所有 CICS 領域からこの領域にシップされた時にサインオンしていたユーザーを表しており、このユーザーはその後でサインオフした可能性があります。また、OPERID が SET TERMINAL コマンドで変更されている場合、OPERID は現在サインオンしているユーザーのものとは異なることがあります。
フィールド外形線サポート	OUTLINEST	デバイスがフィールド外形線をサポートするかどうかを示します。オプションは OUTLINE または NOOUTLINE です。
出力メッセージ数	OUTMSGCNT	アプリケーション・プログラムまたは CICS のいずれかによって端末に書き込まれた出力メッセージの数。
現行ページ高さ	PAGEHT	デバイスに現在使用されているページ高さ。
BMS ページング状況	PAGESTATUS	一連のページのうちの最初のものより後のページが端末に自動的に書き込まれるか、またはオペレーターからの要求があり次第、ページが端末に書き込まれるのかを示します。 入力値: AUTOPAGEABLE、PAGEABLE
現行ページ幅	PAGEWD	デバイスに現在使用されているページ幅。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
区画状況	PARTITIONSST	デバイスがパーティションを使用できるかどうかを示します (PARTITIONS または NOPARTITIONS)。
合計パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCNT	合計ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力を受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
最大パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCONSEC	ランナウェイの最大数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力を受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
パイプライン連続ランナウェイ数	PMSGGRPCNT	連続ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力を受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
端末に送信されたポーリング回数	POLLCNT	TCAM または BSAM のもとでは、端末に送信されたポーリングの数。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が TCAM でも BSAM でもないことを意味します。
プリンター・アダプター機能	PRINTADAPTST	デバイスがプリンター・アダプター機能をサポートするかどうかを示します (PRINTADAPT または NOPRINTADAPT)。
プリンター名	PRINTER	CICS がこのデバイスからの印刷要求に応答して使用する優先プリンターの名前。 入力値: 任意の有効なプリンター ID
プログラム式記号機能サポート	PROGSYMBOLST	プログラム式記号機能が SCS プリンターのこの 3270 デバイスで使えるかどうかを示します。オプションは PROGSYMBOL または NOPROGSYMBOL です。
優先プリンターに対するハードウェア COPY 機能	PRTCOPYST	CICS がハードウェア COPY 機能を使用して、優先プリンターからの印刷要求を実行するかどうかを示します。 入力値: PRTCOPY、NOPRTCOPY
照会オプション	QUERYST	デバイスがその特性を判別するために QUERY 構造化フィールドの使用をサポートするかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ALLQUERY - デバイスが接続されるたびに QUERY 機能がサポートされます。 COLDQUERY - CICS のコールド・スタートの後でデバイスが最初に接続されるときにのみ、QUERY 機能がサポートされます。 NOQUERY - QUERY 機能はサポートされません。
解放要求状況	RELREQST	CICS が論理装置のために VTAM からの解放要求を尊重するかどうかを示します。 入力値: RELREQ、NORELREQ、NOTAPPLIC
リモート CICS の端末名	REMOTENAME	この端末が定義されているリモート CICS 領域での端末の 4 文字の名前。REMOTENAME はリモートとして定義されている端末にのみ適用されます。それ以外の場合、戻される値はブランクです。
リモート TOR ネット名	REMOTESYSNET	リモート端末に限り、所有 TOR の 8 文字のネット名。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	接続の 4 文字の名前または IPCONN 名の最初の 4 文字を戻します。 名前付き接続は、TOR にリンクする接続項目か、TOR のネット名を提供する間接接続のいずれかにすることができます。 IPIC 接続の場合、サービス中で獲得済みの接続の IPCONN 定義における IPCONN 名の最初の 4 文字が使用されます。
画面の高さ	SCREENHEIGHT	現在の 3270 画面の高さ。ALTSCRNHT 値か DEFSCRNHT 値のいずれかです。
画面幅	SCREENWIDTH	現在の 3270 画面の幅。ALTSCRNWD 値か DEFSCRNWD 値のいずれかです。
事前設定セキュリティ状況	SECURITY	端末がセキュリティを事前設定しているかどうかを示します (PRESET または NOPRESET)。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
サービス状況	SERVSTATUS	端末が現在サービス中か、サービス休止中か、またはサービスを休止する途中かを示します。オプションは GOINGOUT、INSERVICE、OUTSERVICE です。
セッション・タイプ	SESSIONTYPE	別の CICS システムとのセッションとして機能している端末の場合、次のいずれかのセッション・タイプです。 <ul style="list-style-type: none"> • LU61 - LUTYPE6.1 セッション。 • APPCSINGLE - 単一 APPC セッション。 • APPCPARALLEL - 並列 APPC セッション・グループ。 • NOTAPPLIC - 端末は上記のいずれでもない。
サインオン状況	SIGNONSTATUS	現在、端末にサインオンしているユーザーがいるかどうかを示します (SIGNEDON または SIGNEDOFF)。
混合 EBCDIC/DBCS サポート	SOSIST	デバイスが混合 EBCDIC および 2 バイト文字セット (DBCS) フィールドをサポートするかどうかを示します。オプションは SOSI または NOSOSI です。
ストレージの侵害回数	STGVCNT	端末で発生した記憶保護違反の数。
端末入出力領域 (TIOA) ストレージ	STORAGE	この端末で許可される平均 TIOA ストレージ。
現在端末で実行されているタスクの ID	TASKID	この端末で現在実行しているユーザー・タスクの ID
TCAM メッセージ制御フラグ	TCAMCONTROL	メッセージのどのセグメントが CICS と TCAM の間で渡されるかを示す次のコードのいずれかを示す、1 文字の TCAM 制御バイトを戻します。意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 00 Null • 40 メッセージの中間部分 • F1 メッセージの最初の部分 • F2 メッセージの最後の部分 • F3 メッセージ全体 • F4 メッセージの中間部分、レコードの終わり • F5 メッセージの最初の部分、レコードの終わり • F6 メッセージの最後の部分、レコードの終わり • F7 メッセージ全体、レコードの終わり • FE TCAM がアクティブではありません。 • FF 適用されない (TCAM ではない端末)
端末 ID	TERMID	インストール済み端末定義で指定されている端末名。
端末形式番号	TERMMODEL	TYPETERM 定義で指定された端末型式番号。値 N/A は、この端末が LU6.2 または MRO セッションであることを意味します。
端末優先順位	TERMPRIORITY	他の端末に対するこの端末の優先度。 入力値: 0 から 255 まで。
端末タイプ	TERMTYPE	端末のタイプ。
トランザクション・エラー数	TERRCNT	開始できなかった端末に関連するトランザクションの数。
テキスト・キーボード機能	TEXTKYBDST	3270 デバイスにテキスト・キーボード機能があるかどうかを示します。オプションは TEXTKYBD または NOTEXTKYBD です。
テキスト印刷機能	TEXTPRINTST	3288 プリンターにテキスト印刷機能があるかどうかを示します。オプションは TEXTPRINT または NOTEXTPRINT です。
クライアント TN3270 の IPv4 または IPv6 アドレス。	TNADDR	クライアント TN3270 の IPv4 または IPv6 アドレス。TNIPFAMILY が NOTAPPLIC を返す場合は、TNADDR はブランクを返します。

表 293. TERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TNADDR オプションのアドレス・フォーマット	TNIPFAMILY	TNADDR オプションのアドレス・フォーマットを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • IPV4 - 小数点付き 10 進数 IPV4 アドレス。 • IPV6 - コロンで区切られた 16 進 IPV6 アドレス。 • NOTAPPLIC - 適用不可。
ポート番号	TNPORT	TN3270 クライアント接続で使用されるポート番号。端末が 3270 デバイスでない場合、TNPORT はゼロを返します。
端末トレース・タイプ	TRACING	端末に関連したトレース・アクティビティを標準または特殊として記述します。オプションは STANTRACE または SPECTRACE です。
トランザクション数	TRANCNT	端末で開始されたトランザクションの数 (非対話型および疑似会話型を含む)。
現行トランザクション名	TRANSACTION	この端末で基本機能として現在実行しているトランザクションの名前。
端末トランザクション開始 (TTI) 状況	TTISTATUS	この端末が、この端末から開始されたトランザクションによって使用できるかどうかを示します。オプションは TTI または NOTTI です。
大文字変換オプション・サポート	UCTRANST	この端末に関連したトランザクションで、大文字変換オプションがサポートされているかどうかを示します。オプションは UCTRAN、NOUCTRAN、TRANIDONLY です。
端末ユーザー領域 (TCTUA) アドレス	USERAREA	ユーザー域のアドレス
端末ユーザー領域 (TCTUA) の長さ	USERAREALEN	ユーザー域の長さ
ユーザー ID	USERID	この端末またはセッションでサインオンしたユーザーの 8 文字の ID。サインオンしているユーザーがいない場合、値は、DFLTUSER システムの初期化パラメーターに指定されたデフォルト・ユーザー ID になります。
ユーザー名	USERNAME	この端末またはセッションでサインオンしているユーザーの 20 文字の名前 (つまり、USERID オプション値に対応する名前) を戻します。外部セキュリティ・マネージャーから提供される情報が 20 バイトよりも短い場合、CICS は末尾ブランクを埋め込んで 20 バイトにします。サインオン・ユーザーがいない場合は、ブランクが戻されます。
拡張妥当性検査機能	VALIDATIONST	デバイスに拡張妥当性検査機能があるかどうかを示します。オプションは VALIDATION または NOVALIDATION です。
垂直フォーム機能	VFORMST	デバイスに、文書出力用に様式設定する際に BMS で垂直タブを使用できるようにする垂直フォーム機能があるかどうかを示します (VFORM または NOVFORM)。
伝送エラー数または切断数	XERRCNT	端末の場合は記録されたエラーの数、EXCI セッションの場合は切断の数。
ZCP トレース状況	ZCPTRACING	VTAM では、CICS の VTAM 制御コンポーネントに関連したトレース・アクティビティを制御します。値 NOTAPPLIC は、アクセス方式が VTAM 以外のものであることを意味します。オプションは ZCPTRACE または NOZCPTRACE です。

一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー

「一時データ・キュー (TDQ) 操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の区画外、区画内、間接、およびリモートの一時データ・キューに関する情報が表示されます。

区画外 - EXTRATDQ

「区画外一時データ・キュー」(EXTRATDQ) ビューには、現在インストールされている区画外一時データ・キューについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

表 294. 提供された「区画外一時データ・キュー」(EXTRATDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.CLOSE	キューをクローズします。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.DETAILED	選択した区画外一時データ・キューに関する詳細情報
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.DISABLE	キューを使用不可にします。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、使用不可にできません。 2. 使用不可にされたキューは、開くことはできますが、アプリケーションからアクセスできません。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.DISCARD	キューを破棄します。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、破棄できません。 2. 一時データ・キューは、使用不可にしてクローズしてからでなければ廃棄できません。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.ENABLE	キューを使用可能にします。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.OPEN	キューをオープンします。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
区画外一時データ・キュー EYUSTARTEXTTRATDQ.TABULAR	区画外一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 295. EXTRATDQ ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
CLOSE	キューをクローズします。
DISABLE	キューを使用不可にします。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、使用不可にできません。 2. 使用不可にされたキューは、開くことはできますが、アプリケーションからアクセスできません。
DISCARD	キューを破棄します。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、破棄できません。 2. 一時データ・キューは、使用不可にしてクローズしてからでなければ廃棄できません。
ENABLE	キューを使用可能にします。
OPEN	キューをオープンします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 296. EXTRATDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
ブロック形式	BLOCKFORMAT	キューがブロック化または非ブロック化されているかどうかを示します。キューがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
ブロック長 (バイト)	BLOCKSIZE	ブロックの長さをバイト単位で示します。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティーにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
使用されるデータ・バッファ数	DATABUFFERS	一時データ・キューによって使用されるバッファの数を示します。
データ・セットを定義する JCL 文の DD 名	DDNAME	始動 JCL で使用されるデータ・セット名を参照する ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
データ・セットのファイル属性指定	DISPOSITION	データ・セットのファイル属性指定を MOD、OLD、または SHARE として示します。キューがオープンしていない場合は、NOTAPPLIC が返されます。
データ・セット名	DSNAME	関連する QSAM データ・セットまたは DUMMY データ・セットの名前を指定します。
空き状況	EMPTYSTATUS	キューの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • FULL - キューがいっぱいです。 • EMPTY - キューが空です。 • NOTEMPTY - キューが空でもなくいっぱいでもありません。 • NOTAPPLIC - キューはオープンしていません。
使用可能状況	ENABLESTATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうかを示します。 入力値: ENABLED、DISABLED

表 296. EXTRATDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
I/O エラーに対する CICS アクション	ERROROPTION	<p>入出力エラーが発生した場合に CICS が取るアクションを示します。有効な値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IGNORERR - エラーの原因になったブロックが受け入れられます。 • SKIP - エラーの原因になったブロックがスキップされます。 • NOTAPPLIC - 操作はこのキューに適用されません。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後にインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
I/O タイプ	IOTYPE	キューが INPUT、OUTPUT、または RDBACK に対して定義されたかどうかを示します。RDBACK は、キューをさかのぼって読み取ることができることを意味します。
メンバー名	MEMBER	これは、区分データ・セットのメンバー名を示します。ただし、QSAM データ・セットが区分データ・セットではない場合、このフィールドはブランクになります。
オープン状況	OPENSTATUS	<p>キューがオープン、クローズ、または中間状態のいずれの状況であるかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPENING - キューはオープン処理中です。 • OPEN - キューはオープンしています。 • CLOSING - キューはクローズ処理中です。 • CLOSED - キューはクローズしています。 • SWITCHING - キューは使用不可です。ボリューム (範囲) の切り替え中です。 <p>入力値: OPEN、CLOSED</p>
READ および WRITE 要求数	OUTCNT	出力データ・セットへの WRITE または入力データ・セットからの READ の数。
印刷制御タイプ	PRINTCONTROL	<p>このキューのレコードに適用される印刷制御タイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASACTL または ASA - ASA 制御文字 • MCHCTL または MCH - マシン制御文字 • NOCTL または NOC - 印刷制御なし • NOTAPPLIC または NOT - キューはオープンしていません。
レコード形式	RECORDFORMAT	キューが固定長 (FIXED) レコードまたは可変長 (VARIABLE) レコードかどうかを示します。キューがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
レコード長 (バイト)	RECORDLENGTH	可変長レコード (VARIABLE) のキューの場合、バイト単位の最大レコード長です。固定長レコード (FIXED) のキューの場合、バイト単位の実際のレコード長です。値 N/A は、キューがクローズしているため、レコード長を判別できなかったことを意味します。
テープのデータ・セットがクローズしたときの巻き戻しアクション	REWIND	<p>現行のテープがデータ・セットの論理的な終わりに配置されているか (LEAVE)、またはデータ・セットを再処理するように配置されているか (REREAD) を示します。REWIND がこのリソースに適用できない場合は、NOTAPPLIC が使用されます。</p>

表 296. EXTRATDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
スプール・ファイルの SYSOUT クラス	SYSOUTCLASS	関連する SYSOUT データ・セットのクラス属性を示します。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

間接 - INDDTDQ

「間接一時キュー」(INDDTDQ) ビューには、現在インストールされている間接一時データ・キューについての情報が表示されます。各間接キューに関連付けられているターゲット・キューの名前とタイプがリストされます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー」 > 「間接」

表 297. 提供された「間接一時データ・キュー」(INDDTDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
間接一時データ・キュー EYUSTARTINDDTDQ.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
間接一時データ・キュー EYUSTARTINDDTDQ.DETAILED	選択した間接一時データ・キューに関する詳細情報
間接一時データ・キュー EYUSTARTINDDTDQ.DISCARD	キューを破棄します。
間接一時データ・キュー EYUSTARTINDDTDQ.TABULAR	間接一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 298. INDDTDQ ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	キューを破棄します。

フィールド

表 299. INDDTDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 299. INDTDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
間接名	INDIRECTNAME	この間接キューが指し示すキューの名前。
間接宛先タイプ	INDIRECTTYPE	この間接キューが指し示すキューが、区画内、区画外、リモート、または間接のいずれであるかを示します。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
I/O 要求数	OUTCNT	間接一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE および DELETE の数。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

区画内 - INTRATDQ

「区画内一時データ・キュー」(INTRATDQ) ビューには、現在インストールされている区画内一時データ・キューについての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー」 > 「区画内」

表 300. 提供された「区画内一時データ・キュー」(INTRATDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.DETAILED	選択した区画内一時データ・キューに関する詳細情報
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.DISABLE	キューを使用不可にします。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、使用不可にできません。 2. 使用不可にされたキューは、開くことはできますが、アプリケーションからアクセスできません。
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.DISCARD	キューを破棄します。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、破棄できません。 2. 一時データ・キューは、使用不可にしてクローズしてからでなければ廃棄できません。
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.ENABLE	キューを使用可能にします。
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
区画内一時データ・キュー EYUSTARTINTRATDQ.TABULAR	区画内一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 301. INTRATDQ ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	キューを使用不可にします。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、使用不可にできません。 2. 使用不可にされたキューは、開くことはできますが、アプリケーションからアクセスできません。
DISCARD	キューを破棄します。 注: 1. C で始まる名前の一時データ・キューは CICS から提供されたもので、破棄できません。 2. 一時データ・キューは、使用不可にしてクローズしてからでなければ廃棄できません。
ENABLE	キューを使用可能にします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 302. INTRATDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ATI 機能タイプ	ATIFACILITY	ATI キューについて、トリガー・レベルに達したときに開始するタスクが端末 (またはセッション) に関連付けられているかどうかを示します。有効なオプションは TERMINAL または NOTERMINAL です。

表 302. INTRATDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ATI 端末 ID	ATITERMID	自動トランザクション開始 (ATI) が発生したときに、このキューに関連付けられる端末またはセッションの名前。ATI トランザクションが端末またはセッションを必要としない場合は、このフィールドはブランクです。
ATI トランザクション ID	ATITRANID	自動トランザクション開始 (ATI) トリガー・レベルに達したときに開始されるトランザクションの名前。
ATI ユーザー ID	ATIUSERID	端末に関連付けられていない、一時データのトリガー・レベル・トランザクションのユーザー ID を指定します。 入力値: 任意の有効な ATI ユーザー ID
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
未確定待機アクション	INDOUBT	このキューの定義に WAIT(YES) が指定されている場合に、CICS が未確定 UOW に対してとるアクションを示します。有効な値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • QUEUE - UOW が未確定で待機中の場合、UOW がこのキューで保留にしたロックはすべて、UOW が最終状態にあることが確認されるまでアクティブな状態を続けます。 • REJECT - UOW が未確定で待機中の場合、UOW がこのキューで取得したロックはすべて、UOW の最終状態が確認されるまで保持されます。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。
未確定待機オプション	INDOUBTWAIT	リカバリ可能キューを変更した未確定 UOW が、変更をコミットするかバックアウトするかを判断するために、コーディネーターとの再同期を待機するかどうかを示します。有効な値は、WAIT、NOWAIT、または NOTAPPLIC です。

表 302. INTRATDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後にインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
項目数	NUMITEMS	キュー内のレコードの論理数。
I/O 要求数	OUTCNT	区画内一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
リカバリー処理状況	RECOVSTATUS	キューが物理的にリカバリー可能 (PHYSICAL) なのか、論理的にリカバリー可能 (LOGICAL) なのか、リカバリー不能 (NOTRECOVERABLE) なのか、あるいは区画内ではない (NOTAPPLIC) のかを示します。
使用可能状況	STATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうかを示します。 入力値: ENABLED、DISABLED
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。
トリガー・レベル	TRIGGERLEVEL	自動トランザクション開始 (ATI) が発生するために、その前に必要とされるキューへの出力の要求数。値ゼロは、キューが ATI の影響を受けていないことを意味します。 入力値: 0 から 32767 まで

リモート - REMTDQ

「リモート一時データ・キュー」 (REMTDQ) ビューには、現在インストールされているリモート一時データ・キューについての情報が表示されます。リモート一時データ・キューは、ローカル CICS システムに定義されるキューですが、別の CICS システムにあります。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー」 > 「リモート」

表 303. 提供された「リモート一時データ・キュー」 (REMTDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート一時データ・キュー EYUSTARTREMTDQ.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
リモート一時データ・キュー EYUSTARTREMTDQ.DETAILED	選択したリモート一時データ・キューに関する詳細情報
リモート一時データ・キュー EYUSTARTREMTDQ.DISCARD	キューを破棄します。
リモート一時データ・キュー EYUSTARTREMTDQ.TABULAR	リモート一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 304. REMTDQ ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	キューを破棄します。

フィールド

表 305. REMTDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後にインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
I/O 要求数	OUTCNT	リモート一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
リモート名	REMOTENAME	リモート・システムで認識されているこのキューの名前。
リモート・システム	REMOTESYSTEM	リモート・キューがある CICS システムのシステム ID。
キュー ID	TDQUEUE	ローカル CICS システムに認識されている一時データ・キューの名前。

グローバル一時データ・キュー属性 - TDQGBL

「グローバル一時データ・キュー」(TDQGBL) ビューには、区画内一時データ・キューの使用についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー」 > 「グローバル一時データ・キュー属性」

表 306. 提供された「グローバル一時データ・キュー属性」(TDQGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
グローバル一時データ・キュー属性 EYUSTARTTDQGBL.DETAILED	選択した CICS システム内の一時データ・キューに関する詳細情報
グローバル一時データ・キュー属性 EYUSTARTTDQGBL.TABULAR	CICS システム内の一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 307. TDQGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
区画内アクセス数	ACCESSCNT	区画内バッファがアクセスされた回数。
区画内バッファ数	BUFFERS	システム 初期設定テーブル (SIT) または SIT 指定変更で指定された区画内バッファの数。
区画内バッファ待機数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数。
制御間隔数	CINUM	現在アクティブな制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	制御インターバルのサイズ (バイト単位)。
現在のバッファ待機数	CURBUFFWAIT	使用可能なバッファがないために待機しているタスクの現在の数。
有効データを持つ現在のバッファ数	CURBUFVALDA	有効なデータが入っているバッファの現在の数。
現在の同時バッファ・アクセス数	CURCONBUFAC	現在アクセスされている区画内バッファの数。
現在の同時ストリング・アクセス数	CURCONSTRAC	現在アクセスされているストリングの数。
現在のストリング待機数	CURSTRWAITS	使用可能なストリングがないために待機しているタスクの現在の数。
フォーマット 書き込み数	FMTWRITE	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
I/O エラー数	IOERRS	一時データ・セットで発生した入出力エラーの数。
NOSPACE の発生回数	NOSPACECNT	NOSPACE 状態が検出された回数。
使用中の制御間隔数	NUMCTRLINTV	区画内の制御インターバルの現在の数。
区画内バッファのピーク待機数	PEAKBWAIT	使用可能なバッファがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数。
同時区画内アクセスのピーク数	PEAKCACCESS	1 時点での区画内バッファ・アクセスのピーク数。

表 307. TDQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
使用制御間隔のピーク数	PEAKCIUSE	1 時点でアクティブな制御インターバルのピーク数。
データをもつキューのピーク数	PEAKQACTV	有効なデータが入っている区画内バッファのピーク数。
同時ストリング・アクセスのピーク数	PEAKSTRACC	1 時点でアクセスされているストリングのピーク数。
ストリング待機のピーク数	PEAKSTRWAIT	1 時点でストリングを待機しているタスクのピーク数。
データ・セット読み取り数	READS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
ストリング・アクセス回数	STRACCESS	ストリングがアクセスされた回数。
ストリング数	STRINGS	現在アクティブなストリングの総数。
ストリング待機数	STRNGWAITS	使用可能なストリングがないためにタスクが待機する必要があった回数。
データ・セットに対する書き込み数	WRITES	一時データ・セットに対する WRITE 入出力要求の数。

一時データ・キューのトポロジー・データ - CRESTDQ

「一時データ・キューのトポロジー・データ」(CRESTDQ) ビューには、現行コンテキストおよび現行スコープ内のすべての区画内、区画外、リモート、および間接一時データ・キューに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー (CICS operations views)」 > 「一時データ・キュー (TDQ) 操作ビュー (Transient data queue (TDQ) operations views)」 > 「一時データ・キューのトポロジー・データ (Topology data for transient data queue)」

表 308. 提供された「一時データ・キューのトポロジー・データ」(CRESTDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時データ・キューのトポロジー・データ EYUSTARTCRESTDQ.DETAILED	CICS システム内の一時データ・キューのインスタンスに関する詳細トポロジー情報
一時データ・キューのトポロジー・データ EYUSTARTCRESTDQ.TABULAR	CICS システム内の一時データ・キューのインスタンスに関するテーブル形式のトポロジー情報

アクション

なし。

フィールド

表 309. CRESTDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
使用可能状況	ENABLESTATUS	一時データ・キューの使用可能状況。このキューを使用できるかどうかを示します。 入力値: ENABLED DISABLED

表 309. CRESTDQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
モニター状況	MONSTAT	<p>システム中の CICS モニターの状況。これは BIT フィールドで、値は次の値の組み合わせを合計したものになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 01 - データが存在する可能性あり • 02 - データが収集された • 04 - ユーザー・モニター定義 • 08 - システム・モニター定義 • 16 - リソースが論理的に削除された • 32 - リソース状況機能がアクティブ <p>値 '00' は、このシステムではモニター機能がアクティブではないことを示します。</p>
TDQ キュー	NAME	4 文字の CICS 一時データ・キュー名。
オープン状況	OPENSTATUS	<p>TD キューがオープン、クローズ、または中間状態のいずれであるかを示します。このフィールドは、区画外キューのみに適用されます。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPENING - キューはオープン処理中です • OPEN - キューはオープンしています • CLOSING - キューはクローズ処理中です • CLOSED - キューはクローズしています
TD キュー・タイプ	QTYPE	<p>キューのタイプを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INTRA - 区画内一時データ・キュー。このデータ・キューは、別タスクとして実行されている 1 つ以上のプログラムで使用する直接アクセス・データ・セットの中に保持されます。 • EXTRA - 区画外一時データ・キュー。これは、テーブル上の、または CICS 領域の外 (または中) にあるプログラムからアクセス可能な直接アクセス装置上の順次データ・セットです。 • REMOTE - リモート一時データ・キュー。このデータ・キューが定義されるのはローカル CICS システムですが、存在するのは別の CICS システムです。 • INDIRECT - 間接一時データ・キュー。このデータ・キューは、別の基礎となるデータ・キューを表します。
リモート・システム上の TD キュー名	REMOTENAME	リモート・システムで認識されているこのキューの名前。
リモート・システム ID	REMOTESYSTEM	キューのあるリモート CICS システムのシステム ID。

トランザクション操作ビュー

「トランザクション操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS およびユーザー定義のトランザクションに関する情報が表示されます。

ローカルまたは動的 - LOCTRAN

「ローカルまたは動的トランザクション」(LOCTRAN) ビューには、現在インストールされているローカル・トランザクションについての情報が表示されます。ローカルに実行している動的トランザクションについての情報も、このビューに含まれます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**トランザクション操作ビュー**」 > 「**ローカルまたは動的**」

表 310. 提供された「ローカルまたは動的トランザクション」(LOCTRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.DETAIL3	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.DISABLE	トランザクションを使用不可にします。
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.DISCARD	トランザクションがインストールされている CICS システムからそのトランザクションを廃棄します。注: C という文字で始まる名前を持つトランザクションは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.ENABLE	トランザクションを使用可能にします。
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて属性を設定します。
ローカルまたは動的トランザクション EYUSTARTLOCTRAN.TABULAR	CICS システム内のトランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 311. LOCTRAN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	トランザクションを使用不可にします。
DISCARD	トランザクションがインストールされている CICS システムからそのトランザクションを廃棄します。注: C という文字で始まる名前を持つトランザクションは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。
ENABLE	トランザクションを使用可能にします。
SET	入力フィールドで指定された新しい値に応じて属性を設定します。

フィールド

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
トランザクションの異常終了の回数	ABENDCNT	このトランザクションの異常終了の回数。
検出された未確定アクションのミスマッチ数	ACTMISMATS	関係するリソース・マネージャー・コーディネーター (DB2、DBCTL、MRO、LU6.1、LU6.2、RMI など) が、このトランザクションについて CICS とは逆の方向に解決した強制未確定アクション解決の数。
アプリケーション名	APPLICATION	この LOCTRAN リソースが定義されるアプリケーションのアプリケーション名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
メジャー・バージョン	APPLMAJORVER	この LOCTRAN リソースが定義されるアプリケーションのメジャー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
マイクロ・バージョン	APPLMICROVER	この LOCTRAN リソースが定義されるアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエン트리・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。
マイナー・バージョン	APPLMINORVER	この LOCTRAN リソースが定義されるアプリケーションのマイナー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエン트리・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。
可用性状況	AVAILSTATUS	<p>アプリケーション・エン트리・ポイントが可用性を制御している場合の、この LOCTRAN リソースの可用性。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AVAILABLE - この LOCTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点を使用できます。 • UNAVAILABLE - この LOCTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は有効ですが、まだ使用できません。 • NONE - 可用性が NONE である理由がいくつかあります。 <ul style="list-style-type: none"> - この LOCTRAN リソースは CICS アプリケーションの一部ではありません。 - この LOCTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点がありません。 - この LOCTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は無効です。 - この LOCTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は、同じ CICS バンドル内に常駐していません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
ブリッジ出口ルーチン・プログラム名	BREXIT	このプログラムに関連したブリッジ出口ルーチン。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
コマンド・レベル・セキュリティ・オプション	CMDSEC	コマンド・セキュリティチェックがシステム・プログラミング・コマンドで適用されるかどうかを示します。オプションは CMDSECYES または CMDSECNO です。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
動的トランザクション・バックアウト・オプション	DTB	トランザクションが失敗する場合に、このトランザクションによってリカバリ可能リソースに対してアンコミットされた変更がどのように処理されるかを示します (WAIT、COMMIT、または BACKOUT)。
デッドロック・タイムアウト (秒)	DTIMEOUT	このトランザクションに関連した中断状態のタスクのデッドロック・タイムアウト値 (秒数)。
トランザクション・ダンプ・オプション	DUMPING	トランザクションが異常終了したときにトランザクション・ダンプがとられるかどうかを示します。 入力値: TRANDUMP、NOTRANDUMP
仮想端末のモデル	FACILITYLIKE	このトランザクションが 3270 ブリッジによって開始されると、このトランザクションに関連した論理端末は、ここで指定された端末と同じ属性を持つように構築されます。この値がブランクで、「プロファイル」フィールドがブランクになっている場合、トランザクション・プロファイルが使用不可だったため、FACILITYLIKE 値を判別できませんでした。
強制アクション - 未確定タイムアウト値を超過	FORACTINDTO	トランザクション定義が未確定待機のタイムアウト値を指定し、その値を超えたために発生した強制未確定アクション解決の数。
強制アクション - リソースの待機はサポートされていない	FORACTNOWT	リカバリ可能リソースまたはリソース・マネージャー・コーディネーター (LU6.1、MRO、RMI、DB2、または DBCTL など) が未確定待機をサポートできなかったために発生した、強制未確定アクション解決の数。
強制アクション - オペレーターが待機を取り消し	FORACTOPER	オペレーターが未確定解決の待機を取り消したために発生した、強制未確定アクション解決の数。
強制アクション - その他の理由	FORACTOTHER	このビューでリストされた理由以外で発生した強制未確定アクション解決の数。
強制アクション - 未確定待機はサポートされていない	FORACTTRNDF	トランザクション定義が未確定待機をサポートしないために発生した強制未確定アクション解決の数。
トランザクション未確定オプション	INDOUBT	CICS 領域が 2 フェーズ・コミット処理中にコーディネーターとの接続に失敗するかまたはそれを失い、UOW が未確定状態に入ったときにとられるアクションを示します。「待機オプション」フィールドで WAIT が指定された場合、待機時間の有効期限が切れるまで、このフィールドは無効です。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> BACKOUT - リカバリ可能リソースに対するすべての変更はバックアウトされ、リソースは UOW の開始前の状態に戻されます。 COMMIT - リカバリ可能リソースに対するすべての変更はコミットされ、実行中の UOW には完了というマークが付けられます。
未確定時間 (分)	INDOUBTMINS	未確定期間中の障害が発生してから、タスクが「未確定オプション」フィールドで示されたアクション (COMMIT または BACKOUT) をとるまでの時間の長さ (分単位)。
未確定待機オプション	INDOUBTWAIT	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対するプログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 SYSTEM - リソースは CICS システムによりインストールされました。 GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
トランザクション分離タイプ	ISOLATEST	<p>ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージが他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ISOLATE - ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージは、それ自身のタスクのユーザー・キー・プログラムによってのみアクセス可能です。その他のすべてのタスクのユーザー・キー・プログラムからは分離されます。 NOISOLATE - ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージは、それ自身のプログラムによってアクセス可能であり、また ISOLATE(NO) オプションで定義された他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムによってもアクセス可能です。
DTR がローカルでトランザクションを実行した回数	LOCALCNT	動的トランザクション・ルーティング出口がローカル・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。トランザクションが DYNAMIC=YES と定義されていない場合、この値はゼロです。
未確定待機数	NUMINDOUBWT	トランザクションが障害のために未確定期間中に待機した回数を指定します。
オペレーション名	OPERATION	この LOCTRAN リソースがエントリー・ポイントとして定義されるアプリケーション操作の名前。このフィールドが設定されていない場合、このリソースはエントリー・ポイントとしては定義されませんが、引き続きアプリケーションの一部である可能性があります。
オブジェクト・トランザクション・サービスのタイムアウト (秒)	OTSTIMEOUT	この CICS トランザクションの下で実行している EJB 環境で作成された OTS トランザクションが、同期点より前に実行を許可されるデフォルト期間 (秒数)。
プラットフォーム名	PLATFORM	この LOCTRAN リソースが定義されるアプリケーションのプラットフォーム名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
トランザクション優先順位	PRIORITY	<p>CICS システム内の他のトランザクションと比較した場合のこのトランザクションの優先度。</p> <p>入力値: 1 から 255 まで</p>
トランザクション・プロファイル	PROFILE	トランザクション・プロファイルの名前。プロファイルが使用不可の場合、このフィールドはブランクです。
最初のプログラム名	PROGRAM	このトランザクションが開始されるときに実行される最初のプログラムの名前。
ページ可能性オプション	PURGEABILITY	<p>トランザクションがシステム 停止状態でページ可能かどうかを示します。</p> <p>入力値: PURGEABLE、NOTPURGEABLE</p>
DTR がリモートでトランザクションを実行した回数	REMOTE CNT	動的トランザクション・ルーティング (DTR) 出口がこのトランザクションをリモート・システムで実行することを選択した回数。
リモート・トランザクション名	REMOTENAME	リモート・システムに対して定義されたトランザクションの名前。このフィールドがブランクの場合、トランザクションはリモート・システムで定義されていません。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	<p>トランザクション接続要求の送信に使用する相互通信リンクを示す名前を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPIC 接続の場合、IPCONN 定義の最初の 4 文字が使用されます。 MRO 接続および APPC 接続の場合、CONNECTION 定義の CONNECTION 名が使用されます。
リモート・システムでの開始試行数	REMSTARTCNT	このトランザクションをリモート・システムで開始した試行回数。これは正常に実行された開始数と同じではないことがあります。

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リソース・レベル・セキュリティ状況	RESSEC	このトランザクションに有効なリソース・セキュリティ検査オプションを示します。以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • RESSECNO - トランザクションはリソース・セキュリティに制約されません。 • RESSECYES - トランザクションはリソース・セキュリティに制約されます。
トランザクション再始動回数	RESTARTCNT	RE CEDA キーワードが指定されている場合に、トランザクションが異常終了後に再始動された回数。
経路状況	ROUTESTATUS	EXEC CICS START についてのこのトランザクションのルーティング状態。 ROUTABLE は、このトランザクションが CICS 動的ルーティング出口によって動的にルーティングできることを指定します。NOTROUTABLE は、CICS 動的ルーティング出口によって動的にルーティングできないことを指定します。
ルーティング・タイプ	ROUTING	動的ルーティングがこのトランザクションに定義されているかどうかを示します (STATIC または DYNAMIC)。
読み取りタイムアウト (秒)	RTIMEOUT	読み取りタイムアウト値。入力が受信されない場合に、この秒数が経過した後で、このトランザクションに関連したタスクが終了します。この値が 0 で「プロファイル」フィールドがブランクになっている場合、トランザクション・プロファイルが使用不可だったため、読み取りタイムアウト値を判別できませんでした。
ランナウェイ時間 (ミリ秒)	RUNAWAY	タスクがランナウェイ状態であると見なされる前に、このトランザクションを使用して実行が許可される時間 (ミリ秒)。このインターバルの有効期限が切れると、タスクは異常終了します。値 0 は、ランナウェイ・タスクの検出が必要ないことを意味します。
ランナウェイ・タイムアウト値のソース	RUNAWAYTYPE	トランザクションが現行システムのランナウェイ制限を使用するか、またはユーザーによって設定されたものを使用するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SYSTEM - 現行システムのランナウェイ制限が使用されます。 • USER - ユーザーによって設定された制限が使用されます。
画面サイズ	SCRNSIZE	このトランザクションの実行時にデフォルトまたは代替画面サイズが使用されるかどうかを示します。値 N/A は、トランザクション・プロファイルが使用不可だったため、画面サイズを判別できなかったことを意味します。
シャットダウン実行状況	SHUTDOWN	このトランザクションが、非送信請求入力を処理するために作成されたタスクによって CICS シャットダウン中に実行できるかどうかを示します。(この状況におけるトランザクションの実行は、トランザクションがシャットダウンに関するトランザクション・リスト・テーブル (XLT) に記載されている場合にも可能です) オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • SHUTDISABLED - タスクはシャットダウン中に実行を継続しません。 • SHUTENABLED - タスクはシャットダウン中に実行を継続します。
使用可能状況	STATUS	トランザクションの使用可能状況。トランザクションを使用できるかどうかを示します。 入力値: ENABLED、DISABLED
ストレージの侵害回数	STGVCNT	CICS ストレージ管理によって検出された、このトランザクションの記憶保護違反の数。
ストレージ・クリア状況	STORAGECLEAR	このトランザクションに関連したタスクのストレージが解放時にクリアされるかどうかを示します。オプションは CLEAR または NOCLEAR です。
タスク・データ・キー	TASKDATAKEY	CICS がトランザクションによって使用するすべてのストレージを取得するストレージ・キー。これには、タスク存続時間ストレージ (TWA および EIB) と、CICS がトランザクションの下で実行するプログラムの代わりに取得するストレージが含まれます。オプションは CICS DATAKEY および USER DATAKEY です。

表 312. LOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスク・データ・ロケーション	TASKDATALOC	トランザクションの特定の CICS 制御ブロックが 16 MB 境界の上と下のどちらで獲得されるのかを示します (BELOW または ANY)。
トレース・タイプ	TRACING	このトランザクションのトレースが特殊、標準、または抑止かどうかを示します。 入力値: SPECTRACE、STANTRACE、SPRSTRACE
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	このトランザクションが属するトランザクション・クラスの 8 文字の名前。トランザクションがどのクラスにも属さない場合、値 DFHTCLOO が戻されます。
トランザクション ID	TRANID	4 文字のトランザクション名。
トランザクション・ルーティング・プロファイル	TRPROF	トランザクション・ルーティングのプロファイルの名前。
トランザクション作業域 (TWA) のサイズ (バイト数)	TWASIZE	関連したトランザクション作業域 (TWA) のサイズ (バイト数)。
トランザクションの使用回数	USECOUNT	トランザクションが使用された回数。

リモート - REMTRAN

「リモート・トランザクション」(REMTRAN) ビューには、現在インストールされているリモート・トランザクションについての情報が表示されます。リモート・トランザクションとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるトランザクションです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「トランザクション操作ビュー」 > 「リモート」

表 313. 提供された「リモート・トランザクション」(REMTRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.DISABLE	リモート・トランザクションを使用不可にします。
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.DISCARD	ローカル CICS システムからのリモート・トランザクションを廃棄します。注: C という文字で始まる名前を持つトランザクションは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.ENABLE	リモート・トランザクションを使用可能にします。
リモート・トランザクション EYUSTARTREMTRAN.TABULAR	CICS システムで定義されているリモート・トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 314. REMTRAN ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DISABLE	リモート・トランザクションを使用不可にします。
DISCARD	ローカル CICS システムからのリモート・トランザクションを廃棄します。注: C という文字で始まる名前を持つトランザクションは CICS によって提供されているので、使用不可にしたり破棄したりすることはできません。
ENABLE	リモート・トランザクションを使用可能にします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 315. REMTRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アプリケーション名	APPLICATION	この REMTRAN リソースが定義されるアプリケーションのアプリケーション名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
メジャー・バージョン	APPLMAJORVER	この REMTRAN リソースが定義されるアプリケーションのメジャー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。
マイクロ・バージョン	APPLMICROVER	この REMTRAN リソースが定義されるアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。
マイナー・バージョン	APPLMINORVER	この REMTRAN リソースが定義されるアプリケーションのマイナー・バージョン番号。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。このフィールドが -1 に設定されている場合、このリソースはアプリケーションの一部ではありません。
可用性状況	AVAILSTATUS	<p>アプリケーション・エントリー・ポイントが可用性を制御している場合の、この REMTRAN リソースの可用性。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AVAILABLE - この REMTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点を使用できます。 • UNAVAILABLE - この REMTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は有効ですが、まだ使用できません。 • NONE - 可用性が NONE である理由がいくつかあります。 <ul style="list-style-type: none"> - この REMTRAN リソースは CICS アプリケーションの一部ではありません。 - この REMTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点がありません。 - この REMTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は無効です。 - この REMTRAN リソースの可用性を制御するアプリケーション入り口点は、同じ CICS バンドル内に常駐していません。
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。

表 315. REMTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	<p>最後に変更を行った変更エージェントの ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • SYSTEM - リソースは CICS または CICSplex SM システムにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより 最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。 • OVERRIDE - リソースはリソース・オーバーライドにより 最後に変更されました。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	<p>インストールを行ったインストール・エージェント ID。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • SYSTEM - リソースは CICS システムによりインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。 • BUNDLE - リソースは、バンドル・デプロイメントでインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
オペレーション名	OPERATION	この REMTRAN リソースがエントリー・ポイントとして定義されるアプリケーション操作の名前。このフィールドが設定されていない場合、このリソースはエントリー・ポイントとしては定義されませんが、引き続きアプリケーションの一部である可能性があります。
プラットフォーム名	PLATFORM	この REMTRAN リソースが定義されるアプリケーションのプラットフォーム名。OPERATION フィールドが設定されている場合、このリソースはエントリー・ポイントとして定義されます。
トランザクション優先順位	PRIORITY	<p>CICS システム内の他のトランザクションと比較した場合のこのトランザクションの優先度。</p> <p>入力値: 1 から 255 まで</p>
プロファイル名	PROFILE	トランザクションのプロファイルの名前。
ページ可能性状況	PURGEABILITY	<p>トランザクションがシステム 停止状態でページ可能かどうかを示します。</p> <p>入力値: PURGEABLE、NOTPURGEABLE</p>

表 315. REMTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リモートでトランザクションが実行された回数	REMOTECNT	動的トランザクション・ルーティング出口がリモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。値 0 は、トランザクションが DYNAMIC=YES と定義されなかったことを意味します。
リモート・トランザクション ID	REMOTENAME	このトランザクションがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	トランザクション接続要求の送信に使用する相互通信リンクを示す名前を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • IPIC 接続の場合、IPCONN 定義の最初の 4 文字が使用されます。 • MRO 接続および APPC 接続の場合、CONNECTION 定義の CONNECTION 名が使用されます。
トランザクション開始回数	REMSTARTCNT	このトランザクションが開始された回数。
ルーティング状況	ROUTING	動的ルーティングがこのトランザクションに定義されているかどうかを示します。オプションは STATIC または DYNAMIC です。
読み取りタイムアウト (秒)	RTIMEOUT	読み取りタイムアウト値。入力が受信されない場合に、この秒数が経過した後で、このトランザクションに関連したタスクが終了します。この値が 0 で「プロファイル」フィールドがブランクになっている場合、トランザクション・プロファイルが使用不可だったため、読み取りタイムアウト値を判別できませんでした。
画面サイズ	SCRNSIZE	このトランザクションの実行時にデフォルトまたは代替画面サイズが使用されるかどうかを示します。値 N/A は、トランザクション・プロファイルが使用不可だったため、画面サイズを判別できなかったことを意味します。
使用可能状況	STATUS	トランザクションの使用可能状況。トランザクションを使用できるかどうかを示します。 入力値: ENABLED、DISABLED
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	8 文字のトランザクション・クラス名。
トランザクション ID	TRANID	ローカル CICS システムに認識されているトランザクションの名前。
トランザクション・ルーティング・セッション・プロファイル名	TRPROF	トランザクション・ルーティングのプロファイルの名前。このフィールドがブランクの場合、プロファイルは使用できません。
トランザクションが使用された回数	USECOUNT	トランザクションが使用された回数。

要求モデル - RQMODEL

「要求モデル」(RQMODEL) ビューには、現在インストール済みの要求モデルに関する情報が表示されます。要求モデルはインバウンド IIOP 要求を、セキュリティーや優先度などの一連の実行特性や、モニター・データおよびアカウンティング・データと関連付けます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「トランザクション操作ビュー」 > 「要求モデル」

表 316. 提供された「要求モデル」(RQMODEL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
要求モデル EYUSTARTRQMODEL.DETAIL1	リソース・シグニチャーについての詳細情報。
要求モデル EYUSTARTRQMODEL.DETAILED	選択した要求モデルに関する詳細情報

表 316. 提供された「要求モデル」(RQMODEL) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
要求モデル EYUSTRQMODEL.DISCARD	ローカル CICS システムから 要求モデルを破棄します。
要求モデル EYUSTRQMODEL.TABULAR	インストールした要求モデルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 317. RQMODEL ビューに使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	ローカル CICS システムから 要求モデルを破棄します。

フィールド

表 318. RQMODEL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
BAS リソース定義バージョン	BASDEFINEVER	この定義の BAS バージョン番号。
エンタープライズ Bean	BEANNAME	XML デプロイメント記述子内のエンタープライズ Bean 名に一致する Bean 名。要求モデルの RTYPE 属性が CORBA の場合、このフィールドはブランクです。
最終変更をしたエージェント	CHANGEAGENT	最後に変更を行った変更エージェントの ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによって最後に変更されました。 • CSDBATCH - リソースは、DFHCSDUP ジョブによって最後に変更されました。 • DREPAPI - リソースは、CICSplex SM BAS API コマンドによって最後に変更されました。 • DREPBATCH - リソースは CICSplex SM ユーティリティにより 最後に変更されました。 • CREATESPI - リソースは EXEC CICS CREATE コマンドにより 最後に変更されました。 • NOTAPPLIC - これはこのリソースには適用されません。
最終変更をしたエージェントのリリース	CHANGEAGREL	リソース定義に最後に変更を行ったエージェントの CICS リリース・レベル。
最終変更時刻	CHANGETIME	定義が最後に変更されたときの現地日時。
最終変更をしたユーザー ID	CHANGEUSRID	リソース定義に最後に変更を行ったユーザー ID。
CorbaServer	CORBASERVER	この要求モデルの宛先 CorbaServer の名前を指定します。
リソース定義のソース	DEFINESOURCE	最後に変更を行ったエージェントに応じた、定義のソース。
作成時刻	DEFINETIME	DFHCSD または EYUDREP にリソース定義レコードが作成された現地日時。
インストール・エージェント	INSTALLAGENT	インストールを行ったインストール・エージェント ID。 <ul style="list-style-type: none"> • CSDAPI - リソースは、CEDA トランザクション、DFHEDAP に対する プログラマブル・インターフェース、または EXEC CICS CSD コマンドによってインストールされました。 • CREATESPI - リソースは、EXEC CICS CREATE コマンドによってインストールされました。 • GRPLIST - リソースは GRPLIST INSTALL によってインストールされました。
インストール時刻	INSTALLTIME	定義がインストールされた現地の日時。

表 318. RQMODEL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インストール・ユーザー ID	INSTALLUSRID	リソース定義をインストールしたユーザー ID。
インターフェース 名	INTERFACE	これは、IDL インターフェース 名を突き合わせる 255 文字以下の名前を指定します。要求モデルの RTYPE 属性が EJB の場合、このフィールドはブランクです。
Java インターフェース・タイプ	INTFACETYPE	この要求モデルの Java インターフェース・タイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> HOME - これが Bean のホーム・インターフェースであることを指定します REMOTE - これが Bean のリモート・インターフェースであることを指定します BOTH - Bean のホーム・インターフェースとリモート・インターフェースの両方に一致します
モジュール名	MODULE	これは、IDL モジュール名 (OMG インターフェースおよび 操作の名前スコープを定義する) を突き合わせる 255 文字以下の名前を指定します。要求モデルの RTYPE 属性が EJB の場合、このフィールドはブランクです。
要求モデル名	NAME	要求モデルの名前。
オブジェクト管理グループ (OMG) インターフェース 名	OMGINTERFACE	これは、インターフェース 名を突き合わせることでできるパターンを定義します。
オブジェクト管理グループ (OMG) モジュール名	OMGMODULE	これは、インバウンド IIOP 要求で修飾モジュール名の突き合わせに使用するパターンを定義します。最も精度の良い一致をもたらす要求モデルは、選択されているものです。
オブジェクト管理グループ (OMG) 操作名	OMGOPERATION	これは、Omg 操作名を突き合わせるパターンを定義します。
オペレーション名	OPERATION	完全な IDL 操作名または Bean メソッド名。
要求モデル・タイプ	RTYPE	<ul style="list-style-type: none"> EJB - エンタープライズ Bean パラメーターで指定したエンタープライズ Bean 要求に一致。 CORBA - CORBA パラメーターで指定した CORBA 要求に一致。 GENERIC - エンタープライズ Bean 要求と CORBA 要求の両方に一致。
CICS トランザクション ID	TRANSID	これは、このモデルがインバウンド 要求に対して最も汎用性の低い突き合わせとして選択されている場合に実行される CICS トランザクション ID を定義します。トランザクション ID が有効な CICS トランザクションの ID であるという保証はありません。

トポロジー・データ - CRESTRAN

「トランザクションのトポロジー・データ」(CRESTRAN) ビューは、現在インストール済みのローカルおよびリモート・トランザクションに関するトポロジー情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**CICS 操作ビュー**」 > 「**トランザクション操作ビュー**」 > 「**トポロジー・データ**」

表 319. 提供された「トランザクションのトポロジー・データ」(CRESTRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
トランザクションのトポロジー・データ EYUSTARTCRESTRAN.DETAILED	現在インストールされているローカルおよびリモートのトランザクションに関する詳細トポロジー情報
トランザクションのトポロジー・データ EYUSTARTCRESTRAN.TABULAR	現在インストールされているローカルおよびリモートのトランザクションに関するテーブル形式のトポロジー情報

アクション

なし。

フィールド

表 320. CRESTRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
使用可能状況	ENABLESTATUS	トランザクションの使用可能状況。トランザクションを使用できるかどうかを示します。 入力値: ENABLED DISABLED
トランザクション・モニター状況	MONSTAT	システム中の CICS モニターの状況。これは BIT フィールドで、値は次の値の組み合わせを合計したものになります。 <ul style="list-style-type: none">• 01 - データが存在する可能性あり• 02 - データが収集された• 04 - ユーザー・モニター定義• 08 - システム・モニター定義• 16 - リソースが論理的に削除された• 32 - リソース状況機能がアクティブ 値 '00' は、このシステムではモニター機能がアクティブではないことを示します。
トランザクション ID	NAME	4 文字のトランザクション名。
最初のプログラム名	PGMNAME	このトランザクションが開始されるときに実行される最初のプログラムの名前。
リモート・システム上のトランザクション ID	REMOTENAME	このトランザクションがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム ID	REMOTESYSTEM	リモート・トランザクションがある CICS システムのシステム ID。
トランザクション・タイプ	TTYPE	トランザクションの定義がローカルか、それともリモートかを示します。

作業単位 (UOW) 操作ビュー

「作業単位 (UOW) 操作」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内で実行している作業単位に関する情報が表示されます。

作業単位 - UOW

「作業単位」(UOW) ビューには、現在実行している作業単位についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「作業単位 (UOW) 操作ビュー」 > 「作業単位」

表 321. 提供された「作業単位」(UOW) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
作業単位 EYUSTARTUOW.BACKOUT	同期点バックアウト処理を実行します。
作業単位 EYUSTARTUOW.COMMIT	同期点コミット処理を実行します。
作業単位 EYUSTARTUOW.DETAIL1	オブジェクト・トランザクション・サービス (OTS) のトランザクション ID の詳細

表 321. 提供された「作業単位」(UOW) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
作業単位 EYUSTARTUOW.DETAILED	選択した作業単位に関する詳細情報
作業単位 EYUSTARTUOW.FORCE	強制的に作業単位をバックアウトまたはコミットします。
作業単位 EYUSTARTUOW.SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。
作業単位 EYUSTARTUOW.TABULAR	CICS システム内の作業単位に関するテーブル形式の情報

アクション

表 322. UOW ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
BACKOUT	同期点バックアウト処理を実行します。
COMMIT	同期点コミット処理を実行します。
FORCE	強制的に作業単位をバックアウトまたはコミットします。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 323. UOW ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行待ち状態の時間 (秒)	AGE	作業単位が現在の待ち状態に入ってから秒数を示します。
待ちの原因となったリモート・システムのネット名	LINK	「待ち原因」(WAITCAUSE) フィールドの値が CONNECTION のとき、このフィールドには関係するシステムの ID が表示されます。システム ID が破棄されている場合や、「待ち原因」の値がそれ以外のときは、このフィールドはブランクのままです。
UOW 待ち / 除外の原因となっているリンクのネット名	NETNAME	「待ち原因」(WAITCAUSE) フィールドの値が CONNECTION のとき、このフィールドには作業単位の待機または遅延の原因となったリンクのネット名が表示されます。「待ち原因」がそれ以外の値のときは、このフィールドはブランクのままです。
UOW に対する LU 6.2 ネットワーク全体名	NETUOWID	このネットワーク内の作業単位の LU6.2 名。
オブジェクト・トランザクション・サービスのトランザクション ID	OTSTID	UOW が属している OTS トランザクションのトランザクション ID (TID) を示します。OTS 名が 128 バイトよりも短い場合は、2 進ゼロで右側が埋め込まれます。
待ちの原因となった接続のシステム ID	SYSID	「待ち原因」(WAITCAUSE) フィールドの値が CONNECTION のとき、このフィールドには関係するシステムの ID が表示されます。接続が破棄されている場合や、「待ち原因」の値がそれ以外のときは、このフィールドはブランクのままです。
UOW に初めに関連付けられたタスク	TASKID	この作業単位に関連付けられているタスク番号を示します。
この UOW が開始された端末	TERMID	この作業単位が開始された端末またはセッションの ID を示します。
UOW を開始したトランザクション	TRANSID	この作業単位を開始したトランザクションの ID を示します。
ローカル作業単位 (UOW) ID	UOWID	ローカル作業単位 (UOW) の ID を示します。

表 323. UOW ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
UOW 状況	UOWSTATE	<p>作業単位の状態を示します。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> BACKOUT - この UOW はバックアウトされている途中か、この UOW に関係するリカバリー可能リソースの 1 つ以上のバックアウトに失敗しました。 COMMIT - UOW をコミットする決定が行われましたが、UOW が待機中か、中断されています。 FORCE - UOW の強制的なバックアウトまたはコミットが試行されています。 HEURBACKOUT - UOW は強制的にバックアウトされています。 HEURCOMMIT - UOW は強制的にコミットされています。 INDOUBT - この UOW は未確定の状態にあります。 INFLIGHT - UOW は正常に実行中です。
トランザクション開始ユーザー	USERID	このトランザクションが開始されたユーザー ID を示します。
待機の原因	WAITCAUSE	<p>作業単位の待機または遅延の原因となったリソースのタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NOTAPPLIC - UOW が待機していません。 CONNECTION - 未確定期間の UOW のコーディネーターに対するセッションの障害。 DATASET - 1 つ以上のデータ・セットと関連付けられた障害。 OTSCoord - OTS コーディネーターに対するセッションの障害。 RLSServer - RLS サーバーの障害。 WAITRRMS - RRS/MVS との通信が失われました。 WAITCOMMIT - コミット処理中に発生した障害。 WAITFORGET - 同期点の参加者からの FORGET を待機しています。 WAITRMI - RMI からの FORGET を待機しています。
待ち状況	WAITSTATE	作業単位の待ち状態を示します。オプションは ACTIVE、SHUNTED、WAITING です。

中断され、データ・セットをロックしたままになっている作業単位 - UOWDSNF

「除外およびデータ・セット・ロック保持作業単位」 (UOWDSNF) ビューには、除外作業単位についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「作業単位 (UOW) 操作ビュー」 > 「中断した作業単位およびロックしたデータ・セット・ロックの保持」

表 324. 提供された「中断した作業単位およびロックしたデータ・セット・ロックの保持」 (UOWDSNF) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
中断した作業単位およびロックしたデータ・セット・ロックの保持 EYUSTARTUOWDSNF.DETAILED	選択した中断作業単位に関する詳細情報
中断した作業単位およびロックしたデータ・セット・ロックの保持 EYUSTARTUOWDSNF.TABULAR	CICS システム内の中断作業単位に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 325. UOWDSNF ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
この障害の原因となった障害コンポーネント	CAUSE	<p>除外作業単位がこのデータ・セットに関してロックを保持する原因となった、障害のあるコンポーネントを示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CACHE - キャッシュ構造、またはそれに対する接続で障害発生。 • RLSSERVER - SMSVSAM サーバーで障害発生。 • CONNECTION - システム間の接続にエラーがあり、これによって未確定の間に作業単位が失敗。 • DATASET - このデータ・セットで作業単位のバックアウトに障害発生。 • UNDEFINED - 作業単位は緊急時再始動の後で未了である可能性があります。
ロック状態のデータ・セット名	DSNAME	この除外作業単位のロック保持データ・セットの名前。
接続が失われたリモート・システムのネット名	NETNAME	CAUSE フィールドの値が CONNECTION のときに、このフィールドは接続が失われたリモート・システムのネット名を示します。
エラーの特定理由	REASON	<p>CAUSE フィールドの値が RLSSERVER または DATASET のときに、このフィールドはこのデータ・セットに対するエラーの理由を示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COMMITFAIL - ロック解放の途中でエラーが発生しました。 • BACKUPNONBWO - 作業単位がバックアウトされているときに非 BWO バックアップが進行中でした。 • DATSETFULL - 直接アクセス装置上に、データ・セットにレコードを追加するための使用可能なスペースがありません。 • DEADLOCK - デッドロックが検出されました (非 RLS データ・セットの場合のみ)。 • DELEXITERROR - ESDS への書き込みのバックアウトが失敗しました。 • FAILEDBKOUT - CICS 内で重大エラーが発生しました。 • INDEXRECFULL - データ・セットのためにもっと大きな代替索引レコード・サイズを定義する必要があるか、固有の代替索引キー (非 RLS データ・セットの場合) が再利用されていて、CICS がそのキー値を除去した要求をバックアウトしています。 • IOERROR - ハード入出力エラーが発生。 • NOTAPPLIC - CAUSE フィールドの値が RLSSERVER または DATASET ではないため、このフィールドは適用外。 • OPENERERROR - ファイルまたはバックアウト・ファイルのオープン・エラー。 • RLSGONE - RLS サーバーが非アクティブになっているため、作業単位のバックアウト中にエラーが発生しました。 • LCKSTRUCFULL - RLS ロック構造が満杯だったため、このデータ・セットの更新のバックアウト時におけるロックの取得の試行が失敗しました。 • INDOUBT - 作業単位はデータ・セットに対してリカバリー可能な要求を発行したため、未確定状態で失敗しました。 • RRINDOUBT - 作業単位はデータ・セットに対して反復可能な読み取り要求を発行したため、未確定状態で失敗しました。 • RRCOMMITFAIL - 作業単位の RLS ロックの解放中にエラーが生じました。
データ・セットが前回オープンしたモード	RLSACCESS	この CICS 領域で最後に開かれたデータ・セットが RLS モード (RLS) か非 RLS モード (NOTRLS) かを示します。
接続が失われたリモート・システム名	SYSID	CAUSE フィールドの値が CONNECTION のときに、このフィールドは接続が失われたリモート・システムのシステム ID を示します。
作業単位 (UOW) ID	UOWID	1 つ以上のロック保持データ・セットを持つ、除外作業単位の ID。

作業単位エンキュー - UOWENQ

「作業単位 ENQ」(UOWENQ) ビューには、作業単位を実行するために保持されているアクティブな ENQ とリテインされた ENQ についての情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「作業単位 (UOW) 操作ビュー」 > 「作業単位エンキュー」

表 326. 提供された「作業単位エンキュー」(UOWENQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
作業単位エンキュー EYUSTARTUOWENQ.DETAILED	選択した作業単位 ENQ に関する詳細情報
作業単位エンキュー EYUSTARTUOWENQ.TABULAR	作業単位 ENQ に関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 327. UOWENQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
EXEC エンキュー引数のアドレス	ENQADDRESS	EXECENQADDR タイプのリソースに関する EXEC CICS ENQ 要求で渡されるエンキュー引数のアドレス。その他のリソース・タイプの場合、値はゼロです。
前回獲得以降の ENQ 失敗回数	ENQFAILS	前回 ENQ が獲得されてから、このリソースに対する ENQ 試行が失敗した回数。つまり、この ENQ がリテイン状態で保持されているために LOCKED 応答を受け取った作業単位の数を示します。アクティブな ENQ の場合、値はゼロです。
ENQ スcope名	ENQSCOPE	これは、オプションの 4 文字の ENQ スcope名です。
ネットワーク全体の LU6.2 作業単位 (UOW) ID	NETUOWID	ENQ を所有または待機している作業単位の LU6.2 名。
リソース名修飾子	QUALIFIER	ENQ に関連付けられているリソースをさらに詳しく識別するための、オプションの 1-255 文字の修飾子。
リソース修飾子の長さ (バイト)	QUALLEN	ENQ に関連付けられているリソースの修飾子の長さ。
待機中の所有者またはタスク	RELATION	データが ENQ の所有者 (OWNER) に関連付けられているのか、ENQ を待っているタスク (WAITER) に関連付けられているのかを示します。
リソース名の長さ (バイト)	RESLEN	ENQ に関連付けられているリソースの名前の長さ。
リソース名	RESOURCE	エンキュー・ロックに関連付けられているリソースの 1 文字から 255 文字の名前。このフィールドに戻されるデータは ENQ の TYPE によって異なります。
ENQ タイプ	STATE	ENQ がどの状態で保持されているかを示します (ACTIVE、RETAINED)。
UOW と関連するタスク番号	TASKID	作業単位に関連付けられているタスクのタスク番号。作業単位が除外された場合は、除外される前に作業単位に関連付けられていたタスク番号を示します。
UOW と関連するトランザクション ID	TRANSID	作業単位に関連付けられているトランザクション ID。作業単位が除外された場合は、除外される前に作業単位に関連付けられていたトランザクション ID を示します。

表 327. UOWENQ ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リソース・タイプ	TYPE	ENQ データが提供されたリソースのタイプを示します (DATASET、EXECENQ、EXECENQADDR、FILE、TDQUEUE、TSQUEUE)。
作業単位 (UOW) ID	UOWID	ENQ を所有または待機している作業単位のローカル ID。

作業単位リンク - UOWLINK

「作業単位リンク」(UOWLINK) ビューには、作業単位と CICS システムまたは外部リソース・マネージャーの間のリンクに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「CICS 操作ビュー」 > 「作業単位 (UOW) 操作ビュー」 > 「作業単位リンク」

表 328. 提供された「作業単位リンク」(UOWLINK) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
作業単位リンク EYUSTARTUOWLINK.DELETE	作業単位と CICS システムまたは外部リソース・マネージャーの間のリンクを削除します。
作業単位リンク EYUSTARTUOWLINK.DETAIL1	選択した作業単位リンクに関する詳細情報
作業単位リンク EYUSTARTUOWLINK.DETAILED	選択した作業単位リンクに関する詳細情報
作業単位リンク EYUSTARTUOWLINK.TABULAR	作業単位リンクに関するテーブル形式の情報

アクション

表 329. UOWLINK ビュー用に使用可能なアクション	
意味	説明
DELETE	作業単位と CICS システムまたは外部リソース・マネージャーの間のリンクを削除します。
SET	入力フィールドで指定した新しい値に従って属性を設定します。

フィールド

表 330. UOWLINK ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
XID ブランチ修飾子	BRANCHQUAL	このリンクの作業単位と関連付けられた X/Open トランザクション ID のブランチ修飾子 ID 部分を含む 64 文字の領域。
TCP/IP ホスト・アドレス	HOST	ホスト名。

表 330. UOWLINK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リンク・トークン	LINK	<p>TYPE 値が CONNECTION である場合、リモート・システムの 8 文字のネット名を示します。</p> <p>RMI の TYPE 値では、LINK はタスク関連ユーザー出口の入り口名を戻します。</p> <p>TYPE 値が CFTABLE である場合、LINK はカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールの 8 文字の名前を表示します。</p> <p>TYPE 値が IIOP である場合、LINK はブランクを表示します。IIOP UOWLINK に関する同等の情報は HOST 属性によって表示されます。</p> <p>TYPE 値が IPCONN である場合、LINK はリモート・システムの 8 文字の APPLID を表示します。</p>
リモート・システムのネット名、グローバル・ユーザー出口名または JVM サーバー名	LINKNAME	<p>TYPE フィールドの値が CONNECTION の場合、このフィールドはリンク・データが戻されている接続を示します。TYPE フィールドの値が RMI の場合、このフィールドはリンク・データが戻されているタスク関連ユーザー出口の入り口名を示します。TYPE フィールドの値が JVMSERVER のとき、このフィールドには JVM サーバーの名前が含まれます。</p>
ネットワーク全体にわたる UOW の LU 6.2 名	NETUOWID	リンク・データが戻される作業単位のネットワーク全体の LU6.2 ID。
TCP/IP ポート番号	PORT	ホストが listen しているポート番号。プロトコルが IPIC で、リモート・ホストが CICS 領域である場合にのみ設定されます。
リンク・プロトコル	PROTOCOL	<p>接続に使用されている通信プロトコルを示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • APPC - 拡張プログラム間通信。 • IRC - 領域間通信。 • LU61 - LUTYPE 6.1 • RRMS - 作業単位は RRMS/MVS によって調整されています。 • IPIC - IPCONN 接続と関連した IP 相互接続。 • OTS - オブジェクト・トランザクション・サービス (OTS) のリンク。 • NOTAPPLIC - これは RMI 接続です
再同期状況	RESYNCSTATUS	<p>リンクの再同期状況を示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COLD - リンクはパートナーによってコールド・スタートされました。 • OK - リンクは正常に機能しています。 • STARTING - リンクは開始処理中です。 • UNAVAILABLE - リンクは現在使用できません。 • UNCONNECTED - 関連する接続はありません。 • NOTAPPLIC - 接続はリカバリー・プロトコルでは作成されませんでした。RMI、APPC 単一セッション、APPC 同期レベル 1 接続、IPCONN、または CFDT サーバーである可能性があります。
タスク関連ユーザー出口ルーチンの入力修飾子	RMIQFY	TYPE フィールドの値が RMI のとき、このフィールドは RMI 入力修飾子を示します。
接続の役割	ROLE	<p>接続の役割を示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COORDINATOR - これは作業単位の同期点コーディネーターへの接続です。 • SUBORDINATE - これは作業単位の同期点従属への接続です。 • UNKNOWN - この接続の同期点役割を判別できませんでした。
RRMS リカバリー可能作業単位 ID	RRMSURID	RRMS によって CICS に渡されたリカバリー単位 ID/トークン。
リモート・システム名	SYSID	TYPE フィールドの値が CONNECTION のとき、このフィールドはリンク・データが戻されているリモート・システムを示します。

表 330. UOWLINK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リソース・タイプ	TYPE	接続のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • CFTABLE - CFDT サーバーへの接続。 • CONNECTION - CONNECTION リソース定義で定義された接続。 • IPCONN - IPCONN リソース定義で定義された接続。 • JVMSERVER - JTA を使った WebSphere Liberty Profile への接続。 • RMI - リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を使用した外部リソース・マネージャーへの接続。
作業単位 (UOW) ID	UOWID	この作業単位のローカル ID。
XID グローバル・トランザクション ID	XID	このリンクの作業単位と関連付けられた X/Open トランザクション ID のグローバル・トランザクション ID 部分を含む 64 文字の領域。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができません。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス涉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,

NY 10504-1785

United States of America

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関す

る実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- [アプリケーションの開発](#)
- [システム・プログラムの開発](#)
- [CICS TS セキュリティー](#)
- [外部インターフェースに向けた開発](#)
- [アプリケーション開発のリファレンス](#)
- [リファレンス: システム・プログラミング](#)
- [リファレンス: 接続](#)

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- [トラブルシューティングおよびサポート](#)
- [CICS TS 診断参照](#)

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- [アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス](#)
- [Business Transaction Services](#)
- [Customization Guide](#)
- [C++ OO Class Libraries](#)
- [Debugging Tools Interfaces Reference](#)
- [Distributed Transaction Programming Guide](#)
- [External Interfaces Guide](#)
- [Front End Programming Interface Guide](#)

- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- CICS における Java™ アプリケーション

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のプログラミング・インターフェースとして 意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (ソフトウェア・オファリング) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (メイン・インターフェース) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (データ・インターフェース) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (「Hello World」ページ) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビー

コン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。
なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

「アクティブ・タスク」ビュー
一般 (TASK) [237](#)
「一時記憶域キュー」ビュー
一般 (TSQNAME) [346](#)
「一時記憶域プール」ビュー
一般 (TSPOOL) [343](#)
「一時記憶域モデル」ビュー
一般 (TSMODEL) [341](#)
「一時データ・キューのトポロジー・データ」ビュー
一般 (CRESTDQ) [373](#)
「イベント・キャプチャー仕様オプション述部」ビュー
一般 (EVCSOPT) [22](#)
「イベント・キャプチャー仕様情報源」ビュー
一般 (EVCSINFO) [21](#)
「イベント・キャプチャー仕様データ述部」ビュー
一般 (EVCSDATA) [19](#)
「イベント・キャプチャー仕様」ビュー
一般 (EVCSPEC) [14](#)
「イベント処理アダプター」ビュー
一般 (EPADAPT) [27](#)
「イベント処理」ビュー
一般 (EVNTGBL) [24](#)
「イベント・バインディング」ビュー
一般 (EVNTBIND) [12](#)
「エンキュー・マネージャー」ビュー
一般 (ENQUEUE) [93](#)
エンキュー・モデル・ビュー
一般 (ENQMODEL) [164](#)

[カ行]

「カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プ
ール」ビュー
一般 (CFDTPOOL) [197](#)
「間隔制御要求数」ビュー
一般 (REQID) [288](#)
「間接一時データ・キュー」ビュー
一般 (INDTDQ) [366](#)
「管理下データ・テーブル」ビュー
一般 (CMDT) [198](#)
「完了したタスク (ヒストリー)」ビュー
一般 (HTASK) [263](#)
「共用一時記憶域キュー」ビュー
一般 (TSQSHR) [348](#)
「区画外一時データ・キュー」ビュー
一般 (EXTRATDQ) [362](#)
「区画内一時データ・キュー」ビュー
一般 (INTRATDQ) [367](#)
「グローバル MVS TCB 情報」ビュー
一般 (MVSTCBGL) [98](#)
「グローバル URI マップ統計」ビュー
一般 (URIMPGBL) [329](#)

「グローバル一時記憶域統計」ビュー
一般 (TSQGBL) [344](#)
「グローバル一時データ・キュー属性」ビュー
一般 (TDQGBL) [372](#)
「グローバル・ディスパッチャー情報」ビュー
一般 (DSPGBL) [88](#)
「グローバル・ユーザー出口」ビュー
一般 (EXTGLORD) [94](#)
「グローバル・ユーザー出口ルーチン」ビュー
一般 (EXITGLUE) [188](#)
「個々のタスクによる TSQ 使用」ビュー
一般 (TASKTSQ) [296](#)
「個々のタスクによるファイル使用 (File usage by an
individual task)」ビュー
一般 (TASKFILE) [294](#)

[サ行]

「作業単位エンキュー」ビュー
一般 (UOWENQ) [390](#)
「作業単位」ビュー
一般 (UOW) [386](#)
「作業単位リンク」ビュー
一般 (UOWLINK) [391](#)
「システム・パラメーター」ビュー
一般 (SYSPARM) [48](#)
「自動インストール・モデル」ビュー
一般 (AIMODEL) [354](#)
「ジャーナル名」ビュー
一般 (JRNNAME) [221](#)
「ジャーナル・モデル」ビュー
一般 (JRNLMODL) [220](#)
「使用中の DBCTL サブシステム」ビュー
一般 (DBCTLSS) [151](#)
「処理要求」ビュー
一般 (WORKREQ) [291](#)
「すべてのタスク・サブプール」ビュー
一般 (TSKSPOLS) [350](#)
「静的 DFHRPL データ・セット」ビュー
一般 (RPLLIST) [236](#)

[タ行]

タスク、例
アクティブなトランザクションのワークロードからの破
棄 [7](#)
説明 [1](#)
タスクのユーザー ID への関連付け [2](#)
単一 CICS システムのトランザクションの使用不可化 [5](#)
端末の状況の確認 [3](#)
通信リンクの状況の確認 [3](#)
トランザクションと関連付けられているタスクの数 [2](#)
トランザクションと関連付けられているタスクの識別 [2](#)
トランザクションのグローバルな使用不可化 [5](#)
ファイルが使用可能な CICS システム [3](#)
プログラムの元データ・セット [4](#)
リソース・モニター

タスク、例 (続き)

リソース・モニター (続き)

CICS システム内のモニター対象リソース [6](#)

ローカルとリモートのファイル名の相関 [3](#)

ワークロード定義の非活動化 [6](#)

「タスク関連情報」ビュー

一般 (TASKASSC) [300](#)

「タスク関連ユーザー出口ルーチン」ビュー

一般 (EXITTRUE) [96](#)

「タスクごとの RMI 使用状況」ビュー

一般 (TASKRMI) [297](#)

「タスクごとのストレージ・エレメント」ビュー

一般 (TASKESTG) [293](#)

「タスク・サブプール」ビュー

一般 (TSKSPPOOL) [74](#)

タスクの例

アクティブなトランザクションのワークロードからの破棄 [7](#)

説明 [1](#)

タスクのユーザー ID への関連付け [2](#)

単一 CICS システムのトランザクションの使用不可化 [5](#)

端末の状況の確認 [3](#)

通信リンクの状況の確認 [3](#)

トランザクションと関連付けられているタスクの数 [2](#)

トランザクションと関連付けられているタスクの識別 [2](#)

トランザクションのグローバルな使用不可化 [5](#)

ファイルが使用可能な CICS システム [3](#)

プログラムの元データ・セット [4](#)

リソース・モニター

CICS システム内のモニター対象リソース [6](#)

ローカルとリモートのファイル名の相関 [3](#)

ワークロード定義の非活動化 [6](#)

「端末」ビュー

一般 (TERMNLI) [354](#)

「中断した作業単位およびロックしたデータ・セット・ロックの保持」ビュー

一般 (UOWDSNF) [388](#)

「ディスパッチャー TCB プール」ビュー

一般 (DSPPOOL) [91](#)

「ディスパッチャー TCB モード」ビュー

一般 (DSPMODE) [90](#)

「動的ストレージ域グローバル」ビュー

一般 (CICSSTOR) [53](#)

「動的ストレージ域ごとのローダー」ビュー

一般 (LOADACT) [79](#)

「動的ストレージ域」ビュー

一般 (CICSDSA) [50](#)

「ドメイン・サブプール」ビュー

一般 (DOMSPOOL) [73](#)

「トランザクション・クラス」ビュー

一般 (TRANCLAS) [80](#)

「トランザクション・ダンプ・コード」ビュー

一般 (TRANDUMP) [85](#)

「トランザクションのトポロジー・データ」ビュー

一般 (CRESTRAN) [385](#)

[ハ行]

「パートナー」ビュー

一般 (PARTNER) [125](#)

「パイプライン」ビュー

一般 (PIPELINE) [335](#)

「バンドル」ビュー

一般 (BUNDLE) [9](#)

ビュー

名前の理解 [9](#)

ビュー・セット [9](#)

ビュー名 [9](#)

「ファイルの物理データ・セット」ビュー

一般 (DSNAME) [205](#)

「ファイル用トポロジー・データ」ビュー

一般 (CRESFILE) [219](#)

「プログラム」ビュー

一般 (PROGRAM) [224](#)

「プロセス・タイプ」ビュー

一般 (PROCTYP) [33](#)

「プロファイル」ビュー

一般 (PROFILE) [126](#)

文書テンプレート・ビュー

一般 (DOCTEMP) [162](#)

[ヤ行]

「要求モデル」ビュー

一般 (RQMODEL) [383](#)

[ラ行]

リソースのモニター

タスクの例

CICS システム内のモニター対象リソース [6](#)

リソース・モニター

タスクの例

CICS システム内のモニター対象リソース [6](#)

「リモート一時データ・キュー」ビュー

一般 (REMTDQ) [370](#)

「リモート・トランザクション」ビュー

一般 (REMTRAN) [380](#)

「リモート・ファイル」ビュー

一般 (REMFILE) [217](#)

「ローカル・ファイル」ビュー

一般 (LOCFILE) [208](#)

「ローカルまたは動的トランザクション」ビュー

一般 (LOCTRAN) [374](#)

「ローダー・グローバル」ビュー

一般 (LOADER) [75](#)

[ワ行]

ワークロード定義の非活動化、タスクの例 [6](#)

[数字]

「3270 ブリッジ機能」ビュー

一般 (BRFACIL) [289](#), [352](#)

A

AIMODEL ビュー [354](#)

ATOMSERV ビュー [338](#)

「Atomservice」ビュー

一般 (ATOMSERV) [338](#)

B

BRFACIL ビュー [289](#), [352](#)

C

CFDTPOOL ビュー [197](#)
 「CICS システム・ダンプ・コード」ビュー
 一般 (SYSDUMP) [83](#)
 「CICS 領域内の DB2 サブシステム」ビュー
 一般 (DB2SS) [145](#)
 「CICS 領域内の DB2 スレッド」ビュー
 一般 (DB2THRD) [147](#)
 「CICS 領域」ビュー
 一般 (CICSRGN) [35](#)
 「CICS-配置 jar ファイル内の Enterprise Bean」ビュー
 一般 (EJDJBAN) [174](#)
 「CICS-配置 jar ファイル」ビュー
 一般 (EJDJAR) [172](#)
 CICSDSA ビュー [50](#)
 CICSRGN ビュー [35](#)
 CICSSTOR ビュー [53](#)
 CLCACHE ビュー [183](#)
 CMDT ビュー [198](#)
 CONNECT ビュー [104](#)
 「CorbaServer 内の Enterprise Bean」ビュー
 一般 (EJCOBEAN) [167](#)
 「CorbaServer」ビュー
 一般 (EJCOSE) [167](#)
 CRESFILE ビュー [219](#)
 CRESTDQ ビュー [373](#)
 CRESTRAN ビュー [385](#)

D

「DB2 エントリー関連トランザクション」ビュー
 一般 (DB2TRN) [149](#)
 「DB2 エントリー」ビュー
 一般 (DB2ENTRY) [141](#)
 「DB2 スレッド関連トランザクション」ビュー
 一般 (DB2TRAN) [149](#)
 「DB2 接続」ビュー
 一般 (DB2CONN) [134](#)
 DB2CONN ビュー [134](#)
 DB2ENTRY ビュー [141](#)
 DB2SS ビュー [145](#)
 DB2THRD ビュー [147](#)
 DB2TRAN ビュー [149](#)
 DB2TRN ビュー [149](#)
 DBCTLSS ビュー [151](#)
 DOCTEMP ビュー [162](#)
 DOMSPOOL ビュー [73](#)
 DSNAMN ビュー [205](#)
 DSPGBL ビュー [88](#)
 DSPMODE ビュー [90](#)
 DSPPOOL ビュー [91](#)

E

EJCOBEAN ビュー [167](#)
 EJCOSE ビュー [167](#)
 EJDJAR ビュー [172](#)
 EJDJBAN ビュー [174](#)
 ENQMODEL ビュー [164](#)
 ENQUEUE ビュー [93](#)

EPADAPT ビュー [27](#)
 EVCSDATA ビュー [19](#)
 EVCSINFO ビュー [21](#)
 EVCSOPT ビュー [22](#)
 EVCSPEC ビュー [14](#)
 EVNTBIND ビュー [12](#)
 EVNTGBL ビュー [24](#)
 EXCI ビュー [287](#)
 「EXCI 要求」ビュー
 一般 (EXCI) [287](#)
 EXITGLUE ビュー [188](#)
 EXITTRUE ビュー [96](#)
 EXTGLORD ビュー [94](#)
 EXTRATDQ ビュー [362](#)

F

「FEPI 接続」ビュー
 一般 (FEPICONN) [189](#)
 「FEPI ターゲット」ビュー
 一般 (FEPITRGT) [196](#)
 「FEPI ノード」ビュー
 一般 (FEPINODE) [191](#)
 「FEPI プール」ビュー
 一般 (FEPIPOOL) [193](#)
 「FEPI プロパティ・セット」ビュー
 一般 (FEPIPROP) [195](#)
 FEPICONN ビュー [189](#)
 FEPINODE ビュー [191](#)
 FEPIPOOL ビュー [193](#)
 FEPIPROP ビュー [195](#)
 FEPITRGT ビュー [196](#)

H

HOST ビュー [330](#)
 HTASK ビュー [263](#)

I

INDTDQ ビュー [366](#)
 INTRATDQ ビュー [367](#)
 「IP 機能」ビュー
 一般 (IPFACIL) [133](#), [299](#), [323](#)
 IPCONN ビュー [114](#), [312](#)
 IPFACIL ビュー [133](#), [299](#), [323](#)
 「IPIC 接続」ビュー
 一般 (IPCONN) [114](#), [312](#)
 「ISC/MRO 接続」ビュー
 一般 (CONNECT) [104](#)

J

JRNLMODL ビュー [220](#)
 JRNLNAMN ビュー [221](#)
 「JVM クラス・キャッシュ」ビュー
 一般 (CLCACHE) [183](#)
 「JVM サーバー」ビュー
 一般 (JVMSEVR) [179](#)
 「JVM 状況」ビュー
 一般 (JVM) [187](#)
 JVM ビュー [187](#)
 「JVM プール」ビュー

「JVM プール」ビュー (続き)
一般 (JVMPOOL) [175](#)
「JVM プロファイル」ビュー
一般 (JVMPROF) [177](#)
JVMPOOL ビュー [175](#)
JVMPROF ビュー [177](#)
JVMSESV ビュー [179](#)

L

LIBDSN ビュー [235](#)
「LIBRARY データ・セット名」ビュー
一般 (LIBDSN) [235](#)
LIBRARY ビュー [232](#)
「LIBRARY」ビュー
一般 (LIBRARY) [232](#)
LOADACT ビュー [79](#)
LOADER ビュー [75](#)
LOCFILE ビュー [208](#)
LOCTRAN ビュー [374](#)
LSRPBUF ビュー [214](#)
LSRPOOL ビュー [215](#)
「LU6.2 モード名」ビュー
一般 (MODENAME) [124](#)

M

MODENAME ビュー [124](#)
MQCON ビュー [154](#)
MQCONN ビュー [152](#)
MQINI ビュー [158](#)
MQMON ビュー [159](#)
「MVS TCB」ビュー
一般 (MVSTCB) [99](#)
「MVS ストレージ域」ビュー
一般 (MVSESTG) [72](#)
「MVS ログ・ストリーム」ビュー
一般 (STREAMNM) [223](#)
「MVS ワークロード管理」ビュー
一般 (MVSWLM) [100](#)
MVSESTG ビュー [72](#)
MVSTCB ビュー [99](#)
MVSTCBGL ビュー [98](#)
MVSWLM ビュー [100](#)

P

PARTNER ビュー [125](#)
PIPELINE ビュー [335](#)
PROCTYP ビュー [33](#)
PROFILE ビュー [126](#)
PROGRAM ビュー [224](#)

R

REMFILe ビュー [217](#)
REMTDQ ビュー [370](#)
REMTRAN ビュー [380](#)
REQID ビュー [288](#)
RPLLIST ビュー [236](#)
RQMODEL ビュー [383](#)

S

STREAMNM ビュー [223](#)
SYSDUMP ビュー [83](#)
SYS Parm ビュー [48](#)

T

TASK ビュー [237](#)
TASKASSC ビュー [300](#)
TASKESTG ビュー [293](#)
TASKFILE ビュー [294](#)
TASKRMI ビュー [297](#)
TASKTSQ ビュー [296](#)
「TCP/IP グローバル統計」ビュー
一般 (TCPIPGBL) [310](#)
TCP/IP サービス・ビュー
一般 (TCPIPS) [127](#), [304](#)
TCPIPGBL ビュー [310](#)
TCPIPS ビュー [127](#), [304](#)
TDQGBL ビュー [372](#)
TERMNL ビュー [354](#)
TRANCLAS ビュー [80](#)
TRANDUMP ビュー [85](#)
TSKSPOLS ビュー [350](#)
TSKSPPOOL ビュー [74](#)
TSMODEL ビュー [341](#)
TSPOOL ビュー [343](#)
TSQGBL ビュー [344](#)
TSQNAME ビュー [346](#)
TSQSHR ビュー [348](#)

U

UOW ビュー [386](#)
UOWDSNF ビュー [388](#)
UOWENQ ビュー [390](#)
UOWLINK ビュー [391](#)
「URI ホスト」ビュー
一般 (HOST) [330](#)
「URI マップ」ビュー
一般 (URIMAP) [324](#)
URIMAP ビュー [324](#)
URIMPGBL ビュー [329](#)

V

「VSAM LSR プール・バッファ」ビュー
一般 (LSRPBUF) [214](#)
「VSAM LSR プール」ビュー
一般 (LSRPOOL) [215](#)

W

「Web サービス」ビュー
一般 (WEBSERV) [331](#)
Web ユーザー・インターフェース [vii](#), [9](#)
WEBSERV ビュー [331](#)
「WebSphere MQ 開始キュー」ビュー
一般 (MQINI) [158](#)
「WebSphere MQ 接続統計」ビュー
一般 (MQCONN) [152](#)
「WebSphere MQ 接続」ビュー

「WebSphere MQ 接続」ビュー (続き)
一般 (MQCON) [154](#)
「WebSphere MQ モニター」ビュー
一般 (MQMON) [159](#)
WORKREQ ビュー [291](#)

X

「XML 変換」ビュー
一般 (XMLTRANS) [31](#)
XMLTRANS ビュー [31](#)

